



イタリア語・星の王子様

2018/02/03 ~
2021/09/16

ANTOINE DE SAINT-EXUPÉRY

Il Piccolo Principe

CON LE ILLUSTRAZIONI DELL'AUTORE



TASCABILI BOMPIANI

イタリア語 星の王子様

Il piccolo principe

Antoine de Saint-Exupéry

参考文献等

参考文献等

イタリア語テキストはインターネットからダウンロード。

<https://www.odaha.com/antoine-de-saint-exupery/maly-princ/il-piccolo-principe>

フランス語原書 Le Petit Prince 1969 年 8 月 25 日 ガリマール社 出版番号 : 14453

対訳 フランス語で読もう「星の王子様」

2007 年 6 月 12 日 2 版発行著者 サンテグジュペリ、小島 俊明、(有)第三書房

翻訳期間 2018/02/03～2021/09/16

三浦 高志 Takashi Miura



文の構成要素と構文解析の書式

文法書によると、日・伊・西・仏・独・英などの言語では異なる文法用語が使用されているが、この文書では英語の文法用語を基本として、独自解釈も交えて構文解析を行う。

「文」は「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」及び「形容詞」で構成される。また「接続詞」や「関係代名詞」などは「文」と「文」を接続してより複雑な文を構成するために使用される。

文の構成要素と単語の品詞についておおまかに説明する。

「名詞」は事物の名称・状態・性質・存在などの概念を表す単語である。

「形容詞」は事物の性質・状態、人間の感覚・感情などを表す語で「名詞」を修飾する。

「副詞」は事物の状態・性質・程度や時刻・場所などを表し、「動詞」を修飾したり、他の「副詞」や「形容詞」を修飾する。

「句」は2つ以上の単語が集まって「名詞」、「形容詞」、「副詞」あるいは「動詞」の役目をするもの。それぞれ「名詞句」、「形容詞句」...などと表す。例えば、
「名詞句」は「形容詞+名詞」、「名詞+名詞」などによって作られ、
「形容詞句」は「副詞+形容詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、
「副詞句」は「副詞+副詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、
「動詞句」は「動詞+前置詞」、「動詞+副詞」、「助動詞+動詞」によって作られる。

「節」は2つ以上の単語が集まって「主語」と「動詞」を含む文を構成して、全体の中で「名詞」、「形容詞」または「副詞」の役割をする。従属節と呼ばれる。それぞれ「名詞節」、「形容詞節」および「副詞節」と表す。

2つの節が対等に結合される場合は等位節と呼ぶ。(英語で **and** や **but** で結合)

「主語」は「動詞」の動作・作用の主体を表す「名詞・句・節」または「代名詞・句」。

「動詞」は事物の動作・作用・状態・存在などを表す。

「直接目的語」は動詞の表す動作の対象となる人・物を表す「名詞・句・節」。

「間接目的語」は動詞の表す動作によって動作主または「直接目的語」が移動または状態変化する場所または動作の目的・結果を表す「名詞・句・節」または「副詞・句・節」。

注意：英語の文法書では、「間接目的語」は「直接目的語」と共に用いられることになっているが、この文書では「間接目的語」が単独で用いられる場合がある。すなわち、

「主語」「動詞」「直接目的語」と「主語」「動詞」「間接目的語」の構文がある。

「補語」は「主語」または「目的語」の性質・状態を表す「名詞」「形容詞」「副詞」。

文の構成要素と構文解析の書式

名詞・性と数

「名詞」は人または事物の名称を表す語であり、文中で「主語」、「直接目的語」、「間接目的語」または「補語」として用いられる。時には、他の「名詞」を修飾する「形容詞」として利用されたり、「時」や「場所」に関する「副詞」として利用されることがある。

「名詞」が「動詞」のように利用されて「前進！」のような命令文が作られることもある。

さらに、「名詞」として辞書に載っている単語だけでなく、「動詞」や「形容詞」または「副詞」が「名詞」的に利用されることもあるので、「名詞」の出現頻度は高い。

「代名詞」は「名詞」の代わりをする語である。代名詞を利用することで、文中に同じ単語が何度も現れるのを防いで、文を明確化することができる。

「名詞句」や「名詞節」も文中で「名詞」と同様の機能として使われる。

「名詞」は数えられる名詞「可算名詞」と数えられない名詞「不可算名詞」に分けられ、可算名詞は「普通名詞」と「集合名詞」に、不可算名詞は「固有名詞」、「物質名詞」と「抽象名詞」に分けられる。

「**普通名詞**」は「本」、「猫」、「机」など同じ種類の個体を多数持っているものに与えられる名称で、単数か複数かという区別を必要とする。単数の場合は「不定冠詞」か「定冠詞」を付けるのが原則である。

「**集合名詞**」は「委員会」、「家族」、「警察」のように人・動物・物などの集合体を指す名詞である。

「**固有名詞**」は「富士山」、「パリ」、「ニュートン」などのように、人・場所・事物などに固有の名称である。本来一つしかないものなので不定冠詞をつけたり、複数形にすることは原則としてない。定冠詞を付ける場合と付けない場合がある。

「**物質名詞**」は「空気」、「水」、「ワイン」のように物質を表す名称で、一定の形を持たず、また特別な容器を用いない限り、個々には独立して存在しない。不可算名詞なので、不定冠詞は付かないし、複数形にもならない。

「**抽象名詞**」は「親切」、「愛」、「悲しみ」、「真理」のように、具体的な形を持たない抽象的な概念を示す名称である。抽象名詞も数えられないから、不定冠詞は付かないし、複数形にもならない。

イタリア語・スペイン語・フランス語・ドイツ語などでは、「**名詞**」に付属する冠詞・形容詞は名詞と性・数の一致が必要となり、「**名詞**」に関係する「**動詞**」は名詞と数の一致が必要になる。

文の構成要素と構文解析の書式

「直接目的語」と「間接目的語」

「僕は君にこの本をあげる」という文は、「主語：僕（は）」、「間接目的語：君に」、「直接目的語：この本（を）」、「動詞：あげる」という構成要素から作られている。そして、「動詞：あげる」の動作において動作の主体が操作・加工する対象となるものが「直接目的語：この本（を）」である。「間接目的語：君に」は「直接目的語」（または「主語」）の移動先（抽象的な概念の場所も含む）を表しており、動作の主体が操作・加工する対象ではない。

「直接目的語」は動作の主体が操作・加工する対象を示すと考えると、「人」や「物」を表す「名詞」類が使用されることが分かる。

「間接目的語」は「直接目的語」または「話者自身」の移動先を示す場所であると考え、場所を表す「人」や「物」または「場所を表す空間」を表す「名詞」類または「副詞」類が使用されることが分かる。参考：「私は両親に従う。」の「両親」は「両親の希望・意見などの抽象的な概念の場所」を表す「間接目的語」である。「間接目的語」が名詞・代名詞ならこれを「主語」として受動文を作れるが、副詞類なら受動文を作れない。

注意：一般の文法書では、「自動詞+前置詞+名詞」の「名詞」を前置詞の「目的語」と説明しているが、この文書では「前置詞+名詞」または「前置詞+副詞」を「間接目的語」と解釈して構文解析を進める。この方が文章を理解しやすいと判断したからである。

この方法によると、「私は学校へ行く」は自動詞の「行く」と前置詞が付いた「学校へ」が使われており、「学校へ」が「間接目的語」と構文解析されることになる。

しかし、一般の文法書の解説とは異なるので、学校の試験などでは間違いとされる恐れがあることを注意する必要がある。しかし、フランス語の文法はこの解釈に近い。

まとめ：「直接目的語」は「名詞」類が使われる。「～を」

「間接目的語」は「名詞・副詞」類が使われる。「～の所へ、～のために、～にとって」

形容詞

「名詞」、「代名詞」を修飾・限定するものを「形容詞」という。「形容詞」は事物の性質・状態、人間の感覚・感情などを表す語で「名詞」を修飾する。

「形容詞」類の例示：

代名詞：「私の本」、「この本」、「数冊の本」、「どんな本」の下線を付けた語句。

冠詞：「一冊の本」、「その本」の下線を付けた語句。

分詞：「眠っている赤ん坊」、「失われた時間」の下線を付けた語句。

名詞：「空軍」、「石橋」のように「名詞」＋「名詞」の語句。

形容詞句：「籠の中の鳥」の下線を付けた語句（前置詞で導かれる）。

形容詞節：「これはパリで買った指輪です」の下線を付けた語句（関係代名詞で導かれる）。

まとめ：「形容詞節」を含む「形容詞」類は「名詞」類の前後に使用される。

文の構成要素と構文解析の書式

不定冠詞

「形容詞」類の一つである。様々な意味に使われる。

1. どれでもよい、不定の人や物の一つを指す。
2. ある具体的な一つの物（人）を指す。
3. 一つの～という意味をはっきり示す。
4. ～につきの意味を示す。
5. 或る～の意味で用いる。

話の中で初めて述べる「名詞」には不定冠詞を付けて内容を説明して、二度目以降では定冠詞を付けて使う。

定冠詞

「形容詞」類の一つである。加算名詞・不加算名詞を問わず、全ての名詞の前に付けることができ、その名詞が何らかの意味で特定されたものであることを示す。

1. 先に出た「不定冠詞+名詞」を指す場合。
2. すでに述べられた事柄に関連して特定される場合。
3. 周囲の状況からそれと分かる場合。
4. ただ一つしかないものを指す場合。
5. 最上級や唯一的な意味で限定された名詞に付ける。
6. 修飾語句によって限定される場合。
7. 楽器を代表的に指す場合

副詞

「副詞」は事物の状態・性質・程度や時刻・場所などを表し、「動詞」を修飾したり、他の「副詞」や「形容詞」を修飾する。しかし、名詞・代名詞、句や節または文全体を修飾・限定することもある。

まとめ：「副詞」類は修飾する語句の近くに置かれるので、「文頭」、「主語」の前後、「動詞」の前後、「補語」の前後、「文末」のように、文中いたる所に使われる。

比較

「形容詞」や「副詞」は性質・様態・数量などの程度を表すが、他の物との間の程度の違いを比較・表現する場合は語形を変えてそれを示す。この語形変化を比較といい、原級、比較級、最上級の語形と慣用句がある。

文の構成要素と構文解析の書式

補語

「補語」は文中で「主語」や「目的語」の性質・状態・動作を補足説明する語句である。

「彼は親切だ」、「私は学生だ」など「主語+動詞+補語」の形式で表される文では、下線部分の事を「補語」といって、「補語」は「主語」の性質・状態を補足説明している。

また、「私は彼が親切だと分かった」のように「主語+動詞+目的語+補語」の形式で表される文では、下線部分の事を「補語」というが、こちらは「主語」ではなく「目的語」（二重下線部分）を補足説明している。「補語」は主に「名詞」類または「形容詞」類が使われる。

しかし「彼はパリ出身だ」、「この本はカルロスのものだ」、「このテーブルは木製だ」などの文を「～である」を表す「動詞」を使って表現すると、下線部分は「副詞句」となる。この「副詞句」も「主語」の性質・状態を補足説明しているので「補語」である。

参考：「私は彼が全力を尽くすことを期待している。」は「主語」「不完全他動詞」「目的語」「補語」の構文によって「補語」が「目的語」の動作を補足説明している。

「補語」が必要な「動詞」は「～である」、「～になる」、「～とを感じる」、「～と思われる」などの意味の「動詞」である。

まとめ：「補語」は「動詞・名詞・形容詞・副詞」が使用され性質・状態・動作を補足する。

動詞

「動詞」は人や様々な事物の動きや状態を述べる語である。

「主語」は「動詞」の動きを実行する主体である。

「動詞」の種類について：

完全自動詞：「主語」が「動詞」の動作を実行する。

不完全自動詞：「動詞」と「補語」によって「主語」の性質・状態を補足説明する。

完全他動詞：「主語」が「直接目的語」に対して「動詞」の動作を実行する。

間接他動詞：「動詞」と「間接目的語」で「主語」の移動先を示す。（フランス語文法）

授与動詞：「主語」が「間接目的語」に対して「直接目的語」を与える。

不完全他動詞：「目的語」の性質・状態を「補語」によって「動詞」で表現したり、「補語」で示される動作を「目的語」に対して「動詞」で表現する。

助動詞

「助動詞」は「動詞」と結びついて可能「～する事が出来る」、推量「～するかもしれない」、義務「～しなければならない」など、話し手の判断や心理を表す表現を追加する「法助動詞」とそれ自身は特に意味を持たず現在分詞・過去分詞と結びついて進行形・受動態・完了形などの時制・態を形成する助動詞がある。

文の構成要素と構文解析の書式

疑問詞

「誰」、「何」、「どこ（場所）」、「いつ（時）」、「どちら（選択）」など文を形成する要素の一部分を話し相手に質問する時に、質問の種類を知らせるための語を「疑問詞」という。

「疑問詞」は文の中で、「主語」、「目的語」、「補語」または「副詞」類として機能するが、どの場合でも文頭におかれて、最初に質問の種類を明らかにする役目を果たす。

「疑問代名詞」、「疑問形容詞」および「疑問副詞」の3種類がある。

接続詞

「接続詞」は文中の語・句・節を接続する。

「等位接続詞」は文法上の働きが対等の関係にある語・句・節を結び付ける。

「従属接続詞」主節の一部として、全体で一つの名詞または副詞の働きをする節を導く接続詞を従属接続詞と呼ぶ。

「従属接続詞」+「節」→「従属節」となり、「従属節」が「名詞節」または「副詞節」として働くことになる。

まとめ：「語・句・節」+「等位接続詞」+「語・句・節」の形式で使用される。

「主語」+「動詞」+「従属接続詞」+「節」の形式で使用される。

関係詞

文中の「主語」、「目的語」または「補語」に対して説明を加える場合に、それを「先行詞」として、説明に適当な「関係詞」に続いて説明の「節」を置くことで、説明の行き届いた文を作ることができる。「先行詞」は「節」の中で「主語」、「目的語」または「補語」として機能する。

まとめ：「関係代名詞」は「名詞」類を修飾する「形容詞節」を導く。

「関係副詞」は「時」や「場所」を修飾する「副詞節」を導く。

前置詞

「名詞」・「代名詞」の前に置いて、それらと共に全体として一つの品詞の働きをする語。前置詞と結びついた語句の品詞によって、「形容詞句」または「副詞句」として機能する。

「形容詞句」は「名詞」と結びついて「名詞句」を構成して、文中で「主語」、「目的語」または「補語」として機能する。

「副詞句」は文全体や「動詞」・「形容詞」を修飾したり、「間接目的語」として機能する。

文の構成要素と構文解析の書式

構文解析の書式

構文解析は文を構成要素ごとに区切りを付けて、「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」および「形容詞節」に分類して、文がどのように構成されているかを分かり易く示すことが目的である。

しかし「形容詞節」は「主語」、「目的語」などと一体化されて、「主語」または「目的語」として分類することが多い。（「形容詞節」は名詞句の一部になる）

「目的語」は必要に応じて「間接目的語」と「直接目的語」を明示する。

本文書では、日本語の文を最初に示してから、次の行に外国語の文を示す。そして、外国語の文の後ろまたは次の行に文全体の構成要素を示す。さらに、その次の行からは、各構成要素の語句ごとにその読み、語句の品詞（「動詞」の場合はその活用も表記）、日本語の意味、構成要素名を1行から3行程度のスペースを使用して表示する。

複数の語が集まって「主語」、「動詞」、「目的語」または「補語」が作られる場合には、それぞれの単語の読み、品詞、意味を表示する場合がある。この場合には、次の書式に従って表示する。

「語句」「読み」「品詞の記号」「意味」（「構成要素名」）

「品詞の記号」

名詞：男性名詞 n.m、女性名詞 n.f

代名詞：pron、pron.fのように性別を追加することがある。

形容詞：男性形容詞 adj.m 女性形容詞 adj.f

複数：pl.（名詞、代名詞と形容詞の品詞記号の前または後ろに置く）

副詞：adv、「構成要素名：修飾する語句」の形式で説明を加える。

動詞：接続法・1人称単数現在なら接・1単現のように表記、自動詞 v.i、他動詞 v.t

動詞句：否定詞+動詞、助動詞+動詞、助動詞+過去分詞、動詞+不定詞など複数の動詞関連語句は、動詞としての機能と自動詞／他動詞の区別などを示す

注意：動詞の未来、過去または完了形の場合、<「原形」の形式で示すときは原形の意味を表示するが、「原形」を示さない場合は未来、過去または完了形の意味を表示する。

接続詞：conj. 接続詞は単語そのものを表示する

前置詞：prep

複数の単語によって名詞句などが作られる場合には、複数の単語の品詞を表示してから、→「複数単語の語句」、品詞記号、意味、構成要素名の形式で表示する。

数字は読みのスペルをカッコ内に表記した。

構成要素には「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」、「形容詞」のように下線を追加した。「補語」、「副詞」および「形容詞」は同じ下線である。また、「間接目的語」と「直接目的語」も同じ下線である。「動詞句」は「動詞」と同じ下線である。

文の構成要素と構文解析の書式

構文解析の例

2 週間の間、風邪のために喉が痛い。

Ho mal di gola per il raffreddore durante due settimane. 「動詞」「目的語」「副詞句」

Ho オ 1 単現 <avére v.t (病気、熱、痛みを) 持つ 「動詞」

mal di gola マル・ディ・ゴラ n.m のどの痛み 「目的語」

注意：male マレ n.m 苦しみ、痛み、病気 → ときに語尾音削除で mal となる。

per il raffreddore ヘル・イル・ラッフレットーレ adv. 風邪のために

durante due settimane トゥランテ・トゥ・セッティマーナ adv. 2 週間の間

→ per il raffreddore durante due settimane 「副詞句：Ho」

今日はイタリア語とスペイン語で日記を書くために参考書を 2 冊買った。

Oggi ho comprato 2 (due) libri di consultazione per tenere un diario in italiano e in spagnolo. 「副詞」「動詞句」「目的語」

Oggi オジ adv. 今日 「副詞」

ho comprato オ・コンプ ラート 1 単現・完了形 v.t 購入した、買った 「動詞句」

2 libri di consultazione トゥエ・リブリー・ディ・コンスルタツィオーネ n.m pl. 2 冊の参考書

per tenere un diario in italiano e in spagnolo

ヘル・テネーレ・ウン・ディアリオー・イニタリアーノ・エ・イン・スパニョーロ

adj. イタリア語とスペイン語で日記を書くための

→ 2 libri di consultazione per tenere un diario in italiano e in spagnolo

イタリア語とスペイン語で日記を書くための参考書を 2 冊 「目的語」

山栗が 430g とナスが 2 本採れた。

Ho raccolto 430 (quattorocento trenta) grammo di castagne selvatiche e 2 (due) melanzane. 「動詞句」「目的語」

Ho raccolto オ・ラッコルト 1 単現・完了形 <raccogliere v.t 拾い集める 「動詞句」

430 grammo di castagne selvatiche クワットロチェント・トレンタ・グランモ・ディ・カスターニャ・セルヴァティチェ

n. 山栗を 430g

2 melanzane トゥエ・メランザーネ n. 茄子を 2 個

→ 430 grammo di castagne selvatiche e 2 melanzane 「目的語」

文の構成要素と構文解析の書式—終わり

目次

目次

参考文献等.....	1
文の構成要素と構文解析の書式.....	2
名詞・性と数	3
「直接目的語」と「間接目的語」	4
形容詞	4
不定冠詞	5
定冠詞.....	5
副詞	5
比較	5
補語	6
動詞	6
助動詞	6
疑問詞	7
接続詞	7
関係詞	7
前置詞	7
構文解析の書式.....	8
文の構成要素と構文解析の書式－終わり	9
目次.....	10
A LEONE WERTH.....	14
I	18
フランス語原版では 重要な人たちとではなく → まじめな人たちと	26
フランス語原版では 柔軟な頭脳ではなく→ 頭脳明晰な	28
II.....	30
per + 形容詞・副詞 +(che +) 接続法 譲歩の表現	39
フランス語版では 中が見えないボア大蛇の... ..	41
羊の種類 :	44
III.....	49
感想 かんそう :	54
IV.....	60
フランス語版では :	62
piacére の使用方法 :	72

目次

フランス語版では この位置に、次の文章が入っていた	74
V	79
接続法の用法 :	84
フランス語版では ここに、次の文があった.....	88
VI.....	99
フランスとアメリカの時刻 :	102
VII	104
フランス語版では :	115
VIII.....	123
太陽の年齢 :	129
.....	129
カフェ・ラッテ :	130
フランス語版では :	139
troppo...per+不定詞 :	141
IX.....	141
フランス語版では :	148
X	153
vi 二人称複数代名詞	163
否定命令 :	173
XI.....	181
フランス語版では :	187
XII	189
コレクション	190
恥ずかしい	192
XIII.....	193
複合時制の過去分詞	198
フランス語版では :	205
XIV	214
フランス語版では :	220
フランス語版では :	231
XV.....	231
使役動詞.....	239
知覚動詞.....	240
言語による「不定詞の動作主」の相違	240
文型と補語の機能	240
vedére	242

目次

XVI	253
フランス語版では :	256
XVII	258
フランス語版では :	260
フランス語版では :	267
フランス語版では :	270
XVIII	275
XIX	278
XX	283
フランス語版では :	288
XXI	289
se 仮定の種類.....	307
儀礼	309
XXII	323
XXIII	329
XXIV	333
フランス語版では	341
XXV	350
きしる	353
口をつく	365
XXVI	368
XXVII	407
fine フィーネ 「終わり」	419

目次

注意：この文書は構文解析を用いて、外国語の文章を日本語に翻訳する方法を示して、外国語学習者の文法理解を多少なりとも支援するために作成した参考資料です。

翻訳は辞書に載っている単語や熟語などの意味と構文解析に基づいて、文章の意味を日本語に訳したものであり、文学作品の文章として翻訳している訳ではありません。

A LEONE WERTH

A LEONE WERTH

Domando perdono ai bambini di aver dedicato questo libro a una persona grande. Ho una scusa seria: questa persona grande è il miglior amico che abbia al mondo. Ho una seconda scusa. Questa persona grande può capire tutto, anche i libri per bambini; e ne ho una terza: questa persona grande abita in Francia, ha fame, ha freddo e ha molto bisogno di essere consolata. E se tutte queste scuse non bastano, dedicherò questo libro al bambino che questa grande persona è stato. Tutti i grandi sono stati bambini una volta (ma pochi di essi se ne ricordano).

Perciò correggo la mia dedica:

A LEONE WERTH

Quando era un bambino

レオン・ヴェルトに

この本をある大人の人に捧げたことで、私は子供たちに許しを求める。私には真面目な言い訳がある：この大人の方は、私がこの世で持っている最良の友だ。私には2つ目の言い訳がある：この大人の方はすべてを理解することができる、子供向けの本でさえも。それから、3番目の言い訳がある：この大人の方はフランスに住んでいて、飢えと寒さに苦しんでいる。彼は慰めを必要としている。これらすべての言い訳でも十分でないならば、この大人の方がかつて子供だった時のその子供に、この本を捧げることにする。大人の方は皆、昔は、子供だった。(でも、そのことを覚えている大人はほとんどいない)

だから私の献辞を訂正する：

少年だった時の

レオン・ヴェルトへ

ALEONE WERTH

レオン・ヴェルトに

ALEONE WERTH

「副詞句」

A ア prep (行為などの対象) 〜に、〜に対して

「副詞句」

LEONE WERTH レオネ・ヴェルト n.m レオン・ヴェルト

「目的語」

この本をある大人の人に捧げたことで、私は子供たちに許しを求める。

Domando perdóno ai bambini di aver dedicato questo libro a una persona grande.

「動詞」「直接目的語」「間接目的語」「副詞句」

Domando ドマント 1 単現(domandare)v.t 頼む、求める

「動詞」

perdóno ペルトーノ n.m 許しを

「直接目的語」

ai bambini アイ・バンビーニ adv. (対象) 子供たちに対して

「間接目的語」

di +不定詞・完了形 デイ adv. (原因) 〜したことで

「副詞句」

aver dedicato アヴェル・デディカート 不定詞・完了形(dedicare)v.t 捧げた

「動詞句」

questo libro ケスト・リーブロ n.m この本を

「直接目的語」

a una persona grande. ア・ウナ・ペルソナ・グランデ adv. ある大人の人に

「間接目的語」

私には真面目な言い訳がある：この大人の方は、私がこの世で持っている最良の友だ。

Ho una scusa.sèria: questa persona grande è il miglior amico che abbia al mondo.

「動詞」「目的語」：「主語」「動詞」「補語」

Ho オ 1 単現(avére)v.t 〜がある

「動詞」

una scusa ウナ・スクザ n.f 言い訳

「目的語」

sèria: セリア adj.f(sèrio) 真面目な

「形容詞」

questa persona grande ケスタ・ペルソナ・グランデ n.f この大人の方は

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i 〜である

「動詞」

il miglior amico イル・ミオル・アミコ n.m 最良の友

「補語」

che ケ pron (目的語) 〜する

「形容詞節」

良い・悪いなどの「評価」に導かれる節は、接続法を使用する

abbia アッビャ 接・1 単現(avére)v.t 持っている

「動詞」

al mondo. アル・モンド adv. この世で

「副詞句」

私には 2 つ目の言い訳がある：この大人の方はすべてを理解することができる、子供向けの
本でさえも。Ho una seconda scusa. Questa persona grande può capire tutto, anche i libri per bambini;

「動詞」「目的語」：「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Ho オ 1 単現(avére)v.t 〜がある

「動詞」

una seconda scusa. ウナ・セコンダ・スクザ n.f 2 つ目の言い訳

「目的語」

ALEONE WERTH

Quésta persóna grande ケスタ・ペルソーナ・グランテ n.f この大人の人は 「主語」
 può capire プォ・カピレ 3 単現・可能(potére+不定詞)v.t 理解できる 「動詞句」
 tutto, トゥット pron すべてを 「目的語」
 anche アンケ conj. ～さえも 「副詞句」
 i libri イ・リーブリ pl.n.m 本を 「目的語」
 per bambini; ペル・バンビニー adj. (目的) 子供用の 「形容詞句」

それから、3 番目の言い訳がある： この大人の人はフランスに住んでいて、飢えと寒さに苦しんでいる。彼は慰めを必要としている。

e ne ho una terza: questa persóna grande abita in Frància, ha fame, ha frèddo e ha móltto bisogno di essere consolata.

e 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」：「主語」「動詞」「副詞句」,
「動詞」「目的語」, 「動詞」「目的語」 e 「動詞」「目的語」

e エ conj. そして
 ne ネ pron これ (言い訳) の 「間接目的語」
 ho オ 1 単現(avére)v.t ～がある 「動詞」
 una terza: ウナ・テルツァ pron.f 3 番目 「直接目的語」
 questa persóna grande ケスタ・ペルソーナ・グランテ n.f この大人の人は 「主語」
 abita アビタ 3 単現(abitare)v.i(in に) 住んでいる 「動詞」
 in Frància, イン・フランチャ adv. フランスに 「副詞句」
 ha ハ 3 単現(avére)v.t (状態) ～である 「動詞」
 fame, ファーメ n.f 空腹 「目的語」
 ha ハ 3 単現(avére)v.t (状態) ～である 「動詞」
 frèddo フレット n.m 寒さ 「目的語」
 e エ conj. そして
 ha ハ 3 単現(avére)v.t (状態) ～である 「動詞」
 móltto bisogno di+不定詞 モルト・ビゾーニョ・ディ n.m ～する必要がある 「目的語」
 essere consolata. エッセル・コンソラ 不定詞・受動.f(console)v.t 慰められる 「動詞句」

これらすべての言い訳でも十分でないならば、この大人の人がかつて子供だった時のその子供に、この本を捧げることにする。

E se tutte queste scuse non bastano, dedicherò questo libro al bambino che questa grande persóna è stato.

E 「副詞節」, 「動詞」「直接目的語」「間接目的語」

E エ conj. そして
 se セ conj. もし～ならば 「副詞節」
 tutte queste scuse トゥッテ・クェステ・スクーセ pl.n.f(scusa) この言い訳全てが 「主語」

A LEONE WERTH

non bastano, ノン・バスタノ	3 複現・否定(bastare)v.i	十分でない	「動詞句」
dedicherò デディケロ	1 単未・意思(dedicare)v.t	捧げようと思う	「動詞」
quésto libro ケスト・リーブロ	n.m	この本を	「直接目的語」
al bambino アル・バンビーノ	adv.	子供に	「間接目的語」
che ケ	pron (補語)	～する	「形容詞節」
quésta grande persóna ケスタ・グランデ・ペルソーナ			
n.f		この大人が	「主語」
è stato. エ・スタート	3 単現・完了形(stare)		
v.i		かつてそうであった	「動詞句」

大人の人は皆、昔は、子供だった。(でも、そのことを覚えている大人はほとんどいない)

Tutti i grandi sono stati bambini una volta (ma pochi di essi se ne ricordano).

「主語」「動詞句」「補語」「副詞句」(ma 「主語」「動詞句」「間接目的語」)	
Tutti i grandi トゥッティ・イ・グランディ pl.n.m(grande) 大人の人は皆	「主語」
sono stati ソーノ・スターティ 3 複現・完了形(stare)v.i 〜だった	「動詞句」
bambini バンビーニ pl.n.m(bambino) 子供	「補語」
una volta ウナ・ヴォールタ adv. 昔は	「副詞句」
(ma マ conj. しかし	
pochi di essi ポキ・ディ・エッシ pron.pl ほんの少しの大人しか	「主語」
se ...ricordano). セ...リコルダノ 3 複現・否定文(ricordarsi)v.pr 覚えていない	「動詞句」
ne ネ pron そのことを	「間接目的語」

だから私の献辞を訂正する：

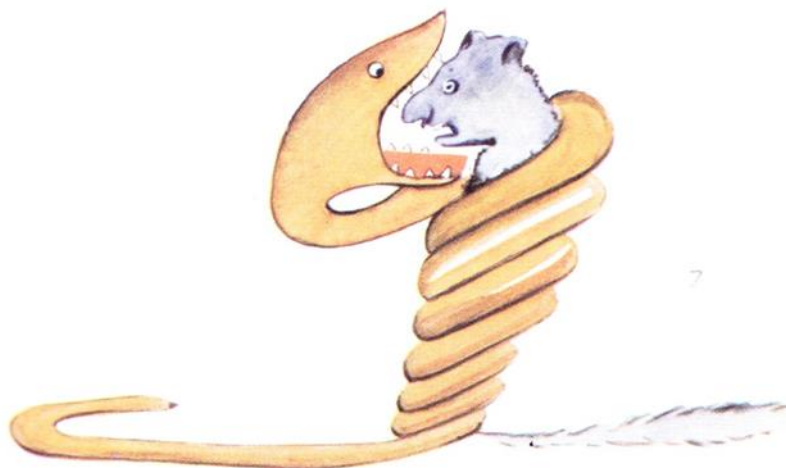
Perciò <u>correggo</u> la mia <u>dèdica</u> :	Perciò 「動詞」「目的語」
Perciò <u>ペルチョ</u> conj. <u>だから</u>	
correggo <u>コレグコ</u> 1 単現(corrèggere)v.t 訂正する	「動詞」
la mia <u>dèdica</u> : <u>ラ・ミア・デーティカ</u> n.f 私の献辞を	「目的語」

少年だった時のレオン・ヴェルトへ

A LEONE WERTH Quando era un bambino		「間接目的語」
A LEONE WERTH ア・レオーネ・ヴェルト	adv. レオン・ヴェルトへ	「間接目的語」
Quando クワント	adv. ～するときの	「形容詞節」
era エラ 3 単半(essere)v.i	～だった	「動詞」
un bambino ウン・バンビーノ	n.m 少年	「補語」

I

I



ずっと昔、僕が6歳だった時、「自然を体験した話」と名付けられた原始林についての本の中で、素晴らしいスケッチを見たことがある。

Un tèmpo lontano, quando avevo sèi anni, in un libro sulle forèste primordiali, intitolato “Storie vissute della natura”, vidi un magnifico disegno. 「副詞句」, 「動詞」 「目的語」

Un tèmpo ウン・テンポ adv. 昔に 「副詞句」

lontano, ロンターノ adj. 遠い、はるかな 「形容詞」

quando クワンド conj. ～の時に 「副詞節」

avevo アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t (年齢が～歳で) ある 「動詞」

sèi anni, セイ・アンニ pl.n.m 6 歳 「目的語」

in un libro イン・ウン・リブロ adv. ある本の中で 「副詞句」

sulle forèste スッレ・フォレスト adj.(forèsta) 森林についての 「形容詞句」

primordiali, プリモルジアリ adj.f.pl 原始の 「形容詞」

intitolato インチトラート 過去分詞・受動(intitolare)adj. 名付けられた 「形容詞句」

“Storie ストーリエ pl.n.f 話と 「補語」

vissute ヴィッスーテ 過去分詞・受動(vivere)

adj.f.pl 体験された 「形容詞」

della natura”, デラ・ナトゥーラ adj. 自然の 「形容詞」

vidi ヴィディ 1 単遠(vedére)v.t 見た 「動詞」

un magnifico ウン・ミニフィコ adj. 素晴らしい 「形容詞句」

disegno. デイセンニョ n.m スケッチを、線画 「目的語」

I

その絵は、動物を飲み込んでいる最中のボア大蛇を表していた。

Rappresentava un serpente bòa nell'atto di inghiottire un animale. 「動詞」「目的語」

Rappresentava ラプレゼンターヴァ 3 単半(rappresentare)v.t 表していた 「動詞」

un serpente bòa ウン・セルペンテ・ボア n.m ボア大蛇 「目的語」

nell'atto ネラット adv. 行為中の 「副詞句」

di inghiottire ディ・インジォッティレ adj. (目的) 飲み込むための 「形容詞句」

un animale. ウン・アニマーレ n.m 動物を 「目的語」

ほら、これがそのスケッチの写しだ。

Èccovi la còpia del diségno. 「副詞句」「主語」

Èccovi エッコ・ヴィ adv. ほらこれが〜だ 「副詞句」

la còpia ラ・コピア n.f 写し 「主語」

del diségno. デル・ディエニョ adj. そのスケッチの 「形容詞句」

その本には、こう書かれている：「ボア大蛇たちは、獲物を噛まずに丸ごと飲み込む」

C'era scritto: “I bòa ingoiano la loro prèda tutta intéra, senza masticarla.

「主語」「動詞句」：「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

C' ス pron その本は 「主語」

era scritto: エラ・スクリット 3 単半・受動・時制の一致(scrivere)v.t 書かれている 「動詞句」

“I bòa イ・ボア pl.n.m ボア大蛇は 「主語」

ingoiano インゴーイア 3 複現(ingoiare)v.t 飲み下す、飲み込む 「動詞」

la loro prèda ラ・ロー・プレダ n.f 獲物を 「目的語」

tutta intéra, トウッタ・インテラ adj.f 丸ごと全部 「形容詞句」

senza +不定詞 センツァ adv. 〜せずに 「副詞句」

masticarla. マスチカル・ラ 不定詞(masticare+la: prèda)v.t 獲物をかみ砕く 「動詞句」

「そうすると、彼らはもう動けなくなり、消化に必要な 6 か月の間眠ってしまう。」

Dópo di che non riescono più a muoversi e dormono durante i sèi mesi che la digestión richiede”. 《「副詞句」「動詞句」 e 「動詞」「副詞句」》

Dópo di che ドーポ・ディ・ケ adv. その後は、そうすると 「副詞句」

non riescono più a muoversi ノン・リエスコノ・ピウ・ア・ムーヴェルシ 3 複現・可能・否定

(riuscire a+不定詞)v.pr もう動けなくなる 「動詞句」

e エ conj. そして

dormono ドルモノ 3 複現(dormire)v.i 眠る 「動詞」

durante i sèi mesi ドゥランテ・イ・セイ・メシ adv. 6 か月間 「副詞句」

che ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」

I

la digesti^one ラ・デ^イジ^エスティ^{オー}ネ n.f 消化が

「主語」

richiede”. リキエ^デ 3 単現(richiedere)v.t 必要とする

「動詞」

それで僕は、ジャングルのいろいろな冒険について、長い間じっくりと考えた。

Meditai a lungo sulle avventure della jungla.

「動詞」「副詞句」「間接目的語」

Meditai メディタイ 1 単遠(meditare)v.i(su について) じっくり考えた

「動詞」

a lungo ア・ルンゴ adv. 長い間、ゆっくり

「副詞句」

sulle avventure スレ・アヴ^ェントゥレ adv. 冒険について

「間接目的語」

avventure アヴ^ェントゥレ pl.n.f(avventura) 冒険

della jungla. デッラ・ジュンガラ adj. ジャングルの

「形容詞句」

そして、自分自身でも、最初のデッサンをうまく描くことができた。

E a mia v^olta riuscii a tracciare il mio primo disé^gno. E 「副詞句」「動詞句」「目的語」

E エ conj. そして

a mia v^olta ア・ミー・ヴァ^ォルタ adv. 僕のほうで

「副詞句」

riuscii a tracciare リウッシイ・ア・トラッシャレ 1 単遠・達成(riuscire a+不定詞)

v.t うまく描くことができた

「動詞句」

il mio primo disé^gno. イル・ミー・オ・プリモ・ディセンニ^ョ n.m 僕の最初のデッサンを

「目的語」

僕のデッサン第 1 号、それはこのようなもの：

Il mio disé^gno nù^èmero uno. Era così:

「主語」 | 「動詞」「補語」

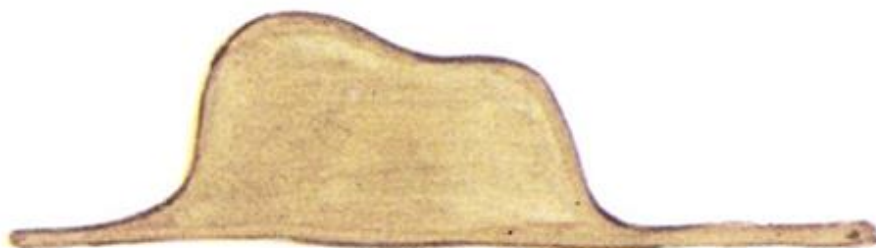
Il mio disé^gno nù^èmero uno. イル・ミー・オ・ディセンニ^ョ・ヌーメロ・ウノ n.m 僕のデッサン第 1 号「主語」

Era エラ 3 単半(èssere)v.i ~だった

「動詞」

così: コシ adv. このような

「補語」



僕は、大人の人たちに僕の傑作を見せて、僕のデッサンが彼らを怖がらせたかを尋ねた。

Mostrai il mio capolavóro alle persone grandi, domandando se il disé^gno li spaventava.

「動詞」「直接目的語」「間接目的語」「副詞句」

Mostrai モストライ 1 単遠(mostrare)v.t 見せた

「動詞」

I

il mio capolavóro イル・ミー・オ・カポラヴァーオーロ n.m 僕の傑作を 「直接目的語」
 alle persone grandi, アッレ・ペルソネ・グランディ adv. 大人の人たちに 「間接目的語」
 domandando ドマンドਾਂト ジェルンディオ(domandare)v.t 尋ねながら 「副詞句」
 se セ conj. 〜かどうかということ 「目的語」
 il disegno イル・ディゼーニョ n.m 僕のデッサンが 「主語」
 li リ pron.pl 彼らを 「目的語」
 spaventava. スパヴァンターヴァ 3 単半(spaventare)v.t 怖がらせた 「動詞」

しかし、大人たちは僕に答えた：「怖いかなって？ いったいなぜ？ 帽子が怖いんだ？」

Ma mi risposero: “ Spaventare? Perché mai, uno dovrebbe essere spaventato da un cappello?” .

Ma 「間接目的語」「動詞」：《「応答」「感嘆」, 「主語」「動詞句」「副詞句」》

Ma マ conj. しかし
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 risposero: リスポーセーロ 3 複遠(rispondere)v.i 答えた 「動詞」
 “ Spaventare? スパヴァンターレ 不定詞 v.t 怖がらせるだって? 「応答」
 Perché mai, ペルケ・マイ adv. いったいどうして 「感嘆」
 uno ウーノ pron 人が 「主語」
 dovrebbe essere spaventato トゥレヴァ・エッセル・スパヴァンタート 条・3 単現・受動・必要
 (dovére+不定詞・受動)v.t 怖がらされなければならない 「動詞句」
 da un cappello? . ダ・ウン・カッペーロ adv. (動作主) 帽子によって 「副詞句」

僕のデッサンは帽子のデッサンではなかった。

Il mio disegno non era il disegno di un cappello. 「主語」「動詞」「補語」
 Il mio disegno イル・ミー・ディゼーニョ n.m 僕のデッサンは 「主語」
 non era ノン・エラ 3 単半・否定(essere)v.i 〜でなかった 「動詞」
 il disegno イル・ディゼーニョ n.m デッサン 「補語」
 di un cappello. ディ・ウン・カッペーロ adj. 帽子の 「形容詞句」
 cappello カッペーロ n.m 帽子、防止状のもの capello カペーロ n.m 髪の毛、毛髪

それは、象を消化しているボア大蛇のデッサンだった。

Era il disegno di un boa che digeriva un elefante. 「動詞」「補語」
 Era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった 「動詞」
 il disegno イル・ディゼーニョ n.m デッサン 「補語」
 di un boa ディ・ウン・ボア adj. ボア大蛇の 「形容詞句」
 che ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

I

digeriva ディジ`ェリヴァ 3 単半・時制の一致(digerire)

v.t 消化している

「動詞」

un elefante. ウン・エレファンテ n.m 象を

「目的語」

何であるかがはっきりと分かるように、ボア大蛇の内側を描いた。

Affinchè vedessero chiaramente che còs'era, disegnai l'intèrno del boa.

「副詞節」, 「動詞」 「目的語」

Affinchè +接続法 アフフィンケ conj. ~するように

「副詞節」

vedessero ヲエデ`ッセル 接・3 複半(vedere)v.t 分かる

「動詞」

chiaramente キアラメンテ adv. 明白に、はっきりと

「副詞」

che còs' ケ・コサ conj. なにということ

「目的語」

era, エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ~である

「動詞」

disegnai ディゼ`ニヤイ 1 単遠(disegnare)v.t 描いた

「動詞」

l'intèrno リンテルノ n.m 内部を

「目的語」

del boa. テル・ボア adj. ボア大蛇の

「形容詞句」

いつも、大人の人たちに色々と説明しなくてはならない。

Bisogna sempre spiegargliele le còse, ai grandi.

「動詞」 「副詞」 「主語」

Bisogna ビゾ`ナーニャ 3 単現(bisognare)v.i 必要である

「動詞」

sempre センプレ adv. いつも

「副詞」

spiegargliele スピ`エガル`リ・エ`レ 不定詞(spiegare+gli+le)

v.t 説明することが

「主語」

le còse, レ・コセ pl.n.f いろいろと

「直接目的語」

ai grandi. アイ`グランティ adv. 大人の人たちに

「間接目的語」

僕の 2 番目のデッサンはこのようなものだった。

Il mio diségno numero due si presentava così:

「主語」 「動詞句」 「補語」

Il mio diségno numero due イル・ミオ`ディセ`ニョ`ヌーメロ`ト`ウエ

n.m 僕の 2 番目のデッサンは

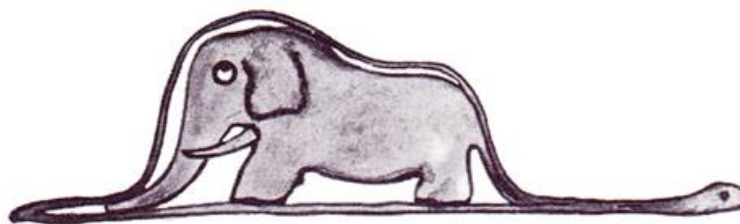
「主語」

si presentava シ`プレ`ンタヴァ 3 単半(presentarsi)v.pr (外見が) ~であった

「動詞句」

così: コシ adv. このような

「補語」



I

今度は大人の人たちは、ボア大蛇の絵は外側だろうと内側だろうと脇に置いて、その代わり、地理学や歴史や算数や文法を一生懸命勉強しなさい、と僕に勧めた。

Quèsta vòlta mi risposero di lasciare da parte i bòa, sia di fuòri che di déntro, e di applicarmi invéce alla geografia, alla stòria, all'aritmètica e alla grammàtica.

「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

e 「動詞句」「副詞」「間接目的語」

Quèsta vòlta ケスタ・ヴォルタ adv. 今回は、今度は 「副詞句」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 risposero リスポセロ 3 複遠(rispondere)v.t (di+不定詞) ～するようにと答えた 「動詞句」
 di lasciare ディ・ラッシャーレ 不定詞 v.t 置いておく 「動詞句」
 da parte ダ・パルテ adv. 脇に、別に 「副詞句」
 i bòa, イ・ボア pl.n.m(bòa) ボア大蛇を 「目的語」
 sia シア 接・3 単現・仮定(essere)v.i ～であるとする 「形容詞句」
 di fuòri ディ・フォーリ adv. 外側からの 「副詞句」
 che ケ conj. (譲歩) ～であったとしても 「副詞節」
 di déntro, ディ・デントロ adv. 内側の 「副詞句」
 e エ conj. そして
 di applicarmi ディ・アプ・リカル・ミ 不定詞(applicarsi)v.pr ～に専念する 「動詞句」
 invéce インヴェーチェ adv. その代わりに 「副詞」
 alla geografia, アッラ・ジ・オグラフィア adv. 地理学に 「間接目的語」
 alla stòria, アッラ・ストーリア adv. 歴史に 「間接目的語」
 all'aritmètica アッラ・リトウメティカ adv. 算数に 「間接目的語」
 e エ conj. そして
 alla grammàtica. アッラ・グラマン、アーティカ adv. 文法に 「間接目的語」

このようにして、僕は6歳の時に絵描きという素晴らしい職業に就くことをあきらめた。

Fu così che a sèi anni io rinunziai a quèlla che avrebbe potuto essere la mia gloriosa carriera di pittóre.

「動詞」「補語」「主語」

Fu フ 3 単遠(essere)v.i ～だった 「動詞」

così コシ adv. このように 「補語」

che ケ conj. ～することは 「主語」

→ このように～した

a sèi anni ア・セイ・アンニ adv. (時刻) 6歳の時に 「副詞句」

io イ・オ pron 僕は 「主語」

rinunziai リヌンチャイ 1 単遠(rinunziare, rinunciare)v.i 断念した 「動詞」

I

a quèlla ア・クェッラ adv. その職業を 「間接目的語」

quèlla クェッラ pron (carrièra の代用) それを

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

avrebbe potuto essere アヴ・レッパ・ポトアウト・エッセレ 条・3 単現・完了形・可能性

v.i. ～になったであろう 「動詞句」

la mia gloriosa carrièra ラ・ミーア・グロリオサ・カリエーラ

n.f. 素晴らしい職業 「補語」

di pittóre. ディ・ピットレ

adj. (同格) 絵描きという 「形容詞句」

1 番目と 2 番目のデッサンの失敗によって、僕は力を失ってしまった。

Il falliménto del mio diségno nùmero uno e del mio diségno nùmero due mi aveva disarmato. 「主語」「目的語」「動詞句」

Il falliménto イル・ファリメント n.m. 失敗は 「主語」

del mio diségno nùmero uno デル・ミーオ・ディセーニョ・ヌーメロ・ウーノ

adj. 1 番目のデッサンの 「形容詞句」

e エ conj. そして

del mio diségno nùmero due デル・ミーオ・ディセーニョ・ヌーメロ・ドゥエ

adj. 2 番目のデッサンの 「形容詞句」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

aveva disarmato. アヴ・エーバ・ディサルマート 3 単半・完了形(disarmare)

v.t. 武器を取り上げた 「動詞句」

大人の人たちは一人だけでは何も分からない。だから子供たちは、いつもいつも彼らに説明するのにうんざりする。

I grandi non capiscono mai niènte da sóli e i bambini si stancano a spiegargli tutto ógni volta. 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 e 「主語」「動詞句」「副詞句」

I grandi イ・グランディ pl.n.m. 大人の人たちは 「主語」

non capiscono mai ノン・カピスコノ・マイ 3 複現・否定・強調(capire+non...mai)

v.t. 決して分からない 「動詞句」

niènte ニエンテ pron 何も～ない 「目的語」

da sóli ダ・ソーリ adv. (手段) 一人だけでは 「副詞句」

e エ conj. そして

i bambini イ・バンビニ pl.n.m. 子供たちは 「主語」

si stancano a spiegargli シ・スタカノ・ア・スピエガールリ 3 複現・倦怠(stancarsi a+不定詞)

v.pr. 彼らに説明するのにうんざりする 「動詞句」

I

tutto ógni vòlta. トゥット・オンニ・ヴォルタ adv. 毎回毎回 「副詞句」

tutto トゥット adj. (tutto+名詞の形で、誇張表現) まったく～、本当に～

それで僕は別の職業を選び、飛行機の操縦の仕方を覚えた。

Allóra scelsi un'altra professióne e imparai a pilotare gli aeroplani.

「副詞」「動詞」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」

Allóra アッローラ adv. それで 「副詞」

scelsi シェルシ 1 単遠(scégliere)v.t 選んだ 「動詞」

un'altra professióne ウナルトラ・プロフェシオーネ n.f 別の職業を 「目的語」

e エ conj. そして

imparai a pilotare インパライ・ア・ピローターレ 1 単遠・習得(imparare a+不定詞)

v.t 操縦の仕方を覚えた 「動詞句」

gli aeroplani. リ・アエロプレーニ pl.n.m 飛行機 「目的語」

gli ri art. (男性単数形冠詞 lo の複数形で、母音, s+子音, z, gn, pn, ps, x, i・j・y で始まる男性複数につく。それ以外の男性複数には i が、女性複数には le が使用される。)

僕はほとんど世界中を飛び回った。そして本当に、地理学は僕の役に立った。

Ho volato un po' sópra tutto il mondo: e veraménte la geografia mi è stata móltó ùtile.

「動詞句」「副詞句」: e 「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」

Ho volato オ・ヴォラート 1 単現・完了形・(volare)v.i 飛び回った 「動詞句」

un po' sópra tutto il mondo: ウン・ポ・ソプレー・トゥット・イル・モント adv. ほとんど世界中を 「副詞句」

un po' ウン・ポ adv. 少し sópra ソプレー prep ーの上を

e エ conj. そして

veraménte ヴェラメンテ adv. 本当に 「副詞」

la geografia ラ・ジエオグラフィア n.f 地理学は 「主語」

mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」

è stata エ・スタータ 3 単現・完了形.f(stare)v.i ーだった 「動詞句」

móltó ùtile. モルト・ウチレ adj. とても役に立つ 「補語」

一目で、中国とアリゾナを見分けることができる。夜に、誰かが道に迷ったとしたら、この学問はたおへん役に立つ。

A cólpo d'òcchio pòsso distinguere la Cina dall'Arizona, e se uno si perde nella notte, quésta sapienza è di grande aiuto.

「副詞句」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」 e 「副詞節」「主語」「動詞」「補語」

A ア prep (手段) ーによって 「副詞句」

cólpo コルポ n.m 1 撃 「目的語」

I

d'occhio トッキョ adj. 目の

「形容詞句」

A colpo d'occhio → 一目で、一瞥で

posso distinguere ホツツ・ディスタンゲレ 1 単現・可能(potére+不定詞)

v.t (da と) 見分けられる

「動詞句」

la Cina ラ・チナ n.f 中国を

「目的語」

dall'Arizona, ダッ・アリゾナ adv. とアリゾナを

「副詞句」

e エ conj. そして

se セ conj. もし～ならば

「副詞節」

uno ウーノ pron 誰かが

「主語」

si perde シ・ペルテ 3 単現(perdersi)v.pr 道に迷う

「動詞句」

nella notte, ネッラ・ノッテ adv. 夜に

「副詞句」

questa sapienza ケスタ・サピエンツァ n.f この学問は (地理学は)

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

di ディ prep (限定) ～の

「補語」

grande aiuto. グランデ・アイウト n.m 大きな助け

「目的語」

→ (形容詞句) たいへん役に立つ

僕は人生において多くの真面目な人たちと知り合いになった。そして大人たちの中で長い間暮らしてきた。

Ho conosciuto molte persone importanti nella mia vita, ho vissuto a lungo in mezzo ai grandi.

「動詞句」「目的語」「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」

Ho conosciuto オ・コノシュート 1 単現・完了形(conoscere)v.t (人と) 知り合った

「動詞句」

molte persone モルテ・ペルソーネ pl.n.f たくさんの人たちと

「目的語」

importanti インポルタンティ adj.f.pl(importante) 重要な

「形容詞」

nella mia vita, ネッラ・ミア・ヴィータ adv. 私の人生において

「副詞句」

ho vissuto オ・ヴィスツート 1 単現・完了形(vivere)v.i 暮らした

「動詞句」

a lungo ア・ルンゴ adv. 長い間

「副詞句」

in mezzo ai grandi. イン・メツァ・アイ・グランティ adv. 大人たちの中で

「副詞句」

in mezzo a... 「～の中央で」 grandi グランティ pl.n(grande) 大人たち

フランス語原版では 重要な人たちとではなく → まじめな人たちと

importanti → série セリエ adj.f.pl(série) 真面目な が適当だと思う

僕は彼らと親しく付き合い、ごく近くから彼らをじっと見てきた。

Li ho conosciuti intimamente, li ho osservati proprio da vicino.

「目的語」「動詞句」「副詞」, 「目的語」「動詞句」「副詞句」

Li リ pron.m.pl 彼らと

「目的語」

フランス語原版では 重要な人たちとではなく → まじめな人たちと

I

ho conosciuto オ・コノシュト 1 単現・完了形.m.pl(conoscere) v.t (人と) 知り合った 「動詞句」
 intimamente, インチャメンテ adv. 親しく 「副詞」
 lì リ pron.m.pl 彼らと 「目的語」
 ho osservato オ・オッセルヴァーティ 1 単現・完了形.m.pl(osservare)v.t じっと見てきた 「動詞句」
 proprio プロプリオ adv. まったく 「副詞」
 da vicino. ダ・ヴィチーノ adv. 近くから 「副詞句」

しかし、彼らに対する僕の意見はあまり改善されていない。

Ma l'opinione che avevo di loro non è molto migliorata. Ma 「主語」「動詞句」
 Ma マ conj. しかし
 l'opinione ロピニオーネ n.f 意見は 「主語」
 che ケ pron.f (目的語) ～する 「形容詞節」
 avevo アヴァエヴァ 1 単半(avere)v.t 持った 「動詞」
 di loro ディローロ adv. (限定) 彼らについて 「副詞句」
 non è molto migliorata. ノ・ネ・モルト・ミリアータ 3 単現・受動.f・否定(migliare)
 v.t あまり改善されていない 「動詞句」

頭脳明晰に見える大人の一人に出会うと、僕は、いつも持ち歩いていた最初のデッサンでテストをした。

Quando ne incontravo uno che mi sembrava di mente aperta, tentavo l'esperimento del mio disegno numero uno, che ho sempre conservato.
 「副詞節」, 「動詞」「目的語」「副詞句」
 Quando クワント conj. ～するときに 「副詞節」
 ne ネ pron (di quelle の代用) 大人たちの中の 「間接目的語」
 incontravo インコントラヴァ 1 単半(incontrare)v.t 出会った 「動詞」
 uno ウノ pron 一人に 「直接目的語」
 che ケ pron (同格) ～という 「形容詞節」
 mi ミ pron 僕には 「間接目的語」
 sembrava センブラヴァ 3 単半(sembrare)
 v.i ～のようにみえる 「動詞」
 di mente aperta, ディ・メンテ・アペルタ
 adj. (偏見に) とらわれない柔軟な頭脳の 「補語」
 tentavo テンタヴァ 1 単半(tentare)v.t 試してみた 「動詞」
 l'esperimento レスペリメント n.m 試験を 「目的語」
 del mio disegno numero uno, デル・ミオ・ディセーニョ・ヌーメロ・ウーノ
 adv. (手段) 僕の最初のデッサンで 「副詞句」

I

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

ho sèmpre conservato. オ・センプレ・コンセルヴァート 1 単現・完了形(conservare)

v.t いつも持ち歩いていた

「動詞句」

フランス語原版では 柔軟な頭脳ではなく→ 頭脳明晰な

di mente aperta → di mente lúcida の方が原版に近いが、イタリア語版は、大人の常識に捕らわれない柔軟な発想を追い求める作者の気持ちを表していると思う。

本当にどれほど理解力があるかを知ろうと思ったのだ。

Cercavo di capire così se era veramente una persona comprensiva. 「動詞句」「目的語」

Cercavo di +不定詞 チェルカヴォ・ディ 1 単半・試行(cercare+不定詞)

v. ～しようとした

「動詞句」

capire カピレ 不定詞 v.t 知る、理解する

「動詞句」

così se コーシ・セ conj. どれほど～かどうかということ

「目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

veramente ヴェラマンテ adv. 本当に

「副詞」

una persona comprensiva. ウナ・ペルソナ・コンプレンスィヴァ n.f 理解力のある人

「補語」

しかし、男でも女でも、誰であろうと、僕に答えた：「それは帽子だね」

Ma, chiunque fosse, uòmo o dòнна, mi rispondeva: “È un cappello”.

Ma 「副詞節」「主語」「間接目的語」「動詞」：《「動詞」「補語」》

Ma, マ conj. しかし

chiunque チンクェ pron 誰でも～する

「副詞節」

fosse, フォッセ 接・3 単半・仮定(essere)v.i ～だった

「動詞」

uòmo o dòнна, ウォモ・オ・ドーナ n. 男でも女でも

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

rispondeva: リスポンデヴァ 3 単半(rispondere)v.i 答えた

「動詞」

“È エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

un cappello”. ウン・カペッロ n.m 帽子

「補語」

そしてそういう時には、僕は、ボア大蛇についても、原始林についても、星についても話さなかった。

E allóra non parlavo di bòà, di forèste primitive, di stéлле.

E 「副詞」「動詞句」「間接目的語」

E エ conj. そして

allóra アッローラ adv. そういう時には

「副詞」

non parlavo ノン・パラヴォ 1 単半・否定(parlare)v.i (di について) 話さなかった 「動詞句」

フランス語原版では 柔軟な頭脳ではなく→ 頭脳明晰な

I

di bòa, ディ・トア adv. ボア大蛇について 「間接目的語」
 di forèste primitive, ディ・フォルステ・プリミティーヴェ adv. 原始林について 「間接目的語」
 forèste フォルステ pl.n.f(forèsta) 森林 primitive プリミティーヴェ adj.f.pl(primitiva) 原始の
 di stéлле. ディ・スレル adv. 星について 「間接目的語」
 stéлле スレル pl.n.f(stélla) 星

僕は相手のレベルまでかがみこんで、ブリッジやゴルフや政治やネクタイについて話した。

Mi abbassavo al suo livèllo. Gli parlavo di bridge. di golf. di política. di cravatte.

「動詞句」「副詞句」 | 「間接目的語」「動詞」「間接目的語」

Mi abbassavo ミ・アッパッサーヴォ 1 単半(abbassarsi)v.pr かがみこんだ 「動詞句」
 al suo livèllo. アル・スーオ・リヴェッロ adv. 相手のレベルまで 「副詞句」
 Gli リ pron 彼には 「間接目的語」
 parlavo パルラーヴォ 1 単半(parlare) v.i (di について) 話した 「動詞」
 di bridge, ディ・ブリジ adv. (カード遊びの) ブリッジについて 「間接目的語」
 di golf, ディ・ゴルフ adv. ゴルフについて 「間接目的語」
 di política, ディ・ポリティカ adv. 政治について 「間接目的語」
 di cravatte. ディ・クラヴァッテ adv. ネクタイについて 「間接目的語」
 cravatte クラヴァッテ pl.n.f(cravatta) ネクタイ

そして彼は、これほど感性の優れた男に出会ったことに満足するのだった。

E lui era tutto soddisfatto di avère incontrato un uòmo tanto sensibile.

E 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」

E エ conj. そして
 lui ルーイ pron 彼は 「主語」
 era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった 「動詞」
 tutto soddisfatto トゥット・ツッデイスファット adj. まったく満足した 「補語」
 di +不定詞・完了形 ディ adv. (原因) 〜したことで 「副詞句」
 avère incontrato アヴェーレ・インコントラート 不定詞・完了形(incontrare)
 v.t 出会った 「動詞句」
 un uòmo ウン・ウオーモ n.m 男に 「目的語」
 tanto sensibile. タント・センシービレ adj. それほど感性の優れた 「形容詞句」

II

II

このように僕は、サハラ砂漠で僕の飛行機に事故が起こった 6 年前まで、相談できる人が誰もいない状態で一人ぼっちで過ごしていた。

Così ho trascorso la mia vita sólo, senza nessuno cui poter parlare, fino a sei anni fa quando ebbi un incidente col mio aeroplano, nel deserto del Sahara.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Così コシ adv. このように 「副詞」

ho trascorso オ・トラスコール 1 単現・完了形(trascorrere)v.t (時を) 過ごした 「動詞句」

la mia vita ラ・ミア・ヴィータ n.f 僕の人生 「目的語」

sólo, ソーロ adv. 一人だけで 「副詞」

senza nessuno センツァ・ネッスーノ adv. 誰もなしで 「副詞句」

cui ケーイ pron (間接目的語) ～する 「形容詞節」

poter parlare, ポ・テール・パ・ルラーレ 不定詞 v.i 相談することができる 「動詞句」

fino a フィーノ・ア prep (時間) ～まで 「副詞句」

sei anni fa セイ・アンニ・ファ adv. 6 年前 「副詞句」

quando クワンド conj. ～するとき 「副詞節」

ebbi エッビ 1 単遠(avére)v.t ～があった 「動詞」

un incidente ウン・インチデンテ n.m 事故が 「目的語」

col mio aeroplano, コル・ミオ・アエロプレーノ adv. (限定) 僕の飛行機に 「副詞句」

nel deserto del Sahara. ネル・デ・ゼールト・デル・サハラ adv. サハラ砂漠で 「副詞句」

何かがエンジンの中で壊れた。整備工も乗客もいなかったのもので、僕は一人で故障を修理しようと準備した。

Qualche cosa si era rotta nel motore, e siccome non avevo con me né un meccanico, né dei passeggeri, mi accinsi da sólo a cercare di riparare il guasto.

「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「副詞節」, 「動詞句」「副詞句」「動詞句」「目的語」

Qualche cosa クワルク・コーサ n.f (= qualcosa) 何かが 「主語」

si era rotta シ・エラ・ロッタ 3 単半・完了形.f(rompersi)v.pr 壊れた 「動詞句」

nel motore, ネル・モトーレ adv. エンジンの中で 「副詞句」

e エ conj. そして

siccome シッコーメ conj. ～なので 「副詞節」

non avevo ノン・アヴェーヴォ 1 単半・否定(avére)v.t ～がいなかった 「動詞句」

con me コン・メ adv. 僕と一緒に 「副詞句」

né un meccanico, ネ・ウン・メッカーニコ n.m 整備工も～ない 「目的語」

né dei passeggeri, ネ・デ・イ・パッセジエーリ pl.n.m 乗客も～ない 「目的語」

II

mi accinsi ミ・アチンシ 1 単遠・準備(accingersi a+不定詞)

v.pr ~する準備をした

「動詞句」

da sólo ダ・ソーロ adv. 一人で

「副詞句」

a cercare di riparare ア・チェルカーレ・ディ・リパラーレ 不定詞・努力(cercare di+不定詞)

v.t 修理しようと努める

「動詞句」

il guasto. イル・グワスト n.m 故障を

「目的語」

飲み水が 1 週間分しかなかったの、生きるか死ぬかという問題だった。

Era una questione di vita o di morte, perché avevo acqua da bere soltanto per una settimana.

「動詞」「補語」, 「副詞節」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

una questione ウナ・クェスチオーネ n.f 問題

「補語」

di vita ディ・ヴィータ adj. 生の

「形容詞句」

o オ conj. または

di morte, ディ・モルテ adj. 死の

「形容詞句」

perché ヘルケ conj. ~なので

「副詞節」

avevo アヴェーヴォ 1 単半(avere)v.t ~があった

「動詞」

acqua アックワ n.f 水

「目的語」

da bere ダ・ベール adj. (目的) 飲むための

「形容詞句」

soltanto ソルタント adv. ~だけ、~しか

「副詞」

per una settimana. ヘル・ウナ・セッチマーナ

adv. (期間) 1 週間

「副詞句」

最初の夜、僕はあらゆる人の住居から 1000 マイル離れた、砂の上で眠った。

La prima notte, dormii sulla sabbia, a mille miglia da qualsiasi abitazione umana.

「副詞句」, 「動詞」「副詞句」

La prima notte, ラ・プリマ・ノッテ n.f 最初の夜

「副詞句」

dormii トルミイ 1 単遠(dormire)v.i 眠った

「動詞」

sulla sabbia, スッラ・サビィア adv. 砂の上で

「副詞句」

a mille miglia ア・ミッレ・ミリア adv. 1000 マイルのところの

「副詞句」

da ダー prep ~から

「副詞句」

qualsiasi abitazione クォルシィーア・シ・アビタツィオーネ n.f どんな住居

「目的語」

umana. ウマーナ adj.f(umano) 人の

「形容詞」

II

難破して、筏に乗って大海の真ん中で見捨てられた船員より、僕はもっと孤立していた。

Èro più isolato che un marinaio abbandonato in mezzo all'oceano, su una zattera, dopo un naufragio. 「動詞」「補語」

Èro エロ 1 単半(estar)v.i ~だった 「動詞」

più isolato ピウ・イゾラート adj. もっと孤立した 「補語」

che ケ conj. (比較) ~よりも 「副詞句」

un marinaio ウン・マリナーイオ n.m 船員 「目的語」

abbandonato アバントナート adj. 見捨てられた 「形容詞」

in mezzo all'oceano, イン・メツォ・アッロツェアノ

adv. 大海の真ん中で 「副詞句」

su una zattera, ス・ウナ・ツァーテラ adv. 筏の上で 「副詞句」

dopo トーポ prep ~の後で 「副詞句」

un naufragio. ウン・ナウフラージョ n.m 難破 「目的語」

夜明けに奇妙な可愛らしい声で起こされた時の僕の驚きを、君たちは想像できるだろう：

「どうか、僕に羊を描いて！」

Potete immaginare il mio stupóre di essere svegliato all'alba da una strana vocetta: "Mi disegni, per favore, una pècora?"

「動詞句」「目的語」：《「間接目的語」「動詞」「嘆願」「直接目的語」》

Potete immaginare ポテテ・インマジナレ 2 複現・当然(potere+不定詞)

v.t ~を想像するのが当然だ、当然~を想像するだろう 「動詞句」

il mio stupóre イル・ミオ・ストゥポーレ n.m 僕の驚きを 「目的語」

stupóre ストゥポーレ n.m 驚き

di +不定詞 ディ adj. (原因・同格) ~する 「形容詞句」

essere svegliato エッレ・ズウェリアート 不定詞・受動(svegliare)

v.t 起こされた 「動詞句」

all'alba アッラルハ adv. 夜明けに 「副詞句」

da una strana vocetta: ダ・ウン・ストレナ・ウ・オチェッタ

adv. (動作主) 奇妙な可愛らしい声によって 「副詞句」

vocetta ウ・オチェッタ n.f (vóce+etta 親愛) 可愛い声

“Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

disegni, ディヱニ 命・3 単現(disegnare)v.t 描いてください 「動詞」

per favore, ペル・ファヴォレ adv. どうか 「嘆願」

una pècora? ウナ・ペーコラ n.f 羊を 「直接目的語」

II

「何？」

“Còsa?”

「応答」

“Còsa?” コーサ n.f 何？、え？

「応答」

「僕に羊を描いて」

“Disegnami una pècora”.

「動詞句」「目的語」

“Disegnami デイゼニャ・ミ 命・2 単現(disegnare+mi)v.t 僕に描いて
una pècora”. ウナ・ペーコーラ n.f 羊を

「動詞句」

「目的語」

僕は、まるで雷に撃たれたかのように飛び起きた。

Balzai in piedi come fossi stato colpito da un fulmine.

「動詞句」「副詞句」

Balzai バルツァイ 1 単遠(balzare)v.i 飛び上がった

「動詞」

in piedi イン・ピエーディ adv. 立って

「副詞句」

→ 飛び起きた

come コーメ conj. どのように

「副詞節」

fossi stato colpito フォッシ・スタート・コルピト 接・1 単半・完了形・假定(colpire)

v.t 打たれた

「動詞句」

da un fulmine. ダ・ウン・フルミネ adv. (動作主) 雷によって

「副詞句」

僕は何度も目をこすって、注意深くあたりを見た。

Mi strofinai gli occhi più volte guardandomi attentamente intórno.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」

Mi ミ pron 僕の

「間接目的語」

strofinai ストロフィナイ 1 単遠(strofinare)v.t こすった、拭いた

「動詞」

gli occhi リ・オッキ pl.n.m(occhio) 目を

「直接目的語」

più volte ピー・ウ・ヴォルテ adv. 何度も、しばしば

「副詞句」

guardandomi グワルダント・ミ ジェルンディオ(guardarsi)v.pr 見つめながら

「副詞句」

attentamente アテンタメンテ adv. 注意深く、慎重に

「副詞」

intórno. イントルノ adv. あたりを

「副詞」

すると、とても真剣に僕を見つめている非常に変わった少年が見えた。

E vidi una straordinaria personcina che mi stava esaminando con grande serietà.

E 「動詞」「目的語」

E エ conj. そして

vidi ヴィディ 1 単遠(vedere)v.t 見えた

「動詞」

una straordinaria personcina ウナ・ストラオルディナリア・ペルソナ n.f 非常に変わった少年「目的語」

II

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 stava esaminando スターヴァ・エザ・ミント 3 単半・進行形・時制の一致(esaminare)
 v.t 調べている 「動詞句」
 con grande serietà. コン・グランテ・セリエタ adv. 非常に真剣に 「副詞句」

これが後になって上手く描くことができた一番良い彼の肖像画だ。

Qui potete vedere il miglior ritratto che riuscii a fare di lui, più tardi.

「副詞」「動詞句」「目的語」
 Qui クイ adv. ここに 「副詞」
 potete vedere ポテテ・ヴェデーレ 2 複現・可能(potére+不定詞)
 v.t ～を見ることができる 「動詞句」
 il miglior ritratto イル・ミオル・リトラット n.m (最上級) 一番良い肖像画 「目的語」
 che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 riuscii a fare リウッシィ・ア・ファーレ 1 単遠・成功(riuscire a+不定詞)
 v.t 上手く描くことができた 「動詞句」
 di lui, ディ・ルイ adj. 彼の 「形容詞句」
 più tardi. ピウ・タルテ adv. 後になって 「副詞句」

しかし僕のデッサンは、本人に比べるとずっと魅力に欠けている。

Ma il mio disegno è molto meno affascinante del modello. Ma 「主語」「動詞」「補語」

Ma マ conj. しかし

il mio disegno イル・ミオ・ディセーニョ n.m 僕のデッサンは 「主語」
 è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」
 molto meno affascinante モルト・メーノ・アッフアシンンテ adj. ずっと魅力に欠けた 「補語」
 del modello. テル・モデッロ adv. (比較) 本人よりも 「副詞句」

しかしそれは僕が悪いのではない。

La colpa non è mia, però.

「主語」「動詞句」「補語」 però

La colpa ラ・コルパ n.f 責任は 「主語」

non è ノ・ネ 3 単現・否定(essere)v.i ～でない 「動詞句」

mia, ミア pron.f 私のもの 「補語」

però. ペロ conj. しかし

II

僕は 6 歳の時に大人の人たちに、絵描きのキャリアについて落胆させられたので、外側のボア大蛇と内側のボア大蛇以外は何もデッサンを学ばなかった。

Con lo scoraggiamento che hanno dato i grandi, quando avevo sei anni, alla mia carriera di pittore, non ho mai imparato a disegnare altro che serpenti boa dal di fuori o serpenti boa dal di dentro.

「副詞句」, 「動詞句」 「間接目的語」

Con lo scoraggiamento コン・ロ・スコラジヤメント adv. (原因) 失意のために 「副詞句」
che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

hanno dato アンノ・ダート 3 複現・完了形(dare)v.t 与えた 「動詞句」

受動態に翻訳する

i grandi, イ・グランディ pl.n.m 大人の人たちが 「主語」

quando クワンド conj. ～するときに 「副詞節」

avevo アヴェーヴォ 1 単半・時制の一致(avére)

v.t (年齢が) ～である 「動詞」

sei anni, セイ・アンニ pl.n.m 6 歳 「目的語」

alla mia carriera アッ・ミア・カリエーラ adv. キャリアについて 「副詞句」

di pittore, ディ・ピットーレ adj. 絵描きの 「形容詞句」

non ho mai imparato ノ・ノ・マイ・インパレート 1 単現・完了形・否定(imparare)

v.t(+a+不定詞 ～することを) まったく学ばなかった 「動詞句」

a disegnare ア・ディセニャーレ 不定詞 v.t デッサンする 「動詞句」

altro che アルトロ・ケ adv.(non...altro che) ～以外は 「間接目的語」

serpenti boa セルペンティ・ボア pl.n.m ボア大蛇 「目的語」

boa ボア n.m (無変) ボア

dal di fuori ダル・ディ・フォーリ adj. 外からの 「形容詞句」

o オ conj. または

serpenti boa セルペンティ・ボア pl.n.m ボア大蛇 「目的語」

dal di dentro. ダル・ディ・デントロ adj. 中からの 「形容詞句」

それで、驚きのあまり飛び出しそうになった目で、僕は突然の出現者をじっと見つめた。

Óra guardavo fisso l'improvvisa apparizione con gli occhi fuori dall'orbita per lo stupore.

「副詞」 「動詞」 「副詞」 「目的語」 「副詞句」

Óra オーラ adv. 今、それで 「副詞」

guardavo グワルターヴォ 1 単半(guardare)v.t 見つめた 「動詞」

fisso フィツ adv. じっと 「副詞」

l'improvvisa apparizione リンプ・ロヴィーザー・アッパ・リツィオーネ n.f 突然の出現者を 「目的語」

improvvisa インプ・ロヴィーザー adj.(improvviso) 突然の、思いがけない

apparizione アッパ・リツィオーネ n.f 出現、出現者

II

con gli occhi コン・リ・オッキ adv. 両目で 「副詞句」

fuori dall'orbita フォーリ・ダッ・ッロー・ルビタ adj. 眼窩から飛び出した 「形容詞句」

fuori フォーリ adv. 外に orbita オール・ビタ n.f (解) 眼窩

per lo stupore. ペル・ロ・スツポレ adv. (原因) 驚きのために 「副詞句」

僕は人が住むあらゆる地域から 1000 マイルも離れたところにいたことを、君たちは考えて欲しい。しかし、その男の子は、砂原の真ん中で道に迷ったようには見えなかったし、疲労や、空腹や、喉の渇きや恐怖のために倒れそうな様子もなかった。

Dovete pensare che mi trovavo a mille miglia da una qualsiasi regione abitata, eppure il mio ométto non sembrava smarrito in mezzo alle sabbie, né tramortito per la fatica, o per la fame, o per la sete, o per la paura.

「動詞句」「目的語」, eppure 「主語」「動詞句」「補語」

Dovete pensare トヴエテ・ペンサーレ 2 複現・懇願(dovére+不定詞)v.t 考えて欲しい「動詞句」

che ケ conj. ～ということ 「目的語」

mi trovavo ミ・トロヴァーヴォ 1 単半(trovarsi)v.pr (場所に) いた 「動詞句」

a mille miglia ア・ミッレ・ミリア adv. 1000 マイルの所に 「副詞句」

mille ミッレ adj. 1000 の miglia ミリア pl.n.m(miglio) マイル

da una qualsiasi regione ダ・ウナ・クワルシアシ・レジョーネ

adv. どんな地域から

「副詞句」

qualsiasi クワルシアシ adj. どんな～でも regione レジョーネ n.f 地域

abitata, アビタータ adj.f(abitato) 人の住む 「形容詞」

eppure エップレ conj. しかし、だが

il mio ométto イル・ミオ・オメット n.m その男の子は 「主語」

non sembrava ノン・センブラヴァ 3 単半・否定(sembrare)v.i ～のように見えなかった「動詞句」

smarrito スマリート adj. 道に迷った 「補語」

in mezzo alle sabbie, イン・メツァ・アレ・サーツビエ adv. 砂原の真ん中で 「副詞句」

mèzzo メツァ n.m 真ん中 sabbie サーツビエ pl.n.f(sabbia)砂、([複]で) 砂原、砂浜

né tramortito ネ・トラモルチート adj. 倒れていない 「補語」

né ネ conj. 否定の連続 tramortito トラムルチート adj. 気絶した、卒倒した

per la fatica, ペル・ラ・ファティーカ adv. 疲労のために 「副詞句」

fatica ファティーカ n.f 疲労、疲れ、苦勞

o オ conj. または

per la fame, ペル・ラ・ファーム adv. 空腹のために 「副詞句」

o オ conj. または

per la sete, ペル・ラ・セテ adv. のどの渇きのために 「副詞句」

o オ conj. または

II

per la paura. ヘル・ラ・パウラ adv. 恐怖のために

「副詞句」

彼のどこを見ても、あらゆる人間の住居から 1000 マイルも離れた砂漠の真ん中で途方に暮れている子供という印象はなかった。

Niente di lui mi dava l'impressione di un bambino sperduto nel deserto, a mille miglia da qualsiasi abitazione umana. 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Niente di lui ニエンテ・ディ・ルーイ pron 彼の何も～ない 「主語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

dava ダヴァ 3 単半(dare)v.t (否定分で) 与えなかった 「動詞」

l'impressione リンプレシオーネ n.f 印象を 「直接目的語」

di un bambino ディ・ウン・バンビーノ adj. 子供の 「形容詞句」

sperduto スペルトゥート adj. とまどった、途方に暮れた 「形容詞」

nel deserto, ネル・デゼールト adv. 砂漠で 「副詞句」

a mille miglia ア・ミッレ・ミリア

adv. 1000 マイルの所に 「副詞句」

mille ミッレ adj. 1000 の miglia ミリア pl.n.m(miglio) マイル

da qualsiasi abitazione umana. ダ・クワルクエシ・アビタチオーネ・ウマーナ

adv. どんな人間の住居から 「副詞句」

qualsiasi クワルクエシ adj. どんな～でも abitazione アビタチオーネ n.f 住居

umana ウマーナ adj.f(umano) 人間の

やっと話せるようになって、彼に尋ねた：「だけど、こんな所で何をしているの？」

Quando finalmente potei parlare gli domandai: “Ma che cosa fai qui?”

「副詞節」, 「間接目的語」「動詞」: 《Ma 「目的語」「動詞」「副詞」》

Quando クワント conj. ～するとき 「副詞節」

finalmente ファイナルメンテ adv. やっと、ついに 「副詞」

potei parlare ポティ・パルラレ 1 単遠・可能(potére+不定詞)v.i 話せた 「動詞句」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

domandai: ドマンダイ 1 単遠(domandare)v.t 尋ねた 「動詞」

“Ma マ conj. だけど、しかし

che cosa ケ・コサ n.f 何を 「目的語」

fai ファイ 2 単現(fare)v.t している 「動詞」

qui?” クイ adv. ここで 「副詞」

II

彼は返事をしないまま、まるでとても重要なことのように繰り返した：「どうか、僕に羊の絵を描いてちょうだい...」

Con tutta rispósta, égli ripeté lentaménte còme si trattasse di còsa di molta importanza:

“Per piacere, disegnami una pècora...”

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」: 《「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」》

Con tutta rispósta, コン・トゥッタ・リスポースタ adv. 返事をしないままに

「副詞句」

con tutto... 「～を着けたまま」 → すべての返事を持ったままで

égli エリ pron 彼は

「主語」

ripeté リペテ 3 単遠(ripètere)v.t 繰り返した

「動詞」

lentaménte レンタメンテ adv. ゆっくり

「副詞」

còme si +接続法 コメ・シ conj. まるで～であるかのように

「副詞節」

trattasse トラッタセ 接・3 単半(trattare)v.i (di を) 扱う、(～に) 触れる

「動詞」

di còsa デイ・コーサ adv. ことに

「間接目的語」

di molta importanza: デイ・モルタ・インポルタンツァ

adj. とても重要な

「形容詞句」

“Per piacere, ペル・ピアチェレ adv. どうか、お願いします

「副詞句」

disegnami デイゼニャ・ミ 依頼(disegnare+mi)v.t 僕に描いてください

「動詞句」

una pècora...” ウナ・ペーコーラ n.f 羊を

「目的語」

神秘が深くて衝撃的な時には、人は敢えて逆らおうとはしないものだ。

Quando un mistèro è così sovraccàrico, non si osa disubbidire.

「副詞節」, 「動詞句」

Quando クワント conj. ～するときに

「副詞節」

un mistèro ウン・ミステーロ n.m 神秘が

「主語」

è エ 3 単現(èssere)v.i ～である

「動詞」

così sovraccàrico, コシ・ゾヴラッカーリコ adj. それほど過重の

「補語」

non si osa disubbidire. ノン・シ・オサ・デイズビディレ 3 単現・意図・否定(osare+不定詞)

v.i 敢えて逆らわない

「動詞句」

どんなに馬鹿げたことに見えても、僕はすべての人の居住地から 1000 マイルも離れ、さらに死の危機に瀕した状況で、ポケットから便箋を 1 枚と万年筆を取り出した。

Per assurdo che mi sembrasse, a mille miglia da ogni abitazione umana, e in pericolo di morte, tirai fuori dalla tasca un foglietto di carta e la penna stilografica.

「副詞節」, 「副詞句」 「動詞」 「副詞句」 「目的語」

Per assurdo che ペル・アッスルト・ケ conj. どんなに馬鹿げて～しても

「副詞節」

assurdo アッスルト adj. ばかげた

per + 形容詞・副詞 +(che +) 接続法 「どんなに～であるとしても、～であつても」

II

mi ミ pron 僕にとって	「間接目的語」
sembrasse, センブラッセ 接・3 単半(sembrare)	
v.i 〜に思われた	「動詞」
a mille miglia ア・ミレ・ミリア adv. 1000 マイルのところに	「副詞句」
da ogni abitazióne umana, ダ・オンニ・アビタチオーネ・ウマナ	
adv. すべての人の居住地から	「副詞句」
e エ conj. そして	
in pericolo イン・ペリーコロ adv. 危機に瀕して	「副詞句」
di mòrte, ディ・モールテ adj. 死の	「形容詞句」
tirai チライ 1 単遠(tirare)v.t 取り出した	「動詞」
fuòri フォーリ adv. 外に	「副詞」
dalla tasca ダッラ・タスカ adv. ポケットから	「副詞句」
un foglietto di carta ウン・フォリエット・ディ・カルタ n.m 便箋を 1 枚	「目的語」
e エ conj. そして	
la penna stilografica. ラ・ペンナ・スチログラフィカ n.f 万年筆	「目的語」
per + 形容詞・副詞 +(che +) 接続法 譲歩の表現	
per male che vada 悪くても (male は副詞)	
per abile che sia どんなに有能だろうと	
Per poco che sia, è già qualcòsa. いかに僅かであれ、すでに相当なものだ。	
per quanto io sappia. 私の知る限りでは	
Per quanto sia grande, è ancóra un bambino. 柄は大きくとも、まだ子供だ。	

しかし次に、僕は地理学と歴史と算数と文法を集中的に勉強したことを思い出したので、少し不機嫌そうに、絵を描くことは出来ないと言った。彼は答えた。

Ma pòi ricordai che i miei studi si erano concentrati sulla geografia, sulla stòria, sull'aritmetica e sulla grammàtica e gli dissi, un po' di malumóre, che non sapevo disegnare. Mi rispose:

Ma 「副詞」「動詞」「目的語」 e 「間接目的語」「動詞」「副詞句」「直接目的語」
「間接目的語」「動詞」

Ma マ conj. しかし	
pòi ポーイ adv. 次に	「副詞」
ricordai リコルダイ 1 単遠(ricordare)v.t 思い出した	「動詞」
che ケ conj. 〜ということを	「目的語」
i miei studi イ・ミエイ・ストゥディ pl.n.m 僕の勉強は	「主語」
si erano concentrati シ・エラノ・コンチェントラーティ 3 複半・完了形(concentrarsi)	
v.pr 集中していた	「動詞句」

per + 形容詞・副詞 +(che +) 接続法 譲歩の表現

II

sulla geografia, スッラ・ジ・オグラフィーア adv. 地理学に

「間接目的語」

sulla stòria, スッラ・ストーリア adv. 歴史に

「間接目的語」

sull'aritmetica ス・ラリトメーチカ adv. 算数に

「間接目的語」

e エ conj. そして

sulla grammatica スッラ・グラマーチカ adv. 文法に

「間接目的語」

e エ conj. それで

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

dissi, ディッシ 1 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

un po' di malumóre, ウンポ・ディ・マルウモレ adv. 少し不機嫌そうに

「副詞句」

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

non sapevo disegnare. ノン・サペーヴォ・ディセニャレ 1 単半・可能・否定(sapére+不定詞)

v.t 絵を描けない

「動詞句」

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

rispose: リスポーゼ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた

「動詞」



II

「問題ないよ！僕にヒツジを描いて…」

“Non importa. Disegnami una pècora...”

《「動詞句」 | 「動詞句」「目的語」》

“Non importa. ノン・インポルタ 3 単現・否定(importare)v.i 重要ではない、問題ない「動詞句」

Disegnami デイゼニャ・ミ 命・2 単現(disegnare)v.t 僕に描いてちょうだい 「動詞句」

una pècora...” ウナ・ペーコラ n.f 羊を 「目的語」

僕は一度も羊を描いたことがなかったので、何度も描いたことのある絵の中で、外側から見たボア大蛇の絵を彼に描いてあげた。そして、彼が答えた事を聞いて驚いた：

Non avevo mai disegnato una pècora e allora feci per lui uno di quei disegni che avevo fatto tante volte: quello del boa dal di dentro; e fui sorpreso di sentirmi rispondere:

「動詞句」「目的語」 e 「副詞」「動詞」「副詞句」「目的語」；「目的語」

e 「動詞句」「副詞句」

Non avevo mai disegnato ノン・アヴェーヴァ・マ・ア・デイゼニャート 1 単半・完了形・否定

v.t 一度も描いたことがなかった

「動詞句」

una pècora ウナ・ペーコラ n.f 羊を

「目的語」

e e conj. そして

allora アッローラ adv. それで

「副詞」

feci フェチ 1 単遠(fare)v.t (絵を) 描いた

「動詞」

per lui ペル・ルーイ adv. 彼のために

「副詞句」

uno di quei disegni ウノ・ディ・ケイ・デイゼーニ n.m それらの絵の 1 つを

「目的語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

avevo fatto アヴェーヴァ・オ・ファット 1 単半・完了形(fare)

v.t (絵を) 描いたことがある

「動詞句」

tante volte: タンテ・ヴォルテ adv. 何度も

「副詞句」

quello ケッロ pron (disegno の代用) 絵を

「目的語」

del boa dal di dentro; デル・ボア・ダル・デイ・デントロ

adj. 内部から見たボアの

「形容詞句」

dal di fuori ダル・デイ・フォーリ 「外側から見た」の間違いだろう

e e conj. そして

fui sorpreso フーイ・ソルプレゾ 1 単遠・受動(sorprendere)v.t (di に) 驚いた

「動詞句」

di +不定詞 デイ adv. (原因) ～したことに

「副詞句」

sentirmi センチル・ミ 不定詞・知覚動詞 v.t 僕に～するのを聞く

「動詞句」

rispondere: リスポンデレ 不定詞・王子様の動作 v.i 答える

「補語」

フランス語版では 中の見えないボア大蛇の...

Celui du boa fermé. 閉じたボア大蛇の絵

フランス語版では 中の見えないボア大蛇の...

II



「違う、違う！ボア大蛇に飲み込まれた象なんて欲しくないよ。ボア大蛇はすごく危険だし、象はとても場所ふさぎだよ」

“No, no, no! Non voglio l'elefante dentro il boa. Il boa è molto pericoloso e l'elefante molto ingombrante.

《「応答」 | 「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」 e 「主語」「補語」》

“No, no, no! ノ・ノ・ノ adv. 違う、違う 「応答」
 Non voglio ノ・ボ・リォ 1 単現・否定(volére)v.t. ～を欲しくない 「動詞句」
 l'elefante レ・ファンテ n.m 象を 「目的語」
 dentro デントロ prep. ～の中にいる 「副詞句」
 il boa. イル・ボア n.m ボア大蛇 「目的語」
 Il boa イル・ボア n.m ボア大蛇は 「主語」
 è エ 3 単現(essere)v.i. ～である 「動詞」
 molto pericoloso モルト・ペ・リコロソ adj. とても危険な 「補語」
 e エ conj. そして
 l'elefante レ・ファンテ n.m 象は 「主語」
 molto ingombrante. モルト・インゴンブランテ adj. とても場所ふさぎの 「補語」

「僕が住んでいる所は、本当にすごく小さいんだ。羊が必要なんだよ：僕に羊を描いて」

Dove vivo io tutto è molto piccolo. Ho bisogno di una pecora: disegnamì una pecora.

《「主語」「動詞」「副詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」：「動詞句」「目的語」》

Dove トゥヴェ adv. ～する場所は 「主語」
 vivo ヴィヴォ 1 単現(vivere)v.i. 住んでいる 「動詞」
 io イォ pron 僕が 「主語」
 tutto トゥット adv. まったく 「副詞」
 è エ 3 単現(essere)v.i. ～である 「動詞」
 molto piccolo. モルト・ピッコロ adj. とても小さい 「補語」
 Ho オ 1 単現(avére)v.t. ～がある 「動詞」
 bisogno ビズーニョ n.m 必要、必要性 「目的語」
 di una pecora: ディ・ウナ・ペーコーラ adj. 羊の 「形容詞句」
 disegnamì ディゼニャ・ミ 命・2 単現(disegnare+mi)v.t. 僕に描いてちょうだい 「動詞句」
 una pecora. ウナ・ペーコーラ n.f 羊を 「目的語」

II

僕はデッサンをした。

Feci il diségnò.

「動詞」「目的語」

Feci フェチ 1 単遠(fare)v.t ーをした

「動詞」

il diségnò. イル・ディ・エシニョ n.m デッサンを

「目的語」



それをじっと見つめてから、彼は言った。「だめだよ！これは病気だよ。

別の羊を描いて！」

Lo guardò attentaménte, e pòi disse: “No! Quésta pècora è malaticcia. Fammene un'altra”.

「目的語」「動詞」「副詞」 e 「副詞」「動詞」:

《「応答」 | 「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「目的語」》

Lo ロ pron それを

「目的語」

guardò グワルト 3 単遠(guardare)v.t 見つめた

「動詞」

attentaménte, アテンタメンテ adv. 注意深く

「副詞」

e エ conj. そして

pòi ポーイ adv. それから

「副詞」

disse: ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

“No! ノ adv. だめだ、違う！

「応答」

Quésta pècora ケスタ・ペーコラ n.f この羊は

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ーである

「動詞」

malaticcia. マラティッチャ adj.f(malaticcio) 病弱な

「補語」

Fammene ファン・メ・ネ 命・2 単現(fare+me+ne)v.t 僕に描いて

「動詞句」

ne は「pècora の」

un'altra”. ウアルトラ pron.f 別のを

「目的語」

僕は、別のデッサンをした。

Feci un altro diségnò.

「動詞」「目的語」

Feci フェチ 1 単遠(fare)v.t ーをした

「動詞」

un altro diségnò. ウン・アルトロ・ディ・エシニョ n.m 別のデッサンを

「目的語」

僕の友達は、僕に向かって寛大げにやさしく微笑んだ。

Il mio amico mi sorrise gentilménte, con indulgènze.

II

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

Il mio amico イル・ミオ・アミーコ n.m 僕の友達は 「主語」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 sorri^{se} ソーセ 3 単遠(sorrìdere)v.i 微笑んだ 「動詞」
 gentilmén^{te}, ジェンティルメンテ adv. 優しく 「副詞」
 con indulgénza. コン・イントゥルジエンツァ adv. (様態) 寛大げに 「副詞句」

「よく見たら分るでしょう？」と、彼は言った。「おとなしい羊じゃないってことが」

“Lo puoi vedere da te”, disse, “che quést^a non è una pècora.

《「目的語」「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」, 《「補語」》

“Lo ロ pron それを 「目的語」
 puoi vedere プォイ・ウエデーレ 2 単現・推量(potére+不定詞)v.t 分かるだろう 「動詞句」
 da te”, ダ・テ adv. 君自身で 「副詞句」
 disse, ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 “che ケ pron (同格) ～ということ 「補語」
 quést^a ケスタ pron これは 「主語」
 non è ノ・ネ 3 単現・否定(èssere)v.i ～でない 「動詞」
 una pècora. ウァ・ペーコラ n.f (おとなしい) 羊 「補語」
 羊の種類 :
 pècora ペーコラ n.f おとなしい羊、雌羊 (牝羊)、メンヨウ
 ariète アリエーテ n.m 雄羊 (牡羊)、(去勢していない気の荒い) 羊
 arieti castrati アリエーティ・カストラーティ pl.n.m 去勢雄羊
 montone モントーネ n.m 雄羊、マトン、羊肉
 agnèllo アンニエッロ n.m (1 歳以下の) 子羊、子羊の肉、ラム

「それは気の荒い羊だよ。つのがあるから」

È un ariète. Ha le còrna”. 《「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」》
 È エ 3 単現(èssere)v.i ～である 「動詞」
 un ariète. ウン・アリエーテ n.m 雄羊、(去勢していない気の荒い) 羊 「補語」
 Ha ア 3 単現(avére)v.t ～がある 「動詞」
 le còrna”. レ・コルナ pl.n.f(còrno) つの 「目的語」

II



僕は、3 回目になる、デッサンをやり直したが、前作と同様に拒否された。

Rifeci il disegno una terza volta, ma fu rifiutato come i precedenti.

「動詞」「目的語」「副詞句」,ma「動詞句」「副詞句」

Rifeci リフェチ 1 単遠(rifare)v.t やり直した

「動詞」

il disegno イル・ディゼンニョ n.m デッサンを

「目的語」

una terza volta, ウナ・テルサ・ヴァルタ adv. 3 回目に

「副詞句」

ma マ conj. しかし

fu rifiutato フ・リフィウタート 3 単遠・受動(rifiutare)v.t 拒否された

「動詞句」

come i precedenti. コーメ・イ・プレチェデンティ adv. 前作と同様に

「副詞句」

「これは年を取りすぎているよ。僕は長生きする羊が欲しいんだ」

“Questa è troppo vecchia. Voglio una pecora che possa vivere a lungo”.

《「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」》

“Questa ケスタ pron.f これは

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

troppo vecchia. トロッポ・ヴェッキア adj.f 年を取りすぎた

「補語」

Voglio ヴォリオ 1 単現(volere)v.t 欲しい

「動詞」

una pecora ウナ・ペコーラ n.f 羊が

「目的語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

possa vivere ポッサ・ヴァイヴェレ 3 単現・可能(potere+不定詞)

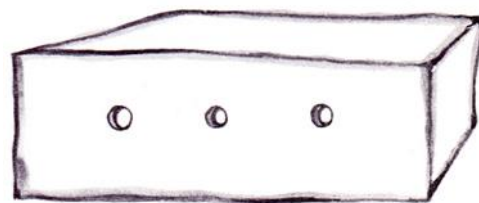
v.i 生きられる

「動詞句」

a lungo”. ア・ルンゴ adv. 長い間

「副詞句」

僕のエンジンを急いで修理したかったので、今回はもう我慢
ができなかった。僕は4番目のデッサンを描きなぐった。



Questa volta la mia pazienza era esaurita, avevo fretta di rimettere a posto il mio motore.

Buttai giù un quarto disegno.

「副詞句」,「主語」「動詞」「補語」,「動詞句」「補語」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」

Questa volta ケスタ・ヴァルタ adv. 今度は、今回は

「副詞句」

la mia pazienza ラ・ミア・パチエンツァ n.f 僕の忍耐力が

「主語」

II

era エラ 3 単半(èssere)v.i	～だった	「動詞」
esaurita, エサウリータ	adj.f(esaurito) 使い果たした、底をついた	「補語」
avevo fretta di rimettere	アヴェーヴァ・ォ・フレッタ・ディ・リメッテ 1 単現・急ぎ(avere fretta di+不定詞)	
v.t	急いで元に戻したかった	「動詞句」
avere fretta di+不定詞	「早く～したい、急いで～する」	
a posto ア・ポスト	adv. 正常な状態に	「補語」
il mio motore. イル・ミオ・モトレ	n.m 僕のエンジンを	「目的語」
Buttai giù	ブッターイ・ジュ 1 単遠(butare giù)v.t 描きなぐった	「動詞句」
un quarto disegno. ウン・クワルト・デ・イェーニョ	n.m 4 番目のデッサンを	「目的語」

そしてこんな説明を言い放った：

E <u>tirai fuori</u> <u>questa spiegazione</u> :	E 「動詞句」「目的語」
E \pm conj. そして	
tirai fuori <small>チライ・フォーリ</small> 1 単遠(tirare)v.t(fuori) 言い放った	「動詞句」
tirare fuori 「取り出す、持ち出す、言い出す、思いつく」	
<u>questa spiegazione</u> : <small>クェスタ・スピエガツィオーネ</small> n.f このような説明を	「目的語」

「これは箱だよ。君が欲しがっているヒツジは、中にいるよ」

“Quèsta è soltanto la sua cassetta. La pècora che volevi sta dentro”.

《「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「副詞」》

“Quèsta	クェスタ pron	これは	「主語」
è	エ 3 単現(èssere)v.i	～である	「動詞」
soltanto	ソルタント	adv. ただ～だけ	「副詞」
la sua cassetta.	ラスーア・カセッタ n.f	小箱	「補語」
La pècora	ラ・ペーコーラ n.f	ヒツジは	「主語」
che	ケ pron	(目的語) ～する	「形容詞節」
volevi	ヴォルヴィ 2 単現(volére)v.t	望む、欲しがる	「動詞」
sta	スタ 3 単現(stare)v.i	いる	「動詞」
dentro	デントロ	adv. 中に	「副詞」

僕の小さい審査員の顔が明るくなるのを見て、僕はとても驚いた。

<u>Fui molto sorpreso di vedere il viso del mio piccolo giudice illuminarsi.</u>	「動詞」「補語」
Fui フー 1 単遠(èssere)v.i ～だった	「動詞」
molto sorpreso モルト・ソルプレツ adj. とても驚いた	「補語」
di +不定詞 ディ adv. (原因) ～して	「副詞句」
vedere ヴェデーレ 不定詞・知覚動詞 v.t 見る	「動詞」

II

il viso イル・ヴィーゾ n.m 顔を 「目的語」

del mio piccolo giudice テル・ミーオ・ピッコロ・ジューデ イェ

adj. 僕の小さい審査員の 「形容詞句」

illuminarsi. イルミナリ 不定詞・viso の動作 v.pr 明るくなる 「補語」

これは、まさに僕が欲しかった物だよ。

“Questo è proprio quello che volevo.” 《「主語」「動詞」「補語」》

“Questo ケスト pron これは 「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

proprio quello プロープリオ・ケッロ pron まさにそれ 「補語」

proprio プロープリオ adv. まさに、まったく

che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

volevo. ヴォレーヴォ 1 単半(volére)v.t 欲しかった 「動詞」

「このヒツジは大量の草を食べるの？」

Pensi che questa pecora dovrà avere una gran quantità d'erba?》 《「動詞」「目的語」》

Pensi ペンシ 2 単現・疑問文(pensare)v.t 思うか? 「動詞」

che ケ conj. ~ということを 「目的語」

questa pecora ケスタ・ペーコラ n.f このヒツジは 「主語」

dovrà avere ドヴラ・アヴェレ 3 単未・必要(dovére+不定詞)

v.t 獲得する必要がある 「動詞句」

una gran quantità d'erba? ウナ・グラン・クワンチタ・デーラバ n.f 大量の草を 「目的語」

「どうして？」

“Perché?” 《「質問」》

“Perché? ペルケ adv. どうして 「質問」

「僕が住んでいる所は、すごく狭いからだよ」

“Perché dove vivo io, tutto è molto piccolo...”

《Perché「副詞句」,「主語」「動詞」「補語」》

“Perché ペルケ conj. なぜなら、というのは

dove ドヴェ adv. その場所は 「副詞句」

vivo ヴィーヴォ 1 単現(vivere)v.i 住んでいる 「動詞」

io, イオ pron 僕が 「主語」

tutto トット pron なにもかも 「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

II

mólto piccolo...” モルト・ピッコロ adj. とても小さい

「補語」

「きっときみの所には十分な草があると思うよ、君にあげた羊はとても小さいんだから」

“Ci sarà certamente abbastanza èrba per lèi, è mólto piccola la pècora che ti ho data”.

《「動詞句」「副詞句」「主語」「副詞句」è 「補語」「主語」》

“Ci sarà チ・サラ 3 単未・推量(èsserci)v.i. ～があるだろう

「動詞句」

certamente abbastanza チェルタメンテ・アッバスタツァ adv. きっと十分に、疑いなく

「副詞句」

èrba エールバ n.f 草が

「主語」

per lèi, ヘル・レイ adv. きみの所には

「副詞句」

è エ conj. そして

mólto piccola モルト・ピッコラ adj.f とても小さい

「補語」

la pècora ラ・ペーコラ n.f 羊は

「主語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

ti チ pron 君に

「間接目的語」

ho data”. オ・ダータ 1 単現・完了形.f(dare)v.t あげた

「動詞句」

彼はデッサンの方へ腰をかがめて覗き込んだ。

Si chinò sul diségno:

「動詞句」「副詞句」

Si chinò シ・チノ 3 単遠(chinarsi)v.pr 腰をかがめた

「動詞句」

sul diségno: スル・ディエーニョ adv. (方向) デッサンの方へ

「副詞句」

「それほど小さくないな... おや、眠ってしまったよ...」

“Non così piccola che – oh, guarda! – si è messa a dormire...”

《「応答」「主語」---「感嘆」---「動詞句」》

“Non così piccola ノン・コシ・ピッコラ adj.f それほど小さくない

「応答」

che ケ pron これは

「主語」

– oh, guarda! – オー・ゲ・ワルダ int. (注意を促して) おや、ほら

「感嘆」

si è messa シ・エ・メッサ 3 単現・完了形.f(mettersi)

v.pr (a+不定詞) (事態の進行) ～した

「動詞句」

a dormire...” ア・ドルミール 不定詞 v.i 眠る

「動詞句」

このようにして、僕は王子様と知り合った。

E fu così che feci la conoscenza del piccolo principe.

E 「動詞」「副詞句」「主語」

E エ conj. そして

fu フ 3 単遠(essere)v.i. ～だった

「動詞」

così コシ adv. (強調構文) このようにして

「副詞句」

III

che ケ conj. ～ということは

「主語」

feci フェチ 1 単遠(fare)v.t 作った

「動詞」

la conoscènza ラ・コノシェンツァ n.f 親交

「目的語」

del piccolo principe. テル・プッコロ・プリンシペ adj. 王子様の

「形容詞句」

III

王子様がどこからやって来たのかを理解するためには、長い時間がかかった。王子様は僕に色々な質問をするけれど、僕の質問は決して聞いていないように見えた。



Ci misi molto tempo a capire da dove venisse.

Il piccolo principe, che mi faceva una domanda dopo l'altra, pareva che non sentisse mai le mie. 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」

Ci チ pron そのことについて（内容は a capire 以降）

「間接目的語」

misi ミシ 1 単遠(mettere)v.t (時間を) 費やした

「動詞」

molto tempo モルト・テンポ n.m 長い時間を

「直接目的語」

a capire ア・カピレ 不定詞・目的 adv. 理解するために

「副詞句」

da ダ prep (場所) ～から... するかということ

「目的語」

dove トーヴァエ adv. どこ

「副詞」

venisse. ヴェニッセ 接・3 単半・推量(venire)v.i やって来た

「動詞」

Il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンシペ n.m 王子さまは

「主語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

III

mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
faceva ファチェヴァ 3 単半(fare)v.t へした	「動詞」
una domanda ウナ・ドマンダ n.f 質問を	「目的語」
dopo l'altra, トーポ・ラルトラ adv. 別の質問の後に	「副詞句」
→ 次々と質問を、色々な質問を	
pareva パレヴァ 3 単半(parére)v.i へのように見えた	「動詞」
che ケ conj. へということ	「補語」
non sentisse mai ノン・センチッセ・マイ 接・3 単半・否定・推量(sentire)	
v.t 決して聞かない	「動詞句」
le mie. レ・ミー pron.pl 僕の質問を	「目的語」

こうして、彼が初めて僕の飛行機を見たときに（僕にとって、飛行機は複雑すぎるので描かない）、僕に尋ねた：「この物は、いったい何なの？」

Così, quando vide per la prima volta il mio aeroplano (non lo disegnerò perché sarebbe troppo complicato per me), mi domandò: "Che c'è questa cosa?"

「副詞」, 「副詞節」(「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞節」), 「間接目的語」「動詞」:
《「補語」「動詞」「主語」》

Così, コーシ adv. このように、こうして	「副詞」
quando クワント conj. へするとき	「副詞節」
vide ヴァイテ 3 単遠(vedere)v.t 見た	「動詞」
per la prima volta ペル・ラ・プリーマ・ヴァルタ adv. 初めて	「副詞句」
il mio aeroplano イル・ミーオ・アエロプレーノ n.m 僕の飛行機を	「目的語」
(non ...disegnerò ノン...ディゼグネロ 1 単未・否定・意思(disegnare)	
v.t 描かない	「動詞句」
lo ロ pron それを	「目的語」
perché ペルケ conj. へなので	「副詞節」
sarebbe サレバ 条・3 単現・推量(essere)v.i へだろう	「動詞」
troppo complicato トロップ・コンプリカト adj. 複雑すぎた	「補語」
per me), ペル・メ adv. 僕にとっては	「副詞句」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
domandò: ドマント 3 単遠(domandare)v.t 尋ねた	「動詞」
"Che c'è ケ・コーサ n.f (強調) 一体なに	「補語」
è エ 3 単現(essere)v.i へである	「動詞」
questa cosa? ケスタ・コーサ n.f このものは	「主語」

III

「これは物じゃあないよ。飛ぶんだよ。飛行機だよ。僕の飛行機だ」

"Non è una còsa - vola. È un aeroplano. È il mio aeroplano".

《「動詞句」「補語」 | 「動詞」 | 「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」》

Non è ノネ 3 単現・否定(essere)v.i ~でない 「動詞」

una còsa - ウナ・コサ n.f 物 「補語」

vola. ヴォラ 3 単現(volare)v.i 飛ぶ 「動詞」

È エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

un aeroplano. ウン・アエロプレーノ n.m 飛行機 「補語」

È エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

il mio aeroplano". イル・ミーオ・アエロプレーノ n.m 僕の飛行機 「補語」

僕は空を飛ぶんだ、ということを彼に分からせることができたと誇らしかった。

Èro molto fièro di fargli sapére che volavo. 「動詞」「補語」

Èro エロ 1 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

molto fièro モルト・フィエロ adj. とても誇らしい 「補語」

di +不定詞 ディ 不定詞・原因 adv. ~して 「副詞句」

fargli sapére ファル・リ・サペーレ 不定詞・使役 v.t 彼に分からせる 「動詞句」

che ケ conj. ~ということを 「目的語」

volavo. ヴォラーヴォ 1 単半・時制の一致(volare)v.i 飛ぶ 「動詞」

すると、彼は大声で言った：「なんだって！君は空から落ちてきたんだ！」

Allóra gridò: "Còme? Sèi caduto dal cièlo!"

「副詞」「動詞」：《「感嘆」 | 「動詞句」「副詞句」》

Allóra アッローラ adv. その時 「副詞」

gridò: グリト 3 単遠(gridare)v.i 大声を出した 「動詞」

"Còme? コーメ int. なんだって！ 「感嘆」

Sèi caduto セイ・カドゥート 2 単現・完了形(cadere)v.i 落ちた 「動詞句」

dal cièlo!" ダル・チェーロ adv. 空から 「副詞句」

「そうだよ」と、僕は謙虚に答えた。

"Sì", risposi modestaménte. 《「応答」》, 「動詞」「副詞」

"Sì", シ adv. そうだよ 「応答」

risposi リスポーシ 1 単遠(rispondere)v.i 答えた 「動詞」

modestaménte. モデスタメンテ adv. 謙虚に 「副詞」

III

「えー！それは奇妙だな...」

"Ah! Quésta è buffa..."

《「感嘆」 | 「主語」「動詞」「補語」》

"Ah! アー int. えー

「感嘆」

Quésta クェスタ pron.f それは

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i 〜である

「動詞」

buffa..." ブッファ adj.f(buffo) おかしな、奇妙な

「補語」

そう言うと、王子さまは大笑いを始めて、僕を怒らせた。

E il piccolo principe scoppiò in una bella risata che mi irritò.

E 「主語」「動詞」「間接目的語」, 「主語」「目的語」「動詞」

E エ conj. そして

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

scoppiò スコッピオ 3 単遠(scoppiare)v.i(in) 〜し始めた

「動詞」

in una bella risata イン・ウナ・ベッラ・リサータ adv. 大笑いを

「間接目的語」

risata リサータ n.f 爆笑、大笑い

che ケ conj. (継続) (主語) 〜する

「形容詞節」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

irritò. イルト 3 単遠(irritare)v.t 怒らせた

「動詞」

僕の災難のことは、真面目に受け取って欲しいと思う。

Voglio che le mie disgrazie siano prese sul serio.

「動詞」「目的語」

Voglio ヴォーリオ 1 単現(volére)v.t 希望する、望む

「動詞」

che ケ conj. 〜ということを

「目的語」

le mie disgrazie レ・ミー・ディズグラチエ pl.n.f(disgrazia) 僕の不幸は、災難「主語」

siano prese シアーノ・プレ 接・3 複現・受動.f.pl・願望(préndere)

v.t 受け取られる

「動詞句」

sul serio. スル・セーリオ adv. 真面目に

「副詞句」

それから、また話を続けた：「それじゃあ、君も空から来たんだね！どの惑星から来たの？」

Poi riprese: "Allóra anche tu vieni dal cièlo! Di quale pianéta sèi?"

「副詞」「動詞」：《「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」 | 「補語」「動詞」》

Poi ポーイ adv. (時間) それから

「副詞」

riprese: リプレゼ 3 単遠(riprendere)v.t (中断したことを) また続けた

「動詞」

"Allóra アッローラ adv. それでは

「副詞」

anche tu アンケ・トゥ pron 君も

「主語」

vieni ヴィエニ 2 単現(venire)v.i 来た

「動詞」

III

dal cielo! ダル・チェロ adv. 空から 「副詞句」
 Di quale pianéta ディ・クワレ・ピ・アネータ adj. (出身) どの惑星の 「補語」
 sèi?" セー 2 単現(èssere)v.i. ～である 「動詞」

彼がここに居るといふ神秘の中に一筋の光が見えた。それで僕はいきなり彼に尋ねた：

「それじゃあ、君は他の惑星から来たの？」

Intravidi una luce, nel mistèro della sua presènza, e lo interrogai bruscamente:

"Tu vieni dunque da un altro pianéta?"

「動詞」「目的語」「副詞句」 e 「間接目的語」「動詞」「副詞」：《「主語」「動詞」「副詞句」》

Intravidi イントラヴ・イディ 1 単遠(intravedére)v.t. 垣間見えた 「動詞」

una luce, ウナ・ル・チェ n.f. 一筋の光 「目的語」

nel mistèro ネル・ミステーロ adv. 神秘の中に 「副詞句」

della sua presènza, デッラ・スア・プレゼンツァ adj. 彼が居るといふ 「形容詞句」

e エ conj. そして

lo ロ pron 彼に 「間接目的語」

interrogai インテロガィ 1 単遠(interrogare)v.t. 問いただした 「動詞」

bruscamente: ブルスカメンテ adv. だしぬけに、いきなり 「副詞」

"Tu トゥ pron 君は 「主語」

viene ヴィエニ 2 単現(venire)v.i. 来た 「動詞」

dunque トゥンクェ adv. それじゃあ 「副詞」

da un altro pianéta?" ダ・ウン・アルトロ・ピ・アネータ adv. 他の惑星から 「副詞句」

しかし、彼は僕に答えなかった。そつと頭を振って、飛行機を観察していた。「そのものでは、それほど遠くから来ることは出来ないはずだ…」そう言って、長く瞑想にふけた。

Ma non mi rispose. Scrollò gentilmente il capo osservando l'aeroplano.

"Certo che su quello non puoi venire da molto lontano..."

E si immerse in una lunga meditazione.

Ma 「動詞句」「間接目的語」「動詞句」 | 《「補語」「主語」》 | E 「動詞句」「副詞句」

Ma マ conj. しかし

non ...rispose. ノン...リスポセ 3 単遠・否定(rispondere)v.t. 答えなかった 「動詞句」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

Scrollò スクロ 3 単遠(scrollare)v.t. 振った 「動詞」

gentilmente ジェンティルメンテ adv. 優しく、そつと 「副詞」

il capo イル・カーボ n.m. 頭を 「目的語」

osservando オッセルヴァント ジェルンディオ(osservare)adv. ～を観察しながら 「副詞句」

l'aeroplano. ラエロプレーノ n.m. 飛行機を 「目的語」

III

"Certo チェルト adj. 確かな	「補語」
che ケ conj. ～ということは	「主語」
su quéllo ス・クェッロ adv. (手段) その飛行機では	「副詞句」
non puoi venire ノン・プーイ・ウエニレ 2 単現・可能・否定(potére+不定詞)	
v.i 来ることができない	「動詞句」
da molto lontano..." ダ・モルト・ロンターノ adv. (否定文で) あまり遠くから	「副詞句」
E エ conj. そして	
si immerse シ・インメルセ 3 単遠(immergersi)v.pr (in に) ふけた	「動詞句」
in una lunga meditazione. イン・ウナ・ルンガ・メディタチオーネ adv. 長い瞑想に	「副詞句」

それから、僕の羊をポケットから取り出して、彼の宝物の感想にふけた。

Poi, tirando fuori dalla tasca la mia pecora, sprofondò nella contemplazione del suo tesoro.

「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」

Poi, ポーイ adv. それから

「副詞」

tirando fuori チラント・フオーリ 現在分詞(tirare fuori)adv. (様態) ～を取り出して

「副詞句」

dalla tasca ダッラ・タスカ adv. ポケットから

「副詞句」

la mia pecora, ラ・ミーア・ペーコーラ n.f 僕の羊を

「目的語」

sprofondò スプロフォント 3 単遠(sprofondare)

v.i(in に) はまり込んだ、沈み込んだ

「動詞」

nella contemplazione ネッラ・コンテンプレチオーネ adv. 観想に、瞑想に

「副詞句」

del suo tesoro. デル・スーオ・テゾーロ adj. 彼の宝物の

「形容詞句」

感想 かんそう :

認識, 瞑想, 黙想などの静観的態度をいい, 特定の対象に向けて心を集中し, その姿や性質を観察すること。

「別の惑星」についての王子様の半ば打ち明け話に、僕がどれほど好奇心をそそられたかを君たちは十分に想像できるだろう。

Vi potete bene immaginare come io fossi incuriosito da quella mezza confidenza su "gli altri pianeti".

「動詞句」 「目的語」

Vi potete bene immaginare ウィ・ポテテ・ベネ・インマジナーレ 2 複現・可能(potersi+不定詞)

v.pr 君たちは十分に想像できるだろう

「動詞句」

come コーメ adv. どれほど～であるかということ

「目的語」

想像に対応する節は、接続法を用いる

io イオ pron 僕が

「主語」

fossi incuriosito フォッシ・インクリオジート 接・1 単半・受動(incuriosire)

v.t 好奇心をそそられたらう

「動詞句」

感想 かんそう :

III

da quèlla mèzza confidenza タ・ケツラ・メッサ・コンフィデーションツァ

adv. (動作主) その半ば打ち明け話に

「副詞句」

mèzza メッサ adj.f 半ばの confidenza コンフィデーションツァ n.f 打ち明け話

su "gli altri pianeti". ス・リ・アルトリ・ピ・アネーティ

adj. (話題) 「別の惑星」に関する

「形容詞句」

だから僕は何か別のことを聞き出そうと努めた：「坊や、どこから来たの？君の家はどこにあるの？僕の羊をどこに連れていきたいの？」

Cercai dunque di tirargli fuori qualche altra cosa:

"Da dove vieni, ométto? Dov'è la tua casa? Dove vuoi portare la mia pecora?"

「動詞」「副詞句」：《「動詞句」「動詞」「呼びかけ」

「副詞句」「動詞」「主語」 | 「副詞」「動詞句」「目的語」》

Cercai チェルカイ 1 単遠(cercare)v.t 探し求めた

「動詞」

dunque di +不定詞 トゥンクェ・ディ conj. だから～しようと

「副詞句」

tirargli fuori チラール・リ・フォーリ 不定詞(tirare fuori)v.t 取り出す

「動詞句」

qualche altra cosa: クォルケ・アルトラ・コーサ n.f 何か別のことを

「目的語」

"Da dove タ・ト・ウ・ェ adv. どこから

「副詞句」

vieni, ヴァイエニ 2 単現(venire)v.i 来た

「動詞」

ométto? オメット n.m 坊や

「呼びかけ」

Dov' ト・ウ・ェ adv. どこに

「副詞句」

è エ 3 単現(essere)v.i ～にある

「動詞」

la tua casa? ラ・トゥアー・カーサ n.f 君の家は

「主語」

Dove ト・ウ・ェ adv. どこに

「副詞」

vui portare ヴァイ・ポ・ルターレ 2 単現・願望(volere+不定詞)v.t 連れていきたい

「動詞句」

la mia pecora?" ラ・ミア・ペ・コーラ n.f 僕の羊を

「目的語」

彼は黙って考えてから、僕に答えた：「それが良いのは、君が僕にくれたあの箱が、夜の間は、羊の家として役に立つということだよ」

Mi rispose dopo un silenzio meditativo:

"Quello che c'è di buono, è che la cassetta che mi hai dato, le servirà da casa per la notte".

「間接目的語」「動詞」「副詞句」：《「主語」「動詞」「補語」》

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

rispose リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた

「動詞」

dopo ト・ポ prep (時間) ～の後で

「副詞句」

un silenzio ウン・シレンツィオ n.m 沈黙

「目的語」

meditativo: メディタティヴォ adj. 瞑想的な

「形容詞」

III

"Quello <small>ケッロ</small> pron	それは	「主語」
che <small>ケ</small> pron	(同格) ~という	「形容詞節」
c' <small>チェ</small> pron	それが	「主語」
è <small>エ</small> 3 単現(èssere)v.i	~である	「動詞」
di buono, <small>ディ・ブォノ</small> adj.	よい	「補語」
è <small>エエ</small> 3 単現(èssere)v.i	~である	「動詞」
che <small>ケ</small> conj.	~ということ	「補語」
la cassetta <small>ラ・カッセッタ</small> n.f	あの箱が	「主語」
che <small>ケ</small> pron	(目的語) ~する	「形容詞節」
mi <small>ミ</small> pron	僕に	「間接目的語」
hai dato, <small>アイ・ダート</small> 2 単現・完了形(dare)v.t	くれた	「動詞句」
le <small>レ</small> pron	羊にとって	「間接目的語」
servirà <small>セルヴァイラ</small> 3 単未・推量(servire)v.i	役に立つだろう	「動詞」
da casa <small>ダ・カサ</small> adv.	(用途) 家として	「副詞句」
per la notte". <small>ペル・ラ・ノッテ</small> adv.	(期間) 夜の間	「副詞句」

「その通り。それにもし君がいい子なら、昼のあいだ羊をつないでおくために、綱もあげるよ。それから棒杭も」

"Certo. E se sèi buono ti darò pure una còrda per legare la pècora durante il giorno. E un palétto".

《「応答」 | E「副詞節」,「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」 | E「目的語」》

"Certo. <small>チェルト</small> adv.	確かに、その通り	「応答」
E <small>エ</small> conj.	それから	
se <small>セ</small> conj.	もし~ならば	「副詞節」
sèi <small>セイ</small> 2 単現(èssere)v.i	~である	「動詞」
buono <small>ブォノ</small> adj.	良い、よいこの	「補語」
ti <small>チ</small> pron	君に	「間接目的語」
darò <small>ダロ</small> 1 単未・意思(dare)v.t	あげよう	「動詞」
pure una còrda <small>プーレ・ウナ・コルダ</small> n.f	つなも	「直接目的語」
pure <small>プーレ</small> adv.	~もまた、同様に、~さえも	
per legare <small>ペル・レッジャレ</small> 不定詞・目的	adv. ~をつなぐために	「副詞句」
la pècora <small>ラ・ペーコラ</small> n.f	羊を	「目的語」
durante il giorno. <small>トゥランテ・イル・ジョルノ</small> adv.	昼の間	「副詞句」
E <small>エ</small> conj.	それから	
un palétto". <small>ウン・パレット</small> n.m	棒杭を	「目的語」

III

僕の提案は王子様をあきれさせた。「羊をつなぐだって？なんて可笑しな考えなんだ！」

La mia propósta scandalizzò il piccolo principe.

"Legarla? Che buffa idèa!" 「主語」「動詞」「目的語」 | 《「応答」 | 「主語」》

La mia propósta ラ・ミーア・プロポースタ n.f 僕の提案は 「主語」

scandalizzò スカンダリゾ 3 単遠(scandalizzare)v.t あきれさせた、憤慨させた 「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子様を 「目的語」

"Legarla? レガル・ラ 不定詞(legare+la)n. 羊をつなぐだって？ 「応答」

Che buffa ケ・ブッファ adj. なんて可笑しな 「形容詞句」

idèa!" イデーア n.f 考え 「主語」

「だけど、つないでおかないと、その辺りを歩き回って、迷子になってしまうよ」

"Ma se non la legghi andrà in giro e si perderà..."

《Ma 「副詞節」, 「動詞」「副詞句」 e 「動詞句」》

"Ma マ conj. しかし

se セ conj. もし～ならば 「副詞節」

non ... legghi ノン...レギ 2 単現・否定(legare)v.t つながない 「動詞句」

la ラ pron (pècora の代用) 羊を 「目的語」

andrà アンドラ 3 単未・推量(andare)v.i 行くだろう 「動詞」

in giro イン・ジロ adv. その辺りに 「副詞句」

e エ conj. そして

si perderà..." シ・ペルテラ 3 単未・推量(perdersi)v.pr 迷子になるだろう 「動詞句」

僕の友達は、また大笑いを始めた：「だけど、羊がどこへ行って欲しいの？」

Il mio amico scoppiò in una nuova risata:

"Ma dóve vuoi che vada!" 「主語」「動詞」「間接目的語」: 《Ma 「副詞」「動詞」「目的語」》

Il mio amico イル・ミオ・アミーコ n.m 僕の友達は 「主語」

scoppiò スコピョ 3 単遠(scoppiare)v.i(in 動作名詞) 急に～し始めた 「動詞」

in una nuova risata: イン・ウナ・ヌオーヴァ・リサタ adv. また大笑いを 「間接目的語」

"Ma マ conj. しかし

dóve トーヴェ adv. どこに 「副詞」

vui ヴァイ 2 単現(volére)v.t 望む 「動詞」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

vada!" ヴァタ 接・3 単現・願望(andare)v.i 行けばよい 「動詞」

III



Le petit prince sur l'astéroïde B 612.

III

「どこへでも、自分の前をまっすぐに...」

"Dappertutto. Dritto davanti a sé..."

《「副詞句」 | 「副詞句」》

"Dappertutto. ダッペルトゥット adv. どこへでも

「副詞句」

Dritto デイリット adv. まっすぐに

「副詞句」

davanti a sé..." ダヴァンティ・ア・セ adv. (方向) 自分の前を

「副詞句」

すると王子さまは真面目な顔つきで答えた：

E il piccolo principe mi rispose gravemente: E 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞」

E ɛ conj. そして、すると

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

rispose リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた

「動詞」

gravemente: グラヴェメンテ adv. まじめそうに

「副詞」

「問題ないよ、僕のところはすごく狭いから」

"Non importa, è talmente piccolo da me!"

《「動詞句」 | 「動詞」「補語」》

"Non importa, ノン・インポルタ 3 単現・否定(importare)v.i 重要ではない、問題ない「動詞句」

è ɛ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

talmente piccolo タルメンテ・ピッコロ adj. すごく小さい

「補語」

da me!" ダ・メ adv. (場所) 僕のところは

「副詞句」

そして、多分少し憂鬱な様子で、付け加えた。

E con un po' di malinconia, forse, aggiunse:

E 「副詞句」, 「動詞」

E ɛ conj. そして

con un po' di malinconia, コン・ウン・ポ・ディ・マリンコニア adv. 少し憂鬱な様子で

「副詞句」

forse, フォールセ adv. たぶん

「副詞」

aggiunse: アジューンセ 3 単遠(aggiungere)v.t 付け加えた

「動詞」

「自分の前をまっすぐと言っても、そんなに遠くへ行くことはできない...」

"Dritto davanti a sé non si può andare molto lontano..." 《「副詞句」「動詞句」「副詞句」》

"Dritto davanti a sé デイリット・ダヴァンティ・ア・セ

adv. (譲歩) 自分の前をまっすぐと言ったって

「副詞句」

non si può andare ノン・シ・プオ・アンダーレ 3 単現・可能・否定(potére+不定詞)

v.i 行くことができない

「動詞句」

molto lontano..." モルト・ロンターノ adv. (否定文で) そんなに遠くへ

「副詞句」

IV

IV

こうして、とても重要な 2 番目のことが分かった。

Avevo così saputo una seconda cosa molto importante!

「動詞句」「副詞」「目的語」「動詞句」

Avevo ... saputo アヴェーヴォ...サプート 1 単半・完了形(sapere)v.t 分かった 「動詞句」

così コーシ adv. こうして、このように 「副詞」

una seconda cosa ウナ・セコンダ・コーサ n.f 2 番目のことが 「目的語」

molto importante! モルト・インポルタンテ adj. とても重要な 「形容詞句」

つまり、彼が生まれた惑星は、1 軒の家より少し大きいくらいだったということだ。

Che il suo pianeta nativo era poco più grande di una casa. Che 「主語」「動詞」「補語」

Che ケ conj. (事実の表明) ～ということである、つまり～

il suo pianeta イル・スーオ・ピアネータ n.m 彼の惑星は 「主語」

nativo ナチーヴォ adj. 出生地の 「形容詞」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」

poco più grande ポコ・ピウ・グランデ adj. (比較級) 少しだけ大きな 「補語」

di ディ prep (比較級と共に) …より～ 「副詞句」

una casa. ウナ・カーサ n.f 1 軒の家 「目的語」



IV

しかしながら、このことはあまり僕を驚かせなかった。

Tuttavia quésto non poteva stupirmi molto. Tuttavia 「主語」「動詞句」「副詞」

Tuttavia トウッタヴァー conj. しかしながら

quésto クェスト pron このことは 「主語」

non poteva stupirmi ノン・ポテヴァ・ストゥピルミ 3 単半・可能・否定(potére+不定詞)

v.t 僕を驚かせることができなかった 「動詞句」

molto. モルト adv. (否定文で) あまり 「副詞」

僕は、地球や、木星や、火星や、金星のように名前が付いた大きな星がある他に、数 100 個の星は、時には小さすぎて、望遠鏡を使っても見えないということをよく知っていた。

Sapevo benissimo che, óltre ai grandi pianéti cóme la Terra, Gìove, Marte, Vènere ai quali si è dato un nóme, ce ne sono centinàia ancóra che sono a vòlte così piccoli che si arriva sì e no a vederli col telescòpio. 「動詞」「副詞」「目的語」

Sapevo サペーヴォ 1 単半(sapére)v.t 知っていた 「動詞」

benissimo ベニッシモ adv. とても良く 「副詞」

che, ケ conj. ～ということを 「目的語」

óltre ai grandi pianéti オルトレ・アイ・グランディ・ピ・アネーティ adv. 大きな星の他に 「副詞句」

óltre a オルトレ・ア ～以外に、～に加えて、～の他に

cóme コーメ adj. (類似) …のような 「形容詞節」

la Terra, ラ・テッラ n.f 地球 「目的語」

Gìove, ショーヴェ n.m 木星 「目的語」

Marte, マールテ n.m 火星 「目的語」

Vènere ヴェーネ n.f 金星 「目的語」

ai quali アイ・クワリ

pron.pl (間接目的語) それに～する 「形容詞節」

si è dato シ・エ・ダート 3 単現・完了形(darsi)

v.pr 与えられた 「動詞句」

un nóme, ウン・ノメ n.m 名前が 「主語」

ce ne sono チェ・ネ・ソーノ 3 複現(esserci)v.i ～がある 「動詞句」

centinàia ancóra チェンチナーイ・アンコーラ pl.f.pron さらに数 100 個が 「主語」

che ケ pron.pl (主語) ～する 「形容詞節」

sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ～がある 「動詞」

a vòlte ア・ヴァールテ adv. 時に、時々 「副詞句」

così piccoli コシ・ピッコリ adj.pl それほど小さい 「形容詞句」

che ケ conj. (比較) ～するほど 「副詞節」

si arriva シ・アリヴァ 3 単現(arrivarsi)

IV

v.pr 〜になる 「動詞句」
 sì シ adv. このように小さい 「副詞」
 e エ conj. そして
 no a vederli ノ・ナ・ヴェデル・リ 3 単現・結果・否定(arrivarsi a+不定詞)
 v.pr 結局はそれが見えない 「動詞句」
 col telescopio. コル・テレスコーピオ
 adv. 望遠鏡で 「副詞句」

天文学者がそれらの一つを発見すると、名前の代わりに番号をつける。

Quando un astrònomo scopre uno di quèsti, gli dà per nóme un nùmero.

「副詞節」, 「間接目的語」 「動詞」 「副詞句」 「直接目的語」
 Quando クワント conj. 〜すると 「副詞節」
 un astrònomo ウン・アストローモ n.m 天文学者が 「主語」
 scopre スコープレ 3 単現(scoprire)v.t 発見する 「動詞」
 uno di quèsti, ウノ・ディ・クェステイ prom.m それらの一つを 「目的語」
 gli リ pron それに 「間接目的語」
 dà ダー 3 単現(dare)v.t 与える 「動詞」
 per nóme ペル・ノーメ adv. (代理) 名前の代わりに 「副詞句」
 un nùmero. ウン・ヌーメロ n.m 番号を 「直接目的語」

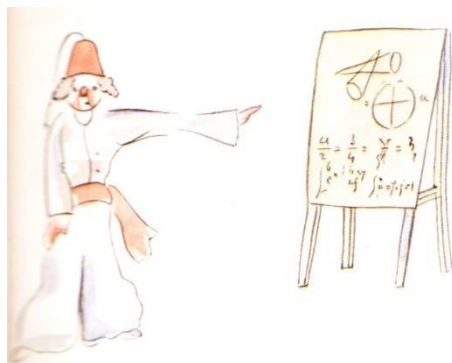
例えばそれを、「小惑星 3251」と呼ぶ。

Lo chiama per esèmpio: "l'asteròide 3251". 「目的語」 「動詞」 「副詞句」 「補語」
 Lo ロ pron それを 「目的語」
 chiama キアマ 3 単現(chiamare)v.t 呼ぶ 「動詞」
 per esèmpio: ペル・エゼンピオ adv. 例えば 「副詞句」
 "l'asteròide 3251". ラステロイデ・トレミラ・トウェチェント・チンクワ・ウーノ n.m 小惑星 3251 「補語」

フランス語版では :

ガリマール版やスペイン語版、ドイツ語版でも小惑星 3251 である。英語版やその後のフランス語版では小惑星 325 になっている。第 10 章では、王子様が小惑星 325〜330 の圏内に接近したことが述べられているが、番号のつけ方の例なので、大した問題ではない。

IV



僕には、王子様がいた惑星は小惑星 B612 であると信じるだけの真面目な理由がある。

Ho sèrie ragióni per credere che il pianéta da dóve veniva il piccolo principe è l'asteròide B.612.

「動詞」「目的語」

Ho オ 1 単現(avére)v.t. ～がある

「動詞」

sèrie ragióni セーリエ・ラジオーニ pl.n.f(sèria ragióne) まじめな理由

「目的語」

per credere ペル・クレデーレ adj. (目的) 信じるための

「形容詞句」

che ケ conj. ～ということ

「目的語」

il pianéta イル・ピ°アネータ n.m 惑星は

「主語」

da dóve ダ°ト°ーヴァ° adv. そこから～する

「形容詞節」

veniva ヴェニーヴァ 3 単半(venire)

v.i やって来た

「動詞」

il piccolo principe イル・ピ°ッコロ・ピ°リンチ°

n.m 王子様が

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i. ～である

「動詞」

l'asteròide B 612. ラステロイデ°・ビー°セイチェント°ト°ーディ°イチ

n.m 小惑星 B612

「補語」

この惑星は、トルコ人の天文学者によって望遠鏡でたった 1 回だけ観測されたことがある。

Quésto asteròide è stato visto una sóla vòlta al telescòpio da un astrònomo turco.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Quésto asteròide クェスト°アステロイデ° n.m この惑星は

「主語」

è stato visto エ°スタート°ヴィスト 3 単現・完了形・受動(vedére)v.t. 発見されたことがある「動詞句」

una sóla vòlta ウナ°ソーラ°ヴォールタ adv. たった 1 回だけ

「副詞句」

al telescòpio アル°テレスコーピ°オ adv. (手段) 望遠鏡を使って

「副詞句」

da un astrònomo turco. ダ°ウン°アストローモ°トルコ

adv. (動作主) トルコ人の天文学者によって

「副詞句」

IV

当時、彼は国際天文学会で彼の発見について素晴らしい発表を行った。

Aveva fatto allora una grande dimostrazione della sua scoperta a un Congresso Internazionale d'Astronomia. 「動詞句」「副詞」「目的語」「副詞句」

Aveva fatto アヴェウヴァ・ファット 3 単半・完了形(fare)v.t (行動を) した 「動詞句」

allora アッローラ adv. 当時 「副詞」

una grande dimostrazione ウナ・グランデ・デモストラチオーネ n.f 素晴らしい発表を 「目的語」

della sua scoperta デッラ・スア・スコペールタ adv. 彼の発見の 「形容詞句」

a un Congresso Internazionale d'Astronomia. ア・ウン・コングレツツ・インテルナツィョナーレ・ダストロノミア

adv. 国際天文学会で 「副詞句」

しかし、彼が民族衣装を着ていたために、誰も本気で彼の発表を受け入れなかった。大人たちというのは、そのようなものだ。

Ma in costume com'era, nessuno lo aveva preso sul serio. I grandi sono fatti così.

Ma 「副詞句」「動詞」, 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」

Ma マ conj. しかし

in costume イン・コストゥーメ adv. 民族衣装を着て 「副詞句」

com' コーメ conj. ～なので

era, エラ 3 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」

nessuno ネッスーノ pron 誰も～ない 「主語」

lo ロ pron それを 「目的語」

aveva preso アヴェウヴァ・プレツ 3 単半・完了形(prendere)v.t 受け入れた 「動詞句」

sul serio. スル・セリオ adv. 真面目に、本気で 「副詞句」

I grandi イ・グランディ pl.n.m 大人たちというのは 「主語」

sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ～である 「動詞」

fatti così. ファッティ・コシ adj. このように作られた 「補語」

小惑星 B612 の評判にとって幸運にも、トルコの独裁者が、死罪という厳罰のもとに、国民にヨーロッパ風の服を着るように命令を下した。

Fortunatamente per la reputazione dell'asteroide B 612 un dittatore turco impose al suo popolo, sotto pena di morte, di vestire all'europea.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」「補語」

Fortunatamente フォルトゥナタメンテ adv. 幸運にも 「副詞句」

per la reputazione ペル・ラ・レプタチオーネ adv. 評判のために 「副詞句」

dell'asteroide B 612 デッラステロイデ・ビー・セイチェント・トローティ

adj. 小惑星 B612 の 「形容詞句」

un dittatore turco ウン・ディッター・トル・トルコ n.m トルコの独裁者が 「主語」

IV

impose	インポセ 3 単遠(imporre)v.t 命じた、義務付けた	「動詞」
al suo pòpolo,	アル・スー・ポーロ adv. 国民に	「間接目的語」
sòtto	ソット prep (影響) ～の下で	「副詞句」
pèna di mòrte,	ペーナ・ディ・モルテ n.f 死罪	「目的語」
di vestire	ディ・ヴェステイレ 不定詞・pòpolo の動作 v.i 服を着る	「補語」
all'europea.	アレウペーア adv. ヨーロッパ風に	「副詞句」

その天文学者は、1920 年に大変上品な洋服を着て、発表をやり直した。

L'astrònomo rifece la sua dimostrazióne nel 1920, con un àbito móltó elegante.

		「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
L'astrònomo	ラストローモ n.m その天文学者は	「主語」
rifece	リフェチェ 3 単遠(rifare)v.t やり直した	「動詞」
la sua dimostrazióne	ラ・スー・ア・ディモストラチオーネ n.f 発表を	「目的語」
nel 1920,	ネル・ミッレ・ノヴェチェント・ヴァンティ adv. 1920 年に	「副詞句」
con un àbito	コン・ウン・アービト adv. 服を着て (ヨーロッパ風の)	「副詞句」
móltó elegante.	モルト・エレガント adj. 大変上品な	「形容詞句」

そして今回は、皆が彼の発見に同意した。

E <u>quèsta vòlta tutto il móndo fu con lui</u> .	E 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」
E エ conj. そして	
quèsta vòlta クェスタ・ヴォールタ adv. 今回は	「副詞句」
tutto il móndo トゥット・イル・モンド n.m 皆が	「主語」
fu フ 3 単遠(èssere)v.i ～だった	「動詞」
con lui. コン・ルーイ adv. 彼に同意の	「補語」

君たちに、小惑星 B612 のことを細々と話して聞かせ、その番号も明らかにしたのは、数字が大好きな大人のためなんだ。

Se vi ho raccontato tanti particolari sull'asteròide B 612 e se vi ho rivelato il suo nùmero, è pròprio per i grandi che amano le cifre.

Se ㄷ conj. (事実の提示) ～するのは 「副詞節」

Se ㄷ conj. (対立・仮定) ～ではあるが、～であるにしても

vi ヴィ pron 君たちに 「間接目的語」

ho raccontato オ・ラッコンタート 1 単現・完了形(raccontare)

v.t 語った、話して聞かせた 「動詞句」

tanti particolari タンティ・パルチコラーリ pl.n.m(particolare) 多くの細部を 「目的語」

sull'asteròide B 612 ス・ラストロイデ・ビー・セイチェント・トローティ

IV

adv. 小惑星 B612 について	「副詞句」
e ㇿ conj. そして	
se セ conj. (事実の提示) ～するのは	「副詞節」
vi ヴィ pron 君たちに	「間接目的語」
ho rivelato オ・リガ・ェラト 1 単現・完了形(rivelare)v.t 明らかにした	「動詞句」
il suo nùmero, イル・ス・オ・ヌ・メロ n.m その番号を	「直接目的語」
è ㇿ 3 単現(èssere)v.i ～である	「動詞」
pròprio プロ・プ・リオ adv. まったく	「副詞」
per i grandi ペル・イ・グランディ adv. 大人たちのために	「副詞句」
che ケ pron.pl (主語) ～する	「形容詞節」
amano アマノ 3 複現(amare)v.t 好きである	「動詞」
le cifre. レ・チーフレ pl.n.f(cifra) 数字が	「目的語」

新しい友達のことを大人たちに話をすると、彼らは肝心なことに決して興味を示さない。

Quando voi gli parlate di un nuovo amico, mai si interessano alle cose essenziali.

	「副詞節」, 「動詞句」 「間接目的語」
Quando クワント conj. ～すると、～する時	「副詞節」
voi ヴォイ pron 君たちが	「主語」
gli リ pron (grandi の代用) 大人たちに	「間接目的語」
parlate パルターテ 2 複現(parlare)v.i(di のことを) 話す	「動詞」
di un nuovo amico, ディ・ウン・ヌーヴ・オ・アミーコ adv. 新しい友達のことを	「間接目的語」
mai si interessano マイ・シ・インテレッサノ 3 複現・否定(interessarsi)	
v.pr(di に) 決して興味を示さない	「動詞句」
alle cose essenziali. アッレ・コセ・エッセンチアルー adv. 肝心なことに	「間接目的語」

大人たちは決してこんな風には尋ねない：「その人はどんな声をしてるの？」

Non si domandano mai: "Qual'è il tono della sua voce?"

	「動詞句」: 《「補語」 「動詞」 「主語」》
Non si domandano mai: ノン・シ・ドマダンダノ・マイ 3 複現・否定(domandare)	
v.t 決して尋ねない	「動詞句」
si は i grandi 「大人たち」を表す、「主語」	
"Qual' クォル adj. どんな	「補語」
è ㇿ 3 単現(èssere)v.i ～である	「動詞」
il tono イル・トーノ n.m 声色 (こわいろ) は	「主語」
della sua voce? デッラ・ス・ア・ヴォーチェ adj. その人の声の	「形容詞句」

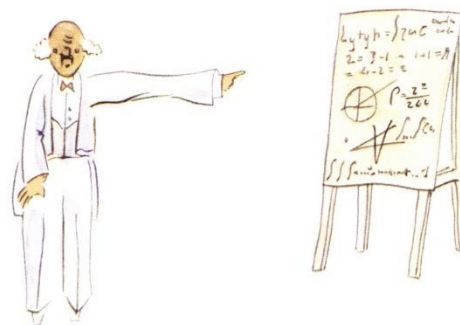
IV

「その人の好きな遊びは何？蝶々の収集をしているの？」

Quali sono i suoi giøchi preferiti? Fa collezione di farfalle?"

《「補語」「動詞」「主語」 | 「動詞」「目的語」》

Quali クわ-リ pron.pl 何 「補語」
 sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ~である 「動詞」
 i suoi giøchi preferiti? イ・スオイ・ジョーキ・プレフェリーチ pl.n.m その人の好きな遊びは 「主語」
 Fa ファ 3 単現・疑問文(fare)v.t (動作を) しているの? 「動詞」
 collezione コレツォーネ n.f 収集を 「目的語」
 di farfalle?" デイ・ファルフアレ adj.(farfalla) 蝶々の 「形容詞句」



しかし大人たちはこのように君たちに尋ねる:「その人は何歳なの？兄弟は何人？体重はどれくらい？お父さんの収入はどれくらい？」

Ma vi domandano: "Che età ha? Quanti fratelli? Quanto pesa? Quanto guadagna suo padre?"

Ma 「間接目的語」「動詞」:

《「目的語」「動詞」 | 「質問」 | 「補語」「動詞」 | 「目的語」「動詞」「主語」》

Ma マ conj. しかし
 vi ヴィ pron 君たちに 「間接目的語」
 domandano: ドマンドァノ 3 複現(domandare)v.t 尋ねる 「動詞」
 "Che età ケ・エタ n.f 何歳 「目的語」
 ha? ア 3 単現(avere)v.t (年齢が~歳) である 「動詞」
 Quanti fratelli? クワンティ・フラレッリ pl.n.m 兄弟は何人? 「質問」
 Quanto クwant pron どれだけ 「補語」
 pesa? ペサ 3 単現(pesar)v.i 重さがあるの? 「動詞」
 Quanto クwant pron どれだけ 「目的語」
 guadagna グわダニーヤ 3 単現(guadagnare)v.t 稼いでいる 「動詞」
 suo padre?" スーオ・パドレ n.m その人のお父さんは 「主語」

そこで初めて、彼を知っていると思う。もし大人の人たちにこう言うならば:

Allóra soltanto credono di conoscerlo. Se voi dite ai grandi:

「副詞句」「動詞句」 | 「副詞節」

Allóra アッローラ adv. それで、そこで 「副詞」

IV

soltanto ソルタント adv. はじめて	「副詞」
credono di conoscerlo. クレドノ・ディ・コネセル・ロ 3 複現・確認(credere di+不定詞)	
v.t 彼を知っていると思う	「動詞句」
credere di+不定詞 「～すると思う、考える、見解を抱く」	
Se セ conj. もし～ならば	「副詞節」
vói ヴォイ pron 君たちが	「主語」
dite ディテ 2 複現(dire)v.t 言う	「動詞」
ai grandi: アイ・グランディ adv. 大人の人たちに	「間接目的語」

「窓にジェラニウムがあつて、屋根の上にはハトがいる、赤レンガの美しい家を見た」と言っても、大人たちは上手くそれを想像できない。彼らにはこう言わなければならない：「10 万リラの家を見た」、すると彼らは大声を上げる：「なんて素晴らしいんだろう」

"Ho visto una bella casa in mattóni rosa, con dei geràni alle finèstre, e dei colómbi sul tétto", lóro non arrivano a immaginarsela.

Bisogna dire: "Ho visto una casa di centomila lire", e allóra esclamano: "Com'è bella".

《「動詞句」「目的語」》, 「主語」「動詞句」

「動詞句」: 《「動詞句」「目的語」》, e 「副詞」「動詞」: 《「感嘆」「動詞」「補語」》

"Ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedere)v.t ～を見た

una bella casa ヲ・ベッラ・カサ n.f 美しい家を

in mattóni rosa, イン・マットニ・ローサ adv. (材料) 赤レンガの

mattóni マットニ pl.n.m(mattóne) れんが

con コン prep (様態) ～の

dei geràni デイ・ジェラーニ pl.n.m(gerànio) ゼラニウム

alle finèstre, アル・フィネストレ adv. 窓には

e エ conj. そして

dei colómbi デイ・コロンビ pl.n.m(colómbo) ハト

sul tétto", スル・テット adv. 屋根の上には

lóro ロー pron 彼らは

non arrivano a immaginarsela. ノン・アリヴァノ・ア・イマジナル・セ・ラ 3 複現・成功・否定

(arrivare a+不定詞)v.pr 上手くそれを想像できない

Bisogna dire: ビゾーナ・ディ・レ 3 単現・必要・非人称(bisognare+不定詞)

v.h 言わなければならない

"Ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedere)v.t ～を見た

una casa ヲ・カサ n.f 家を

di centomila lire", デイ・チェントミラ・リーレ adj. (値段・価値) 10 万リラの

e エ conj. そして

IV

allóra アッローラ adv. それで	「副詞」
esclamano: エスクラーマノ 3 複現(esclamare)v.i 叫ぶ	「動詞」
"Com' コーメ int. なんと	「感嘆」
è エ 3 単現(essere)v.i ~である	「動詞」
bèlla". ベッラ adj.f 素晴らしい	「補語」

こうして、君たちがもし大人の人たちに向かって次のように言うなら：「王子様が存在していた証拠は、彼は素敵だった、彼は笑っていた、そして彼は羊を欲しがったという事実だ。人が羊を欲しがれば、それはその人が存在する証拠である」

Così se voi gli dite: "La prova che il piccolo principe è esistito, sta nel fatto che era bellissimo, che rideva e che voleva una pecora. Quando uno vuole una pecora è la prova che esiste".

「副詞」「副詞節」:

《「主語」「動詞」「副詞句」 | 「副詞節」「動詞」「主語」「補語」》

Così コシ adv. こうして、それだから	「副詞」
se セ conj. もし~ならば	「副詞節」
voi ヴォーイ pron 君たちが	「主語」
gli リ pron.pl 彼らに	「間接目的語」
dite: ティテ 2 複現(dire)v.t 言う	「動詞」
"La prova ラ・プローヴァ n.f 証拠は	「主語」
che ケ conj. (同格) ~という	「形容詞節」
il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは	「主語」
è esistito, エ・エジスト 3 単現・完了形(essere)v.i 存在していた	「動詞句」
sta スタ 3 単現(stare)v.i (場所に) ある	「動詞」
nel fatto ネル・ファット adv. 事実の中に	「副詞句」
che ケ conj. (同格) ~という	「形容詞節」
era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった	「動詞」
bèllissimo, ベリッシモ adj. (最上級) 素敵な	「補語」
che ケ conj. (同格) ~という	「形容詞節」
rideva リデヴァ 3 単半(ridere)v.i 笑っていた	「動詞」
e	
che ケ conj. (同格) ~という	「形容詞節」
voleva ヴォレバ 3 単半(volere)v.t 欲しがった	「動詞」
una pecora. ウァ・ペーコーラ n.f 羊を	「目的語」
Quando クワント conj. ~の時はいつも	「副詞節」
uno ウノ pron 人が	「主語」
vuele ヴォレ 3 単現(volere)v.t 欲しがる	「動詞」

IV

una pècora	ウァ・ペーコラ	n.f	羊を	「目的語」
è	エ	3 単現(èssere)v.i	～である	「動詞」
la pròva	ラ・プ ロヴァ	n.f	証拠	「補語」
che	ケ	conj.	(同格) ～という	「形容詞節」
esiste".	エシステ	3 単現(esistere)v.i	存在する	「動詞」

すると、彼らは肩をすくめて、君たちを子ども扱いするだろう。

Be', loro alzeranno le spalle, e vi tratteranno come un bambino.

				「間投」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 e 「目的語」 「動詞」 「副詞句」
Be',	ベ	int.	ほら	「間投」
loro	ロー	pron	彼らは	「主語」
alzeranno	アルツェランノ	3 複末(alzare)v.t	(軽蔑を表して) (肩を) すくめるだろう	「動詞」
le spalle,	レ・スパッレ	pl.n.f(spalla)	両肩を	「目的語」
e	エ	conj.	そして	
vi	ヴィ	pron	君たちを	「目的語」
tratteranno	トラテランノ	3 複末(trattare)v.t	扱うだろう	「動詞」
come un bambino.	コメ・ウン・バンビーノ	adv.	子供のように	「副詞句」

しかし、君たちが次のように言うならば：「王子様がやって来た惑星は、小惑星 B612 だ」、
すると彼らはすぐに納得して、君たちを質問から解放してくれるだろう。

Ma se voi invece gli dite: "Il pianeta da dove veniva è l'asteroide B 612" allora ne sono subito convinti e vi lasciano in pace con le domande.

Ma	「副詞節」	: 《「主語」「動詞」「補語」》, 「副詞」「動詞句」 e 「目的語」「動詞」「副詞句」
Ma	マ conj.	しかし
se	セ conj.	もし～ならば 「副詞節」
voi	ヴォイ pron.pl	君たちが 「主語」
invece	インヴェチェ adv.	反対に、その代わりに 「副詞」
gli	リ pron	彼らに 「間接目的語」
dite:	ディテ 2 複現(dire)v.t	言う 「動詞」
"Il pianeta	イル・ピアネータ n.m	惑星は 「主語」
da dove veniva	ダ・トヴァ・ヴェニヴァ adj.	彼がそこから来た 「形容詞節」
è	エ 3 単現(èssere)v.i	～である 「動詞」
l'asteroide B 612"	ラストロイデ・ビー・セチェント・トローディチ n.m	小惑星 B612 「補語」
allóra	アルローラ adv.	すると 「副詞」
ne sono sùbito convinti	ネ・ソノ・スビート・コンヴァィンチ 3 複現・完了形.pl(convincersi)	
v.pr	(仮定法の帰結)	すぐに納得した (だろう) 「動詞句」

IV

ne は単数・複数の男性・女性の代名小詞

e エ conj. そして

vi ヴィ pron 君たちを

「目的語」

lasciano ラッシャノ 3 複現(lasciare)v.t 放っておく

「動詞」

in pace イン・パーチェ adv. 静かに

「副詞句」

con le domande. コン・レ・ドマンデ adv. (対立) 質問から

「副詞句」

大人って、そんなもの。腹を立ててはいけない。子供は大人に寛大でなければならない。

Sono fatti così. Non c'è da prendersela. I bambini devono essere indulgenti coi grandi.

「動詞」「補語」 | 「動詞句」「主語」 | 「主語」「動詞句」「補語」

Sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ~である

「動詞」

fatti ファッティ adj.pl 作られた、出来上がった

「補語」

così. コシ adv. こんな風に

「副詞」

Non c'è ノン・チェ 3 単現・否定(esserci)v.i ~がない

「動詞句」

da +不定詞 ダ 不定詞・必要・目的 n. ~しなければならない事

「主語」

prendersela. プレンデルセラ 不定詞 v.pr 腹を立てる、喧嘩する、恨む

「動詞」

c'è da+不定詞 「~すべきことがある、~しなければならない」

non c'è da+不定詞 「~することがない、~してはならない」

I bambini イ・バンビーニ pl.n.m 子供たちは

「主語」

devono essere デヴョーノ・エッセル 3 複現・必要(dovére+不定詞)

v.i ~でなければならない

「動詞句」

indulgenti イントウリジエンティ adj.pl(indulgente) 寛大な

「補語」

coi grandi. コイ・グランティ adv. 大人たちに対して

「間接目的語」

しかし、もちろん、僕たちは人生を分かっているし、数字を無視する。

Ma certo, noi che comprendiamo la vita, noi che ce ne infischiamo dei numeri!

Ma 「副詞」, 「主語」, 「主語」

Ma マ conj. しかし

certo, チェルト adv. 確かに、もちろん

「副詞」

noi ノーイ pron 僕たちは

「主語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

comprendiamo コンプレンディアモ 1 複現(comprendere)

v.t 分かっている

「動詞」

la vita, ラ・ヴィータ n.f 人生を

「目的語」

noi ノーイ pron 僕たちは

「主語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

IV

ce ne infischiamo チェ・ネ・インフィスキアモ 1 複現(infischiamarsene)

v.pr 無視する

「動詞句」

dei nùmeri! デイ・ヌーメリ pl.n.m(nùmero) 数字を、番号を

「目的語」

僕はこの話を妖精物語のように始めたかったのだが。

Mi sarebbe piaciuto cominciare quèsto racconto còme una stòria di fate.

「間接目的語」「動詞句」「主語」

Mi ミ pron 僕にとって

「間接目的語」

sarebbe piaciuto サレッパ・ビ°アチュート 条・3 単現・完了形・推測・願望

(piacére)v.i ~が気に入っただろうに

「動詞句」

cominciare コミンチャレ 不定詞 v.t ~を始めることが

「主語」

quèsto racconto ケスト・ラッコント n.m この話を

「目的語」

còme コーメ conj. ~のように

「副詞句」

una stòria di fate. ウナ・ストーリア・デイ・ファータ n.f 妖精物語

「目的語」

fate ファータ pl.n.f(fata) 妖精、美人

piacére の使用方法 :

Mi piace il cioccolato. 私はチョコレートが好きだ。(現在形)Ti è piaciuto quel romanzo? あの小説は気に入ったかい?(現在完了形)

僕は、次のように言いたかったのだが:「昔、王子様がいました。彼は自分自身よりも少し大きい惑星に住んでいました。そして友達を欲しがっていました...」

Mi sarebbe piaciuto dire: "C'era una volta un piccolo principe che viveva su di un pianêta poco più grande di lui e aveva bisógno di un amico..."

「間接目的語」「動詞句」「主語」:《「動詞句」「副詞句」「主語」》

Mi ミ pron 僕にとって

「間接目的語」

sarebbe piaciuto サレッパ・ビ°アチュート 条・3 単現・完了形・推測・願望

(piacére)v.i ~が気に入っただろうに

「動詞句」

dire: デイレ 不定詞 n. 次のように言うことが

「主語」

"C'era チェラ 3 単半(esserci)v.i ~があった、~がいた

「動詞句」

una volta ウナ・ヴォルタ adv. 昔は、以前

「副詞句」

un piccolo principe ウン・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子様が

「主語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

viveva ヴィヴェヴァ 3 単半(vivere)v.i 住んでいた

「動詞」

su di un pianêta ス・デイ・ウン・ピァネータ adv. 惑星に

「副詞句」

poco più grande ホコ・ピウ・グランデ adj. 少し大きい 「形容詞句」

di lui デイ・ルーイ adv. (比較) 自分自身よりも 「副詞句」

piacére の使用方法 :

IV

e エ conj. そして

aveva アヴェ`ヴァ 3 単半(avére)v.t. ～があった

「動詞」

bisógno ビ`ゾ`ニョ n.m. 必要性

「目的語」

di un amico..." ディ`ウン`アミコ adj. 友達の

「形容詞句」

こうしたほうが、人生を理解している人たちにとっては、もっと本当らしかっただろう。

Per coloro che comprendono la vita, sarebbe stato móltó più véro.

「副詞句」, 「動詞」 「補語」

Per ヘル prep (利害) ～にとって

「副詞句」

coloro コロロ pron (関係代名詞 che の先行詞として) ～する人たち

「目的語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

comprendono コンプレントノ 3 複現(comprèndere)

v.t. 理解する

「動詞」

la vita, ラ`ヴァ`ィタ n.f. 人生を

「目的語」

sarebbe stato サレバ`・スタート 条・3 単現・完了形・推量(essere)v.i. ～だっただろう

「動詞」

móltó più véro. モルト`ピウ`ヴェロ adj. もっと真実の

「補語」

なぜなら、僕の本を軽々しく読んで欲しくなかったから。

Perché non mi piace che si legga il mio libro alla leggera.

Perché 「動詞句」 「間接目的語」 「動詞句」 「主語」

Perché ヘル conj. なぜなら

non ...piace ノン...ピ`アチェ 3 単現・否定(piacére)v.i. 気にいらぬ

「動詞句」

mi ミ pron 僕にとって

「間接目的語」

che ケ conj. ～ということは

「主語」

si legga シ`レガ` 接・3 単現・再帰受動(leggersi)v.pr. 読まれる

「動詞句」

il mio libro イル`ミオ`リーブロ n.m. 僕の本が

「主語」

alla leggera. アッラ`レヅジ`ェラ adv. (様態) 軽々しく、浅はかにも

「副詞句」

これらの思い出を打ち明けることは、僕にとって大きな悲しみだ。

È un grande dispiacere per me confidare quèsti ricòrdi.

「動詞」 「補語」 「主語」

È エ 3 単現(essere)v.i. ～である

「動詞」

un grande dispiacere ウン`グランデ`・テイスト`アチェレ n.m. 大きな悲しみ

「補語」

per me ヘル`メ adv. 僕にとって

「間接目的語」

confidare コンフィダーレ 不定詞 n. ～を打ち明けることは

「主語」

quèsti ricòrdi. ケスティ`リコール`ディ pl.n.m.(ricòrdo) これらの思い出を

「目的語」

IV

僕の友達が羊と一緒に立ち去ってから、もう 6 年になる。それで僕は、彼を忘れないために、彼のことを書こうとしている。

Sono già sèi anni che il mio amico se ne è andato con la sua pècora e io cerco di descriverlo per non dimenticarlo.

「動詞」「補語」 e 「主語」「動詞句」「副詞句」

Sono ソー 3 複現(èssere)v.i (時間が) ～である

「動詞」

già sèi anni ジャ・セイ・アンニ pl.n.m もう 6 年

「補語」

che ケ conj. (時間) ～したときから

「副詞節」

il mio amico イル・ミー・アミーコ n.m 僕の友達が

「主語」

se ne è andato セ・ネ・エ・アンダート 3 単現・完了形(andarsene)

v.pr 立ち去った

「動詞句」

con la sua pècora コン・ラ・スア・ペーコラ adv. 羊と一緒に

「副詞句」

e エ conj. そして

io イーオ pron 僕は

「主語」

cerco di descriverlo チェルコ・ディ・デスクリヴェルロ 1 単現・努力(cercare di+不定詞)

v.t 彼のことを記述しようとしている

「動詞句」

per + 不定詞 ペル adv. (目的) ～しないために

「副詞句」

non dimenticare. ノン・ディメンチカル・ロ 不定詞 v.t 彼を忘れない

「動詞句」

友達を忘れてしまうのは悲しいことだ。

È triste dimenticare un amico.

「動詞」「補語」「主語」

È エ 3 単現(èssere)v.i ～である

「動詞」

triste トリステ adj. 悲しい

「補語」

dimenticare ディメンチカレ 不定詞 n. ～を忘れることは

「主語」

un amico. ウン・アミーコ n.m 友達を

「目的語」

フランス語版では この位置に、次の文章が入っていた

Tout le monde n'a pas eu un ami.

誰もが友達を持ったことがあるわけではないんだ。

そして、僕も数字にしか興味を持たない大人になるかもしれない。

E posso anch'io diventare come i grandi che non s'interessano più che di cifre.

E 「動詞句」「主語」「補語」

E エ conj. そして

posso ... diventare ポッソ...ディヴァンチカレ 1 単現・可能性(potére+不定詞)

v.i ～になるかもしれない

「動詞句」

anch'io アンキーオ pron 僕も

「主語」

フランス語版では この位置に、次の文章が入っていた

IV

cóme コーメ conj. どのように	「補語」
i grandi イ・グランディ pl.n.m(grande) 大人たち	「目的語」
che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
non s'interessano ノン・シテレサノ 3 複現・否定(interessarsi)	
v.pr 興味を持たない	「動詞句」
più che di cifre. ピーウ・ケ・ディ・チーフレ	
adv.(cifra) 数字にしか	「間接目的語」
non ... più 「もはや～でない、これ以上～しない」	

そして、僕が絵の具箱と鉛筆の箱を買ったのは、このためでもあるんだ。

Ed è anche per questo che ho comperato una scatola coi colori e con le matite.

Ed 「動詞」 anche 「補語」「主語」

Ed エド conj. そして

接続詞 e が、母音、特に e で始まる語の前では ed となる。

è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

anche アンケ conj. もまた

per questo ペル・クェスト adv. このため 「補語」

che ケ conj. ～することは 「主語」

ho comperato オ・コンペラート 1 単現・完了形(comperare = comprare)

v.t 買った 「動詞句」

una scatola ウナ・スカトラ n.f 箱 「目的語」

coi colori コイ・コロリ adv.(colore) 絵の具の入った 「副詞句」

e エ conj. そして

con le matite. コン・レ・マチータ adv.(matita) 鉛筆の入った 「副詞句」

僕は 6 歳の時にボア大蛇の外側とボア大蛇の内側をデッサンした以外は、何も描いたことがなかったのに、この年になってからデッサンをもう一度始めるのは容易なことではない。

Non è facile rimettersi al disegno alla mia età quando non si sono fatti altri tentativi che quello di un serpente boa dal di fuori e quello di un serpente boa dal di dentro, e all'età di sei anni.

「動詞」「補語」「主語」

Non è ノネ 3 単現・否定(essere)v.i ～でない

「動詞」

facile ファーチェレ adj. 容易な、楽な

「補語」

rimettersi リメッテルシ 不定詞 v.pr 再び始めることは

「主語」

al disegno アル・デ・イェーニョ adv. デッサンを

「間接目的語」

alla mia età アッラ・ミー・ア・エタ adv. 僕の年齢で

「副詞句」

quando クワンド conj. (対立) ～なのに、～するときに

「副詞節」

IV

non si sono fatti ノン・シ・ソーノ・ファッティ 3 複現・再帰受動(farsi)

v.pr 行われなかった

「動詞句」

altri tentativi アルトリ・テンタティヴィ pl.n.m 他の試みは

「主語」

che ケ conj. (比較) ～よりも

「副詞句」

quello ケッロ pron.m デッサン

「目的語」

di un serpente boa ティ・ウン・セルペンテ・ボア

adj. ボア大蛇の

「形容詞句」

dal di fuori ダル・ディ・フォーリ adj. 外側の「形容詞句」

e エ conj. そして

quello di un serpente boa ケッロ・ティ・ウン・セルペンテ・ボア

pron.m ボア大蛇のデッサン

「目的語」

dal di dentro, ダル・ディ・デントロ adj. 内側の「形容詞句」

e エ conj. そして

all'età di sei anni. アッタ・ティ・セイ・アニ adv. 6 歳の時に「副詞句」

僕は、まったく本物にそっくりの肖像画を描くように努めるつもりだ。

Mi studierò di fare ritratti somigliantissimi.

「動詞句」「目的語」

Mi studierò di fare ミ・ストゥディエロ・ティ・ファーレ 1 単未・意思(studiarsi di+不定詞)

v.pt (行為・絵を) ～を描くように努めるつもりだ

「動詞句」

ritratti リトラッティ pl.n.m(ritratto) 肖像画

「目的語」

somigliantissimi. ソミリアンティッシミ

adj.m.pl(somigliante) (最上級) 非常によく似た

「形容詞」

しかしそれがうまくできるという確信はない。

Ma non sono affatto sicuro di riuscirci.

Ma 「動詞句」「補語」

Ma マ conj. しかし

non sono ノン・ソーノ 1 単現・否定(essere)v.i ～でない

「動詞句」

affatto sicuro アッファット・シクーロ adj.(di+不定詞 ～するのに) まったく自信がある

「補語」

affatto アッファット adv. まったく sicuro シクーロ adj. 自信がある、確信がある

di riuscirci. ティ・リウシル 不定詞・目的 adv. それがうまくできる

「副詞句」

riuscire リウシレ v.i (～が) うまくできる、成功する

あるデッサンはうまく描けても、他のものはまったく似ていないかもしれない。

Un disegno va bene, ma l'altro non assomiglia per niente.

「主語」「動詞」「補語」,ma 「主語」「動詞句」「副詞句」

Un disegno ウン・ディゼニョ n.m あるデッサンは

「主語」

IV

va ヴァ 3 単現(andare)v.i (事態が) 進行する	「動詞」
bène, ベーネ adv. 上手に、うまく	「補語」
ma マ conj. しかし	
l'altro ラルトロ pron ほかのデッサンは	「主語」
non assomiglia ノン・アッソミリア 3 単現・否定(assomigliare)v.i 似ていない	「動詞句」
per niènte. ペル・ニエンテ	
adv. (否定の強調) まったく～ない、無報酬で、つまらないことで	「副詞句」

背丈についても、間違っているだろう。

<u>Mi sbaglio anche sulla statura.</u>	「動詞句」「目的語」
Mi sbaglio ミ・ズバリオ 1 単現(sbagliare)v.pr 間違える	「動詞句」
anche アンケ conj. ～も	
sulla statura. スッラ・スタトゥーラ adv. (関連) 背丈について	「間接目的語」

こちらの王子さまは大きすぎる。

Qui il piccolo principe è troppo grande.	「副詞」「主語」「動詞」「補語」
Qui クイ adv. こちらの絵では	「副詞」
il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは	「主語」
è エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
troppo grande. トロッポ・グランデ adj. 大きすぎる	「補語」

あちらは小さすぎる。服の色についてもためらっている。。

<u>Là è troppo piccolo. Esito persino sul colore del suo vestito.</u>	「副詞」「動詞」「補語」 「動詞」「間接目的語」
Là ラ adv. あちらの絵では	「副詞」
è エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
troppo piccolo. トロッポ・ピッコロ adj. 小さすぎる	「補語」
Esito エシト 1 単現(esitare)v.i ためらっている	「動詞」
persino ペルシーノ adv. ～さえ、～に至るまで	「副詞」
sul colore スル・コロレ adv. 色について	「間接目的語」
del suo vestito. テル・スー・ヴェスチート adj. 服の	「形容詞句」

それで、試してみても、良かったり悪かったりふらついている。

E allora tento e tentenno, bene o male.	E 「副詞」「動詞」 e 「動詞」「副詞句」
E エ conj. そして	
allóra アッローラ adv. それで	「副詞」

IV

tento テント 1 単現(tentare)v.t 試している 「動詞」

e エ conj. そして

tentennò, テンテンノ 1 単現(tentennare)v.i 揺れている 「動詞」

bène o male. ベーネ・オ・マーレ adv. 良かったり悪かったり 「副詞句」

そして結局、もっと大切な正確な細部を間違えるかもしれない。

E finirò per sbagliarmi su cèrti particolari più importanti. E 「動詞句」「目的語」

E エ conj. そして

finirò per sbagliarmi フィニロ・ペール・ズバリアルミ 1 単未・結局(finire per+不定詞)

v.pr 結局は間違えるだろう 「動詞句」

sbagliarmi ズバリアルミ 不定詞(sbagliarsi)v.pr 間違える、誤りを犯す

su cèrti particolari ス・チェールティ・パルチコラーリ pl.n.m 正確な細部を 「目的語」

cèrti チェールティ adj.pl(cèrto) 正確な particolari パルチコラーリ pl.n.m(particolare) 細部

più importanti. ビウ・インポルタンティ adj.pl(importante) もっと大切な 「形容詞句」

しかしこれに関しては許してもらいたい。

Ma quésto bisogna perdonarmelo. Ma 「間接目的語」「動詞句」

Ma マ conj. しかし

quésto ケスト pron. これに関して 「間接目的語」

bisogna perdonarmelo. ビゾーニャ・ペルトナル・メロ 3 単現・非人称・必要(bisognare+不定詞)

v.h 私にそれを許してもらいたい 「動詞句」

僕の友人は一度も僕に説明をしてくれなかった。多分、僕が彼と同じような人間だと思っていたのだろう。

Il mio amico non mi dava mai delle spiegazioni. Forse credeva che fossi come lui.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | 「副詞」「動詞」「目的語」

Il mio amico イル・ミオ・アミーコ n.m 僕の友人は 「主語」

non ...dava mai ノン...ダヴァ・マイ 3 単半・否定(dare)v.t 一度も与えなかった 「動詞句」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

delle spiegazioni. テッレ・スピエガチオーニ pl.n.f 説明を 「直接目的語」

Forse フォールセ adv. おそらく、たぶん 「副詞」

credeva クレデーヴァ 3 単半(crédere)v.t 思っていた 「動詞」

che ケ conj. ～ということ 「目的語」

fossi フォッシ 接・1 単半・推量・時制の一致(essere)v.i ～だろう 「動詞」

come lui. コム・ルーイ adj. 彼と同じような 「補語」

V

僕は、残念ながら、箱の中のヒツジを見ることができない。

Io, sfortunatamente, non sapevo vedére le pècore attraverso le casse.

「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Io, イオ pron 私は

「主語」

sfortunatamente, スフォルツァメンテ adv. 残念ながら、あいにく

「副詞」

non sapevo vedére ノン・サペーヴォ・ヴェデーレ 1 単半・可能・否定・時制の一致(sapére+不定詞)

v.t 見ることができない

「動詞句」

le pècore レ・ペーコレ pl.n.f(pècora) ヒツジを

「目的語」

attraverso アットラヴェールソ prep ～を貫いて

「副詞句」

le casse. レ・カッセ pl.n.f(cassa) 箱

「目的語」

僕は少し大人たちみたいになったのかも知れない。年を取ったのに違いない。

Può darsi che io sia un po' cóme i grandi. Devo essere invecchiato.

「動詞句」「主語」 | 「動詞句」「補語」

Può darsi プォ・ダール 3 単現・可能性(potére+不定詞)v.h(che) 起こるかもしれない「動詞句」

Può darsi che+接続法 「～かもしれない、おそらく～だろう」

che ケ conj. ～ということが

「主語」

io イオ pron 私は

「主語」

sia シア 接・1 単現・推測(essere)v.i ～になった

「動詞」

un po' cóme i grandi. ウン・ポ・コメ・イ・グランティ adj. 少し大人みたいに

「補語」

Devo essere デーヴォ・エッセレ 1 単現・推量(dovére+不定詞)v.i ～になったに違いない「動詞句」

invecchiato. インヴェッキアート adj. 年を取った

「補語」

V

日ごとに、惑星や、出発や、それに旅行について、何らかのことを知っていった。

Ogni giorno imparavo qualche cosa sul pianéta, sulla partèntza, sul viaggio.

「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」

Ogni giorno オンニ・ジォールノ adv. 日ごとに

「副詞句」

imparavo インパラーヴォ 1 単半(imparare)v.t 知った

「動詞」

qualche cosa クォルケ・コサ n.f 何らかのことを

「目的語」

sul pianéta, スル・ピアネータ adv. 惑星について

「副詞句」

sulla partèntza, スッラ・パールテンツァ adv. 出発について

「副詞句」

sul viaggio. スル・ヴィアッジョ adv. 旅行について

「副詞句」

V

熟考によって分かってきたのだ。

Veniva da se', per qualche riflessione.

「動詞句」「副詞句」

Veniva da se', ベニバ・ダ・セ 3 単半(venire da sé)

v.i 当然の結果だった、～となった

「動詞句」

per qualche riflessione. ペル・クワルケ・リフレッシオーネ adv. いくらかの熟考によって

「副詞句」

このようにして、3 日目にバオバブの惨事を知った。

Fu così che al tèrzo giòrno conobbi il dramma dei baobàb.

「動詞」「副詞」「主語」

Fu 7 3 単遠(essere)v.i ~だった

「動詞」

così コシ adv. このように

「副詞」

che ケ conj. ~ということは

「主語」

al tèrzo giòrno アル・テールツォ・ジョールノ adv. 3 日目に

「副詞句」

conobbi コノビ 1 単遠(conoscere)v.t 知った

「動詞」

il dramma イル・ドラマ n.m 惨事を、悲劇を

「目的語」

dei baobàb. デイ・バオバブ adj. バオバブの

「形容詞句」

今回もまたあの羊のお陰だった。というのは、王子様が深刻な疑念に取りつかれたみたいに、だしぬけに僕に問いただしたからだ。

Anche quèsta vòlta fu mèrito della pècora, perché bruscamente il piccolo principe mi interrogò, come preso da un grave dubbio:

「副詞句」「動詞」「補語」「副詞節」

Anche quèsta vòlta アンケ・クェスタ・ヴォルタ adv. 今回も

「副詞句」

fu 7 3 単遠(essere)v.i ~だった

「動詞」

mèrito della pècora, メーリト・デッラ・ペーコラ n.m あの羊のお陰

「補語」

mèrito メーリト n.m 功績、手柄

perché ペルケ conj. というのは、～なので

「副詞節」

bruscamente ブルスカメンテ adv. だしぬけに、いきなり

「副詞」

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子様が

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

interrogò, インテロゴ 3 単遠(interrogare)v.t 問いただした

「動詞」

come コメ conj. ~のように

「副詞句」

preso プレ 過去分詞・受動(prendere)v.t 心を奪われた

「動詞」

da ダ prep (動作主) ~によって

「副詞句」

un grave dubbio: ウン・グラーヴェ・ドゥッビオ n.m 深刻な疑念「目的語」

V

「羊が低木を食べるって、本当なんでしょう？」

"È proprio véro che le pècore mangiano gli arbusti?"

《「動詞」「補語」「主語」》

"È エ 3 単現・疑問文(essere)v.i (確認) ～でしょう？

「動詞」

proprio véro プロ・プ・リオ・ヴェーロ adj. 本当の

「補語」

che ケ conj. ～ということは

「主語」

le pècore レ・ペー・コレ pl.n.f(pècora) 羊が

「主語」

mangiano マンジャノ 3 複現(mangiare)v.t 食べる

「動詞」

gli arbusti." リ・アルブ・スティ pl.n.m(arbusto) 灌木を

「目的語」

「そうだよ、本当だよ」

"Sì, è véro".

《「応答」》

"Sì, シ adv. (肯定) そうだよ

「応答」

è véro". エ・ヴェーロ adv. 本当だよ

「応答」

「ああ、それはうれしい」

"Ah! Sono contènto".

《「間投」「動詞」「補語」》

"Ah! アー int. ああ

「間投」

Sono ソー 1 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

contènto". コンテント adj. 満足した、うれしい

「補語」

羊が低木を食べることがそれほど重要だとは、僕は理解できなかった。

Non capii perché era così importante che le pècore mangiassero gli arbusti.

「動詞句」「副詞節」

Non capii ノン・カピイ 1 単遠・否定(capire)v.t 理解できなかった

「動詞句」

perché ペルケ conj. (後から理由を追加する) なぜなら～なので

「副詞節」

era エー 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である

「動詞」

così importante コシ・インポルタンテ adj. それほど重要な

「補語」

che ケ conj. ～ということが

「主語」

le pècore レ・ペー・コレ pl.n.f(pècora) 羊が

「主語」

mangiassero マンジャッセロ 接・3 複半・時制の一致・推測(mangiare)

v.t 食べるだろう

「動詞」

gli arbusti. リ・アルブ・スティ pl.n.m(arbusto) 低木を

「目的語」

しかし王子さまは続けて言った：

Ma il piccolo principe continuò:

Ma 「主語」「動詞」

Ma マ conj. しかし

V

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

continuò: コンチヌア 3 単遠(continuare)v.t 続けた

「動詞」

「それじゃあ、バオバブも食べるんだね？」

"Allóra mangiano anche i baobàb?"

《「副詞」「動詞」「目的語」》

"Allóra アッローラ adv. それじゃあ

「副詞」

mangiano マンジャノ 3 複現・確認(mangiare)v.t 食べるんだね

「動詞」

anche i baobàb?" アンケ・イ・バオバブ pl.n.m バオバブも

「目的語」

僕は、バオバブは低木ではなく、教会ほどの巨木だということと、たとえ象の群れを連れて行っても、たった1本のバオバブも食べつくせないことを、王子様に気づかせた。

Feci osservare al piccolo principe che i baobàb non sono degli arbusti, ma degli àlberi grandi cóme chièse e che se anche non avesse portato con sé una màndria di elefanti, non sarebbe venuto a capo di un sólo baobàb.

「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」e「直接目的語」

Feci osservare フェーチ・オッセルヴァーレ 1 単遠・使役(fare+不定詞)v.t 気づかせた

「動詞句」

al piccolo principe アル・ピッコロ・プリンチペ adv. 王子様に

「間接目的語」

fare+人+不定詞 (人は: 不定詞が他動詞なら間接目的語、自動詞なら直接目的語)

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

i baobàb イ・バオバブ pl.n.m バオバブは

「主語」

non sono ノン・ソノ 3 複現・否定(èssere)v.i ～でない

「動詞」

degli arbusti, デッリ・アルブスティ pl.n.m(arbusto) 低木

「補語」

ma マ conj. そうではなくて

degli àlberi grandi デッリ・アルベリ・グランティ pl.n.m(àlbero) 巨木

「補語」

cóme chièse コーメ・キエーセ adj.(chièsa) 教会のような

「形容詞句」

e エ conj. そして

che ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

se anche +接続法 セ・アンケ conj. たとえ～しても

「副詞節」

non avesse portato con sé ノン・アヴエッセ・ポルタート・コン・セ 接・3 単半・完了形・假定(portare)

v.t(con sé) 連れて行った

「動詞句」

non は虚辞 (恐れ、疑いを表す動詞の後の従属節の中で)

una màndria ウァ・マントリア n.f 群れを

「目的語」

di elefanti, デイ・エレファンティ adj. 象の

「形容詞句」

non sarebbe venuto a capo di ノン・サレツペ・ヴァエヌート・ア・カーポ・デイ 条・3 単現・完了形・否定・推測

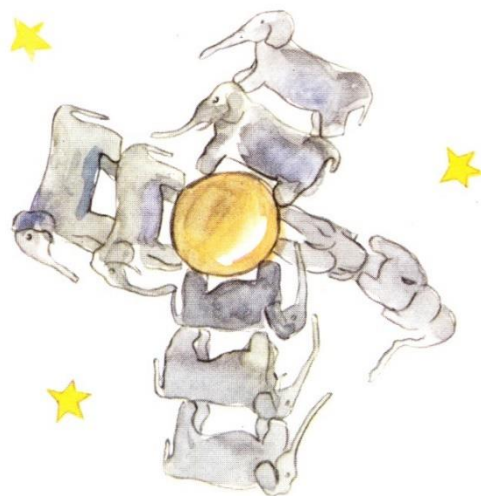
(venire a capo di)v.t ～を解決出来ないだろう

「動詞句」

un sólo baobàb. ウン・ソーロ・バオバブ n.m たった1本のバオバブを

「目的語」

V



象の群れという思いつきを聞いて、王子さまは笑った。

L'idea della mandria di elefanti fece ridere il piccolo principe:

「主語」「動詞句」「目的語」

L'idea リデア n.f 思いつきは

「主語」

della mandria di elefanti テッラ・マンドリア・ディ・エレファンティ

adj. (同格) 象の群れという

「形容詞句」

fece ridere フェーチェ・リーデレ 1 単遠・使役(fare+不定詞)v.t 笑わせた

「動詞句」

il piccolo principe: イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子様を

「目的語」

「象を重ねておかないとならないだろうな」

"Bisognerebbe metterli gli uni su gli altri..."

《「動詞句」「目的語」「副詞句」》

"Bisognerebbe metterli ビゾニェレッベ・メッテル・リ 条・3 単現・非人称・必要(bisognare+不定詞)

v.h 象たちを置かなければならないだろう

「動詞句」

仮定文の無い、推測を表す帰結文

gli uni リ・ウニ pl.pron(un) 象を

「目的語」

su gli altri..." ス・リアトリ adv. 別の像の上に

「副詞句」

しかし、賢明にも指摘した。

Ma osservò saggiamente:

Ma 「動詞」「副詞」

Ma マ conj. しかし

osservò オッセルヴァ 3 単遠(osservare)v.t 指摘した、観察した

「動詞」

saggiamente: サジヤメンテ adv. 賢明に

「副詞」

V

「バオバブだって、大きくなる前は、小さいんでしょう？」

"I baobàb prima di diventar grandi cominciano con l'essere piccoli".

《「主語」「副詞句」「動詞」「副詞句」》

"I baobàb イ・バ・オバブ pl.n.m バオバブは 「主語」
 prima di +不定詞 プリーマ・ディ adv. ～する前は 「副詞句」
 diventar ディヴァンター 不定詞(diventare)v.i ～になる 「動詞」
 grandi グランディ adj.pl(grande) 大きい 「補語」
 cominciano コミンチャノ 3 複現(cominciare)v.i 始まる 「動詞」
 con l'essere piccoli". コン・レッセ・ピッコリ adv. (状態) 小さい状態で 「副詞句」

「その通り！だけど、どうして君の羊が小さいバオバブを食べることを望むの？」

"È esatto! Ma perché vuoi che le tue pècore mangino i piccoli baobàb?"

《「動詞」「補語」 | Ma 「副詞」「動詞」「目的語」》

"È エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」
 esatto! エザット adj. 正確な、正しい、(返事として副詞的に) そのとおり 「補語」
 Ma マ conj. だけど
 perché ペルケ adv. どうして 「副詞」
 vuoi ヴァイ 2 単現・疑問文(volere)v.t 望むの？ 「動詞」
 che ケ conj. ～ということ 「目的語」
 le tue pècore レ・トゥー・エ・ペーコレ pl.n.f(pècora) 君の羊が 「主語」
 mangino マンジノ 接・3 複現(mangiare)v.t 食べる 「動詞」
 i piccoli baobàb?" イ・ピッコリ・バ・オバブ pl.n.m 小さいバオバブを 「目的語」

接続法の用法：

精神活動を表す「動詞・補語・名詞」を持つ主節に導かれる従属節は、接続法が使われる。

精神活動を表す動詞の例：

credere	思う	pensare	考える
supporre	想像する	temere	懸念する
avere paura	恐れる	meravigliarsi	驚く
dolersi	嘆く	preoccuparsi	心配する
desiderare	願う	preferire	好む
sperare	願う	attendere	期待する
esigere	要求する	fare	～させる
lasciare	～させておく		

用法：< (主語+) 精神活動を表す動詞 (句) +che+接続法>

Ci meravigliamo che lui abbia risolto l'affare complicato.

V

私たちは、彼が面倒な問題を解決したので驚いている。

精神活動を表す形容詞・過去分詞の例：

certo	信じている	convinto	確信した
meravigliato	驚いた	stupito	呆気にとられた
sorpreso	びっくりした	irritato	苛立った
seccato	うんざりした	ansioso	心配な
inquieto	不安な	contento	満足した
felice	幸せな	lieto	嬉しい
dolente	悩んでいる	spiacente	遺憾な
grato	感謝している	desideroso	切望している
bramoso	熱望している		

用法：〈(主語+) essere+精神活動を表す形容詞・過去分詞+che+接続法〉

Sèi **contento** che si sia realizzato il tuo sogno, véro?

夢が実現して嬉しいだろう？

精神活動を表す名詞の例：

fatto	事実	impressione	印象
convinzione	信念	piacere	よろこび
dispiacere	不快、遺憾	meraviglia	驚き
paura	不安、恐れ	dubbio	疑い
desiderio	願望	intenzione	意図
scopo	目的	richiesta	要求
divieto	禁止	augurio	祈願
attesa	期待		

用法：〈(主に) 精神活動を表す名詞+che+接続法 (... という～)〉 → 同格

Abbiamo la ferma **convinzione** che egli abbia sbagliato.

私たちは彼が間違っていたという確信をもっている。

「ほら、分かっているだろう？」と、明らかな事が論じられているかのように、僕に答えた。

"Be! Si capisce", mi rispose come se si trattasse di una cosa evidente.

《「間投」 | 「動詞句」》, 「間接目的語」「動詞」「副詞節」

"Be! へ int. (bène の語尾切断) ほら、さあ 「間投」

Si capisce", シ・カピ・シェ 3 単現・再帰受動(capirsi)v.pr それは理解されている 「動詞句」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

rispose リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.t 答えた 「動詞」

come se +接続法 コ・セ conj. まるで～であるかのように 「副詞節」

V

si trattasse シ・トラッセ 接・3 単半・再帰受動(trattarsi)

v.pr(di が) 論じられている

「動詞句」

di una còsa ティ・ウナ・コーサ n.f 事が

「主語」

evidente. エヴィデーnte adj. 明らかな

「形容詞」

そして、僕が一人でこの問題を解くためには、大きな知的努力が必要だった。

E mi ci volle un grande sfòrzo d'intelligenza per capire da sólo quésto problèma.

E 「間接目的語」「動詞句」「主語」「副詞句」

E エ conj. そして

mi ミ pron 僕にとって

「間接目的語」

ci volle チ・ヴォレ 3 単遠・非人称(volerci)v.h が必要だった

「動詞句」

un grande sfòrzo d'intelligenza ウン・グランテ・スフォルツォ・デ インテリジエンツァ

n.m 大きな知的努力が

「主語」

per capire ヘル・カピレ adv. 解くために、理解するために

「副詞句」

da sólo ダ・ソーロ adv. 一人で

「副詞句」

quésto problèma. ケスト・プロブレマ n.m この問題を

「目的語」

確かに、王子様の惑星には、すべての惑星と同様に、良い草と悪い草がある。

Infatti, sul pianéta del piccolo principe ci sono, come su tutti i pianeti, le èrbe buone e quèlle cattive.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」「主語」

Infatti, インファッティ conj. 確かに

「副詞」

sul pianéta del piccolo principe スル・ピ アネータ・テル・ピ ッコロ・プリンチペ

adv. 王子様の惑星には

「副詞句」

ci sono, チ・ソーノ 3 複現・存在(esserci)v.i ーがある

「動詞句」

cóme su tutti i pianeti, コーメ・ストゥッティ・イ・ピ アネーティ

adv. すべての惑星上と同様に

「副詞句」

le èrbe レ・エールベ pl.n.f(èrba) 草が

「主語」

buòne ブオーネ adj.f.pl(buòno) 良い

「形容詞」

e エ conj. そして

quèlle ケエッレ pron.f.pl 草が

「主語」

cattive. カッティエヴァー adj.f.pl(cattivo) 悪い

「形容詞」

従って：良い草の良い種と悪い草の悪い種がある。

Di conseguenza: dei buòni sémi di èrbe buòne e dei cattivi sémi di èrbe cattive.

「副詞句」：「主語」 e 「主語」

Di conseguenza: ティ・コンセグエンツァ adv. 従って、結果的に

「副詞句」

V

di (in / per) conseguenza ティ(イン / ペル) コンセグエンツァ adv. 従って、結果的に
 dei buoni sémi ティ・ブォーニ・セーミ pl.n.m(buono séme) 良い種が 「主語」
 dei は、部分冠詞「いくつかの、いくらかの」
 di erbe buone ティ・エルベ・ブォーネ adj.(erba buona) 良い草の 「形容詞句」
 e エ conj. そして
 dei cattivi sémi ティ・カッティヴ・セーミ pl.n.m(cattivo séme) 悪い種が 「主語」
 di erbe cattive. ティ・エルベ・カッティヴ・セー adj.(erba cattiva) 悪い草の 「形容詞句」

しかし、種は目に見えない。

Ma i semi sono invisibili. Ma 「主語」「動詞」「補語」
 Ma マ conj. しかし
 i semi イ・セーミ pl.n.m(séme) 種は 「主語」
 sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ~である 「動詞」
 invisibili. インヴィジビレリ adv.m.pl(invisibile) 目に見えない 「補語」

彼らは、どれか一つの種に、目覚めようという気まぐれがとりつくまで、地面の中の秘密の場所で眠っている。

Dormono nel segreto della terra fino a che all'uno o all'altro pigli la fantasia di risvegliarsi. 「動詞」「副詞句」
 Dormono ドルモノ 3 複現(dormire)v.i 眠っている 「動詞」
 nel segreto ネル・セグレート adv. 秘密の場所の中で 「副詞句」
 della terra デッラ・テラ adj. 地面の 「形容詞句」
 fino a che フィーノ・ア・ケ conj. ~するまで 「副詞節」
 all'uno o all'altro アル・ノ・オ・アラルトロ adv. どれかに 「間接目的語」
 pigli ビリ 接・3 単現(pigliare)v.t つかむ、取る 「動詞」
 la fantasia ラ・ファンタジーア n.f 思い付き、気まぐれ 「主語」
 di risvegliarsi. ティ・リスヴェルヤルシ 不定詞・同格
 adj. 目覚めると言う 「形容詞句」

それから背伸びをして、始めはおずおずと太陽の方へ害のない美しい小枝を伸ばしていく。

Allóra si stira, e sospinge da principio timidamente verso il sóle un bellissimo ramoscèllo inoffensivo. 「副詞」「動詞句」、e 「動詞」「副詞句」「目的語」
 Allóra アッローラ adv. それから 「副詞」
 si stira, シ・ストラ 3 単現(stirarsi)v.pr 背伸びをする 「動詞句」
 e エ conj. そして
 sospinge ソスピンジエ 3 単現(sospingere)v.t 伸ばす 「動詞」

V

da principio ダ・プリンチーオ adv. 始めは

「副詞句」

timidaménte チミダメンテ adv. おずおずと

「副詞」

vèrso il sóle ヴェールツ・イル・ソーレ adv. 太陽の方へ

「副詞句」

un bellissimo ramoscèllo ウン・ベリッシモ・ラモシェロ n.m 美しい小枝を

「目的語」

inoffensivo. イノフェンシヴォ adj. 害のない

「形容詞」



フランス語版では ここに、次の文があった

S'il s'agit d'une brindille de radis ou de rosier, on peut la laisser pousser comme elle veut.
 赤カブや薔薇の木の小枝なら、それが芽を出すままにさせておけば良い。

しかし悪い植物のことならば、それに気づくや否や、すぐに引き抜かねばならない。

Ma se si tratta di una pianta cattiva, bisógna strapparla subito, appena la si è riconosciuta.

Ma 「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」

Ma マ conj. しかし

se セ conj. もし～ならば

「副詞節」

si tratta シトラッタ 非人称・3 単現(trattarsi)v.pr(di の) ことである

「動詞句」

フランス語版では ここに、次の文があった

V

di una pianta	ディ・ウナ・ツピ・アンタ	adv. 植物の	「間接目的語」
cattiva,	カッティヴァ	adj.f 悪い	「形容詞」
bisogna strapparla	ビゾニャ・ストラッパ・ル・ラ	非人称・3 単現(bisognare+不定詞)	
v.h	それを引き抜かなければならない		「動詞句」
sùbito,	スビト	adv. すぐに	「副詞」
appena	アッペーナ	conj. ～するやいなや	「副詞節」
la	ラ	pron それを	「目的語」
si è riconosciuta.	シ・エ・リコノシユータ	3 単現・完了形(riconoscersi)	
v.pr	気づいた		「動詞句」

王子様の惑星には恐ろしい種があった：それはバオバブの種だ。

C'erano dei terribili sémi sul pianéta del piccolo principe: erano i sémi dei baobàb.

			「動詞句」「主語」「副詞句」：「動詞」「補語」
C'erano	チェラノ	3 複半(esserci)v.i	「動詞句」
dei terribili sémi	ディ・テリビリ・セミ	pl.n.m(terribile séme)	「主語」
sul pianéta	スル・ピ・アネータ	adv. 惑星の上には	「副詞句」
del piccolo principe:	デル・ピッコロ・プリンチペ	adj. 王子様の	「形容詞句」
erano	エラノ	3 複半・時制の一致(essere)v.i	「動詞」
i sémi	イ・セミ	pl.n.m(séme)	「補語」
dei baobàb.	ディ・バオバブ	adj. バオバブの	「形容詞句」

その地面にはそれがはびこっていた。ところが 1 本のバオバブであっても、取り掛かるのが遅すぎると、もうそれを片付けられなくなる。

Il suòlo ne era infestato. Óra, un baobàb, se si arriva tròppo tardi, non si riesce più a sbarazzarsene.

			「主語」「動詞句」 「副詞句」, 「副詞節」, 「動詞句」
Il suòlo	イル・スオーロ	n.m 地面は	「主語」
ne	ネ	adv. その	「副詞」
era infestato.	エラ・インフェスタート	3 単半・受動(infestare)v.t	「動詞句」
Óra,	オーラ	conj. ところが	
un baobàb,	ウン・バオバブ	n.m (譲歩) 1 本のバオバブでも	「副詞句」
se	セ	conj. もし～すると	「副詞節」
si arriva	シ・アリガ	3 単現(arrivarsi)v.pr	「動詞句」
tròppo tardi,	トロッポ・タルディ	adv. あまりにも遅く	「副詞句」
non si riesce più a sbarazzarsene.	ノン・シ・リエシェ・ピウ・ア・スバラツァール・セ・ネ	3 単現・成功・否定(riuscirsi a+不定詞+piu)	
v.pr	もうそれを片付けることができない		「動詞句」

V

惑星を覆いつくして、根で惑星を貫き通す。

Ingombra tutto il pianéta. Lo trapassa con le sue radici.

「動詞」「目的語」 | 「目的語」「動詞」「副詞句」

Ingombra インゴンブラ 3 単現(ingombrare)v.t いっぱいにする、ふさぐ 「動詞」

tutto il pianéta. トゥット・イル・ピ°アネータ n.m 惑星全体を 「目的語」

Lo ▯ pron 惑星を 「目的語」

trapassa トラパッサ 3 単現(trapassare)v.t 貫く、貫通する 「動詞」

con le sue radici. コン・レ・スエ・ラディチ adv.(radice) 根で 「副詞句」

そしてもしその惑星が小さすぎてバオバブが多すぎる時は、その惑星を破裂させてしまう。

E se il pianéta è tròppo piccolo e i baobàb tròppo numerosi, lo fanno scoppiare.

E 「副詞節」, 「目的語」「動詞句」

E エ conj. そして

se セ conj. もし～ならば 「副詞節」

il pianéta イル・ピ°アネータ n.m その惑星が 「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

tròppo piccolo トロッポ°・ピ°ッコロ adj. 小さすぎる 「補語」

e エ conj. そして

i baobàb イ°バ°オ°バ°ブ pl.n.m バオバブが 「主語」

tròppo numerosi, トロッポ°・ヌメローシ adj.pl 多すぎる 「補語」

lo ▯ pron 惑星を 「目的語」

fanno scoppiare. ファノ°ノ°スコッピ°アーレ 3 複現・使役(fare+不定詞)

v.t 破裂させる 「動詞句」

「それは規律の問題なんだ」と、後になって、王子さまは僕によく言っていたものだ。

"È una questione di disciplina", mi diceva più tardi il piccolo principe.

《「動詞」「補語」》, 「間接目的語」「動詞」「副詞句」「主語」

"È エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

una questione ウナ°クェスチオーネ n.f 問題 「補語」

di disciplina", ティ°ディ°シプリナ adj. 規律の 「形容詞句」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

diceva ティ°チェヴァ 3 単半(dire)v.t 言っていた 「動詞」

più tardi ピ°ウ°タルティ adv. 後で、後になって 「副詞句」

il piccolo principe. イル°ピ°ッコロ°プリンチヘ n.m 王子さまは 「主語」

V

「朝の身支度が済んだら、念入りに星の掃除をしなければならないんだ」

"Quando si ha finito di lavarsi al mattino, bisogna fare con cura la pulizia del pianéta.

《「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」》

"Quando クォント conj. (条件) ～したら

「副詞節」

si シ pron 自分が

「主語」

ha finito di lavarsi ア・フィニート・ディ・ラヴァルシ 3 単現・完了形・終了(finire di+不定詞 lavarsi)

v.pr 身支度を終えた

「動詞句」

lavarsi ラヴァルシ v.pr 自分の体を洗う、整える、身支度をする

al mattino, アル・マッティーノ adv. 朝に

「副詞句」

bisogna fare ビゾーニャ・ファレ 非人称・三単現(bisognare+不定詞)

v.h しなければならない

「動詞句」

con cura コン・クーラ adv. 念入りに

「副詞句」

la pulizia ラ・プ・リツィア n.f 掃除

「目的語」

del pianéta. デル・ピ・アネータ adj. 星の

「形容詞句」

「小さい時はとても良く似ているバラの木とバオバブを見分けたらすぐに、きちんとそれを引き抜かなければならない。」

Bisogna costringersi regolarménte a strappare i baobàb appena li si distingue dai rosai ai quali assomigliano móltto quando sono piccoli.

《「動詞句」 「副詞句」 「動詞句」 「目的語」 「副詞節」》

Bisogna costringersi ビゾーニャ・コストリンジエルシ 非人称・三単現(bisognare+不定詞 costringersi)

v.pr(a+不定詞) かならず～しなければならない

「動詞句」

regolarménte レゴラールメンテ adv. きちんと、規則的に

「副詞句」

a strappare ア・ストラッパレ 不定詞 v.t 引き抜く

「動詞句」

i baobàb イ・バ・オハブ pl.n.m バオバブを

「目的語」

appena アッペーナ conj. ～するとすぐに

「副詞節」

li リ pron それを

「目的語」

si distingue シ・ディンチンギエ 3 単現(distinguersi)v.pr 見分ける

「動詞句」

dai rosai ダイ・ロザイ adv.(rosàio) バラの木と

「副詞句」

ai quali アイ・クワリ adj. それに～する

「形容詞節」

assomigliano アッミリヤノ 3 複現(assomigliare)v.i 似ている 「動詞」

móltto モルト adv. とても

「副詞」

quando クォント conj. ～するときは

「副詞節」

sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ～である

「動詞」

piccoli. ビッコリ adj.pl 小さい

「補語」

V

「とてもうんざりする仕事だけど、やさしいよ」

È un lavoro molto noioso, ma facile".

《「動詞」「補語」,ma「補語」》

È エ 3 単現(essere)v.i. ～である

「動詞」

un lavoro ウン・ラヴォーロ n.m. 仕事

「補語」

molto noioso, モルト・ノイオーソ adj. とてもうんざりする

「形容詞句」

ma マ conj. しかし

facile". ファーチレ adj. やさしい

「補語」

そしてある日、王子さまは、この考えを僕の国の子供たちの頭によく入れさせるために、美しいデッサンを描くようにと僕に勧めた。

E un giorno mi consigliò di fare un bel disegno per far entrare bene questa idea nella testa dei bambini del mio paese.

E「副詞句」「目的語」「動詞」「補語」「副詞句」

E エ conj. そして

un giorno ウン・ジォルノ adv. ある日

「副詞句」

mi ミ pron 僕に

「目的語」

consigliò コンシリオ 3 単遠(consigliare)v.t(di+不定詞 ～するように) 勧めた

「動詞」

di fare ディ・ファーレ 不定詞・mi の動作 v.t (絵を) 描く

「補語」

un bel disegno ウン・ベル・ディゼーニョ n.m 美しいデッサンを

「目的語」

子音で始まる語の前で、bel ベル adj.m(bello) 美しい bèi ベイ adj.m.pl

s+子音, z, gn, ps などの子音の前では、単数 bello, 複数 bègli

母音の語の前では、単数 bèll', 複数 bègli または bèlli

名詞の後に置かれるときはすべて、単数 bello, 複数 bèlli

女性形は単数 bella, 複数 belle

per far entrare ペル・ファール・エントラレ 不定詞・目的・使役 adv. 入れさせるために

「副詞句」

bene ベーネ adv. よく、十分に

「副詞」

questa idea クェスタ・イデア n.f この考えを

「目的語」

nella testa ネッラ・テスト adv. 頭の中に

「副詞句」

dei bambini ディ・バンビニー adj. 子供たちの

「形容詞句」

del mio paese. デル・ミー・パエーセ adj. ぼくの国の

「形容詞句」

V



Les baobabs.

V

「彼らがいつか旅行をしたら」と、僕に言っていた。「この忠告は彼らの役に立つかもしれない」

"Se un giorno viaggeranno", mi diceva, "questo consiglio gli potrà servire.

《「副詞節」》, 「間接目的語」「動詞」, 《「主語」「間接目的語」「動詞句」》

"Se セ conj. もし～ならば 「副詞節」

un giorno ウン・ジョルノ adv. ある日 「副詞句」

viaggeranno ", ヴィアジエランノ 3 複未・仮定(viaggare)v.i 旅行するとした 「動詞」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

diceva, ディチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言っていた 「動詞」

"questo consiglio ケスト・コンシリオ n.m この忠告は 「主語」

gli リ pron 彼らにとって 「間接目的語」

potrà servire. ポトラ・セルヴァーレ 3 単未・推量(potére+不定詞)

v.i 役に立つかもしれない 「動詞句」

「時には、自分の仕事を少しだけ後回しにしても、何も支障がないことがある」

Qualche volta è senza inconvenienti rimettere a più tardi il proprio lavoro.

《「副詞句」「動詞」「補語」「主語」》

Qualche volta クォルク・ヴォルタ adv. 時には、時々 「副詞句」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

senza inconvenienti センツァ・インコンヴェニエンティ adj. 支障の無い 「補語」

rimettere リメッテ 不定詞 n. 延期することは 「主語」

a più tardi ア・ピウ・タルティ adv. 少し後に 「副詞句」

il proprio lavoro. イル・プロプリア・ラヴォーロ n.m 自分の仕事を 「目的語」

「しかし、バオバブに関わることならば、後回しにすれば必ず大惨事につながる。」

Ma se si tratta dei baobàb è sempre una catastrofe. 《Ma 「副詞節」, 「動詞」「補語」》

Ma マ conj. しかし

se セ conj. もし～ならば 「副詞節」

si tratta シ・トラッタ 非人称・3 単現(trattare)v.h(si tratta di) ～にかかわる 「動詞句」

dei baobàb デイ・バオバブ adv. バオバブに 「間接目的語」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

sempre センプレ adv. いつでも 「副詞」

una catastrofe. ウナ・カタストロフェ n.f 大惨事、破局 「補語」

V

「僕は、怠け者が住んでいた惑星を知っている。」

Ho conosciuto un pianéta abitato da un pigro.

《「動詞句」「目的語」》

Ho conosciuto オ・コノシュート 1 単現・完了形(conoscere)v.t 知っていた

「動詞句」

un pianéta ウン・ピ・アネータ n.m 惑星を

「目的語」

abitato アビタート 過去分詞・受動(abitare)adj. 住まれていた

「形容詞句」

da un pigro. タ・ウン・ピ・グロ adv. (動作主) 怠けものによって「副詞句」

「彼はその低木に注意を払わなかったんだ」

Aveva trascurato gli arbusti..."

《「動詞句」「目的語」》

Aveva trascurato アヴェ・ウァ・トラスカート 3 単半・完了形(trascurare)

v.t おろそかにしていた

「動詞句」

gli arbusti..." リ・アルブ・スティ pl.n.m(arbusto) その低木を

「目的語」

それで僕は、王子様の指示に従ってその惑星を描いた。

E sull'indicazione del piccolo principe ho disegnato quel pianéta.

E 「副詞句」「動詞句」「目的語」

E エ conj. それで

sull'indicazione del piccolo principe スル・インデ・イカチオーネ・テル・ピ・ッコロ・プ・リンチヘ

adv. (方法) 王子様の指示に従って

「副詞句」

ho disegnato オ・デ・イェンタート 1 単現・完了形(disegnare)v.t 描いた

「動詞句」

quel pianéta. ケル・ピ・アネータ n.m その惑星を

「目的語」

僕は道德家の論調で話すのは好きではない。

Non mi piace prendere il tono del moralista. 「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」

Non ...piace ノン...ピ・ア・チェ 3 単現・否定(piacere)v.i 気に入らない

「動詞句」

mi ミ pron 僕にとって

「間接目的語」

prendere プレンデレ 不定詞 n. 取ることは

「主語」

il tono イル・トノ n.m 論調を

「目的語」

del moralista. テル・モリスタ adj. 道德家の

「形容詞句」

「しかしバオバブの危険はあまり知られていないし、惑星で道に迷った人が侵すかもしれない危険はあまりにも大きいので、今回だけは例外を設けた」

Ma il pericolo dei baobà è così pòco conosciuto, e i rischi che correrebbe chi si smarrisce su un asteròide, così gravi, che una volta tanto ho fatto eccezione.

《Ma 「主語」「動詞」「補語」, e 「主語」「補語」, che 「副詞句」「動詞句」「目的語」》

Ma マ conj. しかし

V

il pericolo	イル・ペリーコ	n.m	危険は	「主語」
dei baobàb	デイ・バオバブ	adj.	バオバブの	「形容詞句」
è	エ	3 単現(essere)v.i	～である	「動詞」
così poco conosciuto	コシ・ポコノシュート	adj.	あまり知られていない	「補語」
e	エ	conj.	そして	
i rischi	イ・リスキ	pl.n.m(rischio)	危険は	「主語」
che	ケ	pron	(目的語) ～する	「形容詞節」
correrebbe	コッレツベ	条・3 単現・推測(correre)		
	v.t	(危険を) 冒すかもしれない		「動詞」
chi	キ	pron	(主語) ～する人が	「主語」
si smarrisce	シ・ズマリッセ	接・3 単半・仮定(smarrirsi)		
	v.pr	道に迷った		「動詞句」
su un asteroide	ス・ウン・アステロイデ	adv.	惑星で	「副詞句」
così gravi	コシ・グラヴィ	adj.	あまりにも大きい	「補語」
che	ケ	conj.	(così...che あまりにも～なので) それで～する	
una volta tanto	ケ・ウナ・ヴォルタ・タント	adv.	一度だけ	「副詞句」
	una volta tanto		「時々、時たま、今度だけ、1 回だけ」	
ho fatto	オ・ファット	1 単現・完了形(fare)v.t	作った	「動詞句」
eccezione	エツェツィオーネ	n.f	例外を	「目的語」

「そして、言おう：《子供たちよ！バオバブに注意するんだよ！》」

E dico: "Bambini! Fate attenzione ai baobàb!"

《E「動詞」：“「呼びかけ」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」”》

E conj. そして

dico	デイコ	1 単現・意思(dire)v.t	言おう	「動詞」
"Bambini!	バンビーニ	pl.n.m	子供たちよ！	「呼びかけ」
Fate	ファテ	命・2 複現(fare)v.t	～しなさい	「動詞」
attenzione	アッテンツィオーネ	n.f	注意を	「直接目的語」
ai baobàb!	アイ・バオバブ	adv.	バオバブに	「間接目的語」

そして、長い間しっかりと教えられることなく、僕自身と同様にそのことを知らないでいた
危険を僕の友達に知らせるために、僕はこのデッサンに十分な時間をかけたんだ。

E per avvertire i miei amici di un pericolo che hanno sempre sfiorato, come me stesso, senza conoscerlo, ho tanto lavorato a questo disegno.

E「副詞句」,「動詞句」「間接目的語」

E conj. そして

V

per avvertire ヘル・アッヴェルチーレ adv. (目的) 知らせるために 「副詞句」
 i miei amici イ・ミエイ・アミーチ pl.n.m 僕の友達に 「間接目的語」
 di un pericolo デイ・ウン・ペリーコロ n.m 危険を 「直接目的語」
 avvertire qlcu. di ql.co 「人に何を知らせる」
 avvertire un amico di un pericolo 「友に危険を知らせる」
 che ケ pron (同格) ～という 「形容詞節」
 hanno sèmpre sfiorato, アンノ・センプレ・スフィオラート 3 複現・完了形(sfiorare)
 v.t ずっと軽く触れてきた 「動詞句」
 動詞が三人称複数で不特定の主語なので、工夫して受動態に翻訳する
 còme me stéssco, コメ・メ・ステッソ adv. 僕自身と同様に 「副詞句」
 senza conóscerlo, センツァ・コノシェル・ロ
 adv. それを知らずに 「副詞句」
 ho tanto lavorato オ・タント・ラウヴォラート 1 単現・完了形(lavorare)v.i 十分な時間をかけた「動詞句」
 a quèsto diségno. ア・クェスト・ディゼニョ adv. このデッサンに 「間接目的語」

僕が与えた教訓は、労力にふさわしかった。

La lezióne che davo, giustificava la fatica. 「主語」「動詞」「目的語」
 La lezióne ラ・レツイオーネ n.f 教訓は 「主語」
 che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 davo, ダヴォ 1 単半(dare)v.t 与えた 「動詞」
 giustificava ジュスティフィカーヴァ 3 単半(giustificare)v.t 正しいとした 「動詞」
 la fatica. ラ・ファティーカ n.f 苦労、骨折り、努力 「目的語」

おそらく君たちは僕に尋ねるだろう：どうしてこの本には、あのバオバブと同じくらい立派なデッサンが他にはないの？と。

Vói mi domanderete forse: Perché non ci sono in quèsto libro altri disegni altrettanto grandíosi còme quéllo dei baobàb?

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞」：「副詞」「動詞句」「副詞句」「主語」
 Vói ヴォイ pron 君たちは 「主語」
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 domanderete ドマンデーレテ 2 複未・推量(domandare)v.t 尋ねるだろう 「動詞」
 forse: フォルセ adv. おそらく、たぶん 「副詞」
 Perché ヘルケ adv. どうして 「副詞」
 non ci sono ノン・チ・ソーノ 3 複現・存在・否定(esserci)v.i ～がない 「動詞句」
 in quèsto libro イン・クェスト・リーヴロ adv. この本には 「副詞句」
 altri disegni アルトリ・ディゼニ pl.n.m ほかのデッサンが 「主語」

V

altrettanto grandiosi アルトレッタント・グランディオーシ

adj.m.pl 同じくらい立派な

「形容詞句」

come quello dei baobà? コメ・クェッロ・ディ・バオバブ

adv. あのバオバブみたいに

「副詞句」

答えはとても単純だ。

La risposta è molto semplice:

「主語」「動詞」「補語」

La risposta ラ・リスポースタ n.f 答えは

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

molto semplice: モルト・センプリチェ adj. とても単純な

「補語」

努力してみたんだけど、うまくできなかったんだ。

Ho cercato di farne uno, ma non ci sono riuscito.

「動詞句」「目的語」,ma「動詞句」「主語」

Ho cercato di farne オ・チェルカート・ディ・ファール・ネ 1 単現・完了形(cercare di+不定詞)

v.t. そのように努力してみた

「動詞句」

uno, ウノ pron デッサンを

「目的語」

ma マ conj. しかし

non ci sono ノン・チ・ソーノ 3 複現・存在・否定(esserci)v.i ~がない

「動詞句」

riuscito. リウジート adj., pron 成功したデッサンが

「主語」

僕がバオバブをデッサンした時は、緊急事態の感情で興奮していたんだ。

Quando ho disegnato i baobà ero animato dal sentimento dell'urgenza.

「副詞節」,「動詞」「補語」

Quando クワント conj. ~した時は

「副詞節」

ho disegnato オ・ディセニャート 1 単現・完了形(disegnare)v.t. デッサンした

「動詞句」

i baobà イ・バオバブ pl.n.m バオバブを

「目的語」

ero エロ 1 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

animato アニマト adj. 活気のある

「補語」

dal sentimento タル・センチメント adv. (原因) ~の感情で

「副詞句」

dell'urgenza. デルルジエンツァ adj. 緊急の

「形容詞句」

VI

VI



ああ、王子様！僕は少しずつ君の憂鬱な短い人生のことが理解できるようになってきた。

Oh, piccolo principe, ho capito a poco a poco la tua piccola vita malincònica.

「感嘆」, 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」

Oh, piccolo principe, オ・ピッコロ・プリンチヘ int. ああ、王子様 「感嘆」

ho capito オ・カピート 1 単現・完了形(capire)v.t 理解した 「動詞句」

a poco a poco ア・ポコ・ア・ポコ adv. しだいに、少しずつ、ぼつぼつ 「副詞句」

la tua piccola vita ラ・トウアー・ピッコラ・ヴァータ n.f 君の短い人生を 「目的語」

piccola ピッコラ adj.f(piccolo) 小さい、(時間が) 短い vita ヴァータ n.f 人生、生活

malincònica. マリンコーニカ adj.f(malincònico) 憂鬱な、重苦しい 「形容詞」

長い間、穏やかな日の入りしか、君には気晴らしがなかったんだね。

Per molto tempo tu non avevi avuto per distrazione che la dolcezza dei tramonti.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」

Per molto tempo ヘル・モルト・テンポ adv. 長い間 「副詞句」

per poco tempo ヘル・ポコ・テンポ 「少しの間」

tu トゥ pron 君は 「主語」

non avevi avuto ノン・アヴィエーヴィ・スヴァート 2 単半・完了形・否定(avère)

v.t 持っていなかった、なかった 「動詞句」

per distrazione ヘル・ディストラチオーネ adv. (目的) 気晴らしのために 「副詞句」

che ケ conj. (non...che) ～しか

VI

la dolcezza ラ・ドルチェツァ n.f 穏やかさ 「目的語」
 dei tramónti. デイ・トラモンティ adj.(tramónto) 日の入りの 「形容詞句」

4 日目の朝に、君が僕に次のように言った時、僕はこの新しい事実を知ったんだ：

Ho appreso quésto nuòvo particolare il quarto giòrno, al mattino, quando mi hai detto:

「動詞句」「目的語」「副詞句」

Ho appreso オ・アプレゾ 1 単現・完了形(apprendere)v.t 知った、分かった 「動詞句」

quésto nuòvo particolare クェスト・ヌーヴォ・パルチコラーレ n.m 詳細、事実 「目的語」

il quarto giòrno, イル・クワルト・ジヨールノ adv. 4 日目に 「副詞句」

al mattino, アル・マッティーノ adv. 朝に 「副詞句」

quando クワンド conj. ～するときに 「副詞節」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

hai detto: アイ・デット 2 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

「僕、日の入りが大好きなんだ。日の入りを見に行こうよ...」

"Mi piacciono tanto i tramónti. Andiamo a vedere un tramónto..."

《「間接目的語」「動詞」「副詞」 | 「動詞句」「目的語」》

"Mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」

piacciono ピアチョ 3 複現(piacere)v.i 好みのものである 「動詞」

tanto タント adv. とても、非常に 「副詞」

tanto が形容詞ならば、「i tanti tramónti」のように冠詞の次に置かれる

i tramónti. イ・トラモンティ pl.n.m(tramónto) 日の入りは 「主語」

Andiamo a vedere アンデアーモ・ア・ヴァーエターレ 1 複現・勧誘(andiamo a+不定詞)

v.t ～を見に行こうよ 「動詞句」

un tramónto..." ウン・トラモント n. 日の入りを 「目的語」

「でも、待たなくてははいけない...」

"Ma bisogna aspettare..." 《Ma 「動詞句」》

"Ma マ conj. しかし

bisogna aspettare..." ビゾーニャ・アスペッターレ 非人称・3 単現・必要(bisognare+不定詞)

v.h 待たなければならない 「動詞句」

Bisogna far presto. 早くしなければいけない。

Bisogna che tu venga da me. 君は私のところへ来なければいけない。

Bisognando, potremmo anche farlo. どうしても御入用なら、私共はそれを致しましょう。

VI

「何を待つというの？」

"Aspettare che?"

《「動詞」「目的語」》

"Aspettare アスペッターレ 不定詞・疑問文 v.t 待つの？

「動詞」

che?" ケ pron 何を

「目的語」

「日が沈むのを、待つんだよ」

"Che il sóle tramónti..."

《「目的語」》

"Che +接続法 ケ conj. ～ということを（待つ）

「目的語」

il sóle イル・ソーレ n.m 太陽が

「主語」

tramonti..." ترامonti 接・3 単現・願望(tramontare)v.i 沈む

「動詞」

最初、君はとても驚いた様子をしていた。それから自分自身のことを笑って、僕に言った：

Da prima hai avuto un'aria móltó sorprésa, e pòi hai riso di te stéssó e mi hai detto:

「副詞句」「動詞句」「目的語」, e 「副詞」「動詞句」「間接目的語」

e 「間接目的語」「動詞句」

Da prima ダ・プリーマ adv. 最初は、はじめは

「副詞句」

hai avuto アイ・アヴート 2 単現・完了形(avére)v.t (様子を) していた

「動詞句」

un'aria ウ・ナリア n.f 様子を

「目的語」

móltó sorprésa, モルト・ソルプレーサ adj. とても驚いた

「形容詞句」

e エ conj. そして

pòi ホーイ adv. それから

「副詞」

hai riso アイ・リーゾ 2 単現・完了形(ridere)v.i 笑った

「動詞句」

di te stéssó ティ・テ・ステッソ adv. 自分自身について

「間接目的語」

e エ conj. そして

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

hai detto: アイ・デット 2 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

「僕は相変わらず自分の所にいるつもりでいたよ」

"Mi credo sèmpre a casa mia!..."

《「動詞句」「副詞」「補語」》

"Mi credo ミ・クレト 1 単現(credersi)v.pr 自分を～とみなしている

「動詞句」

sèmpre センプレ adv. いまだに、今でもやはり

「副詞」

a casa mia!..." ア・カーサ・ミア adv. 自分の所に

「補語」

確かに、アメリカ合衆国が正午の時、みんなが知っているように、フランスでは日の入りだ。

Infatti. Quando agli Stati Uniti è mezzogiórno tutto il mondo sa che il sóle tramonta sulla Frància.

「副詞」 | 「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」

VI

Infatti. インファッティ conj. 確かに、というのも 「副詞」
 Quando クワント conj. ～するときに 「副詞節」
 agli Stati Uniti アリ・スターティ・ウニティ adv.(a gli ... ～で) アメリカ合衆国で 「副詞句」
 è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」
 mezzogiorno メツジヨールノ n.m 正午 「補語」
 tutto il mondo トウト・イル・モンド n.m みんなは 「主語」
 sa サ 3 単現(sapere)v.t 知っている 「動詞」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 il sóle イル・ソレ n.m 太陽が 「主語」
 tramonta トラモンタ 3 単現(tramontare)v.i 沈む 「動詞」
 sulla Frància. スラ・フランチャ adv. フランスでは 「副詞句」
 フランスとアメリカの時刻：
 フランスはワシントン DC よりも 6 時間進んでいるので、夕方の 6 時である。

日の入りを見るためには、1 分でフランスに行ければ十分だろう。

Basterebbe poter andare in Frància in un minuto per assistere al tramónto.

「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

Basterebbe poter andare バステレッベ・ポ・テル・アンダーレ条・非人称・3 単現・十分・推量

(bastare+不定詞 potére+不定詞)v.i(in に) 行ければ十分だろう 「動詞句」

in Frància イン・フランチャ adv. フランスに 「間接目的語」

in un minuto イン・ウン・ミヌート adv. 1 分で 「副詞句」

per assistere ヘル・アッシステレ 不定詞・目的 v.i(a に) 立ち会う 「副詞句」

al tramónto. アル・トラモント adv. 日の入りに 「間接目的語」

残念ながら、フランスは遠すぎる。

Sfortunataménte la Frància è tróppo lontana. 「副詞」「主語」「動詞」「補語」

Sfortunataménte スフォルタタメンテ adv. 残念ながら、あいにく 「副詞」

la Frància ラ・フランチャ n.f フランスは 「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

tróppo lontana. トロッポ・ロンターナ adj.(lontano) 遠すぎる 「補語」

だが、君の小さな惑星では、椅子を数歩だけ動かせば十分だった。

Ma sul tuo piccolo pianéta ti bastava spostare la tua sèdia di qualche passo.

Ma 「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Ma マ conj. しかし

sul tuo piccolo pianéta スル・トゥーオ・ピッコロ・ピャネータ

フランスとアメリカの時刻：

VI

adv. (条件) 君の小さい惑星の上ならば 「副詞句」
 ti チ pron 君にとって 「間接目的語」
 bastava spostare バスターヴァ・スポスターレ 非人称・3 単半・十分(bastare+不定詞 spostare)
 v.t 動かせば十分だった 「動詞句」
 la tua sèdia ラ・トゥア・セデーア n.f 君の椅子を 「目的語」
 di qualche passo. ティ・クワルケ・パツィ adv. (差) 数歩だけ 「副詞句」

それで、君は見たいと思うたびに黄昏を眺めていたんだね。

E guardavi il crepùscolo tutte le volte che volevi... E 「動詞」「目的語」「副詞句」
 E エ conj. そして
 guardavi グォルダヴァイ 2 単半(guardare)v.t 眺めていた 「動詞」
 il crepùscolo イル・クレプースコロ n.m たそがれを 「目的語」
 tutte le volte トウッテ・レ・ヴォルテ adv. 毎回 「副詞句」
 che volevi... ケ・ヴォレヴァイ adj. 君が望む 「形容詞節」

「ある日、僕は日の入りを 43 回見たよ！」

"Un giorno ho visto il sóle tramontare quarantatre' volte!"
 《「副詞句」「動詞句」「目的語」「補語」》
 "Un giorno ウン・ジォルノ adv. ある日 「副詞句」
 ho visto オ・ヴィスト 1 単現・完了形・知覚動詞(vedere)v.t 見た 「動詞句」
 il sóle イル・ソーレ n.m 太陽が 「目的語」
 tramontare トラモンターレ 不定詞・il sóle の動作 v.i 沈む 「補語」
 quarantatre' volte!" クォランタ・トレ・ヴォルテ adv. 43 回 「副詞句」

そして、少ししてから、付け加えたね：

E più tardi hai soggiunto: E 「副詞句」「動詞句」
 E エ conj. そして
 più tardi ピュ・タルディ adv. 少ししてから 「副詞句」
 hai soggiunto: アイ・ツジント 2 単現・完了形(soggiungere)v.t (言葉を) 付け加えた 「動詞句」

「ねえ、人はとても悲しくなると、日の入りが恋しくなるものでしょう？」

"Sai... quando si è molto tristi si amano i tramónti..."
 《「呼びかけ」, 「副詞節」, 「動詞句」「主語」》
 "Sai... サイ 2 単現(sapere)v.t (相手の注意を引くための前置き) ねえ、おい 「呼びかけ」
 quando クワンド conj. ～するとき 「副詞節」
 si シ pron (3 人称単数動詞と共に) 人が 「主語」

VII

è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 molto tristi モルト・トリスティ adj.m.pl とても悲しい 「補語」
 si amano シ・アマノ 3 複現・再帰受動(amarsi)v.pr 愛される 「動詞句」
 i tramónti..." イ・トラモンティ pl.n.m 日の入りは 「主語」

「43 回も日の入りを見た日は、君はとても悲しかったんだね？」

"Il giorno delle quarantatre' volte eri tanto triste?"

《「副詞句」「動詞」「補語」》

"Il giorno イル・ジォルノ n.m その日は 「副詞句」
 delle quarantatre' volte テッレ・クワランタ・トレ・ヴァルテ adj. 43 回の 「形容詞句」
 eri エリ 2 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」
 tanto triste?" タント・トリステ adj. とても悲しい 「補語」

けれども、王子さまは答えなかった。

Ma il piccolo principe non rispose.

Ma 「主語」「動詞句」

Ma マ conj. しかし

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
 non rispose. ノン・リスポースェ 3 単遠・否定(rispondere)v.i 答えなかった 「動詞句」

VII

5 日目に、またしてもあの羊のおかげで、王子様の人生の秘密が僕に明かされた。

Al quinto giorno, sempre grazie alla pècora, mi fu svelato questo segreto della vita del piccolo principe.

「副詞句」, 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「主語」

Al quinto giorno, アル・クイント・ジォルノ adv. 5 日目に 「副詞句」

quinto クイント adj. 5 番目の

sempre センプレ adv. またもや、相変わらず 「副詞」

grazie alla pècora, グラツィエ・アッラ・ペーコーラ adv. あの羊のおかげで 「副詞句」

grazie a... グラツィエ・ア prep (望ましい原因) ~のおかげで、~の助力により

a causa di... ア・カウザ・ディ prep (好ましくない原因) ~のせいで

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

fu svelato フ・ズヴァエラート 3 単遠・受動(svelare)v.t 明かされた 「動詞句」

questo segreto ケスト・セグレート n.m この秘密が 「主語」

della vita テッラ・ヴァイタ adj. 人生の 「形容詞句」

del piccolo principe. テル・ピッコロ・プリンチペ adj. 王子様の 「形容詞句」

VII

長い間黙々と考え抜いた問題の結論のように、彼は前触れもなくいきなり僕に尋ねた；

Mi domandò bruscamente, senza preamboli, come il frutto di un problema meditato a lungo in silenzio: 「間接目的語」「動詞」「副詞句」, 「副詞句」

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

domandò ドマント 3 単遠(domandare)v.t 尋ねた 「動詞」

bruscamente, ブルスカメンテ adv. いきなり、だしぬけに 「副詞」

senza preamboli, センツァ・プレアンボリ adv. 前触れもなく 「副詞句」

preamboli プレアンボリ pl.n.m(preambolo) 前口上、前触れ、前置き、緒言

come コーメ conj. どのように 「副詞句」

il frutto イル・フルット n.m 結果、成果、果実 「目的語」

di un problema ディ・ウン・プロブレマ adj. 問題の 「形容詞句」

meditato メディタート 過去分詞・受動(meditare)

adj. 熟考された 「形容詞」

a lungo ア・ルンゴ adv. 長い間 「副詞句」

in silenzio: イン・シレンツィオ adv. 無言で 「副詞句」

「羊が、もし低木を食べるのなら、花も食べるんでしょう？」

"Una pecora se mangia gli arbusti, mangia anche i fiori?"

《「主語」「副詞節」, 「動詞」「目的語」》

"Una pecora ウナ・ペーコーラ n.f 羊は 「主語」

se セ conj. もし～ならば 「副詞節」

mangia マンジャ 3 単現(mangiare)v.t 食べる 「動詞」

gli arbusti, リ・アルブスティ pl.n.m(arbusto) 低木を 「目的語」

gli リ 冠詞 (母音または s+子音、z, gn, ps, x, i, j, y で始まる男性複数名詞)

mangia マンジャ 3 単現・疑問文(mangiare)v.t 食べるでしょう? 「動詞」

anche i fiori? アンケ・イ・フィオーリ pl.n.m(fiore) 花も 「目的語」

i イ 冠詞 (子音または s+子音、z, gn, ps, x, i, j, y 以外で始まる男性複数名詞)

「羊は、低木だろうが花だろうが、見つけたものは何でも食べるよ」

"Una pecora mangia tutto quello che trova". 《「主語」「動詞」「目的語」》

"Una pecora ウナ・ペーコーラ n.f 羊は 「主語」

mangia マンジャ 3 単現(mangiare)v.t 食べる 「動詞」

tutto quello トゥット・ケッロ pron(arbusto と fiore の代用) すべてのものを 「目的語」

che trova. ケ・トロヴァ adj. 見つけた 「形容詞節」

VII

「とげのある花も？」

"Anche i fióri che hanno le spine?"

《「目的語」》

"Anche i fióri アンケ・イ・フィオーリ pl.n.m 花も？

「目的語」

che hanno le spine?" ケ・アンノ・レ・スピ・ーネ adj. とげのある

「形容詞節」

spine スピ・ーネ pl.n.f(spina) とげ、(複数で) イバラ

「そうだよ、とげのある花も」

"Si. Anche i fióri che hanno le spine".

《「応答」》

"Si. シ adv. そうだよ

「応答」

Anche i fióri che hanno le spine". アンケ・イ・フィオーリ・ケ・アンノ・レ・スピ・ーネpl.n.m とげのある花も

「応答」

「だけどそれじゃあ、とげは何の役に立つの？」

"Ma allóra le spine a che còsa servono?"

《Ma 「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」》

"Ma マ conj. しかしallóra アッローラ adv. それじゃあ

「副詞」

le spine レ・スピ・ーネ pl.n.f とげは

「主語」

a che còsa ア・ケ・コサ adv. 何のために

「間接目的語」

servono?" セルヴォノ 3 複現(servire)v.i 役に立つ

「動詞」

僕はそれを知らなかった。

Non lo sapevo.

「動詞句」「目的語」「動詞句」

Non ...sapevo. ノン...サペ・ウヴォ 1 単半・否定(sapére)v.t 知らなかった

「動詞句」

lo ロ pron

「目的語」

僕はこの時、エンジンの固く締めすぎたボルトを緩めようとするのに大忙しだった。

Èro in quel momento occupatissimo a cercare di svitare un bullóne tróppo strétto del mio motóre.

「動詞」「副詞句」「補語」

Èro エロ 1 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

in quel momento イン・ケル・モメント adv. この時

「副詞句」

occupatissimo オックパ・ティッシモ adj. (最上級) (a+不定詞 ~するのに) 大忙しの

「補語」

a cercare di svitare ア・チェルカー・レ・ディ・スヴィターレ 不定詞・努力・原因v.t ~を緩めようとするのに

「副詞句」

un bullóne ウン・ブローネ n.m ボルトを

「目的語」

tróppo strétto トロッポ・ストレット adj. きつく締めすぎた

「形容詞句」

del mio motóre. デル・ミー・モトール adj. エンジンの「形容詞句」

VII

僕は心配だった。というのは、故障が非常に深刻だとわかり始めてきた上に、水を使い切ってしまったので、最悪の事態が心配になったのだ。

Èro preoccupato perché la mia panne cominciava ad apparirmi molto grave e l'acqua da bere che si consumava mi faceva temere il peggio.

「動詞」「補語」「副詞節」

Èro エロ 1 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

preoccupato プレオカパート adj. 心配な

「補語」

perché ペルケ conj. というのは~である

「副詞節」

la mia panne ラ・ミー・パンネ n.f(= panna) 故障は

「主語」

cominciava ad apparirmi コンチャヴァ・アト・アパリミ 3 単半・開始(cominciare a+不定詞)

v.i 僕に姿を現し始めた、僕はわかり始めた

「動詞句」

molto grave モルト・グラーヴェ adj. 非常に深刻な

「補語」

e エ conj. そして

l'acqua da bere ラックワ・ダ・ベレ n.f 飲み水が

「主語」

acqua ラックワ n.f 水

che si consumava ケ・シ・コンスマヴァ adj. 使い切ってしまった

「形容詞節」

mi ミ pron 僕に

「目的語」

faceva ファチェヴァ 3 単半・使役(fare)v.t ~させた

「動詞」

temere テメレ 不定詞・mi の動作 v.t 心配する

「補語」

il peggio. イル・ペッジョ n.m 最悪の事態を

「目的語」

「とげは何の役に立つの？」

"Le spine a che cosa servono?"

《「主語」「間接目的語」「動詞」》

"Le spine レ・スピネ pl.n.f(spina) とげは

「主語」

a che cosa ア・ケ・コサ adv. 何に

「間接目的語」

servono?" セルヴォノ 3 複現(servire)v.i(a に) 役に立つ

「動詞」

王子さまは、一度質問をすると決して諦めなかった。

Il piccolo principe non rinunciava mai a una domanda che aveva fatta.

「主語」「動詞句」「間接目的語」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

non rinunciava mai ノン・リンチャヴァ・マイ 3 単半・否定(rinunciare)

v.i(a を) 決してあきらめなかった

「動詞句」

a una domanda ア・ウナ・トマダ n.f 質問を

「間接目的語」

che ケ pron (domanda の代用) (目的語) ~する

「形容詞節」

aveva fatta. アヴェヴァ・ファッタ 3 単半・完了形.f(fare)

VII

v.t (行為を) した

「動詞句」

domanda (女性単数) が過去分詞の前に置かれているので、性・数一致

domanda は rinunciava の「間接目的語」であり、aveva fatta の「直接目的語」

僕はボルトのことで苛々していたので、いいかげんに答えた。

Èro irritato per il mio bullône e risposi a casàccio:

「動詞」「補語」 e 「動詞」「副詞句」

Èro エロ 1 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

irritato イラット adj. 苛々した

「補語」

per il mio bullône ヘル・イル・ミオ・ブッローネ adv. ボルトのことで

「副詞句」

e エ conj. そして

risposi リスポーシ 1 単遠(rispondere)v.i 答えた

「動詞」

a casàccio: ア・カザ・チョ adv. いいかげんに、でたらめに

「副詞句」

「とげは何の役にも立たない。それは花の全くの意地悪だよ」

"Le spine non servono a niènte, è pura cattivèria da parte dei fióri".

《「主語」「動詞」「間接目的語」, 「動詞」「補語」》

"Le spine レ・スピネ pl.n.f(spina) とげは

「主語」

non servono ノン・セルヴョ 3 複現・否定(servire)v.i(a に) 役に立たない

「動詞」

a niènte, ア・ニエンテ adv. 何にも～ない

「間接目的語」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

pura cattivèria プーラ・カッティヴェーリア n.f 全くの意地悪

「補語」

pura プーラ adj.f(puro) 全くの

da parte dei fióri". ダ・パルテ・デ・イ・フィオーリ adj. 花の側の

「形容詞句」

「ああ！」

"Oh!"

《「感嘆」》

"Oh!" オー int. ああ

「感嘆」

しかし、少し黙った後で、ある種の恨みを含んだ顔つきで僕に言った：

Ma dópo un silènzio mi gettò in viso con una spècie di rancóre:

Ma 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

Ma マ conj. しかし

dópo チェーポ prep (時間) ~の後で

「副詞句」

un silènzio ウン・シレンツィオ n.m 沈黙

「目的語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

VII

gettò ジェット 3 単遠(gettare)v.t (言葉を) 浴びせた 「動詞」
 in viso イン・ヴィゾ adv. (手段) 顔つきで 「副詞句」
 con una spèce di rancóre: コン・ウナ・スペーチェ・ディ・ランコーレ
 adv. ある種の恨みを含んだ 「副詞句」
 una specie di... 「～のようなもの、～に似たもの」 rancóre ランコーレ n.m 恨み

「君は信用できないよ！花はかよわいんだ。無邪気なんだ」

"Non ti credo! I fióri sono déboli. Sono ingènuì.

《「動詞句」「目的語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」》

"Non ...credo! ノン...クレト` 1 単現・否定(crédere)v.t 信じない 「動詞句」
 ti チ pron 君を 「目的語」
 I fióri イ・フィオーリ pl.n.m(fióre) 花は 「主語」
 sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ～である 「動詞」
 déboli. デーボリ adj.m.pl(débole) 弱い 「補語」
 Sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ～である 「動詞」
 ingènuì. インジェヌイ adj.m.pl(ingènuo) 純真な、無邪気な 「補語」

「出来るだけ安心しようとしているんだ。棘で、自分たちは恐ろしいのだと思っているんだ」

Si rassicurano cóme possono. Si credono terribili con le loro spine..."

《「目的語」「動詞」「副詞節」 | 「動詞句」「補語」》

Si シ pron 自分たちを 「目的語」
 rassicurano ラッシクラノ 3 複現(rassicurare)v.t 安心させている 「動詞」
 cóme possono. コメ・ポッソノ adv. できるだけ 「副詞節」
 Si credono シ・クレト`ノ 3 複現(credersi)v.pr 自分たちが～だと思っている 「動詞句」
 terribili テリービレ adj.m.pl(terribile) 恐ろしい 「補語」
 con le loro spine..." コン・レ・ローロ・スピネ adv. (手段) とげによって 「副詞句」

僕は答えなかった。その瞬間、僕は心の中で思った。

Non risposi. In quel moménto mi dicevo: 「動詞句」 | 「副詞句」「動詞句」
 Non risposi. ノン・リスポーシ` 1 単遠・否定(rispondere)v.i 答えなかった 「動詞句」
 In quel moménto イン・ケル・モメント adv. その瞬間 「副詞句」
 mi dicevo: ミ・テ`ィェーヴォ 1 単半(dirsi)v.pr 心の中で思った 「動詞句」

VII

「もしこのボルトが、まだ言うことを聞かないのならば、ハンマーの一撃でそれをたたき飛ばしてやろう」

"Se quèsto bullóne resiste ancóra, lo farò saltare con un cólpo di martèllo".

《「副詞節」, 「目的語」「動詞句」「補語」「副詞句」》

"Se セ conj. もし～ならば

「副詞節」

quèsto bullóne ケスト・ブローネ n.m このボルトが

「主語」

resiste レジステ 3 単現(resistere)v.i 逆らう、抵抗する

「動詞」

ancóra, アンコーラ adv. まだ

「副詞」

lo ロ pron それを

「目的語」

farò ファロ 1 単未・意思・使役(fare)v.t(SVO+不定詞) ～させてやろう

「動詞句」

saltare サルターレ 不定詞・lo の動作 v.i 跳ぶ

「補語」

con un cólpo コン・ウン・コールポ adv. (手段) 一撃で

「副詞句」

di martèllo". ディ・マルテロ adj. ハンマーの

「形容詞句」

王子さまはまた僕の瞑想の邪魔をした。

Il piccolo principe disturbò di nuòvo le mie riflessioni. 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

disturbò ディストルボ 3 単遠(disturbare)v.t 邪魔をした

「動詞」

di nuòvo ディ・ヌヴァヴォ adv. もう一度

「副詞句」

le mie riflessioni. レ・ミエ・リフレッジョニ pl.n.f 僕の瞑想を

「目的語」

「それで、君は思っているんだろう？花というものが...」

"E tu credi, tu, che i fióri..."

《E 「主語」「動詞」「目的語」》

"E エ conj. そして

tu トゥ pron 君は

「主語」

credi, クレディ 2 単現(crédere)v.t 思っている

「動詞」

tu, トゥ pron 君は

「主語」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

i fióri..." イ・フィオーリ pl.n.m(fióre) 花というものが

「主語」

「違う！違う！僕は何とも思っていない！僕は適当に答えたただだよ。僕は真面目な事で忙しいんだよ！」

"Ma no! Ma no! Non credo niènte! Ho risposto una còsa qualsiasi. Mi occupo di còse sèrie, io!"

《「応答」 | 「動詞」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「間接目的語」「主語」》

"Ma no! Ma no! マ・ノ・マ・ノ adv. 違う、違う

「応答」

VII

Non credo ノン・クレド 1 単現・否定(<i>credere</i>)v.t	「動詞」
niènte! ニエンテ pron 何も～ない	「目的語」
Ho risposto オ・リスポスト 1 単現・完了形(<i>rispondere</i>)v.t	「動詞句」
una còsa ウナ・コーサ n.f	「目的語」
qualsiasi. クワルシアシ adj.	「形容詞」
Mi occupo ミ・オクポ 1 単現(<i>occuparsi</i>)v.pr(di に) 従事している、～で忙しい	「動詞句」
di còse デイ・コーセ adv.	「間接目的語」
sèrie, セーリエ adj.f.pl(<i>sèrio</i>)	「形容詞」
io!" イオ pron	「主語」

彼は、呆気にとられて僕をじっと見つめた。

<u>Mi guardò stupefatto.</u>	「目的語」「動詞」「副詞」
Mi ミ pron	「目的語」
guardò グワルト 3 単遠(<i>guardare</i>)v.t	「動詞」
stupefatto. ストゥフェファット 過去分詞・受動(<i>stupefare</i>)adv.	「副詞」

「真面目な事だって？」

"Di còse sèrie!"	《「間接目的語」》
"Di còse sèrie!" デイ・コーセ・セーリエ adv.	「間接目的語」

彼は僕を見ていた。僕は、片手にハンマーを持ち、指はグリースで黒く汚れ、彼にはたいへん醜く見えるものの上に屈みこんでいた。

<u>Mi vedeva col martello in mano, le dita nère di sugna, chinato su un oggetto che gli sembrava mólto brutto.</u>	「目的語」「動詞」
Mi ミ pron	「目的語」
vedeva ヴェデーヴァ 3 単半(<i>vedere</i>)v.t	「動詞」
以下の副詞句はすべて mi の様態を説明するもので、vedere を補足するものではない	
col martello コル・マルテロ adv.	(様態) (con il martello) ハンマーを持った「副詞句」
in mano, イン・マーノ adv.	「副詞句」
le dita レ・データ pl.n.f	(様態) (dito) 指をして「副詞句」
nère ネレ adj.f.pl(<i>néro</i>)	「形容詞」
di sugna, デイ・スニャ adv.	(動作主・原因) グリースで「副詞句」
chinato キャート 過去分詞・様態(<i>chinare</i>)adv.	～に屈みこんで「副詞句」
su un oggetto ス・ウン・オブジェクト adv.	物の上に「副詞句」
che ケ pron	(主語) ～する「形容詞節」
gli リ pron	彼には「間接目的語」



VII

sembrava センブラヴァ 3 単半(sembrare)

v.i 〜に見えていた 「動詞」

mólto brutto. モルト・ブルット adj. たいへん醜い 「補語」

「君は、大人の人みたいな話し方をしている！」

"Parli cóme i grandi!" 《「動詞」「副詞句」》

"Parli パルリ 2 単現(parlare)v.i 話している 「動詞」

cóme i grandi!" コーメ・イ・グランディ adv. 大人たちみたいに 「副詞句」

それを聞いて、僕は少し恥ずかしくなった。それでも、彼は情け容赦なく付け加えた。

Ne ebbi un po' di vergógna. Ma, senza pietà, aggiunse:

「副詞」「動詞」「目的語」 | Ma, 「副詞句」「動詞」

Ne ネ adv. それについて、それを聞いて 「副詞」

ebbi エッビ 1 単遠(avére)v.t (感情を) 持った 「動詞」

un po' di ウン・ポ・ディ adj. 少しの 「形容詞句」

vergógna. ウェルゴニーヤ n.f 恥ずかしさを 「目的語」

Ma, マ conj. しかし

senza pietà, センツァ・ピエター adv. 情け容赦なく 「副詞句」

pietà ピエター n.f 哀れみ、同情

aggiunse: アジューンセ 3 単遠(aggiungere)v.i 付け加えた 「動詞」

「君はなにもかもごっちゃにしている、なにもかもごちゃ混ぜにしている」

"Tu confondi tutto... tu mescoli tutto!"

《「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

"Tu トゥ pron 君は 「主語」

confondi コンフォンディ 2 単現(confondere)v.t 混同している、取り違えている 「動詞」

tutto... トゥット pron すべてを 「目的語」

tu トゥ pron 君は 「主語」

mescoli メスコリ 2 単現(mescolare)v.t 混ぜている 「動詞」

tutto!" トゥット pron すべてを 「目的語」

彼は本当に苛立っていた。金色に輝く髪を、風が揺らすままにさせていた。

Era veraménte irritato. Scuoteva al vènto i suoi capélli dorati.

「動詞」「補語」 | 「動詞」「副詞句」「目的語」

Era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった 「動詞」

veraménte irritato. ヴェラメンテ・イラート adj. 本当に苛立った 「補語」

VII

Scuoteva スクォーヴァ 3 単半(scuòtere)v.t 揺らしていた 「動詞」
 al vento アル・ヴェント adv. (対象) 風に対して 「副詞句」
 i suoi capélli イ・スオイ・カペッリ pl.n.m(capélllo) 髪を 「目的語」
 dorati. ドラティ adj.pl 金色の 「形容詞」

「僕、深紅色さんがいる惑星を知っているんだ」

"Io non conosco un pianéta su cui c'è un signór. Chermisi. 《「主語」「動詞」「目的語」》
 "Io イオ pron 僕は 「主語」
 non ノン adv. 冗語、否定の意味はない
 conosco コノスコ 1 単現(conoscere)v.t 知っている 「動詞」
 un pianéta ウン・ピエネタ n.m 惑星を 「目的語」
 su cui ス・クイ adv. その上で～する 「形容詞節」
 c'è チェ 3 単現(esserci)v.i ～がいる 「動詞句」
 un signór ウン・シニョール adj. ～さん 「形容詞句」
 Chermisi. ケルミジ n.m 深紅色 「主語」

「彼はどんな花の香りもかいだことがないし、1つの星も眺めたことがなかった。」

Non ha mai respirato un fióre. Non ha mai guardato una stélla.
 《「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」》
 Non ha mai respirato ノ・ナ・マイ・レスピラート 3 単現・完了形・否定(respirare)
 v.t 香りをかいだことがなかった、呼吸する、吸い込む 「動詞句」
 un fióre. ウン・フィオーレ n.m 花を 「目的語」
 Non ha mai guardato ノ・ナ・マイ・グワルダート 3 単現・完了形・否定(guardare)
 v.t 眺めたことがなかった 「動詞句」
 una stélla. ウナ・ステッラ n.f 1つの星を 「目的語」

「彼は誰も愛したことがなかった。足し算以外のことをしないのだ。」

Non ha mai voluto bène a nessuno. Non fa altro che addizioni.
 《「動詞句」「副詞」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」》
 Non ha mai voluto ノ・ナ・マイ・ヴォルト 3 単現・完了形・否定(volére)
 v.t 愛したことがない 「動詞句」
 bène ベーネ adv. うまく 「副詞」
 a nessuno. ア・ネッスノ pron 誰も～ない 「目的語」
 Non fa ノン・ファ 3 単現・否定(fare)v.t ～をしない 「動詞句」
 altro アルトロ pron ほかのことを 「目的語」
 che addizioni. ケ・アディツィオーニ adv. (比較) 足し算よりも 「副詞句」

VII



「そして君みたいに一日中繰り返している。《おれはまじめな男だ！おれはまじめな男だ！》そして、傲慢のために膨れ上がっている」

E tutto il giorno ripete cóme te: <Io sono un uòmo sèrio! Io sono un uòmo sèrio!> e si gonfia di orgóglio.

《E「副詞句」「動詞」「副詞句」: “「主語」「動詞」「補語」 | 「主張」” e「動詞句」「副詞句」》

E エ conj. そして

tutto il giorno トゥット・イル・ジヨルノ adv. 1 日中

「副詞句」

ripete リペテ 3 単現(ripètere)v.t 繰り返している

「動詞」

cóme te: コーメ・テ adv. 君のように

「副詞句」

<Io イオ pron おれは

「主語」

sono ソーノ 1 単現(èssere)v.i ~である

「動詞」

un uòmo ウン・ウオーモ n.m 男

「補語」

sèrio! セーリオ adj. まじめな

「形容詞」

Io sono un uòmo sèrio!> イオ・ソーノ・ウン・ウオーモ・セーリオ n. まじめな男だ！

「主張」

e エ conj. そして

si gonfia シ・ゴンフィア 3 単現(gonsiarsi)v.pr 膨らんでいる

「動詞句」

di orgóglio. ティ・オルゴーリオ adv. (原因) 傲慢のために

「副詞句」

「だけど、あれは人間じゃない。キノコだよ」

Ma non è un uòmo, è un fungo!"

《Ma「動詞句」「補語」,「動詞」「補語」》

Ma マ conj. だけど

non è ノ・ネ 3 単現・否定(èssere)v.i ~でない

「動詞句」

un uòmo, ウン・ウオーモ n.m 人間

「補語」

è エ 3 単現(èssere)v.i ~である

「動詞」

un fungo! ウン・フンゴ n.m キノコ

「補語」

VII

「なんだった？」

"Che còsa?"

《「質問」》

"Che còsa?" ケ・コサ n.f 何？「質問」

「キノコだよ！」

"Un fungo!"

「応答」

"Un fungo!" ウン・フゴ n.m キノコ

「応答」

王子さまは、今や、怒りのために真っ青になっていた。

Il piccolo principe adesso era bianco di còllera.

「主語」「動詞」「副詞」「補語」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

adesso アデッソ adv. 今では

「副詞」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

bianco ビアンコ adj. 蒼白の、真っ青な、真っ白な

「補語」

di còllera. ディ・コレラ adv. (原因) 怒りのために

「副詞句」

「何千年も前からずっと、花たちはとげを作っている」

"Da migliaia di anni i fióri fabbricano le spine . 《「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」》

"Da ダー prep (時間) ~前からずっと

「副詞句」

migliaia di anni ミリアーイ・ディ・アニ pl.n.m(anno) 何千年

「目的語」

migliaia ミリアーイ pl.n.m(migliaio) 数千 ([複]le migliaia)

i fióri イ・フィオーリ pl.n.m(fióre) 花たちは

「主語」

fabbricano ファブリーカ 3 複現(fabbricare)v.t 作っている

「動詞」

le spine . レ・スピネ pl.n.f(spina) とげを

「目的語」

フランス語版では :

何百万年も前から、花はとげを作っている

Il y a des **millions d'années** que les fleurs fabriquent des épines.スペイン語では、Da **milióni** di anni...

「何千年も前から、ヒツジはそれでも花を食べている。」

Da migliaia di anni le pècore mangiano tuttavìa i fióri.

《「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」》

Da migliaia di anni ダー・ミリアーイ・ディ・アニ adv. 何千年も前から

「副詞句」

le pècore レ・ペーコレ pl.n.f(pècora) ヒツジは

「主語」

mangiano マンジャノ 3 複現(mangiare)v.t 食べている

「動詞」

tuttavìa トウタヴァーイア adv. (対立) それでも

「副詞」

フランス語版では :

VII

i fióri. イ・フィオーリ pl.n.m(fióre) 花を

「目的語」

「それでも、花たちがなんの役にも立たないとげを作るために多大な苦勞をしているのは、
 どうしてなのかを理解しようとするのが真面目ではないと言うの？」

E non è una còsa sèria cercare di capire perché i fióri si danno tanto da fare per fabbricarsi delle spine che non servono a niènte? 《E「動詞句」「補語」「主語」》

E エ conj. そして、それで、それでも

non è ノ・ネ 3 単現・否定・疑問文(èssere)v.i. ～ではないの？

「動詞句」

una còsa sèria ウナ・コサ・セリア n.f 真面目なこと

「補語」

sèria セリア adj.f(sèrio) 真面目な、本気の

cercare di capire チェルカーレ・ディ・カピレ 不定詞・努力(cercare di+不定詞)

n. 理解しようとするのが

「主語」

perché ペルケ conj. どうして～かということ

「目的語」

i fióri イ・フィオーリ pl.n.m(fióre) 花たちが

「主語」

si danno シ・ダンノ 3 複現(darsi)v.pr 自らに与える

「動詞句」

tanto タント pron 多くのことを

「目的語」

da fare ダ・ファーレ adj. するべき

「形容詞句」

per fabbricarsi ペル・ファブリカルシ adv. (目的) 作るために

「副詞句」

delle spine デッレ・スピネ pl.n.f(spina) とげを

「目的語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

non servono ノン・セルヴョノ 3 複現(servire)

v.i(a に) 役に立たない

「動詞句」

a niènte? ア・ニエンテ adv. なんにも～ない「間接目的語」

「ヒツジと花の戦争なんて、重要じゃあないと言うの？」

Non è importante la guerra fra le pècore e i fióri?

《「動詞句」「補語」「主語」》

Non è ノ・ネ 3 単現・否定・疑問文(èssere)v.i. ～ではないの？

「動詞句」

importante インポルタンテ adj. 重要な

「補語」

la guerra ラ・ゲッラ n.f 戦争は

「主語」

fra フラ prep. ～の間の

「副詞句」

le pècore e i fióri? レ・ペーコレ・エ・イ・フィオーリ pl.n.m ヒツジと花

「目的語」

太っちょの深紅色さんの足し算よりも、真面目でもないし、大事でもないと言うの？

Non è più sèrio e più importante delle addizióni di un grosso signóre rosso?

「動詞」「補語」

Non è ノ・ネ 3 単現・疑問文・否定(èssere)v.i. ～ではないの？

「動詞」

VII

più sèrio ヒ°ウ・セ°リオ adj. もっと真面目な 「補語」

e エ conj. そして

più importante ヒ°ウ・インポ°ルタンテ adj. もっと大事な 「補語」

delle addizioni テ°ッレ・アデ°イツィオーニ adv. (比較) 足し算よりも 「副詞句」

addizioni アデ°イツィオーニ pl.n.f(addizione) 足し算、加法

di un grosso signóre rosso? テ°ィ・ウン・グ°ロッソ・シニョーレ・ロッソ

adj. (限定) 太っちょの深紅色さんの 「形容詞句」

そして、もし僕が僕の惑星以外にはどこにも存在しないこの世で唯一の花を知っていて、あの朝小さな羊がこんな風に一撃でその花を破壊してしまうかもしれないことを知っていたとしても、それが重要ではないというのか？

E se io conosco un fióre unico al mondo, che non esiste da nessuna parte, altro che nel mio pianéta, e che una piccola pècora può distruggere di colpo, così un mattino, senza rendersi conto di quéllo che fa, non è importante quèsto!"

E 「副詞節」, 「動詞」 「補語」 「主語」

E エ conj. そして

se セ conj. もし～ならば 「副詞節」

io イオ pron 僕が 「主語」

conosco コノスコ 1 単現(conoscere)v.t 知っている 「動詞」

un fióre ウン・フィオーレ n.m 花を 「目的語」

unico al mondo, ウニコ°アル°モント° adj. この世で唯一の 「形容詞句」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

non esiste ノン°エジステ 3 単現・否定(esistere)

v.i 存在しない 「動詞句」

da nessuna parte, ダ°・ネッスーナ°・パルテ

adv. どんな場所にも～ない、地域 「副詞句」

altro che アルトロ°ケ conj. ～以外は 「副詞句」

nel mio pianéta, ネル°ミーオ°ヒ°アネータ

adv. 僕の惑星の中 「副詞句」

e エ conj. そして

che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

una piccola pècora ウナ°ピ°ッコーラ°ペ°コーラ n.f 小さな羊が 「主語」

può distruggere プ°オ°ディストルジ°ェレ 3 単現・可能性(potére+不定詞)

v.t 破壊するかもしれない 「動詞句」

di colpo, テ°ィ・コーッポ° adv. (手段) 一撃で 「副詞句」

così コシ adv. このように 「副詞」

VII

un mattino, ウン・マッティノ	adv. ある朝	「副詞句」
sènza +不定詞 センツァ	adv. ～しないで	「副詞句」
rendersi conto di quéllo	レンテルシ・コント・デ・イ・ケッロ 不定詞	
v.pr	そのことを知る	「動詞句」
rendersi conto di ql.co.	何かを知る、納得する	
che fa, ケ・ファ	adj. 自分がする	「形容詞節」
non è ノ・ネ 3 単現・否定・感嘆文(èssere)v.i	～でないのか！	「動詞」
importante インポルタンテ	adj. 重要な	「補語」
quésto!" ケスト	pron これが	「主語」

王子さまは顔を赤く染め、それから続けて言った：

<u>Arrossì, pòi riprese:</u>	「動詞」, 「副詞」 「動詞」
Arrossì, アロッシ 3 単遠(arrossire)v.i 顔を赤く染めた	「動詞」
pòi ポーイ adv. それから	「副詞」
riprese: リプレセ 3 単遠(riprendere)v.t また話を続けた、再開した	「動詞」

「もし誰かが、何百万、何千万の星の中にたった一つしか存在しない花を愛していたら、それだけで、その人は星のどれかを眺める時に幸せな気持ちになれる」

"Se qualcuno ama un fióre. di cui esiste un sólo esemplare in milioni e milioni di stéllé, quésto basta a farlo felice quando lo guarda.」 《「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「補語」》

"Se セ conj.	もし～ならば	「副詞節」
qualcuno ケアルクノ	pron 誰かが	「主語」
ama アマ 3 単現(amare)v.t(di を)	愛している	「動詞」
un fióre, ウン・フィオーレ	n.m 花を	「目的語」
di cui デイ・クイ	pron(di+cui) ～するという花を	「目的語」
esiste エジステ 3 単現(esistere)v.i	存在する	「動詞」
un sólo esemplare ウン・ソロ・エゼンプラーレ	n.m たった一つだけの見本が、例	「主語」
in milioni e milioni di stéllé, イン・ミオーニ・エ・ミオーニ・デイ・ステッレ	adv. 何百万、何千万の星の中に	「副詞句」
quésto ケスト	pron このことは	「主語」
basta a farlo バスタ・ア・ファール・ロ 3 単現・十分(bastare a+不定詞 fare+lo)		
v.t	その人を～にするのに十分である	「動詞句」
lo	は誰かある人を指す	
felice フェリーチェ	adj. 幸せな	「補語」
quando lo guarda. クワント・ロ・グワルダ	adv. 星を見るときに	「副詞節」

VII

lo は stéle (星たち) の中のどれかの星を指す

そしてその人は心の中で思う：“僕の花はあそこのどこかにあるんだ...”

E lui si dice: <Il mio fióre è là in qualche luògo>

E 「主語」「動詞句」：《「主語」「動詞」「副詞句」》

E エ conj. そして

lui ルイ pron 彼は、その人は

「主語」

si dice: シ・ディ・ェ 3 単現・再帰動詞(dirsi)v.pr 心の中で思う

「動詞句」

<Il mio fióre イル・ミオ・フィオーレ n.m 僕の花は

「主語」

è エ 3 単現・存在(essere)v.i 〜にある

「動詞」

là ラー adv. あそこに

「副詞」

in qualche luògo イン・クワレ・ルイゴ adv. どこかの場所に

「副詞句」

「だけど、もし羊がその花を食べてしまったら、彼にとっては、突然すべての星が消えてしまったみたいになるんだ。」

Ma se la pècora mangia il fióre, è come se per lui tutto a un tratto, tutte le stéle si spegnessero!

《Ma 「副詞節」, 「動詞」「補語」》

Ma マ conj. しかし

se セ conj. もし〜ならば

「副詞節」

la pècora ラ・ペーコラ n.f 羊が

「主語」

mangia マンジャ 3 単現(mangiare)v.t 食べる

「動詞」

il fióre, イル・フィオーレ n.m その花を

「目的語」

è エ 3 単現・状態(essere)v.i 〜になる

「動詞」

come se コーメ conj. まるで〜のように

「補語」

per lui ペル・ルイ adv. 彼にとっては

「副詞句」

tutto a un tratto, トゥット・ア・ウン・トラット adv. いきなり、突然

「副詞句」

tutte le stéle トッテ・レ・ステレ pl.n.f(stélla) すべての星が

「主語」

si spegnessero! シ・スペニェッセロ 接・3 複半・推測(spegnersi)v.pr 消えた

「動詞句」

「それでも、これが大事じゃないと言うのか！」

E non è importante questo!"

《E 「動詞句」「補語」「主語」》

E エ conj. (念押し・確認) それでも

non è ノ・ネ 3 単現・否定(essere)v.i 〜でない

「動詞句」

importante インポルタンテ adj. 大事な

「補語」

questo! ケスト pron このことが

「主語」

VII

彼はもう何も言えなかった。いきなりすすり泣き始めた。日が暮れていた。

Non poté proseguire. Scoppiò bruscamente in singhiozzi. Era caduta la notte.

「動詞句」 | 「動詞」「副詞」「間接目的語」 | 「動詞句」「主語」

Non poté proseguire. ノン・ポテ・プロセグィーレ 3 単遠・可能・否定(potére+不定詞 proseguire)

v.t 言い続けることはできなかった

「動詞句」

Scoppiò スコッピョ 3 単遠・開始(scoppiare)v.i(in+動作名詞, a+不定詞) ~し始めた 「動詞」

bruscamente ブルスカメンテ adv. いきなり、急に

「副詞」

in singhiozzi. イン・シンギョッチ adv. すすり泣きを

「間接目的語」

singhiozzi イン・シンギョッチ pl.n.m(singhiòzzo) すすり泣き、むせび泣き

Era caduta エラ・カドゥータ 3 単半・完了形.f(cadére)v.i 沈んでいた、暮れていた 「動詞句」

la notte. ラ・ノッテ n.f 夜が

「主語」

僕はつかんでいた工具を手放していた。

Avevo abbandonato i miei utensili.

「動詞句」「目的語」

Avevo abbandonato アヴェーヴォ・アバンドナート 1 単半・完了形(abbandonare)

v.t (つかんでいた物を) 手放していた

「動詞句」

i miei utensili. イ・ミエイ・ウテンシーリ pl.n.m(utensile) 工具を、道具を

「目的語」

僕は、ハンマーや、ボルトや、のどの渇きや、死ぬことさえも気にかけなかった。

Me ne infischio del mio martello, del mio bullone, della sete e della morte.

「動詞句」「間接目的語」

Me ne infischio メ・ネ・インフィスキアーヴォ 1 単半(infischarsi+ne)

v.pr(di のことを) 気にしなかった

「動詞句」

mi ne infischio のように代名小詞 ne の前に再帰代名詞 mi, ti, si などが置かれる場合には、me ne などの形となる。この文の ne は del mio martello 以降の先出しの代名詞。

del mio martello, デル・ミョ・マルテッロ adv. (主題) ハンマーについて

「間接目的語」

del mio bullone, デル・ミョ・ブルローネ adv. ボルトについて

「間接目的語」

della sete デッラ・セテ adv. 喉の渇きのことを

「間接目的語」

e e conj. そして

della morte. デッラ・モルテ adv. 死ぬことを

「間接目的語」

1 つの星の上に、惑星、僕の星、そして地球の上に、慰めを必要とする王子様がいた。

Su di una stella, un pianeta, il mio, la Terra, c'era un piccolo principe da consolare!

「副詞句」, 「動詞句」「主語」

Su di ス・ディ prep ~の上に

「副詞句」

前置詞 su は人称代名詞の前では su di+人称代名詞の形となる。また、u や母音で始ま

VII

る後の前でも *su di+...* の形で使用される。

<i>una stélla</i> , ウナ・ステッラ n.f	1 つの星	「目的語」
<i>un pianéta</i> , ウン・ピ・アネータ n.m	惑星	「目的語」
<i>il mio</i> , イル・ミーオ n.m	僕の惑星	「目的語」
<i>la Tèrra</i> , ラ・テラ n.f	地球	「目的語」
<i>c'èra</i> チェラ 3 単半・存在(<i>esserci</i>)v.i	～がいた	「動詞句」
<i>un piccolo principe</i> ウン・ピ・ッコロ・プリンチペ n.m	王子様が	「主語」
<i>da</i> +不定詞 ダー 不定詞・目的 <i>adj.</i>	～するべき	「形容詞句」
<i>consolare!</i> コンソラーレ 不定詞 v.t	慰める	「動詞」

僕は彼を両腕に抱き上げ、ゆりかごのように揺すり、話しかけた。

Lo **pre**si in bràccio. Lo cullai. Gli dicevo:

「目的語」「動詞」「副詞句」 | 「目的語」「動詞」 | 「間接目的語」「動詞」:

Lo	pron	彼を	「目的語」	
presi	プレジ	1 単遠(prèndere)v.t	抱えた	「動詞」
in bràccio.	イン・ブラーチョ	adv.	腕に	「副詞句」
フランス語版は「dans les bras 両腕に」なので、in bràccia のほうが原文に近い？				
Lo	pron	彼を	「目的語」	
cullai.	クライ	1 単遠(culare)v.t	(赤ん坊を) 揺すった	「動詞」
Gli	リ	pron	彼に	「間接目的語」
dicevo:	ディチェヴォ	1 単半(dire)v.t	話しかけた	「動詞」

「君が愛する花は、もう危険じゃないよ。僕が君の羊に口輪を描いてあげる、そして君の花には防護柵も描いてあげるから。僕は...」

"Il fióre che tu ami non è in pericolo ... Disegnerò una museruòla per la tua pècora... e una corazza per il tuo fióre... Io..."

《「主語」「動詞句」「補語」 | 「動詞」「目的語」「副詞句」 e 「目的語」「副詞句」 | 「主語」》

"Il fióre	イル・フィオーレ n.m	花は	「主語」
che	ケ pron	(目的語) ~する	「形容詞節」
tu	トゥ pron	君が	「主語」
ami	アミ 2 単現(<i>amare</i>)v.t	愛する	「動詞」
non è	ノ・エ 3 単現・否定(<i>sein</i>)v.i	～でない	「動詞句」
in pericolo ...	イン・ペリーコロ adv.	危険な状態に	「補語」
Disegnerò	ディゼニエロ 1 単未・意思(<i>disegnare</i>)v.t	描こうと思う	「動詞」
una museruòla	ウナ・ムゼルラ n.f	(動物の) 口輪を	「目的語」
per la tua pècora...	ペル・ラ・トゥアー・ペーコラ adv.	君の羊のために	「副詞句」

VII

e エ conj. そして

una corazza ヲ・コラツァ n.f よろい、防具、身の安全を守るもの

「目的語」

per il tuo fiore... ペル・イル・トゥア・フィオーレ adv. 君の花のために

「副詞句」

Io... " イオ pron 僕は

「主語」

彼に何を言えばよいのか分からなかった。自分がとても不器用に思われた。

Non sapevo bène che còsa dirgli. Mi sentivo mólto maldèstro.

「動詞句」「副詞」「目的語」 | 「動詞句」「補語」

Non sapevo ノ・サペーヴォ 1 単半・否定(sapére)v.t 分からなかった

「動詞句」

bène ベーネ adv. (否定文で) よく～ない

「副詞」

che còsa ケ・コサ n.f どんなことを

「目的語」

dirgli. ディルリ 不定詞・必要(dir+gli)adj. 彼に言うべき

「形容詞句」

Mi sentivo ミ・センチヴォ 1 単半(sentirsi)v.pr 自分が～に思われた

「動詞句」

mólto maldèstro. モルト・マルデーストロ adj. とても不器用な

「補語」

彼の心を動かす方法や彼の心に届くための方法がよく分からなかった。

Non sapevo bène còme toccarlo, còme raggiungerlo...

「動詞句」「副詞」「目的語」

Non sapevo ノ・サペーヴォ 1 単半・否定(sapére)v.t 分からなかった

「動詞句」

bène ベーネ adv. (否定文で) よく～ない

「副詞」

còme コーメ n.m 方法を

「目的語」

toccarlo, トッカーロ 不定詞・目的 adj. 彼の心を動かすための

「形容詞句」

còme コーメ n.m 方法を

「目的語」

raggiungerlo... ラッジュンジエルロ 不定詞・目的 adj. 彼の心に届くための「形容詞句」

涙の国というのは、かくも不思議なところだ！

Il paése delle làcrime è così misteriòso.

「主語」「動詞」「補語」

Il paése イル・パエーゼ n.m 国は

「主語」

delle làcrime デッレ・ラークリメ adj.(làcrima) 涙の

「形容詞句」

è エ 3 単現(èssere)v.i ～である

「動詞」

così misteriòso. コシ・ミステリオ adj. かくも不思議な

「補語」

VIII

VIII

まもなく、僕はもっとよくこの花を知るようになった。

Imparai bèn prèsto a conóscere mèglio quésto fióre.

「動詞句」「副詞句」「動詞句」「副詞」「目的語」

Imparai ...a conóscere インパライ...ア・コノッシェレ 1 単遠・習得(imparare a+不定詞)

v.t 知ることとなった、知ることを習得した 「動詞句」

bèn ベン adv.(bène) よく、もっとよく 「副詞」

prèsto プレスト adv. まもなく 「副詞」

mèglio メリオ adv. もっとよく 「副詞」

quésto fióre. ケスト・フィオーレ n.m この花を 「目的語」

王子様の惑星には、花びらが一重だけで、場所を取らないし、誰にも迷惑をかけない、とても素朴な花があった。

C'erano sèmpre stati sul pianéta del piccolo principe dei fióri móltó sèmplici, ornati di una sóla raggiera di pètali, che non tenevano pósto e non disturbavano nessuno.

「動詞句」「副詞句」「主語」

C'erano sèmpre stati チェラーノ・センプレ・スターティ 3 複半・完了形(esserci+ sèmpre)

v.i いつもあった 「動詞句」

sul pianéta del piccolo principe スル・ピ°アネータ・テル・ピ°ッコロ・プ°リンチハ°

adv. 王子様の惑星には 「副詞句」

dei fióri デイ・フィオーリ pl.n.m 花が 「主語」

móltó sèmplici, モルト・センピ°リチ adj.pl(sémplice) とても素朴な 「形容詞句」

ornati オルナーティ 過去分詞・受動(ornare)adj.m.pl 飾られた 「形容詞」

di una sóla raggiera デイ・ウナ・ソーラ・ラッジ°エーラ

adv. (手段) 1 つかさだけで 「副詞句」

di pètali, デイ・ペ°ーтали adj. 花びらの 「形容詞句」

che ケ pron (その花は) ~する 「形容詞節」

non tenevano ノン・テネヴァーノ 3 複半・否定(tenere)

v.t ~を取らない 「動詞句」

pósto ポ°ースト n.m 場所を 「目的語」

e エ conj. そして

non disturbavano ノン・ディストルバヴァーノ 3 複半・否定(disturbare)

v.t 迷惑かけない 「動詞句」

nessuno. ネッスーノ pron 誰にも~ない 「目的語」

VIII

それらの花は、ある朝、草の間から姿を現し、その晩には消えてしまうのだった。

Apparivano un mattino nell'èrba e si spegnevano la séra.

「動詞」「副詞句」 e 「動詞句」「副詞句」

Apparivano アハ^リヴァ^ノ 3 複半・習慣(apparire)v.i 姿を現した 「動詞」

un mattino ウン・マッティ^ーノ adv. ある朝 「副詞句」

nell'èrba ネッレ^ールハ^バ adv. 草の間から 「副詞句」

e エ conj. そして

si spegnevano シ・スペ^ニェヴァ^ノ 3 複半・習慣(spègnersi)v.pr 消えた 「動詞句」

la séra. ラ・セ^ーラ adv. その晩には 「副詞句」

しかしこれは、どこか分からない所からやって来たある種からある日突然姿を現したのでした。それで王子さまは、他のどの芽とも似ていないこの芽の近くで見張っていました。

Ma quésto era spuntato un giòrno, da un séme venuto chissà da dóve, e il piccolo principe aveva sorvegliato da vicino quésto ramoscèllo che non assomigliava a nessun altro ramoscello. Ma 「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「主語」「動詞句」「副詞句」

Ma マ conj. しかし

quésto クェスト pron これは、この花は 「主語」

era spuntato エ^ー・スプ^ンタート 3 単半・完了形(spuntare)v.i 突然姿を現した 「動詞句」

un giòrno, ウン・ジョ^ルノ adv. ある朝 「副詞句」

da un séme ダ^ニ・ウン・セ^ーメ adv. ある種から 「副詞句」

venuto ヴ^ェヌート 過去分詞(venire)adj. やって来た 「形容詞」

chissà da dóve, キッサ^ニ・ダ^ニ・ドー^ニ・ヴェ^ニ adv. どこか分からない所から 「副詞句」

chissà キッサ adv. (反語表現) わかるものか

e エ conj. そして

il piccolo principe イル^ニ・ピ^ニッコロ^ニ・フ^ニリンチ^ニハ^ニ n.m 王子さまは 「主語」

aveva sorvegliato ア^ニ・ヴェ^ニ・ヴァ^ニ・ア^ニ・ソ^ニル^ニヴェ^ニリアート 3 単半・完了形(sorvegliare)

v.t 見張っていた 「動詞句」

da vicino ダ^ニ・ウ^ニ・イチ^ニノ prep ーの近くから 「副詞句」

quésto ramoscèllo クェスト^ニ・ラモス^ニチェッロ n.m この小枝、この芽 「目的語」

che ケ pron (主語) ーする 「形容詞節」

non assomigliava ノン^ニ・アッソミリア^ニ・ヴァ^ニ 3 単半・否定・時制の一致(assomigliare)

v.i(a に) 似ていない 「動詞句」

a nessun altro ramoscello. ア^ニ・ネッソ^ニ・アルト^ニロ^ニ・ラモス^ニチェッロ

adv. 他のどんな芽にもーない 「副詞句」

VIII



バオバブの新種かもしれないのです。

Poteva essere una nuova specie di baobàb.

「動詞句」「補語」

Poteva essere ホ テーヴァ・ア・エツレ 3 単半・可能性(potére+不定詞)

v.i ~である可能性があった、~であるかもしれない

「動詞句」

una nuova specie ウナ・ヌオーヴァ・スペーチェ n.f 新種

「補語」

di baobàb. ディ・バオバブ adj. (限定) バオバブの

「形容詞句」

しかし、その低木は間もなく成長が止まり、花をつけ始めた。

Ma l'arbusto cessò presto di crescere e cominciò a preparare un fiore.

Ma 「主語」「動詞句」 e 「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

l'arbusto ラルブスト n.m その低木は

「主語」

cessò presto di crescere チェソ・プレスト・ディ・クレッシェ 3 単遠・停止(cessare di+不定詞)

v.i まもなく成長が止まった

「動詞句」

e エ conj. そして

cominciò a preparare コミンチョ・ア・プレパラーレ 3 単遠・開始(cominciare a+不定詞)

v.t ~の準備を始めた

「動詞句」

un fiore. ウン・フィオーレ n.m 花

「目的語」

大きな蕾が出来上がっていくところに居合わせた王子さまは、そこから奇跡が現れそうだと感じていた。しかしその花は、緑の部屋の隠れ家の中で、美しくなるための準備を続けた。

Il piccolo principe che assisteva alla formazione di un bocciolo enorme, sentiva che ne sarebbe uscita un'apparizione miracolosa, ma il fiore non smetteva più di prepararsi ad essere bello, al riparo della sua camera verde.

「主語」「動詞」「目的語」,ma 「主語」「動詞句」「副詞句」

VIII

Il piccolo principe	イル・ピッコロ・プリンス	n.m	王子さまは	「主語」
che	ケ	pron	(主語) ~する	「形容詞節」
assisteva	アシステヴァ	3 単半(assistere)v.i(a	に) 居合わせた	「動詞」
alla formazióne	アッ・フォルマツィオーネ	adv.	形成に、育成に	「副詞句」
di un bocciòlo enórme,	ディ・ウン・ボッチョーロ・エノルメ			
adj.	巨大な蕾の			「形容詞句」
sentiva	センチヴァ	3 単半(sentire)v.t	感じていた	「動詞」
che	ケ	conj.	~ということを	「目的語」
ne	ネ	pron	そこから	「副詞」
sarebbe uscita	サレバ・ウッシータ	条・3 単現・完了形・推量(uscire)		
v.i	(結果として) 得られるだろう			「動詞句」
un'apparizióne miracolosa,	ウン・パリツィオーネ・ミラコロサ	n.f	奇跡的な出現が	「主語」
ma	マ	conj.	しかし	
il fióre	イル・フィオーレ	n.m	花は	「主語」
non smétteva	ノン・ズメテヴァ	3 単半・否定(sméttre)		
v.i(di+不定詞	~するのを)		やめなかった	「動詞句」
più di prepararsi	ピウ・ディ・プレパラルシ	不定詞(否定文で)	まだ準備するのを	「動詞句」
ad essere bello,	アド・エッセル・ベッロ	不定詞・目的	美しくなるために	「副詞句」
al riparo	アル・リパロ	adv.	(場所) 隠れ場所で	「副詞句」
della sua camera verde.	デッラ・スア・カメラ・ヴェルデ	adj.	緑の部屋の	「形容詞句」

注意深く色を選んでいた。ゆっくりと着飾りながら、花卉を一枚一枚整えていた。

<u>Sceglieva con cura i suoi colóri, si vestiva lentaménte, aggiustava i suoi pètali ad uno ad uno.</u>	「動詞」「副詞句」「目的語」, 「動詞句」「副詞」, 「動詞」「目的語」「副詞句」
Sceglieva シェリエヴァ 3 単半(scégliere)v.t 選んでいた	「動詞」
con cura コン・クーラ adv. 念入りに、注意深く	「副詞句」
i suoi colóri, イ・スオイ・コロリ pl.n.m(colóre) 色を	「目的語」
si vestiva シ・ヴェスチーヴァ 3 単半(vestirsi)v.pr 着飾っていた	「動詞句」
lentaménte, レンタメンテ adv. ゆっくりと	「副詞」
aggiustava アジユスターヴァ 3 単半(aggiustare)v.t 整えていた	「動詞」
i suoi pètali イ・スオイ・ペーтали pl.n.m(pètalo) 花卉を	「目的語」
ad uno ad uno. アド・ウノ・アド・ウノ adv.(a uno a uno) 一つ一つ、一枚一枚	「副詞句」
uno a uno や uno per uno も同じ意味	

VIII

ヒナゲシのようにしわくちやの姿を現したくなかった。

Non voleva uscire sgualcito cóme un papàvero. 「動詞句」「補語」

Non voleva uscire ノン・ヴォレヴァ・ウッシーレ 3 単半・願望・否定(volére+不定詞)

v.i (突然) 姿を現したくなかった 「動詞句」

sgualcito スグアルチート adj. しわくちやの 「補語」

cóme un papàvero. コーメ・ウン・パパーヴェロ adv. ヒナゲシのように 「副詞句」

正確には、papàvero はゲシ papàvero selvàtico (野生の) がヒナゲシ

美しさの輝きで満ち溢れていなければ、姿を現したくなかった。

Non voleva apparire che nel pieno splendore della sua bellezza. 「動詞句」「副詞句」

Non voleva apparire ノン・ヴォレヴァ・アッパリーレ 3 単半・願望・否定(volére+不定詞)

v.i (突然) 姿を現したくなかった 「動詞句」

che ケ conj. (non...che〜 限定) 〜しか (... しない) 「副詞句」

nel pieno splendore ネル・ピエノ・スペントーレ adv. 輝きで一杯の 「副詞句」

della sua bellezza. デッラ・スア・ベジエーサ adj. 美しさの 「形容詞句」

そうなのだ、彼女は非常におしゃれだったのだ。

Eh, si, c'era una gran civetteria in tutto questo! 「感嘆」「主語」「動詞」「補語」

Eh, si, エー・シ int. そうなんだ! 「感嘆」

c' チェ pron この花は 「主語」

era エラ 3 単半 (essere)v.i 〜だった 「動詞」

una gran civetteria ウナ・グラン・チグェテリア n.f とても魅力的に装う人 「補語」

in tutto questo! イン・トゥット・ケスト adv. これ (着飾ること) については 「副詞句」

彼女の神秘的な化粧は何日も続いた。

La sua misteriosa toelèta era durata giorni e giorni. 「主語」「動詞句」「副詞句」

La sua misteriosa ラ・スア・ミステリオサ adj.f(misterioso) 彼女の神秘的な 「形容詞句」

toelèta トエレッタ n.f(tolèta) 化粧は 「主語」

era durata エラ・トウラータ 3 単半・完了形.f(durare)v.i 続いた 「動詞句」

giorni e giorni. ジョルニ・エ・ジョルニ adv.(giorno) 何日も何日も 「副詞句」

このようにして、ある朝、ちょうど日の出の時刻に、彼女は姿を見せたのだ。

E poi, ecco che un mattino, proprio all'ora del levar del sole, si era mostrato.

「副詞句」, ecco che 「副詞句」「動詞句」

E poi, エ・ポー adv. そしてその後 「副詞句」

ecco che エッコ・ケ conj. (事実の提示) 〜ということになった、(強意を示す) なんて

VIII

un mattino, ウン・マッティーノ n.m ある朝 「副詞句」
 proprio all'óra プ・ロープ・リオ・アッローラ adv. ちょうどその時間に 「副詞句」
 del levar del sóle, デル・レヴァール・デル・ソーレ adj. 日の出の 「形容詞句」
 si era mostrato. シ・エラ・モストラート 3 単半・完了形(mostrarsi)v.pr 姿を見せた 「動詞句」

それから、それほど几帳面にお化粧を済ませた彼女は、あくびをしながら言った：

E lèi, che aveva lavorato con tanta precisione, disse sbadigliando:

E 「主語」「動詞」「副詞」

E エ conj. そして

lèi, レーイ pron 彼女は 「主語」

<http://www.malyksiaze.net/us/ksiazka> のテキストでは、lui になっていた

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

aveva lavorato アヴェ・エヴァ・ア・ラヴァ・ォラート 3 単半・完了形(lavorare)

v.i 仕事をした 「動詞句」

con tanta precisione, コン・タンタ・プレジシオーネ adv. それほど几帳面に 「副詞句」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.i 言った 「動詞」

sbadigliando: スバ・リヤント ジェルディョ・同時(sbadigliare)adv. あくびをしながら 「副詞」

「ああ！やっと目が覚めたわ。許してくださいね... まだ髪がすっかり乱れていて...」

"Ah! mi sveglio óra. Ti chiedo scusa... sono ancora tutto spettinato..."

《「間投」「動詞句」「副詞」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「動詞」「補語」》

Ah! アー int. ああ 「間投」

mi sveglio ミ・ズヴェリオ 1 単現(svegliarsi)v.pr 目覚めた 「動詞句」

óra. オーラ adv. たった今、やっと 「副詞」

Ti ティ pron あなたに 「間接目的語」

chiedo キェト 1 単現(chiedere)v.t ～を願う、求める 「動詞」

scusa... スーザ n.f 許しを 「直接目的語」

sono ソーノ 1 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

ancora アンコーラ adv. まだ 「副詞」

tutto spettinato... トゥット・スペティナート adj. 髪がすっかり乱れた 「補語」

王子さまはその時、感嘆の気持ちを抑えられなかった。

Il piccolo principe allora non poté frenare la sua ammirazione:

「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

allóra アッローラ adv. その時 「副詞」

VIII

non poté frenare ノン・ポテ・フナレ 3 単遠・可能・否定(potére+不定詞)

v.t 抑えられなかった

「動詞句」

la sua ammirazione: ラ・スア・アンミラツィオーネ n.f 感嘆を

「目的語」

「あなたはなんと美しいのだろうか！」

"Cóme sèi bello !"

《「補語」「動詞」「補語」》

"Cóme ...bello !" コメ...ベールロ adj. なんと美しい

「補語」

sèi セー 2 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

「そうでしょう？」と、花は穏やかに答えた。「それに、私は太陽と一緒に生まれたのよ...」

"Véro", rispóse dolceménte il fióre, "e sono insieme al sóle..."

《「念押し」》, 「動詞」「副詞」「主語」, 《e 「動詞」「副詞句」》

"Véro", ヴェーロ adv. そうでしょう？

「念押し」

rispóse リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた

「動詞」

dolceménte ドルチェメンテ adv. 穏やかに、優しく、静かに

「副詞」

il fióre, イル・フィオーレ n.m 花は

「主語」

"e エ conj. そして

sono ソー 1 単現(essere)v.i 生じた、生まれた

「動詞」

insieme インシェーメ adv. (con / a を伴って前置詞的に) ~と一緒に

「副詞句」

al sóle..." アル・ソーレ adv. 太陽と

「間接目的語」

太陽の年齢：

太陽の年齢はおおよそ 46 億 300 万年。地球の年齢はおおよそ 45 億 4300 万年。

花の命ははかないので、「日の出と同時に生まれた」位が適当な翻訳だと思う。



王子さまは、この花はあまり謙虚ではないと見抜いた。しかしう
っとりするほど美しかった。

Il piccolo principe indovinò che non era móltto modèsto, ma era così commovènte!

「主語」「動詞」「目的語」, ma 「動詞」「補語」

太陽の年齢：

VIII

Il piccolo principe	イル・ピッコロ・プリンチペ	n.m	王子さまは	「主語」
indovinò	イントヴィノ	3 単遠(indovinare)v.t	(直観的に) 推測した	「動詞」
che	ケ	conj.	～ということを	「目的語」
non era	ノン・エラ	3 単半・否定・時制の一致(essere)v.i	～でない	「動詞」
mólto modèsto,	モルト・モデースト	adj.	(否定文で) あまり謙虚な～でない	「補語」
ma	マ	conj.	しかし	
era	エラ	3 単半・時制の一致(essere)v.i	～である	「動詞」
così commovènte!	コシ・コモヴェンテ	adj.	とても心を揺り動かす	「補語」

「朝食の時間になると思うわ」と言って、付け加えた。「わたくしのことを考えていただきたいのですが」

"Credo che sia l'óra del caffè e latte", aveva soggiunto, "vorresti pensare a me..."

《「動詞」「目的語」》, 「動詞句」, 《「動詞句」「間接目的語」》

"Credo	クレオ	1 単現(crédere)v.t(che+接続法 ～と)	思う	「動詞」
che	ケ	conj.	～ということを	「目的語」
sia	シア	接・3 単現・推測(essere)v.i	～になるだろう	「動詞」
l'óra	ローラ	n.f	時間	「補語」
del caffè e latte",	デル・カフエ・エ・ラッテ			
	adj.	(主に朝食用の) カフェ・ラッテの		「形容詞句」
aveva soggiunto,	アヴェーヴァ・ソジユント	3 単半・完了形(soggiungere)v.t	付け加えた	「動詞句」
"vorresti pensare	ヴォルレステ・ペンサーレ	条・2 単現・依頼(volére+不定詞)		
	v.i (a のことを)	考えていただきたいのですが		「動詞句」
a me..."	ア・メ	adv.	私のことを	「間接目的語」

カフェ・ラッテ :

カフェ・ラッテ(café e latte)はエスプレッソ抽出のコーヒーに蒸気で温めたミルクを 80%の分量加えたものです。カプチーノは蒸気で温めて泡立てたミルクを少量、カフェモカは蒸気で温めたミルクを少量とチョコレートシロップを加えたものです。

カフェ・オレ(café au lait)はドリップ抽出のコーヒーに温めた牛乳を 50%加えたものです。

それで王子さまはすっかり困惑して、如雨露を取りに行き、花に朝食をかけてやった。

E il piccolo principe, tutto confuso, andò a cercare un annaffiatóio di acqua fresca e servì al fióre la sua colazione.

E 「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」 e 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

E	エ	conj.	そして	
il piccolo principe,	イル・ピッコロ・プリンチペ	n.m	王子さまは	「主語」
tutto confuso,	トゥット・コンフーズ	adv.	すっかり困惑して	「副詞句」

カフェ・ラッテ :

VIII

andò a cercare アンド・ア・チェルカーレ 3 単遠・しに行く (andare a+不定詞)

v.t 取りに行った、探しに行った

「動詞句」

un annaffiatóio ウン・アナフイアトイオ n.m(= innaffiatóio) 如雨露を

「目的語」

annaffiare アナフイーアーレ v.t(= innaffiare) 水をかける

di acqua fresca ディ・アクワ・フレスコ adj. 新鮮な水の入った

「形容詞句」

e エ conj. そして

servì セルヴィ 3 単遠(servire)v.t 給仕した

「動詞」

al fióre アル・フィオーレ adv. 花に

「間接目的語」

la sua colazióne. ラ・スア・コラチオーネ n.f 朝食を

「直接目的語」

このように、花は少し疑り深い彼女の虚栄心によって、彼を苦しめた。

Così l'aveva bèn presto tormentato con la sua vanità un poco ombrosa.

「副詞」「目的語」「動詞句」「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Così コシ adv. こうして

「副詞」

l' ロ pron.m 彼を

「目的語」

aveva ...tormentato アヴァ・エーヴァ...トルメンタート 3 単半・完了形(tormentare)v.t 苦しめた「動詞句」

bèn presto ベン・プレスト adv. 早くも

「副詞句」

con la sua vanità コン・ラ・スア・ヴァニタ adv. (手段) 彼女の虚栄心によって

「副詞句」

un poco ombrosa. ウン・ポ・コ・オンブローサ adj.f(ombroso) 少し疑り深い

「形容詞句」

例えば、ある日、自分の4本のとげのことを話しながら、王子様に言った：

Per esèmpio, un giòrno, parlando delle sue quattro spine, gli aveva detto:

「副詞句」, 「間接目的語」「動詞句」

Per esèmpio, ヘル・エゼンピオ adv. 例えば

「副詞句」

un giòrno, ウン・ジョールノ adv. ある日

「副詞句」

parlando パルラント 現在分詞・同時(parlare)v.i(di のことを) 話しながら

「副詞句」

delle sue quattro spine, デッレ・スエ・クワットロ・スピーネ

adv. 自分の4本のとげについて

「間接目的語」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

aveva detto: アヴァ・エーヴァ・デット 3 単半・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

「トラたちが、鉤づめをもってやって来たって構わないわ！」

"Possono venire le tigri, con i loro artigli!"

《「動詞句」「主語」「副詞句」》

"Possono venire ポッソノ・ヴェニレ 3 複現・許容(potére+不定詞)v.i 来ても構わない「動詞句」

le tigri, レ・ティグリ pl.n.f トラたちが

「主語」

con i loro artigli!" コン・イ・ロー・アルティリ adv. (様態) 鉤づめをもって

「副詞句」

VIII

「僕の惑星に虎はいませんよ」と、王子さまは反論した。「その上、虎は草を食べませんよ」

"Non ci sono tigri sul mio pianeta", aveva obiettato il piccolo principe, "e pòì le tigri non mangiano l'èrba".

《「動詞句」「主語」「副詞句」》, 「動詞句」「主語」, 《e「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」》
 "Non ci sono ノン・チ・ソーノ 3 複現・否定(esserci)v.i. ～がない、いない 「動詞句」
 tigri ティーグリー pl.n.f. トラは 「主語」
 sul mio pianeta, スル・ミー・プラネータ adv. 僕の惑星には 「副詞句」
 aveva obiettato アヴァ・エウヴァ・オブエッタート 3 単半・完了形(obiettare)
 v.t (意見に) 反論した 「動詞句」
 il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m. 王子さまは 「主語」
 "e エ conj. そして
 pòì ポーイ adv. その上 「副詞」
 le tigri レ・ティーグリー pl.n.f. トラたちは 「主語」
 non mangiano ノン・マンジヤノ 3 複現・否定(mangiare)v.t. 食べない 「動詞句」
 l'èrba". レールハ n.f. 草を 「目的語」

「私は草じゃありませんよ」と、花は静かに答えた。

"Io non sono un'èrba", aveva dolcemente risposto il fiore.

《「主語」「動詞句」「補語」》, 「動詞句」「副詞」「動詞句」「主語」
 "Io イーオ pron 私は 「主語」
 non sono ノン・ソーノ 1 単現・否定(essere)v.i. ～でない 「動詞句」
 un'èrba", ウ・ネルハ n.m. 草 「補語」
 aveva dolcemente risposto アヴァ・エウヴァ・ドルチェメンテ・リスポースト 3 単半・完了形(rsipondere)
 v.i. 静かに答えた 「動詞句」
 dolcemente ドルチェメンテ adv. 穏やかに、優しく、うっとり
 il fiore. イル・フィオーレ n.m. 花は 「主語」

「ごめんなさい...」

"Scusami..."

《「応答」》

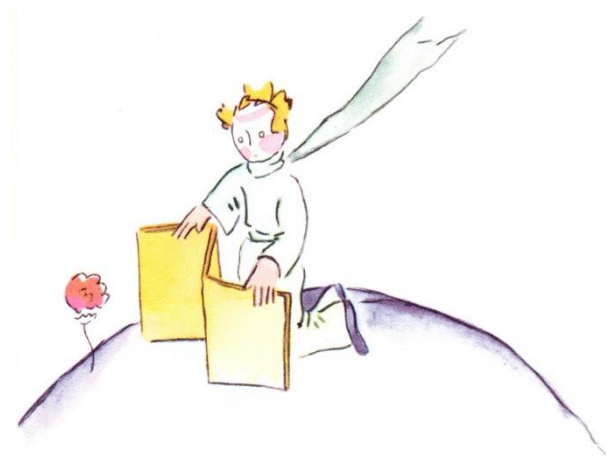
"Scusami..." スクーザ・ミ 命・2 単現(scusare+mi)v.t. ごめんなさい、私を許して 「応答」

VIII

「虎なんて恐ろしくないわ、でも空気の流れが嫌いなの。ひょっとして、ついたてをお持ちじゃありません？」

"Non ho paura delle tigri, ma ho orrore delle correnti d'aria... Non avresti per caso un paravento?"
 «「動詞句」「目的語」「副詞句」,ma「動詞」「目的語」「副詞句」
 「副詞句」「動詞句」「目的語」»

"Non ho ノ・ノ 1 単現・否定(avére)v.t. ～がない 「動詞句」
 paura パウーラ n.f 恐れ 「目的語」
 delle tigri, デッレ・ティーグレ adv. (関連) 虎に対して 「副詞句」
 ma マ conj. しかし
 ho オ 1 単現(avére)v.t. ～がある 「動詞」
 orrore オーレ n.m 嫌悪感 「目的語」
 ho orrore di... → 「～が嫌いだ」
 delle correnti d'aria... デッレ・コレンティ・ダーリア adv. 空気の流れに対して 「副詞句」
 Non avresti ノン・アヴレスティ 条・2 単現・疑問文(avére)v.t. 持っていないのですか? 「動詞句」
 per caso ペル・カーゾ adv. ひょっとして、偶然に 「副詞句」
 un paravento? ウン・パラヴェント n.m ついたてを 「目的語」



「空気の流れが嫌いだって？」

"Orrore delle correnti d'aria?" 「感嘆」
 "Orrore オーレ n.m 嫌いだって? 嫌悪感 「感嘆」
 delle correnti d'aria? デッレ・コレンティ・ダーリア adv. 空気の流れが 「副詞句」

「植物としては、少し深刻だな」と、王子さまは思った。「この花はとても気難しいな」

"È un po' grave per una pianta", aveva osservato il piccolo principe. "È molto complicato questo fiore..."
 «「動詞」「補語」», 「動詞句」「主語」, «「動詞」「補語」「主語」»
 "È エ 3 単現(essere)v.i. ～である 「動詞」
 un po' grave ウン・ポ・グラーヴェ adj. 少し深刻な 「補語」
 per una pianta", ペル・ウナ・ピアンタ adv. (立場) 植物としては 「副詞句」

VIII

aveva osservato	アヴェーヴァ・ア・オッセルヴァート	3 単半・完了形(osservare)v.t	気づいた	「動詞句」
il piccolo principe.	イル・ピッコロ・プリンチペ	n.m	王子さまは	「主語」
"È	エ	3 単現(essere)v.i	～である	「動詞」
mólto complicato	モルト・コンプリカート	adj.	とても気難しい	「補語」
quésto fióre..."	クエスト・フィオーレ	n.m	この花は	「主語」

「夕方になったら、ガラスの覆いをかけてくださいね。あなたの所は、とても寒いわ...」

"Alla séra mi metterai al riparo sótto a una campana di vétro. Fa mólto freddo qui da te...

《「副詞句」「目的語」「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「補語」》

"Alla séra	アッラ・セーラ	adv.	(方向・時刻) 夕方になったら	「副詞句」
mi	ミ	pron	私を	「目的語」
metterai	メッテライ	2 単未・依頼(mettere)v.t	入れてください	「動詞」
al riparo	アル・リパロ	adv.	避難所に	「副詞句」
sótto a una campana	ソット・ア・ウナ・カンパナ	adv.	覆いの下に	「副詞句」
di vétro.	ディ・ヴェートロ	adj.	(材料) ガラスの	「形容詞句」
Fa	ファ	非人称・3 単現(fare)v.h	(天気)が～である	「動詞」
mólto freddo	モルト・フレッド	adj.	とても寒い	「補語」
qui	クイ	adv.	ここは	「副詞句」
da te...	ダ・テ	adj.	あなたの	「形容詞句」

「私が満足する設備がないわね！私がやってきたところは...」

Non è una sistemazione che mi soddisfi. Da dóve vengo io..."

《「動詞句」「補語」 | 「副詞節」》

Non è	ノネ	3 単現・否定(essere)v.i	～でない	「動詞句」
una sistemazione	ウナ・システマチオーネ	n.f	設備	「補語」
che	ケ	pron	(目的語) ～する	「形容詞節」
mi soddisfi.	ミ・ソッティスフィ	接・1 単現(soddisdarsi)		
v.pr			満足するような	「動詞句」
Da dóve	ダ・ドーヴェ	adv.	～する所は	「副詞節」
vengo	ヴェンゴ	1 単現(venire)v.i	やって来る	「動詞」
io..."	イオ	pron	私が	「主語」

VIII



しかし彼女は話を中断した。彼女は種の状態やって来たのだった。

Ma si era interrotto. Era venuto sotto forma di seme. Ma 「動詞句」 | 「動詞句」「副詞句」

Ma マ conj. しかし

si era interrotto. シ・エラ・インテロット 3 単半・完了形(interrompersi)v.pr 中断した 「動詞句」

Era venuto エラ・ヴェヌート 3 単半・完了形(venire)v.i やって来た 「動詞句」

sotto ソット prep (様態) ~の状態 「副詞句」

forma di seme. フォルマ・ディ・セメ n.f 種の形、状態 「目的語」

他の世界のことは何も知ることは出来なかっただろう。

Non poteva conoscere nulla degli altri mondi. 「動詞句」「目的語」

Non poteva conoscere ノン・ポテヴァ・コノッシェレ 3 単半・可能性・否定(potére+不定詞)

v.t 知ることはできなかつただろう 「動詞句」

nulla ヌッラ pron 何も〜ない 「目的語」

degli altri mondi. デッリ・アルトリ・モンディ adj. 他の世界の 「形容詞句」

花は、こんな無邪気な嘘を言おうとしたところを見破られたので、恥ずかしくなって 2、3 度咳をして、王子様に間違いの責任を押し付けた。

Umiliato di essersi lasciato sorprendere a dire una bugia così ingenua, aveva tossito due o tre volte, per mettere il piccolo principe dalla parte del torto...

「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」

Umiliato ウミリアート 過去分詞・受動(umiliare)

adj. (原因・理由 : di ~に) 辱しめられて 「副詞句」

di +不定詞・受動形 adv. (理由) ディ adv. ~することで 「副詞句」

essersi lasciato sorprendere エッセルシ・ラッシャート・ソルプレンドレ 不定詞・受動形

(lasciarsi+不定詞)v.pr 現場で取り押さえられる 「動詞句」

a dire ア・ディレ 不定詞・同格 adj. ~を言う 「形容詞句」

una bugia ウナ・ブジーア n.f 嘘を 「目的語」

VIII

così ingènua, コシ・インジェヌア

adj.f かくも無邪気な 「形容詞句」

aveva tossito アヴェウァ・トッシート 3 単半・完了形(tossire)v.i 咳をした 「動詞句」

due o tre vòlte, トゥエ・オ・トレ・ヴォルテ adv. 2、3 度 「副詞句」

per mèttere ヘル・メッテレ adv. (結果・継続) そして置いた 「副詞句」

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子様を 「目的語」

dalla parte del tòrto... タッタ・パルテ・デル・トルト adv. 間違えた側に 「副詞句」

「それで、ついたては？」

"È quésto un paravèto?..." 《「動詞」「主語」「補語」》

"È 3 単現・疑問文(essere)v.i ～ですか？ 「動詞」

quésto クェスト pron これは 「主語」

un paravèto?..." ウン・パラヴェント n.m ついたて 「補語」

→ 皮肉っぽく催促している → ついたてはどうなっているの？

「僕はそれを探しに行こうとしていたのに、あなたが話しかけてきたんですよ！」

"Andavo a cercarlo, ma tu non mi parlavi!"

《「動詞句」,ma「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」》

"Andavo a cercarlo, アンダウァ・ア・チェルカル・ロ 1 単点・準備(andare a+不定詞)

v.t それを探しに行こうとしていた 「動詞句」

ma マ conj. しかし

tu トゥ pron あなたは 「主語」

non ...parlavi!" ノン...パルラーヴィ 2 単半(parlare)v.t 話しかけてきた 「動詞句」

non は否定の意味を持たない「冗語」

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

それで花は、無理に咳払いをして、彼に両親の呵責を起こさせた。

Allóra aveva forzato la sua tósse per fargli venire dei rimòrsi.

「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Allóra アッローラ adv. それで 「副詞」

aveva forzato アヴェウァ・ア・フォルツァート 3 単半・完了形(forzare)v.t 無理じいした 「動詞句」

la sua tósse ラ・スーア・トッセ n.f 咳払いを 「目的語」

per +不定詞 ヘル adv. (結果) その結果～する 「副詞句」

fargli venire ファル・リ・ヴィエーレ 不定詞・使役(fare+人+不定詞)

v.t 彼を～に至らせた 「動詞句」

venire ヴィエーレ v.i 達する、～に至る

VIII

dei rimòrsi. デイ・リメルシ adv.(rimòrso) 呵責に、後悔に

「間接目的語」

だから王子さまは、彼の恋心による善意ではあったが、花を疑い始めた。

Così il piccolo principe, nonostante tutta la buona volontà del suo amore, aveva cominciato a dubitare di lui.

Così 「主語」「副詞句」「動詞句」「間接目的語」

Così コシ conj. だから

il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

nonostante ノスタンテ conj. ～ではあるが

「副詞句」

tutta la buona volontà トウッタ・ラ・ブォーナ・ウォロンタ n.f まったくの善意

「目的語」

del suo amore, デル・スー・アモーレ adj. (由来) 彼の恋心による

「形容詞句」

aveva cominciato a dubitare アヴェーヴァ・ア・コミンチャート・ア・ドゥビターレ 3 単半・完了形・開始

v.i(di を) 疑い始めた

「動詞句」

di lui. デイ・ルイー adv. 花を

「間接目的語」

どうしてもよい言葉を真面目に受け取ったために、彼は不幸になったのだ。

Aveva preso sul sèrio delle parole senza importanza ché l'avevano reso infelice.

「動詞句」「副詞句」「目的語」「副詞節」

Aveva preso アヴェーヴァ・ア・プレゾ 3 単半・完了形(prendere)v.t 取った、受け取った 「動詞句」

sul sèrio スル・セリオ adv. 真面目に

「副詞句」

delle parole デッレ・パローレ pl.n.f(paròla) 言葉を

「目的語」

senza importanza センツァ・インポルタンツァ

adj. 重要性のない、つまらない、どうしてもよい

「形容詞句」

ché ケ conj. (結果) そのために～する

「副詞節」

l' 〇 pron 彼を

「目的語」

avevano reso アヴェーヴァ・ア・レーゾ 3 複現・完了形(rendere)v.t ～にした

「動詞句」

受動態に翻訳する

infelice. インフェリーチェ adj. 不幸な

「補語」

VIII

「花の言うことを聞くべきではなかったのだろう」と、ある日、彼は打ち明けた。「決して花の言うことを聞いてはならない。花を見て、香りをかぐだけで十分なんだ。僕の花は、僕の惑星をよい香りで満たしてくれていたのに、僕はそれを楽しむことが出来なかった」



"Avrei dovuto non ascoltarlo", mi confidò un giorno, "non bisogna mai ascoltare i fiori. Basta guardarli e respirarli. Il mio, profumava il mio pianeta, ma non sapevo rallegrarmene.

《「動詞句」》, 「間接目的語」 「動詞」 「副詞句」,

《「動詞句」 「目的語」 | 「動詞句」 | 「主語」 「動詞」 「目的語」 | 「動詞句」》

"Avrei dovuto +不定詞 アヴレイ・ドヴート 条・3 単現・推量(dovére+不定詞)

v. ～するべきだっただろう

「動詞句」

non ascoltarlo", ノン・アスコタル・ロ 不定詞・否定形 v.t 花の言うことを聞かない

「動詞句」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

confidò コンフト 3 単遠(confidare)v.t 打ち明けた

「動詞」

un giorno, ウン・ジョルノ n.m ある日

「副詞句」

"non bisogna mai +不定詞 ノン・ビゾーニャ・マイ 3 単現・禁止・強調(bisognare+不定詞)

v.h ～してはならない

「動詞句」

ascoltare アスコターレ 不定詞 v.t 聞く

「動詞句」

i fiori. イ・フィオーリ pl.n.m 花の言うことを

「目的語」

Basta +不定詞 バスタ 3 単現・十分(bastare+不定詞)v.h ～するだけでよい

「動詞句」

guardarli ガアルダーリ 不定詞 v.t 花を見る

「動詞句」

e エ conj. そして

respirarli. レスピラルリ 不定詞 v.t 花の香をかぐ

「動詞句」

Il mio, イル・ミーオ pron 僕の花は

「主語」

profumava プロフマーヴァ 3 単半(profumare)v.t 香りで満たしていた

「動詞」

il mio pianeta, イル・ミーオ・ピアネータ n.m 僕の惑星を

「目的語」

ma マ conj. しかし

non sapevo rallegrarmene. ノン・サペーヴォ・ラレグラル・メ・ネ 1 単半・可能・否定

VIII

(sapére+不定詞 *rallegrarsene*)v.pr それを楽しむことができなかった 「動詞句」

「僕はあのかぎ爪の話でひどく苛立ったけれども、恐らく感動的な話だったに違いない。」

Quélla stòria degli artigli, che mi aveva tanto raggelato, avrebbe dovuto intenerirmi."
 《「主語」「動詞句」》

Quélla stòria ケッラ・ストーリア n.f あの話は 「主語」

degli artigli, デッリ・アルティリ adj.(artiglio) (猛獣の) かぎ爪の 「形容詞句」

che ケ pron(stòria の代用) (主語) ～する 「形容詞節」

mi ミ pron 僕を 「目的語」

aveva tanto **raggelato**, アヴェヴァ・ア・タント・ラッジェラト 3 単半・完了形(raggelare)

v.t 凍らせた → ひどく苛立たせた 「動詞句」

avrebbe dovuto intenerirmi." アヴレヴァ・ドヴエート・インテリル・ミ 条・3 単現・完了形・推量

(dovére+不定詞 *intenerire*+mi)v.t 恐らく僕を感動させたに違いない 「動詞句」

intenerire インテネーレ v.t 感動させる

フランス語版では :

Cette histoire de griffes, ... 僕をひどく苛立たせたあの爪の話だって、...

従って、この文の *raggelato* は **irritato** (*irritare* の過去分詞)が適当だと思う。

そう言って、また僕に打ち明けた :

E mi confidò ancóra: E 「間接目的語」「動詞」「副詞」

E エ conj. そして

mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

confidò コンフト 3 単遠(confidare)v.t 打ち明けた 「動詞」

ancóra: アンコーラ adv. また 「副詞」

「あの時僕は、何も理解できなかったんだ！言葉によってではなく、行為によって、彼女を判断すべきだったんだ。彼女は僕をよい香りで満たしてくれていたし、明るく照らしてくれていたんだ」

"Non ho saputo capire niènte allóra! Avrei dovuto giudicarlo dagli atti, non dalle paròle.

Mi profumava e mi illuminava. 《「動詞句」「目的語」「副詞」 | 「動詞句」「副詞句」

「目的語」「動詞」 e 「目的語」「動詞」》

"Non ho saputo capire ノ・ノ・サプエート・カデーレ 1 単現・完了形・可能・否定(sapére+不定詞)

v.t 理解することができなかった 「動詞句」

niènte ニエンテ pron 何も～ない 「目的語」

allóra! アッローラ adv. あの時は 「副詞」

Avrei dovuto giudicarlo アヴレイ・ドヴエート・ジッヂェイカル 条・1 単現・完了形・義務

VIII

(dovére+不定詞)v.i(da によって、di について) 判断すべきだった 「動詞句」
 dagli atti, ダッリ・アッティ adv.(atto) 行為によって 「副詞句」
 non dalle paròle. ノン・ダッレ・パローレ adv.(paròla) 言葉によってではなく 「副詞句」
 Mi ミ pron 僕を 「目的語」
 profumava プロフマーヴァ 3 単半(profumare)v.t よい香りで満たしていた 「動詞」
 e エ conj. そして
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 illuminava. イルミナーヴァ 3 単半(illuminare)v.t 明るく照らしていた 「動詞」

「決して別の場所へ逃げるべきではなかったんだ！」

Non avrei mai dovuto venirmene via! 《「動詞句」「副詞」》
 Non avrei mai dovuto venirmene ノン・アヴレイ・マイ・トドヴァート・ヴァニール・メ・ネ
 条・1 単現・完了形・否定・義務(dovére+不定詞 venirsene)
 v.pr 決して立ち去るべきではなかった 「動詞句」
 via! ヴィーア adv. 別の場所へ 「副詞」

「ささやかな策略の裏に隠れていた、彼女の優しさを見抜くべきだったんだ」

Avrei dovuto indovinare la sua tenerézza dietro le piccole astùzie. 《「動詞句」「目的語」》
 Avrei dovuto indovinare アヴレイ・トドヴァート・イントゥヴァーレ 条・1 単現・完了形・否定・義務
 (dovére+不定詞)v.t 推測すべきだった、見抜くべきだった 「動詞句」
 la sua tenerézza ラ・スア・テネレッツァ n.f 彼女の優しさ 「目的語」
 dietro ディエートロ prep (場所) ~の後ろの 「副詞句」
 le piccole astùzie. レ・ピッコレ・アストゥチェ
 pl.n.f(astùzia) ささやかな策略 「目的語」
 astùzia アストゥーチャ n.f 狡猾さ、策略

花は本当に矛盾している。だけど僕は、幼過ぎて、あの花を愛する方法を知らなかったんだ。

I fiori sono così contraddittòri! Ma èro troppo giovane per saperlo amare.
 「主語」「動詞」「補語」 | Ma 「動詞」「補語」「副詞句」
 I fiori イ・フィオーリ pl.n.m(fióre) 花は 「主語」
 sono ソーノ 3 複現(ser)v.i ~である 「動詞」
 così contraddittòri! コシ・コントラディットーリ adj.pl(contraddittòrio) 本当に矛盾する 「補語」
 注意：contraddittóre コントラディットーレ n.m 反論する人、反対者
 Ma マ conj. しかし
 èro エロ 1 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」
 troppo giovane トロッポ・ジョヴァネ adj. 若過ぎの 「補語」

IX

per +不定詞 ペル adv. (結果) それで～する、(目的) ～するために 「副詞句」
 saperlo amare". サペール・ロ・アマーレ 不定詞・可能(sapére+不定詞)

v.t. その愛し方を知る 「動詞句」

troppo...per+不定詞 :

～するにはあまりにも... である、～でありすぎて... できない

Quésto quadro costa troppo poco per èssere autentico.

この絵はほんものにしては値が安すぎる。

IX

王子様は脱出するために野鳥の渡りを利用したと、僕は思っている。

Io credo che egli approfittò per venirsene via di una migrazione di uccelli selvatici.

「主語」「動詞」「目的語」

Io イオ pron 僕は

「主語」

credo クレト° 1 単現(crédere)v.t. 思う、信じる

「動詞」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

egli エリ pron 王子さまは

「主語」

approfittò, アップ・ロフィット 3 単遠(approfitare)v.i(di を) 利用した

「動詞」

per +不定詞 ペル adv. (目的) ～するために

「副詞句」

venirsene ヴェニール・セ・ネ 不定詞 v.pr. 逃げ出す

「動詞句」

via, ヴィア adv. あちらへ

「副詞」

di una migrazione ディ・ウナ・ミグラチオーネ adv. 移動を

「間接目的語」

di uccelli selvatici. ディ・ウッチェーリ・セルヴァチー adj. 野鳥の 「形容詞句」

uccelli ウッチェーリ pl.n.m(uccello) 鳥 selvatici セルヴァチー adj.m.pl(selvatic) 野生の

出発の朝、王子さまは自分の惑星をしっかりと整頓した。

Il mattino della partèenza mise bène in órdine il suo pianéta.

「副詞句」「主語」「動詞」「副詞」「補語」「目的語」

Il mattino イル・マッティーノ n.m. その朝に

「副詞句」

della partèenza デッラ・パルテンツァ adj. 出発の

「形容詞句」

mise ミセ° 3 単遠(méttere)v.t. (ある状態に) 持って行った

「動詞」

mettre in órdine ql.co. 「何かを整頓する、片付ける」

bène ベーネ adv. 十分に、よく

「副詞」

in órdine イン・オルディネ adj. 整理された

「補語」

il suo pianéta. イル・スー・ピアンエータ n.m. 彼の惑星を

「目的語」

troppo...per+不定詞 :

IX

活火山の噴出口を入念に煤払いした。

Spazzò accurataménte il camino dei suoi vulcani in attività. 「動詞」「副詞」「目的語」

Spazzò スパッツォ 3 単遠(spazzare)v.t 掃除をした 「動詞」

accurataménte アクラタメンテ adv. 入念に 「副詞」

il camino イル・カミーノ n.m (火山の) 噴出口を、煙突を 「目的語」

dei suoi vulcani デイ・スオイ・ヴルカーニ adj. 火山の 「形容詞句」

in attività. イン・アッチヴィータ adv. 活動中の 「副詞句」

彼は活火山を 2 つ所有していた。

Possedeva due vulcani in attività. 「動詞」「目的語」

Possedeva ポッセデーヴァ 3 単半(possedére)v.t 所有していた 「動詞」

due vulcani ドゥエ・ヴルカーニ pl.n.m(vulcano) 火山を 2 つ 「目的語」

in attività. イン・アッチヴィータ adv. 活動中の 「副詞句」

そしてそれは、朝の食事を温めるのにとっても便利だった。

Ed era móltò còmodo per far scaldare la colazione del mattino. Ed 「動詞」「補語」

Ed エト conj. (接続詞 e + 母音で始まる語) そして

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

móltò còmodo モルト・コモト adj. とっても便利な 「補語」

per + 不定詞 ペル adv. (目的) ~するために 「副詞句」

far scaldare ファル・スカルターレ 不定詞・使役(fare+scaldare)v.t 温める 「動詞句」

la colazione ラ・コラチオーネ n.f 食事を 「目的語」

del mattino. テル・マッティーノ adj. 朝の 「形容詞句」

そして休火山も 1 つ所有していた。

E possedeva anche un vulcano spènto. E 「動詞」「目的語」

E エ conj. そして

possedeva ポッセデーヴァ 3 単半(possedére)v.t 所有していた 「動詞」

anche アンケ adv. また、~も 「副詞」

un vulcano ウン・ヴルカーノ n.m 火山を 1 つ 「目的語」

spènto. スペント adj. 火の消えた 「形容詞」

しかし、“どうなるかわからない”と言っていたように、彼は休火山も煤払いをした。

Ma, cóme lui diceva, "non si sa mai" e così spazzò anche il camino del vulcano spènto.

Ma, 「副詞節」 e 「副詞」「動詞」「目的語」

Ma, マ conj. しかし

IX

cóme コーメ conj. (理由) ～なので、～のように	「副詞節」
lui ルー pron 人が、誰かが、彼が	「主語」
diceva, ディチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言っていた	「動詞」
n. ～ということを	「目的語」
"non si sa mai" ノン・シ・サ・マイ 3 単現・再帰受動・否定・天気(sapérsi)	
v.pr 知られない、分からない	「動詞句」
e エ conj. それで	
così コシ adv. 同様に	「副詞」
spazzò スパッツォ 3 単遠(spazzare)v.t 清掃した	「動詞」
anche アンケ conj. ～もまた	
il camino イル・カミーノ n.m 煙突	「目的語」
del vulcano デル・ウ・ルカーノ adj. 火山の	「形容詞句」
spènto. スペント adj. (火が) 消えた	「形容詞」

噴出口をよく煤払いしておけば、火山は噴火せずに、静かに規則正しく燃え続ける。

Se i camini sono bèn puliti, bruciano piano piano, regolarménte, sènza eruzióni.

	「副詞節」, 「動詞」 「副詞句」
Se セ conj. もし～ならば	「副詞節」
i camini イ・カミーニ pl.n.m(camino) 煙突が	「主語」
sono bèn puliti, ソーノ・ベン・プリーティ 3 複現・受動.m.pl(pulire+bèn)	
v.t よく掃除されている	「動詞句」
bruciano ブルチャノ 3 複現(bruciare)v.i 燃える	「動詞」
piano piano, ピアーノ・ピアーノ adv. 静かに	「副詞句」
regolarménte, レコラルメンテ adv. 規則正しく	「副詞」
sènza eruzióni. センツァ・エルツィオーネ adv. 噴火しないで	「副詞句」

火山の噴火は、噴出口で発生する爆発みたいなものだ。

Le eruzióni vulcaniche sono cóme gli scòppi nei caminétti.

	「主語」 「動詞」 「補語」
Le eruzióni レ・エルツィオーネ pl.n.f(eruzióné) 噴火は	「主語」
vulcaniche ヴルカニケ adj.f.pl(vulcànico) 火山の	「形容詞」
sono ソーノ 3 複現(èssere)v.i ～である	「動詞」
cóme コーメ adv. ～のような	「補語」
gli scòppi リ・スコッピォ pl.n.m(scòppio) 爆発	「目的語」
nei caminétti. ネイ・カミネッティ adv. 煙突の中の	「副詞句」
caminétti カミネッティ pl.n.m(camino+ -etto) 煙突、暖炉	

IX



Il ramona soigneusement ses volcans en activité.

IX

明らかに、この地球上では、我々は小さすぎて火山の噴出口を煤払いすることができない。
だから、火山は僕たちに沢山のやっかいごとを与える。

È evidente che sulla nostra terra noi siamo troppo piccoli per poter spazzare il camino dei nostri vulcani ed è per questo che ci danno tanti guai.

「動詞」「補語」「主語」 ed 「動詞」「副詞句」「補語」

È エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

evidente エヴィデンテ adj. 明らかな 「補語」

che ケ conj. ~ということ 「主語」

sulla nostra terra スッラ・ノストラ・テッラ adv. 我々の地球上では 「副詞句」

noi ノー pron 私たちは 「主語」

siamo シアーモ 1 複現(essere)v.i ~である 「動詞」

troppo piccoli トロッポ・ピッコリ adj.m.pl 小さすぎる 「補語」

per +不定詞 ヘル adv.(troppo...per) (結果) それで~しない 「副詞句」

poter spazzare ホテル・スパ ツァーレ 不定詞(potére+不定詞)

v.t 掃除する 「動詞句」

il camino イル・カミーノ n.m 煙突を、噴出口を 「目的語」

dei nostri vulcani デイ・ノストリ・ウルカーニ adj. 火山の 「形容詞句」

ed エ conj. そして

è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

per questo ヘル・クェスト adv. このために、だから 「副詞句」

che ケ conj. ~ということ 「補語」

ci チ pron.pl 僕たちに 「間接目的語」

danno ダンノ 3 複現(dare)v.t 与える 「動詞」

tanti guai. タンティ・グアイ pl.n.m(guàio) 沢山のやっかいごとを 「直接目的語」

王子さまは、少し憂鬱そうに、バオバブの最新の若芽を抜くこともした。

Il piccolo principe strappò anche con una certa malinconia gli ultimi germogli dei baobàb.

「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

strappò ストラッポ 3 単遠(strappare)v.t 引き抜いた 「動詞」

anche アンケ conj. ~もまた

con una certa malinconia コン・ウナ・チェルタ・マリンコニア adv. (様態) 少し憂鬱そうに 「副詞句」

certa チェルタ adj.f(certo) いくらかの、ある種の malinconia マリンコニア n.f 憂鬱、哀愁

gli ultimi germogli リ・ウルチミ・ジェルモーリ pl.n.m(germoglio) 最新の若芽を 「目的語」

ultimi ウルチミ adj(ultimo).m.pl 最新の、最後の

dei baobàb. デイ・バオバブ adj. バオバブの 「形容詞句」

IX

彼は、もう二度と戻らないと思っていた。

Credeva di non ritornare più.

「動詞句」「副詞」

Credeva di +不定詞 クレデーヴァ・ディ 3 単半・思う (credere)

v.t(di+不定詞 ～すると) 思っていた

「動詞句」

non ritornare ノン・リトルネ 不定詞・否定形 v.i 戻らない

「動詞句」

più. ピウ adv.(non...più) もはや～ない

「副詞」

しかしやり慣れたあの仕事のすべてが、その朝は、彼には非常に甘美なものに思われた。

Ma tutti quèi lavóri consueti gli sembravano, quel mattino, estremamente dolci.

Ma 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」「補語」

Ma マ conj. しかし

tutti quèi lavóri トウツティ・ケイ・ラヴォーリ pl.n.m(lavóro) あの仕事はみな

「主語」

quèi ケイ adj. (男性複数形指示形容詞) あの

consueti コンスエーティ adj.m.pl(consueto) 習慣的な、慣れた

「形容詞」

gli リ pron 彼には

「間接目的語」

sembravano, センブラヴァノ 3 複半(sembrare)v.i ～のように思われた

「動詞」

quel mattino, ケル・マッティーノ adv. その朝は

「副詞句」

estremamente dolci. エストレマメンテ・ドルチ adj.m.pl(dolce) 非常に甘美な

「補語」

estremamente エストレマメンテ adv. 非常に、はなはだしく

そして彼の花に最後の水をかけてやり、ガラスの覆いをかけてやろうとしていた時、彼は今にも泣きだしたい自分の気持ちに気づいた。

E quando innaffiò per l'ultima volta il suo fióre, e si preparò a metterlo al riparo sotto la campana di vétro, scoprì che aveva una gran voglia di piangere.

E 「副詞節」, 「動詞」「目的語」

E エ conj. そして

quando クワンド conj. ～する時

「副詞節」

innaffiò インナフイオ 3 単遠(innaffiare = annaffiare)

v.t (植物に) 水をやった

「動詞」

per l'ultima volta ヘル・ルチマ・ウオルタ adv. (目的) 最後に

「副詞句」

il suo fióre, イル・スーオ・フィオーレ n.m 自分の花に

「目的語」

e エ conj. そして

si preparò a metterlo シ・プレパ・ロ・ア・メッテル・ロ 3 単遠・準備(prepararsi a+不定詞)

v.t 花を置こうとした

「動詞句」

al riparo アル・リパ・ロ adv. 避難所に

「副詞句」

IX

sotto la campana ソット・ラ・カンパニー adv. 鐘の下に 「副詞句」
 di vetro, デイ・ヴェットロ adj. (材料) ガラスの 「形容詞句」
 scopri スコプリ 3 単遠(scoprire)v.t 発見した、見出した 「動詞」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 aveva アヴェーヴァ 3 単半(avere)v.t 持っていた、あった 「動詞」
 una gran voglia ウナ・グラン・ヴォリア n.f 強い願望 「目的語」
 di piangere. デイ・ピアンジェレ adj. (同格) 泣くという 「形容詞句」

「さようなら」と、王子さまは花に向かって言った。

"Addìo", disse al fiore. 《「呼びかけ」》, 「動詞」 「副詞句」
 "Addìo", アッディオー int. さようなら 「呼びかけ」
 disse デイッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 al fiore. アル・フィオーレ adv. 花に向かって 「副詞句」

しかし、花は答えなかった。

Ma il fiore non rispose. Ma 「主語」 「動詞句」
 Ma マ conj. しかし
 il fiore イル・フィオーレ n.m 花は 「主語」
 non rispose. ノン・リスポーセ 3 単遠・否定(rispondere)v.i 答えなかった 「動詞句」

「さようなら」と、王子さまは繰り返した。

"Addìo", ripeté. 《「呼びかけ」》, 「動詞」
 "Addìo", アッディオー int. さようなら 「呼びかけ」
 ripeté. リペテ 3 単遠(ripetere)v.t 繰り返した 「動詞」

花は咳をした。しかし、風邪を引いたからではなかった。

Il fiore tossì. Ma no era perché fosse raffreddato.
 「主語」 「動詞」 | Ma 「動詞句」 「補語」
 Il fiore イル・フィオーレ n.m 花は 「主語」
 tossì. トッシ 3 単遠(tossire)v.i 咳をした 「動詞」
 Ma マ conj. しかし
 no era ノ・エラ 3 単半・否定(essere)v.i ～でなかった 「動詞句」
 perché ペルケ conj. ～だから 「補語」
 fosse raffreddato. フォッセ・ラッフレッドアート 接・3 単半・受動・推測(raffreddare)
 v.t 風邪を引いた 「動詞句」

IX

「わたしは、馬鹿でした」と、ついに花は言った。「ごめんなさい、幸せになってね」

"Sono stato uno sciocco", disse finalménte, "scusami, e cerca di essere felice".

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「副詞」, 《「動詞句」, e 「動詞句」「補語」》

"Sono stato ソノ・スタート 1 単現・完了形(èssere)v.i ~だった 「動詞句」

uno sciocco", ウノ・シヨッコ n.m ばか者 「補語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

finalménte, フィナルメンテ adv. ついに 「副詞」

"scusami, スカーザミ 命・2 単現(scusare+mi)v.t 私を許せ、ごめんなさい 「動詞句」

e エ conj. そして

cerca di essere チェルカ・ディ・エッセレ 命・2 単現・努力(cercare di+不定詞)

v.i ~になるように努力しなさい 「動詞句」

felice". フェリーチェ adj. 幸せ 「補語」

フランス語版では :

J'ai été sotte. あたくし、馬鹿だったわ。

sotte は sot の女性形なので、イタリア語では、una sciocca に相当する。

Je te demande pardon. Tâche d'être heureux. ごめんなさい、幸せになってね。

フランス語でも、親称を使って、花が王子様と親しくなりたかった心情を表現している。

王子さまは、花が自分を非難しないので驚いた。そのせいで、ガラスの覆いを空中に抱えたまま困惑していた。彼は、花の静かな優しさが理解できなかった。

Fu sorpreso dalla mancanza di rimproveri. Ne rimase sconcertato, con la campana di vetro per ària. Non capiva quella calma dolcezza.

「動詞句」「副詞句」 | 「副詞」「動詞」「補語」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」

Fu sorpreso フ・ソルプ・レーゾ 3 単遠・受動(sorprendere)v.t 驚いた 「動詞句」

dalla mancanza ダッラ・マンカンサ adv. (原因) 欠如のために 「副詞句」

di rimproveri. ディ・リンプ・ローヴェリ adj. 非難の 「形容詞句」

Ne ネ adv. (dalla mancanza を受けて) それによって 「副詞」

rimase リマセ 3 単遠(rimanere)v.i ~のままでいた 「動詞」

sconcertato, スコンチェルタート adj. 大いに当惑した 「補語」

con コン prep (所有) ~を持って 「副詞句」

la campana di vetro ラ・カンパ・ナ・ディ・ヴェートロ n.f ガラスの覆いを 「目的語」

per ària. ペル・アーリア adv. 空中に 「副詞句」

Non capiva ノン・カピ・ヴァ 3 単遠・否定(capire)v.t 理解しなかった 「動詞句」

quella calma dolcezza. ケッラ・カルマ・トルチェッサ n.f その静かな優しさを 「目的語」

IX

「でも、そうよ、わたしはあなたが好きよ」と、花は言った。「でも、私のせいであなたは
そのことを知らなかったわね」

"Ma sì, ti voglio bene", disse il fiore, "e tu non l'hai saputo per colpa mia.

《Ma 「応答」, 「目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」,
《e 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」》

"Ma マ conj. しかし

sì, シ adv. (肯定) そうです 「応答」

ti ティ pron あなたを 「目的語」

voglio bene", ヴォリオ・ベネ 1 単現(volére bene)v.t 愛している 「動詞句」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

il fiore, イル・フィオーレ n.m 花は 「主語」

"e エ conj. そして

tu トゥ pron あなたは 「主語」

non ...hai saputo ノン...アイ・サプート 2 単現・完了形・否定(sapére)v.t 知らなかった 「動詞句」

l' ロ pron そのことを 「目的語」

per colpa mia. ペル・コルパ・ミア adv. 私のせいで 「副詞句」

「そんなことはどうでもいい。でも、あなたも私と同じくらい馬鹿だったのよ。」

Questo non ha importanza, ma sei stato sciocco quanto me.

《「主語」「動詞句」「目的語」, ma 「動詞句」「補語」》

Questo ケスト pron このことは、そのことは 「主語」

non ha ノナ 3 単現・否定(avére)v.t ～がない 「動詞句」

importanza, インポルタンツァ n.f 重要性、意義 「目的語」

Si tratta di un problème senza importanza. それはどうでもいい問題だ。

ma マ conj. しかし

sei stato セイ・スタート 2 単現・完了形・状態(stare)v.i ～だった 「動詞句」

sciocco ショッコ adj. 愚かな、馬鹿な 「補語」

quanto me. クワント・メ adv. (同等比較) 私と同じくらい 「副詞句」

「幸せになってね。このガラスの覆いは捨てて頂戴。もうそんなものはいらないわ。」

Cerca di essere felice. Lascia questa campana di vetro, non la voglio più.

《「動詞句」「補語」 | 「動詞」「目的語」, 「動詞句」「目的語」「動詞句」》

Cerca di essere チェルカ・ディ・エッセレ 命・2 単現・努力(cercare di+不定詞)

v.i ～になりなさい 「動詞句」

felice. フェリーチェ adj. 幸せな 「補語」

Lascia ラッシャ 命・2 複現(lasciare)v.t 捨てなさい 「動詞」

IX

quésta campana ケスタ・カンパナ n.f この覆いを 「目的語」
 di vetro, デイ・ヴェートロ adj. (材料) ガラスの 「形容詞句」
 non ...voglio più. ノン...ヴォリオ・ピウ 1 単現・否定(volére+ più)v.t もういない 「動詞句」
 la ラ pron それは 「目的語」

「でも、風が...」

"Ma il vento..." 《Ma 「主語」》

"Ma マ conj. しかし

il vento..." イル・ヴェント n.m 風が 「主語」

「それほど風邪をひいているわけじゃないの。夜の涼しい風が私を元気にしてくれると思
 うわ。私は、花なんだから」

"Non sono così raffreddato. L'aria fresca della notte mi farà bene. Sono un fiore".

《「動詞句」「補語」 | 「主語」「目的語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」》

"Non sono ノン・ソーノ 1 単現・否定(essere)v.i ~でない 「動詞句」

così コシ adv. (否定文で) それほど~ない 「副詞」

raffreddato. ラッフレッダート adj. 風邪を引いた 「補語」

L'aria fresca ラーリア・フレスカ n.f 涼しい空気は 「主語」

della notte デッラ・ノッテ adj. 夜の 「形容詞句」

mi ミ pron 私を 「目的語」

farà ファー 3 単未(fare)v.t (状態を) 変えるでしょう、~にするでしょう 「動詞」

bene. ベーネ adv. 元気に 「補語」

Sono ソーノ 1 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

un fiore". ウン・フィオーレ n.m 花 「補語」

「でも、獣が...」

"Ma le bête..." 《Ma 「主語」 ...》

"Ma マ conj. しかし

le bête..." レ・ベステ pl.n.f(bestia) 獣が、動物 「主語」

「蝶々と知り合いになりたいければ、多少の毛虫は我慢しなければならないわ。蝶々って、そ
 れほど美しいから」

"Devo pur sopportare qualche bruco se voglio conoscere le farfalle, sembra che siano così
 belle." 《「動詞句」「目的語」「副詞節」, 「動詞」「主語」》

"Devo pur sopportare デボ・プール・ソッポルターレ 1 単現・義務(dovére+不定詞+puro)

v.t 我慢くらいはしなくちゃならない 「動詞句」

IX

qualche bruco クワルク・ブルコ n.m	いくつかの毛虫を	「目的語」
se セ conj.	もし～ならば	「副詞節」
voglio conoscere ヴェリオ・コノッシェ	1 単現・願望(volére+不定詞)	
v.t	知り合いになりたい	「動詞句」
le farfalle, レ・ファルファッレ pl.n.f	蝶々と	「目的語」
sembra センブラ	3 単現(sembrare)v.i	～に思われる
che ケ conj.	～ということは	「主語」
siano シアノ 接・3 複現(essere)v.i	～である	「動詞」
così belle. コシ・ベッレ adj.f.pl(bello)	とても美しい	「補語」

「もし蝶々でなければ、誰が私を訪ねてくるでしょう？あなたは遠くへ行ってしまうでしょう、でも私は大きな獣のことは怖くないわ。」

Se no chi verrà a farmi visita? Tu sarai lontano e delle grosse bête non ho paura.

《「副詞節」「主語」「動詞句」 「主語」「動詞」「副詞」 e 「副詞句」「動詞句」「目的語」》	
Se セ conj. もし～ならば	「副詞節」
no ノ adv. 違う（蝶々ではない）	「副詞」
chi キ pron 誰が	「主語」
verrà a farmi visita? ヴェラ・ア・ファルミ・ヴィジタ 3 単未・しに来る(venire a+不定詞)	
v.i 私を訪問しにくるだろう	「動詞句」
venire a+不定詞 ～しに来る fare una visita a qlcu. 人を訪ねる	
Tu トゥ pron あなたは	「主語」
sarai サライ 2 単未・移動(èssere)v.i ～に行くだろう	「動詞」
lontano ロンターノ adv. 遠くに	「副詞」
e エ conj. そして	
delle grosse bête デッレ・グロッセ・ベステ adv. 大きな獣については	「副詞句」
non ho ノ・ノ 1 単現・否定(avère)v.t ない	「動詞句」
paùra. パウラ n.f 恐れ、恐怖	「目的語」

「私には自分の爪があるから」

<u>Ho i miei artigli</u> ".	《「動詞」「目的語」》
Ho オ 1 単現(avére)v.t ～がある	「動詞」
i miei artigli". イ・ミエイ・アルティール pl.n.m(artiglio) 自分の爪、とげ	「目的語」

そう言って、無邪気にも、自分の4本の棘を見せた。

E <u>mostrava ingenuamente</u> le sue quattro spine.	E 「動詞」「副詞」「目的語」
E [⊥] conj. そして	

IX

mostrava モストラヴァ 3 単半(mostrare)v.t 見せた 「動詞」
 ingenuaménte インジュエヌマンテ adv. 無邪気に 「副詞」
 le sue quattro spine. レ・スエ・クワットロ・スピネ pl.n.f(spina) 彼女の 4 本の棘を 「目的語」

それから、話を続けた。

Pòi continuò: 「副詞」 「動詞」
 Pòi ポーイ adv. それから 「副詞」
 continuò: コンチヌオ 3 単遠(continuare)v.t 続けた 「動詞」

「こんな風に、ぐずぐずしないで！いらいらするわ！出発することに決めたのでしょうか？
 それならすぐに行ってしまいなさい」

"Non indugiare così, è irritante. Hai deciso di partire e allora vattene".

《「動詞句」「副詞」, 「動詞」「補語」 | 「動詞句」 e 「副詞」「動詞句」》

"Non indugiare ノン・イントゥギャレ 命・2 単現・否定 v.i ぐずぐずするな 「動詞句」
 così, コシ adv. こんな風に 「副詞」
 è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 irritante. イリタンテ adj. いらいらする 「補語」
 Hai deciso アイ・デチーソ 2 単現・完了形・確認(decidere)
 v.t(di+不定詞 ~すると) 決めた 「動詞句」
 di partire デイ・パルティレ 不定詞 v.i 出発する 「動詞句」
 e エ conj. それなら
 allora アッローラ adv. さあ、今すぐ 「副詞」
 vattene". ヴァ・ツテ・ネ 命・2 複現(andarsene)v.pr 行ってしまいなさい 「動詞句」

泣いているところを僕に見られたくなかったのだ。それほど誇り高い花だった...

Perché non voleva che io lo vedessi piangere. Era un fiore così orgoglioso...

Perché 「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「補語」

Perché ペルケ conj. ~だから
 non voleva ノン・ヴォレヴァ 3 単半・否定(volere)v.t 望まなかった 「動詞句」
 che ケ conj. ~ということ 「目的語」
 io イオ pron 僕が 「主語」
 lo ロ pron 彼女を 「目的語」
 vedessi ヴェデッシ 接・1 単半・知覚動詞・時制の一致・推量(vedere)
 v.t 見るかもしれない 「動詞」
 piangere. ピアングェレ 不定詞・lo の動作 v.i 泣く 「補語」
 Era エラ 3 単半(estar)v.i ~だった 「動詞」

X

un fióre ウン・フィオーレ n.m 花

「補語」

così orgoglioso... コシ・オルゴリオソ adj. かくも誇り高き

「形容詞句」

X

王子さまは小惑星 325, 326, 327, 328, 329 そして 330 の圏内にいた。

Il piccolo principe si trovava nella regione degli asteroidi 325, 326, 327, 328, 329 e 330.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

si trovava シ・トロヴァーヴァ 3 単半(trovarsi)v.pr (ある場所に) いた

「動詞句」

nella regione ネッラ・レジオーネ adv. 圏内に、区域に

「副詞句」

degli asteroidi 325, 326, 327, 328, 329 e 330. デッリ・アステロイデ・トレチェントウエンチンクエ・トレチェントウエンチセイ・トレチェントウエンチセッテ・トレチェントウエントット・トレチェントウエンチノーヴェ・エ・トレチェントトレタ

adj. 小惑星 325, 326, 327, 328, 329 そして 330 の

「形容詞句」

仕事を探して、自分で勉強するために、それらの惑星への訪問を開始した。

Cominciò a visitarli per cercare un'occupazione e per istruirsi.

「動詞句」「副詞句」

Cominciò a visitarli コミンチョ・ア・ウエンタルリ 3 単遠・開始(cominciare a+不定詞)

v.t それらへの訪問を開始した

「動詞句」

per cercare ヘル・チェルカーレ adv. (目的) 探すために

「副詞句」

un'occupazione ウノカッチオーネ n.d 仕事を

「目的語」

e エ conj. そして

per istruirsi. ヘル・イストルイシ adv. (目的) 自ら学ぶために

「副詞句」

最初の惑星には、1 人の王様が住んでいた。

Il primo asteroide era abitato da un re.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Il primo asteroide イル・プリモ・アステロイデ n.m 最初の惑星は

「主語」

era abitato エラ・アビタート 3 単半・受動(abitare)v.t 住まれていた

「動詞句」

da un re. ダ・ウン・レ adv. (動作主) 1 人の王様によって

「副詞句」

その王様は、真紅の服と白貂毛皮を着て、とても簡素だが威厳のある玉座に腰かけていた。

Il re, vestito di porpora e d'ermellino, sedeva su un trono molto semplice e nello stesso tempo maestoso.

「主語」, 「副詞句」, 「動詞」「副詞句」

Il re, イル・レ n.m その王様は

「主語」

vestito ヴェスチート 過去分詞・様態(vestire)v.t ~を着て

「副詞句」

di porpora ディ・ポールボラ n.f 真紅の服を

「目的語」

X

e エ conj. そして

d'ermellino, デルメリノ n.m 白貂（シロテン）の毛皮を

「目的語」

sedeva セデーヴァ 3 単半(sedére)v.i 座っていた

「動詞」

su un trône ス・ウン・トロノ adv. 玉座の上に

「副詞句」

molto semplice モルト・センプロチェ adj. とても簡素な

「形容詞句」

e エ conj. そして

nello stesso tempo ネッロ・ステッソ・テンポ adv. 同時に

「副詞句」

maestoso. マエストソ adj. 威厳に満ちた

「形容詞」

「ああ！家来がやってくるぞ」と、王様は王子様を見るとすぐに大声で言った。

"Ah! ecco un suddito", esclamò il re appena vide il piccolo principe.

《「感嘆」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」「副詞節」

"Ah! アー int. ああ

「感嘆」

ecco エッコ adv. (人や物が到着した時) やって来た

「動詞」

un suddito, ウン・スデイト n.m 家臣が、家来が

「主語」

esclamò エスクラモ 3 単遠(esclamare)v.i 大声で言った、叫んだ

「動詞」

il re イル・レ n.m 王様は

「主語」

appena アッペーナ conj. ～するとすぐに

「副詞節」

vide ヴァイテ 3 単遠(vedere)v.t 見た

「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子様を

「目的語」

すると、王子さまは疑問に思った：

E il piccolo principe si domandò:

E 「主語」「動詞句」

E エ conj. そして

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子様は

「主語」

si domandò: シト・マント 3 単遠(domandarsi)v.pr 自問した、疑問に思った

「動詞句」

「一度も僕に会ったことがないのに、どうして僕が分かったのだろうか？」

"Come può riconoscermi se non mi ha mai visto?"

《「副詞」「動詞句」「副詞節」》

"Come コーメ adv. どうして、どうやって

「副詞」

può riconoscermi プォ・ロコノシエル・ミ 3 単現・可能(potére+不定詞 riconoscermi+mi)

v.t 僕を識別できる

「動詞句」

se セ conj. (理由) ～なのに

「副詞節」

non ...ha mai visto?" ノン...ア・マイ・ヴァイスト 3 単現・完了形・否定(vedere)

v.t 一度もあつたことがない

「動詞句」

X

mi ミ pron 僕に

「目的語」

王さまたちにとって、世の中がとても単純であることを彼は知らなかった。すべての人間が
家来なのだ！

Non sapeva che per i re il mondo è molto semplificato. Tutti gli uomini sono dei sudditi.

「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」

Non sapeva ノン・サペ・ヴァ 3 単半・否定(sapere)v.t 知らなかった

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

per i re ペル・イレ adv. (利害) 王たちにとって

「副詞句」

re レ n.m ([複]re : 無変) 王、国王

il mondo イル・モント n.m 世界は、世の中

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

molto semplificato. モルト・センプリフィカート adj. とても単純な

「補語」

Tutti トウッティ adj.pl(tutto) すべての

「形容詞」

gli uomini リ・ウオーニ pl.n.m(uòmo) 人間は

「主語」

sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ～である

「動詞」

dei sudditi. デイ・スッディティ pl.n.m(suddito) 家臣、家来

「補語」

「もっとよく見えるように、近くに来なさい」と、誰かに対してついに王様になって誇り高
くなった王様は彼に言った。

"Avvicinati che ti veda meglio", gli disse il re che era molto fièro di essere finalménte re
per qualcuno.

《「動詞句」「副詞節」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」

"Avvicinati アヴヴィチナチ 命・2 複現(avvicinarsi)v.pr 近くに来なさい

「動詞句」

che ケ conj. (原因・目的) ～するように

「副詞節」

ti チ pron 君を

「目的語」

veda ヴェダ 接・1 単現(vedere)v.t 見える

「動詞」

meglio", メリオ adv. よりよく

「副詞」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

disse デイスセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il re イル・レ n.m 王様は

「主語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

era エラ 3 単半・変化(essere)v.i ～になった

「動詞」

molto fièro モルト・フィエロ adj. とても自慢する

「補語」

di +不定詞 ディ 不定詞・原因 adv. ～して

「副詞句」

essere エッセレ 不定詞・変化 v.i ～になる

「動詞」

finalménte ファナルメンテ adv. ついに、やっと

「副詞」

X

re レ n.m 王様

「補語」

per qualcuno. ヘル・クワルクノ

adv. 誰かに対して

「副詞句」



王子さまは目で座れる場所を探してみたが、この星全体が白貂の見事なマントで敷き詰められていた。

Il piccolo principe cercò con gli occhi d'ove potersi sedere, ma il pianeta era tutto occupato dal magnifico manto di ermellino.

「主語」「動詞」「副詞句」「間接目的語」,ma「主語」「動詞」「補語」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチヘ n.m 王子さまは

「主語」

cercò チェルコ 3 単遠(cercare)v.t 探した

「動詞」

X

con gli occhi コン・リ・オッキ adv.(occhio) 両目で 「副詞句」
 d'ove potersi sedere, トーヴェ・ポテルシ・セデーレ adv. 座れる場所を 「間接目的語」
 ma マ conj. しかし
 il pianéta イル・ピ・アネータ n.m この星は 「主語」
 era エラ 3 単半(estar)v.i 〜だった 「動詞」
 tutto occupato トゥット・オックパート adj. まったく占領された 「補語」
 dal magnifico manto ダル・マニフィコ・マント adv. (動作主) 見事なマントで 「副詞句」
 di ermellino. ディ・エルメリーノ adj. (材料) 白貂(シロテン) の 「形容詞句」

王子さまは立っているしかなかったが、とても疲れていたのであくびをってしまった。

Dovette rimanere in piedi, ma era tanto stanco che sbadigliò.

「動詞句」「副詞句」,ma 「動詞」「補語」「副詞節」

Dovette rimanere トーヴェット・リマネレ 3 単遠・必要(dovére+不定詞)

v.i 〜のままでいなければならなかった 「動詞句」
 in piedi, イン・ピエティ adv. 立って、直立して 「副詞句」
 ma マ conj. しかし
 era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった 「動詞」
 tanto stanco タント・スタコ adj. 非常に疲れた 「補語」
 che ケ conj. (tanto...che〜 あまり〜なので)...する 「副詞節」
 sbadigliò. スバディリオ 3 単遠(sbadigliare)v.i あくびした 「動詞」

「王の面前であくびをすることはエチケットに反する！」と、その君主は彼に言った。「君にあくびを禁ずる」

"È contro all'etichetta sbadigliare alla presenza di un re", gli disse il monarca, "te lo proibisco".

《「動詞」「補語」「主語」》,「間接目的語」「動詞」「主語」,

《「間接目的語」「直接目的語」「動詞」》

"È エ 3 単現(essere)v.i 〜である 「動詞」
 contro all'etichetta コントロ・アルチケッタ adj. エチケットに反した 「補語」
 sbadigliare スバディリヤレ 不定詞 n. あくびをすることは 「主語」
 alla presenza di un re", アッ・プレゼンツァ・ディ・ウン・レ adv. 王の面前で 「副詞句」
 gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 il monarca, イル・モナルカ n.m 君主は 「主語」
 "te テ pron 君に 「間接目的語」
 lo ロ pron それを、あくびを 「直接目的語」
 proibisco". プロイビスコ 1 単現(proibire)v.t 禁ずる 「動詞」

X

「あくびをせずにいられないのです」と、王子さまはひどくうろたえて答えた。「長旅をしてきて、眠れなかったのです」

"Non posso farne a meno", rispose tutto confuso il piccolo principe. "Ho fatto un lungo viaggio e non ho dormito..."

《「動詞句」》, 「動詞」「副詞句」「主語」, 《「主語」「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」》

"Non posso farne a meno", ノン・ポッソ・ファル・ネ・ア・メノ 1 単現・可能・否定(potére+不定詞)

v.t あくびを我慢できない 「動詞句」

fare a meno di... 「... なしですます、しないままにいる」 ne は di sbadiglio

rispose リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた 「動詞」

tutto confuso トゥット・コンフーゾ adj. (副詞的) ひどくうろたえて 「副詞句」

confuso コンフーゾ adj. 混乱した、当惑した、まごついた

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

"Ho fatto オ・ファット 1 単現・完了形(faire)v.t (行動を) して来た 「動詞句」

un lungo viaggio ウン・ルンゴ・ヴァイアッジョ n.m 長旅を 「目的語」

e エ conj. そして

non ho dormito... ノン・ノ・ドルミート 1 単現・完了形・否定(dormire)v.i 眠れなかった 「動詞句」

「それでは」と、王様は彼に言った。「君にあくびをするように命ずる。誰かがあくびをするのを見なくなってから何年にもなる。あくびはわしにとっては興味深い見物じゃ。さあ！もう一度あくびをなさい！これは命令じゃ」

"Allóra", gli disse il re, "ti ordino di sbadigliare. Sono anni che non vedo qualcuno che sbadiglia, e gli sbadigli sono una curiosità per me. Avanti! Sbadiglia ancora. È un ordine".

《「副詞」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」,

《「目的語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」「副詞節」, e 「主語」「動詞」「補語」

「催促」 | 「動詞」「副詞」 | 「動詞」「補語」》

"Allóra", アッローラ adv. それならば 「副詞」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

il re, イル・レ n.m 王様は 「主語」

"ti チ pron 君に 「目的語」

ordino オルディノ 1 単現(ordinare)v.t 命ずる 「動詞」

di sbadigliare. ディ・ズバディグィャレ 不定詞・ti の動作 v.i あくびをする 「補語」

Sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ~である 「動詞」

anni アンニ pl.n.m 何年間 「補語」

che ケ conj. (時間) ~して以来 「副詞節」

X

non vedo ノン・ヴェド 1 単現・否定(vedere)v.t	見ない	「動詞句」
qualcuno クワルクノ pron	誰かを	「目的語」
che sbadiglia, ケ・ズバディリア adj.	あくびをしている	「形容詞節」
e エ conj.	そして	
gli sbadigli リ・ズバディリ pl.n.m(sbadiglio)	あくびは	「主語」
sono ソーノ 3 複現(essere)v.i	〜である	「動詞」
una curiosità ウナ・クリオシタ n.f	珍しいもの、見もの	「補語」
per me. ペル・ミ adv.	わしにとって	「副詞句」
Avanti! アヴァンティ adv.	進め!、さあ!	「催促」
Sbadiglia スバディリア 命・2 単現(sbadigliare)v.i	あくびをしない	「動詞」
ancóra. アンコーラ adv.	もう一度	「副詞」
È エ 3 単現(essere)v.i	〜である	「動詞」
un ordine". ウン・オルディネ n.m	命令	「補語」

「あなたが怯えさせるから... もう出来ませんよ」と、顔を赤らめて、王子さまは言った。

"Mi avete intimidito... non posso più", disse il piccolo principe arrossendo.

《「目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞」

"Mi ミ pron	僕を	「目的語」
avete intimidito...	アヴェーテ・インチディート 2 複現・完了形(intimidire)v.t	怯えさせた 「動詞句」
non posso più", ノン・ポッツ・ピウ 1 単現・可能・否定(potere)v.i	もう出来ない	「動詞句」
disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t	言った	「動詞」
il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m	王子さまは	「主語」
arrossendo. アロッセント ジェルンディオ・同時(arrossire)adv.	顔を赤らめて	「副詞」

「えへん、えへん」と、王様は答えた。「それでは、君に命じる。少しあくびをし、少し...」

"Hum! hum!" rispose il re. "Allóra io... io ti ordino di sbadigliare un po' e un po'..."

《「間投」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」「補語」》

"Hum! hum!" フム・フム int.	えへん、えへん	「間投」
hem ヘム 擬音	えへん	
rispose リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.i	返事した	「動詞」
il re. イル・レ n.m	王様は	「主語」
"Allóra アッローラ adv.	それでは	「副詞」
io... io イーオー・イーオー pron	わしは	「主語」
ti ティ pron	君に	「間接目的語」
ordino オルディノ 1 単現(ordinare)v.t	命ずる	「動詞」
di sbadigliare ディ・ズバディリヤーレ 不定詞・ti の動作 v.i	あくびをする	「補語」

X

un po' ウン・ポ° adv. 少し

「副詞句」

e エ conj. そして

un po'..." ウン・ポ° adv. 少し...

「副詞句」

彼は何かをつぶやいたが、困っているようだった。なぜなら、自分の権威が尊重されることに絶対的に執着していたから。従わなければ、容赦しなかった。王様は絶対君主だった。

Borbottò qualche cosa e sembrò seccato. Perché il re teneva assolutamente a che la sua autorità fosse rispettata. Non tollerava la disubbidienza. Era un monarca assoluto.

「動詞」「目的語」 e 「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「副詞」「間接目的語」

「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「補語」

Borbottò ボルボット 3 単遠(borbottare)v.t (聞き取れぬように) つぶやいた

「動詞」

qualche cosa クワルク・コサ n.f 何か、少し

「目的語」

e エ conj. そして

sembrò センブロ 3 単遠(sembrare)v.i ~のように見えた

「動詞」

seccato. セッカト adj. 困っている

「補語」

Perché ペルク conj. なぜなら~だから、~なので

il re イル・レ n.m 王様は

「主語」

teneva テネヴァ 3 単半・習慣(tenere)v.i(a に) 執着していた

「動詞」

assolutamente アツルクメンテ adv. 絶対的に、何としても

「副詞」

a che ア・ケ conj. ~ということに

「間接目的語」

la sua autorità ラ・スア・アウトリタ n.f 自分の権威が

「主語」

fosse rispettata. フォッセ・リスパッタータ 接・3 単半・受動.f(rispettare)

v.t 尊重されるだろう

「動詞句」

Non tollerava ノン・トルレーヴァ 3 単半・習慣・否定(tollerare)v.t 容認しなかった

「動詞句」

la disubbidienza. ラ・ディズビデエンツァ n.f 逆らうことを、不従順を

「目的語」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

un monarca ウン・モナルカ n.m 君主

「補語」

assoluto. アツルット adj. 絶対的な

「形容詞」

しかし、とてもお人よしだったので、理性的な命令を下していた。

Ma siccome era molto buono, dava degli ordini ragionevoli.

Ma 「副詞節」, 「動詞」「目的語」

Ma マ conj. しかし

siccome シッコーメ conj. ~なので、~だから

「副詞節」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

molto buono, モルト・ブオーノ adj. とても親切な、お人よしの

「補語」

X

dava タヴァ 3 単半(dare)v.t 与えていた 「動詞」
 degli ordini デリ・オルディニ pl.n.m(ordine) 命令を 「目的語」
 ragionevoli. ラジォネヴェオリ adj.pl(ragionevole) 理性的な 「形容詞」

「もしわしが命令したら」と、王様はいつも言っていた。「もしわしがある将軍に海鳥に変身するように命じて、もしその将軍が従わなかったとすると、それはその将軍の過ちではないだろう。それはわし自身の過ちだろう」

"Se ordinassi", diceva abitualmente, "se ordinassi a un generale di trasformarsi in un uccello marino, e se il generale non ubbidisse, non sarebbe colpa del generale. Sarebbe colpa mia""

《「副詞節」》, 「動詞」 「副詞」,

《「副詞節」 e 「副詞節」, 「動詞句」 「補語」 | 「動詞」 「補語」》

"Se se conj. もし～するならば 「副詞節」

ordinassi, オルディナッシ 接・1 単半・假定(ordinare)v.t 命令した 「動詞」

diceva ディチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言っていた 「動詞」

abitualmente, アビトゥアルメンテ adv.(< abituale) いつも 「副詞」

"se se conj. もし～するならば 「副詞節」

ordinassi オルディナッシ 接・1 単半・假定(ordinare)v.t 命令した 「動詞」

a un generale ア・ウン・ジェネラーレ adv. ある将軍に 「間接目的語」

di trasformarsi ディ・トラスフォルマルシ 不定詞・generale の動作 v.pr 変身する 「補語」

in un uccello marino, イン・ウン・ウチェロ・マリーノ adv. 海鳥に 「間接目的語」

e e conj. そして

se se conj. もし～するならば 「副詞節」

il generale イル・ジェネラーレ n.m その将軍が 「主語」

non ubbidisse, ノン・ウビディッセ 接・3 単半・否定・假定(ubbidire)

v.i 従わなかった 「動詞句」

non sarebbe ノン・サレハ 条・3 単現・推量(essere)v.i ～でないだろう 「動詞句」

colpa コルパ n.f 過ち 「補語」

del generale. デル・ジェネラーレ adj. 将軍の 「形容詞句」

Sarebbe サレハ 条・1 単現・推量(essere)v.i ～だろう 「動詞」

colpa mia"" コルパ・ミア n.f わしの過ち 「補語」

「座ってもいいのでしょうか？」と、王子さまはおずおずと訊いた。

"Posso sedermi?" s'informò timidamente il piccolo principe.

《「動詞句」》, 「動詞句」 「副詞」 「主語」

"Posso sedermi?" ポッソ・セデルミ 1 単現・許可・疑問文(potére+不定詞 sedersi)

v.pr 座ってもいいのでしょうか? 「動詞句」

X

s'informò シンフォルモ 3 単遠(informarsi)v.pr 問い合わせた 「動詞句」
timidamente チミダメンテ adv. おずおずと 「副詞」
il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

「座るように命じる」と、王様は彼に答えてから、白貂のマントの裾を厳かに引き寄せた。

"Ti ordino di sederti", gli rispose il re che ritirò maestrosamente una falda del suo mantello di ermellino.

《「目的語」「動詞」「補語」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」, che 「動詞」「副詞」「目的語」
"Ti チ pron 君に 「目的語」
ordino オルディノ 1 単現(ordinare)v.t(SVO di+不定詞) O に～することを命じる 「動詞」
di sederti", ティ・セデル・チ 不定詞・ti の動作(sedersi)v.pr 座る 「補語」
gli リ pron 彼に 「間接目的語」
rispose リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた 「動詞」
il re イル・レ n.m 王様は 「主語」
che ケ pron (主語) (継続) そして～する
ritirò リチロ 3 単遠(ritirare)v.t 引き戻した 「動詞」
maestrosamente マエストザメンテ adv. いかめしく 「副詞」
una falda ウナ・ファルダ n.f (男性用上着の) 裾を、垂襷 (たれひだ) 「目的語」
del suo mantello デル・スー・マンテロ adj. マントの 「形容詞句」
di ermellino. ティ・エルメルノ adj. (材料) 白貂の 「形容詞句」

王子さまはとても驚いた。その惑星は非常に小さかったのだ。それでは、王様は何に対して支配できているのだろうか？

Il piccolo principe era molto stupito. Il pianéta era piccolissimo e allora su che cosa il re poteva regnare? 「主語」「動詞」「補語」

「主語」「動詞」「補語」 e 「副詞」「間接目的語」「主語」「動詞句」
Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」
molto stupito. モルト・ストゥピト adj. とても驚いた 「補語」
Il pianéta イル・ピ・アネータ n.m その惑星は 「主語」
era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」
piccolissimo ピッコリッシモ adj.(piccolo) (絶対最上級) 非常に小さい 「補語」
e エ conj. そして
allóra アッローラ adv. それでは 「副詞」
su che cosa ス・ケ・コサ adv. 何に対して 「間接目的語」
il re イル・レ n.m 王様は 「主語」

X

poteva regnare? ホ テーヴァ ア・レニャーレ 3 単半・可能・時制の一致(potére+不定詞 regnare)

vi 支配できている

「動詞句」

「陛下」と、王子さまは言った。「質問することを、お許してください...」

"Sire", gli disse, "scusatemi se vi interrogo..."

《「呼びかけ」, 「間接目的語」 「動詞」, 《「動詞句」 「副詞句」》

"Sire", シーレ n.m 陛下

「呼びかけ」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

disse, ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

"scusatemi スクザーテ・ミ 命・2 複現・敬称(scusare)v.t 許してください

「動詞句」

se セ conj. もし～ならば

「副詞節」

vi ビ pron.pl (二人称複数敬称) あなたに

「間接目的語」

interrogo..." インテロゴ 1 単現(interrogare)v.t 質問する

「動詞」

vi 二人称複数代名詞

「陛下」などに対応する代名詞として、vi は二人称単数の敬称として用いられる

「君に、わしに質問するように命じる」と、王様は急いで返事をした。

"Ti ordino di interrogarmi", si affrettò a rispondere il re.

《「目的語」 「動詞」 「補語」》, 「動詞句」 「主語」

"Ti チ pron 君に

「目的語」

ordino オルディノ 1 単現(ordinare)v.t 命ずる

「動詞」

di interrogarmi", ディ・インテロガール・ミ 不定詞・ti の動作 v.t わしに質問する

「補語」

si affrettò a rispondere シ・アッフレット・ア・リスポンテレ 3 単遠・急ぎ(affrettarsi a+不定詞)

v.pr 急いで返事をした

「動詞句」

il re. イル・レ n.m 王様は

「主語」

「陛下、何を支配されているのですか？」

"Sire, su che cosa regnate?"

《「呼びかけ」 「間接目的語」 「動詞」》

"Sire", シーレ n.m 陛下

「呼びかけ」

su che cosa ス・ケ・コサ adv. 何に対して

「間接目的語」

regnate?" レニャーテ 2 複現・敬称(regnare)v.i 支配されていますか？

「動詞」

「すべてじゃ」と、王様はまったく簡潔に答えた。

"Su tutto", rispose il re con grande semplicità.

《「応答」》, 「動詞」 「主語」 「副詞句」

"Su tutto", ストゥット adv. すべてを

「応答」

rispose リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた

「動詞」

vi 二人称複数代名詞

X

il re イル・レ n.m 王様は 「主語」
 con grande semplicità. コン・グランド・センプ リタ adv. 非常に簡潔に 「副詞句」
 semplicità センプ リタ n.f 簡潔、簡単さ、飾り気のなさ

「すべてを？」

"Su tutto?" «「感嘆」
 "Su tutto?" ス・トゥット adv. すべてを 「感嘆」

王様は、控えめな身振りで、自分の惑星とその他の惑星と星たちを指さした。

Il re con un gèsto discrèto indicò il suo pianéta. gli altri pianéti e le stéle.
 「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」
 Il re イル・レ n.m 王様は 「主語」
 con un gèsto コン・ウン・ジエスト adv. 身振りで 「副詞句」
 discrèto ディスクレト adj. 控えめな 「形容詞」
 indicò インディコ 3 単遠(indicare)v.t 指さした 「動詞」
 il suo pianéta, イル・スオ・ピ・アネータ n.m 自分の惑星を 「目的語」
 gli altri pianéti, リ・アルトリ・ピ・アネーティ pl.n.m 他の惑星を 「目的語」
 e エ conj. そして
 le stéle. レ・ステッレ pl.n.f(stélla) 星たちを 「目的語」

「あれらをすべて？」と、王子さまは尋ねた。

"Su tutto quésto?" domandò il piccolo principe. «「質問」, 「動詞」「主語」
 "Su tutto quésto?" ス・トゥット・クエスト pron あれらをすべて？ 「質問」
 domandò ドマント 3 単遠(domandare)v.t 尋ねた 「動詞」
 il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

「あれらをすべてじゃ」と、王様は答えた。

"Su tutto quésto..." rispose il re. «「応答」, 「動詞」「主語」
 "Su tutto quésto..." ス・トゥット・クエスト pron あれらをすべてじゃ 「応答」
 rispose リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.t 答えた 「動詞」
 il re. イル・レ n.m 王様は 「主語」

というのは、王様は絶対君主だっただけではなく、宇宙の君主でもあったのだ。

Perché non era solaménte un monarca assoluto, ma era un monarca universale.
 Perché 「動詞句」「補語」, ma 「動詞」「補語」
 Perché ペルケ conj. というのは～だから

X

non era ノン・エラ 3 単半・否定(èssere)v.i	～でなかった	「動詞句」
solamente ソラメンテ adv.	～だけ	「副詞」
un monarca assoluto, ウン・モナルカ・アッソルト n.m	絶対君主	「補語」
ma マ conj.	しかし	
era エラ (èssere)v.i	～だった	「動詞」
un monarca universale, ウン・モナルカ・ウニヴァーサル n.m	宇宙の君主	「補語」

「それで、星たちはあなたに従っているのですか？」

"E <u>le stéll</u> e <u>vi ubbidisco</u> no?"	《E 「主語」「間接目的語」「動詞」》
"E エ conj. そして	
le stéll レ・ステッレ pl.n.f 星たちは	「主語」
vi ヴィ pron (二人称単数敬称) あなたに	「間接目的語」
ubbidisco?" ウビディスコノ 3 複現(ubbidire)v.i 従っている	「動詞」

「もちろん」と、王様は言った。「すぐにわしに従う。わしは規律違反を許さない」

" <u>Certaménte</u> ", <u>gli disse il re</u> . " <u>Mi ubbidiscono immediataménte</u> . <u>Non tollero l'indisciplina</u> ".	《「応答」, 「間接目的語」「動詞」「主語」, 《「間接目的語」「動詞」「副詞」 「動詞句」「目的語」》
"Certaménte", チェルタメンテ adv. もちろん	「応答」
gli リ pron 彼に	「間接目的語」
disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った	「動詞」
il re. イル・レ n.m 王様は	「主語」
"Mi ミ pron わしに	「間接目的語」
ubbidiscono ウビディスコノ 3 複現(ubbidire)v.i 従う	「動詞」
immediataménte. インメディアタメンテ adv. すぐに	「副詞」
Non tollero ノン・トルロ 1 単現・否定(tollerare)v.t 許さない、容認しない	「動詞句」
l'indisciplina". リンディシプリナ n.f 無規律を、風紀の乱れを	「目的語」

それほどの権力に、王子さまは驚きました。

<u>Un tale potére meravigliò il piccolo principe.</u>	「主語」「動詞」「目的語」
Un tale potére ウン・タレ・ポ テレ n.m それほどの権力は	「主語」
無生物主語は工夫して翻訳する	
meravigliò メラヴ ィリオ 3 単遠(meravigliare)v.t 驚かした	「動詞」
il piccolo principe. イル・ピ ッコロ・プ リンチヘ n.m 王子様を	「目的語」

X

もしも王子様自身が、そんな権力を持っていたら、1日のうちに、43回どころか72回、いや100回でも200回でも、まったく椅子を動かす必要もなく、立ち会えただろうに！

Se l'avesse avuto lui, avrebbe potuto assistere non a quarantatre', ma a settantadue, o anche a cento, a duecento tramónti nella stéssa giórната, senza dover spostare mai la sua sèdia!

「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」 「副詞句」

Se セ conj. もし～ならば

「副詞節」

l' ロ pron その権力を

「目的語」

avesse avuto アヴ'ェッセ・アヴ'ート 接・3単半・完了形・假定(avére)

v.t 持っていた

「動詞句」

lui, ルー pron 彼が(王子様が)

「主語」

avrebbe potuto assistere アヴ'レッパ'・ポ トゥート・アシステレ 条・3単現・完了形・可能・推測

(potére+不定詞)v.i 立ち会えただろう

「動詞句」

non a quarantatre', ノ・ナ・クワンタトレ adv. (non...ma...o...) 43回どころか

「副詞句」

ma マ conj. そうではなく

a settantadue, ア・セタンタトゥエ adv. 72回

「副詞句」

o オ conj. または

anche a cento, a duecento アンケ・ア・チェント・ア・トゥエチエント adv. 100回か200回までも

「副詞句」

tramónti トラモンティ pl.n.m 日の入りを

「目的語」

nella stéssa giórната, ネッラ・ステッサ・ジ'オルナータ adv. 1日のうちに

「副詞句」

sènza+不定詞 センツァ adv. ～しないで

「副詞句」

dover spostare トゥヴェル・スポ スターレ 不定詞 v.t 動かさなければならない

「動詞句」

mai マーイ adv. 決して～ない

「副詞」

la sua sèdia! ラ・スー・セーディァ n.f 自分の椅子を

「目的語」

そして、見放してきた自分の小さい惑星のことを考えると、少し悲しい気分になったので、思い切って王様に手助けをお願いした。

E sentendosi un po' triste al pensiero del suo piccolo pianéta abbandonato, si azzardò a sollecitare una gràzia dal re:

E 「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」

E エ conj. そして

sentendosi センテント'シ ジェルンディオ(sentirsi)adv. (様態) ～の気分になって

「副詞句」

un po' triste ウン・ポ'・トリステ adj. 少し悲しい

「補語」

al pensiero アル・ペ'ンシエロ adv. (対応) 考えに対して

「副詞句」

del suo piccolo pianéta デル・スー・ピ'ッコロ・ピ'アネータ

adv. 自分の小さな惑星の

「形容詞句」

abbandonato, アバン'Dナート 過去分詞(abbandonare)

adj. 見放してきた

「形容詞」

X

si azzardò シ・アザールト 3 単遠(azzardarsi)v.pr(a+不定詞) 思い切って～した 「動詞句」
 a sollecitare ア・ソルチターレ 不定詞 v.t 強く要求する 「動詞句」
 una grazia ウナ・グラチア n.f 厚情を、親切を 「目的語」
 dal re: ダル・レ adv. 王様の 「副詞句」

「ぜひ日の入りが見たいのです... 僕を喜ばせてください... 太陽に沈めと命じてください」

"Vorrei tanto vedere un tramonto... Fatemi questo piacere... Ordinate al sole di tramontare..."

《「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「間接目的語」「補語」》

"Vorrei tanto vedere ヴォレイ・タント・ヴェーレ 条・1 単現(volére+不定詞+tanto)

v.t とても見たいのですが 「動詞句」
 un tramonto... ウン・トラモン ト n.m 日の入りを 「目的語」
 Fatemi ファーテ・ミ 命・2 複現・敬称(fare+mi)v.t 僕に引き起こしてください 「動詞句」
 questo piacere... クェスト・ピャチェレ n.m この喜びを 「目的語」
 Ordinate オルディナーテ 命・2 複現・敬称(ordinare)v.t 命じてください 「動詞」
 al sole アル・ソーレ adv. 太陽に 「間接目的語」
 di tramontare... デイ・トラモンターレ 不定詞・sole の動作 v.i 沈む 「補語」

「もしわしが将軍に、蝶のように花から花へ飛べと命じたり、悲劇を書けと命じたり、海鳥に変身せよと命じたとして、もしもその将軍が命令に従わなかったとすると、誰が間違っているのだろう？その将軍か？それともこのわしか？」

"Se ordinassi a un generale di volare da un fiore all'altro come una farfalla, o di scrivere una tragedia, o di trasformarsi in un uccello marino; e se il generale non eseguisse l'ordine ricevuto, chi avrebbe torto, lui o io?"

《「副詞節」；e「副詞節」,「主語」「動詞」「目的語」,「問いかけ」》

"Se セ conj. もし～ならば 「副詞節」
 ordinassi オルディナッシ 接・1 単半・假定(ordinare)v.t 命じた 「動詞」
 a un generale ア・ウン・ジネラーレ adv. 将軍に 「間接目的語」
 di volare デイ・ヴォラーレ 不定詞・generale の動作 v.i 飛ぶ 「補語」
 da un fiore all'altro ダ・ウン・フィオーレ・アッラルトロ adv. 花から花へ 「副詞句」
 come una farfalla, コ・メ・ウナ・ファルファッラ adv. 蝶のように 「副詞句」
 o オ conj. または
 di scrivere デイ・スクリーヴァレ 不定詞・generale の動作 v.t 書く 「補語」
 una tragedia, ウナ・トラジエーテア n.f 悲劇を 「目的語」
 o オ conj. または
 di trasformarsi デイ・トラスフォルマルシ 不定詞・generale の動作 v.pr 変身する 「補語」

X

in un uccello marino; イン・ウン・ウッチェロ・マリノ	adv. 海鳥に	「間接目的語」
e エ conj.	そして	
se セ conj.	もし～ならば	「副詞節」
il generale イル・ジェネラーレ	n.m その将軍が	「主語」
non eSeguisse ノン・エセグイッセ	接・3 単半・否定・仮定(eSeguire)	
v.t	従わなかった	「動詞句」
l'ordine ロールディネ	n.m その命令に	「目的語」
ricevuto, リチェウート	adj. 受けた	「形容詞」
chi キ pron	誰が	「主語」
avrebbe アヴレッヘ	条・3 単現・推量(avére)v.t	「動詞」
tòrto, トルト	n.m 間違い	「目的語」
lui o io?" ルー・オイ・イオ	adv. 彼か、それともわしか?	「問いかけ」

「陛下でしょうね」と、王子さまは毅然として答えた。

"L'avreste voi", disse con fermézza il piccolo principe.

《「目的語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「副詞句」「主語」

"L' ロ pron	(lo は母音の前では l'になる) (tòrto の代用) それを	「目的語」
avreste アヴエステ	条・2 複現・丁寧(avére)v.t 持っているだろう	「動詞」
voi", ヴォーイ pron	(二人称単数敬称として) あなたが	「主語」
disse ディッセ	3 単遠(dire)v.t 言った	「動詞」
con fermézza コン・フェルメツァ	adv. 毅然として	「副詞句」
il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ	n.m 王子さまは	「主語」

「その通り！誰でも、自分自身ができることを要請しなければならない」と、王様は続けた。

"Esatto. Bisogna esigere da ciascuno quéllo che ciascuno può dare", continuò il re.

《「応答」 | 「動詞句」「副詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」

"Esatto. エザット	adv. (返事) その通り	「応答」
Bisogna +不定詞 ビゾーニャ	非人称・3 単現(bisognare)v.h(+不定詞)	
v.	～しなければならない	「動詞句」
esigere エジージェ	不定詞 v.t 要請する	「動詞句」
da ciascuno ダ・チャスクーノ	adv. 各自が	「副詞句」
quéllo クエッロ pron	その事を	「目的語」
che ケ pron	(目的語) ～する	「形容詞節」
ciascuno チャスクーノ pron	各自が	「主語」
può dare", プォ・ダーレ	3 単現・可能(potére+不定詞 dare)	
v.t	(動作を) できる	「動詞句」

X

continuò コンチヌア 3 単遠(continuare)v.t 続けた 「動詞」
 il re. イル・レ n.m 王様は 「主語」

「権威というものは、何よりも、道理に基づいているものだ。もし君が国民に対して、海に身を投げなさいと命令したなら、革命を引き起こすことになるだろう」

"L'autorità riposa, prima di tutto, sulla ragione. Se tu ordini al tuo popolo di andare a gettarsi in mare, farà la rivoluzione.

《「主語」「動詞」「副詞句」 | 「副詞節」, 「動詞」「目的語」》

"L'autorità ラウトリタ n.f 権威は 「主語」
 riposa, リポーザ 3 単現(riposare)v.i(su に) 立脚している 「動詞」
 prima di tutto, プリマ・ディ・トゥット adv. 何よりもまず、第一に 「副詞句」
 sulla ragione. スラ・ラジオーネ adv. 道理の上に 「副詞句」
 Se セ conj. もし～ならば 「副詞節」
 tu トゥ pron 君が 「主語」
 ordini オルディニ 2 単現(ordinare)v.t 命令する 「動詞」
 al tuo popolo アル・トゥー・オ・ポポーロ adv. 国民に 「間接目的語」
 di andare a gettarsi ティ・アンダー・レ・ア・ゲッターシ 不定詞・popolo の動作(andare a+不定詞)
 v.pr (命令) (in に) 身を投げなさい 「補語」
 in mare, イン・マーレ adv. 海に 「副詞句」
 farà ファラ 3 単未(fare)v.t 引き起こすだろう 「動詞」
 la rivoluzione. ラ・リヴァオルツィオーネ n.f 革命を 「目的語」

「わしの命令は筋が通っているから、服従を要請する権利があるのじゃ」

Ho il diritto di esigere l'ubbidienza perché i miei ordini sono ragionevoli.

《「動詞」「目的語」「副詞節」》

Ho オ 1 単現(avére)v.t ～がある 「動詞」
 il diritto イル・ディ・リット n.m 権利 「目的語」
 di esigere ティ・エジージェレ adj. (同格) 要求するという 「形容詞句」
 l'ubbidienza ルビディエンツァ n.f 服従を 「目的語」
 perché ペルケ conj. ～なので 「副詞節」
 i miei ordini イ・ミエー・オルディニ pl.n.m(ordine) わしの命令は 「主語」
 sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ～である 「動詞」
 ragionevoli. ラジオーネヴァーオリ adj.pl(ragionevole) 理性的な、筋の通った 「補語」

X

「それじゃあ、僕の日のは？」と、王子さまはまた言った。彼は1度した質問は決して忘れなかった。

"E allora il mio tramonto?" ricordò il piccolo principe che non si dimenticava mai di una domanda una volta che l'aveva fatta.

《E「副詞」「主語」》,「動詞」「主語」,「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞節」

"E ㇿ conj. そして

allora アッローラ adv. それじゃあ 「副詞」

il mio tramonto?" イル・ミーオ・トラモント n.m ぼくの日のは？ 「主語」

ricordò リコルト 3 単遠(ricordare)v.t 口にした、思い出させた 「動詞」

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

non si dimenticava mai ノン・シ・ディメンチカヴァ・マイ 3 単半・否定(dimenticarsi)

v.pr(di のことを) 決して忘れていなかった 「動詞句」

di una domanda ディ・ウナ・ドマンダ adv. 質問のことを 「間接目的語」

una volta che ウナ・ヴァルタ・ケ adv. 一度～したら 「副詞節」

l' ラ pron (domanda の代用) それを 「目的語」

aveva fatta. アヴァ・エヴァ・ファッタ 3 単半・完了形(fare)

v.t (動作を) した 「動詞句」

「君は日のはを見れるだろう。そのように要請しておく。しかし、統治の学識に照らし合わせて、状況が好都合になるのを待つことにする」

"L'avrai, il tuo tramonto, lo esigerò, ma, nella mia sapienza di governo, aspetterò che le condizioni siano favorevoli".

《「目的語」「動詞」,「目的語」,「目的語」「動詞,ma「副詞句」「動詞」「目的語」》

"L' ロ pron (tramonto の先出し) それを 「目的語」

avrà, アヴライ 2 単未(avere)v.t 手に入れるだろう、見るだろう 「動詞」

il tuo tramonto, イル・トゥーオ・トラモント n.m 日のはを 「目的語」

lo ロ pron それを 「目的語」

esigerò, エジエージョ 1 単未・意思(esigere)v.t 要請しよう 「動詞」

ma, マ conj. しかし

nella mia sapienza ネッラ・ミーア・サピエンツァ adv. 学識において 「副詞句」

di governo, ディ・ゴヴァーネルノ adj. 統治の 「形容詞句」

aspetterò アスペッテロ 1 単未・意思(aspettare)v.t 待とう 「動詞」

che ケ conj. ～ということ 「目的語」

le condizioni レ・コンディチオーニ pl.n.f(condizione) 状況が 「主語」

siano シャノ 接・3 複現・期待(essere)v.i ～になる 「動詞」

X

favorévoli". ファウ^ゝォレ^ゝヴァ^ゝオリ adj.pl(favorévole) 好都合な

「補語」

「それで、いつ頃になりますか？」と、王子さまは問いかけた。

"E quando saranno?" s'informò il piccolo principe.

《E「副詞節」》,「動詞句」「主語」

"E エ conj. そして

quando クォント^ゝ conj. いつ～する

「副詞節」

saranno?" サランノ 3 単末・疑問文(essere)v.i 起こりそうですか

「動詞」

s'informò シンフォルモ 3 単遠(informarsi)v.pr 問い合わせた

「動詞句」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

「えへん、えへん」と、王様はとりあえず大きなカレンダーを調べてみると答えた。「えへん、えへん！それは... およそ... 今晚7時40分頃になるじゃろう」

"Hem! hem!" gli rispose il re che intanto consultava un grosso calendario, "hem! hem! sarà verso, verso, sarà questa sera verso le sette e quaranta!"

《「咳払い」》,「間接目的語」「動詞」「主語」「直接目的語」,

《「咳払い」 | 「動詞」「副詞句」,「動詞」「副詞句」》

"Hem! hem!" エム・エム int. えへん、えへん

「咳払い」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

rispose リスポーゼ 3 単遠(rispondere)v.t 答えた

「動詞」

il re イル・レ n.m 王様は

「主語」

che ケ conj. ～ということ

「直接目的語」

intanto インタント adv. 今のところは、とりあえず

「副詞」

consultava コンサルターヴァ 3 単半(consultare)v.t (文書を)調べた

「動詞」

un grosso calendario, ウン・グロッソ・カレンダーリオ

n.m 大きなカレンダーを

「目的語」

"hem! hem! エム、エム int. えへん、えへん

「咳払い」

sarà サラ 3 単末(essere)v.i ～になるだろう

「動詞」

verso, verso, ヴェールソ・ヴェールソ adv. ～頃に、およそ

「副詞句」

sarà サラ 3 単末(essere)v.i ～になるだろう

「動詞」

questa sera ケスタ・セーラ adv. 今晚

「副詞句」

verso le sette e quaranta! ヴェールソ・レ・セッテ・エ・クォランタ adv. 7時40分頃 「副詞句」

X

「そして、どれほどきっちりとわしの命令通りになるかが分かるだろう」

E vedrai come sarò ubbidito a puntino".

《E「動詞」「目的語」》

E エ conj. そして

vedrai ヴェトライ 2 単未(vedere)v.t 分かるだろう

「動詞」

come コーメ adv. どれほど～するかということ

「目的語」

sarò ubbidito サロ・ウビディート 1 単未・受動(ubbidire)v.t 従われる

「動詞句」

a puntino". ア・プンティノ adv. きっちり

「副詞句」

王子さまはあくびをした。実現しなかった日の入りを残念に思っていた。その上、もう退屈になってきていた。

Il piccolo principe sbadigliò. Rimpiangeva il suo tramonto mancato. E poi incominciava ad annoiarsi.

「主語」「動詞」 | 「動詞」「目的語」 | E「副詞」「動詞句」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

sbadigliò. スバディリオ 3 単遠(sbadigliare)v.i あくびをした

「動詞」

Rimpiangeva リンビェアンジェヴァ 3 単半(rimpiangere)v.t 嘆いていた、惜しんでいた

「動詞」

il suo tramonto イル・スオ・トラモンテ n.m 日の入り

「目的語」

mancato. マンカート adj. 実現しなかった

「形容詞」

E エ conj. そして

poi ポーイ adv. その上、それから、次に

「副詞」

incominciava ad annoiarsi. インコミンチャーヴァ・ア・アノイアルシ 3 単線・開始(incominciare a+不定詞)

v.pr 退屈し始めた

「動詞句」

「ここにはもうすることがありません」と、王様に言った。「ここを出ていきます」

"Non ho più niente da fare qui", disse il re. "Me ne vado".

《「動詞句」「副詞」「目的語」「副詞」》, 「動詞」「間接目的語」, 《「動詞句」》

"Non ho ノ・ノ 1 単現・否定(avere)v.t ～がない

「動詞句」

più ピーウ adv. もう

「副詞」

niente da fare ニエンテ・ダ・ファーレ pron すべきことが何も～ない

「目的語」

qui", クイ adv. ここには

「副詞」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il re. イル・レ n.m 王様に

「間接目的語」

"Me ne vado". メ・ネ・ヴァド 1 単現(andarsene)v.pr ここを立ち去る

「動詞句」

X

「出発してはいけない！」と、家来ができて誇らしかった王様は言った。「出発してはいけない！君を大臣にしてあげよう」

"Non partire", rispóse il re che era tanto fièro di avere un sùddito, "non partire, ti farò ministro!" 《「動詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」》, 「目的語」「動詞」「補語」

"Non partire", ノン・パルチレ 命・2 単現・否定 v.i 出発するな、行くな！ 「動詞句」

rispóse リスポーゼ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた 「動詞」

il re イルレ n.m 王様は 「主語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」

tanto fièro タント・フィエロ adj. とても誇らしい 「補語」

di avere un sùddito, ディ・アヴェーレ・ウン・スーディト

adv. (di+不定詞) (原因) 家来を持って 「副詞句」

"non partire, ノン・パルチレ 命・2 単現・否定 v.i 出発するな、行くな！ 「動詞句」

ti ティ pron 君を 「目的語」

farò ファロ 1 単未・意思(fare)v.t ～にしよう 「動詞」

ministro!" ミニストロ n.m 大臣に 「補語」

否定命令：

否定形は、二人称単数形のみ〈non + 不定詞〉の特殊形を用い、他はすべて活用形の前に non を置くだけである。〈non+不定詞〉と代名小詞併用の場合は、〈non+不定詞+代名小詞〉か〈代名小詞+non+不定詞〉のどちらかになる。

「何の大臣に？」

"Ministro di che?" 《「補語」》

"Ministro ミニストロ n.m 大臣 「補語」

di che?" ディ・ケ adj. 何の 「形容詞句」

「えー... 法務大臣に」

"Di... della giustizia!" 《「口ごもり」「形容詞句」》

"Di... ディ adj. エー 「口ごもり」

della giustizia!" デッラ・ジユスティーチャ adj. 司法の、法務の 「形容詞句」

「でも、裁判するような人は誰もいませんよ」

"Ma se non c'è nessuno da giudicare?" 《Ma 「動詞句」「主語」》

"Ma マ conj. しかし

se セ conj. (強調)

non c'è ノン・チェ 3 単現・存在・否定(esserci)v.i ～がいない 「動詞句」

否定命令：

X

nessuno ネスーノ pron 誰も～ない 「主語」
 da giudicare?" ダ・ジュディカレ adj. (目的) 裁判するための 「形容詞句」

「決して分からない」と、王様は彼に言った。「わしはまだ、我が王国を一巡していないのじゃ。わしはとても歳をとったが、馬車を置く場所がないのじゃ。歩くのは疲れる」

"Non si sa mai" gli disse il re. "Non ho ancora fatto il giro del mio regno. Sono molto vecchio, ma c'è posto per una carròzza e mi stanco a camminare".

《「動詞句」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」,

《「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「補語」, 「動詞句」「主語」 e 「動詞句」》

"Non si sa mai" ノン・シ・サ・マイ 3 単現・再帰受動・否定(sapèrsi)

v.t 決して分からない 「動詞句」

gli リ pron 彼に 「間接目的語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

il re. イル・レ n.m 王様は 「主語」

"Non ho ancora fatto ノ・ノ・ア・ンコーラ・ファット 1 単現・完了形・否定(fare+ancora)

v.t (行動を) まだやっていない 「動詞句」

il giro イル・ジロー n.m 1 巡を 「目的語」

del mio regno. デル・ミーオ・レーニョ adj. 我が王国の 「形容詞句」

Sono ソーノ 1 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

molto vecchio, モルト・ヴェッキオ adj. とても歳を取った 「補語」

ma c'è マ・チェ 3 単現・否定(esserci+ma)v.i ～がない 「動詞句」

posto ポスト n.m 場所が 「主語」

per una carròzza ペル・ウナ・カロッツァ adv. 馬車のための 「副詞句」

e エ conj. そして

mi stanco a camminare". ミ・スタンコ・ア・カミネレ 1 単現・疲れる(stancarsi a+不定詞)

v.pr 歩き疲れる、歩くのは疲れる 「動詞句」

「おお！もう見たんですけど」と、王子さまは、顔を突き出して、惑星のほかの場所をちらりと見ながら言った。「あちらにも、誰もいませんよ」

"Oh! ma ho già visto io", disse il piccolo principe sporgendosi per dare ancora un'occhiata sull'altra parte del pianeta. "Neppure laggiù c'è qualcuno".

《「感嘆」ma「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「副詞句」「動詞句」「主語」》

"Oh! オー int. おお 「感嘆」

ma マ conj. (譲歩) けれども～ない

ho già visto オ・ジャ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedere+ già)v.t もう見た 「動詞句」

io", イオ pron 僕は 「主語」

X

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t	言った	「動詞」
il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ	n.m 王子さまは	「主語」
sporgendosi スポルジエンティシ ジェルンディオ(sporgersi)adv.	顔を突き出して	「副詞句」
per + 不定詞 ヘル	adv. (結果) そして～する	「副詞句」
dare ダーレ 不定詞 v.t	与える	「動詞」
ancóra アンコーラ	adv. もう一度	「副詞」
un'occhiata ウノッキータ	n.f 一瞥を	「目的語」
sull'altra parte ス・ラルトラ・パルテ	adv. 他を場所を	「副詞句」
del pianéta. デル・ピアニータ	adj. 惑星の	「形容詞句」
"Neppure laggiu' ネプーレ・ラジュー	adv. あちらにも～ない	「副詞句」
c'è チェ 3 単現・存在・否定(esserci)v.i	(否定文で) ～がない	「動詞句」
qualcuno". クワルクノ	pron (否定文で) 誰も～ない	「主語」

「自分自身を裁きなさい」と、王様は彼に言った。「それは最も難しいことだよ。他人よりも自分自身を裁くことが、最も難しいことなんだよ」

"Giudicherai te stéssu", gli rispóse il re. "È la còsa più difficile. È móltu più difficile giudicare se stéssi che gli altri. 《「動詞」「目的語」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」「主語」》

"Giudicherai ジュディケライ 2 単未・命令(giudicare)v.t	裁きなさい	「動詞」
te stéssu", テ・ステツ	pron 君自身を	「目的語」
gli リ	pron 彼に	「間接目的語」
rispóse リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.i	答えた	「動詞」
il re. イル・レ	n.m 王様は	「主語」
"È エ 3 単現(être)v.i	～である	「動詞」
la còsa ラ・コサ	n.f 物事	「補語」
più difficile. ピウ・ディフィチレ	adj. 最も難しい	「形容詞句」
È エ 3 単現(être)v.i	～である	「動詞」
móltu più difficile モルト・ピウ・ディフィチレ	adj. 最も難しい	「補語」
giudicare ジュディカーレ	不定詞 n. 裁くことは	「主語」
se stéssi セ・ステツ	pron.pl 自分自身を	「目的語」
che ケ conj.	(比較) ～よりも	「副詞句」
gli altri. リ・アルトリ	pron.pl 他人を	「目的語」

もし君がりっぱに自分を裁くことができれば、それは君が本当に賢いという証拠だよ。

Se riesci a giudicarti bène è ségno che sèi veraménte un sàggio".

「副詞節」「動詞」「補語」

X

Se セ conj. もし～ならば	「副詞節」
riesci a giudicarti リエシ・ア・ジューティカル・ティ 2 単現・達成(riuscire a+不定詞 giudicare+ti)	
v.pr 自分を裁くことができる	「動詞句」
bène ベーネ adv. りっぱに	「副詞」
è エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
ségno セーニョ n.m 証拠	「補語」
che ケ conj. (同格) ～という	「形容詞節」
sèi セーイ 2 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
veramente un saggio". ヴェラメンテ・ウン・サジジョ n.m 本当の賢人	「補語」

「僕は」と、王子さまは言った。「僕はどこにいたって自分を裁くことができます。ここに
住む必要はありません」

"Io", disse il piccolo principe, "io posso giudicarmi ovunque. Non ho bisogno di abitare qui".	《「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞句」「副詞」 「動詞句」「目的語」》
"Io", イーオ pron 僕は	「主語」
disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った	「動詞」
il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは	「主語」
"io イーオ pron 僕は	「主語」
posso giudicarmi ポッソ・ジューティカル・ミ 1 単現・可能(potére+不定詞)	
v.t 自分を裁くことができる	「動詞句」
ovunque. オヴンクェ adv. どこにいても	「副詞」
Non ho ノ・ノ 1 単現・否定(avére)v.t ～がない	「動詞句」
bisogno di abitare ビゾーニョ・ディ・アビターレ n.m 住む必要性が	「目的語」
qui". クイ adv. ここに	「副詞」

「えへん、えへん！」ろ、王様は言った。「この星のどこかに、年老いたネズミがいると思
う。夜になると、その音が聞こえるのじゃ」

"Hem! hem!" disse il re. "Credo che da qualche parte sul mio pianeta ci sia un vecchio topo. Lo sento durante la notte.	《「間投」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「目的語」 「目的語」「動詞」「副詞句」》
"Hem! hem!" ヘム・ヘム int. えへん、えへん	「間投」
disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った	「動詞」
il re. イル・レ n.m 王様は	「主語」
"Credo クレド 1 単現(crédere)v.t(che ～と) 思う	「動詞」
che ケ conj. ～ということ	「目的語」
da qualche parte ダー・クワルケ・パルテ adv. (場所) どこかの場所に	「副詞」

X

sul mio pianéta	スル・ミーオ・ピ・アネータ	adv. この惑星の	「副詞句」
ci sia	チ・シア	接・3 単現・存在・推量(esserci)v.i	「動詞句」
un vècchio tòpo.	ウン・ヴェッキオ・トポ	n.m 年老いたネズミが	「主語」
Lo	ロ	pron それ	「目的語」
sento	セント	1 単現(sentire)v.t	「動詞」
durante la notte.	ドゥランテ・ラ・ノッテ	adv. 夜の間に	「副詞句」

「この年老いたネズミを裁いてくれないかね。時々、死刑を言い渡してくれないかね。そうすれば、あのネズミの命は君の裁き次第になるだろう」

Potrai giudicare quèsto.vècchio.tòpo. Lo condannerai a morte di tanto in tanto. Così la sua vita dipenderà dalla tua giustizia.

《「動詞句」「目的語」 | 「目的語」「動詞」「補語」 | Così 「主語」「動詞」「間接目的語」》

Potrai giudicare ポ・トライ・ジューディカーレ 2 単未・依頼(potére+不定詞)

v.t. ～を裁判してくれないか 「動詞句」

quèsto vècchio tòpo. クェスト・ヴェッキオ・トポ n.m この年老いたネズミを 「目的語」

Lo ロ pron それを 「目的語」

condannerai コンダンネライ 2 単未・依頼(condannare)v.t 刑を申し渡してくれないか 「動詞」

a morte ア・モルテ adv. (程度) 死刑に 「補語」

di tanto in tanto. ディ・タント・イン・タント adv. 時々 「副詞句」

Così コシ conj. そうすると

la sua vita ラ・スア・ヴィータ n.f あのネズミの命は 「主語」

dipenderà ディペンデラ 3 単未・推量(dipendere)v.i(da ～) しだいになるだろう 「動詞」

dalla tua giustizia. ダッラ・トゥア・ジュースティチャ adv. 君の裁き 「間接目的語」

「しかし命を大事にするために、いつも恩赦を与えなさい。ここには1匹しかいないから」

Ma lo grazierai ogni vòlta per economizzarlo. Non ce n'è che uno .

《Ma 「目的語」「動詞」「副詞句」 | 「動詞句」「主語」》

Ma マ conj. しかし

lo ロ pron それに 「目的語」

grazierai グラツィエライ 2 単未・依頼(graziare)v.t 恩赦を与えなさい 「動詞」

ogni vòlta オンニ・ヴォルタ adv. 毎回 「副詞句」

per economizzarlo. ペル・エコノミザール・ロ

adv.(per+不定詞 economizzare+lo) 彼の命を大事にするために 「副詞句」

Non ce n'è ノン・チェ・ネ 3 単現・存在・否定(esserci+ne)v.i そこに～がない 「動詞句」

che uno. ケ・ウノ pron (non...che) 1 匹しか 「主語」

X

「僕は死刑の判決は下したくありません」と、王子さまは答えた。「立ち去ろうと思います」

"Non mi piace condannare a morte", rispose il piccolo principe, "preferisco andarmene".

《「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」》

"Non ... piace ノン...ヒ°アーチェ 3 単現・否定(piacere)v.i 気に入らない 「動詞句」

mi ミ pron 僕には 「間接目的語」

condannare コンダッナーレ 不定詞 v.t 判決を下すことは 「主語」

a morte', ア・モルテ adv. 死刑に 「間接目的語」

rispose リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた 「動詞」

il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

"preferisco andarmene". プレフェリスコ・アンダーメネ 1 単現・選択(preferire+不定詞)

v.pr 立ち去ろうと思う 「動詞句」

「いかん」と、王様は言った。

"No", disse il re.

《「応答」》, 「動詞」「主語」

"No", ノ adv. いかん 「応答」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

il re, イル・レ n.m 王様は 「主語」

しかし、既に出発の準備を終えていた王子様は、年老いた君主に手間を取らせたくなかった。

Ma il piccolo principe che aveva finiti i suoi preparativi di partenza, non voleva dare un dolore al vecchio monarca:

Ma 「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」

Ma マ conj. しかし

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

aveva finiti アヴァエーヴァ・フィニーティ 3 単半・完了形(finire)

v.t 既に終わらせていた 「動詞句」

finiti の前に直接目的語代名詞(lo, le など)がないので、性・数一致せず finito で良いはず

i suoi preparativi イ・スオイ・プレパティーヴァーティ

pl(preparativo).n.m 準備を 「目的語」

di partenza, ディ・パルテンツァ adj. (限定) 出発の 「形容詞句」

non voleva dare ノン・ヴァレヴァ・ダーレ 3 単半・願望・否定(volere+不定詞)

v.t ~を与えたくなかった 「動詞句」

un dolore ウントローレ n.m 面倒、手間、苦痛 「直接目的語」

al vecchio monarca: アル・ヴェッキオ・モナルカ adv. 年老いた君主に 「間接目的語」

X

「もしも陛下がきちんと命令に従って欲しいならば、良識のある命令を下してください」

"Se Vostra Maestà desidera essere ubbidito puntualmente, può darmi un ordine ragionevole. 《「副詞節」, 「動詞句」 「目的語」》

"Se セ conj. もし～ならば 「副詞節」

Vostra Maestà ヴォストラ・マエスタ n.f 陛下が 「主語」

desidera デイデラ 3 単現(desiderare)v.t 望む 「動詞」

essere ubbidito エッレ・ウッビディート 不定詞・受動形 n. 従われることを 「目的語」

puntualmente, プントアルメンテ adv. きちんと 「副詞」

può darmi プォ・ダル・ミ 3 単現・義務(potére+不定詞 dare+mi)

v.t 私に与えるべきである 「動詞句」

un ordine ウン・オルディネ n.m 命令を 「目的語」

ragionevole. ラジォネヴァレ adj. 理性的な、合理的な、良識のある 「形容詞」

「例えば、すぐに出発しなさい、と僕に命令していただけますか？状況は好都合になっていると、僕には見えますけれど…」

Potrebbe ordinararmi, per esèmpio, di partire prima che sia passato un minuto. Mi pare che le condizióni siano favorévoli.."

《「動詞句」 「副詞句」 「補語」 | 「間接目的語」 「動詞」 「主語」》

Potrebbe ordinararmi, ポトレッベ・オルディナルミ 条・3 複現・依頼・可能(potére+不定詞 ordinare+mi)

v.t 僕に命令していただけますか？ 「動詞句」

per esèmpio, ペル・エゼンピォ adv. 例えば 「副詞句」

di partire デイ・パルティレ 不定詞・mi の動作 v.i 出発する 「補語」

prima プリーマ prep (時間) ～の前に 「副詞句」

che ケ conj. ～ということ 「目的語」

sia passato シア・パッサト 接・3 単現・完了形・假定(passare)

v.i 過ぎてしまう 「動詞句」

un minuto. ウン・ミヌート n.m 1 分が 「主語」

Mi ミ pron 僕には 「間接目的語」

pare パレ 3 単現(parére)v.i ～のように見える 「動詞」

che ケ conj. ～ということが 「主語」

le condizióni レ・コンディツィオーニ pl(condizióne).n.f 状況は 「主語」

siano シアーノ 接・3 複現・推測(èssere)v.i ～だろう 「動詞」

favorévoli..." ファウヴァレーヴァリ adj(favorévole).pl 好都合な 「補語」

X

そして、王様が何も答えないので、王子さまは一瞬ためらったが、やがて溜息をついてそこを立ち去った。

E siccome il re non rispondeva, il piccolo principe esitò un momento e poi con un sospiro se ne partì.

E 「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」 e 「副詞句」 「動詞句」

E エ conj. そして

siccome シッコーメ conj. ～なので

「副詞節」

il re イル・レ n.m 王様が

「主語」

non rispondeva, ノン・リスポンドェヴァ 3 単半・否定(rispondere)

v.i 答えないでいた

「動詞句」

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

esitò エシト 3 単遠(esitare)v.i 躊躇した、ためらった

「動詞」

un momento ウン・モメント n.m 一瞬

「副詞句」

e エ conj. そして

poi ポーイ adv. やがて、それから

「副詞」

con un sospiro コン・ウン・ソスピロ adv. 溜息をついて

「副詞句」

se ne partì. セ・ネ・パルティ 3 単遠(partirsi+ne そこから)v.pr そこを立ち去った

「動詞句」

「君を大使に任命しよう」と、次に、王様は急いで彼に大声で言った。

"Ti nomino mio ambasciatore", si affrettò a gridargli appresso il re.

《「目的語」「動詞」「補語」》, 「動詞句」「副詞」「主語」

"Ti チ pron 君を

「目的語」

nomino ノミノ 1 単現(nominare)v.t 任命する

「動詞」

mio ambasciatore", ミー・オ・アンバシャトール n.m 大使に

「補語」

si affrettò a gridargli シ・アフレット・ア・グリダール・リ 3 単遠・緊急(affrettarsi a+不定詞 gridare+gli)

v.pr 急いで彼に大声で言った

「動詞句」

affrettarsi a+不定詞 「急いで～する」

appresso アプレッソ adv. 次に、引き続いて

「副詞」

il re. イル・レ n.m 王様は

「主語」

王様は威厳のある様子だった。

Aveva un'aria di grande autorità.

「動詞」「目的語」

Aveva アヴェヴァ 3 単半(avere)v.t ～があった

「動詞」

un'aria ウナーリヤ n.f 気配、様子、態度

「目的語」

di grande autorità. ディ・グランデ・アウトリタ adj. 威厳の

「形容詞句」

XI

「大人って、とても変だな」と、王子さまは旅の間ずっと、心の中で思った。

"Sono bèn strani i grandi", si disse il piccolo principe durante il viaggio.

《「動詞」「補語」「主語」》, 「動詞句」「主語」「副詞句」

"Sono ソー 3 複現(essere)v.i 〜である

「動詞」

bèn strani ベン・ストラニ adj(strano).pl とても変な、奇妙な

「補語」

i grandi", イ・グランティ pl(grande).n.m 大人は

「主語」

si disse シ・ディッセ 3 単遠(dirsi)v.pr 心の中で思った

「動詞句」

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

durante il viaggio. トゥランテ・イル・ヴィアッジョ adv. 旅の間

「副詞句」

XI



2 番目の惑星には、見栄張り男が住んでいた。

Il secóndo pianéta era abitato da un vanitóso.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Il secóndo pianéta イル・セコント・ピ・アネータ n.m 2 番目の惑星は

「主語」

era abitato エラ・アビタート 3 単半・受動(abitare)v.t 住まっていた

「動詞句」

da ダー prep (受動態の動作主) 〜によって

「副詞句」

un vanitóso. ウン・ヴァニトゾ n.m うぬぼれ男、見栄張り男

「目的語」

→ 動作主を「主語」として翻訳する

「やあやあ、俺のファンの訪問だ！」と、見栄張り男は、王子様に気が付くとすぐに遠くから叫んだ。

"Ah! ah! ecco la visita di un ammiratóre", gridò da lontano il vanitóso appena scorse il piccolo principe.

《「感嘆」「間投」》, 「動詞」「副詞句」「主語」「副詞節」

XI

"Ah! ah! ecco アー・アー・エッコ int. やあやあ、ほら	「感嘆」
la visita ラ・ヴィジタ n.f 訪問だ	「間投」
di un ammiratore", ディ・ウン・アマートレ adj. ファンの	「形容詞句」
gridò グリト 3 単遠(gridare)v.i 叫んだ	「動詞」
da lontano ダ・ロンターノ adv. 遠くから	「副詞句」
il vanitoso イル・ヴァニトゾ n.m 見栄張り男は	「主語」
appena アッペーナ conj. ～するとすぐに	「副詞節」
scorse スコルセ 3 単遠(scorgere) 気づいた、見つけた	「動詞」
il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子様を	「目的語」

見栄張り男たちにとっては、他人はすべて自分のファンなのだ。

Per i vanitosi tutti gli altri uomini sono degli ammiratori.

Per ペール prep (利害) ～にとって	「副詞句」
i vanitosi イ・ヴァニトジ pl.n.m 見栄張り男たち	「主語」
tutti gli altri uomini トゥッティ・リ・アルトリ・ウオーミニ pl.n.m 全ての他人は	「主語」
sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ～である	「動詞」
degli ammiratori. デッリ・アマートリ pl.n.m 自分のファン	「補語」

「こんにちは」と、王子さまは言った。「とてもおかしい帽子をかぶっていますね」

"Buon giorno", disse il piccolo principe, "che buffo cappello avete!"

"Buon giorno", ブォン・ジォールノ adv. こんにちは	「挨拶」
disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った	「動詞」
il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは	「主語」
"che buffo cappello ケ・ブッフォ・カペッロ n.m とてもおかしい帽子を	「目的語」
che は感嘆・強調 buffo ブッフォ adj. おかしい、こっけいな cappello カペッロ n.m 帽子	
avete!" アヴェーテ 2 複現(avere)v.t 着用している、着ている	「動詞」

「挨拶するためなんだよ」と、見栄張り男は答えた。「拍手喝采で出迎えられた時に、挨拶するためなんだよ。だけど、あいにく、誰もこのあたりを通りかからないんだ」

"È per salutare", gli rispose il vanitoso. "È per salutare quando mi acclamano, ma sfortunatamente non passa mai nessuno da queste parti".

「動詞」「補語」, 「間接目的語」「動詞」「主語」,	
「動詞」「補語」「副詞節」, ma 「副詞」「動詞句」「主語」「副詞句」	
"È エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」

XI

per salutare",	ペル・サルタール adj. (目的) 挨拶するための	「補語」
gli	リ pron 彼に	「間接目的語」
rispóse	リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた	「動詞」
il vanitóso.	イル・ヴァニトゾ n.m 見栄張り男は	「主語」
"È	エ 3 単現(essere)v.i ~である	「動詞」
per salutare	ペル・サルタール adj. (目的) 挨拶するための	「補語」
quando	クワンド conj. ~するときに	「副詞節」
mi	ミ pron 私を	「目的語」
acclamano,	アックラマノ 3 複現(acclamare)v.t 拍手喝采して迎える	「動詞」
mi を主語とした受動態に翻訳する		
ma	マ conj. しかし	
sfortunataménte	スフォルツァメンテ adv. あいにく、残念ながら	「副詞」
non passa mai	ノン・パッサ・マイ 3 単現・否定(passare)v.i 通りかからない	「動詞句」
nessuno	ネッスノ pron 誰も~ない	「主語」
da quése parti".	ダ・ケステ・パルティ adv. このあたりを	「副詞句」

「ああ、そう？」と、王子さまは理解できないまま答えた。

"Ah si?"	disse il piccolo principe che non capiva.	《「応答」》, 「動詞」「主語」
"Ah si?"	アー・シ int. ああ、そう？	「応答」
disse	ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った	「動詞」
il piccolo principe	イル・プリンチペ n.m 王子さまは	「主語」
che	ケ pron (主語) ~する	「形容詞節」
non capiva.	ノン・カピヴァ 3 単半・否定(capire)	
v.t 理解できなかった		「動詞句」

それで、「拍手しなさい」と、見栄張り男は勧めた。

"Batti le mani l'una contro l'altra",	consigliò perciò il vanitóso.	《「動詞」「目的語」「副詞句」》, 「動詞」 perciò 「主語」
"Batti	バッティ 命・2 単現(battere)v.t ぶつけなさい	「動詞」
le mani	レ・マーニ pl(mano).n.f 手を	「目的語」
l'una contro l'altra",	ルーナ・コントロ・ラルトラ adv. 片方を反対側に	「副詞句」
consigliò	コンシヨ 3 単遠(consigliare)v.t 勧めた	「動詞」
perció	ペルチ conj. それで	
il vanitóso.	イル・ヴァニトゾ n.m 見栄張り男は	「主語」

XI

王子さまは拍手した。すると見栄張り男は帽子を持ち上げて、控えめに挨拶した。

Il piccolo principe batté le mani l'una contro l'altra e il vanitoso salutò con modèstia sollevando il cappello. 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 e 「主語」「動詞」「副詞句」
 Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンスヘ n.m 王子さまは 「主語」
 batté バッテ 3 単遠(battere)v.t 叩いた 「動詞」
 le mani レ・マーニ pl(mano).n.f 手を 「目的語」
 l'una contro l'altra, ルーナ・コントロ・ラルトラ adv. 片方を反対側に 「副詞句」
 e エ conj. そして
 il vanitoso イル・ヴァニトゾ n.m 見栄張り男は 「主語」
 salutò サルト 3 単遠(salutare)v.t 挨拶した 「動詞」
 con modèstia コン・モデースチャ adv. (様態) 控えめに 「副詞句」
 sollevando ソルヴァント ジェルンディオ(sollevare)adv. (同時) ～を持ち上げながら 「副詞句」
 il cappello. イル・カッペロ n.m 帽子を 「目的語」

《王様を訪ねるより面白いな》と、王子さまは心の中で思った。それで、また拍手を始めた。

È più divertènte che la visita al re, si disse il piccolo principe, e ricominciò a batter le mani l'una contro l'altra.
 「動詞」「補語」, 「動詞句」「主語」, e 「動詞句」「目的語」「副詞句」
 È エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」
 più divertènte ピウ・デヴァーテンテ adj. もっと面白い 「補語」
 che ケ conj. (比較) ～よりも 「副詞句」
 la visita ラ・ヴィジタ n.f 訪問 「目的語」
 al re, アル・レ adv. 王様への 「副詞句」
 si disse シ・ディッセ 3 単遠(dirsi)v.pr 心の中で思った 「動詞句」
 il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンスヘ n.m 王子さまは 「主語」
 e エ conj. そして
 ricominciò a batter リコミンチョ・ア・バッテル 3 単遠・再開(ricominciare a+不定詞)
 v.t また叩き始めた 「動詞句」
 le mani レ・マーニ pl(mano).n.f 手を 「目的語」
 l'una contro l'altra. ルーナ・コントロ・ラルトラ adv. 片方を反対側に 「副詞句」

見栄張り男は、帽子を持ち上げて挨拶を再開した。

Il vanitoso ricominciò a salutare sollevando il cappello. 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Il vanitoso イル・ヴァニトゾ n.m 見栄張り男は 「主語」
 ricominciò a salutare リコミンチョ・ア・サルターレ 3 単遠・再開(ricominciare a+不定詞)
 v.t 挨拶を再開した 「動詞句」

XI

sollevando ソルヴァント ジェルンディオ(sollevare)adv. ～を持ち上げて 「副詞句」
 il cappello. イル・カッペーロ n.m 帽子を 「目的語」

5 分間のレッスンの後で、王子さまは遊びの単調さに疲れてしまった：「それで、僕は何をすればいいの？」と、王子さまは尋ねた。「その帽子が降りるためには」

Dopo cinque minuti di questo esercizio il piccolo principe si stancò della monotonia del gioco: "E che cosa bisogna fare", domandò, "perché il cappello caschi?"

「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」:

《E「主語」「動詞」「主語」》,「動詞」,《「副詞節」》

Dopo トーポ prep (時間) ～の後で 「副詞句」

cinqe minuti チンクェ・ミヌーティ pl.n.m 5 分 「目的語」

di questo esercizio ティ・クェスト・エゼリチョ adj. このレッスンの「形容詞句」

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

si stancò シ・スタスコ 3 単遠(stancarsi)v.pr(di で) 疲れた 「動詞句」

della monotonia テッラ・モトニア adv. 単調さに 「間接目的語」

del gioco: テル・ジョコ adj. 遊びの 「形容詞句」

"E エ conj. それで

che cosa ケ・コサ n.f 何を 「目的語」

bisogna ビゾーニャ 3 単現(bisognare)v.i 必要である 「動詞」

fare", ファーレ 不定詞 n. ～をすることが 「主語」

domandò, トマント 3 単遠(domandare)v.t 尋ねた 「動詞」

"perché ヘルケ conj. (+接続法) (目的) ～するために 「副詞節」

il cappello イル・カッペーロ n.m 帽子が 「主語」

caschi?" カスキ 接・3 単現(cascare)v.i 降りる 「動詞」

しかし、見栄張り男は彼の話を聞いていなかった。見栄張りたちは、誉め言葉以外は聞こうとしないものだ。

Ma il vanitoso non l'intese. I vanitoso non sentono altro che le lodi.

Ma 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

il vanitoso イル・ヴァントーゾ n.m 見栄張り男は 「主語」

non ...intese. ノン...インテーゼ 3 単遠・否定(intendere)v.t 聞いていなかった 「動詞句」

l' ロ pron 彼の話を 「目的語」

I vanitoso イ・ヴァントーゾ pl.n.m 見栄張りというもの 「主語」

non sentono ノン・セントノ 3 複現(sentire)v.t 聞こうとしない 「動詞句」

altro アルトロ pron 別の事を 「目的語」

XI

che ケ conj. (比較) ～とは 「形容詞節」
 le レ pron.pl 彼らを 「目的語」
 lodi. ロデー 接・3 単現(lodare)v.t ほめる 「動詞」

「本当に私を褒めたたえてくれているのかね？」と、王子様に尋ねた。

"Mi ammiri molto, veramente?" domandò al piccolo principe.

《「目的語」「動詞」「副詞句」》, 「動詞」「間接目的語」

"Mi ミ pron 私を 「目的語」
 ammiri アンミ 2 単現・疑問文(ammirare)v.t 褒めたたえているのかい? 「動詞」
 molto, モルト adv. とても 「副詞」
 veramente?" ヴェラメンテ adv. 本当に 「副詞」
 domandò ドマント 3 単遠(domandare)v.t 尋ねた 「動詞」
 al piccolo principe. アル・ピッコロ・プリンチペ adv. 王子様に 「間接目的語」

「“褒めたたえる” って、どういう意味？」

"Che cosa vuol dire ammirare?" 《「目的語」「動詞句」「主語」》

"Che cosa ケ・コサ n.f 何を 「目的語」
 vuol dire ヴォル・ディーレ 3 単現(volére dire)v.t 意味する 「動詞句」
 ammirare?" アンミラレ 不定詞 n. 「褒めたたえる」は 「主語」

「“褒めたたえる” というのは、俺がこの星全体で、一番美しくて、一番上品で、一番金持ちで、その上一番頭がいいということを認めることさ」

"Ammirare vuol dire riconoscere che io sono l'uomo più bello, più elegante, più ricco e più intelligente di tutto il pianeta".

《「主語」「動詞句」「目的語」》

"Ammirare アンミラレ 不定詞 n. 「褒めたたえる」は 「主語」
 vuol dire ヴォル・ディーレ 3 単現(volére dire)v.t 意味する 「動詞句」
 riconoscere リコノッシェ 不定詞 n. ～と認めることを 「目的語」
 che ケ conj. ～ということ を 「目的語」
 io イオ pron 俺が 「主語」
 sono ソノ 1 単現(essere)v.i ～である 「動詞」
 l'uomo ルオーモ n.m 人間 「補語」
 più bello, ピウ・ベッロ adj. 一番美しい 「形容詞句」
 più elegante, ピウ・エレガント adj. 一番上品な 「形容詞句」
 più ricco ピウ・リッコ adj. 一番金持ちの 「形容詞句」
 e エ conj. そして
 più intelligente ピウ・インテリジエンテ adj. 一番頭の良い 「形容詞句」

XI

di tutto il pianéta". ディ・トゥット・イル・ツピ・アネータ

adv. この星全体で

「副詞句」

フランス語版では :

次の文の前に、以下の文があった。

---- Mais tu es seul sur ta planète! 「でも、この星にはあんたひとりしかいないよ！」

「俺を喜ばしておくれよ。また、俺をほめたたえておくれよ！」

"Fammi quésto piacere. Ammirami lo stéssu!"

《「動詞句」「目的語」「補語」 | 「動詞句」「副詞句」》

"Fammi ファミ 命・2 単現・使役(fare+mi)v.t 僕にとって～させてください

「動詞句」

quésto クェスト pron(Ammirare の代用) これを

「目的語」

piacere. ピアチェレ 不定詞・quésto の動作 v.i 気に入る

「補語」

Ammirami アンミラ・ミ 命・2 単現(ammirare+mi)v.t 俺をほめたたえてくれ

「動詞句」

lo stéssu!" ロ・ステツ adv. 同様に、また、もう一度

「副詞句」

「君を褒めたたえてあげるよ」と、王子さまは、両肩をすぼめて、言った。「だけど、それによって君は何をするつもりなの？」

"Ti ammiro", disse il piccolo principe, alzando un poco le spalle, "ma tu che te ne fai?"

《「目的語」「動詞」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,

《ma 「主語」「直接目的語」「間接目的語」「副詞」「動詞」》

"Ti チ pron 君を

「目的語」

ammiro", アンミロ 1 単現・意思(ammirare)v.t ほめたたえる

「動詞」

disse デイツェ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチヘ n.m 王子さまは

「主語」

alzando アルツァント ジェルンディオ(alzare)adv. ～を上げて

「副詞句」

un poco ウン・ポコ adv. 少し

「副詞句」

le spalle, レ・スパッレ pl(spalla).n.f 両肩を

「目的語」

"ma マ conj. しかし

tu トゥ pron 君は

「主語」

che ケ pron 何を

「直接目的語」

te テ pron 君にとって

「間接目的語」

ne ネ pron それによって

「副詞」

fai?" ファイ 2 単現(fare)v.t 引き起こす、する

「動詞」

XI

そう言って、王子さまは立ち去った。

E il piccolo principe se ne andò.

E 「主語」「動詞句」

E エ conj. そして

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

se ne andò. セ・ネ・アンド 3 単遠(andarsene)v.pr 立ち去った

「動詞句」

《大人って、まったく奇妙だな》と、王子さまは、旅の間中、心の中で単純にそう思った。

Decisamente i grandi sono bèn bizzarri, diceva con semplicità a se stésso, durante il suo viaggio.

“「副詞」「主語」「動詞」「補語」”, 「動詞」「副詞句」

Decisamente デチサメンテ adv. まったく

「副詞」

i grandi イ・グランディ pl(grande).n.m 大人は

「主語」

sono ソーノ 3 複現(essere)v.i 〜である

「動詞」

bèn bizzarri, ベン・ビッサリー adj(bizzarro).pl とても奇妙な

「補語」

bèn ベン adv(bène) (強調) とても、絶対に

diceva ディチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言った

「動詞」

con semplicità コン・センプリタ adv. 単純に

「副詞句」

a se stésso, ア・セ・ステッソ adv. 自分自身に

「副詞句」

durante ドゥランテ prep (時間) 〜の間中

「副詞句」

il suo viaggio. イル・スー・ヴィアッジョ n.m 旅

「目的語」

XII

XII



次の惑星には、飲んだくれが住んでいた。

Il pianéta appresso era abitato da un ubriacóne.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Il pianéta イル・ピ°アネータ n.m 惑星は

「主語」

appresso アップレッソ adj. 次の、それに続く

「形容詞」

era abitato エラ°アビ°タート 3 単半・受動(abitare)v.t 住まれていた

「動詞句」

da un ubriacóne. ダ°ウン°ウブリアコーネ adv. (動作主) 飲んだくれによって

「副詞句」

ubriacóne を「主語」にして翻訳する

この訪問はとても短かったが、王子様を深い憂鬱の中に浸らせた。

Quésta visita fu móltò brève, ma immerse il piccolo principe in una grande malinconia.

「主語」「動詞」「補語」,ma 「動詞」「目的語」「副詞句」

Quésta visita クェスタ°ヴィジタ n.f この訪問は

「主語」

fu フ 3 単遠(essere)v.i ~だった

「動詞」

móltò brève, モルト°ブレイヴェ adj. とても短い

「補語」

ma マ conj. しかし

immerse イメルセ 3 単遠(immèrgere)v.t(in に) 浸した

「動詞」

il piccolo principe イル°ピ°ッコロ°プリンチ°ペ n.m 王子さまを

「目的語」

XII

in una grande malinconia. イン・ウナ・グランデ・マリンコニア adv. 深い憂鬱の中に 「副詞句」

「何をしているの？」と、王子さまは、山積みになった空瓶と充填瓶の前で黙ったままにいる飲んだくれに尋ねた。

"Che còsa fai?" chiese all'ubriacòne che stava in silènzio davanti a una collezione di bottiglie vuòte e a una collezione di bottiglie piene.

《「目的語」「動詞」》, 「動詞」「間接目的語」

"Che còsa ケ・コーザ n.f. どのようなことを、何を 「目的語」

fai?" ファイ 2 単現・疑問文(fare)v.t. しているの? 「動詞」

chiese キェーゼ 3 単遠(chièdere)v.t. 尋ねた 「動詞」

all'ubriacòne アルブリアコーネ adv. 飲んだくれに 「間接目的語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

stava スターヴァ 3 単半(stare)v.i (～の状態) いた 「動詞」

in silènzio イン・シレンツィオ adv. 無言でいる 「副詞句」

davanti ダヴァンティ prep (場所) (a の) ～の前で 「副詞句」

a una collezione ア・ウナ・コレッチオーネ adv. 一まとめの 「副詞句」

di bottiglie vuòte ディ・ボッティーリエ・ウオーテ

adj. 空瓶の 「形容詞句」

bottiglie ボッティーリエ pl(bottiglia).n.f 瓶 vuòte ウオーテ adj(vuòto).f.pl 空の

e エ conj. そして

a una collezione di bottiglie piene. ア・ウナ・コレッチオーネ・ディ・ボッティーリエ・ピェーネ

adv. 充填瓶の一まとめの 「副詞句」

コレクション

コレクションとは、収集（物）、所蔵品、堆積などの意味を持つ英単語。趣味としての収集活動に対して使われることが多いが、研究用資料、博物館や美術館等の所蔵作品群、近年では作家の著作集などに対しても用いられている。服飾においてはファッションデザイナーや服飾ブランドが開催する展示会及びその作品群を指す。

この文では、特に価値の無い物の堆積（沢山集まった状態）という意味で使用されている。

「飲んでるんだ」と、重苦しい声で、飲んだくれは答えた。

"Bevo" rispose, in tònò lugubre, l'ubriacòne. 《「動詞」》, 「動詞」「副詞句」「主語」

"Bevo" ベーヴォ 1 単現(bére)v.t. 飲んでる 「動詞」

rispose, リスポーゼ 3 単遠(rispondere)v.i. 答えた 「動詞」

in tònò lugubre, イン・トノ・ルグブレ adv. 陰惨な声で、哀れをそそる声で 「副詞句」

l'ubriacòne. ルブリアコーネ n.m. 飲んだくれは 「主語」

XII

「どうして飲んでいるの？」と、王子さまは尋ねた。

"Perché bevi?" domandò il piccolo principe. 《「副詞」「動詞」》, 「動詞」「主語」
 "Perché ^{ペル} ^ベ ^{ヴィ} ² ^{単現}(^{bére})^{v.t} 飲んでいる 「副詞」
 bevi?" ^{ベヴィ} ² ^{単現}(^{bére})^{v.t} 飲んでいる 「動詞」
 domandò ^{ドマント} ³ ^{単遠}(^{domandare})^{v.t} 尋ねた 「動詞」
 il piccolo principe. ^{イル・ピッコロ・プリンチペ} ^{n.m} 王子さまは 「主語」

「忘れるためさ」と、飲んだくれは答えた。

"Per dimenticare", rispose l'ubriacón. 《「副詞句」》, 「動詞」「主語」
 "Per +不定詞 ^{ペル} ^{adv.} ～するために 「副詞句」
 dimenticare", ^{ディメンチャーレ} ^{不定詞} ^{v.t} 忘れる 「動詞」
 rispose ^{リスポーゼ} ³ ^{単遠}(^{rispondere})^{v.i} 答えた 「動詞」
 l'ubriacón. ^{ルブリアコーネ} ^{n.m} 飲んだくれは 「主語」

「何を忘れるためなの？」と、王子さまは問いかけたが、すでに彼を哀れみ始めていた。

"Per dimenticare che còsa?" s'informò il piccolo principe che cominciava già a compiangerlo. 《「副詞句」》, 「動詞句」「主語」
 "Per +不定詞 ^{ペル} ^{adv.} ～するために 「副詞句」
 dimenticare ^{ディメンチャーレ} ^{不定詞} ^{v.t} 忘れる 「動詞」
 che còsa?" ^{ケ・コーサ} ^{n.f} 何を 「目的語」
 s'informò ^{シンフォルモ} ³ ^{単遠}(^{informarsi})^{v.pr} 問い合わせた 「動詞句」
 il piccolo principe ^{イル・ピッコロ・プリンチペ} ^{n.m} 王子さまは 「主語」
 che ^ケ ^{pron} (主語) ～する 「形容詞節」
 cominciava già a compiangerlo. ^{コンチヤウヴァ・ジヤ・ア・コンビアンジエルロ} ³ ^{単半・開始}
 (cominciare a+不定詞 compiangere+ già)
 v.t. もうすでに彼を哀れみ始めていた 「動詞句」

「恥ずかしいということを忘れるためだよ」と、飲んだくれは、うつむいて打ち明けた。

"Per dimenticare che ho vergógna", confessò l'ubriacón abbassando la tèsta. 《「副詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」
 "Per +不定詞 ^{ペル} ^{adv.} ～するために 「副詞句」
 dimenticare ^{ディメンチャーレ} ^{不定詞} ^{v.t} 忘れる 「動詞」
 che ^ケ ^{conj.} ～ということを 「目的語」
 ho ^オ ¹ ^{単現}(^{avére})^{v.t} (心身の状態が) ～である 「動詞」
 vergógna", ^{ヴェルゴニーヤ} ^{n.f} 恥ずかしさ、羞恥心 「目的語」
 confessò ^{コンフェツ} ³ ^{単遠}(^{confessare})^{v.t} 打ち明けた 「動詞」

XII

l'ubriacóne ルブリアコーネ n.m 飲んだくれは 「主語」

abbassando アバッサント ジェルンディオ・同時(abbassare)adv. 下げながら 「副詞句」

la tèsta. ラ・テスタ n.f 頭を 「目的語」

恥ずかしい

avère vergógna 「恥ずかしい」 avère vergógna di... 「～で恥ずかしい」

「何が恥ずかしいの？」と、王子さまは、彼を助けたいと思って、さらに尋ねた。

"Vergógna di che?" insistette il piccolo principe che desiderava soccorrerlo.

《「目的語」》, 「動詞」「主語」

"Vergógna ヲエルゴニーヤ n.f 恥ずかしい 「目的語」

di che?" ティ・ケ adv. (原因) 何で、何が 「副詞句」

insistette インシステッテ 3 単遠(insistere)v.i しつこく尋ねた 「動詞」

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

che ケ pron (主語) 何する 「形容詞節」

desiderava soccorrerlo. デジテラヴァ・ソッコレル・ロ 3 単半・願望(desiderare+不定詞)

v.t 彼を助けたいと思っていた 「動詞句」

「酒を飲むのが恥ずかしいのさ」と言うと、飲んだくれは決定的な沈黙の中に閉じこもった。

"Vergógna di bére!" e l'ubriacóne si chiuse in un silenzio definitivo.

《「目的語」》e 「主語」「動詞句」「副詞句」

"Vergógna ヲエルゴニーヤ n.f 恥ずかしい 「目的語」

di bére!" ティ・ベール adv. 酒を飲むことが 「副詞句」

e エ conj. そして

l'ubriacóne ルブリアコーネ n.m 飲んだくれは 「主語」

si chiuse シ・キウゼ 3 単遠(chiudersi)v.pr 引きこもった、閉じこもった 「動詞句」

in un silenzio イン・ウン・シレンツィオ adv. 沈黙の中に 「副詞句」

definitivo. デフィニティーヴォ adj. 決定的な 「形容詞」

王子さまは、途方に暮れて立ち去った。

Il piccolo principe se ne andò perplèssò.

「主語」「動詞句」「副詞」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

se ne andò セ・ネ・アント 3 単遠(andarsene)v.pr 立ち去った 「動詞句」

perplèssò. ペルプレッソ adv. 途方に暮れて、当惑して、あやふやな気持ちで 「副詞」

XIII

「大人というのは、まったく、ひどく変わっているなあ」と、王子さまは、旅の間中ずっと、心の中で思った。

I grandi, decisaménte, sono móltó, móltó bizzarri, si disse durante il viaggio.

《「主語」「副詞」「動詞」「補語」》, 「動詞句」「副詞句」

I grandi, イ・グランディ pl(grande).n.m 大人の人は 「主語」

decisaménte, デチサメンテ adv. 決定的に、まったく 「副詞」

sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ~である 「動詞」

móltó, móltó bizzarri, モルト・モルト・ビッツァーリ adj(bizzarro).pl とても風変りな 「補語」

si disse シ・ディッセ 3 単遠(dirsi)v.pr 心の中で思った 「動詞句」

durante il viaggio. トゥランテ・イル・ヴァイアジョ adv. 旅の間中 「副詞句」

XIII

4 番目の惑星には、実業家が住んでいた。

Il quarto pianéta era abitato da un uòmo d'affari. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Il quarto pianéta イル・クワールト・ピアネータ n.m 4 番目の惑星は 「主語」

era abitato エラ・アビタート 3 単半・受動(abitare)v.t 住まれていた 「動詞句」

能動態に翻訳する

da un uòmo ダ・ウン・ウオーモ adv. (動作主) 人によって 「副詞句」

d'affari. ダッファーリ adj. (限定) ビジネスの 「形容詞句」

この男は、忙しすぎて、王子様が到着しても頭をあげることをしなかった。

Quésto uòmo era così occupato che non alzò neppure la tèsta all'arrivo del piccolo principe.

「主語」「動詞」「補語」「副詞節」

Quésto uòmo ケスト・ウオーモ n.m この男は 「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

così occupato コシ・オックパート adj. あまりにも忙しい 「補語」

che ケ conj. (così...che) それで~ない 「副詞節」

non alzò ノン・アルゾ 3 単遠・否定(alzare)v.t あげなかった 「動詞句」

neppure la tèsta ネッポーレ・ラ・テスト n.f 頭さえも 「目的語」

all'arrivo アッラーウヴォ adv. (時点) 到着の時に 「副詞句」

del piccolo principe. テル・ピッコロ・プリンチペ adj. 王子様の 「形容詞句」

「こんにちは」と、王子さまは言った。「あなたのタバコの火が消えていますよ」

"Buòn giòrno", gli disse quèsti. "La vòstra sigarétta si è spenta".

《「挨拶」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞句」》

XIII

"Buòn giòrno", ブォン・ジョルノ adv. こんにちは 「挨拶」
 gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 quésti. ケスティ pron (ふつう主語に用いられる) この人は、王子さまは 「主語」
 quésti ケスティ pron(quésto).pl この人たち
 "La vòstra sigarétta ラ・ヴォストラ・シガレッタ n.f あなたのタバコが 「主語」
 vòstra ヴォストラ adj(vòstro).f (2 人称単数の敬称として) あなたの
 vòstro ヴォストロ adj. (2 人称複数) 君たちの、あなた方の
 si è spenta". シ・エ・スペンタ 3 単現・完了形(spèngersi)v.pr 消えている 「動詞句」
 再帰動詞の完了形なので、過去分詞は主語と性・数一致



「3 たす 2 は 5。5 たす 7 は 12」

"Tre più due fa cinque. Cinque più sette: dodici.

《「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」:「目的語」》

"Tre più due トレ・ピウ・ドゥエ n. 3 たす 2 は
 più ピウ adv. たす

「主語」

XIII

fa ファ 3 単現(fare)v.t 作る 「動詞」
 cinque. チンケ n.m 5 を 「目的語」
 Cinque più sètte: チンケ・ピ・ウ・セッテ n. 5 たす 7 は 「主語」
 dódici. ドーデイチ n.m 12 「目的語」

「12 たす 3 は 15。こんにちは」

Dódicì piú tre: quìndicì. Buòn giòrno. 《「主語」：「目的語」 | 「挨拶」》
 Dódicì piú tre: ドーデイチ・ピ・ウ・トレ n. 12 たす 3 は 「主語」
 quìndicì. クインデイチ n.m 15 「目的語」
 Buòn giòrno. ブォン・ジョルノ adv. こんにちは 「挨拶」

「15 たす 7 は 22」

Quìndicì piú sètte fa ventidùe. 《「主語」「動詞」「目的語」》
 Quìndicì piú sètte クインデイチ・ピ・ウ・セッテ n. 15 たす 7 は 「主語」
 fa ファ 3 単現(fare)v.t 作る 「動詞」
 ventidùe. ベンチトゥエ n.m 22 「目的語」

「22 たす 6 は 28。タバコに火を付け直す時間がない」

Ventidùe piú sèi: ventotto. Non ho tèmpo per riaccenderla. 《「主語」「補語」 | 「動詞句」「目的語」》
 Ventidùe piú sèi: ヴェンチトゥエ・ピ・ウ・セイ n. 22 たす 6 は 「主語」
 ventotto. ヴェントット n.m 28 「補語」
 Non ho ノ・ノ 1 単現・否定(avére)v.t ～がない 「動詞句」
 tèmpo テンポ n.m 時間 「目的語」
 per riaccenderla. ペル・リアチェンデル・ラ adj.(per+不定詞 riaccendere+la)
 (目的) それに火を付け直すための 「形容詞句」

「26 たす 5 は 31」

Ventisèi piú cinque trentuno. 《「主語」「補語」》
 Ventisèi piú cinque ヴェンチセイ・ピ・ウ・チンケ n. 26 たす 5 は 「主語」
 ここで計算を間違えている。本当は **Ventotto** piú cinque trenta-tré.
 trentuno. トレントゥノ n.m 21 「補語」

「やれやれ。これで 5 億 162 万 2731 になる」

Ouf! Dúnque fa cinquecento e un milióne seicento ventidùemila sèttecento trentuno".
 《「感嘆」 | Dúnque 「動詞」「目的語」》

XIII

Ouf! ウフ int. (フランス語) やれやれ! 「感嘆」

Dunque ドゥンクェ conj. (結論的) したがって、それで

fa ファ 3 単現(fare)v.t (計算が) ～となる 「動詞」

cinquecento e un milióne seicento ventidùemila sètteceto trentuno".

チンクェチェント・エ・ウン・ミリオネ・セイチェント・ヴェンチトゥーエミラ・セッテチェント・トレントウノ

n.m 5 億 162 万 2731 「目的語」

「5 億 100 万の何？」

"Cinquecento e un milióne di che?" 《「目的語」》

"Cinquecento e un milióne di チンクェチェント・エ・ウン・ミリオネ・ディ

adj. 5 億 100 万の 「形容詞句」

che?" ケ pron 何 「目的語」

「なに！まだそこにいたのか？5 億 100 万の... もう分からない。することが多すぎる」

"Hem! Sèi sèmpre lì? Cinquecento e un milióne di ... non lo so più. Ho talménte da fare!"

《「感嘆」 | 「動詞」「副詞句」 | 「形容詞句」

「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞」 | 「動詞」「副詞」「目的語」》

"Hem! エム int. (フランス語) えへん、おい 「感嘆」

Sèi セイ 2 単現・存在・疑問文(essere)v.i ～にいる 「動詞」

sèmpre センプレ adv. 相変わらず、いまだに、まだ 「副詞」

lì? リ adv. そこに 「副詞」

Cinquecento e un milióne di ... チンクェチェント・エ・ウン・ミリオネ・ディ

adj. 5 億 100 万の 「形容詞句」

non ...so ノン...ソ 1 単現・否定(sapére)v.t 分からない 「動詞句」

lo ロ pron それを 「目的語」

più. ピウ adv. (否定文で) もう～ない 「副詞」

Ho オ 1 単現(avére)v.t ～がある 「動詞」

talménte タルメンテ adv. それほど 「副詞」

da fare! ダー・ファーレ n. すべきこと 「目的語」

XIII

「おれはまじめな男だ。無駄話で時間をつぶしたりしない！2 たす 5 は 7」

Sono un uomo serio, io, non mi diverto con delle fröttole! Due più cinque: sette..."

《「動詞」「補語」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「目的語」》

Sono ソ 1 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

un uomo ウン・ウオーモ n.m 男 「補語」

serio, セーリオ adj. まじめな、きちんとした 「形容詞」

io, イオ pron おれは 「主語」

non mi diverto ノン・ミ・ディヴェルト 1 単現・否定(divertirsi)v.pr 気晴らしをしない 「動詞句」

con delle fröttole! コン・デッレ・フロットーレ adv.(fröttola) 無駄話で、作り話、ほら話 「副詞句」

Due più cinque: トゥエ・ピウ・チンケ n. 2 たす 5 は 「主語」

sette..." セッテ n.m 7 「目的語」

「5 億 100 万の何？」と、王子さまは繰り返した。彼は一度口に出した質問は決してあきらめなかった。

"Cinquecento e un milione di che?" ripeté il piccolo principe che mai aveva rinunciato a una domanda una volta che l'aveva espressa.

《「質問」》, 「動詞」「主語」

"Cinquecento e un milione di che?" チンケチェント・エ・ウン・ミリオーネ・ディ・ケ

pron 5 億 100 万の何？ 「質問」

ripeté リペテ 3 単遠(ripetere)v.t 繰り返した 「動詞」

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

mai aveva rinunciato マーイ・アヴェーヴァ・ア・リンチアト 3 単半・完了形・否定(rinunciare)

v.i(a) (を) 一度もあきらめたことがなかった 「動詞句」

a una domanda ア・ウナ・トマンダ adv. 質問を 「間接目的語」

una volta che ウナ・ヴォルタ・ケ conj. いったん~したら 「副詞節」

l' ラ pron.f 質問を 「目的語」

aveva espressa アヴェーヴァ・エスプレッサ 3 単半・完了形.f(esprimere)

v.t 口に出した 「動詞句」

事業家は頭を上げた：

L'uomo d'affari alzò la testa: 「主語」「動詞」「目的語」

L'uomo ルオーモ n.m 男は 「主語」

d'affari ダッファリー adj.(affare). 事業の 「形容詞句」

alzò アルツォ 3 単遠(alzare)v.t 上げた 「動詞」

la testa: ラ・テスタ n.f 頭を 「目的語」

XIII

「この惑星に住み始めた 54 年前から今までに、3 回しか邪魔されたことがない」

"Da cinquantaquattro anni che abito in questo pianeta non sono stato disturbato che tre volte.

《「副詞句」「動詞句」「副詞句」》

"Da cinquantaquattro anni ター・チンクワンタワットロ・アンニ

adv. 54 年前に、54 年前からずっと

「副詞句」

che ケ adv. ～する

「副詞節」

abito アビト 1 単現(abitare)v.i 住んでいる

「動詞」

in questo pianeta イン・クェスト・ピ・アネ・タ adv. この惑星に

「副詞句」

non sono stato disturbato ノン・ソー・ノ・スタート・ディストルバート 1 単現・完了形・受動・否定

(disturbare)v.t 邪魔されなかった

「動詞句」

che tre volte. ケ・トレ・ヴァルテ adv. (non...che) 3 回しか

「副詞句」

「最初は、22 年前に、黄金虫がどこから落ちてきた時だった。」

La prima volta è stato ventidue anni fa, da una melolonta che era caduta chissà da dove.

《「主語」「動詞句」「副詞句」》

La prima volta ラ・プリーマ・ヴァールタ n.f 最初の時は

「主語」

è stato エ・スタート 3 単現・完了形(essere)v.i ～だった

「動詞」

ventidue anni fa, ヴェンチトゥエ・アンニ・ファ adv. 22 年前

「副詞句」

da una melolonta ター・ウナ・メロロンタ adv. (動作主) コフキ黄金虫によって

「副詞句」

che ケ pron.f (主語: melolonta) ～する

「形容詞節」

era caduta エラ・カトゥータ 3 単半・完了形.f(cadere)

v.i 落ちてきた

「動詞句」

chissà キッサ adv. 分かるものか

「副詞句」

da dove. タ・ドゥーヴェ adv. どこからか

「副詞句」

複合時制の過去分詞

「複合時制」では、助動詞は *essere* か *avere* のどちらかが用いられる。*essere* の時には、過去分詞が主語の性・数に一致して語尾変化 (～o, i, a, e) をする。

「そいつはすごい雑音を立てた。それで、足し算で 4 回も間違えてしまった」

Faceva un rumore spaventoso e ho fatto quattro errori in una addizione.

《「動詞」「目的語」e「動詞句」「目的語」「副詞句」》

Faceva ファチェーヴァ 3 単半(fare)v.t (音を) 立てた

「動詞」

un rumore ウン・ルモレ n.m 雑音を

「目的語」

spaventoso スパヴェントソ adj. ものすごい

「形容詞」

e エ conj. (結果) それで

ho fatto オ・ファット 1 単現・完了形(fare)v.t (行為を) した

「動詞句」

XIII

quattro errori クワットロ・エローリ pl(errore).n.m 4 回の間違いを 「目的語」
in una addizione. イン・ウナ・アディツィオーネ adv. 足し算で 「副詞句」

2 回目は、11 年前にリウマチの発作のせいだった。

La seconda volta è stato undici anni fa per una crisi di reumatismi.

「主語」「動詞」「副詞句」

La seconda volta ラ・セコンダ・ヴォルタ n.f 2 回目は 「主語」
è stato エ・スタート 3 単現・完了形(essere)v.i ~だった 「動詞」
undici anni fa ウンデイチ・アニ・ファ adv. 11 年前 「副詞句」
per una crisi ヘル・ウナ・クリジ adv. (原因) 発作のために 「副詞句」
di reumatismi. デイ・レウマティズミ adj(reumatismo).m.pl リウマチの「形容詞句」

「体を動かすことがないんだ。ぶらつく時間がないんだ」

Non mi muovo mai, non ho il tempo di girandolare.

《「動詞句」「副詞」, 「動詞句」「目的語」》

Non mi muovo ノン・ミ・ムーヴォ 1 単現・否定(muoversi)v.pr 体を動かさない 「動詞句」
mai, マイ adv. 決して~ない 「副詞」
non ho ノ・ノ 1 単現・否定(avere)v.t ~がない 「動詞句」
il tempo イル・テンポ n.m 時間 「目的語」
di girandolare. デイ・ジラントラレ 不定詞・目的 v.i ぶらつくための 「形容詞句」

「俺はまじめな男だ！3 度目は... 今回だ！ところで、5 億 100 万と言っていたな」

Sono un uomo serio, io. La terza volta ... èccolo! Dicevo dunque cinquecento e un milione".

《「動詞」「補語」「主語」 | 「主語」「補語」 | 「動詞」dunque「目的語」》

Sono ソノ 1 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
un uomo serio, ウン・ウオーモ・セリオ n.m まじめな男 「補語」
io. イーオ pron 俺は 「主語」
La terza volta ... ラ・テルツァ・ヴォルタ n.f 3 度目は 「主語」
èccolo! エッコロ pron これだ、今回だ 「補語」
Dicevo デイチェヴォ 1 単半(dire)v.t 言っていた 「動詞」
dunque トゥンケ conj. (話題転換) ところで
cinquecento e un milione". チンクエセント・エ・ウン・ミリオネ n.m 5 億 100 万 「目的語」

「100 万の何？」

"Milióne di che?" 「質問」

"Milióne di che?" ミリオネ・デイ・ケ pron 100 万の何？ 「質問」

XIII

実業家は安らぎの望みがないことを理解した。

L'uomo d'affari capì che non c'era speranza di pace.

「主語」「動詞」「目的語」

L'uomo d'affari ルオーモ・ダッファアリ n.m 実業家は

「主語」

capì カピ° 3 単遠(capire)v.t 理解した、分かった

「動詞」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

non c'era ノン・チェラ 3 単半・存在・否定・時制の一致(esserci)v.i ～がない

「動詞句」

speranza スペランツァ n.f 望みが、希望が

「主語」

di pace. ディ・パ・チェ adj. 安らぎの

「形容詞句」

「時々それに見えるあの無数の小さなものだよ」

"Milion di quelle piccole cose che si vedono qualche volta nel cielo".

《「主語」》

"Milion di quelle piccole cose ミリオニ・ディ・ケッレ・ピッコレ・コセ

pl(cosa).n.f 無数のあの小さな物

「主語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

si vedono シ・ウヱトノ 3 複現・再帰受動(vedersi)v.pr 見える

「動詞句」

qualche volta クワルケ・ヴァールタ adv. 時々

「副詞句」

nel cielo". ネル・チェロ adv. 空に

「副詞句」

「ハエのこと？」

"Di mósche?"

「確認」

"Di mósche?" ディ・モスケ adj(mósca).pl.f ハエのこと？

「確認」

「いや違うよ、きらきら輝く小さいものだよ」

"Ma no, di piccole cose che brillano".

《「応答」, 「主語」》

"Ma no, マ・ノ adv. いや違う

「応答」

di piccole ディ・ピッコレ adj(piccolo).pl.f 小さい

「形容詞句」

cose コセ pl(cosa).n.f 物

「主語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

brillano". ブリラノ 3 複現(brillare)v.i 輝く

「動詞」

「蜂のこと？」

"Di api?"

《「確認」》

"Di api?" ディ・アピ° adj(ape).pl.f 蜂のこと？

「確認」

XIII

「違うよ、怠け者たちに空想させる金色に光るあの小さい物のことだよ。だけど、おれはまじめな男だ。空想している時間はない」

"Ma no. Di quelle piccole cose dorate che fanno fantasticare i poltróni. Ma sono un uomo sério. io! Non ho il tempo di fantasticare."

《「応答」 | 「主語」 | Ma 「動詞」 「補語」 「主語」 | 「動詞句」 「目的語」》

"Ma no. マノ adv. いや違う 「応答」

Di quelle piccole cose ディ・ケッレ・ピッコレ・コーセ adj(cosa).pl.f あの小さなものの事 「主語」

dorate ドラテ 過去分詞(dorare)adj(dorato).pl.f 金色に光る 「形容詞」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

fanno fantasticare ファンノ・ファンタスカレ 3 複現・使役(fare+不定詞)

v.t 空想させる 「動詞句」

i poltróni. イ・ポルトロニ pl(poltróni).n.m 怠け者たちに 「目的語」

Ma マ conj. しかし

sono ソノ 1 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

un uomo sério, ウン・ウオーモ・セーリオ n.m まじめな男 「補語」

io. イオ pron 俺は 「主語」

Non ho ノノ 1 単現・否定(avere)v.t ～がない 「動詞句」

il tempo イル・テンポ n.m 時間が 「目的語」

di fantasticare". ディ・ファンタスカレ 不定詞・目的 adj. 空想するための 「形容詞句」

「ああ、星の事？」

"Ah! di stéle?" 《「感嘆」 「確認」》

"Ah! アア int. ああ 「感嘆」

di stéle?" ディ・ステッレ adj(stélla).pl.f 星のこと？ 「確認」

「そうだそれだよ。星の事だよ」

"Eccoci. Di stéle." 《「応答」》

"Eccoci. エッコ・チ adv. そうだそれだ 「応答」

Di stéle". ディ・ステッレ adj(stélla).pl.f 星のことだ 「応答」

「それで、5億の星で何をするの？」

"E che ne fai di cinquecento milioni di stéle?"

《E 「目的語」 「副詞句」 「動詞」 「副詞句」》

"E エ conj. それで

che ケ pron 何を 「目的語」

ne ...di cinquecento milioni di stéle?" ネ... ディ・チンクェチェント・ミリオニ・ディ・ステッレ

XIII

adv. (手段) 5 億の星で 「副詞句」
 fai ファイ 2 単現・疑問文(fare)v.t (行為を) するの? 「動詞」
 Che **ne** fai **dell'altra stoffa**? 残りの布地で何を作るの?

「5 億 162 万 2731 個だ。おれはまじめな男だ。おれは正確な男なんだ」

"Cinquecento e un milione seicentoventiduemilasettecentotrentuno. Sono un uomo serio io, sono un uomo preciso." 《「応答」 | 「動詞」「補語」「主語」, 「動詞」「補語」》

"Cinquecento e un milione seicentoventiduemilasettecentotrentuno.

チンクェチェント・エ・ウン・ミリオーネ・セイチェントウヰェンチトウエミラセツェチェント trentuno

pl.n.m 5 億 162 万 2731 個だ 「応答」
 Sono ソーノ 1 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 un uomo sério ウン・ウオーモ・セーリオ n.m まじめな男 「補語」
 io, イーオ pron 俺は 「主語」
 sono ソーノ 1 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 un uomo preciso." ウン・ウオーモ・プレチーゾ n.m 正確な男 「補語」

「それで、君はこれらの星で何をするの?」

"E che te ne fai di quèste stéllle?"

《「E」「直接目的語」「間接目的語」「副詞句」「動詞」「副詞句」》

"E エ conj. そして

che ケ pron 何を 「直接目的語」

te テ pron 君にとって 「間接目的語」

ne ネ adv. (di quèste stéllle の先出し) それによって 「副詞句」

fai ファイ 2 単現・疑問文(fare)v.t するの? 「動詞」

di quèste stéllle?" ティ・クェステ・ステッレ adv(stélla). (手段) これらの星で 「副詞句」

「おれがそれで何をするかだって?」

"Che cosa me ne faccio?" 《「直接目的語」「間接目的語」「副詞」「動詞」》

"Che cosa ケ・コサ n.f 何を 「直接目的語」

me メ pron 自分にとって 「間接目的語」

ne ネ adv. それによって 「副詞」

faccio?" ファッチョ 1 単現・疑問文(fare)v.t するかだって? 「動詞」

「そうだよ」

"Sì". 《「応答」》

"Sì". シ adv. そうだよ 「応答」

XIII

「何にもしない。それらを所有している」

"Niente. Le possiedo io".

《「応答」 | 「目的語」「動詞」「主語」》

"Niente. ニエンテ pron 何も～ない

「応答」

Le レ pron.f.pl (la の複数形; stéllé の代用) それらを

「目的語」

possiedo ホッシエデ 1 単現(possedere)v.t 所有している

「動詞」

io". イオ pron おれは

「主語」

「星たちを所有しているだって？」

"Tu possiedi le stéllé?"

《「主語」「動詞」「目的語」》

"Tu トゥ pron 君は

「主語」

possiedi ホッシエディ 2 単現(possedere)v.t 所有している

「動詞」

le stéllé?" レステッレ pl(stélla).n.f 星たちを

「目的語」

「そうだよ」

"Sì".

《「応答」》

"Sì". シ adv. そうだよ

「応答」

「だけど、以前に会った王様は...」

"Ma ho già veduto un re che..."

《Ma 「動詞句」「目的語」「主語」》

"Ma マ conj. しかし

ho già veduto オ・ジャ・ヴェトゥート 1 単現・完了形(vedere+ già)

v.t 以前に会った

「動詞句」

un re ウン・レ n.m ある王様に

「目的語」

che..." ケ pron 彼は

「主語」

「王たちは所有しない。支配するんだ。これは大きな違いだよ」

"I re non possiedono. Ci regnano sopra. È molto diverso".

《「主語」「動詞句」 | 「副詞句」「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「補語」》

"I re イ・レ pl(re).n.m (無変) 王たちは

「主語」

non possiedono. ノン・ホッシエトノ 3 複現・否定(possedere)v.t 所有しない

「動詞句」

Ci ...sopra. チ...ソプラ adv. それらの上から

「副詞句」

regnano レニャノ 3 複現(regnare)v.t 支配する

「動詞」

È エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

molto diverso". モルト・ディヴェルソ adj. 大きく異なる

「補語」

XIII

「それで、星たちを所有することは君にとって何の役に立つの？」

"E a che ti serve possédere le stéllé?"

《E 「間接目的語」 「動詞」 「主語」》

"E ㄷ conj. それで

a che ア・ケ adv. 何の

「間接目的語」

ti ティ pron 君にとって

「間接目的語」

serve セルヴェ 3 単現(servire)v.i(a に) 役に立つ

「動詞」

possédere ポッセデーレ 不定詞 n. 所有することは

「主語」

le stéllé?" レ・ステル pl(stélla).n.f 星を

「目的語」

「俺が金持ちになるのに役立つ」

"Mi serve ad essere ricco".

《「間接目的語」 「動詞」 「間接目的語」》

"Mi ミ pron 俺にとって

「間接目的語」

serve セルヴェ 3 単現(servire)v.i(a に) 役に立つ

「動詞」

ad +不定詞 アド adv. ～することに

「間接目的語」

essere エッレ 不定詞・変化(èssere)v.i ～になる

「動詞」

ricco". リッコ adj. 金持ちの

「補語」

「それじゃあ、金持ちになることは君にとって何の役に立つの？」

"E a che ti serve essere ricco?"

《E 「間接目的語」 「動詞」 「主語」》

"E ㄷ conj. そして

a che ア・ケ adv. 何の

「間接目的語」

ti ティ pron 君にとって

「間接目的語」

serve セルヴェ 3 単現(servire)v.i(a に) 役に立つ

「動詞」

essere ricco?" エッレ・リッコ 不定詞句 n. 金持ちになることは

「主語」

「誰かが他の星を見つけたら、それを買うことができる」

"A comperare delle altre stéllé, se qualcuno ne trova".

《「副詞句」》

"A +不定詞 ア 不定詞 adv. (目的) ～するために

「副詞句」

comperare コンペラーレ 不定詞(= comprare)v.t 買う

「動詞」

delle altre stéllé, デッレ・アルトレ・ステル pl(stélla).n.f 他の星を

「目的語」

delle = di le (de la の部分冠詞) いくつかの

se セ conj. もし～したら

「副詞節」

qualcuno ケアルクノ pron 誰かが

「主語」

ne ネ pron (delle altre stéllé の代用) それらを

「目的語」

trova". トロヴァ 3 単現(trovare)v.t 見つける

「動詞」

XIII

《この人は》と、王子さまは心の中で思った。《少しあの呑兵衛みたいな考え方をするな》
それでも、さらに質問した。

Quésto qui, si disse il piccolo principe, ragiona un po' còme il mio ubriacóne.

Ma pure domandò ancóra:

“「主語」”, 「動詞句」 「主語」, “「主語」”, Ma pure 「動詞」 「副詞」
Quésto クェスト pron この人は 「主語」
qui, クィ pron (主語) ～する 「形容詞節」
si disse シ・ディッセ 3 単遠(dirsi)v.pr 心の中で思った 「動詞句」
il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
ragiona ラジォナ 3 単現(ragionare)v.i 考え方をしている 「動詞」
un po' còme ウン・ポ・コーメ conj. 少し～のような 「副詞句」
il mio ubriacóne. イル・ミー・ウブリアコーネ n.m あの呑兵衛 「目的語」
Ma pure マ・プーレ conj. それでも
domandò ドマント 3 単遠(domandare)v.t 質問した 「動詞」
ancóra: アンコーラ adv. さらに 「副詞」

「どうしたら、星を所有することができるの？」

"Cóme si può possedere le stéлле?" 《「副詞」 「動詞句」 「目的語」》
"Cóme コーメ adv. どのようにして 「副詞」
si può possedere シ・プ・オ・ポッセデーレ 3 単現・可能・疑問文(potére+不定詞 possedersi)
v.pr 所有することができるの? 「動詞句」
le stéлле?" レ・ステッレ pl(stéлла).n.f 星を 「目的語」

「星は、誰のものかね？」と、歯ぎしりをしながら、実業家は答えた。

"Di chi sono?" rispose facendo stridere i dènti l'uòmo d'affari.

《「補語」 「動詞」》, 「動詞」 「副詞句」 「主語」
"Di chi ディ・キ adj. (所有) 誰のもの 「補語」
sono?" ソーノ 3 複現(èssere)v.i ～である 「動詞」
rispose リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた 「動詞」
facendo ファチェント ジェルンディオ・使役・同時(fare)v.t(+不定詞) ～させながら 「副詞句」
stridere ストリデーレ 不定詞・denti の動作 v.i きしむ 「補語」
i dènti イ・デントチ pl(dènte).n.m 歯を 「目的語」
l'uòmo d'affari. ルオーモ・ダッファリー n.m 実業家は 「主語」

フランス語版では :

「星は、誰のものかね？」と事業家は、**気難しげ**に言い返した。

---- À qui sont-elles ? riposta, **grincheux**, le businessman.

フランス語版では :

XIII

「歯ぎしりをして」という句ではなく、「気難し気に」という単語で簡明に表現している

「それは知らない。誰のものでもないよ」

"Non lo so, di nessuno". 《「動詞句」「目的語」「動詞句」,「補語」》
 "Non ...so, ノ...ソ 1 単現・否定(sapère)v.t 知らない 「動詞句」
 lo ロ pron それを 「目的語」
 di nessuno". ディ・ネッスノ adj. 誰のものでもない 「補語」

「それなら、星はおれのものだ。俺が最初に所有することを思いついたのだから」

"Allóra sono mie che vi ho pensato per il primo". 《「副詞」「動詞」「補語」「副詞節」》
 "Allóra アッローラ adv. それでは、それなら 「副詞」
 sono ソーノ 3 複現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 mie ミエ pron(mio).pl.f おれのもの 「補語」
 che ケ conj. (原因節を導いて) ~なのだから 「副詞節」
 vi ヴィ pron.pl そのことを 「目的語」
 ho pensato オ・ペンサート 1 単現・完了形(pensare)v.t 思いついた 「動詞句」
 per il primo". ペル・イル・プリーモ adv. 最初に 「副詞」

「それで充分なの？」

"È quèsto basta?" 《「動詞」「主語」「補語」》
 "È エ 3 単現・疑問文(èssere)v.i ~なのか? 「動詞」
 quèsto ケスト pron これは 「主語」
 basta?" バスタ adj. 十分な 「補語」
 basta バスタ int. もう十分、もう結構、もうたくさん

「もちろんだよ。君が誰のものでもないダイヤモンドを見つけたら、それは君のものだよ。
 君が誰のものでもない島を見つけたら、それは君のものだよ。」

"Cèrto. Quando trovi un diamante che non è di nessuno, è tuo. Quando trovi un'isola che non è di nessuno, è tua".
 《「補語」 | 「副詞節」,「動詞」「補語」 | 「副詞節」,「動詞」「補語」》
 "Cèrto. チェルト adj. 確実な、明らかな 「補語」
 Quando +接続法 クワント conj. (仮定・条件) ~したら 「副詞節」
 trovi トロヴィ 接・2 単現(trovare)v.t 見つける 「動詞」
 un diamante ウン・ディアマンテ n.m ダイヤモンドを 「目的語」
 che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 non è ノ・ネ 3 単現・否定(èssere)v.i ~でない 「動詞」

XIII

di nessuno, ディ・ネッスノ	adj. 誰のものでもない	「補語」
è エ	3 単現(èssere)v.i ~である	「動詞」
tuo. トゥーオ	pron.m 君のもの	「補語」
Quando +接続法 クワント`	conj. (仮定・条件) ~したら	「副詞節」
trovi トロヴィ	接・2 単現(trovare)v.t 見つける	「動詞」
un'isola ウニゾラ	n.f 島を	「目的語」
che ケ	pron (主語) ~する	「形容詞節」
non è ノネ	3 単現・否定(èssere)v.i ~でない	「動詞」
di nessuno, ディ・ネッスノ	adj. 誰のものでもない	「補語」
è エ	3 単現(èssere)v.i ~である	「動詞」
tua. トゥーア	pron.f 君のもの	「補語」

「君がなにかアイデアを思い付いたら、そのアイデアの特許を取りなさい。そうすれば、それは君のものだ。それで、おれは星を所有している。なぜなら、誰も俺より先にその考えを思い付かなかったんだから」

Quando tu hai un'idea per il primo, la fai brevettare, ed è tua. E io possiedo le stéllé, perché mai nessuno prima di me si è sognato di possederle".

《「副詞節」, 「目的語」 「動詞句」, ed 「動詞」 「補語」

「動詞」 「補語」 | E 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞節」》

Quando クワント`	conj. (仮定) ~したら	「副詞節」
tu トゥ	pron 君が	「主語」
hai アイ	2 単現(haber)v.t ~がある	「動詞」
un'idea ウ・ニデア	n.f ある考え	「目的語」
per il primo, ペル・イル・プリモ	adv. 最初に、最初の人間として	「副詞句」
per primo ペル・プリモ	adv. 最初に、一番に、(コース料理の) 最初の料理として	
la ラ	pron (idea の代用) それを	「目的語」
fai brevettare, ファイ・ブレヴェッターレ	命・2 単現・使役(fare+不定詞 brevettare)	
v.t	特許を認めさせなさい	「動詞句」
ed エ`	conj. すると	
è エ	3 単現(èssere)v.i ~である	「動詞」
tua. トゥーア	pron 君のもの	「補語」
E エ	conj. それで	
io イーオ	pron おれは	「主語」
possiedo ポッシェート`	1 単現(possedere)v.t 所有している	「動詞」
le stéllé, レ・ステッレ pl(stélla).n.f	星を	「目的語」
perché ペルク	conj. なぜなら、~なので	「副詞節」

XIII

mai nessuno マーイ・ネッスーノ pron 誰も～ない	「主語」
prima di me プリーマ・ディ・メ adv. 俺よりも先に	「副詞句」
si è sognato シ・エ・ソニャート 3 単現・完了形・否定文(sognarsi)	
v.pr(di+不定詞) ～することを夢見なかった	「動詞句」
di possederle". ディ・ポッセデル・ロ 不定詞(possedere+le)	
v.t それらを所有する	「動詞句」

「その通りだ」と、王子さまは言った。「それで何をするの？」

"Questo è véro", disse il piccolo principe. "Che te ne fai?"

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「直接目的語」「主語」「間接目的語」「動詞」》	
"Questo ケスト pron これは、それは	「主語」
è エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
véro", ヴェーロ adj. 正しい、本当の	「補語」
disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った	「動詞」
il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは	「主語」
"Che ケ pron 何を	「直接目的語」
te テ pron 君は	「主語」
ne ネ pron それについて	「間接目的語」
fai?" ファイ 2 単現(fare)v.t する	「動詞」

「それらを管理するんだ。星を数えて、また数えなおすんだ」と、実業家は言った。「これは骨の折れることだよ。だけど、おれは真面目な男なんだ」

"Le amministro. Le conto e le racconto", disse l'uomo d'affari. "È una cosa difficile, ma io sono un uomo serio!" 《「目的語」「動詞」 | 「目的語」「動詞」 e 「目的語」「動詞」》,

「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」, ma 「主語」「動詞」「補語」》

"Le レ pron.pl (stéle の代用) それらを	「目的語」
amministro. アミニストロ 1 単現(amministrare)v.t 管理する	「動詞」
Le レ pron.pl (stéle の代用) それらを	「目的語」
conto コント 1 単現(contare)v.t 数える	「動詞」
e エ conj. そして	
le レ pron.pl (stéle の代用) それらを	「目的語」
raconto", リkonto 1 単現(contare)v.t 数えなおす	「動詞」
disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った	「動詞」
l'uomo d'affari. ルオーモ・ダッファリー n.m 実業家は	「主語」
"È エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
una cosa difficile, ウナ・コーサ・ディッフィチレ n.f 骨の折れる事	「補語」

XIII

ma マ conj. しかし

io イオ pron おれは 「主語」

sono ソーノ 1 単現(essere)v.i 〜である 「動詞」

un uòmo sèrio!" ウン・ウオーモ・セーリオ n.m まじめな男 「補語」

王子さまはまだ満足していなかった。

Il piccolo principe non era ancóra soddisfatto. 「主語」「動詞句」「補語」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

non era ノン・エラ 3 単半・否定(essere)v.i 〜でなかった 「動詞句」

ancóra soddisfatto. アンコーラ・サデーソファット adj. (否定文で) まだ満足した〜でない 「補語」

「僕は、もし絹のネッカチーフを持っているなら、それを首の周りに巻き付けて、どこかに持ち運ぶことができる」

"Io, se possiedo un fazzoletto di séta, posso metterlo intórno al còllo e portarmelo via.

《「主語」, 「副詞節」, 「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「副詞」》

"Io, イオ pron 僕は 「主語」

se セ conj. もし〜ならば 「副詞節」

possiedo ポッシエド 1 単現(possedere)v.t 持っている 「動詞」

un fazzoletto ウン・ファツツレット n.m ネッカチーフ、ハンカチ 「目的語」

di séta, ディ・セータ adj. (素材) 絹の 「形容詞句」

posso metterlo ポツツ・メッテル・ロ 1 単現・可能(potére+不定詞 mettere+lo)

v.t それを身に着けることができる 「動詞句」

intórno al còllo イントルノ・アル・コッロ adv. 首の周りに巻き付けて 「副詞句」

e エ conj. そして

portarmelo ポルタル・メ・ロ 1 単現・可能(potére+不定詞 portare+me+lo)

v.t それを持ち運ぶことができる 「動詞句」

via. ヴィーア adv. どこかに 「副詞」

「もし僕が花を持っていれば、僕は自分の花を摘んで、持ち運ぶことができる。だけど、君は星を摘むことはできないよ」

Se possiedo un fióre, posso cògliere il mio fióre e portarlo con me. Ma tu non puoi cògliere le stélle".

《「副詞節」, 「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」「副詞句」 | Ma 「主語」「動詞句」「目的語」》

Se セ conj. もし〜ならば 「副詞節」

possiedo ポッシエド 1 単現(possedere)v.t 持っている 「動詞」

un fióre, ウン・フィオーレ n.m 花を 「目的語」

XIII

posso cògliere ポツ・コリエ 1 単現・可能(potére+不定詞 cògliere)

v.t 摘むことができる

「動詞句」

il mio fióre イル・ミオ・フィオーレ n.m 僕の花を

「目的語」

e エ conj. そして

portarlo ポルタルロ 1 単現・可能(potére+不定詞 portare+lo)

v.t それを持ち運ぶことができる

「動詞句」

con me. コン・メ adv. 僕と一緒に

「副詞句」

Ma マ conj. だけど

tu トゥ pron 君は

「主語」

non puoi cògliere ノン・プォイ・コリエ 2 単現・可能・否定(potére+不定詞 cògliere)

v.t 摘むことができない

「動詞句」

le stéllle". レ・ステッレ pl(stélla).n.f 星を

「目的語」

「そういうことはできないね。だけど、それらを銀行に預けることができる」

"No, ma posso depositarle alla banca".

《「応答」,ma 「動詞句」「副詞句」》

"No, ノ adv. できない

「応答」

ma マ conj. しかし

posso depositarle ポツ・デポジタルレ 1 単現・可能(potére+不定詞 depositare+le)

v.t それらを預けることができる

「動詞句」

alla banca". アッラ・バンカ adv. 銀行に

「副詞句」

「それは、どういう意味？」

"Che còsa vuol dire?"

《「目的語」「動詞句」》

"Che còsa ケ・コーサ pron 何を

「目的語」

vuol dire?" ヴォル・ティール 3 単現・願望(volére+不定詞 dire)v.t 意味する

「動詞句」

「小さな紙切れに星の個数を記入して、引き出しに入れて鍵をかけてしまっておくことさ」

"Vuol dire che scrivo su un pezzetto di carta il nùmero delle mie stéllle e pòi chiudo a chiave quèsto pezzetto di carta in un cassétto".

《「動詞句」「目的語」》

"Vuol dire ヴォル・ティール 3 単現・願望(volére+不定詞 dire)v.t 意味する

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

scrivo スクリヴォ 1 単現(scrivere)v.t 書く、記入する

「動詞」

su un pezzetto di carta ス・ウン・ペツェット・ティ・カルタ adv. 小さな紙切れに

「副詞句」

pèzzo ペツォ n.m 1 片 + -etto (縮小の接尾辞) carta カルタ n.f 紙

il nùmero イル・ヌーメロ n.m 個数、数字

「目的語」

delle mie stéllle テッレ・ミー・ステッレ adj. 星の

「形容詞句」

XIII

e エ conj. そして

pòi ポーイ adv. それから

「副詞」

chiudo キュド 1 単現(chiudere)v.t(in に) ～をしまっておく

「動詞」

a chiave ア・キアーヴェ adv. (手段) 鍵で

「副詞句」

quésto pezzetto di carta ケスト・ペッツェット・ディ・カルタ n.m この紙を

「目的語」

in un cassétto". イン・ウン・カセット adv. 引き出しに

「副詞句」

「それだけでいいの？」

"Tutto qui?"

《「応答」》

"Tutto qui?" トゥット・クィ adv. これがすべて？

「応答」

「それで充分さ！」

"È sufficiente".

《「動詞」「補語」》

"È 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

sufficiente". スフイチェンテ adj. 十分な

「補語」

「これは面白い」と、王子さまは思った。「かなり詩的だけど、あまり真面目ではないな」

È divertènte, pensò il piccolo principe, e abbastanza poético. Ma non è móltò sèrio.

《「動詞」「補語」》「動詞」「主語」, 《e「補語」 | Ma「動詞句」「補語」》

È 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

divertènte, ディヴェルテンテ adj. 面白い、愉快的

「補語」

pensò ペンソ 3 単遠(pensare)v.t 思った

「動詞」

il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

e エ conj. そして

abbastanza poético. アッバスタンツァ・ポエティコ adj. かなり詩的な

「補語」

Ma マ conj. しかし

non è ノネ 3 単現・否定(essere)v.i ～でない

「動詞句」

móltò sèrio. モルト・セリオ adj. (否定文で) あまり真面目な～でない

「補語」

王子さまは、真面目ということについて、大人たちとは大変異なる考えを持っていた。

Il piccolo principe aveva sulle cose serie delle idee móltò diverse da quelle dei grandi.

「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

aveva アヴェーヴァ 3 単半(avere)v.t 持っていた

「動詞」

sulle cose serie スル・コセ・セリエ adv. (関連) 真面目ということについて

「副詞句」

delle idee デッレ・イデー pl(idèa).n.f 考えを

「目的語」

XIII

mólto diverse モルト・ディヴ`エルセ adj(diverso).f.pl とても異なる 「形容詞句」

da ダー prep (起点) 〜から 「副詞句」

quélle ケツレ pron (idèa).pl 考え 「目的語」

dei grandi. デイ・グランディ adj. 大人たちの 「形容詞句」

「僕は」と、王子さまは言った。「一輪の花を持っていて、それに毎日水をやっている。火山を3つもっていて、毎週その煤払いをしている」

"Io", disse il piccolo principe, "possiedo un fióre che innaffio tutti i giòrni. Possiedo tre vulcani dei quali spazzo il camino tutte le settimane.

《「主語」》, 「動詞」「主語」,

《「動詞」「目的語」 | 「動詞」「目的語」, 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」》

"Io", イオ pron 僕は 「主語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

"possiedo ポッシェト 1 単現(possedere)v.t 持っている 「動詞」

un fióre ウン・フィオーレ n.m 一輪の花を 「目的語」

che ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」

innaffio インファィオ 1 単現(innaffiare)v.t 水をかけてやる 「動詞」

tutti i giòrni. トゥッティ・イ・ジョルニ adv. 毎日 「副詞句」

Possiedo ポッシェト 1 単現(possedere)v.t 持っている 「動詞」

tre vulcani トレ・ヴァルカーニ pl(vulcano).n.m 火山を3つ 「目的語」

dei quali デイ・クワリ adv. それらの 「間接目的語」

spazzo スパッツォ 1 単現(spazzare)v.t 掃除する 「動詞」

il camino イル・カミーノ n.m 煙突を 「直接目的語」

tutte le settimane. ツッテ・レ・セッティマーネ pl(settimana).n.f 毎週 「副詞句」

「だから、休火山までも煤払いをしているんだ。いつ噴火するか、誰にも分らないから。」

Perché spazzo il camino anche di quéllo spènto. Non si sa mai.

《Perché 「動詞」「主語」「目的語」 | 「動詞句」》

Perché ペルケ conj. だから

spazzo スパッツォ 1 単現(spazzare)v.t 掃除する 「動詞」

il camino イル・カミーノ n.m 煙突を 「目的語」

anche アンケ conj. 〜までも

di quéllo デイ・ケツロ adj. それ (火山 vulcano) の 「形容詞句」

spènto. スペント adj. (火が) 消えた 「形容詞」

Non si sa mai. ノン・シ・サ・マイ 3 単現・再帰受動・否定(sapersi)

XIII

v.pr 誰にも知られていない、誰にも分らない

「動詞句」

「僕が持っていることは、僕の火山たちにとって役に立つし、僕の花にとっても役に立つんだ。だけど、君は星たちにとって役に立っていないよ...」

È utile ai miei vulcani, ed è utile al mio fiore che io li possieda. Ma tu non sèi utile alle stéllle... 《「動詞」「補語」,ed「動詞」「補語」「主語」 | Ma「主語」「動詞句」「補語」》

È エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

utile ウーチレ adj. 役に立つ

「補語」

ai miei vulcani, アイ・ミエイ・ヴルカーニ adv. (対象) 僕の火山にとって

「副詞句」

ed エド conj. そして

è エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

utile ウーチレ adj. 役に立つ

「補語」

al mio fiore アル・ミオ・フィオーレ adv. (対象) 僕の花にとって

「副詞句」

che ケ conj. ~ということは

「主語」

utile という評価に導かれる従属節は接続法を使用する

io イオ pron 僕が

「主語」

li リ pron.pl それらを

「目的語」

possieda. ポッシェダ 接・1 単現(possedere)v.t 持っている、所有する

「動詞」

Ma マ conj. しかし

tu トゥ pron 君は

「主語」

non sèi ノン・セイ 2 単現・否定(essere)v.i ~でない

「動詞句」

utile ウーチレ adj. 役に立つ

「補語」

alle stéllle..." アレ・ステッレ adv.(stélla) (対象) 星たちにとって

「副詞句」

実業家は口を開けたが、答えるべきことが何も見つからなかった。それで、王子さまはその場を立ち去った。

L'uòmo d'affari aprì la bócca ma non trovò niènte da rispondere e il piccolo principe se ne andò. 「主語」「動詞」「目的語」ma「動詞句」「目的語」e「主語」「動詞句」

L'uòmo d'affari ルオーモ・ダッファアリ n.m 実業家は

「主語」

aprì 3 単遠(aprire)v.t 開けた

「動詞」

la bócca ラ・ボッカ n.f 口を

「目的語」

ma マ conj. しかし

non trovò ノン・トロヴァ 3 単遠・否定(trovare)v.t 見つからなかった

「動詞句」

niènte ニエンテ pron 何も~ない

「目的語」

da rispondere ダ・リスポンドレ 不定詞・目的 adj. 答えるべき

「形容詞句」

e エ conj. それで

XIV

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
 se ne andò . セ・ネ・アント 3 単遠(andàrsene)v.pr その場を立ち去った 「動詞句」

《まったく、大人って本当に変だな》と、王子さまは旅の間、単純にそう思った。

Decisaménte i grandi sono pròprio straordinàri, si disse sempliceménte durante il viaggio. 「副詞」「主語」「動詞」「補語」, 「動詞句」「副詞句」

Decisaménte デチサメンテ adv. まったく、決定的に 「副詞」

i grandi イ・グランディ pl(grande).n.m 大人は 「主語」

sono ソーノ 3 複現(essere)v.i 〜である 「動詞」

pròprio プロプリオ adv. 本当に 「副詞」

straordinàri, ストラオルディナリー adj(straordinàrio).pl.m 異常な、変わった 「補語」

si disse シ・ディッセ 3 単遠(dirsi)v.pr 心の中で思った 「動詞句」

sempliceménte センプリチェメンテ adv. 単純に 「副詞」

durante il viaggio. トゥランテ・イル・ウ・イアジジョ adv. 旅の間中 「副詞句」

XIV

5 番目の惑星はとても奇妙だった。

Il quinto pianéta era móltto strano. 「主語」「動詞」「補語」

Il quinto pianéta イル・クイント・ピ・アネータ n.m 5 番目の惑星は 「主語」

era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった 「動詞」

móltto strano. モルト・ストラノ adj. 非常に奇妙な、不思議な 「補語」

その惑星には、街灯とそれを点灯する点灯夫がやっと収容できる場所しかなかった。

Vi era appena il pósto per sistemare un lampióne e l'uòmo che l'accendeva.

「動詞句」「主語」「副詞句」

Vi era ヴィ・エラ 3 単半・存在(esservi)v.i 〜があった 「動詞句」

appena アッペーナ adv. かろうじて 「副詞」

il pósto イル・ポスト n.m 場所が 「主語」

per sistemare ヘル・システマーレ 不定詞・目的 adv. 〜を収容するために 「副詞句」

un lampióne ウン・ランビオーネ n.m 街灯を 「目的語」

e エ conj. そして

l'uòmo ルオーモ n.m 人を 「目的語」

che ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

l' ル pron (lampióne の代用) それを 「目的語」

accendeva. アチェンデーヴァ 3 単半・時制の一致(accendere)

XIV

v.t 点灯する

「動詞」

王子さまは、家も居住者もない惑星の空中をさ迷いながら、街灯と点灯夫が一体何の役に立つのかうまく理解できなかった。

Il piccolo principe non riusciva a spiegarsi a che potessero servire, sperdersi nel cielo, si di un pianeta senza case, senza abitanti, un lampione e il lampionàio.

「主語」「動詞句」「間接目的語」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

non riusciva a spiegarsi ノン・リウッシーヴァ・ア・ア・スビ° エカ° ルシ 3 単半・実行・否定(riuscire a+不定詞)

v.pr うまく理解できなかった

「動詞句」

a che ア・ケ adv. 何に対して～するかということについて

「間接目的語」

potessero servire, ポ° テッセル° セルヴァ° イレ 接・3 複半・推量

v.i(a に) いったい役立つことができるのか

「動詞句」

「主語」は街灯と点灯夫

sperdersi スペ° ルテルシ 不定詞・様態(spèrdersi)v.pr さ迷いながら

「副詞句」

nel cielo, ネル° チェーロ adv. 空中を

「副詞句」

si di un pianeta シ° ティ° ウン° ビ° アネ° タ adj. 惑星の「形容詞句」

senza case, センツァ° カセ adv. 家が無い

「副詞句」

senza abitanti, センツァ° アビ° タンティ adv. 居住者がいない

「副詞句」

un lampione e il lampionàio. ウン° ランビ° オーネ° エ° イル° ランビ° オーイオ

pl.n.m 街灯と点灯夫は

「主語」

それでも、彼は心の中で思った：

Eppure si disse:

「副詞」「動詞句」

Eppure エッ プ° レ adv. それでもなお

「副詞」

si disse: シ° ティ° ッセ 3 単遠(dirsi)v.pr 心の中で思った

「動詞句」

「この男は本当に理屈に合わないかもしれないな。それでも、王様や、見栄張り男や、実業家や飲んだくれほど理屈に合わないわけではないな」

"Forse quest'uomo è veramente assurdo. Pero è meno assurdo del re, del vanitoso, dell'uomo d'affari e dell'ubriacón.

《「副詞」「主語」「動詞」「補語」 | Pero 「動詞」「補語」》

"Forse フォールセ adv. ことによると、たぶん、おそらく

「副詞」

quest'uomo クェストウオーモ n.m この男は

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

veramente assurdo. ヴェ° ラメンテ° アッスルト° adj. 本当に理屈に合わない

「補語」

XIV

Pero ^{ペロ} conj. しかし

è ^エ 3 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」

meno assurdo ^{メノ・アッスルト} adj. より少なく理屈に合わない 「補語」

del re, ^{デル・レ} adv. (比較) 王様より 「副詞句」

del vanitoso, ^{デル・ヴァニトゾ} adv. 見栄張り男より 「副詞句」

dell'uòmo d'affari ^{デル・ウオ・ダ・フアーリ} adv. 実業家より 「副詞句」

e ^エ conj. そして

dell'ubriacón. ^{デル・ブリアコーネ} adv. 飲んだくれ 「副詞句」

「少なくとも、彼の仕事には意味がある。彼は街灯を点灯する。それはあたかも、星を一つ、または花を1つ生まれさせるようなものだ。街灯を消す時は、花や星を眠らせるんだ」

Alménò il suo lavóro ha un.sénso. Quésto accende il.suo.lampión. è cóme se facesse nascere una.stélla in.più, o un.fióre. Quando lo.spegne addormenta il.fióre.o.la.stélla.

《「副詞」「主語」「動詞」「目的語」

「主語」「動詞」「目的語」, 「動詞」「副詞節」 | 「動詞」「目的語」》

Alménò ^{アルメノ} adv. 少なくとも、ともかくも 「副詞」

il suo lavóro ^{イル・ス・オ・ラヴ・オーロ} n.m 彼の仕事は 「主語」

ha ^ア 3 単現(avére)v.t ~がある 「動詞」

un sénso. ^{ウン・センソ} n.m 意味 「目的語」

Quésto ^{クエスト} pron この男は 「主語」

accende ^{アチェンテ} 3 単現(accèndere)v.t 点灯する 「動詞」

il suo lampión, ^{イル・ス・オ・ランピ・オーネ} n.m 彼の街灯を 「目的語」

è ^エ 3 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」

cóme se +接続法 ^{コメ・セ} conj. まるで~であるかのように 「副詞節」

facesse nascere ^{ファチェッセ・ナッシェレ} 接・3 単半・使役(fare+不定詞)

v.t 生まれさせる 「動詞句」

una stélla ^{ウナ・ステッラ} n.f 星を1つ 「目的語」

in piú, ^{イン・ピウ} adv. さらに 「副詞句」

o ^オ conj. または

un fióre. ^{ウン・フィオーレ} n.m 花を1つ 「目的語」

Quando ^{クワント} conj. ~するとき 「副詞節」

lo ^ロ pron 街灯を 「目的語」

spegne ^{スペ・ニエ} 3 単現(spègnere)v.t 消す 「動詞」

addormenta ^{アット・ルメンタ} 3 単現(addormentare)v.t 眠らせる 「動詞」

il fióre o la stélla. ^{イル・フィオーレ・オ・ステッラ} pl.n 花や星を 「目的語」

XIV

「これは非常に美しい仕事だ。美しいから、本当に役に立つ仕事だ。」

È una bellissima occupazione, ed è veramente utile, perché è bella".

《「動詞」「補語」,ed「動詞」「補語」,「副詞節」》

È エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

una bellissima occupazione, ウナ・ベリッシマ・オカパチオーネ n.f 非常に美しい仕事

「補語」

ed エ conj. そして

è エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

veramente utile, ヴェラメンテ・ウチレ adj. 本当に役に立つ

「補語」

perché ペルケ conj. (理由) ~なので

「副詞節」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

bella". ベッラ adj(bello).f 美しい

「補語」

この惑星に乗り込んだ時、王子さまは点灯夫にうやうやしく挨拶した。

Salendo sul pianeta salutò rispettosamente l'uomo:

「副詞節」,「動詞」「副詞」「目的語」

Salendo サレント ジェルンディオ・同時(salire)adv. 乗り込んだ時

「副詞句」

sul pianeta スル・ピアネータ adv. この惑星に

「間接目的語」

salutò サルト 3 単遠(salutare)v.t 挨拶した

「動詞」

rispettosamente リスペットサメンテ adv. 丁重に、うやうやしく

「副詞」

l'uomo: ルオーモ n.m 男 (点灯夫) に

「目的語」

「おはよう。どうして街灯を消すの？」

"Buon giorno. Perché spegni il tuo lampione?" 《「挨拶」 | 「副詞」「動詞」「目的語」》

"Buon giorno. ブオン・ジョルノ adv. おはよう

「挨拶」

Perché ペルケ adv. どうして

「副詞」

spegni スペニ 2 単現(spegnere)v.t 消す

「動詞」

il tuo lampione?" イル・トゥーオー・ランピオーネ n.m 街灯を

「目的語」

「指令だよ」と、点灯夫は答えた。「おはよう」

"È la consegna" rispose il lampionàio. "Buon giorno".

《「動詞」「補語」》,「動詞」「主語」,《「挨拶」》

È エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

la consegna ラ・コンセニャ n.f 指令、命令

「補語」

rispose リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.i (質問に) 答えた

「動詞」

il lampionàio. イル・ランピオーアイ n.m 点灯夫は

「主語」

"Buon giorno". ブオン・ジョルノ adv. おはよう

「挨拶」

XIV

「指令って、何？」

"Che còs'è la conségna?"

《「補語」「動詞」「主語」》

"Che còs' ケ・コサ n.f 何？

「補語」

è エ 3 単現(essere)v.i 〜である

「動詞」

la conségna?" ラ・コンセーニャ n.f 指令は、命令

「主語」

「街灯を消すことだよ。こんばんは」

"È di spègnere il mio lampiône. Buona séra".

《「動詞」「補語」 | 「挨拶」》

"È エ 3 単現(essere)v.i 〜である

「動詞」

di spègnere ディ・スペーニエ 不定詞 n. 〜を消すこと

「補語」

il mio lampiône. イル・ミオ・ランピオーネ n.m 街灯を

「目的語」

Buona séra". ブオナ・セーラ adv.こんばんは

「挨拶」

それから、またそれに火をつけた。

E lo riaccése.

E 「目的語」「動詞」

E エ conj. それから

lo ロ pron それを

「目的語」

riaccése. リアチェセ 3 単遠(riaccendere)v.t 再び火をつけた

「動詞」

「どうして、今またそれに火をつけるの？」

"E adèssu perché lo riaccendi?"

《E 「副詞句」「目的語」「動詞」》

"E エ conj. それで

adèssu アデッソ adv. たった今

「副詞」

perché ペルケ adv. どうして

「副詞」

lo ロ pron それを

「目的語」

riaccendi?" リアチェンディ 2 単現(riaccendere)v.t 再び火をつけている

「動詞」

「指令だよ」

"È la conségna".

《「動詞」「補語」》

"È エ 3 単現(essere)v.i 〜である

「動詞」

la conségna". ラ・コンセーニャ n.f 指令

「補語」

「理解できないな」と、王子さまは言った。

"Non capisco", disse il piccolo principe.

《「動詞句」》, 「動詞」「主語」

"Non capisco", ノン・カピスコ 1 単現・否定(capire)v.t 理解できない

「動詞句」

XIV

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

「理解することなんて何もないさ」と、点灯夫は言った。「指令は指令。おはよう。そう言
 って、街灯を消した」

"Non c'è nulla da capire", disse l'uomo, "la conségna è la conségna. Buòn giòrno". E
 spense il lampiône. 《「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」,

《「主語」「動詞」「補語」 | 「挨拶」 | E 「動詞」「目的語」》

"Non c'è ノン・チェ 3 単現・存在・否定(esserci)v.i 〜がない 「動詞句」

nulla ヌッラ pron (否定文で) 何も〜ない 「主語」

da capire", ダ・カピレ 不定詞・目的 adj. 理解すべき 「形容詞句」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

l'uomo, ルオーモ n.m 男は、点灯夫は 「主語」

"la conségna ラ・コンセーニャ n.f 指令は 「主語」

è エ (èssere)v.i 〜である 「動詞」

la conségna. ラ・コンセーニャ n.f 指令 「補語」

Buòn giòrno". ブオン・ジョルノ adv. おはよう 「挨拶」

E エ conj. そして

spense 3 単遠(spègnere)v.t 消した 「動詞」

il lampiône. イル・ランピオーネ n.m 街灯を 「目的語」

それから、赤いチェックのハンカチで自分の額を拭いた。

Pòi si asciugò la frónte con un fazzoletto a quadri rossi.

「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Pòi ポーイ adv. それから 「副詞」

si asciugò シ・アシュゴ 3 単遠(asciugarsi)v.pr (自分の体を) 拭いた 「動詞句」

la frónte ラ・フロンテ n.f 額を 「目的語」

con un fazzolétto コン・ウン・ファッツォレット adv. (道具) ハンカチで 「副詞句」

a quadri rossi. ア・クワトリ・ロッシ adv. (様態) 赤いチェックの 「形容詞句」

「恐ろしい仕事をしているのさ。昔は理にかなっていたんだ」

"Faccio un mestière terribile. Una vòlta era ragionevole.

《「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「動詞」「補語」》

"Faccio ファッチョ 1 単現(fare)v.t (行為を) している 「動詞」

un mestière ウン・メスチエーレ n.m 仕事を 「目的語」

terribile. テリービレ adj. 恐ろしい 「形容詞」

XIV

Una volta ウナ・ヴォールタ adv. 昔は、かつて、1度、1回 「副詞句」
 era エラ 3 単半(essere)v.i. ～だった 「動詞」
 ragionevole. ラジヨネーヴォレ adj. 合理的な、妥当な 「補語」

「朝には火をつけ、夕方には灯を消したものだ。そして、昼間の残りは休み、夜間の残りは眠ったものだよ...」

Accendevo al mattino e spegnevo alla sera, e avevo il resto del giorno per riposarmi e il resto della notte per dormire..."

《「動詞」「副詞句」 e 「動詞」「副詞句」, e 「動詞」「目的語」 e 「目的語」》

Accendevo アチェンデーヴォ 1 単半・習慣(accendere)v.t. 火をつけたものだ 「動詞」
 al mattino アル・マッティーノ adv. 朝に 「副詞句」
 e エ conj. そして
 spegnevo スペニエーヴォ 1 単半・習慣(spegnere)v.t. 火を消したものだ 「動詞」
 alla sera, アッラ・セーラ adv. 夕方に 「副詞句」
 e エ conj. そして
 avevo アヴァーヴォ 1 単半・習慣(avere)v.t. ～があつたものだ 「動詞」
 il resto del giorno イル・レスト・テル・ジヨルノ n.m. 昼間の残り 「目的語」
 per riposarmi ペル・リボサルミ adv. 休むために 「副詞句」
 e エ conj. そして
 il resto della notte イル・レスト・テル・ノッテ n.m. 夜間の残り 「目的語」
 per dormire..." ペル・トルミーレ adv. 眠るために 「副詞句」

フランス語版では :

J'éteignais le matin et j'allumais le soir. 朝、火を消して、夕方、火をつける。

このイタリア語版では、Accendevo と spegnevo が逆になっている。

「それで、その時以来、指令は変更されたの？」

"E dopo di allora è cambiata la conségna?" 《E 「副詞句」「動詞句」「主語」》
 "E エ conj. そして、それで
 dopo di トーポ・ディ prep (時間) ～以来、～の後で 「副詞句」
 allora アッローラ adv. その時 「副詞」
 è cambiata エ・カンビアータ 3 単現・受動.f.疑問文(cambiare)v.t. 変更されたの? 「動詞句」
 la conségna?" ラ・コンセーニャ n.f. 指令は 「主語」

XIV

「指令は変わっていないんだ」と、点灯夫は言った。「まさにそれが悲劇なんだ。惑星は、毎年少しずつ速く回るようになった。それでも、指令は変更されないままなんだよ！」

"La conségna non è cambiata", disse il lampionàio, "è proprio questo il dramma. Il pianéta di anno in anno ha girato sèmpre più in fretta e la conségna non è stata cambiata!"

《「主語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」,

《「動詞」「補語」「主語」 | 「主語」「副詞句」「動詞句」「副詞句」 e 「主語」「動詞句」》

"La conségna ラ・コンセーニャ n.f 指令は 「主語」

non è cambiata", ノ・ネ・カンビアータ 3 単現・受動.f・否定(cambiare)

v.t 変更されていない 「動詞句」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

il lampionàio, イル・ランピォーアイ n.m 点灯夫は 「主語」

"è エ 3 単現(èssere)v.i 〜である 「動詞」

proprio questo プロープ リォ・ケスト pron まさにこれ 「補語」

proprio プロープ リォ adv. まさに questo ケスト pron これ

il dramma. イル・ドラマ n.m 悲劇は 「主語」

Il pianéta イル・ピァネータ n.m 惑星は 「主語」

di anno in anno ディ・アンノ・イン・アンノ adv. 年々、年ごとに 「副詞句」

ha girato ア・ジラート 3 単現・完了形(girare)v.i 回転している 「動詞句」

sèmpre più センプレ・ピウ adv. ますます 「副詞句」

in fretta イン・フレッタ adv. 急いで、速く 「副詞句」

e エ conj. そして、それなのに

la conségna ラ・コンセーニャ n.f 指令は 「主語」

non è stata cambiata!" ノ・ネ・スタータ・カンビアータ 3 単現・完了形・受動・否定(cambiare)

v.t 変更されないままである 「動詞句」

「それで？」と、王子さまは言った。

"Ebbène?" disse il piccolo principe. 《「応答」》, 「動詞」「主語」

"Ebbène?" エッベーネ conj. (答えを促す) それで? 「応答」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

「それで、1 分間で 1 回転する今となつては、ほんの短い時間も休めないんだ。1 分の間に、点灯と消灯を 1 度ずつするんだから」

"Ebbène, óra che fa un giro al minuto, non ho più un secóndo di ripòso. Accendo e spengo una vòlta al minuto!"

XIV

《「応答」, 「副詞句」, 「動詞句」「目的語」 | 「動詞」 e 「動詞」「副詞句」》

"Ebbène, エッバーネ conj. (前言を受けて) それで 「応答」

óra che オラ・ケ adv. ～する今では 「副詞句」

fa ファ 3 単現(fare)v.t ～する 「動詞」

un giro ウン・ジロ n.m 1 回転 「目的語」

al minuto, アル・ミヌート adv. 1 分間で 「副詞句」

non ho più ノ・ノ・ピウ 1 単現・否定(avére+ più)v.t もう～がない 「動詞句」

un secóndo n.m 短い時間 「目的語」

di ripòso. ティ・リポーソ adv. (目的) 休むための 「副詞句」

Accendo アチェント 1 単現(accèndere)v.t 点灯する 「動詞」

e エ conj. そして

spengo スペンゴ 1 単現(spègnere)v.t 消す、消灯する 「動詞」

una vòlta ウナ・ヴォルタ n.f 1 度 「副詞句」

al minuto!" アル・ミヌート adv. (割合) 1 分ごとに 「副詞句」

→ 自転周期 (1 日) が 1 分ならば、30 秒ごとに点灯と消灯を繰り返すことになる

「それはおかしい。君のところでは 1 日の長さが 1 分だなんて！」

"È divertènte! I giòrni da te durano un minuto!"

《「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」》

"È エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

divertènte! adj. 面白い、おかしい、奇妙な 「補語」

I giòrni イ・ジョルニ pl(giòrno).n.m それぞれ 1 日は 「主語」

da te ダ・テ adv. (場所) 君のところの 「副詞句」

durano ドゥラノ 3 複現(durare)v.i 続く 「動詞」

un minuto!" ウン・ミヌート n.m 1 分間 「副詞句」

「何もおかしいことはない」と、点灯夫は言った。

"Non è per nulla divertènte", disse l'uòmo. 《「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」

"Non è ノ・ネ 3 単現・否定(essere)v.i ～でない 「動詞句」

per nulla divertènte", ヘル・ヌッラ・ティウ・エルテンテ adv. (属性) 何も可笑しいような 「補語」

disse ティッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

l'uòmo. ルオーモ n.m 点灯夫は 「主語」

XIV



Je fais là un métier terrible.

XIV

「僕たちは、もう 1 か月も話続けているんだよ」

"Lo sai che stiamo parlando da un mese?"

《「動詞」「目的語」》

"Lo ㊦ pron 仮の目的語（真の目的語は che 以降）

sai サイ 2 単現・疑問文(sapére)v.t 知っているの？

「動詞」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

stiamo parlando スチアーモ・パルラント 1 複現・進行形(stare+ジェルンティオ parlare)

v.i 話続けている

「動詞句」

da ダー prep (時間の起点) ～前からずっと

「副詞句」

un mese?" ウン・メセ n.m 1 か月

「目的語」

「1 か月前からずっと？」

"Da un mese?"

《「副詞句」》

"Da ダー prep (時間の起点) ～前からずっと

「副詞句」

un mese?" ウン・メセ n.m 1 か月

「目的語」

「そう！30 分！：つまり 30 日。今晚は」

"Sì. Trenta minuti: trenta giorni!. Buona sera".

《「応答」 | 「副詞句」: 「副詞句」 | 「挨拶」》

"Sì. シ adv. そう

「応答」

Trenta minuti: トレンタ・ミヌーティ pl(minuto).n.m 30 分

「副詞句」

trenta giorni!. トレンタ・ジヨルニ pl(giorno)n.m 30 日

「副詞句」

Buona sera". ブオナ・セーラ adv. 今晚は

「挨拶」

そう言って、点灯夫は街灯に火をつけなおした。

E riaccese il suo lampione.

E 「動詞」「目的語」

E エ conj. そして

riaccese リアチェセ 3 単遠(riaccendere)v.t 火をつけなおした

「動詞」

il suo lampione. イル・スー・ランピオーネ n.m 彼の街灯を

「目的語」

王子さまは彼をじっと見た。そして指令にこれほど忠実な点灯夫を不意に好きになった。

Il piccolo principe lo guardò e sentì improvvisamente di amare questo uomo che era così fedele alla sua conségna.

「主語」「目的語」「動詞」 e 「動詞句」「副詞」「動詞句」「目的語」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

lo ㊦ pron 彼を

「目的語」

guardò グワルト 3 単遠(guardare)v.t じっと見た

「動詞」

XIV

e エ conj. そして

sentì センチ 3 単遠・知覚動詞(sentire)v.t(+di+不定詞) ～するのを感じた 「動詞句」

improvvisamente インプロヴィザメンテ adv.(= improvviso) 不意に、突然 「副詞」

di amare ディ・アマレ 不定詞 v.t 好きになる、愛する 「動詞句」

quésto uòmo ケスト・ウオーモ n.m この男を 「目的語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i ～である 「動詞」

così fedéle コシ・フェデーレ adj. これほど忠実な 「補語」

alla sua conségna. アッラ・スーア・コンセーニャ adv. 指令に対して 「副詞句」

昔、自分で椅子を動かしながら探した日の入りのことを思い出した。そして友達を助けたい
 と思った。

Si ricordò dei tramónti che lui stéssu una vòlta andava a cercare, spostando la sua sèdia.

E volle aiutare il suo amico: 「動詞句」「目的語」 | E 「動詞句」「目的語」

Si ricordò シ・リコルト 3 単遠(ricordarsi)v.pr(di を) 思い出した 「動詞句」

dei tramónti ディ・トラモンティ pl(tramónto).n.m 日の入り 「目的語」

che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

lui stéssu ルー・ステツツ pron 彼自身が 「主語」

una vòlta ウナ・ヴォルタ adv. 昔、かつて 「副詞句」

andava a cercare, アンダー・ヴァ・ア・チェルカーレ 3 単半・試行・習慣(andare a+不定詞)

v.t 探していた 「動詞句」

spostando スポ・スタント ジェルンディオ・同時(spostare)

adv. ～を移動しながら 「副詞句」

la sua sèdia. ラ・スーア・セーディア n.f 椅子を 「目的語」

E エ conj. そして

volle aiutare ヴォレ・アイターレ 3 単遠・希望(volére+不定詞)

v.t 助けたいと思った 「動詞句」

il suo amico: イル・スーオ・アミコ n.m 友達を 「目的語」

「ねえ... 君が休みたいときに休める方法を知っているよ...」

"Sai ... conosco un mòdo per riposarti quando vorrai ..."

《「呼びかけ」... 「動詞」「目的語」「副詞句」》

"Sai ... サイ 2 単現(sapére)v.t (聞き手の注意を引くための前置き) ねえ、おい「呼びかけ」

sai の他に、sa, sapete, devi sapére, dovete sapére などが同様に使用される

conosco コノスコ 1 単現(conócere)v.t 知っている 「動詞」

un mòdo ウン・モート n.m 方法を 「目的語」

XIV

per riposarti ペル・リボサル・ティ adv.(per+不定詞 riposarsi) (目的) 休むための 「副詞句」
 quando vorrai ..." クワント・ウォライ adv. 君が望むときに 「副詞句」
 vorrai ウォライ 2 単未(volére)v.t 望む

「いつだって、休みたいさ」と、点灯夫は言った。

"Lo vorrei sèmpre", disse l'uòmo. 《「目的語」「動詞」「副詞」》, 「動詞」「主語」
 "Lo ㇿ pron 休憩を 「目的語」
 vorrei ウォレイ 条・1 単現・推量(volére)v.t 望んでいると思う 「動詞」
 sèmpre", センプレ adv. いつだって 「副詞」
 disse ティッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 l'uòmo. ルォモ n.m 点灯夫は 「主語」

というのは、人は誰でも、仕事熱心であると同時に怠け者でもあるのだから。

Perché si può essere nello stèssu tèmpo fedéli e pigri. Perché 「動詞句」「補語」
 Perché ペルケ conj. というのは～なので
 si può essere シ・プォ・エッセレ 3 単現・可能性(potere+不定詞 essersi)
 v.i (状態) 自分自身が～であり得る 「動詞句」
 nello stèssu tèmpo ネロ・ステッス・テンポ adv. 同時に 「副詞句」
 fedéli フェデーリ adj(fedéle).pl 忠実な、仕事熱心な 「補語」
 e エ conj. そして
 pigri. ピークリ adj(pigro).pl 怠惰な 「補語」

そして王子さまは続けて言った：

E il piccolo principe continuò: E 「主語」「動詞」
 E エ conj. そして
 il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
 continuò: コンチヌォ 3 単遠(continuare)v.t 続けた 「動詞」

「君の惑星はこんなに小さいから、3 歩進めば 1 周できるね。いつも太陽の位置に居るためには、本当にゆっくり歩きさえすればいいんだよ」

"Il tuo pianéta è così piccolo che in tre passi ne puoi fare il giro. Non hai che da camminare abbastanza lentamente per rimanere sèmpre al sóle."
 《「主語」「動詞」「補語」「副詞節」 | 「動詞句」「目的語」》
 "Il tuo pianéta イル・トゥォ・ピァネータ n.m 君の惑星は 「主語」
 è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」
 così piccolo コシ・ピッコロ adj. これほど小さい 「補語」

XIV

che ケ conj.(così...che) だから～する	「副詞節」
in tre passi イン・トレスパッシ adv.(passo) 3 歩で	「副詞句」
ne ネ adv. この	「副詞」
puoi fare フォイ・ファレ 2 単現・可能(potére+不定詞)v.t (動作が) 出来る	「動詞句」
il giro. イル・ジロー n.m 1 周	「目的語」
Non hai ノン・アイ 2 単現・否定(avére)v,t ～がない	「動詞句」
che ケ pron 事が	「目的語」
da camminare ダ・カンミナレ adj. 歩くべき	「形容詞句」
abbastanza lentaménte アッバスタンツァ・レンタメンテ	
adv. かなりゆっくりと	「副詞句」
per rimanere ペル・リマネレ adv. (目的) ～に留まるために	「副詞句」
sèmpre センプレ adv. いつも	「副詞」
al sóle. アル・ソーレ adv. 太陽の位置に	「副詞句」

「君が休みたい時には、歩けばいいんだ。そうすれば、君が望む限り、昼間が続くんだ」

Quando vorrai riposarti camminerai e il giorno durerà finche' tu vorrai".

《「副詞節」「動詞」 e 「主語」「動詞」「副詞節」》

Quando クワント conj. ～するときは	「副詞節」
vorrai riposarti ヴォライ・リボサル・ティ 2 単未・願望(volére+不定詞)	
v.pr 休憩したい、休みたい	「動詞句」
camminerai カンネライ 2 単未・勧誘(camminare)v.i 歩けばよい	「動詞」
e エ conj. (結果) そうすれば	
il giorno イル・ジオルノ n.m 昼間は	「主語」
durera' ドゥレラ 3 単未(durare)v.i 続くだろう	「動詞」
finche' フィンケ conj. ～するまで、～かぎり	「副詞節」
tu トゥ pron 君が	「主語」
vorrai". ヴォライ 2 単未(volére)v.t 望む	「動詞」

「それは、僕にとってはあまり役に立たないよ」と、点灯夫は言った。「僕がこの世で特に望むことは眠ることなんだよ」

"Non mi serve a móltó", disse l'uómo. "Ciò che desidero soprattutto nella vita è di dormire".

《「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「補語」》

"Non ...serve ノン...セルベ 3 単現・否定(servire)v.i 役に立たない	「動詞句」
a móltó", ア・モルト adv. (否定文で) あまり～ない	「副詞句」
mi ミ pron 僕にとっては	「間接目的語」

XIV

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った	「動詞」
l'uòmo. ルオーモ n.m 点灯夫は	「主語」
"Ciò チョ pron そのことは	「主語」
che ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
desidero 1 単現(desiderare)v.t 望む	「動詞」
soprattutto ソプラットゥット adv. 特に、とりわけ	「副詞」
nella vita ネッラ・ヴァィータ adv. この世で、人生で	「副詞句」
è エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
di dormire". ディ・ドルミーレ 不定詞 n. 眠ること	「補語」

「それは残念だね」と、王子さまは言った。

"Non hai fortuna", disse il piccolo principe.	《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」
"Non hai ノ・アイ 2 単現・否定(avére)v.t ～がない	「動詞句」
fortuna", フォルトゥーナ n.f 幸運、幸せ	「目的語」
→ 幸せがない → 「応答」残念だね	
disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った	「動詞」
il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは	「主語」

「残念だよ」と、点灯夫は答えた。「おはよう」

"Non ho fortuna", rispose l'uòmo. "Buon giorno".	《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「挨拶」》
"Non ho ノ・ノ 1 単現・否定(avére)v.t ～がない	「動詞句」
fortuna", フォルトゥーナ n.f 幸運、幸せ	「目的語」
rispose リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた、返事をした	「動詞」
l'uòmo. ルオーモ n.m 点灯夫は	「主語」
"Buon giorno". ブォン・ジョルノ adv. おはよう	「挨拶」

そして、街灯を消した。

E spense il suo lampiône.	E 「動詞」「目的語」
E エ conj. そして	
spense スペンセ 3 単遠(spègnere)v.t 消した	「動詞」
il suo lampiône. イル・スーオ・ランピオーネ n.m 街灯を	「目的語」

XIV

《この人は》と、王子さまは旅を続けながら心の中で思った。《この人は、他の皆から軽蔑されるだろうな。あの王様からも、見栄張り男からも、吞兵衛からも、実業家からも》

Quést'uòmo, si disse il piccolo principe, continuando il suo viaggio, quést'uòmo sarèbbe disprezzato da tutti gli altri, dal re, dal vanitoso, dall'ubriacóne, dall'uòmo d'affari.

《「主語」》, 「動詞句」「主語」「副詞句」, 《「主語」「動詞」「副詞句」》

Quést'uòmo, クェストウオーモ n.m この人は 「主語」
 si disse シ・ディッセ 3 単遠(dire)v.t 心の中で思った 「動詞句」
 il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
 continuando コンチヌアンド ジェルンディオ・同時 adv. ～を続けながら 「副詞句」
 il suo viaggio, イル・スー・ヴァイヤジヨ n.m 旅を 「目的語」
 quést'uòmo クェストウオーモ n.m この人は 「主語」
 sarèbbe disprezzato サレッベ・ディスペレッツァート 条・3 単現・受動・推測(disprezzare)
 v.i ～軽蔑されるだろう 「動詞」
 da tutti gli altri, ダ・トゥッティ・リ・アルトリ adv. (動作主) 他の皆から 「副詞句」
 dal re, ダル・レ adv. (動作主) あの王様から 「副詞句」
 dal vanitoso, ダル・ヴァニトゾ adv. (動作主) あの見栄張り男から 「副詞句」
 dall'ubriacóne, ダル・ウブリアッコネ adv. (動作主) あの吞兵衛から 「副詞句」
 dall'uòmo d'affari. ダル・ウーモ・ダッファリ adv. (動作主) あの実業家から 「副詞句」

《それでも、滑稽に見えない唯一の人だ。多分、自分以外の事に従事しているからだだろう》

Tuttavia è il sólo che non mi sembri ridicolo. Forse perché si occupa di altro che non di se stesso.

《「動詞」「補語」 | 「副詞」 perché 「動詞句」「間接目的語」》

Tuttavia トゥッタヴァ イア conj. (対立) それでも
 è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」
 il sólo イル・ソーロ pron 唯一の人 「補語」
 che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 non ...sembri ノン...センプリ 接・3 単現・否定(sembrare)
 v.i ～に見えない 「動詞句」
 mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」
 ridicolo. リディッコ adj. こっけいな、ばかげた 「補語」
 Forse フォルセ adv. たぶん 「副詞」
 perché ペルケ conj. ～だから
 si occupa シ・オカ 3 単現(occuparsi)v.pr(di) ～に従事している 「動詞句」
 di altro ディ・アルトロ adv. 他のことに 「間接目的語」
 che non di se stesso. ケ・ノン・ディ・セ・ステッソ adj. 自分以外の 「形容詞句」

XIV

彼は後悔の溜息をつき、また心の中で思った：

Ebbe un sospiro di rammàrico e si disse ancóra: 「動詞」「目的語」 e 「動詞句」「副詞」
 Ebbe エッベ 3 単遠(avére)v.t (動作を) した 「動詞」
 un sospiro ウン・ソスピロ n.m 溜息を 「目的語」
 di rammàrico デイ・ランマーリコ adj. 後悔の 「形容詞句」
 e エ conj. そして
 si disse シ・ディッセ 3 単遠(dirsi)v.pr 心の中で思った 「動詞句」
 ancóra: アンコーラ adv. また 「副詞」

「この人は、僕が友達になれたかも知れない唯一の人だ。だけど彼の惑星は本当に小さすぎる；二人分の場所がないのだから...」

Quésto è il sólo di cui avrei potuto farmi un amico. Ma il suo pianéta è veraménte tróppo piccolo non c'è pósto per due...

《「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「補語」, 「動詞句」「主語」》

Quésto ケスト pron この人は 「主語」
 è エ 3 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 il sólo イル・ソーロ pron 唯一の人 「補語」
 di cui デイ・クイ adv. その人と、彼と 「間接目的語」
 avrei potuto farmi アヴレイ・ポトウト・ファル・ミ 条・1 単現・完了形(potére+不定詞 farsi)
 v.pr ~になれたかも知れない 「動詞句」
 un amico. ウン・アミーコ n.m 友達に 「補語」
 Ma マ conj. だけど
 il suo pianéta イル・スーオ・ピアネータ n.m 彼の惑星は 「主語」
 è エ 3 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 veraménte tróppo piccolo ヲ・エラメンテ・トロッポ・ピッコロ adj. 本当に小さすぎる 「補語」
 non c'è ノン・チェ 3 単現・存在・否定(èsserci)v.i ~がない 「動詞句」
 pósto ポースト n.m 場所が 「主語」
 per due... ペル・トゥーエ adv. 二人のために 「副詞句」

王子様が敢えて自分に認めたくなかったこと、それは、特にこの祝福された惑星では 24 時間のうちに 1440 回もの日の入りが見られることを、諦められないことだった。

Quéllo che il piccolo principe non osava confessare a se stéssu, era che di quésto pianéta benedétto rimpiangeva soprattutto i millequattrocentoquaranta tramónti nelle ventiquattro ore. 「主語」「動詞」「補語」

Quéllo ケツロ pron それは 「主語」
 che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

XV

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子様が 「主語」
 non osava confessare ノン・オサヴァ・コンフェッサレ 3 単半・意図・否定(osare+不定詞)
 v.t 敢えて認めようとしなかった 「動詞句」
 a se stesso, ア・セ・ステッソ adv. 自分自身に対して 「間接目的語」
 era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった 「動詞」
 che ケ conj. 〜ということ 「補語」
 di questo pianeta ディ・クェスト・ピアネタ adj. (限定) この惑星の 「形容詞句」
 benedetto ベネット adj. 祝福された 「形容詞」
 rimpiangeva リンピ・アンジェヴァ 3 単半(rimpiangere)v.t 惜しんでいた 「動詞」
 soprattutto ソッパットゥット adv. とりわけ、特に 「副詞」
 i millequattrocentoquaranta tramonti イ・ミッレ・クワトロ・チェント・クワンタ・トラモンティ
 pl(tramonto).n.m 1440 回の日入りを 「目的語」
 nelle ventiquattro ore. ネッレ・ヴェンチ・クワトロ・オーレ
 adv(óra). 24 時間のうちに 「副詞句」
 → 1 分に 1 回の日入りが見られるなら、24 時間では 24 x 60 = 1440 回見られる

フランス語版では :

Ce que le petit prince n'osait pas s'avouer, c'est qu'il **regrettait cette planète** bénie à cause, surtout, des mille quatre cent quarante couchers de soleil par vingt-quatre heures!
 王子様があえて自分に認めたくなかったこと、それは、とりわけ 24 時間に 1440 回も日の入りを眺められるがゆえに祝福された**その星に、未練を感じていた**、ということだった！
 → フランス語版では「その星に未練を感じていた」。
 しかし、イタリア語版では「**1440 回の日入り**」を惜しんでいるところが異なる。

XV

6 番目の惑星は、10 倍も大きかった。

Il sesto pianeta era dieci volte più grande. 「主語」「動詞」「補語」
 Il sesto pianeta イル・セスト・ピアネタ n.m 6 番目の惑星は 「主語」
 sesto セスト adj. 6 番目の pianeta ピアネタ n.m 惑星
 era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった 「動詞」
 dieci volte ディエチ・ヴァルテ adv. 10 倍 「副詞句」
 dieci ディエチ n.m 10 volte ヴァルテ pl(volta).n.f (数詞と共に) 倍
 più grande. ピウ・グランデ adj. もっと大きい 「補語」

XV

老紳士が住んでいて、大きな書物を書いていた。

Era abitato da un vecchio signóre che scriveva degli enormi libri. 「動詞句」「副詞句」

Era abitato エラ・アビタート 3 単半・受動(abitare)v.t 住まれていた 「動詞句」

能動態にして、前から順に翻訳する

da un vecchio signóre ダ・ウン・ヴェッキョ・シニョール adv. (動作主) 老紳士によって 「副詞句」

che ke pron (主語) ～する 「形容詞節」

scriveva スクリヴァ・エウヴァ 3 単半・時制の一致(scrivere)

v.t 書いている 「動詞」

degli enormi libri. デッリ・エノルミ・リーブリ

pl(libro).n.m 大きな書物を 「目的語」

「おや、探検家がやってきたぞ」と、彼は王子様に気付いて叫んだ。

"Ècco un esploratóre", esclamò quando scorse il piccolo principe.

《「感嘆」「主語」》, 「動詞」「副詞節」

"Ècco エッコ adv. おや 「感嘆」

un esploratóre", ウン・エスプロアトール n.m 探検家 「主語」

esclamò エスクラモ 3 単遠(esclamare)v.i 叫んだ 「動詞」

quando クワント conj. ～すて、～した時 「副詞節」

scorse スコルセ 3 単遠(scòrgere)v.t ～に気づいた、識別した 「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子様に 「目的語」

王子さまは、少し息を切らして、机の上に座った。

Il piccolo principe si sedette sul tavolo ansimando un poco. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

si sedette シ・セデッテ 3 単遠(sedersi)(= si sedé)v.pr 座った 「動詞句」

sul tavolo スル・ターヴォ adv. 机の上に 「副詞句」

ansimando アンシマント ジェルンディオ・同時(ansimare)adv. 息を切らして 「副詞句」

un poco. ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」

彼は長い旅行をしてきたのだった。

Era in viaggio da tanto tempo. 「動詞」「副詞句」

Era エラ 3 単半・状態(essere)v.i ～にあった 「動詞」

in viaggio イン・ヴァイアッジョ adv. (状態) 旅行中の 「副詞句」

da tanto tempo. ダ・タント・テンポ adv. 長時間の 「副詞句」

XV

「どこから来たのかね？」と、老紳士は彼に尋ねた。

"Da dóve vieni?" gli domandò il vècchio signóre.

《「副詞句」「動詞」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」

"Da dóve ダ・ドーヴェ adv. (場所・起点) どこから

「副詞句」

vieni? ヴィエニ 2 単現(venire)v.i 来た

「動詞」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

domandò ドマント 3 単遠(domandare)v.t 尋ねた

「動詞」

il vècchio signóre. イル・ヴェッキオ・シニョーレ n.m 老紳士は

「主語」

「その分厚い本は何ですか？」と、おうじさまは聞いた。「ここで何をしているのですか？」

"Che còs'è quèsto gròsso libro?" disse il piccolo principe. "Che còsa fate qui?"

《「補語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「目的語」「動詞」「副詞」》

"Che còs' ケ・コーサ n.f 何

「補語」

è エ 3 単現・疑問文(essere)v.i ~ですか？

「動詞」

quèsto gròsso libro? ケスト・グロッソ・リーブロ n.m その分厚い本は

「主語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

"Che còsa ケ・コーサ n.f 何を

「目的語」

fate ファーテ 2 複現(fare)v.t している

「動詞」

qui? クイ adv. ここで

「副詞」

「わしは地理学者じゃよ」と、老紳士は言った。

"Sono un geògrafo", disse il vècchio signóre.

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」

"Sono ソーノ 1 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

un geògrafo", ウン・ジエオグラフォ n.m 地理学者

「補語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il vècchio signóre. イル・ヴェッキオ・シニョーレ n.m 老紳士は

「主語」

「地理学者って何ですか？」

"Che còs'è un geògrafo?"

《「補語」「動詞」「主語」》

"Che còs' ケ・コーサ n.f 何

「補語」

è エ 3 単現・疑問文(essere)v.i ~ですか？

「動詞」

un geògrafo?" ウン・ジエオグラフォ n.m 地理学者は

「主語」

XV

「海や、河や、町や、山や、砂漠がどこにあるかを知っている学者のことじゃよ」

"È un sapiente che sa dove si trovano i mari, i fiumi, le città, le montagne e i desèrti".

《「動詞」「補語」》

"È エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

un sapiente ウン・サピエンテ n.m 学者

「補語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

sa サ 3 単現(sapere)v.t 知っている

「動詞」

dove トーヴァエ adv. どこに~するかということを

「目的語」

si trovano シ・トロヴァーノ 3 単現(trovarsi)

v.pr (ある場所に) ある

「動詞句」

i mari, イ・マーリ pl(mare).n.m 海が

「主語」

i fiumi, イ・フィウミ pl(fiume).n.m 河が

「主語」

le città, レ・チッタ pl(città).n.f 町が

「主語」

文字の上にアクセントがついている単語は複数形でも変化しない

le montagne レ・モンターニエ pl(montagna).n.f 山が

「主語」

e エ conj. そして

i desèrti". イ・デゼールティ pl(desèrto).n.m 砂漠が

「主語」

「とても興味深いですね」と、王子さまは言った。「それこそ、本当の仕事だ」

"È molto interessante", disse il piccolo principe, "questo finalmente è un vero mestiere!"

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「副詞」「動詞」「補語」》

"È エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

molto interessante", モルト・インテレッサンテ adj. とても興味深い

「補語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

"questo ケスト pron それは

「主語」

finalmente ファイナルメンテ adv. ついに、最後に

「副詞」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

un vero mestiere!" ウン・ヴァエーロ・メスチエーレ n.m 本当の仕事

「補語」

そう言って、王子さまは、地理学者の惑星全体をざっと見まわした。彼はこれほど威厳のある惑星を、今までに一度も見たことがなかった。

E diede un'occhiata tutto intorno sul pianeta del geografo. Non aveva mai visto fino ad ora un pianeta così maestoso.

E 「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「動詞句」「副詞句」「目的語」

E エ conj. そして

XV

diede ディエテ 3 単遠(dare)v.t 与えた	「動詞」
un'occhiata ウ・ノッキアタ n.f 一瞥を	「目的語」
tutto intórno トゥット・イントール adv. 辺り一帯に	「副詞句」
sul pianéta del geògrafo. スル・ピ・アネータ・デル・ジ・ェオグラフォ adv. 地理学者の惑星の上を	「副詞句」
Non aveva mai visto ノン・アヴェ・ヴァ・マ・イ・ヴィスト 3 単半・完了形・否定(vedere)	
v.t 一度も見たことだなかった	「動詞句」
fino ad óra フィノ・アド・オーラ adv. 今まで	「副詞句」
un pianéta ウン・ピ・アネータ n.m 惑星を	「目的語」
così maestoso. コシ・マエストーソ adj. これほど威厳に満ちた	「形容詞句」



「とても美しいですね、あなたの惑星は。大洋はありますか？」

"È molto bello il vostro pianéta. Ci sono degli oceàni?"

《「動詞」「補語」「主語」 | 「動詞句」「主語」》

"È 3 単現(essere)v.i ~である	「動詞」
molto bello モルト・ベッロ adj. とても美しい	「補語」
il vostro pianéta. イル・ヴァ・ストロ・ピ・アネータ n.m あなたの惑星は	「主語」
vostro ヴァストロ adj. (敬称として単数を示す) あなたの	
Ci sono チ・ソーノ 3 複現・疑問文(esserci)v.i ~がありますか？	「動詞句」
degli oceàni?" デッリ・オチェアーニ pl(oceàno).n.m 大洋は	「主語」

XV

「それを知ることが出来ないのじゃよ」と、地理学者は言った。

"Non lo posso sapere", disse il geografo. 《「動詞句」「目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」

"Non ...posso sapere", ノン...ポッソ・サペーレ 1 単現・可能・否定(potére+不定詞 sapere)

v.t 知ることが出来ない

「動詞句」

lo 〇 pron それを

「目的語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il geografo. イル・ジエオグラフォ n.m 地理学者は

「主語」

「えー！（王子さまはがっかりした）それじゃあ、山は？」

"Ah! (il piccolo principe fu deluso) E delle montagne?"

《「感嘆」「主語」「動詞」「補語」》 E 「間接目的語」

"Ah! アー int. えー！

「感嘆」

(il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

fu フ 3 単遠・変化(essere)v.i (ある状態に) ーになった

「動詞」

deluso) デルーズ adj. がっかりした

「補語」

E エ conj. そして

delle montagne?" デッレ・モンターニエ adv.(montagna) 山のことは？

「間接目的語」

「それを知ることが出来ないのじゃ」と、地理学者は言った。

"Non lo posso sapere", disse il geografo. 《「動詞句」「目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」

"Non ...posso sapere", ノン...ポッソ・サペーレ 1 単現・可能・否定(potére+不定詞 sapere)

v.t 知ることが出来ない

「動詞句」

lo 〇 pron それを

「目的語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il geografo. イル・ジエオグラフォ n.m 地理学者は

「主語」

「それじゃあ、町や、河や、砂漠は？」

"E delle città e dei fiumi e dei desèrti?"

《E 「間接目的語」》

"E エ conj. そして

delle città デッレ・チッタ adv. (città は[複]) 町のこと

「間接目的語」

e エ conj. そして

dei fiumi デイ・フィウミ adv.(fiume) 河の事

「間接目的語」

e エ conj. そして

dei desèrti?" デイ・デゼールティ adv.(desèrto) 砂漠の事

「間接目的語」

XV

「それさえも、知ることが出来ないのじゃ」と、地理学者は言った。

"Neppure lo posso sapere", disse il geografo. 《「目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」
 "Neppure lo ネプ^レ・ロ pron それさえも～ない 「目的語」
 posso sapere", ポ^ツ・サ^ペ・レ 1 単現・可能(potére+不定詞 sapere)
 v.t (否定文で) 知ることが出来ない 「動詞句」
 disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 il geografo. イル・ジ^ョグラフィォ n.m 地理学者は 「主語」

「だけど、あなたは地理学者でしょう！」

"Ma siète un geografo!" 《Ma 「動詞」「補語」》
 "Ma マ conj. しかし
 siète シエテ 2 複現・敬称・念押し(essere)v.i ～でしょう！ 「動詞」
 un geografo! ウン・ジ^ョグラフィォ n.m 地理学者 「補語」

「その通り」と、地理学者は言った。「だが、探検家ではないのじゃ」

"Esatto", disse il geografo, "ma non sono un esploratore."
 《「応答」》, 「動詞」「主語」, 《ma 「動詞句」「補語」》
 "Esatto", エサット adv. その通り 「応答」
 disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 il geografo, イル・ジ^ョグラフィォ n.m 地理学者は 「主語」
 "ma マ conj. しかし
 non sono ノン・ソーノ 1 単現・否定(essere)v.i ～でない 「動詞句」
 un esploratore. ウン・エスプ^ロラトーレ n.m 探検家 「補語」

探検家がいなくて、本当に困っているのじゃ。

Manco completamente di esploratori. 「動詞」「副詞」「間接目的語」
 Manco マンコ 1 単現(mancare)v.i (～がいなくて) 困っている 「動詞」
 completamente コンプレタメンテ adv. 完全に、全く 「副詞」
 di esploratori. ディ・エスプ^ロラトーリ adv.(esploratore) 探検家に関して 「間接目的語」

町や、河や、山や、海や、大洋や、砂漠を数えに行くのは地理学者ではない。

Non è il geografo che va a fare il conto delle città, dei fiumi, delle montagne, dei mari, degli oceani e dei deserti. 「動詞句」「補語」「主語」
 Non è ノネ 3 単現・否定(essere)v.i ～でない 「動詞句」
 il geografo イル・ジ^ョグラフィォ n.m 地理学者 「補語」
 che ケ pron (主語) ～する人は 「主語」

XV

va a fare ヲァ・ア・ファレ 3 単現・しに行く (andare a+不定詞)

v.t (動作を) しに行く

「動詞句」

il cònto イル・コント n.m 計算、数えること

「目的語」

delle città, テレ・チッタ adj. 町の

「形容詞句」

dei fiumi, デイ・フィウミ adj.(fiume) 河の

「形容詞句」

delle montagne, テレ・モンターニエ adj.(montagna) 山の

「形容詞句」

dei mari, デイ・マーリ adj.(mare) 海の

「形容詞句」

degli oceàni テリ・オチェーニ adj.(oceàno) 大洋の

「形容詞句」

e エ conj. そして

dei de~~s~~èrti. デイ・デセールティ adj.(de~~s~~èrto) 砂漠の

「形容詞句」

地理学者はとても重要な仕事をしているので、歩き回することは出来ないのじゃ。

Il geògrafo è troppo importante per andare in giro.

「主語」「動詞」「補語」

Il geògrafo イル・ジエグラフィコ n.m 地理学者は

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

troppo importante トロップ・インポルタンテ adj. (任務) とても重要な任務についた

「補語」

per andare in giro. ペル・アンダレ・イン・ジロ adv. (troppo...per+不定詞)

adv. (～過ぎて) 歩き回れない

「副詞句」

andare in giro 「散策する、歩き回る」

仕事部屋をはなれたりしない。しかし、探検家を受け入れて、彼らの話を聞いて、その見聞をノートにまとめたりする。

Non lascia mai il suo ufficio, ma riceve gli esploratori, li interroga e prende degli appunti sui loro ricòrdi.

「動詞句」「目的語」,ma「動詞」「目的語」,「目的語」「動詞」e「動詞」「目的語」

Non lascia mai ノン・ラッシャ・マイ 3 単現・否定・強調(lasciare+mai)

v.t 離れることはしない

「動詞句」

il suo ufficio, イル・スー・ウッフィチョ n.m 仕事部屋を

「目的語」

ma マ conj. しかし

riceve リチェヴァ 3 単現(ricévere)v.t 受け入れる

「動詞」

gli esploratori, リ・エスプロラトーリ pl(esploratóre).n.m 探検家を

「目的語」

li リ pron.pl 彼らに

「目的語」

interroga インテカ 3 単現(interrogare)v.t 尋問する

「動詞」

e エ conj. そして

prende プレンデ 3 単現(prèndere)v.t ~を取る

「動詞」

degli appunti テリ・アプンティ pl(appunto).n.m ノート

「目的語」

XV

sui loro ricòrdi. スイ・ロー・リコルドゥー adv.(ricòrdo) 見聞について

「副詞句」

そして、もし探検家たちの 1 人の見聞が興味深いと思われたら、地理学者はその探検家の品行を調査させる。

E se i ricòrdi di uno di loro gli sembrano interessanti, il geògrafo fa fare un'inchiesta sulla moralità dell'esploratòre".

E 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

E エ conj. そして

se セ conj. もし～ならば

「副詞節」

i ricòrdi イ・リコルドゥー pl(ricòrdo).n.m 見聞が

「主語」

di uno di loro デイ・ウノ・デイ・ロー adj. 探検家たちの 1 人の

「形容詞句」

gli リ pron 彼にとって

「間接目的語」

sembrano センブラ 3 複現(sembrare)v.i ～に思われる

「動詞」

interessanti, インテレッサンティ adj(interessante).pl 興味深い

「補語」

il geògrafo イル・ジエオグラフォ n.m 地理学者は

「主語」

fa fare ファ・ファレ 3 単現・使役(fare+不定詞 fare)v.t (行為を) させる

「動詞句」

un'inchiesta ウ・インキェスタ n.f 調査を

「目的語」

sulla moralità スラ・モラリタ adv. 品行について

「副詞句」

dell'esploratòre". デレスパトール adj. その探検家の

「形容詞句」

「どうして？」

"Perché?"

《質問》

"Perché?" ペルケ adv. どうして？

「質問」

使役動詞

動詞 fare や lasciare が用いられる。

構文：fare +不定詞句+「(直接・間接)目的語」 (SVOC:不定詞句)

意味は、(人に)(使役)～させる、～してもらう、(放任)～させておく

fare は「目的語」に不定詞句の動作を(行わせる・してもらう)ことを表す。

不定詞句 は「目的語」の動作を表す。

不定詞が自動詞の場合：(人)は「直接目的語」、(人)の動作には目的語が無い

fare tacere qlcu. 人を(人に)黙らせる

qlcu.は fare の「直接目的語」、tacere は qlcu.の動作を表す「補語」

Quéste paròle mi hanno fatto sorridere. こうした言葉が私の微笑を誘った。

mi は hanno fatto の「直接目的語」、sorridere は mi の動作を表す「補語」

不定詞が他動詞の場合：(人)は「間接目的語」、不定詞句は(人)の動作を表す「補語」

fare vedere ql.co, a qlcu. (人)に(何か)を見させる

XV

a qlcu. は fare の「間接目的語」、vedere ql.co は qlcu. の動作を表す「補語」

Faccio dire la verità a Mario. マリオに本当のことを言わせよう。

a Mario は Faccio の「間接目的語」、dire la verità は Mario の動作を表す「補語」

Mi faccio tagliare i capelli. 頭髪を刈ってもらおう。

Mi は「僕のために」、i capelli は「頭髪を」で、tagliare の動作主は示されていない

Mi faccio+不定詞+「目的語」→「自分のために、目的語にある動作をしてもらう」

知覚動詞

sentire (聞く、感じる), ascoltare (聞く、聴く), vedere (見る), guardare (見る、眺める), udire (聞く、聞こえる) などの動詞が使用される。

構文：知覚動詞+不定詞(句) + 「**直接**目的語」 (SVOC:不定詞句)

直接目的語が不定詞(句)の動作をしているのを見たり・聞いたりすることを表す。

不定詞(句)は直接目的語の動作を表す「補語」である。

Sento suonare il pianoforte Maria. マリアがピアノを弾いているのが聞こえる

Maria は sento の「目的語」で、Maria の動作は suonare il pianoforte である。

言語による「不定詞の動作主」の相違

使役動詞の場合、イタリア語・スペイン語・フランス語では、「**(直接・間接)**目的語」によって示されるが、ドイツ語と英語では「**直接**目的語」で示される。

知覚動詞の場合、上記 5 か国語すべてで、「**直接**目的語」で示される。

文型と補語の機能

文型 SVC：補語は主語の性質や状態を補足説明する。

Il cielo si fece oscuro. 空は暗くなった。

補語 oscuro は主語 Il cielo の状態を表す。

文型 SVOC：補語は目的語の性質・状態・動作を表す。

Quella notizia ci rese tristi. その知らせは私たちを悲しませた。

補語 tristi は目的語 ci の状態を表す。

XV

「なぜなら、もし探検家が嘘をつくなら、地理学の本に破局をもたらすかもしれないのじゃ。
そして、酒を飲み過ぎるような探検家も同じことじゃ」

"Perché se l'esploratōre mentisse porterebbe una catastrofe nei libri di geografia. Ed anche un esploratōre che bevesse trōppo".

《Perché「副詞節」,「動詞」「目的語」「副詞句」 | Ed「主語」》

"Perché ^{ペルケ} conj. なぜなら～だから

se ^セ conj. もし～ならば

「副詞節」

l'esploratōre ^{レスプロトトレ} n.m 探検家が

「主語」

mentisse ^{メンチッセ} 接・3 単半・假定(mentire)v.i うそをついたならば

「動詞」

porterebbe ^{ポルテレッベ} 条・3 単現・推量(portare)v.t もたらすかもしれない

「動詞」

una catastrofe ^{ウナカタストロフェ} n.f 破局を

「目的語」

nei libri ^{ネイリーブリ} adv.(libro) 本に

「副詞句」

di geografia. ^{ディジエグラフィア} adj. 地理学の

「形容詞句」

Ed ^{エト} conj. そして

anche un esploratōre ^{アンケウンエスプロトトレ} n.m 探検家も同様

「主語」

che ^ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

bevesse ^{ベヴェッセ} 接・3 単半・時制の一致・推量(bére)v.t 飲む

「動詞」

trōppo". ^{トロッポ} adv. あまりにもたくさん

「副詞」

「どうして？」

"Perché?"

《質問》

"Perché?" ^{ペルケ} adv. どうして？

「質問」

「なぜなら、酔っ払いたちは物が二重に見えるから、地理学者は、山が一つしかないところに二つ書いてしまう恐れがあるからじゃ」

"Perché gli ubriachi vedono doppio e allōra il geōgrafo si annoterebbe due montagne là dōve ce n'è una sōla".

《Perché「主語」「動詞」「補語」 e 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞」》

"Perché ^{ペルケ} conj. なぜなら～だから

gli ubriachi ^{リウブリアーキ} pl(ubriaco).n.m 酔っ払いたちは

「主語」

vedono ^{ヴェトノ} 3 複現(vedére)v.t ～が見える

「動詞」

doppio ^{ドッピオ} adj. (物が) 二重に

「補語」

e ^エ conj. そして

allōra ^{アッローラ} adv. それで、その結果

「副詞」

il geōgrafo ^{イルジエグラフィオ} n.m 地理学者は

「主語」

si annoterebbe ^{シアンノテレッベ} 条・3 単現・推量(annotarsi)v.pr 書いてしまうだろう「動詞句」

XV

due montagne トゥエ・モンターネ pl(montagna).n.f 山を 2 つ 「目的語」

là ラー adv. そこに 「副詞」

dóve トゥーヴェ adv. ～する場所 「形容詞節」

ce n'è チェ・ネ 3 単現・否定(esserci)v.i ～がない 「動詞句」

una sóla". ウナ・ソーラ pron. 1 つしか山が 「主語」

vedére

「直接目的語」なしで、SVOC 「O が C に見える」副詞 ci を伴うことがある

vedére bène 「よく見える」 vederci bène も可

vedére male 「よく見えない」 vederci male も可

Senza occhiali non ci vedo bène. 私は眼鏡をかけないとよく見えない

「ある人を知っているけど…」と、王子さまは言った。「その人は悪い探検家かもしれない」

"Io conosco qualcuno" disse il piccolo principe, "che sarebbe un cattivo esploratore".

《「主語」「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「補語」》

"Io イオ pron 僕は 「主語」

conosco コノスコ 1 単現(conoscere)v.t 知っている 「動詞」

qualcuno" クアルクノ pron ある人を 「目的語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

"che ケ pron その人は 「主語」

sarebbe サレッパ 条・3 単現・推量(essere)v.i ～かもしれない 「動詞」

un cattivo esploratore". ウン・カッティウ・ウォエスプロアトール n.m 悪い探検家 「補語」

「そうかもしれない。だから、その探検家が品行方正に思われたら、彼の発見について調査が行われるのじゃ」

"È possibile. Dūnque, quando la moralità dell'esploratore sembra buona, si fa un'inchiesta sulla sua scoperta".

「動詞」「補語」 | Dūnque 「副詞節」, 「動詞句」「主語」

"È エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

possibile. ポッシビレ adj. 可能な、ありそうな、ありうる 「補語」

Dūnque, トゥンケ conj. (結論) だから

quando クワンド conj. ～する時は 「副詞節」

la moralità ラ・モラリタ n.f 倫理、品行方正 「主語」

dell'esploratore デレスプロアトール adj. その探検家の 「形容詞句」

sembra センブラ 3 単現(sembrare)v.i ～に見える 「動詞」

buona, ブオナ adj(buono).f よい 「補語」

XV

si fa シ・ファ 3 単現・再帰受動(farsi)v.pr 行われる 「動詞句」
 un'inchiesta ウ・ンキエスタ n.f 調査 v.pr が 「主語」
 sulla sua scopèrta". スッラ・スア・スコペールタ adv. 彼の発見について 「副詞句」

「自分で見に行くのですか？」

"Si va a vedére?" " «「問いかけ」»
 "Si va a vedére?" シ・ヴァ・ア・ヴェデーレ 3 単現・意志・疑問文(andare a+不定詞 vedersi)
 v.pr 自ら見に行くのですか? 「問いかけ」

「いや、わしは行かない。それは複雑すぎる。しかし、その探検家に証拠の品の提出を求める。例えば、大きな山のことであれば、その山の大きな岩を持ち帰ることを求める」

"No, è troppo complicato. Ma si esige che l'esploratore fornisca le prove. Per esempio, se si tratta di una grossa montagna, si esige che riporti delle grosse pietre".

«「応答」、「動詞」「補語」 | Ma 「動詞句」「主語」 | 「副詞句」, 「動詞句」「主語」»
 "No, / adv. いや行かない 「応答」
 è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 troppo complicato. トロppo・コンプリカト adj. 複雑すぎる 「補語」
 Ma マ conj. しかし
 si esige シ・エジージェ 3 単現・再帰受動(esigersi)v.pr(che ~が) 求められる 「動詞句」
 esigere エジージェレ v.t (強く) 要求する、要請する
 che ケ conj. ~ということが 「主語」
 l'esploratore レスプロラトール n.m その探検家が 「主語」
 fornisca フォルニスカ 接・3 単現・必要(fornire)v.t 提出する 「動詞」
 le prove. レ・プロヴェ pl(pròva).n.f いくつかの証拠 (の品) 「目的語」
 Per esempio, ペル・エゼンピオ adv. 例えば 「副詞句」
 se セ conj. もし~ならば 「副詞節」
 si tratta シ・トラッタ 非人称・3 単現(trattare)v.h(di の) ことである 「動詞句」
 di una grossa montagna, ディ・ウナ・グロッサ・モンターニャ adv. 大きな山の 「補語」
 si esige シ・エジージェ 3 単現・再帰受動(esigersi)v.pr(che ~が) 求められる 「動詞句」
 che ケ conj. ~ということが 「主語」
 riporti リポルティ 接・3 単現・義務(riportare)v.t 持ち帰るべき 「動詞」
 delle grosse pietre". デッレ・グロッセ・ピエトレ
 pl(pietra).n.f その山の大きな岩を 「目的語」

XV

地理学者は、いきなり興奮して、言った。

All'improvviso il geografo si commosse.

「副詞句」「主語」「動詞句」

All'improvviso アリンプ・ロウ・イーゾ adv. 不意に、いきなり、だしぬけに

「副詞句」

il geografo イル・ジ・エオグラフォ n.m 地理学者は

「主語」

si commosse. シ・コモッセ 3 単遠(commuoversi)v.pr 心を乱した、興奮した

「動詞句」

「しかし君、君は遠くから来たんだ。君は探検家だ！君の星の事を話してくれ！」

"Ma tu, tu vieni da lontano! Tu sèi un esploratore! Mi devi descrivere il tuo pianeta!"

《「呼びかけ」, 「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》

"Ma tu, マ・トゥ adv. しかし君

「呼びかけ」

tu トゥ pron 君は

「主語」

viene ヴィエニ 2 単現(venire)v.i 来た

「動詞」

da lontano! ダ・ロンターノ adv. 遠くから

「副詞句」

Tu トゥ pron 君は

「主語」

sèi セイ 2 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

un esploratore! ウン・エスプロラト레 n.m 探検家

「補語」

Mi ミ pron わしに

「間接目的語」

devi descrivere デ・ウ・イ・デ・スクリー・ヴェレ 2 単現・懇願(dovere+不定詞)

v.t ぜひ語ってくれ

「動詞句」

il tuo pianeta!" イル・トゥー・オ・ピアネタ n.m 君の星のことを

「直接目的語」

そう言って、地理学者は登記簿を開いて、鉛筆を削った。

E il geografo, avendo aperto il suo registro, temperò la sua matita.

E 「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」

E エ conj. そして

il geografo, イル・ジ・エオグラフォ n.m 地理学者は

「主語」

avendo aperto ア・ヴェント・ア・ペールト ジェルンディオ・完了形・同時(aprire)

adv. ~を開けて、開いて

「副詞句」

il suo registro, イル・スー・レジストロ n.m 登記簿を

「目的語」

temperò テンペロ 3 単遠(temperare)v.t (鉛筆を)尖らせた、削った

「動詞」

la sua matita. ラ・スー・マチタ n.f 鉛筆を

「目的語」

XV

探検家たちの冒険談は、最初は鉛筆でノートを取られる。そして探検家が証拠の品を提出するのを待って、それをペンで記録する。

I resocónti degli esploratóri si annotano da prima a matita, e si aspetta per annotarli a penna che l'esploratóre abbia fornito delle prove.

「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「動詞句」「目的語」「副詞句」

I resocónti イ・レソコンティ pl(resocónto).n.m 経験談は、報告書 「主語」

degli esploratóri デ・ツリ・エスプ ロトリー adj.(esploratóre) 探検家たちの 「形容詞句」

si annotano シ・アノタ 3 複現・再帰受動(annotarsi)v.pr メモされる、記録 「動詞句」

da prima ダ・プリーマ adv. 最初は、まず 「副詞句」

a matita, ア・マチータ adv. (手段) 鉛筆で 「副詞句」

e エ conj. そして

si aspetta シ・アスペ ッタ 3 単現(aspettarsi)v.pr 待つ、期待する 「動詞句」

per annotarli ペル・アノタルリ 不定詞・目的・結果 adv. そして書く 「副詞句」

a penna ア・ペンナ adv. (手段) ペンで 「副詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

l'esploratóre レスプ ロトーレ n.m その探検家が 「主語」

abbia fornito アッビ・ア・フォルニート 接・3 単現・完了形・假定(fornire)

v.t 提出した 「動詞句」

delle pròve. デ・ツレ・プ ロヴァエ pl(pròva).n.f 証拠、証拠の品 「目的語」

「それじゃあ」と、地理学者は催促した。

"Allóra?" interrogò il geògrafo. 《「催促」》, 「動詞」「主語」

"Allóra?" アッローラ adv. それでは、じゃあ 「催促」

interrogò インテロコ 3 単遠(interrogare)v.t 問いただした 「動詞」

il geògrafo. イル・ジエオグラフォ n.m 地理学者は 「主語」

「えー、僕の所は」と、王子さまは言った。「あまり面白くないですよ、全く小さいんです」

"Oh! da me", disse il piccolo principe, "non è molto interessante, è talmente piccolo."

《「間投」「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「補語」, 「動詞」「補語」》

"Oh! オー int. えーと 「間投」

da me", ダ・メ adv. (場所) 僕の所では 「副詞句」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

"non è ノネ 3 単現・否定(essere)v.i ～でない 「動詞句」

mólto interessante, モルト・インテレッサンテ adj. (否定文で) あまり面白く～ない 「補語」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

XV

talménte piccolo. タルメンテ・ピッコロ adj. とても小さい

「補語」

「火山が 3 つあります。2 つは活火山で 1 つは休火山です。でも、何が起こるか誰にもわかりません」

Ho tre vulcani, due in attività e uno spènto. Ma non si sa mai".

《「動詞」「目的語」, 「主語」「補語」 e 「主語」「補語」 | Ma 「動詞句」》

Ho オ 1 単現(avére)v.t. ～がある、持っている

「動詞」

tre vulcani, トレ・ヴルカーニ pl(vulcano).n.m 火山を 3 個

「目的語」

due トゥエ n.m 2 つは

「主語」

in attività イン・アッチヴィータ adj. 活動中の

「補語」

e エ conj. そして

uno ウーノ n.m 1 つは

「主語」

spènto. スペント adj. 消えた

「補語」

Ma マ conj. しかし

non si sa mai". ノン・シ・サ・マ・イ 3 単現・再帰受動・否定(sapersi)

v.pr 決して知られない→誰にも分からない

「動詞句」

「誰にも分からないさ」と、地理学者は答えた。

"Non si sa mai", disse il geògrafo.

《「動詞句」, 「動詞」「主語」

"Non si sa mai", ノン・シ・サ・マ・イ 3 単現・再帰受動・否定(sapersi)

v.pr 決して知られない→誰にも分からない

「動詞句」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il geògrafo. イル・ジョグラフィョ n.m 地理学者は

「主語」

「花も 1 輪あります」

"Ho anche un fióre".

《「動詞」「目的語」》

"Ho オ 1 単現(avére)v.t. ～がある

「動詞」

anche un fióre". アンケ・ウン・フィオーレ n.m 花も 1 輪

「目的語」

「花は記録しないよ」と、地理学者は言った。

"Nói non annotiamo i fióri", disse il geògrafo.

《「主語」「動詞句」「目的語」, 「動詞」「主語」

"Nói ノーイ pron 我々地理学者は

「主語」

non annotiamo ノン・アンノチアーモ 1 複現・否定(annotare)v.t 記録しない、メモしない「動詞句」

i fióri", イ・フィオーリ pl(fióre).n.m 花を

「目的語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

XV

il geògrafo. イル・ジエオグラフォ n.m 地理学者は 「主語」

「どうして？一番美しいもののなに」

"Perché? Sono la còsa più bèlla". 《「感嘆」 | 「動詞」「補語」》

"Perché? ペルケ adv. どうして? 「感嘆」

Sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ~である 「動詞」

la còsa ラ・コサ n.f もの 「補語」

più bèlla". ピウ・ベッラ adj(bèllo).f 一番美しい 「形容詞句」

「なぜなら、花ははかないからだよ」

"Perché i fióri sono effimeri". 《「Perché」「動詞」「補語」》

"Perché ペルケ conj. なぜなら

i fióri イ・フィオーリ pl(fióre).n.m 花は 「主語」

sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ~である 「動詞」

effimeri". エッフィーメリ adj(effimero).m.pl はかない、束の間の 「補語」

「『はかない』って、どういう意味なの？」

"Che còsa vuol dire <effimero>?" 《「目的語」「動詞句」「主語」》

"Che còsa ケ・コサ n.f 何を 「目的語」

vuol dire ヴォール・ディレ 3 単現(voler dire)v.t 意味する 「動詞句」

<effimero>?" エッフィーメロ adj. 『はかない』って言葉は 「主語」

「地理学書というのは」と、地理学者は言った。「あらゆる本の中で最も信頼のおけるものだ。決して流行遅れになることはないんだ」

"Le geografie", disse il geògrafo, "sono i libri più preziosi fra tutti i libri. Non passano mai di mòda. 《「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」 | 「動詞句」「副詞句」》

"Le geografie", レ・ジエオグラフィエ pl(geografia).n.f 地理学書というのは 「主語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

il geògrafo, イル・ジエオグラフォ n.m 地理学者は 「主語」

"sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ~である 「動詞」

i libri イ・リーブリ pl(libro).n.m 本 「補語」

più preziosi ピウ・プレチオーシ adj(prezioso).m.pl 最も尊重される 「形容詞句」

fra tutti i libri. フラ・トゥッティ・イ・リーブリ adv. あらゆる本の中で 「副詞句」

Non passano mai ノン・パッサノ・マイ 3 複現・否定(passare)v.i 決して消え去らない 「動詞句」

di mòda. ディ・モダ adv. (原因) 流行によって 「副詞句」

XV

山が移動することはほとんど無いし、大洋が干上がることもほとんどない。私たちは永遠の物を記録しているんだよ。

È molto raro che una montagna cambi di posto. È molto raro che un oceano si prosciughi. Noi descriviamo delle cose etèrne".

「動詞」「補語」「主語」 | 「動詞」「補語」「主語」 | 「主語」「動詞」「目的語」
 È エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 molto raro モルト・ラーロ adj. ほとんど無い 「補語」
 che ケ conj. ~ということは 「主語」
 raro という「評価・判断」に対応する節は接続法を使用する
 una montagna ウナ・モンターニャ n.f 山が 「主語」
 cambi カンビ 接・3 単現・推測(cambiare)v.i 変わる 「動詞」
 di posto. ティ・ポスト adv. 位置が、場所が 「副詞句」
 È エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 molto raro モルト・ラーロ adj. ほとんど無い 「補語」
 che ケ conj. ~ということは 「主語」
 un oceano ウン・オセアノ n.m 大洋が 「主語」
 si prosciughi. シ・プロシュギ 接・3 単現・推測(prosciugarsi) 「動詞句」
 v.pr 干上がる、乾燥する 「動詞句」
 Noi ノイ pron.pl 私たちは 「主語」
 descriviamo デスクリヴァモ 1 複現(descrivere)v.t 記述する 「動詞」
 delle cose デッレ・コセ pl(cosa).n.f 物を 「目的語」
 etèrne". エテルネ adj(eterno).f.pl 永遠の 「形容詞」

「でも休火山はまた目覚める可能性がありますよ」と、王子さまは遮った。「『はかない』って、どういう意味なんですか？」

"Ma i vulcani spènti si possono risvegliare", interruppe il piccolo principe. "Che cosa vuol dire <effimero>?"

《Ma 「主語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「目的語」「動詞句」「主語」》
 "Ma マ conj. しかし
 i vulcani spènti イ・ウルカーニ・スペンティ pl(vulcano).n.m 休火山は 「主語」
 spènti スペンティ adj(spento).m.pl 消えた
 si possono risvegliare", シ・ポッソノ・リスヴェリヤレ 3 複現・可能性(potére+不定詞 risvegliarsi) 「動詞句」
 v.pr 再び目覚める可能性がある 「動詞句」
 interruppe インテルペ 3 単遠(interrómpere)v.t 遮った 「動詞」
 il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
 "Che cosa ケ・コサ n.f 何を 「目的語」

XV

vuol dire ヲル・ディレ 3 単現(volére+不定詞 dire)v.t 意味する

「動詞句」

<effimero>?" エフイーモ adj. 『はかない』は

「主語」

「休火山だろうが活火山だろうが、我々にはどちらでも構わないことじゃ。我々にとって重要なのは山なんじゃ。それは変わらないから」

"Che i vulcani siano spènti o in azione, è lo stèssu per nòi", disse il geògrafo. "Quéllo che conta per nòi è il monte, lui non cambia".

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞句」》

"Che ケ conj. ～ということは

「主語」

i vulcani イ・ヴルカーニ pl(vulcano).n.m 火山が

「主語」

siano シアノ 接・3 複現・仮定(essere)v.i ～である

「動詞」

spènti スペンティ adj(spènto).m.pl 消えた

「補語」

o オ conj. または

in azione, イン・アツィオーネ adv. 活動中の

「補語」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

lo stèssu ロ・ステッソ pron 同じこと、どちらでも良いこと

「補語」

per nòi, ペル・ノイ adv. 私たちにとっては

「副詞句」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il geògrafo. イル・ジョグラフィョ n.m 地理学者は

「主語」

"Quéllo ケッロ pron それは

「主語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

conta コンタ 3 単現(contare)v.i 重要である

「動詞」

per nòi ペル・ノイ adv. 私たちにとって

「副詞句」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

il monte, イル・モンテ n.m 山

「補語」

lui ルイ pron (monte の代用) それは

「主語」

non cambia". ノン・カンビア 3 単現・否定(cambiare)v.i 変わらない

「動詞句」

「だけど、『はかない』ってどういう意味なの？」と、王子さまは繰り返した。彼はこれまで、いったん質問すると、途中で諦めたことは一度もなかった。

"Ma che cosa vuol dire <effimero>?" ripeté il piccolo principe che in vita sua non aveva mai rinunciato a una domanda una volta che l'aveva fatta.

《Ma 「目的語」「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」,

「主語」「副詞句」「動詞句」「間接目的語」

"Ma マ conj. しかし

che cosa ケ・コーサ n.f 何を

「目的語」

XV

vuol dire ヲォル・デーレ 3 単現(volére dire)v.t 意味する	「動詞句」
<effimero>" エフイーメロ adj. 「はかない」は	「主語」
ripeté リペテ 3 単遠(ripètere)v.t 繰り返した	「動詞」
il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは	「主語」
che ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
in vita sua イン・ヴィータ・スア adv. 彼の人生において	「副詞句」
non aveva mai rinunciato ノン・アヴァ・エーヴァ・マ・イ・リヌンチャート 3 単半・完了形・否定(rinunciare)	
v.i(a を) 一度も断念したことがない	「動詞句」
a una domanda ア・ウナ・トマンダ adv. 質問を	「間接目的語」
una volta che ウナ・ヴォルタ・ケ conj. 一度～したら	「副詞節」
l' ラ pron (domanda の代用) それを	「目的語」
aveva fatta. アヴァ・エーヴァ・ファッタ 3 単半・完了形.f(fare)	
v.t 質問した	「動詞句」

「『まもなく消滅する恐れがある』という意味だ」

" <u>Vuol dire <che è minacciato di scomparire in un tempo breve>".</u>	《「動詞句」「目的語」》
"Vuol dire ヲォル・デーレ 3 単現(volére dire)v.t 意味する	「動詞句」
<che ケ conj. ～ということを	「目的語」
è エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
minacciato ミナッチャート 過去分詞(minacciare)adj. 危うい	「補語」
di scomparire ディ・スコンパリーレ 不定詞・理由 v.i 消えることが	「副詞句」
in un tempo breve>". イン・ウン・テンポ・ブレーヴァエ adv. 短い時間で	「副詞句」

「僕の花は、間もなく消滅する運命なんですか？」

" <u>Il mio fióre è destinato a scomparire prèsto?</u> "	《「主語」「動詞句」「補語」》
"Il mio fióre イル・ミオ・フィオーレ n.m 僕の花は	「主語」
è destinato エ・デスチナート 3 単現・受動.m(destinare)	
v.t(a+不定詞 ～することを) 運命づけられている	「動詞句」
a scomparire ア・スコンパリーレ 不定詞・fióre の動作 v.i 消滅する	「補語」
prèsto?" プレスト adv. 間もなく	「副詞」

「もちろんだよ」

" <u>Certaménte</u> ".	《「応答」》
"Certaménte". チェルタメンテ adv. もちろん	「応答」

XV

《僕の花ははかないんだ》と、王子さまは思った。「それに、世間から身を守るために、4本の棘しかないんだ。それなのに僕は、あの花を一人ぼっちにしまったんだ！」

Il mio fióre è effimero, si disse il piccolo principe, e non ha che quattro spine per difendersi dal mondo! E io l'ho lasciato sólo!

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞句」「主語」,

《e「動詞句」「目的語」「副詞句」 | E「主語」「目的語」「動詞句」「補語」》

Il mio fióre イル・ミオ・フィオーレ n.m 僕の花は 「主語」
 è エ 3 単現(essere)v.i 〜である 「動詞」
 effimero, エフィーメロ adj. はかない 「補語」
 si disse シ・ディッセ 3 単遠(dirsi)v.pr 思った 「動詞句」
 il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
 e エ conj. そして
 non ha ノ・ナ 3 単現・否定(avére)v.t 〜がない 「動詞句」
 che quattro spine ケ・クワットロ・スピネ pl(spina).n.f (non...che) 4 本の棘しか〜ない「目的語」
 per difendersi ペル・ディフェンデルシ 不定詞・目的 adv. 自分の身を守るために 「副詞句」
 dal mondo! ダル・モンド adv. 世間から 「副詞句」
 E エ conj. そして
 io イオ pron 僕は 「主語」
 l' ロ pron 僕の花を 「目的語」
 ho lasciato オ・ラッシャート 1 単現・完了形(lasciare)v.t 〜のままにした 「動詞句」
 sólo! ソーロ adj. 一人ぼっちの 「補語」

そして初めて、彼は後悔から胸が痛むのを感じた。しかし、彼は気持ちを切り替えた：

E per la prima vòlta si sentì pungere dal rammàrico. Ma si fece coràggio:

E「副詞句」「動詞句」「副詞句」 | Ma「動詞句」「補語」

E エ conj. そして
 per la prima vòlta ペル・ラ・プリーマ・ヴォールタ adv. 初めて 「副詞句」
 si sentì pungere シ・センチ・プンジェ 3 単遠(sentirsi+不定詞)
 v.pr 自分の心が痛むのを感じた 「動詞句」
 si 自分に、sentì 感じた、pungere 痛みを感じさせる→自分自身が痛みを感じた
 dal rammàrico. ダル・ランマーリコ adv. (原因) 後悔から 「副詞句」
 Ma マ conj. しかし
 si fece シ・フェーチェ 3 単遠(farsi)v.pr 〜になった 「動詞句」
 coràggio: コラッジョ n.m 元気 「補語」

XV

「何を訪ねたらいいですか？」

"Che còsa mi consigliate di andare a visitare?"

《「直接目的語」「間接目的語」「動詞句」》

"Che còsa ケ・コーサ n.f 何を

「直接目的語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

consigliate コンシリアーテ 2 複数・敬称・疑問文(consigliare)

v.t (di+不定詞 ～することを) 勧めますか？

「動詞句」

di andare a visitare?" ディ・アンダーレ・ア・ウ・インターレ 不定詞(andare a+不定詞)

v.t 訪問しようとする

「動詞句」

「地球という惑星がいいよ」と、地理学者は彼に答えた。「評判がいいから...」

"Il pianéta Tèrra", gli rispoSe il geògrafo. "Ha una buona reputazióne..."

《「応答」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」, 《「動詞」「目的語」》

"Il pianéta Tèrra", イル・ピ°アネータ・テッラ n.m 地球という惑星がいいよ

「応答」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

rispoSe リスポ°セ 3 単遠(rispondere)v.t 答えた

「動詞」

il geògrafo. イル・ジ°エグラフォ n.m 地理学者は

「主語」

"Ha ア 3 単現(avére)v.t ～がある

「動詞」

una buona reputazióne..." ウナ・ブ°エナ・レ°タツィオーネ n.f 良い評判

「目的語」

それで、王子さまは自分の花のことを考えながらそこを立ち去った。

E il piccolo principe se ne andò pensando al suo fióre.

E 「主語」「動詞句」「副詞句」

E エ conj. それで

il piccolo principe イル・ピ°ッコロ・フ°リンチ° n.m 王子さまは

「主語」

se ne andò セ・ネ・アント° 3 単遠(andàrsene)v.pr 立ち去った

「動詞句」

pensando ペンサント° ジェルンディオ・同時(pensare)v.i(a のことを) 考えながら 「副詞句」

al suo fióre. アル・ス°オ・フィオーレ adv. 自分の花のことを

「間接目的語」

XVI

XVI

そういうわけで、7 番目の惑星は地球だった。

Il sèttimo pianéta fu dùnque la Tèrra.

「主語」「動詞」 dùnque 「補語」

Il sèttimo pianéta イル・セッチモ・ピ°アネータ n.m 7 番目の惑星は

「主語」

sèttimo セッチモ adj.(adj.f sèttime) 7 番目の

la sèttime arte n.f 第 7 芸術、映画

(映画を建築, 絵画, 彫刻, 音楽, 舞踏, 文学に続く第 7 番目の新しい芸術とするもの)

fu フ 3 単遠(èssere)v.i ~だった

「動詞」

dùnque トゥンケ conj. それゆえに、そういうわけで

la Tèrra. ラ・テッラ n.f 地球

「補語」

地球はどこにでもあるような惑星ではない！

La Tèrra non è un pianéta qualsiasi!

「主語」「動詞句」「補語」

La Tèrra ラ・テッラ n.f 地球は

「主語」

non è ノ・ネ 3 単現・否定(èssere)v.i ~でない

「動詞句」

un pianéta ウン・ピ°アネータ n.m 惑星

「補語」

qualsiasi! クワルシ°アジ adj. ごく普通の、どこにでもあるような

「形容詞」

そこには、111 人の王様（もちろんいくらかは黒人の王様も）、7000 人の地理学者、9020 億人の大人万人の実業家、750 万人の吞兵衛、三億一千百万人の見栄っ張り、すなわち、およそ 20 億人の大人が居る。

Ci si contano cento e undici re (non dimenticando, cèrto, i re négri!), sèttemila geògrafi, novecentomila uòmini d'affari, sètte milioni e mèzzo di ubriacóni, trecentodódicimilioni di vanitòsi, cioè' due miliàardi circa di adulti.

「副詞」「動詞句」「主語」(「副詞句」「主語」), 「主語」, 「副詞」「主語」

Ci チ adv. そこには

「副詞」

si contano シ・コンタノ 3 複現・再帰受動(contarsi)

v.pr ~が保有される、~が数えられる

「動詞句」

cento e undici re チェント・エ・ウンディチ・レ pl(re 無変).n.m 111 人の王様

「主語」

(non dimenticando, ノン・ディメンチカント ジェルンディオ・否定(dimenticare)

adv. 忘れずに、もちろん

「副詞句」

cèrto, i re négri!), チェルト・イ・レ・ネグリ pl(re).n.m いくらかの黒人の王様も

「主語」

cèrto チェルト adj. いくらかの négri ネグリ adj(négro).m.pl 黒人の

sèttemila geògrafi, セッテミラ・ジ°エオグラフィ pl(geògrafo).n.m 7000 人の地理学者

「主語」

novecentomila uòmini d'affari, ノヴェチェントミラ・ウオーミニ・ダッファアリ

XVI

pl(uòmo d'affare).n.m 90 万人の実業家	「主語」
sètte milioni e mèzzo di ubriacóni, セツ・ミリオニ・エ・メツヅ・デ・イ・ウブリアコーニ	
pl(ubriacóne).n.m 750 万人の呑兵衛	「主語」
trecentodódi milioni di vanitósi, トレチェントド・デ・イチ・ミリオニ・デ・イ・ヴァニトージ	
pl(vanitóso).n.m 三億一千百万人の見栄っ張り	「主語」
cioe' チョエ adv. すなわち、つまり	「副詞」
due miliàrdi circa di adulti. ドゥエ・ミリアルデ・イ・チルカ・デ・イ・アドゥアルティ	
pl(adulto).n.m およそ 20 億人の大人	「主語」
miliàrdi ミリアルデ・イ pl(miliàrdo).n.m 10 億 circa チルカ adv. およそ、だいたい	
a circa due chilòmetri = a due chilòmetri circa circa は [数] の前又は後に置ける	

君たちに地球の大きさの見当を与えるために、言っておきたいことがある。それは、電気が発明される以前には、街灯を点灯するためには 6 大陸まとめて本物の軍隊ほどの、462,511 人の点灯夫を保持する必要があったということだ。

Per darvi un'idea delle dimensioni della Terra, vi dirò che prima dell'invenzione dell'elettricità bisognava manteneré, sull'insieme dei sèi continenti, una véra armata di quattrocentosessantaduemila e cinquecentoúndici lampionai per accendere i lampioni.

「副詞句」, 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」

Per darvi ペル・ダール・ヴァイ 不定詞・目的(dare+vi)v.t 君たちに与えるためには 「副詞句」
un'idea ウン・イデア n.m 見当を 「目的語」

delle dimensioni della Terra, デ・ツレ・デ・イメンシオーニ・デ・ツラ・テラ

adj. 地球の大きさについての 「形容詞句」

vi ヴァイ pron 君たちに 「間接目的語」

dirò ディロ 1 単未・意志(dire)v.t(che ～と) 言いたい 「動詞」

che ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

prima dell'invenzione プリマ・デ・リソワ・エンツィオーネ

adv. (時間) 発明以前には 「副詞句」

dell'elettricità デ・ツレレクトリチタ adj. 電気の 「形容詞句」

bisognava ビゾニャーハ 非人称・3 単現(bisognare+不定詞 ～する)

v.h 必要があった 「動詞」

mantenére, マンテネレ 不定詞 v.t 保持することが 「主語」

sull'insieme dei sèi continenti, スル・インシエーメ・デ・イ・セイ・コンチネンティ

adv. 6 大陸まとめて 「副詞句」

una véra armata ウナ・ヴァ・エラ・アルマータ n.f 本物の軍隊を 「目的語」

di quattrocentosessantaduemila e cinquecentoúndici lampionai

デ・イ・クワットロチェントセソタドゥエミラ・エ・チンクェチェントウンデ・イチ・ランピニ・オナイ

XVI

adj. 462,511 人の点灯夫の 「形容詞句」
 per accendere i lampiõni. ヘル・アツェンデレ・イ・ランピ・オーニ
 adv. (目的) 街灯を点灯するために 「副詞句」

少し離れて見ると、それは素晴らしい効果を造り出していた。この 1 軍のの動きは、オペラのバレエ団の動きのように統制されていた。

Visto un po' da lontano faceva uno splendido effètto. I movimènti di quèsta armata erano regolati còme quèlli di un ballétto d'òpera.

「副詞句」, 「動詞」 「目的語」 「主語」 | 「主語」 「動詞句」 「副詞句」
 Visto ヴィスト 過去分詞・条件(vedere)v.t ~を見たら 「副詞句」
 un po' da lontano ウン・ポ・ダ・ロンターノ adv. (位置) 少し離れて、遠くから 「副詞句」
 faceva ファチェヴァ 3 単半(fare)v.t ~を造り出していた 「動詞」
 uno splendido effètto. ウノ・スペレンディト・エフエット n.m 素晴らしい効果を 「目的語」
 I movimènti イ・モヴィメンティ pl(movimènto).n.m 動きは 「主語」
 di quèsta armata ディ・ケスタ・アルマータ adj. この 1 軍の 「形容詞句」
 erano regolati エーノ・レゴラーティ 3 複半・受動(regolare)v.t 統制されていた 「動詞句」
 còme コーメ adv. ~のように 「副詞句」
 quèlli ケリ pl(quèllo).pron 人たち 「目的語」
 di un ballétto ディ・ウン・バレット adj. バレエ団の 「形容詞句」
 d'òpera. ドーペラ adj. オペラの 「形容詞句」

最初は、ニュージーランドとオーストラリアの点灯夫達の番だった。

Prima c'era il turno di quèlli che accendevano i lampiõni della Nuova Zelanda e dell'Australia.

「副詞」 「主語」 「動詞」 「補語」
 Prima プリーマ adv. まず、最初に 「副詞」
 c' チ pron それは 「主語」
 era エー 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」
 il turno di quèlli イル・トゥルノ・ディ・ケリ n.m 人たちの番 「補語」
 che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 accendevano アツェンデヴァノ 3 複半(accendere)v.t 点火する 「動詞」
 i lampiõni イ・ランピ・オーニ pl(lampiõne).n.m 街灯を 「目的語」
 della Nuova Zelanda e dell'Australia. デッラ・ヌエヴァ・ゼランダ・エ・テラウストリア
 adj. ニュージーランドとオーストラリアの 「形容詞句」

XVI

彼らは、街灯を点灯し終わると、寝に行った。

Dópo di che, quésti, avendo accesi i loro lampioni, se ne andavano a dormire.

「副詞句」「主語」「動詞句」

Dópo di che, トーポ・ディ・ケ adv. その後で

「副詞句」

che は前文の内容をさす

quésti, ケスティ pron(quésto).pl 彼らは

「主語」

avendo accesi アヴェント・アチェッジ ジェルンディオ・完了形(accendere)

adj.m.pl 点灯した

「形容詞句」

accesi は「主語」に相当する quésti に性・数一致

i loro lampioni, イ・ロー・ランピオーニ pl(lampione).n.m 街灯を

「目的語」

se ne andavano a dormire. セ・ネ・アンダヴァノ・ア・ドルミレ 3 複半・意図(andarsene a+不定詞)

v.pr 寝るために立ち去った、寝に行った

「動詞句」

すると今度は、中国とシベリアの点灯夫達が舞台に登場しました。

Allóra entravano in scèna quéli della Cina e della Sibèria.

「副詞」「動詞」「副詞句」「主語」

Allóra アッローラ adv. 今度は

「副詞」

entravano エントラーヴァノ 3 複半(entrare)v.i 登場した

「動詞」

in scèna イン・シェーナ adv. 舞台に

「副詞句」

quéli ケェリ pron.pl 点灯夫達が

「主語」

della Cina e della Sibèria. テッラ・チーナ・エ・テッラ・シベリア

adj. 中国とシベリアの

「形容詞句」

それから、彼らも舞台裏に飛び込んでいった。

Pòi anch'èssi se là battevano fra le quinte.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」

Pòi ポーイ adv. それから

「副詞」

anch'èssi アンケッシ pron.pl 彼らも

「主語」

se là battevano セ・ラ・バッテヴァノ 3 複半(battersi)v.pr そこにぶつかっていった

「動詞句」

fra le quinte. フラ・レ・クインテ adv. (空間) 舞台裏に

「副詞句」

fra フラ prep ~の中に quinte クインテ pl(quinta).n.f 舞台の垂れ幕、舞台のそで

フランス語版では :

それから、彼らも舞台裏へ姿を消した。

Puis eux aussi s'escamotaient dans les coulisses.

イタリア語では、Pòi anch'èssi si nascondevano fra le quinte. で良いと思う。

XVI

それからロシアとインドの点灯夫の番となり、次は、アフリカとヨーロッパの点灯夫達。

Allóra veniva il turno dei lampionai della Russia e delle Indie. Pòi di quèlli dell'Africa e dell'Europa.

「副詞」「動詞」「主語」 | 「副詞」「主語」

Allóra アッローラ adv. それから

「副詞」

veniva ヴェニヴァ 3 単半(venire)v.i やって来た

「動詞」

il turno dei lampionai イル・トゥルノ・デ・イ・ランピオーニ n.m 点灯夫の順番が

「主語」

della Russia e delle Indie. デッラ・ルッシア・エ・デッレ・インディエ

adj. ロシアとインドの

「形容詞句」

Pòi ポーイ adv. それから

「副詞」

di quèlli デイ・クェッリ adj. 点灯夫の順番が

「主語」

dell'Africa e dell'Europa. デッラフリカ・エ・デッレウロア

adj. アフリカとヨーロッパの

「形容詞句」

それから南アメリカの点灯夫、そして最後に北アメリカの点灯夫が現れる。

Pòi di quèlli dell'America del Sud e infine di quèlli dell'America del Nord.

「副詞」「主語」 e 「副詞」「主語」

Pòi ポーイ adv. それから

「副詞」

di quèlli デイ・クェッリ adj. 点灯夫の順番が

「主語」

dell'America del Sud デッラメリカ・デル・スット adj. 南アメリカの

「形容詞句」

e エ conj. そして

infine インフィーネ adv. 最後に

「副詞」

di quèlli デイ・クェッリ adj. 点灯夫の順番が

「主語」

dell'America del Nord. デッラメリカ・デル・ノルト adj. 北アメリカの

「形容詞句」

その上、彼らは決して登場する順番を間違えることはないのだ。

E mai che si sbagliassero nell'ordine di entrata in scena.

E 「副詞句」「動詞句」「間接目的語」

E エ conj. そして

mai che マイ・ケ conj. (強調・感嘆) 決して～ではないのだ！

「副詞句」

話者の肯定・否定の想念を示す mai に導かれるので、接続法を用いる

si sbagliassero シ・ズバリアッセロ 接・3 複半(sbagliarsi)v.pr (否定文で) 間違えない「動詞句」

nell'ordine di entrata ネットロヘルディエ・デ・イ・エントラータ adv. 入場の順番を

「間接目的語」

in scena. イン・シェーナ adv. 舞台への

「副詞句」

XVII

それは壮大な眺めだった。

Era grandioso.

「動詞」「補語」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

grandioso. グランディオーソ adj. 壮大な、威厳のある

「補語」

北極の唯一の街灯の点灯夫と南極の唯一の街灯の点灯夫だけは、何もせずいい加減な生活を送っていた：かれらは1年に2度、仕事をしていた。

Sóli, il lampionaio dell'unico lampione del Pòlo Nord e il confratello dell'unico lampione del Pòlo Sud, menavano vite ozióse e noncuranti: lavoravano due vòlte all'anno.

「主語」「動詞」「目的語」：「動詞」「副詞句」

Sóli, ソーリ adj(Sólo).pl ただ～だけ

「形容詞」

il lampionaio イル・ランピォーイ n.m 点灯夫は

「主語」

dell'unico lampione テ・ルーニコ・ランピォーネ adj. 唯一の街灯の

「形容詞句」

del Pòlo Nord テル・ポーロ・ノルト adj. 北極の

「形容詞句」

e エ conj. そして

il confratello イル・コンフラテッロ n.m 同僚は

「主語」

dell'unico lampione テ・ルーニコ・ランピォーネ adj. 唯一の街灯の

「形容詞句」

del Pòlo Sud, テル・ポーロ・スット adj. 南極の

「形容詞句」

menavano メナヴァノ 3 複半(menare)v.t 過ごしていた、送っていた

「動詞」

vite ヴァーテ pl(vita).n.f 生活を

「目的語」

ozióse オヂォセ adj(ozióso).f.pl 何もせず過ごす、無駄な

「形容詞」

e エ conj. そして

noncuranti: ノンクランティ adj(noncurante).pl いい加減な

「形容詞」

lavoravano ラウヴァーバノ 3 複半(lavorare)v.i 仕事をしていた、働いていた

「動詞」

due vòlte all'anno. トゥエ・ヴァルテ・アランノ adv. 1年に2度

「副詞句」

XVII

才気を見せびらかそうとすると、時には少し嘘をつくことにもなる。

Capita a vòlte, volendo fare dello spìrito, di mentire un po'.

「動詞」「副詞句」, 「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」

Capita カッタ 非人称・3 単現(capitare)v.h (di+不定詞) (～が) 起きる、生じる

「動詞」

a vòlte, ア・ヴァルテ adv.(vòlta) 時々、時に

「副詞句」

volendo +不定詞 ヴォレント ジェルンディオ(volére+不定詞)

adv. (仮定) ～しようとする

「副詞句」

fare ファーレ 不定詞 v.t (動作を) する

「動詞句」

XVII

dello spìrito, デッロ・スピート n.m 才気を 「目的語」
 di mentire デイ・メンチレ 不定詞 v.i 嘘をつく 「動詞句」
 un po'. ウン・ポ adv. 少し 「副詞句」

僕は君たちに街灯の点灯夫について話していたけれども、あまり正直ではなかった。

Non sono stato móltó onesto parlandovi degli uòmini che accendono i lampióni.

「動詞句」「補語」
 Non sono stato ノン・ソーノ・スタート 1 単現・完了形・否定・状態(èssere)v.i ~でなかった 「動詞句」
 móltó onesto モルト・オネスト adj. (否定文で) あまり正直な 「補語」
 parlandovi パルランド・ヴィ ジェルンディオ(parlare+vi)
 adv. (譲歩) 君たちに話しながらも 「副詞句」
 degli uòmini デッリ・ウオーミニ adv. 人々について 「間接目的語」
 che ケ pron.pl (主語) ~する 「形容詞節」
 accendono アッチェントノ 3 複現(accendere)
 v.t 点灯する 「動詞」
 i lampióni. イ・ランピオーニ
 pl(lampióne).n.m 街灯を 「目的語」

僕は、僕たちの惑星を知らない人たちに、間違えた見解を与えてしまう恐れがある。

Rischio di dare a quélly che non lo conoscono una falsa idea del nostro pianéta.

「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」
 Rischio di dare リスキオ・デイ・ダーレ 非人称的・1 単現・心配(rischiare di+不定詞)
 v.t ~を与える恐れがある 「動詞句」
 a quélly ア・ケッリ adv. (対象) 誰かに 「間接目的語」
 che ケ pron.pl (主語) ~する 「形容詞節」
 non ...conoscono ノン...コノスコ 3 複現・否定(conoscere)
 v.t 知らない 「動詞句」
 lo lo pron それを (僕たちの惑星の事を) 「目的語」
 una falsa idea ウナ・ファルサ・イデア n.f 間違えた見解を 「直接目的語」
 del nostro pianéta. デル・ノストロ・ピアーネータ adj. 僕たちの惑星の 「形容詞句」

人間は地球上でほんのわずかな場所を占めているに過ぎない。

Gli uòmini occupano móltó poco pósto sulla Tèrra.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
 Gli uòmini リ・ウオーミニ pl(uòmo).n.m 人間は 「主語」
 occupano オカハノ 3 複現(occupare)v.t 占めている 「動詞」

XVII

mólto poco pósto モルト・ポコ・ポスト n.m ほんのわずかな場所を 「目的語」
 sulla Tèrra. スッ・テッラ adv. 地球上で 「副詞句」

もしも地球に住む 20 億人の人々が、集会の時のように少し狭苦しく、立って集まるならば、長さ 20 マイルで幅が 20 マイルの広場の中に楽に入りきることが分かるだろう。

Se i due miliardi di abitanti che popolano la Tèrra stessero in piedi e un po' serrati, cóme per un comizio, troverebbero pósto facilménte in una piazza di ventimila metri di lunghezza per ventimila metri di larghezza. 「副詞節」, 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

Se セ conj. (仮定) もし～ならば 「副詞節」

i due miliardi イ・トゥエ・ミリアルディ pl.n.m 20 億が 「主語」

di abitanti ディ・アビタンティ adj.(abitante) 居住者の 「形容詞句」

che ケ pron.pl (主語) ～する 「形容詞節」

popolano ポポラ 3 複現(popolare)v.t 住みついている 「動詞」

la Tèrra ラ・テッラ n.f 地球に 「目的語」

stessero ステッセロ 接・3 複半・時制の一致(stare)v.i (～の状態) いる 「動詞」

in piedi イン・ピエティ adv. (様態) 立って 「補語」

e エ conj. そして

un po' serrati, ウン・ポ・セラーティ adj.pl.m 少し狭苦しい 「補語」

cóme コーメ conj. ～のように 「副詞句」

per un comizio, ペル・ウン・コミツィオ adv. 集会のため 「副詞句」

troverebbero トロベレベロ 条・3 複現・推測(trovare)v.t 獲得するだろう、気付くだろう 「動詞」

pósto ポスト n.m 場所を 「目的語」

facilménte ファシルメンテ adv. 簡単に、楽に 「副詞」

in una piazza イン・ウナ・ピッツァ adv. 1 つの広場に 「副詞句」

di ventimila metri di lunghezza per ventimila metri di larghezza.

ディ・ウエンチミラ・メートリ・ディ・ルンゲッツァ・ペル・ウエンチミラ・メートリ・ディ・ラルゲッツァ

adj. 長さ 20Km で幅が 20Km の 「形容詞句」

フランス語版では :

長さ 20 マイルに対して、幅 20 マイルの公共広場に

sur une place publique de vingt milles de long sur vingt milles de large.

→ ventimila metri ではなく、venti miglia が相当する。

miglio ミリオ n.m (長さの単位) マイル (1609m) ([複]le miglia)

フランス語版では、1 人の占めるスペースは 70cm x 70cm で、なんとか立っていられるが、イタリア語版では、44cm x 44cm になってしまうので、大人が立つことは苦しい。

しかし、人は食事をする必要もあるし、食事のためには野菜や家畜を育てる場所や、魚などが住む川や海の面積も必要である。そして、生活をするための家や会社や病院や公園なども

XVII

必要になるので、一人当たりに必要な面積は、10000 m²を超えると考えられる。

地球の半径は 6371Km だから、その表面積は 5 億 1000 万km²になる。地球上の全人口が 100 億人に増加したとすると、一人当たりの面積は 51000 m² (海・山・川を含む) になる。100 億人でもまだ十分な余裕があると考え人もいれば、多すぎると考える人もいるだろう。作者はとにかく数字を示して、読者に数字の意味などを考えさせたいのだと思われる。

全人類を、太平洋のどこかの小さな島に詰め込むことが出来るかもしれない。

Si potrebbe ammuccchiare l'umanità su un qualsiasi isolotto del Pacifico.

「動詞句」「主語」「副詞句」

Si potrebbe ammuccchiare シ・ポ°トレッハ°・アムッキアーレ 条・3 単現・可能・推量・再帰受動

(potére+不定詞・再帰受動)v.pr 詰め込まれるうるかもしれない

「動詞句」

l'umanità ルマニタ n.f 人類は

「主語」

su un qualsiasi isolotto ス・ウン・クワルシアシ・イゾ°ロット

adv. (空間・位置) どこかの小島に

「副詞句」

qualsiasi クワルシアシ adj. どんな〜でも isolotto イゾ°ロット n.m 小島(isola から派生)

del Pacifico. テル°パ°チ°フィコ adj. 太平洋の (Océano Pacifico)

「形容詞句」

当然、大人たちは君たちを信じないだろう。

Naturalmente i grandi non vi crederebbero.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」

Naturalmente ナトゥラルメンテ adv. 当然

「副詞」

i grandi イ°グランディ pl.pron 大人たちは

「主語」

non ...crederebbero. ノン...クレデーレーベ°ロ 条・3 複現・否定・推量(credere)

v.t 信じないだろう

「動詞句」

vi ヴィ pron 君たちを

「目的語」

自分たちはたくさんの場所を占有していると思い込んでいる。自分たちは、バオバブのよう
に、影響力があると考えているんだ。

Si immaginano di occupare molto pósto. Si vedono importanti come dei baobàb.

「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「補語」

Si immaginano シ°イマジナノ 3 複現(immaginarsi)

v.pr(di+不定詞 ~していると) 信じている、思い込んでいる

「動詞句」

di occupare ディ°オカパーレ 不定詞 v.t 占有している

「動詞句」

molto pósto. モルト°ポ°スト n.m たくさんの場所を

「目的語」

Si vedono シ°ヴェト°ノ 3 複現(vedersi)v.pr (自分自身を) ~と考えている

「動詞句」

importanti インボ°ルトンティ adj(importante).pl 重要な、影響力のある

「補語」

XVII

cóme dei baobàb. コーメ・デイ・バオバブ adv. バオバブのように

「副詞句」

それじゃあ、彼らに計算をするように助言してごらん、彼らは数字が大好きだから、きっと気に入ると思うよ。

Consigliategli allóra di fare dei càcoli, adorano le cifre e gli piacerà móltó.

「動詞句」「副詞」「動詞句」「目的語」, 「動詞」「目的語」 e 「間接目的語」「動詞」「副詞」

Consigliategli コンシリアテ・リ 命・2 複現(consigliare+gli)

v.t(+不定詞 ～するように) 彼らに助言しなさい

「動詞句」

allóra アッローラ adv. それで、じゃあ

「副詞」

di fare デイ・ファーレ 不定詞・助言 v.t ～するように

「動詞句」

dei càcoli, デイ・カルコリ pl(càcolo).n.m 計算を

「目的語」

adorano アドラーノ 3 複現(adorare)v.t 大好きだ

「動詞」

le cifre レ・チーフレ pl(cifra).n.f 数字が

「目的語」

e エ conj. そして

gli リ pron 彼らにとって

「間接目的語」

piacerà ピアチェラ 3 単末(piacére)v.i 好みになるだろう

「動詞」

móltó. モルト adv. とても

「副詞」

だけど、このような考えで時間を使ってはならない、それは無駄なことだ。君たちは僕を信頼してくれるよね？

Ma non perdeté il vostro tèmpo con quéstó pensiero, è inútile, visto che avete fiducia in me.

「動詞句」「目的語」「副詞句」, 「動詞」「補語」, 「副詞句」

Ma

Ma マ conj. しかし

non perdeté ノン・ペルテテ 命・2 複現・禁止(pèrdere)v.t 失ってはならない

「動詞句」

il vostro tèmpo イル・ヴォストロ・テンポ n.m 君たちの時間を

「目的語」

con quéstó pensiero, コン・クェスト・ペンシエロ adv. (原因) このような考えで

「副詞句」

è エ 3 単現(èssere)v.i ～である

「動詞」

inútile, イヌチレ adj. 無駄な

「補語」

visto che ヴィスト・ケ adv. ～だから、～のために、～と分かるので

「副詞句」

期待を込めた「呼びかけ」

avete アヴェーテ 2 複現(avére)v.t ～がある

「動詞」

fiducia フイドゥーチャ n.f (in ～への) 信頼

「目的語」

in me. イン・メ adv. 僕への

「副詞句」

XVII

王子さまは、地球に着くと、誰も見かけないことにとても驚いた。

Il piccolo principe, arrivato sulla Terra, fu molto sorpreso di non vedére nessuno.

「主語」, 「副詞句」, 「動詞」 「補語」

Il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

arrivato アリヴァート 過去分詞・様態(arrivare)v.i 到着すると 「副詞句」

sulla Terra, スッラ・テッラ adv. 地球に 「副詞句」

fu フ 3 単遠(essere)v.i 〜だった 「動詞」

molto sorpreso モルト・ソルプレソ adj. とても驚いた 「補語」

di non vedére デイ・ノン・ヴェデーレ 不定詞・理由・否定(di+不定詞)

adv. 見ないことに 「副詞句」

nessuno. ネッスノ pron 誰も〜ない 「目的語」

彼は、星を間違えたのではないかと、もう心配していた。その時、月色のリングが砂の中で動いた。

Aveva già paura di essersi sbagliato di pianéta, quando un anello del colore della luna si mosse nella sabbia. 「動詞」 「副詞」 「目的語」, quando 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Aveva 3 単半(avére)v.t 〜があった 「動詞」

già ジャ adv. もう 「副詞」

paura パウラ n.f 心配、恐れ 「目的語」

di +不定詞 adv. (関連) 〜するのではないかと 「副詞句」

essersi sbagliato エッセルシ・ズバリアート 不定詞・完了形(sbagliarsi)

v.pr 間違えた 「動詞句」

di pianéta, デイ・ピ・アネータ adv. 星について 「間接目的語」

quando クワント conj. するとその時

un anello ウン・アネロ n.m 指輪が、リング 「主語」

del colore della luna デル・コロレ・デッラ・ルーナ adj. 月色の 「形容詞句」

si mosse シ・モッセ 3 単遠(muoversi)v.pr 動いた 「動詞句」

nella sabbia. ネッラ・サッビア adv. 砂の中で 「副詞句」

「こんばんは！」と、王子さまは取り敢えず言ってみた。

"Buona notte", disse il piccolo principe a buon conto.

《「挨拶」》, 「動詞」 「主語」 「副詞句」

"Buona notte", ブォナ・ノッテ adv. 今晩は 「挨拶」

disse デイッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

a buon conto. ア・ブォン・コント adv. とにかく、いずれにせよ、取り敢えず 「副詞句」

XVII

「こんばんは」と、へビが言った。

"Buona notte", disse il serpente.

《「挨拶」》, 「動詞」「主語」

"Buona notte", ブオ・ノッテ adv. 今晩は

「挨拶」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il serpente. イル・セルペンテ n.m へビが

「主語」

「どの惑星に、僕は降りたのだろうか？」と、王子さまは尋ねた。

"Su quale pianeta sono sceso?" domandò il piccolo principe.

《「副詞句」「動詞句」》, 「動詞」「主語」

"Su quale pianeta ス・クワレ・ピ・アネータ adv. どの惑星の上に

「副詞句」

sono sceso?" ソーノ・シェゾ 1 単現・完了形(scendere)v.i 降りた

「動詞句」

domandò ドマント 3 単遠(domandare)v.t 尋ねた

「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

「地球の、アフリカだよ！」と、へビが答えた。

"Sulla Terra, in Africa", rispose il serpente.

《「応答」》, 「動詞」「主語」

"Sulla Terra, スラ・テラ adv. 地球に

「応答」

in Africa", イン・アフリカ adv. アフリカだ

「副詞句」

rispose リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた

「動詞」

il serpente. イル・セルペンテ n.m へビが

「主語」

「えっつ！それじゃあ、地球には誰もいないの？」

"Ah!.. Ma non c'è nessuno sulla Terra?"

《「感嘆」 Ma 「動詞句」「主語」「副詞句」》

"Ah!.. アー int. ああ、えっつ

「感嘆」

Ma マ conj. (文頭で、話題転換) ところで、さて、そして

non c'è ノン・チェ 3 単現・存在・否定(esserci)v.i 〜がない

「動詞句」

nessuno ネスーノ pron 誰も〜ない

「主語」

sulla Terra?" スラ・テラ adv. 地球には

「副詞句」

「ここは砂漠だよ。砂漠には誰もいないよ。地球は大きいんだ」と、へビが言った。

"Qui è un deserto. Non c'è nessuno nei deserti. La Terra è grande", disse il serpente.

《「副詞」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「主語」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」》,
「動詞」「主語」

"Qui キ adv. ここは

「副詞」

è エ 3 単現(essere)v.i 〜である

「動詞」

XVII

un desèrto. ウン・デゼールト n.m 砂漠

「補語」

Non c'è ノン・チェ 3 単現・存在・否定(esserci)v.i ~がない

「動詞句」

nessuno ネッスーノ pron 誰も~ない

「主語」

nei desèrti. ネイ・デゼールティ adv. 砂漠には

「副詞句」

La Terra ラ・テラ n.f 地球は

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

grande", グランデ adj. 大きな

「補語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il serpente. イル・セルペンテ n.m ヘビが

「主語」



XVII

王子さまは石の上に座って、空の方へ視線を向けた：

Il piccolo principe sedette su una pietra e alzò gli occhi verso il cielo:

「主語」「動詞」「副詞句」 e 「動詞」「目的語」「副詞句」：

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
 sedette セデッテ 3 単遠(sedére)v.i 座った 「動詞」
 su una pietra ス・ウナ・ピエトラ adv. 石の上に 「副詞句」
 e エ conj. そして
 alzò アルツォ 3 単遠(alzare)v.t (体の部分を) 上げた 「動詞」
 gli occhi リ・オッキ pl(occhio).n.m 目を、視線を 「目的語」
 verso ヴェールソ prep (方向) への方に 「副詞句」
 il cielo: イル・チェロ n.m 空 「目的語」

「僕は自問する」と、王子さまは言った。「星たちは、誰もがいつか自分の惑星を見つけられるように輝いているのだろうか。見てごらん、僕の惑星を。僕たちの真上にある... でも、なんて遠いんだろう！」

"Mi domando", disse, "se le stéllle sono illuminate perché ognuno possa un giorno trovare la sua. Guarda il mio pianéta, è proprio sópra di nói... Ma cóme è lontano!"

《「動詞句」》, 「動詞」,

《「目的語」 | 「動詞」「目的語」, 「動詞」「副詞句」 | Ma 「感嘆」「動詞」「補語」》

"Mi domando", ミ・ドマント 1 単現(domandarsi)v.pr 自問する 「動詞句」
 disse, ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 "se セ conj. へかどうかということ 「目的語」
 le stéllle レ・ステッレ pl(stélla).n.f 星たちは 「主語」
 sono ソーノ 3 複現(essere)v.i へである 「動詞」
 illuminate イルミナーテ adj(illuminato).f.pl 輝いた 「補語」
 perché ペルケ conj. (目的) へするために 「副詞節」
 ognuno オンニョーノ pron みんなそれぞれが、一人一人が 「主語」
 possa ...trovare ポッサ....トロヴァーレ 接・3 単現・可能(potére+不定詞)
 v.t 見つけることが出来る 「動詞句」
 un giorno ウン・ジォーノ adv. いつか 「副詞句」
 la sua. ラ・スア pron.f 自分の星を 「目的語」
 Guarda グァルダ 命・2 単現(guardare)v.t 見てごらん 「動詞」
 il mio pianéta, イル・ミー・オ・プラネータ n.m 僕の惑星を 「目的語」

XVII

è エ 3 単現・存在(essere)v.i 〜にある 「動詞」

pròprio sópra フロップリオ・ソブラ adv. 真上に 「副詞句」

pròprio フロップリオ adv. 正確に、ちょうど sópra ソブラ adv. 上に

di nói... ディ・ノイ adj. 僕たちの 「形容詞句」

Ma マ conj. しかし

cóme コーメ adv. なんと 「感嘆」

è エ 3 単現(essere)v.i 〜である 「動詞」

lontano! ロンターノ adj. 遠い 「補語」

フランス語版では :

「誰もが、いつかは自分の星に戻ることができるように、星たちはきらめいているのかな、と思うことがある。」

《Je me demande, dit-il, si les étoiles sont éclairées afin que chacun puisse un jour retrouver la sienne.

retrouver は「見つける、(場所に) 戻る」の意味がある。

「戻る」はイタリア語では tornare だが、誰もが出来るなら「見つける」で良いと思う。

「あの星は美しいね」と、へビが言った。「だけど、ここへ何しに来たの？」

"È bello", disse il serpente, "ma che cosa sèi venuto a fare qui?"

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《ma 「目的語」「動詞句」「副詞」》

"È エ 3 単現(essere)v.i 〜である 「動詞」

bello", ベッロ adj. 美しい 「補語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

il serpente, イル・セルペンテ n.m へビが 「主語」

"ma マ conj. しかし

che cosa ケ・コーサ n.f 何を 「目的語」

sèi venuto a fare セイ・ヴェヌート・ア・ファーレ 2 単現・完了形(venire a+不定詞 fare)

v.t しに来た 「動詞句」

qui?" クィ adv. ここに 「副詞」

「ある花といざこざがあったんだよ」と、王子さまは言った。

"Ho avuto delle difficoltà con un fiore", disse il piccolo principe.

《「動詞句」「目的語」「副詞句」》, 「動詞」「主語」

"Ho avuto オ・アヴート 1 単現・完了形(avere)v.t 〜があった 「動詞句」

delle difficoltà デッレ・ディッフイコルタ n.f いざこざ 「目的語」

delle = di+le difficoltà ディッフイコルタ n.f 困難、難儀、いざこざ

di ディ prep (定冠詞と結合して部分冠詞として) いくらかの

XVII

(数えられない名詞は単数形にし、数えられる名詞は複数形とする)

con un fióre", コン・ウン・フィオーレ adv. ある花との間に 「副詞句」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

「ああ、そう！」と、へびが言った。

"Ah!" fece il serpente. 《「応答」》, 「動詞」「主語」

"Ah!" アー int. ああ、そう！ 「応答」

fece フェチェ 3 単遠(fare)v.t (他の動詞の代わり) 言った 「動詞」

fare は同じ動詞の繰り返しを避けるために代用の動詞として利用される

フランス語は faire、スペイン語は hacer、英語は do、ドイツ語は tun が同様の働き
il serpente. イル・セルペーnte n.m へびが 「主語」

そして、彼らは黙り込んだ。

E rimasero in silenzio. E 「動詞」「補語」

E エ conj. そして

rimasero リマセロ 3 複遠(rimanere)v.i (ある状態に) なった 「動詞」

in silenzio. イン・シレンツィオ adv. 無言に 「補語」

「人間たちはどこにいるの？」と、王子さまはすぐにまた尋ねた。「砂漠では、人は少し孤独だね」

"Dove sono gli uòmini?" riprese dopo un po' il piccolo principe. "Si è un po' sóli nel deserto..."

《「副詞」「動詞」「主語」》, 「動詞」「副詞句」「主語」, 《「主語」「動詞」「補語」》

"Dove トーヴァエ adv. どこに 「副詞」

sono ソーノ 3 複現・存在(essere)v.i ～にいる 「動詞」

gli uòmini?" リ・ウーミニ pl(uòmo).n.m 人間たちは 「主語」

riprese リプレセ 3 単遠(riprendere)v.t 再開した 「動詞」

dopo un po' トポ・ウンポ adv. ちょっと後で、すぐに 「副詞句」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

"Si シ pron (三人称単数動詞と共に) 人々は、人は 「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

un po' sóli ウンポ・ソーリ adj(sólo).m.pl 少し孤独な 「補語」

nel deserto..." ネル・デゼールト adv. 砂漠では 「副詞句」

XVII

「人間たちと一緒にいたって、孤独だよ」と、へビは言った。

"Si è sóli anche con gli uòmini", disse il serpente.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」

"Si シ pron (三人称単数動詞と共に) 人々は、人は 「主語」

è エ 3 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」

sóli ソーリ adj(sólo).m.pl 孤独な 「補語」

anche アンケ conj. ~でもまた

con gli uòmini", コン・リ・ウーミニ adv. 人間たちと一緒に 「副詞句」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

il serpente. イル・セルペーnte n.m へビは 「主語」

王子さまは長いことへビを見つめていた。

Il piccolo principe lo guardò a lungo.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

lo ロ pron (serpente の代用) へビを 「目的語」

guardò グワルト 3 単遠(guardare)v.t 見つめていた 「動詞」

a lungo. アルンゴ adv. 長く、長い間、しばらく 「副詞句」

「君は奇妙な動物だね」と、ついに王子さまは言った。「指みたいに細くて…」

"Sèi un buffo animale", gli disse alla fine, "sottile come un dito!..."

《「動詞」「補語」》, 「間接目的語」「動詞」「副詞句」, 《「補語」》

"Sèi セイ 2 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」

un buffo animale", ウン・ブッフォ・アニマーレ n.m おかしな動物 「補語」

gli リ pron (serpente の代用) へビに 「間接目的語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

alla fine, アッラ・フィーネ adv. 最後に、ついに 「副詞句」

"sottile ソッチーレ adj. 細い 「補語」

come コーメ conj. ~のように 「副詞句」

un dito!..." ウン・ディート n.m 指 「目的語」

XVII

「だけど、王様の指より強いぜ」と、へびが言った。

"Ma sono più potente di un dito di un re", disse il serpente.

《Ma 「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」

"Ma マ conj. しかし

sono ソノ 1 単現(essere)v.i 〜である

「動詞」

più potente ピウ・ポテンテ adj (比較級) もっと強い

「補語」

di ディ prep (比較級と共に) 〜より

「副詞句」

un dito ウン・ディート n.m 指

「目的語」

di un re", ディ・ウン・レ adj (所有) 王様の

「形容詞句」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il serpente. イル・セルペンテ n.m へびは

「主語」

王子さまはにっこりした。

Il piccolo principe sorrise:

「主語」「動詞」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

sorrise: ソリセ 3 単遠(sorrìdere)v.i にっこりした、ほほえんだ

「動詞」

「あまり強そうに見えないよ... 手足さえないじゃないか... 旅行だってできないよ...」

"Non mi sembri molto potente... non hai neppure delle zampe... e non puoi neppure camminare..."

《「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「補語」 | 「動詞句」「目的語」 e 「動詞句」》

"Non ...sembri ノン...センプリ 2 単現・否定(sembrare)v.i 〜のように見えない

「動詞句」

mi ミ pron 僕にとって、僕には

「間接目的語」

molto potente... モルト・ポテンテ adj. (否定文で) あまり力が〜ない

「補語」

non hai neppure ノン・アイ・ネップーレ 2 単現・否定(avère)v.t 〜さえもない

「動詞句」

neppure ネップーレ adv. 〜さえもない、〜すらない

delle zampe... テッレ・ツアンパ pl(zampa).n.f 手足

「目的語」

e エ conj. そして

non puoi neppure camminare..." ノン・プオイ・ネップーレ・カミナーレ 2 単現・否定・可能

(potére+不定詞)v.i 旅をすることもできない、歩く

「動詞句」

フランス語版では :

tu ne peux même pas voyager ... 旅行だって、できやしない

XVII

「船よりもずっと遠くへ君を運ぶことが出来るよ」と、へビは言った。

"Posso trasportarti più lontano che un bastiménto", disse il serpente.

《「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「主語」

"Posso trasportarti ホッソ・トラスポルタル・ティ 1 単現・可能(potére+不定詞 trasportare+ti)

v.t 君を運ぶことが出来る

「動詞句」

più lontano ピウ・ロンターノ adv. もっと遠くへ

「副詞句」

che ケ conj. (比較) (più...che) ～よりも

「副詞句」

un bastiménto", ウン・バstimént n.m 船

「目的語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il serpente. イル・セルペンテ n.m へビは

「主語」



— Tu es une drôle de bête, lui dit-il enfin, mince comme un doigt...

XVII

へビは、金のブレスレットのように、王子様の足首の周りに巻き付いた。

Si arrotolò attórno alla caviglia del piccolo principe cóme un braccialétto d'òro:

「動詞句」「副詞句」

Si arrotolò シ・アロトロ 3 単遠(arrotolarsi)v.pr 巻きついた

「動詞句」

arrotolare 巻く arrotolarsi 自分自身を巻く→巻きつく

attórno alla caviglia アットーロ・アッ・カヴィーリヤ adv. 足首の周りに

「副詞句」

attórno a... 〜の周りに

del piccolo principe テル・ピッコロ・プリンチヘ adj. 王子様の

「形容詞句」

cóme un braccialétto コーメ・ウン・ブラッチャレット adv. ブレスレットのように

「副詞句」

d'òro: ドーロ adj. 金の

「形容詞句」

「俺は、自分が触れた者を、彼がやって来たもとの大地へ連れ戻す。だが、君は純粹だし、
どこかの星から来たんだから…」

"Colùi che tocco, lo restituisco alla tèrra da dóve è venuto. Ma tu sèi puro e vieni da una stélla..." 《「目的語」「動詞」「副詞句」 | Ma 「主語」「動詞」「補語」 e 「動詞」「副詞句」》

"Colùi コルーイ pron その人を

「目的語」

che ケ pron (目的語) 〜する

「形容詞節」

tocco, トッコ 1 単現(toccare)v.t 触る、触れる

「動詞」

lo ロ pron その人を

「目的語」

restituisco レスティツイスコ 1 単現(restituire)v.t 送り戻す、返却する

「動詞」

alla tèrra アッ・テッラ adv. その大地へ

「副詞句」

da dóve ダ・ドーヴェ adj. そこから〜する

「形容詞節」

è venuto. エ・ヴェヌート 3 単現・完了形(venire)v.i やって来た

「動詞句」

Ma マ conj. しかし

tu トゥ pron 君は

「主語」

sèi セーイ 2 単現(essere)v.i 〜である

「動詞」

puro プーロ adj. 純粹な

「補語」

e エ conj. そして

vienei ヴィエニ 2 単現(venire)v.i 来た

「動詞」

da una stélla..." ダ・ウナ・ステッラ adv. 星から

「副詞句」

王子さまは答えなかった。

Il piccolo principe non rispose.

「主語」「動詞句」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチヘ n.m 王子さまは

「主語」

non rispose. ノン・リスポーセ 3 単遠・否定(rispondere)v.i 答えなかった

「動詞句」

XVII

「君を見てると、胸が締め付けられるよ。君はそんなにか弱いし、この花崗岩の地球では...
いつか君が自分の星が恋しくなったら、君を助けられるよ。おれ、出来るんだ...」

"Mi fai péna, tu così débole, su quésta Tèrra di granito. Potrò aiutarti un giòrno se rimpiangerai tròppo il tuo pianéta. Posso..."

《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」, 「主語」「補語」, 「副詞句」
「動詞句」「副詞句」 | 「動詞」》

"Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
fai タイ 2 単現(fare)v.t 引き起こす 「動詞」
péna, ペーナ n.f 心配、心痛 「直接目的語」
tu トゥ pron 君は 「主語」
così débole, コシ・デーボレ adj. それほどか弱い 「補語」
su quésta Tèrra ス・クエスト・テッラ adv. この地球で 「副詞句」
di granito. デイ・グラニート adj. 花崗岩の 「形容詞句」
Potrò aiutarti ポ・トロ・アイタル・ティ 1 単未・可能(potére+不定詞 aiutare+ti)
v.t 君を手助けできるだろう 「動詞句」
un giòrno ウン・ジョルノ adv. いつか 「副詞句」
se セ conj. (条件) もし〜ならば 「副詞節」
rimpiangerai リンピ・アンジエライ 2 単未(rimpiangere)v.t 嘆き思い出す 「動詞」
tròppo トロッポ adv. とても 「副詞」
il tuo pianéta. イル・トゥー・オ・ピ・アネータ n.m 君の星を 「目的語」
Posso... ポッソ 1 単現・可能(potére+不定詞)v. 出来る 「動詞」

「ああ！よく分かったよ」と、王子さまは言った。「だけど、どうしていつも謎をかけるの？」
「謎はすべて、俺が解く」と、ヘビは言った。

"Oh! Ho capito benissimo", disse il piccolo principe, "ma perché parli sèmpre per enigmì?"
"Li risolvo tutti", disse il serpente."

《「間投」「動詞句」「副詞」》, 「動詞」「主語」, 《ma 「副詞」「動詞」「副詞句」》
《「目的語」「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」

"Oh! オー int. ああ！ 「間投」
Ho capito オ・カピート 1 単現・完了形(capire)v.t 分かった 「動詞句」
benissimo, ベニッシモ adv. とても良く 「副詞」
disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
"ma マ conj. しかし
perché ペルケ adv. どうして 「副詞」
parli パルリ 2 単現(parlare)v.i 言う 「動詞」

XVII

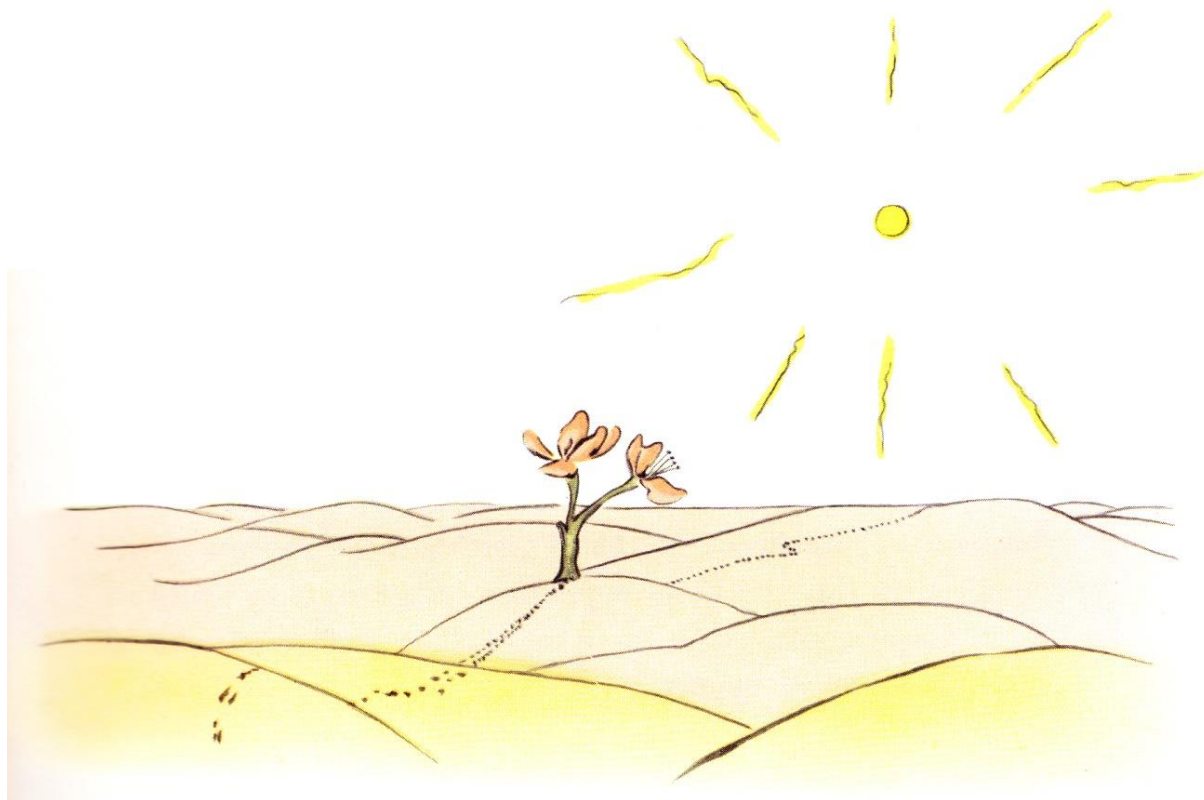
sèmpre センプレ	adv. いつも		「副詞」
per enigma?"	ヘル・エグミ	adv. (手段) 謎によって	「副詞句」
enigmi エグミ	pl(enigma).n.m	なぞ、意味不明な言葉	
"Li リ	pron.m.pl	それらを	「目的語」
risolvo リソルヴォ	1 単現(risolvere)	v.t 解決する、問題を解く	「動詞」
tutti", トゥッティ	pron(tutto).m.pl	すべてを	「目的語」
disse デイツェ	3 単遠(dire)	v.t 言った	「動詞」
il serpente. イル・セルペンテ	n.m	ヘビは	「主語」

そして彼らは黙り込んだ。

E <u>rimasero in silenzio.</u>	E 「動詞」「補語」
E エ conj. そして	
rimasero リマセ ^ロ 3 複遠(rimanére)v.i (ある状態に) なった	「動詞」
in silenzio. イン・シレンツィオ adv. 無言に、沈黙した	「補語」

XVIII

XVIII



王子さまは砂漠を横断した。けれども、1輪の花にしか出会わなかった。

Il piccolo principe traversò il desèrto e non incontrò che un fióre.

「主語」「動詞」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

traversò トラヴァエルツ 3 単遠(traversare)v.t 横断した、横切った 「動詞」

il desèrto イル・デゼールト n.m 砂漠を 「目的語」

e エ conj. そして

non incontrò ノン・インコントロ 3 単遠・否定(incontrare)v.t 出会わなかった 「動詞句」

che ケ conj. (比較 non...che) しか 「副詞」

un fióre. ウン・フィオーレ n.m 1 輪の花 「目的語」

花びらが 3 枚の花。まったくつまらない花...

Un fióre a tre pétali, un piccolo fióre da niente...

「主語」, 「主語」

Un fióre ウン・フィオーレ n.m 1 輪の花 「主語」

a ア prep (特質) ~を持った 「形容詞句」

XVIII

tre pétali, トレ・ペーカリ pl(pétalo).n.m 3 枚の花びら 「目的語」
 un piccolo fióre ウン・ピッコロ・フィオーレ n.m つまらない花 「主語」
 piccolo ピッコロ adj. 小さな、つまらない
 da niènte... ダ・ニエンテ adj. つまらない 「形容詞句」

「こんにちは」と、王子さまは言った。

"Buòn giòrno", disse il piccolo principe. 《「挨拶」》, 「動詞」「主語」
 "Buòn giòrno", ブォン・ジョルノ adv. こんにちは 「挨拶」
 disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチヘ n.m 王子さまは 「主語」

「こんにちは」と、花が言った。

"Buòn giòrno", disse il fióre. 《「挨拶」》, 「動詞」「主語」
 "Buòn giòrno", ブォン・ジョルノ adv. こんにちは 「挨拶」
 disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 il fióre. イル・フィオーレ n.m 花が 「主語」

「人間たちはどこにいますか？」と、王子さまは丁寧に尋ねた。

"Dóve sono gli uòmini?" domandò gentilménte il piccolo principe.
 《「副詞」「動詞」「主語」》, 「動詞」「副詞」「主語」
 "Dóve ドーヴェ adv. どこに 「副詞」
 sono ソーノ 3 複現・存在・疑問文(essere)v.i ～にいますか？ 「動詞」
 gli uòmini? リ・ウーミニ pl(uòmo).n.m 人間たちは 「主語」
 domandò ドマント 3 単遠(domandare)v.t 尋ねた 「動詞」
 gentilménte ジェンチルメンテ adv. 丁寧に、礼儀正しく 「副詞」
 il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチヘ n.m 王子さまは 「主語」

その花はある日キャラバンが通り過ぎて行くのを見かけたことがあった。

Un giòrno il fióre aveva visto passare una carovana:
 「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」「目的語」
 Un giòrno ウン・ジョルノ adv. ある日、いつか、かつて 「副詞句」
 il fióre イル・フィオーレ n.m 花は 「主語」
 aveva visto アヴェーヴァ・ア・ヴィスト 3 単半・完了形・経験・知覚動詞(vedere)
 v.t 見かけたことがあった 「動詞句」
 passare パッサーレ 不定詞・carovana の動作 v.i 通り過ぎる 「補語」
 una carovana: ウァ・カローヴァナ n.f キャラバンが、隊商が 「目的語」

XVIII

「人間たち？彼らは間違いなく居ると思います、6人か7人は。何年も前に、彼らを見かけたことがあります。でも、彼らのいる場所は誰にも分りません。風が吹けば彼らはあちこちへ動いてしまいます。彼らには根が無いんです。それで彼らはとても困っています」

"Gli uòmini? Ne esistono, credo, sèi o sètte. Li ho visti molti anni fa. Ma non si sa mai d'òve trovarli. Il vènto li spinge qua e là. Non hanno radici, e quèsto li imbarazza mólto".

《「主語」 | 「副詞」「動詞」, 「動詞」「主語」 | 「目的語」「動詞句」「副詞句」

Ma 「動詞句」「主語」 | 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

「動詞句」「目的語」 e 「主語」「目的語」「動詞」「副詞」》

"Gli uòmini? リ・ウーニ pl(uòmo).n.m 人間たち？ 「主語」

Ne ネ pron 彼らについては 「副詞」

esistono, エジストノ 3 複現(esistere)v.i いる 「動詞」

esserci よりも強意で、「間違いなくいる」というニュアンス

credo, クレド 1 単現(crédere)v.t 〜と思う 「動詞」

sèi o sètte. セイ・オ・セッテ pl.pron 6人か7人は 「主語」

Li リ pron 彼らを 「目的語」

ho visti オ・ヴィスト 1 単現・完了形(vedere)v.t 見た 「動詞句」

molti anni fa. モルチ・アンニ・ファ adv. 何年も前に 「副詞句」

Ma マ conj. しかし

non si sa mai ノン・シ・サ・マーイ 3 単現・再帰受動・否定(sapersi)

v.pr 誰にも知られていない、誰にも分らない 「動詞句」

d'òve トーヴェ n.m 場所は 「主語」

trovarli. トロヴァル・リ 不定詞・目的(trovare+li)adj. 彼らを探し出すべき 「形容詞句」

Il vènto イル・ヴェント n.m 風が 「主語」

li リ pron 彼らを 「目的語」

spinge スピンジエ 3 単現(spingere)v.t 押し動かす 「動詞」

qua e là. クワ・エ・ラ adv. あちこちへ 「副詞句」

Non hanno ノン・アンノ 3 複現・否定(avere)v.t 〜が無い 「動詞句」

radici, ラデーチェ pl(radice)n.f 根っこが 「目的語」

e エ conj. そして

quèsto ケスト pron このことが 「主語」

li リ pron 彼らを 「目的語」

imbarazza インバラッツァ 3 単現(imbarazzare)v.t 困らせている 「動詞」

mólto". モルト adv. とても 「副詞」

XIX

「さようなら」と、王子さまは言った。

"Addìo", disse il piccolo principe.

《「挨拶」》, 「動詞」 「主語」

"Addìo", アッディォ int. さようなら

「挨拶」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

「さようなら」と、花が言った。

"Addìo", disse il fióre.

《「挨拶」》, 「動詞」 「主語」

"Addìo", アッディォ int. さようなら

「挨拶」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il fióre. イル・フィオーレ n.m 花が

「主語」

XIX

王子さまは高い山に登った。

Il piccolo principe fece l'ascensione di un'altra montagna.

「主語」 「動詞」 「目的語」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

fece フェチェ 3 単遠(fare)v.t (動作を) した

「動詞」

l'ascensione ラッセンシオーネ n.f 登山を、登る事

「目的語」

di un'altra montagna. ディ・ウアルトラ・モンターニャ adj. 高い山の

「形容詞句」

彼が今までに見たことのある山と言えば、彼の膝に達する 3 つの火山だけだった。そして、彼は休火山を腰かけとして使っていた。

Le sóle montagne che avesse mai visto, erano i tre vulcani che gli arrivavano alle ginocchia. E adoperava il vulcano spento come uno sgabèllo.

「主語」 「動詞」 「補語」 | E 「動詞」 「目的語」 「補語」

Le sóle montagne レ・ソーレ・モンターニャ pl(montagna).n.f 唯一の山は

「主語」

sóle ソーレ adj(sólo).f.pl 唯一の、ただ～の

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

avesse mai visto, アヴェッセ・マイ・ヴィスト 接・3 単半・完了形(vedere)

v.t 今までに見たことがあるだろう

「動詞句」

erano エーノ 3 複半(essere)v.i ～だった

「動詞」

i tre vulcani イ・トレ・ヴァルカーニ pl(vulcano).n.m 3 つの山

「補語」

che ケ pron.pl (主語) ～する

「形容詞節」

gli リ pron 彼の

「間接目的語」

arrivavano アッリガヴァノ 3 単半・時制の一致(arrivare)

XIX

v.i	～に達する	「動詞」
alle ginòcchia.	アッレ・ジノッキア adv. 両膝に	「間接目的語」
ginòcchio	ジノッキオ n.m 膝、([複] ginòcchi ; 両膝の意味で le ginòcchia)	
E	エ conj. そして	
adoperava	アドペラヴァ 3 単半・習慣(adoperare)v.t 使っていた	「動詞」
il vulcano	イル・ヴァルカノ n.m 火山を	「目的語」
spento	スペント adj. 消えた	「形容詞」
cóme	コメ adv. (資格) ～として	「補語」
uno sgabèllo.	ウノ・ズガベッロ n.m 腰かけ	「目的語」

「このように高い山からならば」と、だから、王子さまは思った。「一挙に惑星全体とすべての人々を見れるだろうな」しかし、非常に鋭い、岩の針しか見えなかった。

"Da una montagna alta cóme quèsta", si disse perciò, "vedrò di un colpo tutto il pianéta e tutti gli uòmini..." Ma non vide altro che gùglia ie di ròccia bèn affilate.

《「副詞句」》, 「動詞句」 「副詞」, 《「動詞」 「副詞句」 「目的語」》 | Ma 「動詞句」 「目的語」

"Da ダ prep (場所・条件) ～からならば 「副詞句」

una montagna alta ウナ・モンターニャ・アルタ n.f 高い山 「目的語」

cóme quèsta", コメ・ケスタ adj. このように 「形容詞句」

si disse シ・ディッセ 3 単遠(dirsi)v.pr 思った 「動詞句」

perció, ペルチョ conj. だから

"vedrò ヴェットロ 1 単末・推量(vedére)v.t 見えるだろう 「動詞」

di ディ prep (手段) ～によって 「副詞句」

un colpo ウン・コルポ n.m 一撃、一息 「目的語」

tutto il pianéta トゥット・イル・ピァネータ n.m 惑星全体 「目的語」

e エ conj. そして

tutti gli uòmini..." トゥッティ・リ・ウオーミニ pl(uòmo).n.m すべての人達 「目的語」

Ma マ conj. しかし

non vide ノン・ヴァイテ 3 単遠・否定(vedére)v.t 見えなかった 「動詞句」

altro che アルトロ・ケ conj.(non...altro che) (比較)... の他は～ない 「目的語」

gùglie グリエ pl(gùglia)n.f 尖塔 「目的語」

di ròccia ディ・ロッチャ adj. 岩の 「形容詞句」

bèn affilate. ベン・アフイラーテ

adj(affilato).f.pl 非常に尖った 「形容詞句」

XIX

「こんにちは」と、王子さまは取り敢えず言ってみた。

"Buòn giòrno", disse a caso.

《「挨拶」》, 「動詞」「副詞句」

"Buòn giòrno", ブォン・ジョルノ adv. こんにちは

「挨拶」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

a caso. ア・カーゾ adv. たまたま、行き当たりばつたりに、取り敢えず、試しに 「副詞句」

「こんにちは... こんにちは... こんにちは...」と、こだまが答えた。

"Buòn giòrno... buòn giòrno... buòn giòrno..." rispose l'èco. 《「応答」》, 「動詞」「主語」

"Buòn giòrno... buòn giòrno... buòn giòrno..." ブォン・ジョルノ・ブォン・ジョルノ・ブォン・ジョルノ

adv. こんにちは... こんにちは... こんにちは...

「応答」

rispose リスポゼ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた

「動詞」

l'èco. レーコ n.m こだまが

「主語」

「君たちは誰なの？」と、王子さまは言った。

"Chi siète?" disse il piccolo principe.

《「補語」「動詞」》, 「動詞」「主語」

"Chi キ pron 誰

「補語」

siète?" シエテ 2 単複・疑問文(essere)v.i ~なの?

「動詞」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

「君たちは誰なの?... 誰なの?... 誰なの?...」と、こだまが答えた。

"Chi siète?... chi siète?... chi siète?..." rispose l'èco.

《「応答」》, 「動詞」「主語」

"Chi siète?... chi siète?... chi siète?..." キ・シエテ・キ・シエテ・キ・シエテ

adv. 君たちは誰なの?... 誰なの?... 誰なの?...

「応答」

rispose リスポゼ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた

「動詞」

l'èco. レーコ n.m こだまが

「主語」

「僕の友達になって頂戴、僕は一人ぼっちなんだよ」と、王子さまは言った。

"Siate miei amici, io sono sólo", disse.

《「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」

"Siate シアテ 命・2 複現・依頼(essere)v.i ~になって頂戴

「動詞」

miei amici, ミエイ・アミーチ pl(amico).n.m 僕の友達

「補語」

io イーオ pron 僕は

「主語」

sono ソーノ 1 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

sólo", ソーロ adj. 一人ぼっちの

「補語」

disse. ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

XIX

「僕はひとりぼっち... ひとりぼっち... ひとりぼっち」と、こだまが応えた。

"Io sono sólo... io sono sólo... io sono sólo..." rispose l'èco.

《「主語」「動詞」「補語」...「応答」》, 「動詞」「主語」

"Io イオ pron 僕は 「主語」
 sono ソノ 1 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 sólo... ソロ adj. 一人ぼっちの 「補語」
 io sono sólo... io sono sólo... イオ・ソノ・ソロ・イオ・ソノ・ソロ
 adv. 僕はひとりぼっち... ひとりぼっち... ひとりぼっち 「応答」
 rispose リスポセ 3 単遠(rispondere)v.i 応えた 「動詞」
 l'èco. レコ n.f こだまが 「主語」

「なんておかしな惑星だろう！」と、それで考えた。「すっかり干上がって、尖っていて、まったく塩辛そうだ」

"Che buffo pianéta", pensò allora, "è tutto secco, pieno di punte e tutto salato."

《「感嘆」》, 「動詞」「副詞」, 《「動詞」「補語」》

"Che buffo ケ・ブッフォ adj. なんておかしな 「形容詞句」
 pianéta", ピアネータ n.m 惑星 「感嘆」
 pensò ペンソ 3 単遠(pensare)v.t 考えた 「動詞」
 allora, アッローラ adv. それで、その時 「副詞」
 "è エ 3 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 tutto secco, トゥット・セッコ adj. すっかり干上がった 「補語」
 pieno di punte ピエノ・ディ・プンテ adj. 突起だらけの 「補語」
 pieno di... 「～でいっぱい、～だらけの」 punte プンテ pl(punta).n.f 尖った部分
 e エ conj. そして
 tutto salato. トゥット・サレート adj. まったく塩辛い 「補語」

「そして、人間たちは想像力に欠けている。」

E gli uòmini mancano d'immaginazione.

《E「主語」「動詞」「間接目的語」》

E エ conj. そして
 gli uòmini リ・ウオーミニ pl(uòmo).n.m 人間たちは 「主語」
 mancano マンカ 3 複現(mancare)v.t(di に) 欠けている 「動詞」
 d'immaginazione. ディマジンナツィオーネ n.f 想像力に 「間接目的語」

XIX

「彼らは言われたことを繰り返すだけだ... 僕の惑星では、一輪の花を持っていたけれど、いつも先に話しかけてくれたものだ...」

Ripetono ciò che loro si dice... Da me avevo un fióre e parlava sèmpe per primo...".

《「動詞」「目的語」...「副詞句」「動詞」「目的語」e「動詞」「副詞句」》

Ripetono リペトノ 3 複現(ripètere)v.t 繰り返している 「動詞」

ciò che チョ・ケ pron (主語) ～することを 「目的語」

loro ローロ pron 彼らに 「間接目的語」

si dice... シ・ディセ 3 単現・再帰受動(dirsi)v.pr 言われる 「動詞句」

Da me ダ・メ adv. (場所) 僕の所では 「副詞句」

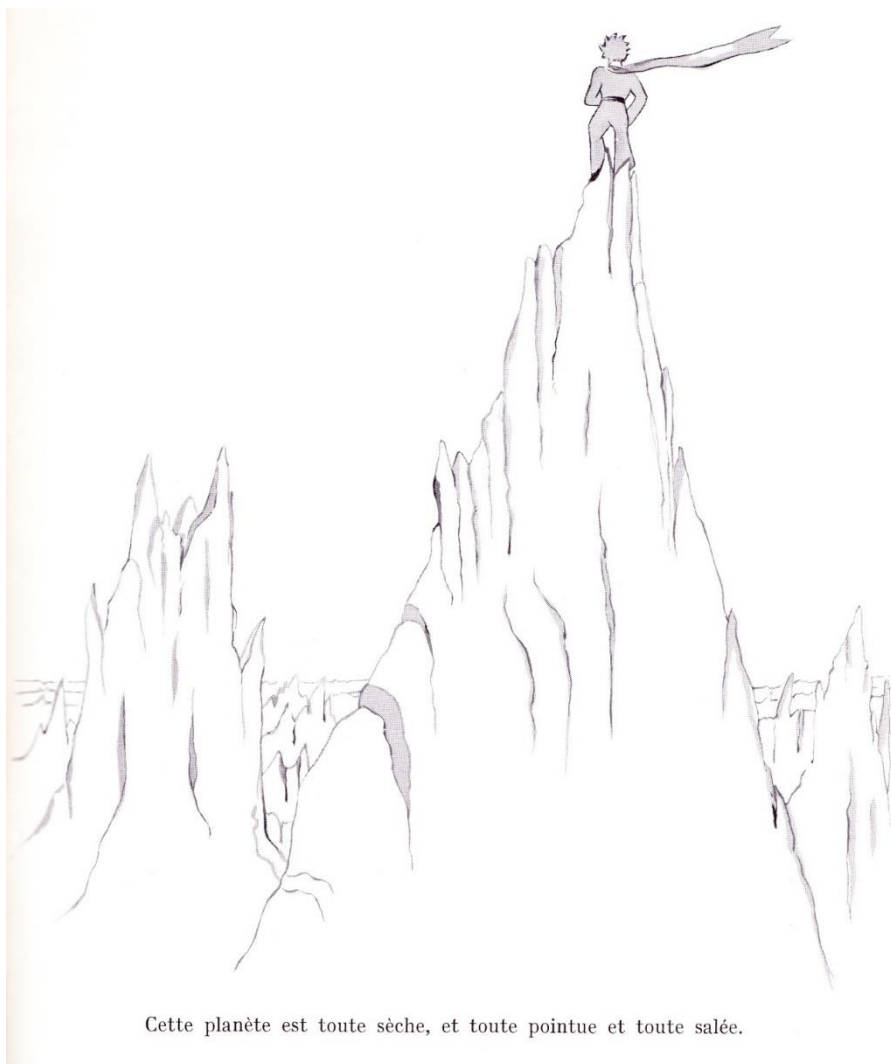
avevo アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t 持っていた 「動詞」

un fióre ウン・フィオーレ n.m 1 輪の花を 「目的語」

e エ conj. そして

parlava パルラーヴァ 3 単半・習慣(parlare)v.i 話したものだ 「動詞」

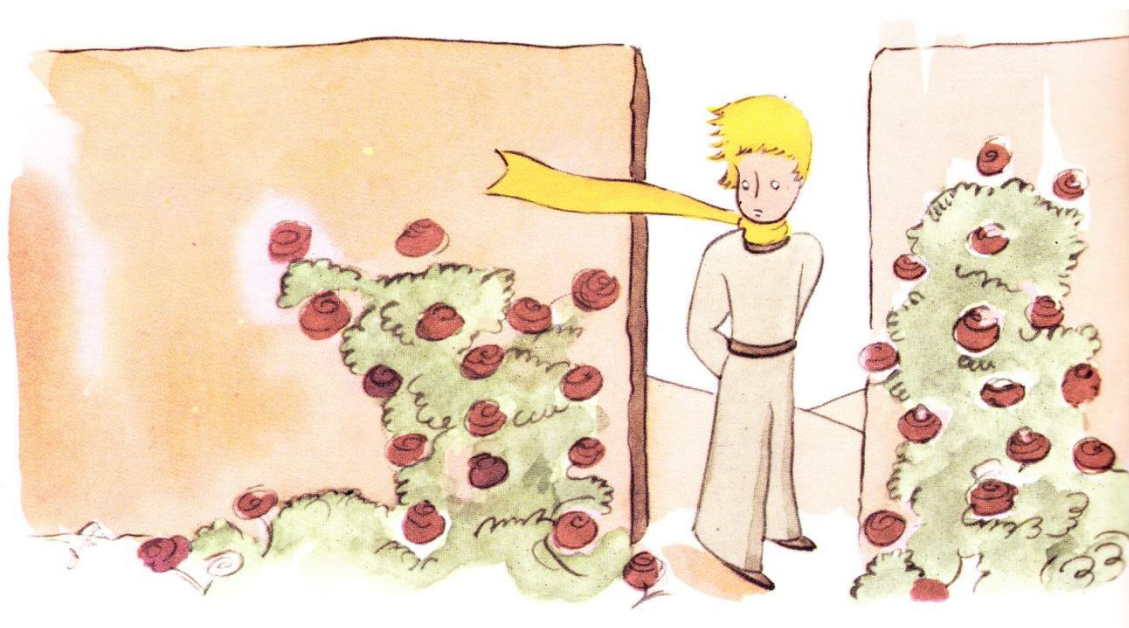
sèmpe per primo...". センプレ・ペル・プリーモ adv. いつも先に 「副詞句」



Cette planète est toute sèche, et toute pointue et toute salée.

XX

XX



しかし、王子さまは、砂や岩や雪を横切って長時間歩いた末に、ついに 1 本の道を見つけることになった。そして、すべての道は人間たちの所へ通じているものである。

Ma capitò che il piccolo principe avendo camminato a lungo attraverso le sabbie, le rocce e le névi, scoperse alla fine una strada. E tutte le strade portavano verso gli uòmini.

Ma 「動詞」「主語」 | E 「主語」「動詞」「副詞句」

Ma マ conj. しかし

capitò カピト 非人称・3 単遠(capitare)v.h(che+接続法) ～ということが起きた 「動詞」

che ケ conj. ～するということが 「主語」

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子様は 「主語」

avendo camminato アヴェント・カミナト ジェロンディフ・完了形(caminare)

v.i 歩いた時に 「副詞句」

a lungo アルゴ adv. 長時間 「副詞句」

attraverso アットラヴェール prep 横切って 「副詞句」

le sabbie, レ・サビエ pl(sabbia).n.f 砂 「目的語」

le rocce レ・ロッケ pl(rocce).n.f 岩 「目的語」

e エ conj. そして

le névi, レ・ネヴィ pl(néve).n.f 雪 「目的語」

scoprese スコペルセ 3 単遠(scoprire)v.t 見つけた 「動詞」

alla fine アッ・フィーネ adv. 最後に、ついに 「副詞句」

una strada. ウ・ストラダ n.f 1 本の道を 「目的語」

E エ conj. そして

XX

tutte le strade トゥッテ・レ・ストラデ pl(strada).n.f すべての道は 「主語」
 portavano ポルタヴァノ 3 複半・習慣(portare)v.t (道が) 通じているものである 「動詞」
 verso gli uòmini. ヴェールゾ・リ・ウオーミニ adv. 人間たちの方へ 「副詞句」

「こんにちは」と、王子さまは言った。

"Buòn giòrno", disse. 《「挨拶」》, 「動詞」
 "Buòn giòrno", ブォン・ジョルノ adv. こんにちは 「挨拶」
 disse. ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

それは花盛りのバラ園だった。

Era un giardino fiorito di ròse. 「動詞」「補語」
 Era エラ 3 単半 3 単半(èssere)v.i 〜だった 「動詞」
 un giardino ウン・ジャルディーノ n.m 庭園 「補語」
 fiorito フィオリート adj. 花盛りの 「形容詞句」
 di ròse. ディ・ローゼ adj.(ròsa) バラの 「形容詞句」

「こんにちは」と、バラの花たちが言った。

"Buòn giòrno", dissero le ròse. 《「挨拶」》, 「動詞」「主語」
 "Buòn giòrno", ブォン・ジョルノ adv. こんにちは 「挨拶」
 dissero ディッセロ 3 複遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 le ròse. レ・ローゼ pl(ròsa).n.f バラの花たちが 「主語」

王子さまは彼らをじっと見つめた。

Il piccolo principe le guardò. 「主語」「目的語」「動詞」
 Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
 le レ pron 彼らを 「目的語」
 guardò. グォルト 3 単遠(guardare)v.t じっと見た 「動詞」

みんな、王子様の花に似ていた。

Assomigliavano tutte al suo fióre. 「動詞」「主語」「副詞句」
 Assomigliavano アッソミリアヴァノ 3 複半(assomigliare)v.i 似ていた 「動詞」
 tutte トゥッテ pron(tutto).f.pl みんなは 「主語」
 al suo fióre. アル・スー・フィオーレ adv. 彼の花に 「副詞句」

XX

「君たちは誰なの？」と、王子さまは驚いて尋ねた。

"Chi siète?" domandò loro stupefatto il piccolo principe.

《「補語」「動詞」》, 「動詞」「目的語」「副詞」「主語」

"Chi キ pron 誰

「補語」

siète?" シエテ 2 複現・疑問文(essere)v.i ~なの?

「動詞」

domandò ドマント 3 単遠(domandare)v.t 尋ねた

「動詞」

loro リーロ pron 彼らに

「目的語」

stupefatto ストゥェファット adv. 驚いて

「副詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

「私たちはバラの花よ」と、バラの花たちが言った。

"Siamo delle ròse", dissero le ròse.

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」

"Siamo シアーモ 1 複現(essere)v.i ~である

「動詞」

delle ròse", デッレ・ローゼ adj. バラの花の

「補語」

dissero ディッセロ 3 複遠(dire)v.t 言った

「動詞」

le ròse. レ・ローゼ pl(ròsa).n.f バラの花たちが

「主語」

「ああ！」と、王子さまは言った。

"Ah!" fece il piccolo principe.

《「間投」》, 「動詞」「主語」

"Ah!" アー int. ああ!

「間投」

fece フェチェ 3 単遠(fare)v.t 言った

「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

そして彼はすごく惨めな思いがした。彼の花は、自分は宇宙全体でその種類の唯一の花だ、と語っていた。それなのに、ほら、たった一つの庭に全くよく似た 5000 本の花があるとは。

E si sentì molto infelice. Il suo fióre gli aveva raccontato che era il sólo della sua specie in tutto l'universo. Ed ècco che ce n'erano cinquemila, tutte simili, in un sólo giardino.

E 「動詞句」「補語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Ed 「副詞」「主語」

E エ conj. そして

si sentì シ・センチ 3 単遠(sentirsi)v.pr (自分が〜だと) 感じた

「動詞句」

molto infelice. モルト・インフェリーチェ adj. 大変不幸な、惨めな

「補語」

Il suo fióre イル・スーオ・フィオーレ n.m 彼の花は

「主語」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

aveva raccontato アヴェーヴァ・ア・ラコンタート 3 単半・完了形(raccontare)v.t 語っていた「動詞句」

che ケ conj. ~ということ

「直接目的語」

XX

era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i	～である	「動詞」
il sólo イル・ソーロ pron	唯一の花	「補語」
della sua specie デッラ・スア・スペーチェ adj.	その種類の中で	「形容詞句」
in tutto l'universo. イン・トゥット・ルニヴェールノ adv.	宇宙全体で	「副詞句」
Ed エド conj.	そして、(譲歩) それなのに	
ecco エッコ adv.	(副詞+動詞) そこにある	「副詞」
che ケ conj.	～ということが	「主語」
ce n'erano チェ・ネーノ 3 複半・存在・時制の一致(esserci+ne)		
v.i	それらがそこにある	「動詞句」
cinquemila, チンクェミラ adj.	5000 の	「形容詞」
tutte simili, トゥッテ・シーミ adj.pl	皆よく似た	「形容詞句」
in un sólo giardino. イン・ウン・ソーロ・ジアルディニーノ adv.	たった一つの庭に	「副詞句」

「すごく機嫌が悪くなるだろうな...」と、王子さまは思った。「もしこれをみたら... 大きな咳をして、笑いものにならないように、死んだふりをするだろう。そうすると、僕は気をつかうふりをするようになるだろう。なぜなら、そうしないと、僕を辱めるために、本当に死んでしまうだろうから...」

"Sarebbe mólto contrariato", si disse, "se vedesse quésto... Farebbe del gran tossire e fingerebbe di morire per sfuggire al ridicolo. Ed io dovrei far mostra di curarlo, perché se no, per umiliarmi, si lascerebbe veraménte morire..."

《「動詞」「補語」》, 「動詞句」,

《「副詞節」... 「動詞」「目的語」e 「動詞句」「副詞句」「間接目的語」

Ed 「主語」「動詞句」「目的語」, perché 「副詞句」「動詞句」》

"Sarebbe サレッパ 条・3 単現・変化・推量(èssere)v.i	～になるだろう	「動詞」
mólto contrariato, モルト・コントリアト adj.	すごく面白くない、不機嫌な	「補語」
si disse, シ・ディッセ 3 単遠(dirsi)v.pr	(心の中で) 思った	「動詞句」
"se セ conj.	(仮定) もし～ならば	「副詞節」
vedesse ヴェッッセ 接・3 単半(vedére)v.t	見た	「動詞」
quésto... ケスト pron	これを、この光景を	「目的語」
Farebbe ファレッパ 条・3 単現・過去における未来予測(fare)v.t	(動作を) するだろう	「動詞」
del gran tossire デル・グラン・トッシーレ n.m	大きな咳を	「目的語」
e エ conj.	そして	
fingerebbe di morire フインジエッペ・ディ・モリーレ 条・3 単現・装う・推量(fingere di+不定詞)		
v.i	死んだふりをするだろう	「動詞句」
per sfuggire ペル・スフジジャーレ 不定詞・目的 v.i(a)	を) 免れるために	「副詞句」
al ridicolo. アル adv.	あざけりを、物笑い	「間接目的語」

XX

Ed エ conj. そして

io イオ pron 僕は

「主語」

dovrei far トヴレイ・ファール 条・1 単現・必要・過去における未来予測(dovère+不定詞)

v.t. ～をしなければならなくなるのだろう

「動詞句」

mostra di +不定詞 モストラ・ディ n.f. ～するふりを

「目的語」

curarlo, クラル・ロ 不定詞(curare+lo)v.t. それを気を配る

「動詞句」

perché ペルケ conj. なぜなら～

se no, セノ conj. もしそうしなければ

「副詞節」

per umiliarmi, ペル・ウミリアル・ミ 不定詞・目的 v.t. 僕を辱めるために

「副詞句」

si lascerebbe veramente morire..." シ・ラッセレッベ・ヴァラメンテ・モリーレ 条・3 単現・推量

(lasciarsi+不定詞 morire+ veramente)v.pr. 本当に死ぬだろう

「動詞句」

lasciarsi+自動詞の不定詞 「つい～してしまう」

そして、王子さまはさらに思った：

E si disse ancora:

E 「動詞句」「副詞」

E エ conj. そして

si disse シ・デッセ 3 単遠(dirsi)v.pr. 心の中で思った

「動詞句」

ancora: アンコーラ adv. さらに

「副詞」

「この世に唯一の花のおかげで、僕は豊かだと思っていたのに、ごく普通のバラの花を 1 輪持っているに過ぎないとは…」

"Mi credevo ricco di un fiore unico al mondo, e non possiedo che una qualsiasi rosa.

《「動詞句」「補語」 e 「動詞句」「目的語」》

"Mi credevo ミ・クレテヴォ 1 単遠(credersi)v.pr. 自分を～だと思っていた

「動詞句」

ricco リッコ adj. 豊かな、恵まれた

「補語」

di un fiore ディ・ウン・フィオーレ adv. (原因) 花のおかげで

「副詞句」

unico al mondo, ウニコ・アル・ムント adj. この世でたった一つの

「形容詞句」

e エ conj. そして、しかし

non possiedo che ノン・ポッセット・ケ 1 単現(possedere+non...che)

v.t. 持っているに過ぎない

「動詞句」

una qualsiasi rosa. ウナ・クワルシ・ア・ローザ n.f. ごく普通のバラの花を

「目的語」

non possedere che... 「～を持っているに過ぎない」

non essere che... 「～であるに過ぎない」

XX

あの花や、僕の膝に達する 3 つの火山（その内ひとつは永久に休火山だろう）は、僕を立派な王子にすることは出来ない。

Lèi e i miei tre vulcani che mi arrivano alle ginòcchia, e di cui l'uno, forse, è spento per sèmpre, non fanno di me un principe móltto importante...

「主語」「動詞句」「間接目的語」「補語」

Lèi レイ pron (ròsa の代用) あの花は

「主語」

e エ conj. そして

i miei tre vulcani イ・メイ・トレ・ヴルカーニ pl(vulcano).n.m 僕の 3 個の火山は

「主語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

mi ミ pron 僕の

「間接目的語」

arrivano アリヴァノ 3 複現(arrivare)v.i 届く

「動詞」

alle ginòcchia, アレ・ジ・ノッキア adv. 膝に

「間接目的語」

e エ conj. そして

di cui l'uno, デイ・クワイ・ルーノ pron その内ひとつは

「主語」

forse, フォールセ adv. おそらく

「副詞」

è エ (èssere)v.i ～である

「動詞」

spento スェント adj. (火が) 消えた

「補語」

per sèmpre, ペル・センプレ adv. 永久に

「副詞句」

non fanno ノン・ファンノ 3 複現・否定(fare)v.t (di を) ～にしない

「動詞句」

di me デイ・メ adv. 僕を

「間接目的語」

un principe ウン・プリンチペ n.m 王子様に

「補語」

móltto importante...". モルト・インポルタンテ adj. 重要な、立派な

「形容詞句」

そして、草の上に伏せって、王子さまは泣いた。

E, seduto nell'erba, piangeva.

E 「副詞句」「動詞」

E, エ conj. そして

seduto セドゥート 過去分詞・様態(sedére)adv. 腰を下ろして

「副詞句」

nell'erba, ネレルバ adv. 草の上に

「副詞句」

piangeva. ピアンジェヴァ 3 単半(piangere)v.i 泣いた

「動詞」

フランス語版では :

そして、草の上に伏せって、王子様は泣いた。

Et, **couché** dans l'herbe, il pleura.

イタリア語では、

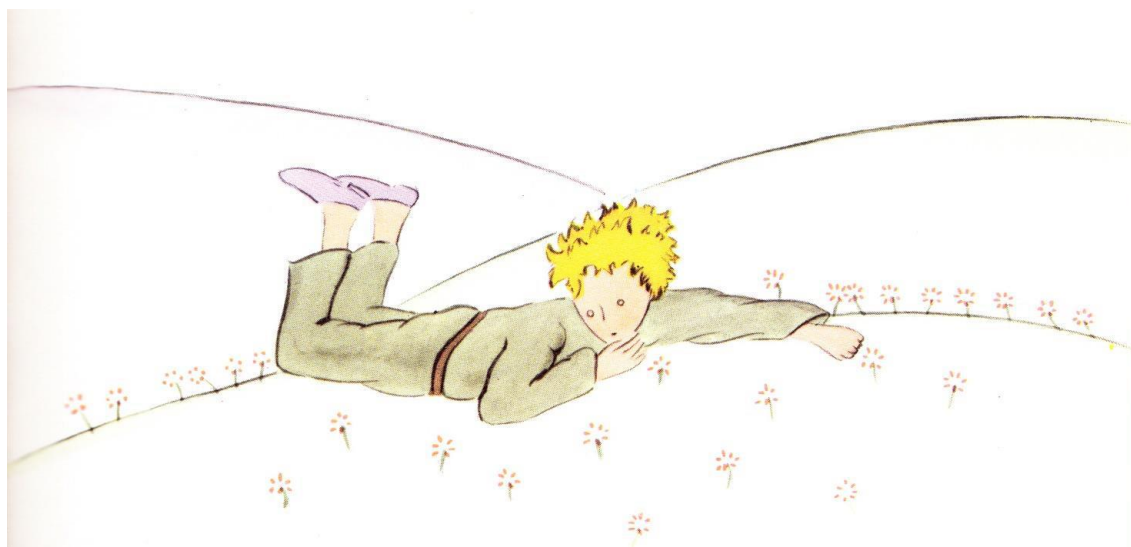
E, **sdraiato** nell'erba, piangeva. で良いと思う。

sdraiarsi ストライアルシ v.pr 寝そべる、横になる

副詞句では、再帰代名詞は消失している

XXI

寝そべる → 横になったり腹ばいになったりする。



XXI

その時、キツネが現れた。

In quel momento apparve la volpe.

「副詞句」「動詞」「主語」

In quel momento イン・ケル・モメント adv. その時

「副詞句」

apparve アハルヴェ 3 単遠(apparire)v.i 現れた

「動詞」

la volpe. ラ・ヴォルペ n.f キツネが

「主語」

「こんにちは」と、キツネが言った。

"Buon giorno", disse la volpe.

《「挨拶」》, 「動詞」「主語」

"Buon giorno", ブオン・ジョルノ adv. こんにちは

「挨拶」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

la volpe. ラ・ヴォルペ n.f キツネが

「主語」

「こんにちは」と、王子さまは丁寧に答えて、振り返った：しかし何も見えなかった。

"Buon giorno", rispose gentilmente il piccolo principe, voltandosi: ma non vide nessuno.

《「挨拶」》, 「動詞」「副詞」「主語」「副詞」: 「動詞句」「目的語」

"Buon giorno", ブオン・ジョルノ adv. こんにちは

「挨拶」

rispose リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた

「動詞」

gentilmente ジェンティルメンテ adv. ていねいに

「副詞」

il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

XXI

voltandosi: ヴォルタントシ ジェルンディオ・結果(voltare)v.i そして振り返った 「副詞」

ma マ conj. しかし

non vide ノン・ヴィデ 3 単遠・否定(vedere)v.t 見えなかった 「動詞句」

nessuno. ネスノ pron 何も～ない 「目的語」



「ここにいるよ」と、声が言った。「リンゴの木の下だよ…」

"Sono qui", disse la voce, "sotto al mélo..."

《「動詞」「副詞」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞句」》

"Sono ソーノ 1 単現・存在(essere)v.i ～にいる 「動詞」

qui", クイ adv. ここに 「副詞」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

la voce, ラ・ヴォーチェ n.f 声が 「主語」

"sotto ソット prep (位置) ～の下に 「副詞句」

al mélo..." アル・メロ adv. リンゴの木の 「目的語」

「君は誰なの？」と、王子さまは尋ねた。「君はとてもかわいいね…」

"Chi sèi?" domandò il piccolo principe, "sèi molto carino..."

《「補語」「動詞」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」》

"Chi キ pron 誰 「補語」

sèi?" セイ 2 単現・疑問文(essere)v.i ～なの? 「動詞」

XXI

domandò ドマント 3 単遠(domandare)v.t 尋ねた 「動詞」
 il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
 "sèi セイ 2 単現 (èssere)v.i ~である 「動詞」
 molto carino..." モルト・カーノ adj. とてもかわいい 「補語」

「僕はキツネだよ」と、キツネが言った。

"Sono una volpe", disse la volpe. 《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」
 "Sono ソーノ 1 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 una volpe", ウナ・ヴォルペ n.f キツネ 「補語」
 disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 la volpe. ラ・ヴォルペ n.f キツネが 「主語」

「僕と遊ぼうよ！」と、王子さまはキツネに提案した。「僕はこんなにも悲しいんだ...」

"Vieni a giocare con me", le propose il piccolo principe, sono così triste..."
 《「動詞句」「副詞句」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」》
 "Vieni a giocare ヴィエニ・ア・ジョカーレ 命・2 単現・勧誘(venire a+不定詞)
 v.i 遊ぼうよ！ 「動詞句」
 con me", コン・メ adv. 僕と 「副詞句」
 le レ pron.f (volpe の代用) キツネに 「間接目的語」
 propose プロポーセ v.t 提案した 「動詞」
 il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
 sono ソーノ 1 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 così triste..." コシ・トリステ adj. こんなにも悲しい 「補語」

「君とは遊べないよ」と、キツネが言った。「飼いならされていないから」

"Non posso giocare con te", disse la volpe, "non sono addomestica".
 《「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」》
 "Non posso giocare ノン・ポッソ・ジョカーレ 1 単現・可能・否定(potére+不定詞)
 v.i 遊べない 「動詞句」
 con te", コン・テ adv. 君とは 「副詞句」
 disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 la volpe, ラ・ヴォルペ n.f キツネが 「主語」
 "non sono addomestica". ノン・ソーノ・アトメスチカータ 1 単現・受動.f・否定(addomesticare)
 v.t 飼いならされていない 「動詞句」

XXI

「ああ、ごめんね！」と、王子さまは言った。

"Ah! scusa", fece il piccolo principe.

《「応答」》, 「動詞」 「主語」

"Ah! scusa", アー・スカーザ adv. ああ、ごめんね！

「応答」

fece フェチェ 3 単遠(fare)v.t 言った

「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

しかし、よく考えてから付け加えた：

Ma dopo un momento di riflessione soggiunse:

Ma 「副詞句」 「動詞」

Ma マ conj. しかし

dopo un momento ドーポ・ウン・モメント adv. (時間) 時間の後で

「副詞句」

di riflessione ディ・リフレッジオネ adj. 熟考の

「形容詞句」

soggiunse: ソジューンセ 3 単遠(soggiungere)v.t 付け加えた

「動詞」

『飼いなす』って、どういう意味なの？

"Che cosa vuol dire <addomesticare>?"

《「目的語」 「動詞句」 「主語」》

"Che cosa ケ・コーサ n.f どんな事を

「目的語」

vuol dire ヴォル・ディレ 3 単現・願望(volére+不定詞)v.t 言おうとする、意味する 「動詞句」

<addomesticare>?" アドメスチカーレ 不定詞 n. 飼いなすことは

「主語」

「君はここの人じゃあないね」と、キツネが言った。「何を探しているの？」

"Non sèi di quèste parti, tu", disse la volpe, "che cosa cerchi?"

《「動詞句」 「補語」》, 「動詞」 「主語」, 《「目的語」 「動詞」》

"Non sèi ノン・セイ 2 単現・否定・疑問文(èssere)v.i ~でないね？

「動詞句」

di quèste parti, ディ・クエステ・パルティ adj (出身) この地域の出身の

「補語」

tu", トゥ pron 君は

「主語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

la volpe, ラ・ヴォルペ n.f キツネが

「主語」

"che cosa ケ・コーサ n.f 何を

「目的語」

cerchi?" チェルキ 2 単現・疑問文(cercare)v.t 探しているの？

「動詞」

「人間たちを探しているんだ」と、王子さまは言った。

"Cerco gli uòmini", disse il piccolo principe.

《「動詞」 「目的語」》, 「動詞」 「主語」

"Cerco チェルコ 1 単現(cercare)v.t 探している

「動詞」

gli uòmini", リ・ウオーミニ pl(uòmo).n.m 人間たちを

「目的語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

XXI

『飼いならす』って、どういう意味なの？」

"Che cosa vuol dire <addomesticare>?" 《「目的語」「動詞句」「主語」》
 "Che cosa ケ・コーサ n.f 何を 「目的語」
 vuol dire ヴォアル・ディレ 3 単現・願望(volére+不定詞)v.t 意味する 「動詞句」
 <addomesticare>?" アット・メスチャーレ 不定詞 n. 『飼いならす』は 「主語」

「人間たちは」と、キツネは言った。「銃を持っていて、狩りをするんだ。それは全く迷惑だね。彼らは雌鶏も飼っている。それが唯一のいいところだ。君は雌鶏を探すのかい？」

"Gli uomini" disse la volpe, "hanno dei fucili e cacciano. È molto noioso! Allevano anche delle galline. È il loro sólo interesse. Tu cerchi delle galline?"

《「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「目的語」 e 「動詞」
 「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」 | 「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」》
 "Gli uomini" リ・ウオーミ pl(uòmo).n.m 人間たちは 「主語」
 disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 la volpe, ラ・ヴォルペ n.f キツネが 「主語」
 "hanno アンノ 3 複現(avére)v.t 持っている 「動詞」
 dei fucili テイ・フチャーリ pl(fucile).n.m 銃を 「目的語」
 e エ conj. そして
 cacciano. カッチャノ 3 複現(cacciare)v.t 狩りをする 「動詞」
 È エ 3 単現(essere)v.i 〜である 「動詞」
 molto noioso! モルト・ノイオーソ adj. とても迷惑な 「補語」
 Allevano アッレヴァノ 3 複現(allevare)v.t 飼っている、飼育している 「動詞」
 anche delle galline. アンケ・デッレ・ガリーネ pl(gallina).n.f 雌鶏も 「目的語」
 È エ 3 単現(essere)v.i 〜である 「動詞」
 il loro sólo interesse. イル・ローロ・ソーロ・インテレッセ n.m 彼らの唯一のいいところ 「補語」
 Tu トゥ pron 君は 「主語」
 cerchi チェルキ 2 単現・疑問文(cercare)v.t 探すの? 「動詞」
 delle galline?" デッレ・ガリーネ pl(gallina).n.f 雌鶏を 「目的語」

「いや、探さない」と、王子さまは言った。『飼いならす』って、どういう意味なの？」

"No", disse il piccolo principe. "Cerco degli amici. Che cosa vuol dire "<addomesticare>?"
 《「応答」》, 「動詞」「主語」 | 《「目的語」「動詞句」「主語」》
 "No", ノ adv. (否定) いや、探さない 「応答」
 disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

XXI

"Cerco チェルコ 3 単現(cercare)v.t 探している 「動詞」
 degli amici. デッリ・アミチ pl(amico).n.m 友達を 「目的語」
 "Che còsa ケ・コーサ n.f 何を 「目的語」
 vuol dire ヴォル・ディレ 3 単現・願望(volére+不定詞)v.t 意味する 「動詞句」
 <addomesticare>?" アッド・メスチャーレ 不定詞 n. 『飼いならす』は 「主語」

「それはとても忘れ去られたものだよ。『きずなを創る』ということだよ」

"È una còsa da móltto dimenticata. Vuol dire <creare dei legami>..."
 《「動詞」「補語」 | 「動詞句」「目的語」》
 "È エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 una còsa ウナ・コーサ n.f 事 「補語」
 da ダ prep (原因) ~のために、~によって 「副詞句」
 móltto dimenticata. モルト・ディメンチカータ 過去分詞.f(dimenticare)
 adj. とても忘れ去られた 「形容詞句」
 Vuol dire ヴォル・ディレ 3 単現・願望(volére+不定詞)v.t 意味する 「動詞句」
 <creare クレアレ 不定詞 v.t 『創り出す』こと 「目的語」
 dei legami>..." デイ・レガミ pl(legame).n.m きずなを 「目的語」

「きずなを創る？」

"Creare dei legami?" 「動詞」「目的語」
 "Creare クレアレ 不定詞 v.t 創り出す 「動詞」
 dei legami?" デイ・レガミ pl(legame).n.m きずなを 「目的語」

「そうだよ」と、キツネは言った。「君は、僕にとっては、まだ 10 万人の少年に良く似た 1 人の少年に過ぎない。だから、僕は君を必要としていない」

"Certo", disse la volpe. "Tu, fino ad óra, per me, non sèi che un ragazzino uguale a centomila ragazzini. E non ho bisogno di te.

《「応答」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「補語」
 E 「動詞句」「目的語」》

"Certo", チェルト adv. (肯定) もちろん、そうだ 「応答」
 disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 la volpe. ラ・ヴォルペ n.f キツネは 「主語」
 "Tu, トゥ pron 君は 「主語」
 fino ad óra, フィノ・アド・オーラ adv. まだ、今まで、これまで 「副詞句」
 per me, ペル・メ adv. 僕にとって 「間接目的語」
 non sèi ノン・セイ 2 単現・否定(essere)v.i(che) ~にすぎない 「動詞句」

XXI

che ケ conj. (比較) ～以上または以下ということ	「補語」
un ragazzino ウン・ラガッツィーノ n.m (ragazzo+・ino) 少年	「目的語」
uguale ウガワレ adj. (a に) 似たような	「形容詞」
a centomila ragazzini. ア・チェントミラ・ラガチーニ	
adv. 10 万人の少年に	「間接目的語」
E エ conj. そして	
non ho ノ・ノ 1 単現・否定(avére)v.t ～がない	「動詞句」
bisógno ビゾーニョ n.m 必要性	「目的語」
di te. ティ・テ adj. 君の	「形容詞句」

「それに、君だって僕を必要としていない。僕は 10 万匹のキツネに良く似た 1 匹のキツネに過ぎないんだ。だけど、もし君が僕を飼いならせば、僕たちはお互いが必要になるだろう。」

E neppure tu hai bisógno di me. Io non sono per te che una volpe uguale a centomila volpi. Ma se tu mi addomestichi, noi avremo bisógno l'uno dell'altro.

《E「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」「補語」

Ma「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」》

E エ conj. そして	
neppure tu ネプーレ・トゥ pron 君だって～ない	「主語」
hai アイ 2 単現・否定文(avére)v.t ～がない	「動詞」
bisógno ビゾーニョ n.m 必要性	「目的語」
di me. ティ・メ adj. 僕の	「形容詞句」
Io イオ pron 僕は	「主語」
non sono ノン・ソーノ 1 単現・否定(essere)v.i(che) ～にすぎない	「動詞句」
per te ペル・テ adv. 君にとって	「間接目的語」
che ケ conj. (比較) ～以上または以下ということ	「補語」
una volpe ウナ・ヴォルペ n.f 1 匹のキツネ	「目的語」
uguale ウガワレ n.f よく似た	「形容詞」
a centomila volpi. ア・チェントミラ・ヴォルピ	
adv. 10 万匹のキツネに	「間接目的語」
Ma マ conj. けれど	
se セ conj. (仮定・条件) もし～ならば	「副詞節」
tu トゥ pron 君が	「主語」
mi ミ pron 僕を	「目的語」
addomestichi, アットメスティキ 接・2 単現(addomesticare)v.t 飼いならす	「動詞」
noi ノイ pron.pl 僕たちは	「主語」
avremo アヴレモ 条・1 複現・仮定の帰結・推量(avére)v.t ～があるようになるだろう	「動詞」

XXI

bisógno ビゾーニョ n.m 必要性

「目的語」

l'uno dell'altro. ルーノ・デラルトロ adv. お互いに

「副詞句」

「君は僕にとって、この世で唯一の存在になるだろう。それに僕だって、君にとってこの世で唯一の存在になるだろう」

Tu sarai per me unico al mondo, e io sarò per te unica al mondo".

《「主語」「動詞」「間接目的語」「補語」, e 「主語」「動詞」「間接目的語」「補語」》

Tu トゥ pron 君は

「主語」

sarai サライ 2 単未・変化(essere)v.i ~になるだろう

「動詞」

per me ペル・メ adv. 僕にとって

「間接目的語」

unico ウニコ n.m 唯一の存在

「補語」

al mondo, アル・モント° adv. この世で

「副詞句」

e エ conj. そして

io イオ pron 僕は

「主語」

sarò サロ 1 単未・変化(essere)v.i ~になるだろう

「動詞」

per te ペル・テ adv. 君にとって

「間接目的語」

unica ウニカ adj.f 唯一の存在

「補語」

「主語」が *vólpe* (女性名詞) なので、「補語」は性・数一致して女性形になる

al mondo". アル・モント° adv. この世で

「副詞句」

「分かってきたよ」と、王子さまは言った。「1 輪の花があって... それが、僕を飼いならしたと思うんだ...」

"Comincio a capire" disse il piccolo principe. "C'è un fióre... credo che mi abbia addomesticato..."

《「動詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「主語」... 「動詞」「目的語」》

"Comincio a capire" コミンチョ・ア・カピレ 1 単現・開始(cominciare a+不定詞)

v.t 分かってきた

「動詞句」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ° n.m 王子さまは

「主語」

"C'è チェ 3 単現・存在(esserci)v.i ~がある

「動詞句」

un fióre... ウン・フィオーレ n.m 1 輪の花が

「主語」

credo クルト° 1 単現(crédere)v.t (che ~だと) 思う

「動詞」

che ケ conj. ~ということ

「目的語」

mi ミ pron 僕を

「目的語」

abbia addomesticato..." アッビ・ア・アット°メスカート 接・3 単現・完了形・推量(addomesticare)

v.t 飼いならしたのだろう

「動詞句」

XXI

「それはありうる」と、キツネが言った。「地球の上では、どんなことでも起こるんだ...」

"È possibile", disse la volpe. "Capita di tutto sulla Terra..."

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「間接目的語」「副詞句」》

"È" エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

possibile", ホッシービレ adj. ありうる 「補語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

la volpe. ラ・ヴォルペ n.f キツネは 「主語」

"Capita" カピタ 非人称・3 単現(capitare)v.h (～が) 起きる 「動詞」

di tutto ディ・トゥット adv. すべてについて 「間接目的語」

sulla Terra..." スラ・テラ adv. 地球の上では 「副詞句」

「ああ、地球の上の事ではないんだ」と、王子さまは言った。

"Oh! non è sulla Terra", disse il piccolo principe.

《「間投」 | 「動詞」「副詞句」》, 「動詞」「主語」

"Oh! オー int. ああ 「間投」

non è ノ・ネ 3 単現・否定(essere)v.i ~でない 「動詞」

sulla Terra", スラ・テラ adv. 地球の上では 「副詞句」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

キツネは意味が分かっていないように見えた：

La volpe sembrò perplèssa:

「主語」「動詞」「補語」

La volpe ラ・ヴォルペ n.f キツネは 「主語」

sembrò センブロ 3 単遠(sembrare)v.i ~のように見えた 「動詞」

perplèssa: ペルプレッサ adj. あやふやな、途方に暮れた 「補語」

「他の惑星での話なの？」

"Su un altro pianeta?"

《「副詞句」》

"Su" ス prep (位置) ~の上で 「副詞句」

un altro pianeta?" ウン・アルトロ・ピァネータ n.m 他の惑星 「目的語」

「そうなんだ」

"Sì".

「応答」

"Sì". シ adv. (肯定) そうだ

「応答」

XXI

「その惑星に、獵師はいるの？」

"Ci sono dei cacciatori su questo pianeta?" 《「動詞句」「主語」「副詞句」》

"Ci sono チ・ソーノ 3 複現・存在・疑問文(esserci)v.i. ～がいのの? 「動詞句」

dei cacciatori デイ・カッチャトーリ pl(cacciatori).n.m 獵師は 「主語」

su questo pianeta? ス・クエスト・ピ・アネータ adv. その惑星に 「副詞句」

「いないよ」

"No". 《「応答」》

"No". ノ adv. (否定) いないよ 「応答」

「それは興味が引かれるなあ。それで、雌鶏はいるの？」

"Questo mi interessa. E delle galline?" 《「主語」「目的語」「動詞」 | E 「主語」》

"Questo クエスト pron これは 「主語」

mi ミ pron 僕の 「目的語」

interessa. インテレッサ 3 単現(interessare)v.t 興味が引く 「動詞」

E エ conj. それで

delle galline? デ・ッレ・ガリーネ pl(gallina).n.f 雌鶏は 「主語」

「いないよ」

"No". 《「応答」》

"No". ノ adv. (否定) いないよ 「応答」

「完べきな物はないね」と、キツネは溜息をついた。だが、キツネは自分の考えに戻った。

"Non c'è niente di perfetto", sospirò la volpe. Ma la volpe ritornò alla sua idea:

《「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」 | Ma 「主語」「動詞」「間接目的語」

"Non c'è ノン・チェ 3 単現・否定・存在(esserci)v.i. ～がない 「動詞句」

niente ニエンテ pron 何も～ない 「主語」

di perfetto", デイ・ペルフェット adj. (性質) 完璧な 「形容詞句」

sospirò ソスピロ 3 単遠(sospirare)v.i 溜息をついた 「動詞」

la volpe. ラ・ヴォルペ n.f キツネは 「主語」

Ma マ conj. しかし

la volpe ラ・ヴォルペ n.f キツネは 「主語」

ritornò リトルノ 3 単遠(ritornare)v.i(a に) 戻った 「動詞」

alla sua idea: アッラ・スー・イデア adv. 自分の考えに 「間接目的語」

XXI

「僕の生活は短調なんだ。僕は雌鶏を追いかける、すると人間たちが僕を追いかける。すべての雌鶏はよく似ているし、すべての人間たちもよく似ている。だから僕はうんざりしてる」

"La mia vita è monòtona. Io do la caccia alle galline, e gli uòmini danno la caccia a me. Tutte le galline si assomigliano, e tutti gli uòmini si assomigliano. E io mi annoio perciò.

《「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」,
e 「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」

「主語」「動詞句」, e 「主語」「動詞句」 | E 「主語」「動詞句」「副詞」》

"La mia vita ラ・ミー・ヴァー・タ n.f 僕の生活は 「主語」
è エ 3 単現(essere)v.i 〜である 「動詞」
monòtona. モノトナ adj(monòtono).f 単調な 「補語」
Io イオ pron 僕は 「主語」
do ト 1 単現(dare)v.t (動作を) する 「動詞」
la caccia ラ・カーチャ n.f 追跡、狩り 「直接目的語」
alle galline, アル・ガッリーネ adv. 雌鶏に対して 「間接目的語」
e エ conj. (結果) すると
gli uòmini リ・ウオー・ミニ pl(uòmo).n.m 人間たちは 「主語」
danno ダンノ 3 複現(dare)v.t (動作を) する 「動詞」
la caccia ラ・カーチャ n.f 追跡、狩り 「直接目的語」
a me. ア・メ adv. 僕に対して 「間接目的語」
Tutte le galline トゥッテ・レ・ガッリーネ pl(gallina).n.f すべての雌鶏は 「主語」
si assomigliano, シ・アツミリアノ 3 複現(assomigliarsi)v.pr (相互に) 良く似ている 「動詞句」
e エ conj. そして
tutti gli uòmini トゥッティ・リ・ウオー・ミニ pl(uòmo).n.m すべての人間たちは 「主語」
si assomigliano. シ・アツミリアノ 3 複現(assomigliarsi)v.pr (相互に) 良く似ている 「動詞句」
E エ conj. (結論) それで
io イオ pron 僕は 「主語」
mi annoio ミ・アンノイオ 1 単現(annoiarsi)v.pr うんざりしている 「動詞句」
perciò. ペルチョ conj. だから 「副詞」

「けれど、もし君が僕を飼いなしたらしてくれたら、僕の生活は明るく照らされたみたいになるだろう。そして僕は、他のどんな足音とも違う足音を聞き分けられるようになるだろう。」

Ma se tu mi addomestichi, la mia vita sarà illuminata. Conoscerò un rumore di passi che sarà diverso da tutti gli altri.

《Ma 「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」》

Ma マ conj. けれど

se セ conj. (条件) もし〜ならば 「副詞節」

XXI

tu トゥ pron 君が	「主語」
mi ミ pron 僕を	「目的語」
addomesticati, アット・メスティキ 2 単現(addomesticare)v.t 飼いならす	「動詞」
la mia vita ラ・ミア・ヴィータ n.f 僕の生活は	「主語」
sarà サラ 3 単未・推量・変化(essere)v.i ~になるだろう	「動詞」
illuminata. イルミナタ adj(illuminato).f 明るく照らされた	「補語」
Conoscerò コノシェロ 1 単未・推量・変化(conoscere)	
v.t 聞き分けられるようになるだろう	「動詞」
un rumore di passi ウン・ルモレ・ディ・パッシ n.m 足音を	「目的語」
che ケ pron (主語) ~する	「形容詞節」
sarà サラ 3 単未・推量・変化(essere)v.i ~に変わる	「動詞」
diverso ディヴェルソ adj. 違う、異なる	「補語」
da tutti gli altri. ダ・トゥッティ・リ・アルトリ	
adv. (比較) 他のどんな音とも	「副詞句」

「他の足音は僕を地面の下に隠れさせる。君の足音は、音楽のように、僕を巣穴から呼び出すだろう。」

Gli altri passi mi fanno nascondere sotto terra. Il tuo, mi farà uscire dalla tana, come una musica. 《「主語」「目的語」「動詞」「補語」 | 「主語」「目的語」「動詞」「補語」》

Gli altri passi リ・アルトリ・パッシ pl(passo).n.m 他の足音は	「主語」
mi ミ pron 僕を	「目的語」
fanno ファンノ 3 複現・使役(fare)v.t(SVO+不定詞) ~させる	「動詞」
nascondere ナスカンデレ 不定詞・mi の動作 v.t 隠す	「補語」
sotto terra. ソット・テッラ adv. 地面の下に	「副詞句」
Il tuo, イル・トゥーオ pron 君の足音は	「主語」
mi ミ pron 僕を	「目的語」
farà ファラ 3 単未・推量・使役(fare)v.t(SVO+不定詞) ~させるだろう	「動詞」
uscire ウッシレ 不定詞・mi の動作 v.i 出る	「補語」
dalla tana, ダッラ・タナ adv. (起点) 巣穴から	「副詞句」
come una musica. コメ・ウナ・ムジカ adv. (類似) 音楽のように	「副詞句」

「そしてそれから、見てごらん！あそこに、小麦畑が見えるだろ？僕はパンは食べない。だから小麦は僕にとっては役に立たない。」

E poi, guarda! Vedi, laggiù in fondo, dei campi di grano? Io non mangio il pane e il grano, per me è inutile. 《E 「副詞」「動詞」 | 「動詞」「副詞句」「目的語」

「主語」「動詞句」「目的語」 e 「主語」「間接目的語」「動詞」「補語」》

XXI

E エ conj. そして	
pòi, ポーイ adv. それから	「副詞」
guarda! グァルダ 命・2 単現(guardare)v.t 見てごらん!	「動詞」
Vedi, ヴェディ 2 単現・疑問文・確認(vedere)v.i 見えるだろう?	「動詞」
laggiu' in fondo, ラッジュー・イン・フォント adv. あそこに	「副詞句」
dei campi di grano? デイ・カンピ・デイ・グラノ pl(campo).n.m 小麦畑が	「目的語」
Io イオ pron 僕は	「主語」
non mangio ノン・マンジヨ 1 単現・否定(mangiare)v.t 食べない	「動詞句」
il pane イル・パネ n.m パンを	「目的語」
e エ conj. だから	
il grano, イル・グラノ n.m 小麦は	「主語」
per me ペル・メ adv. 僕にとっては	「間接目的語」
è エ 3 単現(essere)v.i ~である	「動詞」
inùtile. イヌーティレ adj. 役に立たない	「補語」

「小麦畑は僕に何も思い出させてくれない。だから、それは悲しいことだよ。けれど、君は金色の髪をしている。それで、君が僕を飼いならしたら、素晴らしいことになるよ。」

I campi di grano non mi ricordano nulla. E questo è triste! Ma tu hai dei capelli color dell'oro. Allora sarà meraviglioso quando mi avrai addomesticato.

《「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」 | E「主語」「動詞」「補語」

Ma「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞」「主語」「動詞」「補語」「副詞節」》

I campi di grano イ・カンピ・デイ・グラノ pl(campo).n.m 小麦畑は	「主語」
non ...ricordano ノン...リコルダノ 3 複現・否定(ricordare)v.t 思い出させない	「動詞句」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
nulla. ヌッラ pron 何も~ない	「直接目的語」
E エ conj. (帰結) だから、したがって	
questo クェスト pron そのことは	「主語」
è エ 3 単現(essere)v.i ~である	「動詞」
triste! トリスティ adj. 悲しい	「補語」
Ma マ conj. (対立) けれど	
tu トゥ pron 君は	「主語」
hai アイ 2 単現(avere)v.t (特徴) ~をしている	「動詞」
dei capelli デイ・カペッリ pl(capello).n.m 髪を	「目的語」
color dell'oro. コロー・デル・オーロ adj. 金色の	「形容詞句」
color di... 「~色の」	
Allóra アッローラ adv. (条件) それでは、そうすると	「副詞」

XXI

sarà	サ ラ 3 単未・推量・変化(essere)v.i	～になるだろう	「動詞」
meraviglioso	メラヴィリョーソ	adj. 素晴らしい	「補語」
quando	クワンド	conj. (条件) ～すると、～の時に	「副詞節」
mi	ミ pron	僕を	「目的語」
avrà addomesticato.	アヴライ・アット・メスカート	2 単未・完了形(addomesticare)	
v.t	飼いならした		「動詞句」

「金色の小麦は、僕に君のことを思い出させるだろうな。そうすると、僕は小麦畑を吹き抜ける風の音が好きになるだろうな…」 キツネは黙り込んで、しばらく王子様を見つめた。

Il grano, che è dorato, mi farà pensare a te. E amerò il rumore del vento nel grano...

La volpe tacque e guardò a lungo il piccolo principe:

《「主語」「目的語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」 e 「動詞」「副詞句」「目的語」				
Il grano,	イル・グラーノ	n.m	小麦は	「主語」
che	ケ	pron	(主語) ～する	「形容詞節」
è	エ	3 単現(èssere)	v.i ～である	「動詞」
dorato,	ドラート	adj.	金色の	「補語」
mi	ミ	pron	僕に	「目的語」
farà	ファラ	3 単未・推量・使役(fare)	v.t ～させるだろう	「動詞」
pensare	ペンサレ	不定詞・mi の動作	v.i 思い起こす、思い出す	「補語」
a te.	ア・テ	adv.	君の事を	「間接目的語」
E	エ	conj.	そして	
amerò	アメロ	1 単未・推量(amare)	v.t 好きになるだろう	「動詞」
il rumore	イル・ルモレ	n.m	ざわめき、物音	「目的語」
del vento nel grano..."	デル・ヴェント・ネル・グラーノ			
	adj.		小麦畑を吹き抜ける風の	「形容詞句」
La volpe	ラ・ヴォルペ	n.f	キツネは	「主語」
tacque	タッケ	3 単遠(tacere)	v.i 黙った	「動詞」
e	エ	conj.	そして	
guardò	グワルト	3 単遠(guardare)	v.t 見つめた	「動詞」
a lungo	ア・ルンゴ	adv.	長い間	「副詞句」
il piccolo principe:	イル・ピッコロ・プリンチペ	n.m	王子様を	「目的語」

「お願いだから... 僕を飼いならしておくれよ!」と、キツネは言った。

" <u>Per favore... addomesticami</u> ", <u>disse</u> .	《「依頼」 ... 「動詞句」》, 「動詞」
"Per favore... ペル・ファヴ ^o ォレ adv. (懇願) お願いだから...	「依頼」
addomesticami", アット ^メ スチカ・ミ 命・2 単現(addomesticare+mi)	

XXI

v.t 僕をかいならしておくれよ 「動詞句」
disse. ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

「喜んで、そうしたいよ」と、王子さまは言った。「だけど、あまり時間が無いんだ。友達を見つけなければならないし、たくさんの事を知らなければならないんだ。」

"Volentieri", disse il piccolo principe, "ma non ho molto tempo, pero. Ho da scoprire degli amici, e da conoscere molte cose".

《「応答」》, 「動詞」「主語」,

《ma 「動詞句」「目的語」, pero | 「動詞句」「目的語」, e 「動詞句」「目的語」》

"Volentieri", ヴォルンチェーリ adv. (意向) 喜んでそうしたいよ! 「応答」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

"ma マ conj. しかし

non ho ノ・ノ 1 単現・否定(avére)v.t ~がない 「動詞句」

molto tempo, モルト・テンポ n.m (否定文で) あまり時間が~ない 「目的語」

pero. ペロ conj. (強い反意) しかし、残念だが

Ho da scoprire オ・ダ・スコプリレ 1 単現・必要(avére da+不定詞 scoprire)

v.t ~を見つけなければならない 「動詞句」

degli amici, デリ・アミチ pl(amico).n.m 友達を 「目的語」

e エ conj. そして

da conoscere ダ・コノッシェレ 1 単現・必要(avére da+不定詞 conoscere)

v.t ~を知らなければならない 「動詞句」

molte cose. モルテ・コセ pl(cosa).n.f 多くの事を 「目的語」

「人は、飼いならさなければ僕たちの事はわからない」と、キツネが言った。

"Non ci conoscono che le cose che si addomesticano", disse la volpe.

《「動詞句」「副詞節」》, 「動詞」「主語」

"Non ci conoscono ノ・チ・コノスコノ 3 複現・否定(conoscere)v.t 私たちを知らない 「動詞句」

che ケ +接続法 conj. (譲歩) ~する限りは... 「副詞節」

le cose レ・コセ pl(cosa).n.f 物事が 「主語」

(sia シア 接・3 複現・仮定・省略(essere)v.i ~である 「動詞」)

che ケ conj. ~ということ 「補語」

si addomesticano", シ・アット・メスカノ 3 複現(addomesticarsi)

v.pr 飼いならす 「動詞句」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

la volpe. ラ・ヴォルペ n.f キツネは 「主語」

XXI

(Sia) che tu venga o (sia) che non venga, non cambierà la cosa.

君が来ても来なくとも、事態は変わらないだろう。

「人間たちは、何かを見極めている時間がもうないから、なんでも出来上がったものを買ってくるんだ。だけど、友達を売る商人はいないから、彼らはもう友達を持っていない。もし君が友達の欲しいなら、僕を飼いなしてよ！」

"Gli uomini non hanno più tempo per conoscere nulla. Comprano dai mercanti le cose già fatte. Ma siccome non esistono mercanti di amici, gli uomini non hanno più amici. Se tu vuoi un amico addomesticami!"

《「主語」「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「副詞句」「目的語」

Ma 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」》

"Gli uomini リ・ウーミ pl(uòmo).n.m 人間は 「主語」
non hanno ノン・アンノ 3 複現・否定(avére)v.t ~がない 「動詞句」
più ピーウ adv. もう 「副詞」
tempo テンポ n.m 時間が 「目的語」
per conoscere ヘル・コノッシェレ adv. (目的) 見極めるための 「副詞句」
nulla. ヌッラ pron. 何かを 「目的語」
Comprano コンプラノ 3 複現(comprare)v.t 買ってくる 「動詞」
dai mercanti ダイ・メルカンティ adv.(mercante) (手段) 商人から 「副詞句」
le cose レ・コーゼ pl(còsa).n.f 物を 「目的語」
già fatte. ジャ・ファッテ adj(fatto).f.pl すでに出来上がった 「形容詞句」
Ma マ conj. しかし
siccome シッコーメ conj. (原因・理由) ~なので 「副詞節」
non esistono ノン・エジストノ 3 複現・存在・否定(esistere)v.i ~はいない 「動詞句」
mercanti メルカンティ pl(mercante).n.m 商人は 「主語」
di amici, ディ・アミーチ adj. 友達を売る 「形容詞句」
gli uomini リ・ウーミ pl(uòmo).n.m 人間たちは 「主語」
non hanno ノン・アンノ 3 複現・否定(avére)v.t 持っていない 「動詞句」
più ピーウ adv. (否定文で) もう~ない 「副詞」
amici. アミーチ pl(amico).n.m 友達を 「目的語」
Se セ conj. (条件) もし~ならば 「副詞節」
tu トゥ pron 君が 「主語」
vuoi ヴァイ 2 単現(volére)v.t 望む 「動詞」
un amico ウン・アミーコ n.m 友達を 「目的語」
addomesticami! アット・メスチカ・ミ 命・2 単現・依頼(addomesticare+mi)
v.t 僕を飼いなしてよ! 「依頼」

XXI

「何をしなければいけないの？」と、王子さまは尋ねた。

"Che cosa bisogna fare?" domandò il piccolo principe.

《「目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」

"Che cosa ケ・コーサ n.f 何を

「目的語」

bisogna fare?" ビゾーニャ・ファレ 非人称・3 単現・必要・疑問文(bisognare+不定詞)

v.h しなければならないの？

「動詞句」

domandò ドマント 3 単遠(domandare)v.t 尋ねた

「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

「非常に辛抱強くなければいけない」と、キツネが答えた。「最初は、僕から少し離れて、
こんな風に草の中に座るんだよ」

"Bisogna essere molto pazienti", rispose la volpe. "In principio tu ti siederai un po' lontano da me, così, nell'erba."

《「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」》

"Bisogna essere ビゾーニャ・エッセル 非人称・3 単現・必要(bisognare+不定詞)

v.i ～でいなければならない

「動詞句」

molto pazienti", モルト・パチエンチ adj(paziente).pl 非常に辛抱強い

「補語」

rispose リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた

「動詞」

la volpe. ラ・ヴォルペ n.f キツネが

「主語」

"In principio イン・プリンチピオ adv. 最初は

「副詞句」

tu トゥ pron 君は

「主語」

ti siederai チ・セデーライ 2 単未・命(sedersi)v.i 座りなさい

「動詞句」

un po' lontano ウン・ポ・ロンターノ adv. 少し遠くに

「副詞句」

da me, ダ・メ adv. (起点) 僕から

「副詞句」

così, nell'erba. コシ・ネルハ adv. こんな風に草の中に

「副詞句」

XXI

「僕は横目で君を見るよ。その時、君は何も言ってはいけないよ。言葉は誤解のもとになるからね。けれど、毎日、少しずつ近くに座れるようになるよ...」

Io ti guarderò con la coda dell'occhio e tu non dirai nulla. Le parole sono una fonte di malintesi. Ma ogni giorno tu potrai sederti un po' più vicino...

《「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」 e 「主語」「動詞句」「目的語」

「動詞」「補語」「主語」 | Ma 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」》

Io イオ pron 僕は 「主語」
 ti チ pron 君を 「目的語」
 guarderò グォルテロ 1 単未・意志(guardare)v.t 見るだろう 「動詞」
 con la coda dell'occhio コン・ラ・コダ・テロッキオ adv. (手段) 横目で 「副詞句」
 coda dell'occhio 「目じり」
 e エ conj. そして
 tu トゥ pron 君は 「主語」
 non dirai ノン・テイライ 2 単未・命・否定(dire)v.t 言うな、言わない 「動詞句」
 nulla. ヌッラ pron 何も～ない 「目的語」
 Le parole レ・パ・ローレ pl(paròla).n.f 言葉は 「主語」
 sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ～である 「動詞」
 una fonte ウナ・フォンテ n.f 原因 「補語」
 di malintesi. デイ・マリンテジ adj. 誤解の 「形容詞句」
 Ma マ conj. しかし
 ogni giorno オンニ・ジヨルノ adv. 毎日 「副詞句」
 tu トゥ pron 君は 「主語」
 potrai sederti ポ・トライ・セデーニル・ティ 2 単未・可能・推量(potére+不定詞)
 v.pr 座れるようになるだろう 「動詞句」
 un po' più vicino..." ウン・ポ・ピウ・ヴィチーノ adv. (程度) 少し近くに 「副詞句」

翌日、王子さまは戻って来た。

Il piccolo principe ritornò l'indomani.

「主語」「動詞」「副詞句」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

ritornò リトルノ 3 単遠(ritornare)v.i 戻った 「動詞」

l'indomani. リントマーニ adv. (定冠詞を付けて) 翌日に 「副詞句」

「同じ時刻に来た方が良かっただろうね」と、キツネが言った。

"Sarebbe stato meglio ritornare alla stessa ora", disse la volpe.

《「動詞句」「補語」「主語」》, 「動詞」「主語」

"Sarebbe stato サレッベ・スタート 条・3 単現・完了形・推量(essere)v.i ～だっただろう 「動詞句」

XXI

mèglio メリオ adj. もっと良い	「補語」
ritornare リトルネ 不定詞 n. 来ることは	「主語」
alla stéssa óra", アッラ・ステッサ・オーラ adv. 同じ時間に	「副詞句」
disse ディッセ 3 単遠(ぢれ)v.t 言った	「動詞」
la vólpe. ラ・ヴォルペ n.f キツネが	「主語」

「例えば、君がいつも午後 4 時に来るとすると、3 時になると、僕は嬉しくなり始めるだろう。そして、時間がたつにつれて僕の幸福感は増すだろう」

"Se tu vieni, per esèmpio, tutti i pomeriggi alle quattro, dalle tre io comincerò ad essere felice. Col passare dell'óra auménterà la mia felicità.

《「副詞節」, 「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」 | 「副詞句」「動詞」「主語」》

"Se セ conj. (+直説法：十分に起こりうる仮定) もし～ならば	「副詞節」
tu トゥ pron 君が	「主語」
vienei, ヴィエニ 2 単現(venire)v.i 来る	「動詞」
per esèmpio, ペル・エセンピオ adv. 例えば	「副詞句」
tutti i pomeriggi トゥッティ・イ・ボ・メリッジ pl(pomeriggio).n.m 毎日午後に	「副詞句」
alle quattro, アッレ・クワトロ adv. 4 時に	「副詞句」
dalle tre ダッレ・トレ adv. (時間の起点) 3 時から	「副詞句」
io イオ pron 私は	「主語」
comincerò ad essere コミンチェロ・アド・エッセル 1 単末・開始・推量(cominciare a+不定詞)	
v.i ～になり始めるだろう	「動詞句」
felice. フェリチェ adj. 幸せな、嬉しい	「補語」
Col passare dell'óra コル・パッサレ・デッローラ	
adv. (con+定冠詞+不定詞) 時間が経つうちに	「副詞句」
el passare は名詞句「経過」 dell'óra は形容詞句「時間の」	
auménterà アウメンテラ 3 単末(aumentare)v.i 増加するだろう	「動詞」
la mia felicità. ラ・ミア・フェリチタ n.f 私の幸福感は	「主語」

se 仮定の種類

se+直説法・現在または未来

現在・未来に十分起こりうる仮定（主節に）直説法・現在または未来

se+接続法・半過去

現在・未来に起こるかも知れない仮定（主節に）条件法現在

se+接続法・半過去

現在の事実と反する仮定（主節に）条件法現在または過去

se+接続法・大過去

過去の事実と反する仮定（主節に）条件法現在または過去

XXI

参考：口語では「se+直説法半過去，（主節に）直説法半過去」の形も用いられる。

Se partivi prima, non avevi quèste difficoltà.

もし前に出発していたならば、こんな面倒にでくわさなかったはずだ。

「4 時になると、そわそわして、不安になってくる。僕は幸福の代償に気付くだろう。」

Quando saranno le quattro, incomincerò ad agitarmi e ad inquietarmi; scoprirò il prezzo della felicità!

《「副詞節」，「動詞句」；「動詞」「目的語」》

Quando クワント conj. ～すると

「副詞節」

saranno サラン 3 複未・変化(èssere)v.i ～になる

「動詞」

le quattro, レ・クワット pl.n.f (le ore quattro の略) 4 時

「補語」

incomincerò +a+不定詞 インコミンチェロ(incominciare a+不定詞)v.t ～し始めるだろう「動詞句」

ad agitarmi アド・アジタルミ 不定詞(agitarsi)v.pr 興奮する、不安になる 「動詞句」

e エ conj. そして

ad inquietarmi アド・インクイェタルミ 不定詞(inquietarsi)v.pr そわそわする 「動詞句」

scoprirò スコプリロ 1 単未(scoprire)v.t 気付くだろう

「動詞」

il prezzo イル・プレツォ n.m 代価、代償

「目的語」

della felicità デッラ・フェリチタ adj. 幸福の

「形容詞句」

「けれども、もし君がいつか分からない時にやって来るとしたら、僕は何時に心の準備をしたらよいか分からなくなるだろう... 儀礼が必要なんだよ」

Ma se tu vieni non si sa quando, io non saprò mai a che ora prepararmi il cuore... Ci vogliono i riti.

《Ma 「副詞節」，「主語」「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「主語」》

Ma マ conj. しかし

se セ conj. (仮定) もし～ならば

「副詞節」

tu トゥ pron 君が

「主語」

vieni ヴィエニ 2 単現(venire)v.i 来る、やって来る

「動詞」

non si sa ノン・シ・サ 3 単現・再帰受動・否定(sapersi)

adj. 知らされていない

「形容詞句」

quando, クワント adv. 時に

「副詞句」

io イオ pron 僕は

「主語」

non saprò mai ノン・サプロ・マイ 1 単未・否定(sapere)v.t 決して分からないだろう 「動詞句」

a che ora+不定詞 ア・ケ・オラ conj. 何時に～するべきかということを

「目的語」

prepararmi プレパラルミ 不定詞(prepararsi)

v.pr (義務) 準備するべきである

「形容詞句」

il cuore イル・クォーレ n.m 心を

「目的語」

Ci vogliono チ・ウogliono 3 複現・必要・非人称(volerci)v.i ～が必要である

「動詞句」

XXI

i riti". イ・リーティ pl(rito).n.m 儀礼、風習、習わし

「主語」

儀礼

慣習によってその形式（時間・服装・所作・献上品・音楽など）が整えられている礼式。

「儀礼って、何？」と、王子さまが言った。

"Che còs'è un rito?" disse il piccolo principe. 《「補語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」

"Che còs' ケ・コサ n.f 何？

「補語」

è エ (èssere)v.i ~である

「動詞」

un rito?" ウン・リート n.m 儀礼とは

「主語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」



「これも、はるか昔に忘れ去られた何かだよ」と、キツネが言った。

"Anche questa è una cosa da tempo dimenticata", disse la volpe.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」

"Anche questa アンケ・クェスタ pron.f (còsa に性・数一致) これも

「主語」

è エ 3 単現(èssere)v.i ~である

「動詞」

una cosa ウナ・コサ n.f ある物、何か

「補語」

da tempo ダ・テンポ adv. ずっと前から

「副詞句」

dimenticata", ディメンチカータ 過去分詞・受動(dimenticare)adj.f 忘れられた 「形容詞」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

la volpe. ラ・ヴォルペ n.f キツネは

「主語」

XXI

「それは、ある 1 日を他の人は違うものに変えたり、ある時間を他の時間とは違うものに変えるものだよ。たとえば、狩人たちの所には儀礼があるんだ」

"È quello che fa un giorno diverso dagli altri giorni, un'ora dalle altre ore. C'è un rito, per esempio, presso i miei cacciatori. 《「動詞」「補語」 | 「動詞句」「主語」「副詞句」》

"È エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

quello ケッロ pron それ 「補語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

fa ファ 3 単現(fare)v.t ~に変える 「動詞」

un giorno ウン・ジョルノ n.m ある 1 日を 「目的語」

diverso ティウヴェールツ adj. 異なる 「補語」

dagli altri giorni, ダッリ・アルトリ・ジョルニ

adv. (分離) 他の日々から 「副詞句」

un'ora ウ・ノーラ n.f ある時間を 「目的語」

dalle altre ore. ダッレ・アルトレ・オーレ

adv. (分離) 他の時間から 「副詞句」

C'è チェ 3 単現(esserci)v.i ~がある 「動詞句」

un rito, ウン・リート n.m 儀礼が 「主語」

per esempio, ペル・エゼンピオ adv. 例えば 「副詞句」

presso プレツツ prep (場所) ~の所には 「副詞句」

i miei cacciatori. イ・ミエイ・カッチャトリ pl(cacciatori).n.m 狩人たち 「目的語」

「木曜日には、村の娘たちとダンスをする。そうすると、木曜日は素晴らしい 1 日になる。僕はブドウ畑まで散歩に行く。」

Il giovedì ballano con le ragazze del villaggio. Allora il giovedì è un giorno meraviglioso!

Io mi spingo sino alla vigna.

《「副詞句」「動詞」「副詞句」 | 「副詞」「主語」「動詞」「補語」

「主語」「動詞句」「副詞句」》

Il giovedì イル・ジョウヴェディ adv. 木曜日には 「副詞句」

ballano バーラノ 3 複現(ballare)v.i ダンスをする 「動詞」

con le ragazze コン・レ・ラガッツェ adv. 娘たちと 「副詞句」

del villaggio. テル・ウイッジョ adj. 村の 「形容詞句」

Allora アッローラ adv. そうすると 「副詞」

il giovedì イル・ジョウヴェディ n.m 木曜日は 「主語」

è エ 3 単現・変化(essere)v.i ~になる 「動詞」

un giorno ウン・ジョルノ n.m 1 日 「補語」

XXI

meraviglioso! メラヴイオーソ adj. 素晴らしい

「形容詞」

Io イオ pron 僕は

「主語」

mi spingo ミ・スピンゴ 1 単現(spingersi)v.pr 行く

「動詞句」

sino alla vigna. シノ・アツラ・ヴィンニャ adv. (場所) ブドウ畑まで

「副詞句」

「もし狩人たちが、いつでも好きな時にダンスをしたら、毎日が似たり寄ったりになって、僕は息抜きが出来なくなるだろう」

Se i cacciatori ballassero in un giorno qualsiasi, i giorni si assomiglierebbero tutti, e non avrei mai vacanza".

《「副詞節」, 「主語」 「動詞句」, e 「動詞句」 「目的語」》

Se セ conj. (仮定) もし～ならば

「副詞節」

i cacciatori イ・チャトリ pl(cacciatore).n.m 狩人たちが

「主語」

ballassero バッラッセロ 接・3 複半・仮定(ballare)v.i ダンスをする

「動詞」

in un giorno イン・ウン・ジョルノ adv. 日に

「副詞句」

qualsiasi, クアルシーアジ adj. どの～でも、いつでも

「形容詞」

i giorni イ・ジョルニ pl(giorno)n.m 1 日が

「主語」

si assomiglierebbero シ・アツソミリエッベ 条・3 単現(assomigliarsi)v.pr お互いに似る「動詞句」

tutti, トウッティ adj. すべての

「形容詞」

e エ conj. そして

non avrei mai ノン・アヴレイ・マイー 条・1 単現・否定・推量(avére)v.t ～が無くなるだろう「動詞句」

vacanza". ヴァカンツァ n.f 休暇、息抜き

「目的語」



XXI

このようにして、王子さまはキツネを飼いならした。

Così il piccolo principe addomesticò la volpe. 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」
 Così コーシ adv. (様態) このようにして 「副詞」
 il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
 addomesticò アット・メスティコ 3 単遠(addomesticare)v.t 飼いならした 「動詞」
 la volpe. ラ・ヴォルペ n.f キツネを 「目的語」

そして、出発の 때가 付かづくと :

E quando l'ora della partenza fu vicina: E 「副詞節」:
 E エ conj. そして
 quando クわント conj. ～する時に 「副詞節」
 l'ora ローラ n.f 時が 「主語」
 della partenza デッラ・パルテンツァ adj. 出発の 「形容詞句」
 fu フ 3 単線・変化(essere)v.i ～になった 「動詞」
 vicina: ヴィチーナ adj(vicino).f 近い 「補語」

「ああ！」と、キツネが言った。「泣き出しそうだよ...」

"Ah!" disse la volpe, "... piangerò". 《「感嘆」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」》
 "Ah!" アー int. ああ! 「感嘆」
 disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 la volpe, " ラ・ヴォルペ n.f キツネが 「主語」
 ... piangerò". ピアンジェロ 1 単末(piangere)v.i 泣き出しそうだ 「動詞」

「それは君自身の責任だよ」と、王子さまは言った。「僕は君に悪いことをしようなんて思
 わなかったんだよ。逆に、君の方が僕に飼いならしてほしいって言ったんだよ...」

"La colpa è tua", disse il piccolo principe, "io, non ti volevo far del male, ma tu hai voluto
 che ti addomesticassi..."

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」,
 《「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, ma 「主語」「動詞句」「目的語」》
 "La colpa ラ・コルパ n.f 責任は、過ちは 「主語」
 è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」
 tua", トゥーア pron.f 君の物、君のせい 「補語」
 disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
 "io, イオ pron 僕は 「主語」
 non ...volevo far ノン...ヴォルヴォ・ファーレ 1 単半・願望・否定(volére+不定詞)

XXI

v.t	～をしようと思わなかった	「動詞句」
ti	ティ pron 君に	「間接目的語」
del male,	デル・マーレ n.m 悪さを	「直接目的語」
ma	マ conj. そうではなく	
tu	トゥ pron 君が	「主語」
hai voluto	アイ・ヴォルト 2 単現・完了形(volére)v.t 望んだ	「動詞句」
che	ケ conj. ～ということを	「目的語」
ti	ティ pron 君を	「目的語」
addomesticassi..."	アド・メスカッシ 接・1 単半・願望(addomesticare)	
v.t	飼いならす	「動詞句」

「その通りだよ」と、キツネが言った。

" <u>È véro</u> ", <u>disse la volpe</u> .	《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」
"È エ 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
véro", ヴェーロ adj. 正しい、本当の	「補語」
disse ディセ 3 単遠(dire)v.t 言った	「動詞」
la volpe. ラ・ヴォルペ n.f キツネが	「主語」

「それでも、泣き出しそうなんだろう？」と、王子さまは言った。

"Ma <u>piangerai</u> !" <u>disse</u> <u>il piccolo principe</u> .	《Ma 「動詞」》, 「動詞」「主語」
"Ma マ conj. しかし	
piangerai!" ヒ°アンヰェライ 2 単未(piangere)v.i (念押し) 泣き出しそうだ	「動詞」
disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った	「動詞」
il piccolo principe. イル・ヒ°ッコロ・ブ°リンチヘ° n.m 王子さまは	「主語」

「その通りだよ」と、キツネが言った。

" <u>È cèrto</u> ", <u>disse la volpe</u> .	《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」
"È <small>エ</small> 3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
cèrto", <small>チェルト</small> adj. 正しい	「補語」
disse <small>ディセ</small> 3 単遠(dire)v.t 言った	「動詞」
la volpe. <small>ラ・ヴォルペ</small> n.f キツネが	「主語」

「でもそれじゃあ、君はそれによって何を得たの？」

"Ma <u>allóra che ci guadagni</u> ?"	《Ma 「副詞」「目的語」「副詞」「動詞」》
"Ma マ conj. しかし	
allóra アッローラ adv. それでは	「副詞」

XXI

che ケ pron 何を 「目的語」
 ci チ adv. (手段) それによって (飼いなすことによって) 「副詞」
 guadagni?" ゲゝダニ 2 単現(guadagnare)v.t 得する 「動詞」

「それで得したよ」と、キツネが言った。「小麦の色さ」

"Ci guadagno", disse la volpe, "il colore del grano".

《「副詞」「動詞」》, 「動詞」「主語」, 《「目的語」》

"Ci チ adv. (手段) それで 「副詞」
 guadagno", ゲゝダニ 1 単現(guadagnare)v.t 得した 「動詞」
 disse ティエ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 la volpe, ラ・ヴォルペ n.f キツネが 「主語」
 "il colore イル・コロレ n.m 色を 「目的語」
 del grano". デル・グラノ adj. 小麦の 「形容詞句」

それから付け加えた：

Pòi soggiunse: 「副詞」「動詞」
 Pòi ポーイ adv. それから 「副詞」
 soggiunse: ソジューンセ 3 単遠(soggiungere)v.t 付け加えた 「動詞」

「あのバラたちに、また会いに行ってください。君のバラがこの世で唯一のものと分かるだろう。僕にさよならを言いに戻ってきたら、ある秘密をプレゼントするよ」

"Và a rivedére le ròse. Capirai che la tua è unica al mondo. Quando ritornerai a dirmi addìo, ti regalerò un segreto".

《「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「目的語」

「副詞節」, 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

"Và a rivedére 命・2 単現・しに行く (andare a+不定詞)v.t また会いに行きなさい「動詞句」
 le ròse. レ・ローゼ pl(ròsa).n.f あのバラたちに 「目的語」
 Capirai カピライ 2 単末(capire)v.t 分かるだろう 「動詞」
 che ケ conj. ～ということを 「目的語」
 la tua ラ・トゥア pron (ròsa の代用) 君のバラは 「主語」
 è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」
 unica al mondo. ウニカ・アル・モンダ adj.f この世で唯一の 「補語」
 Quando クワンダ conj. ～する時に 「副詞節」
 ritornerai a dirmi リトルネライ・ア・ディル・ミ 2 単末・しに来る(ritornare)
 v.t 僕に言いに戻ってくる 「動詞句」
 addìo, アッディオー n.m さよならを 「目的語」
 ti チ pron 君に 「間接目的語」

XXI

regalerò レガレロ 1 単未・意志(regalare)v.t プレゼントする

「動詞」

un segreto". ウン・セグレト n.m ある秘密を

「直接目的語」

王子さまは、またあのバラたちに会いに出かけた。

Il piccolo principe se ne andò a rivedere le ròse.

「主語」「動詞句」「目的語」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

se ne andò a rivedere セ・ネ・アント・ア・リヴェデーレ 3 単遠・しに行く (andarsene a+不定詞)

v.t また会いに出かけた

「動詞句」

le ròse. レ・ローゼ pl(ròsa).n.f あのバラたちに

「目的語」

「君たちは、僕のバラの花に全く似ていない。まだ何物でもない」と、王子さまは言った。

"Vói non siète per niènte simili alla mia ròsa, vói non siète ancóra niènte", disse.

《「主語」「動詞句」「補語」, 「主語」「動詞句」「補語」》, 「動詞」

"Vói ヴォーイ pron.pl 君たちは

「主語」

non siète ノン・シエテ 2 複現・否定(essere)v.i 〜でない

「動詞句」

per niènte simili ヘル・ニエンテ・シーミ adj. 全く似ていない

「補語」

alla mia ròsa, アッラ・ミーア・ローザ adv. (比較) 僕のバラの花に

「副詞句」

vói ヴォーイ pron.pl 君たちは

「主語」

non siète ノン・シエテ 2 複現・否定(essere)v.i 〜でない

「動詞句」

ancóra アンコーラ adv. まだ、いまだに

「副詞」

niènte", ニエンテ adj. どんな〜でない

「補語」

disse. ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

XXI

「誰も君たちを飼いならさなかった。そして君たちは誰も飼いならさなかった。君たちはかつての僕のキツネみたいな存在だ。最初は、他の 10 万匹のキツネに似ている 1 匹のキツネに過ぎなかった。けれど、僕はあのキツネを友達にした。それで、いまでは僕にとってこの世で唯一の存在になった」

"Nessuno vi ha addomesticato, e voi non avete addomesticato nessuno. Voi siete come era la mia volpe. Non era che una volpe uguale a centomila altre. Ma ne ho fatto il mio amico ed ora è per me unica al mondo".

《「主語」「間接目的語」「動詞句」, e 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」「動詞句」「補語」 | Ma 「間接目的語」「動詞句」「補語」 ed 「副詞」「動詞」「補語」》

"Nessuno ネスーノ pron 誰も～ない 「主語」

vi ヴィ pron.pl (直接目的語または間接目的語) 君たちを 「直接目的語」

ha addomesticato, ア・アット・メスカート 3 単現・完了形(addomesticare)

v.t (否定文で) 飼いならさなかった 「動詞句」

e エ conj. そして

voi ヴォーイ pron.pl (主語または直接目的語) 君たちは 「主語」

non avete addomesticato ノン・アヴ・エーテ・アット・メスカート 2 複現・完了形・否定(addomesticare)

v.t 飼いならさなかった 「動詞句」

nessuno. ネスーノ pron 誰も～ない 「目的語」

Voi ヴォーイ pron.pl 君たちは 「主語」

siete 2 複現(essere)v.i ～である 「動詞」

come コーメ conj. ～のような 「補語」

era エラ 3 単半(essere)v.i ～だった 「動詞」

la mia volpe. ラ・ミーア・ヴォルペ n.f 僕のキツネが 「主語」

Non era ノン・エラ 3 単半・否定・比較(essere)

v.i(che ～以外の) ～でなかった、～に過ぎなかった 「動詞句」

che ケ conj. (比較) ～以外の、～以上の 「補語」

una volpe ウナ・ヴォルペ n.f 1 匹のキツネ 「目的語」

uguale ウガール adj. 似ている 「形容詞」

a centomila altre. ア・チェントミラ・アルトレ

adv. 他の 10 万匹のキツネに 「副詞句」

Ma マ conj. しかし

ne ネ adv. それを 「間接目的語」

ho fatto オ・ファット 1 単現・完了形(fare)v.t ～にした、変えた 「動詞句」

il mio amico イル・ミーオ・アミーコ n.m 僕の友達に 「補語」

ed エド conj. それで

ora オーラ adv. 今では 「副詞」

XXI

è エ 3 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 per me ペルメ adv. 僕にとって 「副詞句」
 unica al mondo". ウニカ・アル・モンド` adj. この世で唯一の 「補語」

それでバラの花たちは不快な思いをした。

E le ròse erano a disagio. E 「主語」「動詞」「補語」
 E エ conj. そして
 le ròse レ・ローゼ pl(ròsa).n.f バラの花たちは 「主語」
 erano エーノ 3 複半・変化(èssere)v.i ~になった 「動詞」
 a disagio. ア・ディザージョ adj. (特質) 居心地の悪い、当惑した 「補語」
 disagio デイザージョ n.m 居心地の悪さ、当惑

「君たちは美しい。けれど、虚しい」と、再び王子さまは、言った。

"Vói siète bèlle, ma siète vuòte", disse ancóra.
 《「主語」「動詞」「補語」,ma「動詞」「補語」》,「動詞」「副詞」
 "Vói ヴォイ pron.pl 君たちは 「主語」
 siète シエテ 2 複現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 bèlle, ベッレ adj(bèllo).f.pl 美しい 「補語」
 ma マ conj. しかし
 siète シエテ 2 複現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 vuòte", ヴォーテ adj(vuòto).f.pl 空っぽの、中身の無い、空虚な 「補語」
 disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 ancóra. アンコーラ adv. また 「副詞」

「誰も、君たちのために死ぬことは出来ない。実際、どんな通り掛かりの人も、僕のあのバラの花だって君たちと似たようなものだと思うだろう。けれど、あの花は、あの花だけは、君たち全てよりも大切なんだ。なぜなら、僕が水をかけてあげたのはあの花なんだから」

"Non si può morire per vói. Certaménte, un qualsiasi passante crederebbe che la mia ròsa vi rassomigli, ma lèi, lèi sóla, è più importante di tutte vói, perché è lèi che ho innaffiata. 《「動詞句」「副詞句」

「副詞」,「主語」「動詞」「目的語」,ma「主語」「動詞」「補語」,「副詞節」》

"Non si può morire ノン・シ・プオ・ポー・ミレ 3 単現・可能・否定(potére+不定詞 morirsi)
 v.pr (誰も)死ぬことは出来ない 「動詞句」
 per vói. ペル・ヴォイ adv. (目的) 君たちのために 「副詞句」
 Certaménte, チェルタメンテ adv. 確かに 「副詞」
 un qualsiasi passante ウン・クワルシ・ア・シ・パッサンテ n.m どんな通行人でも 「主語」

XXI

crederebbe	クレデレッベ	条・3 単現・推量(credere).vt (che ～だと) 思うだろう	「動詞」
che	ケ conj.	～ということを	「目的語」
la mia ròsa	ラ・ミーア・ローザ	n.f 僕のバラの花は	「主語」
vi	ヴィ pron	君たちにとって	「間接目的語」
rassomigli	ラツミリ	接・3 単現・推量(rassomigliare)	
	v.i	類似している、似たようなものだ	「動詞」
ma	マ conj.	しかし	
lèi	レイ pron	彼女は、あの花は	「主語」
lèi sóla	レイ・ソーラ	pron あの花だけは	「主語」
è	エ 3 単現(èssere)v.i	～である	「動詞」
più importante	ピウ・インポルタンテ	adj. (優等比較) もっと大切な	「補語」
di tutte vói	ディ・トゥッテ・ヴォイ	adv. (比較) 君たち全てよりも	「副詞句」
perché	ペルケ conj.	なぜなら～だから	「副詞節」
è	エ 3 単現(èssere)v.i	～である	「動詞」
lèi	レイ pron	あの花	「補語」
che	ケ pron	(目的語) ～する	「形容詞節」
ho innaffiata	オ・インフィータ	1 単現・完了形.f(innaffiare)	
	v.t	水をかけた	「動詞句」

「なぜなら、僕がガラスの覆いの下に入れてあげたのはあの花なのだから。なぜなら、僕が風よけで守ってあげたのはあの花なんだから。」

<u>Perché è lèi che ho messa sòtto la campana di vétro. Perché è lèi che ho riparata col paravènto.</u>		《「副詞節」 「副詞節」》
Perché	ペルケ conj. なぜなら～だから	「副詞節」
è	エ 3 単現(èssere)v.i ～である	「動詞」
lèi	レイ pron あの花	「補語」
che	ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
ho messa	オ・メッサ 1 単現・完了形.f(mettere)	
	v.t 入れた、置いた	「動詞句」
sòtto	ソット prep (位置) ～の下に	「副詞句」
la campana	カンパナ n.f 鐘	「目的語」
di vétro.	ディ・ヴェートロ	
	adv. (材料) ガラスでできた	「形容詞句」
Perché	ペルケ conj. なぜなら～だから	「副詞節」
è	エ 3 単現(èssere)v.i ～である	「動詞」
lèi	レイ pron あの花	「補語」

XXI

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

ho riparata オ・リパ・ラータ 1 単現・完了形.f(riparare)

v.t 守った

「動詞句」

col paravento. コル・パラヴェント adv. (手段) 衝立を使って 「副詞句」

「なぜなら、僕はあの花に付いた毛虫を（蝶々になる 2・3 匹を残して）取り除いてあげたのだから。なぜなら、不平を言うのを聞いてあげたり、空威張りするのを聞いてあげたり、沈黙にさえ耳をかしたのは、あの花なんだから。あれは僕のバラの花なんだから」
 そう言って、キツネのところへ戻った。

Perché su di lei ho uccisi i bruchi (salvo i due o tre per le farfalle). Perché è lei che ho ascoltato lamentarsi o vantarsi o anche qualche volta tacere. Perché è la mia rosa".

E ritornò dalla volpe. 《「副詞節」 | 「副詞節」 | 「副詞節」》, E 「動詞」 「間接目的語」

Perché ヘル conj. なぜなら

「副詞節」

su di lei ス・ディ・レイ adv. 彼女の上の

「間接目的語」

ho uccisi オ・ウチジ 1 単現・完了形.m.pl(uccidere)v.t 殺した

「動詞句」

i bruchi イ・ブルキ pl(bruco).n.m 毛虫を

「直接目的語」

(salvo サルヴォ prep (除外) ～は別として

「副詞句」

i due o tre イ・トウェ・オ・トレ pl.pron 2・3 匹

「目的語」

per le farfalle). ヘル・レ・ファルファッレ

adv. (目的) (farfalla) 蝶々になるための

「副詞句」

Perché ヘル conj. なぜなら～だから

「副詞節」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

lei レイ pron あの花

「補語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

ho ascoltato オ・アスコルタート 1 単現・完了形・知覚動詞(ascoltare)

v.t 聞いた

「動詞句」

lamentarsi ラメントルシ 不定詞・lei の動作 v.pr 不平を言う

「補語」

o オ conj. または

vantarsi, ヴァンタルシ 不定詞・lei の動作

v.pr 自慢する、空威張りする

「補語」

o オ conj. または

anche qualche volta アンケ・クワルク・ウオルタ

adv. 何度も～さえ

「副詞句」

tacere. タチェレ 不定詞・lei の動作 v.i 黙り込む、沈黙する 「補語」

Perché ヘル conj. ～だから

「副詞節」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

XXI

la mia ròsa". ラ・ミーア・ローザ n.f 僕のバラの花

「補語」

E え conj. そして

ritornò リトルノ 3 単遠(ritornare)v.i 戻った

「動詞」

dalla volpe. ダッラ・ヴォルペ adv. (目的地) キツネの所へ

「副詞句」

「さようなら」と、王子さまは言った。

"Addìo", disse.

《「挨拶」》, 「動詞」

"Addìo", アッディオー int. さようなら

「挨拶」

disse. ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

「さようなら」と、キツネが言った。「ほら、僕の秘密だよ。とても単純なものだよ。心で見なければ、よく見えないんだ。物事の本質は目には見えないんだよ」

"Addìo", disse la volpe. "Ecco il mio segreto. È molto semplice: non si vede bene che col cuore. L'essenziale è invisibile agli occhi".

《「挨拶」》, 「動詞」「主語」,

《「副詞」「主語」 | 「動詞」「補語」: 「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」》

"Addìo", アッディオー int. さようなら

「挨拶」

disse. ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

la volpe. ラ・ヴォルペ n.f キツネは

「主語」

"Ecco エッコ adv. ほら～だよ

「副詞」

il mio segreto. イル・ミーオ・セグ्रेト n.m 僕の秘密

「主語」

È え 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

molto semplice: モルト・センプリーチェ adj. とても単純な

「補語」

non si vede ノン・シ・ヴェデ 3 単現・再帰受動・否定(vedersi)v.pr 見えない

「動詞句」

bene ベーネ adv. よく

「副詞句」

che col cuore. ケ・コル・クオーレ adv. (比較) (手段) 心で見より

「副詞句」

L'essenziale レッセンツィアーレ n.m 本質は

「主語」

è え 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

invisibile インヴィジビレ adj. 目に見えない

「補語」

agli occhi". アッリ・オッキ adv. (手段) 目には

「副詞句」

「物事の本質は目には見えない」と、王子さまは、覚えておくために繰り返した。

"L'essenziale è invisibile agli occhi", ripeté il piccolo principe, per ricordarselo.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 「副詞句」

"L'essenziale レッセンツィアーレ n.m 本質は

「主語」

è え 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

XXI

invisible インヴィジビレ adj. 目に見えない 「補語」
 agli occhi, アッリ・オッキ adv. (手段) 目には 「副詞句」
 ripeté リペテ 3 単遠(ripetere)v.t 繰り返した 「動詞」
 il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
 per ricordarselo. ペル・リコルダールセロ
 adv. (per+不定詞) (目的) それを覚えておくために 「副詞句」

「君のバラの花をそれほど大切なものに変えたのは、君がバラのために使った時間なんだ」

"È il tempo che tu hai perduto per la tua rosa che ha fatto la tua rosa così importante".

《「動詞」「補語」「主語」》

"È エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 il tempo イル・テンポ n.m 時間 「補語」
 che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 tu トゥ pron 君が 「主語」
 hai perduto アイ・ペルトゥート 2 単現・完了形(perdere)
 v.t (時間などを) 浪費した、使った 「動詞句」
 per la tua rosa ペル・ラ・トゥア・ローザ adv. 君のバラのために 「副詞句」
 che ケ pron ~ということは 「主語」
 ha fatto ア・ファット 3 単現・完了形・変化(fare)v.t ~にした 「動詞句」
 la tua rosa ラ・トゥア・ローザ n.f 君のバラを 「目的語」
 così importante. コシ・インポルタンテ adj. それほど大切な 「補語」
 È il tempo che ha fatto... 強調構文。tempo に形容詞節が付いて複雑になった

「僕が自分のバラのために使った時間」と、王子さまは覚えてくために、小声で言った。

"È il tempo che ho perduto per la mia rosa..." sussurrò il piccolo principe per ricordarselo.

《「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」「副詞句」

"È エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 il tempo イル・テンポ n.m 時間 「補語」
 che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 ho perduto オ・ペルトゥート 1 単現・完了形(perdere)
 v.t (時間などを) 浪費した、使った 「動詞句」
 per la mia rosa..." ペル・ラ・ミア・ローザ adv. 僕のバラのために 「副詞句」
 sussurrò ススロ 3 単遠(sussurrare)v.i 囁いた、小声で言った 「動詞」
 il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
 per ricordarselo. ペル・リコルダールセロ adv. (目的) 覚えておくために 「副詞句」

XXI

「人間たちはこの真理を忘れてしまったんだよ。だけど、君はそれを忘れちゃいけないよ」

"Gli uomini hanno dimenticato questa verità. Ma tu non la devi dimenticare.

《「主語」「動詞句」「目的語」 | Ma「主語」「動詞句」「目的語」》

"Gli uomini リ・ウーミニ pl(uòmo).n.m 人間たちは 「主語」

hanno dimenticato アンノ・ディメンチャート 3 複現・完了形(dimenticare)

v.t 忘れてしまった 「動詞句」

questa verità. クェスタ・ヴェリタ n.f この真理を 「目的語」

Ma マ conj. しかし

tu トゥ pron 君は 「主語」

non ...devi dimenticare. ノン...デヴィ・ディメンチャート 2 単現・禁止(non dovere+不定詞)

v.t 忘れてはならない 「動詞句」

la ラ pron (verità の代用) それを 「目的語」

「君は自分が飼いならしたものに対して、永久に責任を持たなければならない。君は、きみのバラの花に対して責任があるんだよ...」

Tu diventi responsabile per sempre di quello che hai addomesticato. Tu sei responsabile della tua rosa...

《「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「補語」》

Tu トゥ pron 君は 「主語」

diventi ディヴェンチ 2 単現・変化(diventare)v.i (状態が) ~になる 「動詞」

responsabile レスポンスabile adj.(di に対して) 責任がある 「補語」

per sempre ペル・センプレ adv. 永久に 「副詞句」

di quello ディ・ケッロ adv. (対象) それに対して 「副詞句」

che ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

hai addomesticato. アイ・アット・メスチャート 2 単現・完了形(addomesticare)

v.t 飼いならした 「動詞句」

Tu トゥ pron 君は 「主語」

sei セイ 2 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

responsabile レスポンスabile adj. (di に対して) 責任がある 「補語」

della tua rosa..." デッラ・トゥーア・ローザ adv. 君のバラの花に対して 「副詞句」

「僕は、ぼくのバラの花に責任がある...」と、王子さまは、覚えておくために繰り返した。

"Io sono responsabile della mia rosa..." ripeté il piccolo principe per ricordarselo.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

"Io イオ pron 僕は 「主語」

sono ソーノ 1 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

responsabile レスポンスabile adj. 責任がある 「補語」

XXII

della mia rosa..." テッラ・ミーア・ローザ adv. 僕のバラの花に対して 「副詞句」
 ripeté リペテ 3 単遠(ripètere)v.t 繰り返した 「動詞」
 il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
 per ricordarselo. ヘル・リコルダール・セ・ロ 不定詞・目的(ricordarse+lo)
 adv. それを覚えておくために 「副詞句」

XXII

「こんにちは」と、王子さまは言った。

"Buòn giòrno", disse il piccolo principe. 《「挨拶」》, 「動詞」 「主語」
 "Buòn giòrno", ブォン・ジョルノ adv. こんにちは 「挨拶」
 disse ティッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

「こんにちは」と、転轍手が言った。

"Buòn giòrno", disse il controllóre. 《「挨拶」》, 「動詞」 「主語」
 "Buòn giòrno", ブォン・ジョルノ adv. こんにちは 「挨拶」
 disse ティッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 il controllóre. イル・コントローレ n.m 転轍手が、点検係 「主語」
 controllare コントラーレ v.t 点検する、コントロールする、統制する

「ここで何をしているの？」と、王子さまは尋ねた。

"Che còsa fai qui?" domandò il piccolo principe. 《「目的語」 「動詞」 「副詞」》, 「動詞」 「主語」
 "Che còsa ケ・コサ n.f 何を、一体何を 「目的語」
 fai ファイ 2 単現・疑問文(fare)v.t しているの？ 「動詞」
 qui? クィ adv. ここで 「副詞」
 domandò ドマント 3 単遠(domandare)v.t 尋ねた 「動詞」
 il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

「旅行者たちを 1000 人ずつのグループに仕分けしているんだよ」と、転轍手は言った。「それから、彼らを運ぶ列車を、ある時は右の方へ、ある時は左の方へ送るのさ」

"Smisto i viaggiatóri a mazzi di mille", disse il controllóre. "Spedisco i treni che li trasportano, a vòlte a destra, a vòlte a sinistra".

《「動詞」 「目的語」 「補語」》, 「動詞」 「主語」 | 《「主語」 「動詞」 「目的語」》

"Smisto スミスト 1 単現(simistare)v.t 分けけている、仕分けしている 「動詞」

XXII

i viaggiatori	イ・ヴイアヅジヤトリ	pl(viaggiatore).n.m	旅行者たちを	「目的語」
a mazzi	ア・マツォ	adv.	グループに、束に	「補語」
di mille	ディ・ミレ	adj.	1000 人の	「形容詞句」
disse	ディッセ	3 単遠(dire)v.t	言った	「動詞」
il controllóre.	イル・コントロール	n.m	転轍手が	「主語」
"Spedisco	スペディスコ	1 単現(speditore)v.t	送っている、発送する	「動詞」
i treni	イ・トレニ	pl(trreno).n.m	列車を	「目的語」
che	ケ	pron	(主語) ~する	「形容詞節」
li	リ	pron	彼らを	「目的語」
trasportano	, トラスポルトノ	3 複現(trasportare)v.t	運ぶ	「動詞」
a volte	ア・ヴォルテ	adv.	ある時は、時に	「副詞句」
a destra	, ア・デストラ	adv.	(方向) 右の方へ	「副詞句」
a volte	ア・ヴォルテ	adv.	ある時は、時に	「副詞句」
a sinistra	". ア・シニストラ	adv.	(方向) 左の方へ	「副詞句」

すると、明かりの付いた特急列車が、雷のようなうなりを上げて通過して、転轍手のキャビンを揺らした。

E un rapido illuminato, rombando come il tuòno, fece tremare la cabina del controllóre.

E 「主語」「副詞句」「動詞」「補語」「目的語」

E	エ	conj.	そして、すると、それから	
un rapido	ウン・ラーピト	n.m	特急列車が	「主語」
illuminato	, イルミナト	adj.	明かりの付いた	「形容詞」
rombando	ロンバント	ジェルンディオ(rombare)adv.	(様態) うなりを上げて	「副詞句」
cóme	コメ	conj.	～のように	「副詞句」
il tuòno	, イル・トゥオーノ	n.m	雷	「目的語」
fece	フェーチェ	3 単遠・使役(fare)v.t	(SVO+不定詞) O に～させた	「動詞」
tremare	トレマー	不定詞・cabina の動作 v.i	震える、揺れる	「補語」
la cabina	ラ・カビーナ	n.f	キャビンを、転轍手詰所を	「目的語」
del controllóre.	デル・コントロール	adj.	転轍手の	「形容詞句」

「彼らはみんな急いでいるんだね」と、王子さまは言った。「いったい何を探しているの？」

"Hanno tutti fretta", disse il piccolo principe. "Che cosa cercano?"

《「動詞」「主語」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「目的語」「動詞」》

"Hanno	アンノ	3 複現(avere)v.t	～がある	「動詞」
tutti	トゥッティ	pron(tutto).pl	みんな	「主語」
fretta	, フレッタ	n.f	急ぐこと	「目的語」

XXII

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
 Che cosa ケ・コサ n.f いったい何を 「目的語」
 cercano?" チェルカノ 3 複現・疑問文(cercare)v.t 探しているの? 「動詞」

「機関士自身、それを知らないんだよ」と、転轍手は言った。

"Lo stesso macchinista lo ignora", disse il controllóre.

《「主語」「目的語」「動詞」》, 「動詞」「主語」

"Lo stesso ロ・ステッソ adj. その同じ、その本人の 「形容詞句」
 macchinista マッキニスタ n.m 機関士 「主語」
 lo ロ pron それを 「目的語」
 ignora", インニョラ 3 単現(ignorare)v.t 知らない 「動詞」
 disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 il controllóre. イル・コントローレ n.m 転轍手は 「主語」

二番目の明かりのついた特急列車が、猛烈な速度で反対方向へ走り去った。

Un secondo rapido illuminato sfrecciò nel senso opposto. 「主語」「動詞」「副詞句」

Un secondo ウン・セコント adj. 二番目の 「形容詞句」
 rapido ラーピト n.m 特急列車は 「主語」
 illuminato イルミナト adj. 明かりの付いた 「形容詞」
 sfrecciò スフレッチョ 3 単遠(sfrecciare)v.i 矢のように素早く走って行った 「動詞」
 nel senso ネル・センソ adv. (方向) ~の方向へ 「副詞句」
 opposto. オッポースト adj. 反対の 「形容詞」

「もう、戻って来たの?」と、王子さまは尋ねた。

"Ritornano di già?" domandò il piccolo principe. 《「動詞」「副詞句」》, 「動詞」「主語」

"Ritornano リトルーナノ 3 複現・疑問文(ritornare)v.i 戻って来たの? 「動詞」
 di già?" ディ・ジャ adv. ほう、早くも 「副詞句」
 domandò ドマント 3 単点(domandare)v.t 尋ねた 「動詞」
 il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

「あれは同じ旅客ではないんだ」と、転轍手は言った。「入れ替えなんだよ」

"Non sono gli stessi", disse il controllóre. "È uno scambio".

《「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」》

"Non sono ノン・ソーノ 3 複現・否定(essere)v.i ~でない 「動詞句」
 gli stessi", キー・ステッソ pron(stesso).pl 同じ人たち、旅行者たち、旅客 「補語」

XXII

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 il controllóre. イル・コントローレ n.m 転轍手は 「主語」
 "È エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 uno scàmbio". ウーノ・スカンビオ n.m 入れ替え 「補語」

「住んでいた場所が気に入らなかったのかな？」

"Non erano contenti là dove stavano?" 《「動詞句」「補語」》
 "Non erano ノン・エーノ 3 複半・否定(essere)v.i ~でなかった 「動詞句」
 contenti コンテンティ adj(contento).pl 満足した 「補語」
 là dove ラ・ドーヴェ adv. ~する場所に 「副詞句」
 stavano?" スタヴァーノ 3 複半(stare)v.i 住んでいた 「動詞」

誰だって、今いるところに決して満足しないよ」と、転轍手が出た。

"Non si è mai contento dove si sta", disse il controllóre.
 《「動詞句」「主語」「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」
 "Non ...è mai ノン...エ・マイ 3 単現・否定(essere)v.i 決して~でない 「動詞句」
 si シ pron 人は 「主語」
 contento コンテント adj. 満足した 「補語」
 dove ドーヴェ conj. どこに~するかについて 「副詞節」
 si sta", ソ・スタ 3 単現(starsi)v.pr 自分がいる 「動詞句」
 disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 il controllóre. イル・コントローレ n.m 転轍手は 「主語」

すると、明かりのついた 3 番目の特急列車の雷鳴が轟いた。

E ronbò il tuòno di un terzo ràpido illuminato. E 「動詞」「主語」
 E エ conj. すると
 ronbò ロンボ 3 単遠(rombare)v.i (音が) うなりを上げた 「動詞」
 il tuòno イル・トゥオーノ n.m 雷鳴が 「主語」
 di ディ prep ~の 「形容詞句」
 un terzo ràpido ウン・テルツ・ラーピト n.m 3 番目の特急列車 「目的語」
 illuminato. イルミナート adj. 明かりのついた 「形容詞」

「最初の旅行客を追いかけているの？」と、王子さまは尋ねた。

"Inseguono i primi viaggiatori?" domandò il piccolo principe.
 《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」
 "Inseguono インセグォ 3 複現・疑問文(inseguire)v.t 追いかけているのか? 「動詞」

XXII

i primi viaggiatori?" イ・プリーミ・ウ・イアツジヤトリ pl(viaggiatore).n.m 最初の旅行客を「目的語」
domandò ドマント 3 単遠(domandare)v.t 尋ねた 「動詞」
il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

「何も追いかけていないよ」と、転轍手が答えた。

"Non inseguono nulla", disse il controllóre. 《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」
"Non inseguono ノン・インセグオ 3 複現(inseguire)v.t 追いかけていない 「動詞句」
nulla", ヌラ pron (否定文で) 何も～ない 「目的語」
disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
il controllóre. イル・コントローレ n.m 転轍手が 「主語」

「中で寝ているよ。そうでなければ、あくびをしている」

"Dormono là dentro, o sbadigliano tutt'al più. 《「動詞」「副詞句」, o 「動詞」「副詞句」》
"Dormono ドルモノ 3 複現(dormire)v.i 眠っている 「動詞」
là dentro, ラ・デントロ adv. (場所) あの中で 「副詞句」
o オ conj. または
sbadigliano スバディリアノ 3 複現(sbadigliare)v.i あくびをしている 「動詞」
tutt'al più. トゥッタール・ピウ adv. さもなければ、せいぜい 「副詞句」

子供たちだけがガラス窓に鼻を押し付けている。

Solamente i bambini schiacciano il naso contro i vetri.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Solamente i bambini ソラメンテ・イ・バンビーニ pl(bambino)n.m 子供たちだけが 「主語」
schiacciano スキアッチャノ 3 複現(schiacciare)v.t 押し付けている 「動詞」
il naso イル・ナソ n.m 鼻を 「目的語」
contro i vetri. コントロ・イ・ヴェトリ adv. ガラス窓に 「副詞句」

「子供たちだけが、何を探しているかを知っているんだね」と、王子さまは言った。

"Solo i bambini sanno quello che cercano", disse il piccolo principe.

《「主語」「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」

"Solo i bambini ソロ・イ・バンビーニ pl(bambino)n.m 子供たちだけが 「主語」
sanno サノ 3 複現(sapere)v.t 知っている 「動詞」
quello che ケツロ・ケ pron ～するそれを 「目的語」
cercano", チェルカノ 3 複現(cercare)v.t 探している 「動詞」
disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

XXII

「子供たちは、ぼろきれ人形遊びに時間を使うから、それがとても大切なものになっている。
だから、もしそれを取り上げられたら、泣くだろうな...」

"Perdono tèmpo per una bàmbola di pezza, e lèi diventa così importante che, se gli viene tòlta, piangono..."

《「動詞」「目的語」「副詞句」, e 「主語」「動詞」「補語」 che 「副詞節」, 「動詞」》

"Perdono ペルトノ 3 複現(perdere)v.t (時間を) 浪費する、費やす 「動詞」
tèmpo テンポ n.m 時間を 「目的語」
per una bàmbola ペル・ウナ・バンボラ adv. (目的) 人形のために 「副詞句」
di pezza, ディ・ペッツァ adj. (材料) (布の) 端切れでできた 「形容詞句」
e エ conj. そして
lèi レイ pron.f (bàmbola の代用) それが 「主語」
diventa ディヴェンタ 3 単現・変化(diventare)v.i ~になっている 「動詞」
così importante コシ・インポルタンテ adj. とても大切な 「補語」
che, ケ conj. (結果) その結果~する、だから~する
se セ conj. (仮定) もし~ならば 「副詞節」
gli リ pron.pl 彼らから 「間接目的語」
viene tòlta, ヴィエネ・トルタ 3 単現・受動.f(venire+過去分詞 tògliere)
v.t 取り上げられる 「動詞句」
piangono..." ピアンゴノ 3 複現・推量(piangere)v.i 泣くだろう 「動詞」

「子供たちは、幸せだよ」と、転轍手は言った。

Beati loro", disse il controllóre.

《「補語」「動詞」》, 「動詞」「主語」

Beati ベアティ adj.pl 最高に幸せな 「補語」
loro", ロロ pron.pl 子供たちは 「主語」
disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
il controllóre. イル・コントローレ n.m 転轍手は 「主語」

XXIII

XXIII

「こんにちは」と、王子さまは言った。

"Buòn giòrno", disse il piccolo principe.

《「挨拶」》, 「動詞」「主語」

"Buòn giòrno", ブォン・ジョルノ adv. こんにちは

「挨拶」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

「こんにちは」と、商人は言った。

"Buòn giòrno", disse il mercante.

《「挨拶」》, 「動詞」「主語」

"Buòn giòrno", ブォン・ジョルノ adv. こんにちは

「挨拶」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il mercante. イル・メルカンテ n.m 商人は

「主語」

それは、喉の渇きを鎮める改良された丸薬を売る商人だった。

Era un mercante di pillole perfezionate che calmavano la sete.

「動詞」「補語」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった

「動詞」

un mercante ウン・メルカンテ n.m 商人

「補語」

di pillole ティ・ピローレ adj. 丸薬の

「形容詞句」

pillole ピローレ pl(pillola).n.f 丸薬

perfezionate ペルフェッチォナーテ 過去分詞・受動(perfezionare)

adj.f.pl 改良された

「形容詞」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

calmavano カルマヴァノ サンフク・時制の一致(calmare)

v.t 鎮める、治める

「動詞」

la sete. ラ・セテ n.f 喉の渇きを

「目的語」

もし 1 週間に 1 錠それを飲んだら、もう水を飲みたいと思わなくなる。

Se ne inghiottiva una alla settimana e non si sentiva più il bisogno di bere.

「副詞節」 e 「動詞句」「目的語」

Se セ conj. (仮定) もし~ならば

「副詞節」

ne ネ adv. (pillole の代用) そのの

「間接目的語」

inghiottiva インギョッティヴァ 3 単半・仮定(inghiottire)v.t 飲んだ

「動詞」

una ウナ pron 1 錠を

「直接目的語」

alla settimana アッラ・セッチマーナ adv. (割合) 1 週間ごとに

「副詞句」

e エ conj. (結果) すると

XXIII

non si sentiva più ノン・シ・センチーヴァ・ピウ 3 単半・否定・時制の一致(sentirsi)

v.pr もう感じない

「動詞句」

il bisogno イル・ビゾーニョ n.m 欲求を

「目的語」

di bere. デイ・ベール 不定詞・同格 adj. 飲むという

「形容詞句」

「どうしてそんなものを売っているの？」と、王子さまは言った。

"Perché vendi questa roba?" disse il piccolo principe.

《「副詞」「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」

"Perché ぺルケ adv. (理由を聞く) どうして

「副詞」

vendi ヴェンディ 2 単現(vendere)v.t 売っている

「動詞」

questa roba? クェスタ・ローバ n.f このような物を

「目的語」

questa クェスタ adj.(questo).f (軽蔑) このような、こんな roba ローバ n.f 物、財産、商品

disse デイツェ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il piccolo principe. イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

「すごい時間の節約だよ」と、商人が言った。

"È una grossa economia di tempo", disse il mercante.

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」

"È エ 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

una grossa economia ウナ・グロッサ・エコノミア n.f 大きな節約

「補語」

di tempo, デイ・テンポ adj. 時間の

「形容詞句」

disse デイツェ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il mercante. イル・メルカンテ n.m 証人が

「主語」

「専門家たちが計算したんだ。1 週間に 53 分の節約になる」

"Gli esperti hanno fatto dei calcoli. Si risparmiano cinquantatre' minuti la settimana".

《「主語」「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「主語」「副詞句」》

"Gli esperti リ・エスペリ pl(esperto).n.m 専門家たちが

「主語」

hanno fatto アンノ・ファット 3 複現・完了形(fare)v.t (行為を) 行った

「動詞句」

dei calcoli. デイ・カルコリ pl(calcolo).n.m 計算を

「目的語」

Si risparmiano シ・リスパルミアノ 3 複現・再帰受動(risparmiarsi)v.pr 節約される

「動詞句」

cinquantatre' minuti チンクワンタ・トレ・ミヌーティ pl(minuto).n.m 53 分が

「主語」

la settimana". ラ・セッチマーナ adv. (割合) 1 週間に

「副詞句」

XXIII



「それで、その 53 分で何をするの？」

"E che còsa se ne fa di quèsti cinquantatre' minuti?"

《E「補語」「動詞句」「副詞句」》

"E エ conj. それで

che còsa ケ・コサ n.f 何を

「目的語」

se ne fa セ・ネ・ファ 3 単現(farsene)v.pr する

「動詞句」

farsene ファル・セ・ネ v.pr 取り扱う、処理する

di quèsti cinquantatre' minuti?" ディ・ケスタ・チンクワンタ・トレ・ミヌーティ

adv. その 53 分によって

「副詞句」

「したいことをするのさ」

"Se ne fa quel che si vuole..."

《「動詞句」「目的語」》

"Se ne fa セ・ネ・ファ 3 単現(farsene)v.pr する

「動詞句」

quel ケル pron そのものを

「目的語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

si シ pron その人が

「主語」

wuole..." ヲレ 3 単現(volére)v.t 望む、したい

「動詞」

「僕なら」と、王子さまは言った。「もし使える 53 分があれば、泉の方へゆっくり歩いて行
くだろうな...」

"Io", disse il piccolo principe, "se avessi cinquantatre' minuti da spendere, camminerei
adagio adagio verso una fontana..."

《「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞節」, 「動詞」「副詞句」》

"Io", イオ pron 僕は

「主語」

XXIII

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った	「動詞」
il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは	「主語」
"se セ conj. (仮定) もし～ならば	「副詞節」
avessi アヴェッシ 接・1 単半(avére)v.t 持っていた、あった	「動詞」
cinquantatre' minuti チンクワンタ・トレ・ミヌーティ pl(minuto).n.m 53 分	「目的語」
da spendere, ダ・スペンデレ 不定詞・目的 adv. 使うべき	「副詞句」
camminerei カミネルイ 条・1 単現・仮定の帰結(camminare)v.i 歩くだろう	「動詞」
adagio adagio アダージョ・アダージョ adv. とてもゆつくりと	「副詞句」
verso ヴェールソ prep (方向) ～の方へ	「副詞句」
una fontana..." ウナ・フォンターナ n.f 泉	「目的語」

XXIV

XXIV

砂漠での故障から一週間目になっていた。僕は、水の貯えの最後の一滴を飲みながら、商人の話に耳を貸していた。

Eravamo all'ottavo giorno della mia panne nel deserto, e avevo ascoltato la storia del mercante bevendo l'ultima goccia della mia provvista d'acqua:

「動詞」「副詞句」, e 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Eravamo エラヴァーモ 1 複半・存在(essere)v.i. ～にいた 「動詞」

all'ottavo giorno アロッターヴァーオ・シヨルノ adv. 8 日目、一週間目 「副詞句」

della mia panne テッター・ミア・パンネ adv. (起点) (panna) 故障から 「副詞句」

nel deserto, ネル・デゼールティ adv. (場所) (deserto) 砂漠での 「副詞句」

e エ conj. そして

avevo ascoltato アヴァエヴァーオ・アスコルタート 1 単半・完了形(ascoltare)v.t. に耳を貸していた 「動詞句」

la storia ラ・ストーリア n.f. 話に 「目的語」

del mercante デル・メルカンテ adj. 商人の 「形容詞句」

bevendo ベヴァント ジェルンディオ・同時(bére)adv. ～を飲みながら 「副詞句」

l'ultima goccia ルチマ・ゴッチャ n.f. 最後の一滴を 「目的語」

della mia provvista d'acqua: テッター・ミア・プロヴァイスタ・ダッカ

adj. 水の貯えの

「形容詞句」

「ああ！」と、僕は王子さまに言った。「とても可愛らしいよ、君の思い出は！でも、僕はまだ飛行機の修理が終わっていないし、飲み水がもう無いんだ。だから僕もまた、ゆっくりと泉のほうへ歩いて行けたらどんなに嬉しいだろう！」

"Ah!" dissi al piccolo principe, "sono molto graziosi i tuoi ricordi, ma io non ho ancora riparato il mio aeroplano, non ho più niente da bere e sarei felice anch'io se potessi camminare adagio adagio verso una fontana!"

《「感嘆」》, 「動詞」「間接目的語」,

《「動詞」「補語」「主語」, ma 「主語」「動詞」「目的語」 e 「動詞」「補語」「副詞節」》

"Ah!" アー int. ああ 「感嘆」

dissi ディッシ 1 単遠(dire)v.t. 言った 「動詞」

al piccolo principe, アル・ピッコロ・プリンチー adv. 王子さまに 「間接目的語」

"sono ソー 3 複現(essere)v.i. ～である 「動詞」

molto graziosi モルト・グラチオーシ adj(grazioso).m.pl. 可愛らしい 「補語」

i tuoi ricordi, イトゥォイ・リコールティ pl(ricordo).n.m. 君の思い出は 「主語」

ma マ conj. しかし

io イオ pron. 私は 「主語」

XXIV

non ho ancóra riparato ノ・ノ・アンコーラ・リパ ラート 1 単現・完了形・否定(riparare+ ancóra)

v.t まだ修理していない

「動詞句」

il mio aeroplano, イル・ミーオ・アエロプ ラーノ n.m 僕の飛行機を

「目的語」

non ho più ノ・ノ・ピウ 1 単現・否定(avére+ più)v.t もう～が無い

「動詞句」

niènte da bére ニエンテ・ダ・ベール pron 飲み水が～ない

「目的語」

e エ conj. そして、だから

sarei サレイ 条・1 単現・仮定(èssere)v.i ～だろう

「動詞」

felice フェリチェ adj. 幸せな

「補語」

anch'io アンキオ pron 僕も

「副詞句」

se セ conj. もし～ならば

「副詞節」

potessi camminare ポ テッシ・カンミナレ 接・1 単半・可能・仮定(potére+不定詞)

v.i 歩いて行けたら

「動詞句」

adagio adagio アダージョ・アダージョ adv. ゆっくりと

「副詞句」

vèrso una fontana! ウェール・ア・フォンタナ adv. (方向) 泉の方へ

「副詞句」

「僕の友達のキツネが、言ったんだよ…」

"Il mio amico la vólpe, mi disse..."

《「主語」「間接目的語」「動詞」》

"Il mio amico la vólpe, イル・ミーオ・アミーコ・ラ・ヴォルペ n.m 僕の友達のキツネが

「主語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

disse..." ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

「坊や、もうキツネどころの話じゃないよ！」

"Caro il mio ométto, non si tratta più vólpe!"

《「呼びかけ」, 「動詞句」》

"Caro カロ adj. 親愛なる

「形容詞」

il mio ométto, イル・ミーオ・オメット n.m 坊や

「呼びかけ」

ométto オメット n.m 小柄な男、大人らしくなった少年

non si tratta più vólpe!" ノン・シ・トラッタ・ピウ・ヴォルペ 非人称・3 単現・否定

v.h(si tratta di) もうキツネに関わる問題ではない

「動詞句」

「どうして？」

"Perché?"

《「質問」》

"Perché?" ペルケ adv. (疑問) どうして？

「質問」

「のどが渇いて死んでしまうからだよ…」

"Perché moriremo di sète..."

《Perché 「動詞」「副詞句」》

"Perché ペルケ conj. (原因) なぜなら～だから

XXIV

moriremo モリレーモ 1 複未来(morire)v.i 死ぬだろう 「動詞」
 di sete... ディ・セーテ adv. (原因) のどの渇きのために 「副詞句」

彼は僕の言っていることが理解できず、僕に答えた：

Non capì il mio ragionamento e mi rispose: 「動詞句」「目的語」 e 「間接目的語」「動詞」
 Non capì ノン・カピ° 3 単遠・否定(capire)v.t 理解できなかった 「動詞句」
 il mio ragionamento イル・ミー・オラジヨナメント n.m 僕の言っていることを、議論 「目的語」
 e エ conj. そして
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 rispose: リスポーセ° 3 単遠(rispondere)v.i 答えた 「動詞」

「たとえこれから死ぬにしても、友達を持てたことは良いことだよ。僕は、キツネという友達を持てて、とても満足している...」

"Fa bene l'aver avuto un amico, anche se poi si muore. Io, io sono molto contento d'aver avuto un amico volpe..." 「動詞」「補語」「主語」 | 「主語」「動詞」「補語」
 "Fa ファ 3 単現・非人称(fare)v.i ~である 「動詞」
 bene ベーネ adv. 良い 「補語」
 l'aver avuto ラヴァール・アヴァート 不定詞・完了形(avére)n. ~を持ったという事は 「主語」
 un amico, ウン・アミコ n.m 友達を 「目的語」
 anche se アンケ・セ conj. たとえ~でも、もし~にしても 「副詞節」
 anche se+接続法 (時に直説法)
 poi ポーイ adv. これから 「副詞」
 si muore. シムレ 3 単現(morirsi)v.pr 死ぬ 「動詞句」
 Io, io イオ・イオ pron 僕は 「主語」
 sono ソーノ 1 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 molto contento モルト・コンテント adj. とても満足した 「補語」
 d'aver avuto ダヴァール・アヴァート 不定詞・完了形・原因 adv. ~を持って 「副詞句」
 un amico volpe..." ウン・アミコ・ヴォルペ° n.m キツネという友達を 「目的語」

「彼は危険を察知することが出来ないんだ」と、僕は思った。「空腹も、渇きも決して感じないんだ。彼には、ほんの少しの日光で充分なんだ...」

Non misura il pericolo, mi dissi. Non ha mai ne' fame, ne' sete. Gli basta un po' di sole...
 《「動詞句」「目的語」》, 「動詞句」, 《「動詞句」「目的語」 | 「間接目的語」「動詞」「主語」》
 Non misura ノン・ミズーラ 3 単現・否定(misurare)
 v.t ~を察知できない、判断できない 「動詞句」
 il pericolo, イル・ペリーコ n.m 危険を 「目的語」

XXIV

mi dissi. ミ・ディッシ 1 単遠(dirsi)v.pr 思った	「動詞句」
Non ha mai ノ・ナ・マイ 3 単現・否定(avére)v.t 決して～がない	「動詞句」
ne' fame, ネ・ファ・メ n.f (否定の連続) 空腹も	「目的語」
ne' sete. ネ・セ・テ n.f (否定の連続) 渇きも	「目的語」
Gli リ pron 彼にとって	「間接目的語」
basta バスタ 3 単現(bastare)v.i 十分である	「動詞」
un po' di sóle... ウン・ポ・ディ・ソーレ n.m ほんの少しの太陽が	「主語」

しかし彼は僕をじっと見つめ、僕の考えに対して答えた：

Ma mi guardò e rispose al mio pensiero:

Ma 「目的語」「動詞」 e 「動詞」「間接目的語」

Ma マ conj. しかし

mi ミ pron 僕を 「目的語」

guardò グ・ワルト 3 単遠(guardare)v.t 見つめた 「動詞」

e エ conj. そして

rispose リスポ・ゼ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた 「動詞」

al mio pensiero: アル・ミ・オ・ペンシェーロ adv. 僕の考えに対して 「間接目的語」

「僕も喉が渇いた... 井戸を探しに行こう...」

"Anch'io ho sete... cerchiamo un pòzzo..."

《「主語」「動詞」「目的語」... 「動詞」「目的語」》

"Anch'io アンキ・オ pron 僕も 「主語」

ho オ 1 単現(avére)v.t ～がある 「動詞」

sete... セ・テ n.f 喉の渇き 「目的語」

cerchiamo チェルキアーモ 命・1 複・勧誘(cercare)v.t 探しに行こう 「動詞」

un pòzzo..." ウン・ポ・ッツ n.m 井戸を 「目的語」

僕はうんざりの身振りをした：広大な砂漠の中で、当てもなく井戸を探すなんて馬鹿げている。それでも、僕たちは歩き始めた。

Ebbi un gèsto di stanchézza: è assurdo cercare un pòzzo, a caso, nell'immensità del deserto. Tuttavia ci mettemmo in cammino.

「動詞」「目的語」：「動詞」「補語」「主語」 | Tuttavia 「動詞句」「間接目的語」

Ebbi エビ 1 単遠(avére)v.t (動作を) した 「動詞」

un gèsto ウン・ジ・ェスト n.m 仕草を、身振りを 「目的語」

di stanchézza: ディ・スタンケツァ adj. うんざりの 「形容詞句」

è エ 3 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

XXIV

assurdo アスールト° adj. 馬鹿げた	「補語」
cercare チェルカーレ 不定詞 n. ～を探すことは	「主語」
un pózzo, ウン・ポッツ n.m 井戸を	「目的語」
a caso, ア・カーゾ adv. 行き当たりばったり	「副詞句」
nell'immensità del desèrto. ネルンメンシタ・デル・デゼールト adv. 広大な砂漠の中で	「副詞句」
immensità インメンシタ n.f 広大 desèrto デゼールト n.m 砂漠	
Tuttavia トゥッタヴァイア conj. それでも、しかしながら	
ci mettemmo チ・メッテモ 1 複遠(méttersi)v.pr ～に身を置いた	「動詞句」
in cammino. イン・カンミーノ adv. 歩行に	「間接目的語」

何時間も黙って歩いていると、日が暮れて、星が輝きだした。

<u>Dópo aver camminato per óre in silènzio, venne la nòtte, e le stéлле cominciaronо ad accendersi.</u>	「副詞句」, 「動詞」「主語」 e 「主語」「動詞句」
Dópo +(di)不定詞 トーポ° adv. (時間) ～した後で	「副詞句」
aver camminato アヴェル・カンミナート 不定詞・完了形(camminare)v.i 歩いた	「動詞句」
per óre ペル・オーレ adv. (期間) 何時間もの間、数時間の間	「副詞句」
óre オーレ pl(óra).n.f 時間	
in silènzio, イン・シレーンツィオ adv. (様態) 黙って、無言で	「副詞句」
venne ヴェンネ 3 単遠(venire)v.i やって来た	「動詞」
la nòtte, ラ・ノッテ n.f 夜が	「主語」
e エ conj. そして	
le stéлле レ・ステッレ pl(stéлла).n.f 星が	「主語」
cominciaronо ad accendersi. コミンチャロノ・アト・アッチェンデルシ 3 複遠・開始(cominciare a+不定詞)v.i 輝き始めた	「動詞句」
accendersi アッチェンデルシ v.pr 点火する、輝く	

僕は喉の渇きのせいで熱が出たので、まるで夢の中でのことのように、星たちを見ていた。

<u>Le vedevo cóme in un sógno, attraverso alla febbre che mi era venuta per la sète.</u>	「目的語」「動詞」「副詞句」
Le レ pron.f.pl (stéлле の代用) 星たちを	「目的語」
vedevo ヴェデヴォ 1 単半(vedére)v.t 見ていた	「動詞」
cóme in un sógno, コーメ・イン・ウン・ソニョ adv. まるで夢の中でのように	「副詞句」
attraverso アットラウエルツ prep (原因) ～のために	「副詞句」
alla febbre アッラ・フェブブレ adv. 熱に	「間接目的語」
che ケ pron.f (主語: febbre) ～する	「形容詞節」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」

XXIV

era venuta エラ・ヴァ・エヌタ 3 単半・完了形(venire)

v.i 生じた

「動詞句」

per la sète. ペル・ラ・セテ

adv. (原因) 喉の渇きのために

「副詞句」

王子様の言葉が、僕の記憶の中で踊っていた。

Le paròle del piccolo principe danzavano nella mia memoria. 「主語」「動詞」「副詞句」

Le paròle レ・パ・ローレ pl(paròla).n.f 言葉が

「主語」

del piccolo principe デル・ピッコロ・プリンチペ adj. 王子様の

「形容詞句」

danzavano ダンサバノ 3 複半(danzare)v.i 踊っていた

「動詞」

nella mia memoria. ネッラ・ミーア・メモリア adv. 僕の記憶の中で

「副詞句」

「君も喉が渇いたの？」と、僕は彼に尋ねた。

"Hai sète anche tu?" gli domandai. 《「動詞」「目的語」「主語」》, 「間接目的語」「動詞」

"Hai ハイ 2 単現・疑問文(avére)v.t. ～があるの？

「動詞」

sète セテ n.f 喉の渇き

「目的語」

anche tu?" アンケ・トゥ pron 君も

「主語」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

domandai. ドマンダイ 1 単遠(domandare)v.t 尋ねた

「動詞」

しかし、僕の質問には答えず、ただ、僕に言った：

Ma non rispose alla mia domanda. Mi disse semplicemente:

Ma 「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」 | 「間接目的語」「動詞」「副詞」

Ma マ conj. しかし

non rispose ノン・リスポゼ 3 単遠・否定(rispondere)v.i 答えなかった

「動詞句」

alla mia domanda. アッラ・ミーア・ドマンダ adv. 僕の問いかけに

「間接目的語」

Mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

semplicemente: センプ・リチェメンテ adv. 単に、ただ

「副詞」

「水は心にとっても、癒しになるかもしれない…」

"Un po' d'acqua può far bene anche al cuore..."

《「主語」「動詞句」「副詞句」》

"Un po' d'acqua ウン・ポ・ダックワ n.f 少しの水は

「主語」

può far プォ・ファール 3 単現・推量(potére+不定詞 fare)v.i 有効かもしれない

「動詞句」

fare ファレ v.i ためになる、適している、有効である、効く

bene ベーネ adv. うまい具合に、よく、十分に

「副詞」

XXIV

anche al cuore..." アンケ・アル・クオーレ adv. 心に対しても

「副詞句」

僕は彼の返事が理解できなかった。しかし黙っていた。彼に質問してはならないということ
をよく知っていたから。

Non compresi la sua risposta, ma stetti zitto... sapevo bene che non bisognava interrogarlo. 「動詞句」「目的語」,ma「動詞」「補語」 | 「動詞」「副詞」「目的語」

Non compresi ノン・コンプレジ 1 単遠・否定(comprendere)v.t 理解できなかった 「動詞句」

la sua risposta, ラ・スア・リスポスタ n.f 彼の返事を 「目的語」

ma マ conj. しかし

stetti ステッティ 1 単遠(stare)v.i ~のままでいた 「動詞」

zitto... ツィット adj. 無言の 「補語」

sapevo サペヴォ 1 単半(sapere)v.t 知っていた 「動詞」

bene ベーネ adv. よく 「副詞」

che ケ conj. ~ということ 「目的語」

non bisognava interrogarlo. ノン・ビズニャーバ・インテロガール・ロ 非人称・3 単半・禁止

(bisognare+不定詞)v.h 彼に質問してはならない 「動詞句」

彼は疲れていたの、腰を降ろした。僕は彼の近くに座った。

Era stanco. Si sedette. Mi sedetti accanto a lui.

「動詞」「補語」 | 「動詞句」 | 「動詞句」「副詞句」

Era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」

stanco. スタンコ adj. 疲れた 「補語」

Si sedette. シ・セデッテ 3 単遠(sedersi)v.pr 彼は座った 「動詞句」

Mi sedetti ミ・セデッティ 1 単遠(sedersi)v.pr 僕は座った 「動詞句」

accanto a アッカント・ア prep ~の近くに 「副詞句」

lui. ルイ pron 彼 「目的語」

そして、少し黙ってから、また言った。

E dopo un silenzio disse ancora:

E 「副詞句」「動詞」「副詞」

E エ conj. そして

dopo un silenzio トーポ・ウン・シレンチオ adv. 少し黙ってから 「副詞句」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

ancora: アンコーラ adv. また 「副詞」

XXIV

véro. ヴェロ adj. 本当の 「補語」

Mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」

è sèmpe piaciuto エ・センプレ・ピ・アチウト 1 単現・完了形(piacére+ sèmpe)

v.i いつも好きだった 「動詞句」

il desèrto. イル・デゼールト n.m 砂漠は 「主語」

Ci チ adv. そこで 「副詞」

si siede シ・シエテ 3 単現(sedersi)v.pr 座る 「動詞句」

動詞は三人称単数形だが、主語は僕たち（僕と王子様）である

su una duna ス・ウナ・ドナ adv. 砂丘の上に 「副詞句」

di sabbia. ティ・サビア adj. 砂の 「形容詞句」

フランス語版では

まさしくそれは本当だった。僕はずっと砂漠が好きだった。僕達は砂山の上に腰を下ろす。

Et c'était vrai. J'ai toujours aimé le désert. **On s'assoit** sur une dune de sable.

On は単数または複数の代名詞だが、動詞は三人称単数形が用いられる

on オ pron 人は、人々は、人間は、誰かが、私たちは、私は、君は、君たちは

何も見えない。何も聞こえない。それでも。何かが静かに輝いている...

Non si vede nulla. Non si sente nulla. E tuttavia qualche cosa risplende in silenzio...

「動詞句」「主語」 | 「動詞句」「主語」 | E 「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」

Non si vede ノン・シ・ウエテ 3 単現・再帰受動(vedersi)v.pr 見えない 「動詞句」

nulla. ヌッラ pron 何も 「主語」

Non si sente ノン・シ・センテ 3 単現・再帰受動(sentirsi)v.pr 聞こえない 「動詞句」

nulla. ヌッラ pron 何も 「主語」

E エ conj. そして

tuttavia トゥッタヴィア conj. しかしながら、それでも 「副詞」

qualche cosa クワルク・コサ n.f 何かが 「主語」

risplende リスプレンデ 3 単現(rsiplèndere)v.i 輝いている 「動詞」

in silenzio... イン・シレンツィオ adv. (様態) 黙って、無言で、静かに 「副詞句」

「砂漠を美しくしているもの」と、王子さまは言った。「それは、砂漠がどこかに井戸を隠しているということだよ...」

"Ciò che abbellisce il desèrto", disse il piccolo principe, "è che nasconde un pózzo in qualche luogo..."

《「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」》

"Ciò チョ pron そのことは 「主語」

che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

abbellisce アベリシェ 3 単現(abbellire)v.t 美しくしている 「動詞」

XXIV

il desèrto", イル・デゼールト n.m	砂漠を	「目的語」
disse ディッセ 3 単過(dire)v.t	言った	「動詞」
il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m	王子さまは	「主語」
"è エ 3 単現(essere)v.i	〜である	「動詞」
che ケ conj.	〜ということ	「補語」
nasconde ナスカンデ 3 単現(nascóndere)v.t	隠している	「動詞」
un pózzo ウン・ポッツ n.m	井戸を	「目的語」
in qualche luògo..." イン・クワルケ・ルオーゴ adv.	どこかに	「副詞句」

砂から放射されるあの神秘的な発光のことがいきなり分かったので、僕は驚いた。

Fui sorpreso di capire d'un tratto quella misteriosa irradiazione della sabbia.

Fui フーイ 1 単遠(ser)v.i	〜だった	「動詞」
sorpreso ソルプレーソ adj.	驚いた	「補語」
di capire ディ・カピレ adv.	(原因) 〜が分かって	「副詞句」
d'un tratto ダン・トラット adv.	突然	「副詞句」
quella misteriosa irradiazione ケッラ・ミステリオサ・イラデアチオーネ		
n.f	あの神秘的な発光を	「目的語」
della sabbia. デッラ・サッビア adv.	砂から放射される	「副詞句」

小さい頃、僕は古い家に住んでいて、どこかに宝物が隠されていると伝えられていた。

Quando ero piccolo abitavo in una casa antica, e la leggenda raccontava che c'era un tesoro nascosto.

Quando クワント conj.	〜した時	「副詞節」
ero エロ 1 単半(essere)v.i	〜だった	「動詞」
piccolo ピッコロ adj.	小さい	「補語」
abitavo アヴァターヴォ 1 単半(abitare)v.i	住んでいた	「動詞」
in una casa antica, イン・ウナ・カサ・アンチカ adv.	古い家に	「副詞句」
e エ conj.	そして	
la leggenda ラ・レジェンダ n.f	言い伝えは	「主語」
raccontava ラッコンターヴァ 3 単半(raccontare)v.t(che 〜と)	語っている	「動詞」
che ケ conj.	〜ということを	「目的語」
c'era チェラ 3 単半・存在・時制の一致(esserci)v.i	〜がある	「動詞句」
un tesoro ウン・テゾロ n.m	宝物が	「主語」
nascosto. ナスコスト adj.	隠された	「形容詞」

XXIV

もちろん、誰もそれを見つけれなかったし、恐らくそれを探そうとしなかった。

Naturalmente nessuno ha mai potuto scoprirlo, ne' forse l'ha mai cercato.

「副詞」「主語」「動詞句」, 「副詞句」「目的語」「動詞句」

Naturalmente ナチュラルメンテ adv. もちろん

「副詞」

nessuno ネスーノ pron 誰も～ない

「主語」

ha mai potuto scoprirlo, ア・マイ・ポトート・スコプリル・ロ 3 単現・完了形・可能・否定

(potére+不定詞)v.t それを見つけることが出来なかった

「動詞句」

lo は tesòro (宝物) の代用

ne' forse ネ・フォルセ adv. (否定の連続) 恐らく～もない

l' 〇 pron(tesòro の代用) それを

「目的語」

ha mai cercato. ア・マイ・チェルカト 3 単現・完了形・否定(cercare)

v.t 一度も探さなかった

「動詞句」

しかし、その宝物が家全体に魔法をかけていた。

Eppure incantava tutta la casa.

Eppure 「動詞」「目的語」

Eppure エップーレ conj. しかし

incantava インカンターヴァ 3 単半(incantare)v.t 魔法をかけていた

「動詞」

「主語」は宝物

tutta la casa. トウッタ・ラ・カーサ n.f 家全体に

「目的語」

僕の家は、その核心部の奥に秘密を隠し持っていた...

La mia casa nascondeva un segreto nel fondo del suo cuore...

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

La mia casa ラ・ミーア・カーサ n.f 僕の家は

「主語」

nascondeva ナスカンデヴァ 3 単半(nascondere)v.t 隠していた

「動詞」

un segreto ウン・セグレート n.m 秘密を

「目的語」

nel fondo ネル・フォント adv. (位置) 底に

「副詞句」

del suo cuore... テル・スーオ・クオーレ adj. 核心部の

「形容詞句」

「そうなんだ」と、僕は王子さまに言った。「家でも、星でも、砂漠でも、その美しさを作っているものは目には見えないんだ」

"Sì", disi al piccolo principe, "che si tratti di una casa, delle stélie o del desérto, quéllo che fa la loro bellézza è invisibile".

《「応答」》, 「動詞」「間接目的語」, 《「直接目的語」》

"Sì", シ adv. (肯定) そうだ

「応答」

disi ディッシ 1 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

XXIV

al piccolo principe, アル・ピッコロ・プリンチペ	adv. 王子さまに	「間接目的語」
"che	ケ conj. ～ということ	「直接目的語」
adv. (仮定) ～だとして		「副詞節」
si tratti シ・トラッティ	接・非人称・3 単現(trattarsi)	
v.pr	～のことである、～である	「動詞句」
di una casa, ディ・ウナ・カサ	adv. 家の	「間接目的語」
delle stéllle デッレ・ステッレ	adv. 星の	「間接目的語」
o オ conj. 星の	「間接目的語」	
del desèrto, デル・デゼールト	adv. 砂漠の	「間接目的語」
quéllo ケッロ	pron そのものは	「主語」
che	ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
fa ファ	3 単現(fare)v.t 作っている	「動詞」
la loro bellézza ラ・ロー・ベレッツァ	n.f その美しさを	「目的語」
è エ	3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
invisibile". インヴィジビレ	adj. 目に見えない	「補語」

「僕は嬉しいよ」と、王子さまは言った。「君が僕のキツネと同じ意見だから」

"Sono contento", disse il piccolo principe, "che tu sia d'accòrdo con la mia vólpe".

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞節」》

"Sono	ソー	1 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
contento",	コンテント	adj. 嬉しい、満足した	「補語」
disse	ディッセ	3 単遠(dire)v.t 言った	「動詞」
il piccolo principe,	イル・ピッコロ・プリンチペ	n.m 王子さまは	「主語」
"che	ケ conj. (原因・理由) ～なので		「副詞節」
精神活動(満足、願望、心配、要求...)に導かれる従属節は接続法を用いる			
tu	トゥ	pron 君は	「主語」
sia	シア	接・2 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
d'accòrdo	ダッコールト	adj. (意見が) 一致した	「補語」
con la mia vólpe".	コン・ラ・ミア・ヴォルペ	adv. 僕のキツネと	「副詞句」

王子さまがうとうとし始めたので、両腕に抱えて、また歩き出した。僕は感激していた。

Incominciava ad addormentarsi, io lo presi tra le braccia e mi rimisi in cammino. Ero commosso.

「動詞句」, 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」 e 「動詞句」「副詞句」
「動詞」「補語」

Incominciava ad addormentarsi, インコミンチャヴァ・ア・アド・アルメンタルシ 3 単半・開始

(incominciare a+不定詞)v.pr 眠り始めた 「動詞句」

XXIV

io イオ pron 僕は	「主語」
lo ロ pron 彼を	「目的語」
presi プレシ 1 単遠(prèndere)v.t 抱きかかえた	「動詞」
tra le braccia トラ・レ・ブラッチャ adv. (空間) 両腕で	「副詞句」
e エ conj. そして	
mi rimisi ミ・リミシ 1 単遠(rimettersi)v.pr 〜に戻った	「動詞句」
in cammino. イン・カミノ adv. 歩行に	「副詞句」
Èro エロ 1 単半(essere)v.i 〜だった	「動詞」
commosso. コモッソ adj. 感動した	「補語」

僕には、壊れやすい宝物を運んでいるように思われた。

<u>Mi sembrava di portare un fragile tesoro.</u>	「間接目的語」「動詞」「主語」
Mi ミ pron 僕には	「間接目的語」
sembrava センブラヴァ 3 単半(sembrare)v.i 思われた	「動詞」
di portare ディ・ポルターレ 不定詞 n. 運んでいること	「主語」
un fragile ウン・フラジレ adj. 壊れやすい	「形容詞句」
tesoro. テゾーロ n.m 宝物を	「目的語」

僕は、地上にはこれよりも壊れやすいものは無いのではないかとさえ思われた。

<u>Mi sembrava pure che non ci fosse niente di più fragile sulla Terra.</u>	「間接目的語」「動詞」「副詞」「主語」
Mi sembrava	
Mi ミ pron 僕には	「間接目的語」
sembrava センブラヴァ 3 単半(sembrare)v.i 思われた	「動詞」
pure プーレ adv. 〜さえも	「副詞」
che ケ conj. 〜ということが	「主語」
non ci fosse ノン・チ・フォッセ 接・3 単半・推量・存在・否定(esserci) v.i 〜がないだろう	「動詞句」
niente ニエンテ pron 何も〜ない	「主語」
di più fragile ディ・ピウ・フラジレ adj. もっと壊れやすい	「形容詞句」
sulla Terra. スラ・テラ adv. 地上に	「副詞句」

僕は月明かりの中でじっと見つめていた。その蒼白い額やその閉じた目や風に震えるその髪のを。そして、僕は思った：

Guardavo, alla luce della luna, quella fronte pallida, quegli occhi chiusi, quelle ciocche di capelli che tremavano al vento, e mi dicevo:

XXIV

「動詞」「副詞句」, 「目的語」 e 「動詞句」:

Guardavo, ガ`ワルタ`ーウ`ォ 1 単半(guardare)v.t	じつと見つめていた	「動詞」
alla luce アラ`ルーチェ adv. (手段) 光によって		「副詞句」
della luna, デ`ラ`ルナ adj. 月の		「形容詞句」
quella fronte pallida, ケ`ラ`フロンテ`パ`ーリダ` n.f	その蒼白い額を	「目的語」
quegli occhi ケ`リ`オッキ pl(occhio).n.m	その目を	「目的語」
chiusi, キ`ジ` adj(chiuso).pl.m	閉じた	「形容詞」
quelle ciocche ケ`レ`チョッケ pl(ciocca).n.f	その髪の毛の房を	「目的語」
di capelli デ`ィ`カ`ヘ`ッリ adj(capello).pl.m	髪の毛の	「形容詞句」
che ケ pron (主語) ~する		「形容詞節」
tremavano トレマバ`ノ 3 複半(tremare)v.i	震える	「動詞」
al vento, アル`ヴェント adv. (原因) 風によって		「副詞句」
e エ conj. そして		
mi dicevo: ミ`テ`ィ`チェウ`ォ 1 単半(dirsi)v.pr	思った	「動詞句」

「僕がいま見ているものは外見に過ぎない。一番大切なことは目には見えないんだ...」

"Quésto che io vedo non è che la scorza. Il più importante è invisibile..."

《「主語」「動詞句」「補語」 | 「主語」「動詞」「補語」》

"Quésto ケ`スト pron	これは、このもの	「主語」
che ケ pron (目的語) ~する		「形容詞節」
io イ`オ pron	僕が	「主語」
vedo ヴェト` 1 単現(vedere)v.t	見ている	「動詞」
non è ノ`ネ 3 単現・否定(essere)v.i	~でない	「動詞句」
che ケ conj. (比較) (non...che) ~に過ぎない		「補語」
la scorza. ラ`スコルツァ n.f	外見、見かけ、皮膚	「目的語」
Il più importante イル`ピ`ウ`インポ`ルタンテ n.m	一番大切なことは	「主語」
è エ 3 単現(essere)v.i	~である	「動詞」
invisibile..." インビ`ジ`ービレ adj.	目に見えない	「補語」

それから、彼の半開きの唇が少し笑っているように見えたので、僕はまた思った:

E siccome le sue labbra semiaperte abbozzavano un mezzo sorriso mi dissi ancora:

E 「副詞節」, 「動詞句」「副詞句」

E エ conj. そして、それから		
siccome シッコーメ conj. (原因) ~なので		「副詞節」
le sue labbra レ`スエ`ラッブラ pl(labbro).n.m (唇の[複]) 唇が		「主語」
labbro ラッブラ n.m ([複]le labbra) 唇、口、([複]i labbri) 縁、口、傷口		

XXIV

semiapèrte セミアペルテ	adj(semiapèrto).f.pl 半開きの	「形容詞」
abbozzavano アボツァヴァノ	3 単半(abbozzare)	
v.t (微笑などを)	わずかに示していた	「動詞」
un mezzo sorriso ウン・メツォ・シリソ	n.m わずかな微笑	「目的語」
mi dissi ミ・ディッシ	3 単遠(dirsi)v.t 思った	「動詞」
ancóra: アンコーラ	adv. また	「副詞」

「この眠っている王子さまについて、僕がいちばん感動したことは：」

"Ècco ciò che mi commuove di più di questo piccolo principe addormentato:

《「主語」：》

"Ècco ciò エッコ・チヨ	pron そのことは、これは	「主語」
che ケ	conj. (同格) ～という	「形容詞節」
mi ミ	pron 僕を	「目的語」
commuove コムムーヴェ	3 単現(commuovere)v.t 感動させる	「動詞」
di più ディ・ピウ	adv. 一番、最も	「副詞句」
di questo piccolo principe ディ・クェスト・ピッコロ・プリンチペ		
adv. (関連)	この王子さまのことで	「副詞句」
addormentato: アドルメント	adv. 眠っている	「形容詞」

「一輪の花に対する彼の誠実さなんだ。それは、眠っている時でさえも彼の中でランプの焰のように輝いているバラの花の姿なんだ...」

è la sua fedeltà a un fiore, è l'immagine di una rosa che risplende in lui come la fiamma di una lampada, anche quando dorme..."

《「動詞」「補語」, 「動詞」「補語」》

è エ	3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
la sua fedeltà ラ・スア・フェデルタ	n.f 誠実さ	「補語」
a un fiore, ア・ウン・フィオーレ	adv. 一輪の花に対する	「副詞句」
è エ	3 単現(essere)v.i ～である	「動詞」
l'immagine リンマジネ	n.f 姿	「補語」
di una rosa ディ・ウナ・ローザ	adj. バラの花の	「形容詞句」
che ケ	pron (主語) ～する	「形容詞節」
risplende リスプレンデ	3 単現(risplendere)	
v.i	光り輝いている	「動詞」
in lui イン・ルーイ	adv. 彼の中で	「副詞句」
cóme コーメ	adv. ～のように	「副詞句」
la fiamma ラ・フィアンマ	n.f 焰、炎	「目的語」
di una lampada, ディ・ウナ・ランパ		

XXIV

adj. ランプの

「形容詞句」

anche quando dorme..." アンケ・クワント・ドルメ

adv. 彼が眠っている時でさえも

「副詞節」

そして、僕は彼がまださらに壊れやすいのだと思った。

E lo pensavo ancora più fragile.

E 「目的語」「動詞」「補語」

E エ conj. そして

lo ロ pron 彼を

「目的語」

pensavo ペンサーヴォ 1 単半(pensare)v.t (SVOC) O が C だと思った

「動詞」

ancora アンコーラ adv. まだ、さらに

「副詞」

più fragile. ピウ・フラジレ adj. さらに壊れやすい

「補語」

ランプは、しっかりと保護しなければならない：ほんのひとそよぎの風でも、ランプは消えるかもしれないのだから...

Bisogna bèn proteggere le lampade: un colpo di vento le può spegnere...

「動詞句」「目的語」:「主語」「目的語」「動詞句」

Bisogna bèn proteggere ビズニャ・ベン・プロテッジェ 非人称・3 単現・必要(bigognare+不定詞)

v.h 十分に保護する必要がある

「動詞句」

bèn ベン adv. (bène の語尾切断) うまく、よく、十分に、たっぷり

le lampade: レ・ランパデ pl(lampada).n.f ランプを

「目的語」

un colpo ウン・コッポ n.m 一撃は

「主語」

di vento ディ・ヴェント adj. 風の

「形容詞句」

le レ pron.f.pl (lampade の代用) ランプを

「目的語」

può spegnere... フォ・スペンニエレ 3 単現・可能性(potére+不定詞 spegnere)

v.t 消すかもしれない

「動詞句」

そして、このように歩いて、僕は夜明けに井戸を見つけた。

E così camminando, scoprii il pòzzo al levar del sole.

E 「副詞句」, 「動詞」「目的語」「副詞句」

E エ conj. そして

così camminando, コシ・カミナント adv. (手段) このように歩いて

「副詞句」

scoprii スコプリイ 1 単遠(scoprire)v.t 見つけた

「動詞」

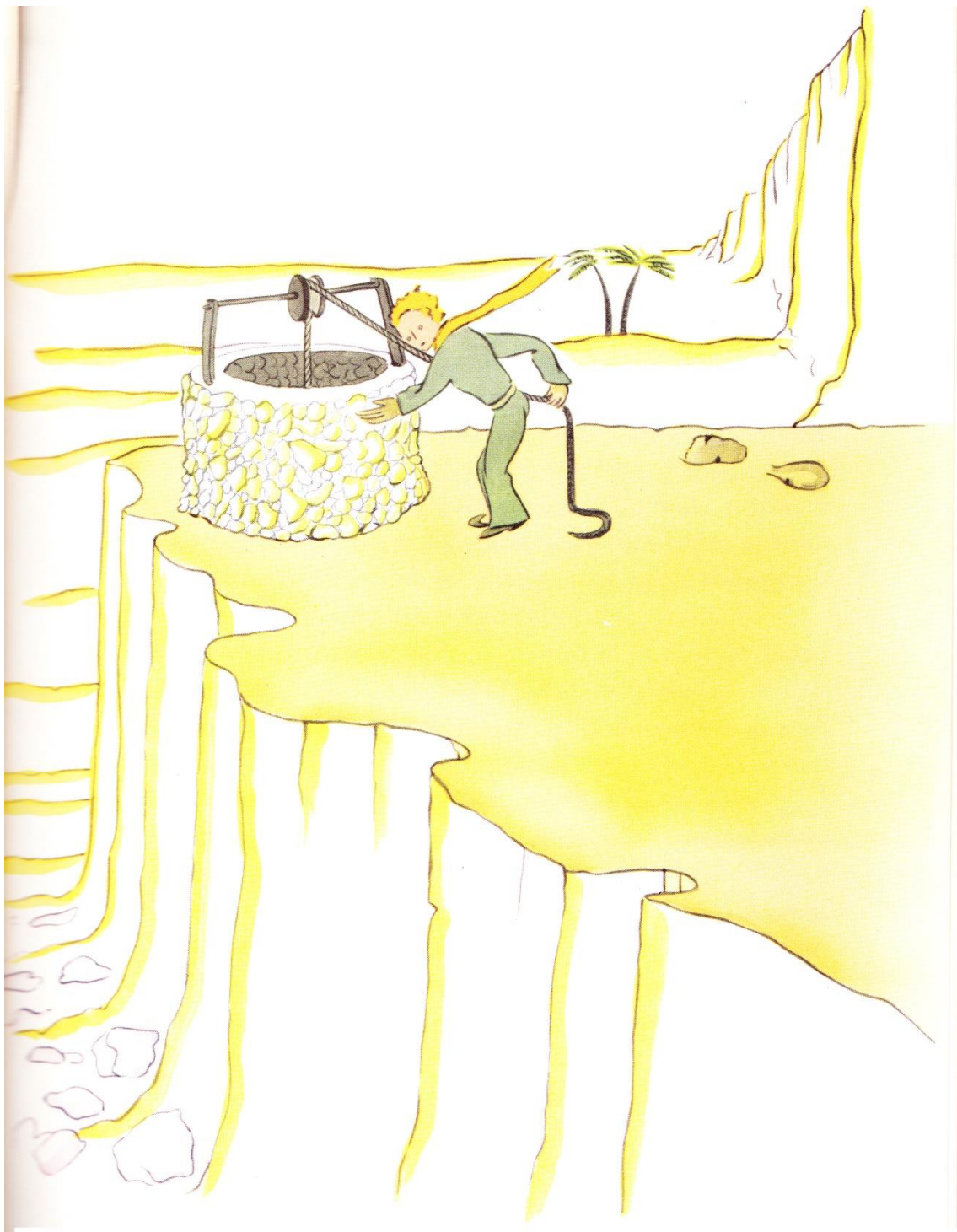
il pòzzo イル・ポッツ n.m 井戸を

「目的語」

al levar del sole. アル・レヴァール・テル・ソーレ adv. (時間) 日の出に、夜明けに

「副詞句」

XXIV



XXV

XXV

「人々は」と、王子さまは言った。「特急列車に乗り込むけれど、自分たちが何を探し求めているのかももう分っていないんだ。それで動き回って、どうどう巡りをしているんだ...」

"Gli uòmini", disse il pìccolo pìncipe, "si imbucano nei ràpidi, ma non sanno più che còsa cercano. Allóra si agitano, e girano intórno a se stessi..."

《「主語」》, 「動詞」 「主語」, 《「動詞句」 「間接目的語」, ma 「動詞句」 「目的語」 「副詞」 「動詞句」, e 「動詞句」 「副詞句」》

"Gli uòmini", リ・ウーミニ pl(uòmo).n.m 人々は 「主語」
disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
il pìccolo pìncipe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」
"si imbucano シ・インブカノ 3 複現(imbucarsi)v.pr 乗り込む、潜り込む 「動詞句」
nei ràpidi, ネイ・ラーピディ adv.(ràpido) 特急列車に 「間接目的語」
ma マ conj. しかし
non sanno più ノン・サンノ・ピウ 3 複現・否定(sapére)v.t もう分っていない 「動詞句」
che còsa ケ・コーサ pron 何を～するかということを 「目的語」
cercano. チェルカノ 3 複現(cercare)v.t 探し求めている 「動詞」
Allóra アッローラ adv. それで 「副詞」
si agitano, シ・アジタノ 3 複現(agitarsi)v.pr 動き回っている 「動詞句」
e エ conj. そして
girano ジラーノ 3 複現(girare)v.i ぶらついている 「動詞」
intórno イントールノ adv. 辺りを 「副詞」
a se stessi... ア・セ・ステッシ adv. 自分の 「副詞句」

そう言って、付け加えた：

E soggiunse: E 「動詞」
E エ conj. そして
soggiunse: ソジューンセ 3 単遠(soggiungere)v.t 付け加えた 「動詞」

「苦勞する値がない」 (苦勞には及ばない)

"Non vale la péna..." 《「動詞句」 「補語」》
"Non vale ノン・ヴァレ 3 単現・否定(valére)v.i ～の価値がない 「動詞句」
la péna... ラ・ペーナ n.f 苦勞、骨折り 「補語」

XXV

「僕たちが辿り着いた井戸は、サハラ砂漠の井戸に似ていなかった」

Il pòzzo che avevamo raggiunto non assomigliava ai pòzzi sahariani".

《「主語」「動詞句」「間接目的語」》

Il pòzzo イル・ポツ n.m 井戸は、(地面に出来た) 穴、洞窟

「主語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

avevamo raggiunto アヴェウアーモラジエント 1 複半・完了形(raggiungere)

v.t 到達した

「動詞句」

non assomigliava ノン・アツミリアウァ 3 単半・否定(assomigliare)

v.i(à に) 似ていなかった

「動詞句」

ai pòzzi アイ・ポッシ adv.(pòzzo) 井戸に

「間接目的語」

sahariani". サリアニ adj(sahariano).m.pl サハラ砂漠の

「形容詞句」

サハラ砂漠の井戸は、砂地に掘られた単なる穴だ。

I pòzzi sahariani sono dei semplici buchi scavati nella sabbia.

「主語」「動詞」「補語」

I pòzzi sahariani イ・ポツ・サリアニ pl(pòzzo).n.m サハラ砂漠の井戸は

「主語」

sono ソーノ 3 複現(essere)v.i ～である

「動詞」

dei semplici buchi デイ・センプリチ・ブキ pl(buco).n.m 単純な穴

「補語」

semplici センプリチ adj(sémplice).pl 単純な、簡単な

scavati スカヴァーティ 過去分詞・受動(scavare)adj.m.pl 掘られた

「形容詞」

nella sabbia. ネッラ・サービァ adv. 砂地に

「副詞句」

この井戸は村の井戸に似ている。

Questo assomiglia a un pòzzo di villaggio.

「主語」「動詞」「間接目的語」

Questo ケスト pron この井戸は

「主語」

assomiglia アツミリア 3 単現(assomigliare)v.i(à に) 似ている

「動詞」

a un pòzzo ア・ウン・ポツ adv. 井戸に

「間接目的語」

di villaggio. デイ・ウイラッジョ adj. 村の

「形容詞句」

しかし、この辺りにはどんな村も無かった。それで僕は優を見ているように思われた。

Ma non c'era alcun villaggio intórno, e mi sembrava di sognare.

Ma 「動詞句」「主語」「副詞」,e 「間接目的語」「動詞」「主語」

Ma マ conj. しかし

non c'era ノン・チェラ 3 単半・否定・存在(esserci)v.i ～が無かった

「動詞句」

alcun villaggio アルクン・ウイラッジョ n.m どんな村も～ない

「主語」

intórno, イントール adv. 辺りに

「副詞」

e エ conj. そして

XXV

mi ミ pron 僕には 「間接目的語」
 sembrava センブラヴァ 3 単半(sembrare)v.i 〜のように思われた 「動詞」
 di sognare. ディ・ソニャレ 不定詞 n. 夢を見ていること 「主語」

「奇妙だ」と、僕は王子さまに言った。「すべてが整っている：滑車も、手桶も、ロープも」

"È strano", dissi al piccolo principe, "è tutto pronto: la carrùcola, il sécchio e la còrda..."

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「間接目的語」, 《「動詞」「主語」「補語」: 「主語」》

"È エ 3 単現(èssere)v.i 〜である 「動詞」
 strano", スラーノ adj. 奇妙な、おかしな 「補語」
 dissi ディッシ 1 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 al piccolo principe, アル・ピッコロ・プリンチペ adv. 王子様に 「間接目的語」
 "è エ 3 単現(èssere)v.i 〜である 「動詞」
 tutto トゥット pron すべてが 「主語」
 pronto: プロント adj. 整った 「補語」
 la carrùcola, ラ・カルコラ n.f 滑車が 「主語」
 il sécchio イル・セッキオ n.m 手桶が 「主語」
 e エ conj. そして
 la còrda..." ラ・コルダ n.f ロープが 「主語」

彼は笑い、ロープに触り、滑車を動かした。

Rise, toccò la còrda, fece funzionare la carrùcola.

「動詞」, 「動詞」「目的語」, 「動詞句」「目的語」

Rise, リセ 3 単遠(ridere)v.i 笑った 「動詞」
 toccò トコ 3 単遠(toccare)v.t 〜に触れた 「動詞」
 la còrda, ラ・コルダ n.f ロープに 「目的語」
 fece funzionare フェーチェ・フツィオナーレ 3 単遠・使役(fare+不定詞)
 v.t 動かした、作動させた 「動詞句」
 la carrùcola. ラ・カルコラ n.f 滑車を 「目的語」

すると、風が長い間眠っていた後では古い風見鶏がきしるように、滑車がきしった。

E la carrùcola gemette come geme una vècchia banderuóla dópo che il vènto ha dormito a lungo.

E 「主語」「動詞」「副詞節」

E エ conj. そして、すると
 la carrùcola ラ・カルコラ n.f 滑車が、巻き上げ装置 「主語」
 gemette ジェメテ 3 単遠(gèmere)v.i うなった、きしった 「動詞」
 gemé ジェメ も 3 単遠の活用である

XXV

cóme コーメ conj. ～するように	「副詞節」
geme ジェメ 3 単現(gèmere)v.i うなる、きしる	「動詞」
una vècchia banderuóla ウナ・ヴェッキア・バンデルウーラ n.f 古い風見鶏が	「主語」
vècchia ヴェッキア adj(vècchio).f 古い、年取った、昔の	
dópo che +直説法 トーポ・ケ conj. ～した後で	「副詞節」
il vènto イル・ヴェント n.m 風が	「主語」
ha dormito ア・ドルミト 3 単現・完了形(dormire)v.i 眠った	「動詞句」
a lungo. ア・ルンゴ adv. 長い間	「副詞句」

きしる

堅い物が強くすれ合って音を立てること。

ここでは、井戸の滑車が錆びついたために、摩擦が増してギシギシ音を立てる様。

「聞こえる？」と、王子さまは言った。「僕たちが目覚めさせたので、井戸が歌っている...」

"Senti", disse il piccolo principe, "nói svegliamo quésto pòzzo e lui canta..."

《「動詞」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「目的語」 e 「主語」「動詞」》

"Senti", センチ 2 単現(sentire)v.t 聞こえる? 「動詞」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

"nói ノーイ pron.pl 僕たちが 「主語」

svegliamo スヴェリアーモ 1 複現(svegliare)v.t 目覚めさせた 「動詞」

quésto pòzzo ケスト・ポッツ n.m この井戸を 「目的語」

e エ conj. そして

lui ルーイ pron それが 「主語」

canta..." カンタ 3 単現(cantare)v.i 歌っている 「動詞」

僕は王子さまに骨折りさせたくなかった。

Non volevo che facesse uno sforzo.

「動詞句」「目的語」

Non volevo ノン・ヴォレヴォ 1 単半(volére)v.t 望まなかった 「動詞句」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

facesse ファチェッセ 接・3 単半・推量(fare)v.t するだろう 「動詞」

「主語」は王子様

uno sforzo. ウノ・スフォルツォ n.m 骨折りを 「目的語」

「僕にさせて欲しい」と、彼に言った。「君には重すぎるから」

"Lasciami fare", gli dissi, "è tròppo pesante per te".

《「動詞」「目的語」「補語」》, 「間接目的語」「動詞」, 《「動詞」「補語」》

XXV

"Lasciami ラッシャ・ミ 命・2 単現・使役・依頼(lasciare+mi)

v.t(SVO+不定詞 O に～) 僕にさせて頂戴

「動詞」「目的語」

fare", ファーレ 不定詞・mi の動作 v.t する

「補語」

gli リ pron 彼に

「間接目的語」

dissi, ディッシ 1 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

"è エ 3 単現(èssere)v.i ～である

「動詞」

troppo pesante トロッポ・ペサンテ adj. 重すぎる

「補語」

per te". ヘル・テ adv. (関連) 君には

「副詞句」

僕はゆっくりと井戸の縁まで手桶を引き上げ、倒れないように注意してそこに置いた。

Lentaménte issai il sécchio fino all'órlo del pózzo. Lo misi bène in equilibrio.

「副詞」「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「目的語」「動詞」「副詞句」

Lentaménte レンタメンテ adv(lènto). ゆっくりと

「副詞」

issai イサイ 1 単遠(issare)v.t (綱で) 引き上げた

「動詞」

il sécchio イル・セッキオ n.m 手桶を、釣瓶を

「目的語」

fino フィーノ prep (場所) (a) ～まで

「副詞句」

all'órlo ア・ロロ adv. 縁

「目的語」

del pózzo. テル・ポツ adj. 井戸の

「形容詞句」

Lo ロ pron (sécchio の代用) それを

「目的語」

misi ミシ 1 単遠(méttere)v.t 置いた

「動詞」

bène ベーネ adv. よく、うまく

「副詞句」

in equilibrio. イン・エキリブリオ adv. バランスについて

「副詞句」

僕の耳の中では、滑車の歌が続いていた。そしてまだ震えている水の中には、太陽が震えているのが見えた。

Nelle mie orécchie perdurava il canto della carrùcola e nell'acqua che tremava ancóra, vedevo tremare il sóle.

Nelle mie orécchie ネッレ・ミーエ・オレッキエ adv. 僕の耳の中に

「副詞句」

perdurava ヘル・トゥラーヴァ 3 単半・持続(perdurare)v.i 続いていた

「動詞」

il canto イル・カント n.m 歌が

「主語」

della carrùcola テッラ・カルコラ adj. 滑車の

「形容詞句」

e エ conj. そして

nell'acqua ネ・ラクわ adv. 水の中には

「副詞句」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

tremava トレマバ 3 単半・時制の一致(tremare)v.i 震えている

「動詞」

ancóra, アンコーラ adv. まだ

「副詞」

XXV

vedevo ヴェデボ 1 単半・知覚動詞(vedere)v.t(SVO+不定詞 Oが～するのが) 見えた「動詞」
 tremare トレマレ 不定詞・sôle の動作 v.i 震える 「補語」
 il sóle. イル・ソーレ n.m 太陽が 「目的語」

「この水が欲しかったんだ」と、王子さまは言った、「僕に飲ませて...」

"Ho sete di questa acqua", disse il piccolo principe, "dammi da bere..."

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」》

"Ho オ 1 単現(avère)v.t ～がある「動詞」

sete セーテ n.f 熱望、喉の渇き「目的語」

di questa acqua", ティ・クェスタ・アックワ adj. この水の「形容詞句」

disse ティッセ 3 単遠(dire)v.t 言った「動詞」

il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは「主語」

"dammi da bere..." ダンミ・ダ・ベーレ 命・2 単現(dare da bere+mi)

v.t 僕に飲ませて「動詞句」

そして、僕は彼が何を求めているのか分かった！

E capii quello che aveva cercato!

E 「動詞」「目的語」

E エ conj. そして

capii カピイ 1 単遠(capire)v.t 理解した、分った

「動詞」

quello ケッロ pron それを

「目的語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

aveva cercato! アヴェーウァ・チェルカート 3 単半・完了形(cercare)

v.t 求めている

「動詞句」

僕は手桶を彼の唇まで持ち上げた。

Sollevai il secchio fino alle sue labbra.

「動詞」「目的語」「副詞句」

Sollevai ソルバイ 1 単遠(sollevare)v.t 持ち上げた

「動詞」

il secchio イル・セッキオ n.m 手桶を

「目的語」

fino フィーノ prep (場所) (a まで) ～まで

「副詞句」

alle sue labbra. アレ・スエ・ラッブラ adv.(labbro) 彼の唇に

「間接目的語」

labbra ラッブラ pl(labbro).n.m 唇 ([複]le labbra)、口 ([複]i labbri)

彼は目をつぶって飲んだ。それは祭りのように嬉しくなるものだった。

Bevette con gli occhi chiusi. Era dolce come una festa.

「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「補語」

Bevette ベベテ 3 単遠(bere)v.t 飲んだ

「動詞」

XXV

con gli occhi chiusi. コン・リ・オッキ・キュージ adv. (様態) 目をつぶって 「副詞句」
 Era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」
 dolce ドルチェ adj. あまい、うっとりする、うれしい 「補語」
 come una festa. コーメ・ウナ・フェスタ adv. (類似) 祭りのように 「副詞句」

この水は、食べ物とは全くの別物だった。

Qu'est'acqua era bèn altra còsa che un aliménto. 「主語」「動詞」「補語」
 Qu'est'acqua クェスタックわ n.f この水は 「主語」
 era エラ 3 単半(essere)v.i ~だった 「動詞」
 bèn altra còsa ベン・アルトラ・コサ n.f 全く異なる物 「補語」
 bèn ベン adv. (bène の語尾切断形) (強調) 全く、とても
 che ケ conj. (比較) ~とは 「副詞句」
 un aliménto. ウン・アリメント n.m 食べ物 「目的語」

その水は、星の下の歩行から、滑車の歌から、そして僕の腕の労働から誕生したのだった。

Era nata dalla marcia sòtto le stéлле, dal canto della carrùcola, dallo sforzo delle mie bràccia. 「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」, 「副詞句」
 Era nata エラ・ナタ 3 単半・完了形(nàscere)v.i 誕生した 「動詞句」
 dalla marcia ダッラ・マルチャ adv. (手段) 歩行から 「副詞句」
 sòtto ソット prep (位置) ~の下 「副詞句」
 le stéлле, レ・ステッレ pl(stélla).n.f 星 「目的語」
 dal canto ダル・カント adv. (手段) 歌から 「副詞句」
 della carrùcola, デッラ・カルコラ adj. 滑車の 「形容詞句」
 dallo sforzo ダッロ・スフォルツォ adv. (手段) 骨折りから 「副詞句」
 delle mie bràccia. デッレ・ミー・ブラッチャ adj. 僕の腕の 「形容詞句」

それは贈り物のように心に良いものだった。

Faceva bène al cuòre, còme un dóno. 「動詞」「副詞」「間接目的語」「副詞句」
 Faceva ファチェーヴァ 3 単半(fare)v.i 効いていた 「動詞」
 bène ベーネ adv. よい 「副詞」
 al cuòre, アル・クオーレ adv. 心に 「間接目的語」
 còme コーメ adv. (比較・類似) ~のように 「副詞句」
 un dóno. ウン・ドノ n.m 贈り物 「目的語」

XXV

僕が小さかった頃、クリスマスツリーの明かりや、深夜ミサの音楽や、みんなの微笑みの優しさが僕が受け取ったクリスマス・プレゼントを輝かせていたんだ。

Quando ero piccolo, le luci dell'álbero di Natale, la música della Mèssa di mezzanotte, la dolcezza dei sorrisi, facevano risplendere i dóni di Natale che ricevevo.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Quando クわント conj. ～する時

「副詞節」

èro エロ 1 単半(èssere)v.i ～だった

「動詞」

piccolo, ピッコロ adj. 小さい、幼い

「補語」

le luci レ・ルーチ pl(luce).n.f 明かりが

「主語」

dell'álbero di Natale, デッ・ラー・ベル・ロ・デー・イ・ナターレ adj. クリスマスツリーの

「形容詞句」

la mùsica ラ・ムージカ n. 音楽が

「主語」

della Mèssa di mezzanotte, デ・ラ・メッサ・デー・メッサ・ノッテ adj. 深夜ミサの

「形容詞句」

la dolcezza ラ・ドルチェッツァ n.f 優しさが

「主語」

dei sorrisi, デイ・ソリーシ adj.pl 微笑みの

「形容詞句」

facevano risplendere ファチェヴァ・アノ・リスプレンドレ 3 複半・使役(fare+不定詞)

v.t 輝かせていた

「動詞句」

i dóni di Natale イ・ドーニ・デー・イ・ナターレ pl(dóno).n.m クリスマス・プレゼントを

「目的語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

ricevevo. リチェヴェヴォ 1 単半(ricévere)v.t 受け取った

「動詞」

「君の所では、人々は」と、王子さまは言った。「1 つの同じ庭園で 5000 本のバラの花を栽培している... けれど、探している物が見つからないんだね...」

"Da te, gli uòmini", disse il piccolo principe, "coltivano cìnquemila ròse nello stéssso giardino..." e non trovano quéllo che cercano..."

《「副詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「目的語」「副詞句」, e 「動詞句」「目的語」》

"Da te, ダ・テ adv. 君の所では

「副詞句」

gli uòmini", リ・ウオーミニ pl(uòmo).n.m 人々は

「主語」

disse デイッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

"coltivano コルチヴァノ 3 複現(coltivare)v.t 栽培している

「動詞」

cìnquemila ròse チンクェミラ・ローセ pl(ròsa).n.f 5000 本のバラの花を

「目的語」

nello stéssso giardino..." ネッロ・ステッソ・ジアルディーノ adv. 1 つの同じ庭園で

「副詞句」

e エ conj. そして

non trovano ノントロヴァノ 3 複現・否定(trovare)v.t 見つからない

「動詞句」

quéllo ケッロ pron それが

「目的語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

XXV

cercano..." チェルカノ 3 複現(cercare)v.t 探している

「動詞」

「見つからないんだね」と、僕は答えた。

"Non lo trovano", risposi.

《「動詞句」「目的語」「動詞句」》, 「動詞」

"Non ...trovano", ノン・トロヴァノ 3 複現・否定(trovare)v.t 見つからない

「動詞句」

lo ロ pron それ

「目的語」

risposi. リスポジ 1 単遠(rispondere)v.i 答えた

「動詞」

「それでも、探している物は、たった 1 本のバラの花の中やほんの少しの水の中に見つかるはずなのに...」

"E tuttavia quello che cercano potrebbe essere trovato in una sola rosa o in un po' d'acqua..."

《E tuttavia 「主語」「動詞句」「副詞句」》

"E エ conj. そして

tuttavia トウツタヴァイア conj. それでも

quello ケッロ pron それは

「主語」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

cercano チェルカノ 3 複現(cercare)v.t 探している

「動詞」

potrebbe essere trovato ポ・トレッベ・エッレ・トロヴァート 条・3 単現・受動・当然

(potére+不定詞 trovare・受動形)v.t 見つけられるはずである

「動詞句」

in una sóla rosa イン・ウナ・ソー・ローザ adv. たった 1 本のバラの花の中に

「副詞句」

o オ conj. または

in un po' d'acqua..." イン・ウン・ポ・ダックワ adv. ほんの少しの水の中に

「副詞句」

「その通りだとも」と、僕は答えた。

"Certo", risposi.

《「応答」》, 「動詞」

"Certo", チェルト adv. 確かに、その通りだ

「応答」

risposi. リスポジ 1 単遠(rispondere)v.i 答えた

「動詞」

すると、王子さまは付け加えた：

E il piccolo principe soggiunse:

E 「主語」「動詞」

E エ conj. そして

il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

soggiunse: ソジ ャンセ 3 単遠(soggiungere)v.t 付け加えた

「動詞」

XXV

「だけど、目と言うものは盲目なんだ。心で探さなければいけないんだ」

"Ma gli occhi sono ciechi. Bisogna cercare col cuore".

《Ma 「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「主語」》

"Ma マ conj. しかし

gli occhi リ・オッキ pl(occhio).n.m 目は 「主語」

sono ソーノ 3 複現(être)v.i 〜である 「動詞」

ciechi. チェッキ adj(cieco).pl 盲目の、目の見えない 「補語」

Bisogna+不定詞 ビゾーニャ 3 単現・非人称・必要(bisognare)v.h 〜する必要がある 「動詞」

cercare チェルカーレ 不定詞 v.t 探すが 「主語」

col cuore". コル・クオーレ adv. (手段) 心で 「副詞句」

僕は水を飲んで、一息ついていた。砂は、夜明けには、蜜の色だ。

Avevo bevuto. Respiravo bene. La sabbia, al levar del sole, era color del miele.

「動詞句」 | 「動詞」「副詞」 | 「主語」「副詞句」「動詞」「補語」

Avevo bevuto. アヴ・ェーヴ・ォ・ベヴート 1 単半・完了形(bere)v.t 飲んだ 「動詞句」

Respiravo レスピラーヴォ 1 単半(respirare)v.i 息をした 「動詞」

bene. ベーネ adv. うまく 「副詞」

La sabbia, ラ・サッビア n.f 砂は 「主語」

al levar del sole, アル・レヴァール・テル・ソル adv. (時間) 日の出には、夜明けには 「副詞句」

levar レヴァール n.m(levare) (太陽の) 出 sole ソーレ n.m 太陽、日

era エラ 3 単半・時制の一致(essere)v.i 〜である 「動詞」

color del miele. コロール・デ・ミエーレ n.m 蜜の色 「補語」

color コロール n.m(colóre) 色 miele ミエーレ n.m ハチミツ、蜜

僕はこの蜜の色によっても幸せだった。それに反してどうして思い悩むのだろうか？

Èro felice anche di questo color di miele. Perché mi sentivo invece angustiato?

「動詞」「補語」 | 「副詞」「動詞句」「補語」

Èro エロ 1 単半(essere)v.i 〜だった 「動詞」

felice フェリーチェ adj. 幸せな 「補語」

anche アンケ conj. もまた

di questo color ディ・クェスト・コロール adv. (理由) この色によって 「副詞句」

di miele. ディ・ミエーレ adj. 蜜の 「形容詞句」

Perché ペルケ adv. どうして 「副詞」

mi sentivo ミ・センチヴォ 1 単半・時制の一致(sentirsi)v.pr 感じる、〜の気分になる 「動詞句」

invece angustiato? インヴェーチェ・アングースチアト adj. 反対に悩み多い 「補語」

XXV

「君は約束を守らなきゃいけないよ」と、王子さまは僕に優しく言った。それからまた僕のそばに腰をおろした。

"Devi mantenére la tua proméssa", mi disse dolceménte il piccolo principe, che di nuòvo si era seduto vicino a me.

《「動詞句」「目的語」》, 「間接目的語」「動詞」「副詞」「主語」,

che 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

"Devi mantenére デヴィ・マンテネレ 2 単現・必要(dovére+不定詞 mantenére)

v.t. ～を守らなければならない

「動詞句」

la tua proméssa", ラ・トゥーア・プロメッサ n.f. 君の約束を

「目的語」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t. 言った

「動詞」

dolceménte ドルチェメンテ adv. 穏やかに、優しく

「副詞」

il piccolo principe, イル・ピッコロ・プリンチペ n.m. 王子さまは

「主語」

che ケ conj. その時～

di nuòvo ディ・ヌーヴォ adv. 再び、また

「副詞句」

si era seduto シ・エラ・セドゥート 3 単半・完了形(sedersi)v.pr. 座った、腰をおろした

「動詞句」

vicino a me. ヴィチーノ・ア・メ adv. 僕のそばに

「副詞句」

「どんな約束だっけ？」

"Quale proméssa?"

《「質問」》

"Quale proméssa?" クワレ・プロメッサ n.f. どんな約束

「質問」

「ほら... 僕の羊につける口輪だよ... 僕はあの花に責任があるんだ！」

"Sai... una museruòla per la mia pècora... sono responsàbile di quel fióre!"

《「注意喚起」...「主語」...「動詞」「補語」》

"Sai... サイ 2 単現(sapére)v.t. ほら、分るだろう

「注意喚起」

una museruòla ウナ・ムゼルラ n.f. (動物の) 口輪

「主語」

per la mia pècora... ペル・ラ・ミーア・ペーコラ adv. (目的) 僕の羊用の

「副詞句」

sono ソーノ 1 単現(essere)v.i. ～である

「動詞」

responsàbile レスポンスービレ adj.(di に) 責任のある

「補語」

di quel fióre!" ディ・ケル・フィオーレ adv. あの花に

「副詞句」

僕はポケットからスケッチを取り出した。王子さまはそれらを見て、笑いながら言った：

Tirai fuori dalla tasca i miei schizzi. Il piccolo principe li vide e disse ridendo:

「動詞」「副詞句」「目的語」 | 「主語」「目的語」「動詞」 e 「動詞」「副詞」

Tirai チライ 1 単遠(tirare)v.t. 引っ張った

「動詞」

XXV

fuori フォーリ adv. 外に	「副詞」
dalla tasca タッ・タスカ adv. (起点) ポケットから	「副詞句」
i miei schizzi. イ・ミエイ・スキッチ pl(schizzo).n.m スケッチを	「目的語」
Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは	「主語」
li リ pron.m.pl(schizzi の代用) それらを	「目的語」
vide ヴァイテ 3 単遠(vedere)v.t 見た	「動詞」
e エ conj. そして	
disse デイッセ 3 単遠(dire)v.i 言った	「動詞」
ridendo: リデント ジェルンディオ・同時(ridere)v.i 笑いながら	「副詞」

「きみのバオバブは、ちょっとキャベツみたいだね…」

"I tuoi baobàb assomigliano un po' a dei cavoli..."	《「主語」「動詞句」「目的語」》
"I tuoi baobàb イ・トゥイ・バオバブ pl(baobàb).n.m きみのバオバブは	「主語」
assomigliano アッミリアノ 3 複現(assomigliare)v.i(a に) 似ている	「動詞」
un po' a dei cavoli... ウンポ・ア・デイ・カヴァオリ adv.(càvolo) ちょっとキャベツに「間接目的語」	

「ああ!」

"Oh!"	《「間投」》
"Oh!" オー int. ああ!	「間投」

僕はバオバブの絵はあんなに自慢だったのに!

Io, che èro così fièro dei baobàb!	「主語」「動詞」「補語」
Io, イーオ pron 僕は	「主語」
che ケ conj. (事実の提示) ~である	
èro エロ 1 単半(essere)v.i ~だった	「動詞」
così fièro コシ・フィエーロ adj.(di を) あんなに自慢の	「補語」
dei baobàb! デイ・バオバブ adv. バオバブには	「副詞句」

「君のキツネ... その耳は... ちょっと角みたいだ... 長すぎるんだよ!」

"La tua volpe... le sue orecchie... assomigliano un po' a delle corna... e sono troppe lunghe!"	《「主語」...「主語」...「動詞」「補語」e「動詞」「補語」》
"La tua volpe... ラ・トゥーア・ヴォルペ n.f 君のキツネ	「主語」
le sue orecchie... レ・スーエ・オレッキエ pl(orecchia).n.f その耳は	「主語」
assomigliano アッミリアノ 3 複現(assomigliare)v.i ~に似ている	「動詞」
un po' a delle corna... ウンポ・ア・デッレ・コルナ adv.(corno) ちょっと角に	「補語」
e エ conj. そして	

XXV

sono ソーノ 3 複現(èssere)v.i. ～である 「動詞」

troppe lunghe!" トロッポ・ルンゲ adj(lungo).f.pl 長すぎる 「補語」

そう言って、また笑った。

E rise ancóra. E 「動詞」「副詞」

E エ conj. そして

rise リセ 3 単遠(ridere)v.i. 笑った 「動詞」

ancóra. アンコーラ adv. また 「副詞」

「君は公正ではないよ、坊や、僕は中が見えるバオバブと中が見えないバオバブ以外は描き方を知らなかったんだから」

"Sèi ingiusto, ométto, non sapevo disegnare altro che boa dal di dentro e dal di fuori".

《「動詞」「補語」, 「呼びかけ」, 「動詞句」「副詞句」》

"Sèi セイ (èssere)v.i. ～である 「動詞」

ingiusto, インジュースト adj. 不公平な、正しくない 「補語」

ométto, オメット n.m 少年、坊や 「呼びかけ」

non sapevo disegnare ノン・サペーヴォ・ディセニャーレ 1 単半・否定(sapére+不定詞 disegnare)

v.t 絵の描き方を知らなかった 「動詞句」

altro che アルトロ・ケ adv. (non... altro che) (比較) ～以外は 「副詞句」

boa ボア n.m ボア大蛇 「目的語」

dal di dentro ダル・ディ・デントロ adv. 内側からの 「副詞句」

e エ conj. そして

dal di fuori". ダル・ディ・フォーリ adv. 外側からの 「副詞句」

「ああ、分かった」と、王子さまが言った。「子供たちは知っているよ」

"Oh, andrà bène", disse, "i bambini capiscono".

《「間投」「動詞」「副詞」》, 「動詞」, 《「主語」「動詞」》

"Oh, オ int. おお、ああ 「間投」

andrà アンドラ 3 単末(andare)v.i. 進む 「動詞」

bène", ベーネ adv. うまく 「副詞」

→ Va bene! 「分かった、結構です、承知した、オーケー」

disse, ディッセ 3 単遠(dire)v.t. 言った 「動詞」

"i bambini イ・バンビニーニ pl(bambino).n.m 子供たちは 「主語」

capiscono". カピスコノ 3 複現(capire)v.t. 知っている 「動詞」

XXV

それで僕は口輪を描いた。そしてそれを渡すときに、胸が締め付けられた。

Disegnai dunque una museruòla. E avevo il cuore strétto consegnandogliela:

「動詞」 dunque 「目的語」 | E 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

Disegnai ディェニヤイ 1 単遠(disegnare)v.t 描いた 「動詞」

dunque トゥンケ conj. それで

una museruòla. ユン・ムゼールラ n.f (動物の) 口輪を 「目的語」

E エ conj. そして

avevo アヴェーヴォ 1 単半(avére)v.t 〜があった 「動詞」

il cuore イル・クオーレ n.m 胸 「目的語」

strétto スレット adj. 締まった、締め付けられた 「形容詞」

consegnandogliela: コンセニャント・リエラ ジェルンディオ(consegnare+gle+la)

adv. それを彼に渡すときに 「副詞句」

「僕の知らない計画があるんだろう?…」

"Hai dei progetti che ignoro..." 《「動詞」 「目的語」》

"Hai アイ 2 単現・確認(avére)v.t 〜があるんだろう? 「動詞」

dei progetti デイ・プロジェクトィ pl(progetto).n.m 計画 「目的語」

che ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」

ignoro..." イノロ 1 単現(ignorare)v.t 知らない 「動詞」

しかし彼は僕の問いには答えず、僕に言った:

Ma non mi rispose. Mi disse: Ma 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」 | 「間接目的語」 「動詞」

Ma マ conj. しかし

non ...rispose. ノン・リスポース 3 単遠・否定(rispondere)v.t 答えなかった 「動詞句」

mi ミ pron 僕の話に 「目的語」

Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」

disse: ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

「ねえ、僕の地球着陸は... 明日はその記念日なんだ...」

"Sai, la mia caduta sulla Terra ... sarà domani l'anniversario..."

《「注意喚起」 「主語」 ... 「動詞」 「補語」》

"Sai, サイ 2 単現(sapére)v.t (聞き手の注意を引くための前置き) ねえ、おい 「注意喚起」

la mia caduta ラ・ミア・カトゥータ n.f 僕の落下 「主語」

sulla Terra ... スッラ・テラ adv. 地球に 「副詞句」

sarà サラ 3 単末(essere)v.i 〜になる 「動詞」

domani トマーニ adv. 明日は 「副詞」

XXV

l'anniversario..." ランニヴァーリオ n.m 記念日

「補語」

それから、少し黙ってから、さらに言った：

Pòi, dopo un silenzio, disse ancora:

「副詞句」「動詞」「副詞」

Pòi, ポーイ adv. それから

「副詞」

dopo トーポ prep (時間) ～の後で

「副詞句」

un silenzio, ウン・シレンツィオ n.m 沈黙

「目的語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

ancora: アンコーラ adv. また、さらに

「副詞」

「僕はこの近くに着陸したんだ...」

"Èro caduto qui vicino..."

《「動詞句」「副詞句」》

"Èro caduto エロ・カドゥート 1 単半・完了形(cadere)v.i 着陸した、落ちた

「動詞句」

qui vicino..." クィ・ヴィチーノ adv. この近くに

「副詞句」

そう言って、かれは顔を赤らめた。

Ed arrossì.

Ed 「動詞」

Ed エド conj. そして

接続詞 e が、母音、特に e で始まる語の前では ed となる

arrossì. アロッシ 3 単遠(arrossire)v.i 顔が赤くなった

「動詞」

また、なぜか分からないが、奇妙な不快感を感じた。だが、一つの問いが口を衝いて出た。

Di nuòvo, senza capire il perché, provai uno strano dispiacere. Tuttavia una domanda mi venne alle labbra:

「副詞句」, 「動詞」「目的語」 | Tuttavia 「主語」「間接目的語」「動詞」「間接目的語」

Di nuòvo, ディ・ヌヴォ adv. また、再び

「副詞句」

senza +不定詞 センツァ adv. ～せずに

「副詞句」

capire カピレ 不定詞 v.t 理解する、分かる

「動詞」

il perché, イル・ペルケ n.m 理由を

「目的語」

provai プロヴァイ 1 単遠(provare)v.t (感情を) 感じた

「動詞」

uno strano dispiacere. ウノ・ストラノ・ディスピアチェレ n.f 奇妙な不快感を

「目的語」

Tuttavia トゥッタヴィア conj. けれども、しかしながら

una domanda ウナ・ドマンダ n.f 一つの問いが

「主語」

mi ミ pron 僕の

「間接目的語」

venne ヴェンネ 3 単遠(venire)v.i (心に) 浮かんた

「動詞」

alle labbra: アッレ・ラッブラ adv. 口に

「間接目的語」

XXV

口をつく

意図せずに、思いがけず何かを言うてしまうこと

「じゃあ君と知り合ったあの朝、人が住む地域から 1000 マイル離れた所を、君がたった一人で散歩していたのは偶然じゃないんだね！君は着陸地点に戻るところだったんだね？」

"Allóra, non è per caso che il mattino in cui ti ho conosciuto, tu passeggiavi tutto sólo a mille miglia a da qualsiasi regione abitata! Ritornavi verso il punto della tua caduta?"

《「副詞」「動詞句」「補語」「主語」 | 「動詞」「副詞句」》

"Allóra, アッローラ adv. それでは、じゃあ 「副詞」

non è ノ・ネ 3 単現・否定(èssere)v.i. ～ではない 「動詞句」

per caso ペル・カーゾ adv. 偶然に 「補語」

che ケ conj. ～ということは 「主語」

il mattino イル・マッティーノ n.m. あの朝 「副詞句」

in cui イン・クーイ adv. その時～する 「形容詞節」

ti チ pron 君に 「目的語」

ho conosciuto, オ・コノシュート 1 単現・完了形(conoscere)

v.t. 知り合った 「動詞句」

tu トゥ pron 君は 「主語」

passeggiavi パッセジヤーヴァイ 2 単半(passeggiare)v.i. 散歩をしていた 「動詞」

tutto sólo トゥット・ソーロ adv. たった一人で 「副詞句」

a mille miglia ア・ミッレ・ミリア adv. (位置) 1000 マイルのところを 「副詞句」

da ダー prep. ～から 「副詞句」

qualsiasi regione クォルシヤーシ・レジオーネ n.f. どんな地域 「目的語」

abitata! アビタータ adj(abitato).f. 人の住む 「形容詞」

Ritornavi リトルナーヴァイ 2 単半(ritornare)v.i. 戻るところだった 「動詞」

verso ヴェールソ prep. (方向) ～の方へ 「副詞句」

il punto イル・プント n.m. 地点 「目的語」

della tua caduta?" デッラ・トゥア・カドゥータ adj. 君が着陸した 「形容詞句」

王子さまはまた顔を赤らめた。

Il piccolo principe arrossì ancóra. 「主語」「動詞」「副詞」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m. 王子さまは 「主語」

arrossì. アロシ 3 単遠(arrossire)v.i. 顔が赤くなった 「動詞」

ancóra. アンコーラ adv. また 「副詞」

XXV

それから僕は、ためらいながら、付け加えた。

E aggiunsi, esitando:

E 「動詞」「副詞句」

E エ conj. そして、それから

aggiunsi, アジュンシ 1 単遠(aggiungere)v.t 付け加えた

「動詞」

esitando: エシタント ジェルンディオ(esitare)adv. ためらいながら

「副詞句」

「たぶん、記念日のためだね？」

"Per l'anniversario, forse?"

《「副詞句」》

"Per ヘル prep (目的) ~のため

「副詞句」

l'anniversario, ランニヴェルサリオ n.m 記念日

「目的語」

forse?" フォルセ adv. たぶん、おそらく

「副詞」

王子さまはまた顔を赤らめた。

Il piccolo principe arrossì di nuovo.

「主語」「動詞」「副詞句」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

arrossì アロッシ 3 単遠(arrossire)v.i 顔が赤くなった

「動詞」

di nuovo. ディ・ヌォヴォ adv. また

「副詞句」

彼は質問には決して答えない、けれど、顔を赤らめるのは「そうです」を意味するんだよね？

「ああ」と、僕は彼に言った。「心配だよ...」

Non rispondeva mai alle domande, ma quando si arrossisce vuol dire "sì", non è véro?

"Ah!" gli dissi, "ho paura..."

「動詞句」「副詞」「間接目的語」,ma「副詞節」,「動詞句」「目的語」,

「動詞句」「補語」 | 《「感嘆」》,「間接目的語」「動詞」,《「動詞」「目的語」》

Non rispondeva ノン・リスpondeヴァ 3 単半・否定・時制の一致(rispondere)

v.i(a に) 答えない

「動詞句」

mai マイ adv. 決して～ない

「副詞」

alle domande, アル・トマンダ adv. 質問には

「間接目的語」

ma マ conj. けれども

quando クワンド conj. ~する時

「副詞節」

si arrossisce シ・アロシセ 3 単現(arrossirsi)v.pr 顔を赤らめる

「動詞句」

vuol dire ヴォル・ディーレ 3 単現・願望(volere dire)v.t ~を意味する

「動詞句」

"sì", シ adv. そうです

「目的語」

non è ノネ 3 単現・否定・疑問文(essere)v.i ~ではないの？

「動詞句」

véro? ヴェロ adj. 本当の

「補語」

"Ah!" アー int. ああ

「感嘆」

XXV

gli リ pron 彼に 「間接目的語」
 dissi, ディッシ 1 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 "ho オ 1 単現(avére)v.t 〜がある 「動詞」
 paùra..." パウーラ n.f 心配、恐れ 「目的語」

しかし、彼は僕に答えた：

Ma mi rispose: Ma 「間接目的語」「動詞」
 Ma マ conj. しかし
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 rispose: リスポーセ 3 単遠(rispondere)v.i 答えた 「動詞」

「さあ、君は仕事をしなさい。故障した飛行機に戻るんだ。ここで君を待っている。明日の夕方に戻っておいで」

"Óra devi lavorare. Devi riandare dal tuo malore. Ti aspetto qui. Ritorna domani séra..."
 《「呼びかけ」「動詞句」 | 「動詞句」「間接目的語」
 「目的語」「動詞」「副詞」 | 「動詞」「副詞句」》

"Óra オーラ adv. さあ、今は 「呼びかけ」
 devi lavorare. デヴイ・ラヴ オーレ 2 単現・必要(dovére+不定詞 lavorare)
 v.i 仕事をしなければならない 「動詞句」
 Devi riandare デヴイ・リアンダレ 2 単現・必要(dovére+不定詞 riandare)
 v.i 引き返さなければならない 「動詞句」
 dal tuo malore. ダル・トゥオ・マローレ adv. (行き先) 君の故障した飛行機に 「間接目的語」
 Ti チ pron 君を 「目的語」
 aspetto アスペット 1 単現(aspettare)v.t 待っている 「動詞」
 qui. クイ adv. ここで 「副詞」
 Ritorna リトルネ 命・2 単現(ritornare)v.i 戻っておいで 「動詞」
 domani séra..." トマーニ・セーラ adv. 明日の夕方 「副詞句」

しかし僕の気持ちは穏やかではなかった。僕はキツネのことを思い出していた。

Ma non èro rassicurato. Mi ricordavo della vólpe.
 Ma 「動詞句」「補語」 | 「動詞句」「間接目的語」
 Ma マ conj. しかし
 non èro ノン・エロ 1 単半・否定(essere)v.i 〜でなかった 「動詞句」
 rassicurato. ラッシクラト adj. 安心した 「補語」
 Mi ricordavo ミ・リコルダヴァ 1 単半(ricordarsi)v.pr(di を) 思い出した 「動詞句」
 della vólpe. デラ・ヴォルペ adv. キツネのことを 「間接目的語」

XXVI

飼いならされてしまうと、人は少し泣き出してしまう...

Si arrischia di piangere un poco se ci si è lasciati addomesticare...

「動詞句」「副詞句」

Si arrischia シ・アリシア 3 単現(arrischiarsi)v.pr(di+不定詞) あえて～する 「動詞句」

di piangere ディ・ピ°アンジ°エレ 不定詞 v.i 泣く 「動詞句」

un poco ウン・ポ°コ adv. 少し 「副詞句」

se セ conj. (仮定) もし～ならば 「副詞節」

ci チ pron 私たちを 「目的語」

si è lasciati addomesticare... シ・エ°ラッジャーティ°アット°メスチカーレ 3 単現・完了形・使役

(lasciare+不定詞 addomesticarsi)v.pr 飼いならすまかにさせた 「動詞句」

XXVI

井戸のそばに、壊れた古い石壁があった。

C'era a fianco del pózzo un vecchio muro di pietra in rovina. 「動詞」「副詞句」「主語」

C'era チェラ 3 単半・存在(essere)v.i ～があった 「動詞」

a fianco ア°フィアンコ adv. (方向) ～のそばに 「副詞句」

del pózzo デル°ポ°ツツ adj. 井戸の 「形容詞句」

un vecchio muro ウン°ウ°ェッキオ°ム°ロ n.m 古い壁が 「主語」

di pietra ディ°ピ°エルタ adj. (材料) 石の 「形容詞句」

in rovina. イン°ロヴァ°ィナ adv. (状態) 壊れた 「副詞句」

翌日の夕方、僕が仕事から戻ると、王子様が石壁の上に座って足を垂らしているのが遠くから見えた。そして、王子様が話しているのが聞こえた。

Quando ritornai dal mio lavóro, l'indomani sera, vidi da lontano il mio piccolo principe che era seduto là sopra le gambe penzoloni. Lo udii che parlava.

「副詞節」, 「動詞」「副詞句」「目的語」 | 「目的語」「動詞」「目的語」

Quando クワント° conj. ～すると 「副詞節」

ritornai リトルナイ 1 単遠(ritornare)v.i 戻った 「動詞」

dal mio lavóro, ダル°ミーオ°ラウ°オーロ adv. 仕事から 「副詞句」

l'indomani sera, リント°マーニ°セーラ adv. 翌日の夕方に 「副詞句」

vidi ヴァ°イ°ディ 1 単遠(vedere)v.t 見えた 「動詞」

da lontano ダ°ロンターノ adv. 遠くから 「副詞句」

il mio piccolo principe イル°ミーオ°ピ°ッコロ°プリンチ°ペ n.m 王子さまが 「目的語」

che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

XXVI

era seduto エラ・セドゥート 3 単半・完了形・時制の一致(sedére)

v.i 座っている

「動詞句」

là sopra, ラ・ソプラ adv. (位置) 壁の上に

「副詞句」

le gambe レ・ガンベ pl(gamba).n.f 両脚を

「目的語」

penzoloni. ペンゾローニ

adv. (様態) 垂らして、宙ぶらりんにして

「副詞句」

Lo ㇿ pron それを

「目的語」

udii ウディイ 1 単遠(udire)v.t 聞こえた

「動詞」

che ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

parlava. パルラーヴァ 3 単半・時制の一致(parlare)v.t 話す

「動詞」

「もう覚えていないんだね？」と、彼は言った。「ここではないよ！」

"Non te ne ricòrdi più?" diceva, "non è pròprio qui!"

《「動詞句」「副詞」》, 「動詞」, 《「動詞句」「補語」》

"Non te ne ricòrdi ノ・テ・ネ・リコルディ 2 単現・否定・疑問文(ricordarsi)

v.pr そのことを覚えていないんだね？

「動詞句」

più?" ピウ adv. もう

「副詞」

diceva, ディチェヴァ 3 単半(dire)v.t 言った

「動詞」

"non è ノ・ネ 3 単現・否定(essere)v.i ～でない

「動詞句」

pròprio プロピオ adj.(= pròprio) 適切な、正しい

「補語」

qui!" クイ adv. ここは

「副詞」

恐らく、別の声が彼に答えたのだろう。彼が言い返したから：

Un'altra vóce sènza dùbbio gli rispondeva, perché égli replicò:

「主語」「副詞句」「目的語」「動詞」, 「副詞節」

Un'altra vóce ウ・ナルトラ・ヴォーチェ n.f 別の声が

「主語」

sènza dùbbio センツァ・トゥッビオ adv. おそらく、きっと

「副詞句」

gli リ pron 彼に

「目的語」

rispondeva, リスポンテヴァ 3 単半(rispondere)v.t 答えた

「動詞」

perché ペルケ conj. (原因) ～なので

「副詞節」

égli エリ pron 彼は

「主語」

replicò: レプリコ 3 単遠(replicare)v.t 答えた、言い返した

「動詞」

「そう、そう！日付はこれで合っている、だけど、場所はここじゃあない...」

"Sì! Sì! È pròprio quèsto il giòrno, ma non è qui il luògo.."

《「応答」 | 「動詞」「補語」「主語」, ma 「動詞句」「補語」「主語」》

XXVI

"Si! Si! シ・シ adv. そう、そう	「応答」
È エ 3 単現(èssere)v.i. ～である	「動詞」
proprio プロピオ adj. (= proprio) 正しい、合っている	「補語」
questo il giorno, クェスト・イル・ジョルノ n.m. この日付は	「主語」
ma マ conj. しかし	
non è ノネ 3 単現・否定(èssere)v.i. ～でない	「動詞句」
qui クイ adv. ここ	「補語」
il luogo..." イル・ルエゴ n.m. 場所は	「主語」

僕は壁に向かって進んだ。

<u>Continuai il mio cammino verso il muro.</u>	「動詞」「目的語」「副詞句」
Continuai コンチヌアイ 1 単遠(continuare)v.t. 続けた	「動詞」
il mio cammino イル・ミオ・カンミノ n.m. 歩みを	「目的語」
verso ヴェールソ prep (方向) ～のほうへ	「副詞句」
il muro. イル・ムロ n.m. 壁	「目的語」

相変わらず、誰一人として見えなかったし、声も聞こえなかった。それでも王子さまはまた言い返した：

<u>Non vedevo, né udivo ancora l'altra persona. Tuttavia il piccolo principe replicò di nuovo:</u>	「動詞句」, 「動詞句」「副詞」「目的語」 <u>Tuttavia</u> 「主語」「動詞」「副詞句」
Non vedevo, ノン・ヴェデーヴォ 1 単半・否定(vedere)v.t. 見えなかった	「動詞句」
né udivo ネ・ウデーヴォ 1 単半・否定・連続(udire)v.t.(non... né) 聞こえもしなかった	「動詞句」
ancora アンコーラ adv. 相変わらず、いまだに	「副詞」
l'altra persona. ラルトラ・ペルソナ n.f. 誰一人として	「目的語」
Tuttavia トウッタヴァイア conj. それでも	
il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m. 王子さまは	「主語」
replicò レプリコ 3 単遠(replicare)v.t. 答えた	「動詞」
di nuovo: ディ・ヌオーヴォ adv. また、再び	「副詞句」

「... そうだよ。砂の中のどこから、僕の足跡が始まっているかが分かるよ」

"... <u>Sicuro. Vedrai dove incominciano le mie tracce nella sabbia.</u>	《「応答」 「動詞」「目的語」》
"... Sicuro. シーロ adv. 確かに、その通り、そうだよ	「応答」
Vedrai ヴェトライ 2 単末(vedere)v.t. 分かるだろう	「動詞」
dove adv. どこで～するかということ	「目的語」
incominciano インコンチャノ 3 複現(incominciare)v.i. 始まっている	「動詞」

XXVI

le mie traccie レ・ミー・トラッチェ pl(tràccia).n.f 僕の足跡が
nella sabbia. ネッラ・サッビア adv. 砂の中で

「主語」
「副詞句」

「君はそこで僕を待っていていればいいよ。僕は今夜そこへ行くから」

Non hai che da attendermi là. Ci sarò questa notte".

《「動詞句」「目的語」 | 「副詞」「動詞」「副詞句」》

Non hai ノ・アイ 2 単現・否定(avére)v.t ~がない

「動詞句」

che ケ pron (除外) 事しか、~以外の事

「目的語」

da attendermi là. ダ・アッテンデル・ミ・ラー 不定詞

adv. (義務) そこで僕を待つべきである

「動詞句」

Ci チ adv. そこへ

「副詞」

sarò サ 1 単未・移動・意思(essere)v.i ~に行く

「動詞」

questa notte". ケスタ・ノッテ adv. 今晚、今夜

「副詞句」

僕は壁から 20 メートルのところにが、やはり何も見えなかった。

Èro a venti metri dal muro e non vedevo ancora nulla.

「動詞」「副詞句」 e 「動詞句」「副詞」「目的語」

Èro エロ 1 単半・存在(essere)v.i ~にいた

「動詞」

a venti metri ア・ヴェンチ・メトリ adv. 20 メートルのところに

「副詞句」

dal muro ダル・ムーロ adv. (起点) 壁から

「副詞句」

e エ conj. そして

non vedevo ノン・ヴェデーヴォ 1 単半・否定(vedere)v.t 見えなかった

「動詞句」

ancora アンコーラ adv. いまだに、やはり

「副詞」

nulla. ヌッラ pron 何も~ない

「目的語」

王子さまは、少し黙り込んでから、さらに言った：

Il piccolo principe disse ancora, dopo un silenzio:

「主語」「動詞」「副詞句」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは

「主語」

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

ancora, アンコーラ adv. さらに

「副詞」

dopo un silenzio: ドーポ・ウン・シレンツィオ adv. 黙り込んだ後で

「副詞句」

「良い毒を持っているんだよね？あまり長く苦しめないって、確かだよね？」

"Hai del buon veléno? Sei sicuro di non farmi soffrire troppo tempo?"

《「動詞」「目的語」 | 「動詞」「補語」》

"Hai アイ 2 単現・疑問文・確認(avére)v.t ~を持っているんだよね？

「動詞」

XXVI

del buon veléno? テル・ブォン・ベレノ	n.m	良い毒を	「目的語」
Sèi セイ	2 単現・疑問文(èssere)v.i	～なのかい?	「動詞」
sicuro シケーロ	adj.	確かな	「補語」
di +不定詞 ディ	adv. (関連)	～することについて	「副詞句」
non farmi soffrire ノン・ファルミ・ソフリーレ	不定詞・使役・否定(fare+mi+不定詞)		
v.t		僕を苦しめない	「動詞句」
troppo tèmpo?" トロッポ・テンポ	adv. (否定文で)	あまり長く	「副詞句」

僕は立ち止まった。胸が締め付けられる思いがした。それでも何も分からなかった。

Mi arrestai, il cuore strétto, ma ancóra non capivo.

			「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」, ma 「副詞」「動詞句」
Mi arrestai, ミ・アレスタイ	1 単遠(arrestarsi)v.pr	立ち止まった	「動詞句」
il cuore イル・クオーレ	n.m (状況)	胸が～	「副詞句」
strétto, スレット	adj.	締め付けられた	「形容詞」
ma マ	conj.	しかし	
ancóra アンコーラ	adv.	いまだに	「副詞」
non capivo. ノン・カピョーヴォ	1 単半(capire)v.t	分からない	「動詞句」

「さあ、もう行きなさい」と、王子様が言った。「僕は降りたいんだよ」それで、僕も視線を壁の足元に下げると、思わず飛び上がってしまった。

"Óra vattene," disse, "voglio ridiscendere." Allóra anch'io abbassai gli òcchi ai piedi del muro e feci un salto! 《「呼びかけ」「動詞句」》, 「動詞」, 《「動詞句」》

			「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」e 「動詞」「目的語」
"Óra オーラ	conj.	さあ	「呼びかけ」
vattene," ヴァッテネ	命・2 単現(andàrsene)v.pr	さっさと行きなさい!	「動詞句」
disse, ディッセ	3 単遠(dire)v.t	言った	「動詞」
"voglio ridiscendere."	ヴォーリオ・リディエンテレ	1 単現・願望(volére+不定詞 ridiscendere)	
v.i		降りたい	「動詞句」
Allóra アッローラ	adv.	その時	「副詞」
anch'io アンキョ	pron	僕も	「主語」
abbassai アバッサイ	1 単遠(abbassare)v.t	下げた	「動詞」
gli òcchi リ・オッキ pl(òcchio).n.m		視線を	「目的語」
ai piedi アイ・ピエーティ	adv. (場所)	足元へ	「副詞句」
del muro テル・ムーロ	adj.	壁の	「形容詞句」
e エ	conj.	そして	

XXVI

feci フェチ 1 単遠(fare)v.t (動作を) した

「動詞」

un salto! ウン・サルト n.m 跳ぶこと、跳躍

「目的語」

そこにいたのだ。30 秒で人の命を奪うあの黄色い蛇が 1 匹、王子さまに向かってまっすぐ
起き上がっていたのだ。

C'era là, drizzato verso il piccolo principe, uno di quei serpenti gialli che ti uccidono in
trenta secondi.

「動詞句」「副詞」「主語」

C'era チェラ 3 単半・存在(esserci)v.i 〜がいた

「動詞句」

là, ラー adv. (話してから離れている場所) そこに

「副詞」

drizzato ドリツァート 過去分詞(drizzare)adj. まっすぐ立ち上がった

「形容詞句」

verso il piccolo principe, ヴェールツ・イル・ピッコロ・プリンチペ

adv. 王子さまに向かって

「副詞句」

uno ウノ pron 1 匹が

「主語」

di quei serpenti デイ・ケイ・セルペンティ adj. あの蛇の

「形容詞句」

gialli ジャリ adj(giallo).pl 黄色い

「形容詞」

che ケ conj. (同格) 〜する

「形容詞節」

ti チ pron 人を、君を

「目的語」

uccidono ウチドノ 3 複現(uccidere)v.t 殺す、命を奪う

「動詞」

in trenta secondi. イン・トレンタ・セコンディ adv. 30 秒で

「副詞句」

拳銃を取り出そうとしてポケットの中をかき回したが、僕は駆け出した。しかし、僕がたて
た物音のせいで、まるで噴水が止まるように蛇は穏やかに砂の中へ滑り込んでいった。そし
てあまり急ぎもせず、軽い金属的な物音と共に石の間に入り込んでしまった。

Pur frugando in tasca per prendere il revolver, mi misi a correre, ma al rumore che feci,
il serpente si lasciò scivolare dolcemente nella sabbia, come un getto d'acqua che muore,
e senza troppo affrettarsi si infilò tra le pietre con un leggero rumore metallico.

「副詞句」, 「動詞句」, ma 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」,

e 「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Pur frugando プール・フカント 譲歩・強調(pure+ジェルンディオ frugare)

adv. かき回したけれども

「副詞句」

in tasca イン・タスカ adv. ポケットの中を

「副詞句」

per prendere ペル・プレンドレ 不定詞・目的・結果 adv. 取り出すために

「副詞句」

il revolver, イル・レヴォルヴール n.m 拳銃を

「目的語」

mi misi a correre, ミ・ミッシ・ア・コレレ 1 単遠・開始(méttersi a+不定詞 correre)

v.pr 走り出した

「動詞句」

ma マ conj. しかし

XXVI

al rumóre che feci, アル・ルモーレ	adv. (原因) 僕がたてた物音のせいで	「副詞句」
il serpente イル・セルピ・エンテ	n.m 蛇は	「主語」
si lasciò scivolare シ・ラッショ・シウ・ォーレ	3 単遠・思わず(lasciarsi+不定詞 scivolare)	
v.pr(in ～に)	滑り込んでいった	「動詞句」
dolceménte ドルチェメンテ	adv. 穏やかに	「副詞」
nella sàbbia, ネッラ・サッビ・ア	adv. 砂の中へ	「副詞句」
cóme コーメ	conj. (比喩) ～のように	「副詞節」
un getto ウン・ジ・ェット	n.m 噴出が	「主語」
d'acqua ダ・ックワ	adj. 水の	「形容詞句」
che muore, ケ・ムーレ	adj. 止まる	「形容詞節」
e エ	conj. そして	
sènza +不定詞	adv. (様態) ～せずに	「副詞句」
tròppo トロッポ	adv. (否定文で) あまり～でない	「副詞」
affrettarsi アフレッタシ	不定詞 v.pr 急ぐ	「動詞句」
si infilò シ・インフィロ	3 単遠(infilarsi)v.pr 入り込んだ	「動詞句」
tra トラ	prep (空間) ～の間に	「副詞句」
le piètre レ・ピ・エトレ	pl(pietra).n.f 石	「目的語」
con コン	prep (同伴) ～とともに	「副詞句」
un leggero rumóre ウン・レッジ・ェロ・ルモーレ	n.m 軽い物音	「目的語」
metàllico. メタリコ	adj. 金属的な	「形容詞」

僕は壁の前に到着して、雪のように蒼ざめたわが王子様をちょうど腕の中に受け止めることができた。

Arrivai davanti al muro giusto in tèmpo per ricevere fra le bràccia il mio ométto, pàllido cóme la néve.

Arrivai アリヴァイ	1 単遠(arrivare)v.i 着いた、到着した	「動詞」
davanti ダ・ヴァンティ	prep (位置) (a) ～の前に	「副詞句」
al muro アル・ムーロ	adv. 壁の	「間接目的語」
giusto in tèmpo ジュスト・イン・テンポ	adv. 丁度まにあって	「副詞句」
per ricevere ヘル・リチェーヴ・ェレ	不定詞・目的 adv. 受け止めるために	「副詞句」
fra le bràccia フラ・レ・ブラッチャ	adv. 腕の中に	「副詞句」
le bràccia レ・ブラッチャ	pl(braccio).n.m 腕 注：腕状の物の複数形は i bràcci	
il mio ométto, イル・ミ・オ・オメット	n.m 坊やを、王子様を	「目的語」
pàllido パーリト	adj. 蒼ざめた	「形容詞」
cóme la néve. コーメ・ラ・ネーヴェ	adv. (比喩) 雪のように	「副詞句」

XXVI

「これは何ということかね！ たった今、蛇と話していたとは！」

"Che còs'è quésta stòria! Adèssò parli còi serpènti!".

《「補語」「動詞」「主語」 | 「副詞」「動詞」「副詞句」》

"Che còs' ケ・コサ n.f なんということ 「補語」
 è エ 3 単現・感嘆文(èssere)v.i ~であるのか 「動詞」
 quésta stòria! ケスタ・ストーリア n.f この出来事は 「主語」
 Adèssò アデッソ adv. 今、たった今 「副詞」
 parli パルリ 2 単現(parlare)v.i 話す 「動詞」
 còi serpènti!". コイ・セルペンティ adv. 蛇と 「副詞句」
 còi コイ = con i

僕は彼の金色のスカーフをほどいてやった。

Avevo disfatto la sua sciarpa d'òro.

「動詞句」「目的語」

Avevo disfatto アヴェウ・オ・ディスファット 1 単半・完了形(disfare)v.t 元に戻した 「動詞句」
 la sua sciarpa ラ・スア・シヤールパ n.f 彼のスカーフを 「目的語」
 d'òro. ドーロ adj. 金色の 「形容詞句」

僕は彼のこめかみを濡らし、水を飲ませてあげた。そして今では、もう何も彼に聞く気になれなかった。

Gli avevo bagnato le tèmpie e l'avevo fatto bére. Ed óra non osavo più domandargli niènte.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 e 「目的語」「動詞句」「補語」

Ed 「副詞」「動詞句」「目的語」

Gli リ pron 彼の 「間接目的語」
 avevo bagnato アヴェウ・オ・バニャート 1 単現・完了形(bagnare)v.t 濡らした 「動詞句」
 le tèmpie レ・テンピエ pl(tèmpia).n.f こめかみを 「直接目的語」
 e エ conj. そして
 l' ロ pron 彼に 「目的語」
 avevo fatto アヴェウ・オ・ファット 1 単現・完了形・使役(fare)v.t(O+不定詞) ~させた 「動詞句」
 bére. ベーレ 不定詞・l'の動作 v.t 飲む 「補語」
 Ed エ conj. そして
 óra オーラ adv. 今では 「副詞」
 non osavo ノン・オサヴォ 1 単半・否定(osare)v.t(+不定詞) ~する気になれなかった 「動詞句」
 più domandargli ピウ・トマダール・リ 不定詞 v.t もう彼に訊く 「動詞句」
 niènte. ニエンテ pron 何も~ない 「目的語」

XXVI

彼は深刻そうに僕を見つめて、僕の首に両腕を巻き付けた。彼の心臓が動悸を打つのが感じられた；銃で撃たれて、死んでいく小鳥の最後の心臓の動悸のようだった。僕に言った：

Mi guardò gravemente e mi strinse le braccia al collo. Sentivo battere il suo cuore come quello di un uccellino che muore, quando l'hanno colpito col fucile. Mi disse:

「目的語」「動詞」「副詞」 e 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」

「動詞」「補語」「目的語」「副詞節」

Mi ミ pron 僕を 「目的語」
 guardò グわルト 3 単遠(guardare)v.t 見つめた 「動詞」
 gravemente グラヴェメンテ adv. 深刻そうに 「副詞」
 e エ conj. そして
 mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 strinse スリンセ 3 単遠(stringere)v.t 締め付けた 「動詞」
 le braccia レ・ブラッチャ pl(braccio).n.f 腕を 「直接目的語」
 al collo. アル・コロ adv. (場所) 首に 「副詞句」
 Sentivo センチヴォ 1 単半・知覚動詞(sentire)
 v.t(VO+不定詞) (O が～するのを) 感じた 「動詞」
 battere バッテ 不定詞・cuore の動作 v.i 鼓動がする 「補語」
 il suo cuore イル・スーオ・クオーレ n.m 彼の心臓が 「目的語」
 come コーメ conj. ～のように 「副詞節」
 quello di un uccellino ケットロ・ディ・ウン・ウチェルノ pron 小鳥のそれが 「主語」
 che ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 muore, ムオーレ 3 単現(morire)v.i 死んでいく、死にそうな 「動詞」
 quando クワント conj. ～する時に 「副詞節」
 l' ロ pron (uccellino の代用) それを 「目的語」
 hanno colpito アンノ・コルピト 3 複現・完了形(colpire)
 v.t 撃った 「動詞句」
 受動態に翻訳する
 col fucile. コン・フチーレ adv. (手段) 銃で 「副詞句」
 Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 disse: ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」

「君のエンジンの不具合が見つかって僕はうれしいよ。これで君の所へ戻れるね...」

"Sono contento che tu abbia trovato quello che mancava al tuo motore. Puoi ritornare a casa tua..." 《「動詞」「補語」 | 「動詞句」「間接目的語」》

"Sono ソーノ 1 単現(essere)v.i ～である 「動詞」

contento コンテント adj. うれしい 「補語」

XXVI

che ケ conj. (理由) ～して	「副詞節」
tu チュ pron 君は	「主語」
abbia trovato アッビ・ア・トロヴァート 接・2 単現・完了形・推量(trovare)	
v.t 見つけたらしい	「動詞句」
quello che ケッロ・ケ pron それを	「目的語」
mancava マンカーヴァ 3 単半・時制の一致(mancare)	
v.i 具合の悪い	「動詞」
al tuo motore. アル・トゥーオ・モトーレ adv. 君のエンジンで	「副詞句」
Puoi ritornare プ・オイ・リトルーレ 2 単現・可能(potére+不定詞 ritornare)	
v.i 戻ることが出来る	「動詞句」
a casa tua..." ア・カーサ・トゥア adv. 君の家へ	「間接目的語」

「どうして、それが分かったの？」

"Côme lo sai?"	《「副詞」「目的語」「動詞」》
"Côme コーメ conj. (理由) どうして	「副詞」
lo ロ pron それを	「目的語」
sai?" サイ 2 単現・疑問文(sapére)v.t 知っているの？	「動詞」

僕は思いがけず仕事がうまくいったと、ちょうど彼に知らせに来たところだった。

Stavo appunto per annunciargli che, insperataménte, èro riuscito nel mio lavóro!

	「動詞句」「副詞」「動詞句」「目的語」
Stavo ...per annunciargli スターヴ・ォ...ヘル・アヌンシアル・リ 1 単半・近接未来(stare per+不定詞)	
v.t 彼に知らせに来たところだ	「動詞句」
appunto アッポント adv. ちょうど	「副詞」
che, ケ conj. ～ということを	「目的語」
insperataménte, インスペラタメンテ adv. 思いがけず、予期せず	「副詞」
èro エロ 1 単半(èssere)v.i ～だった	「動詞」
riuscito リウッシート adj.(in に) 成功した	「補語」
nel mio lavóro! ネル・ミーオ・ラヴァーオーロ adv. 僕の仕事に	「間接目的語」

彼は僕の質問には答えず、付け加えた：

<u>Non rispose alla mia domanda, ma soggiunse:</u>	「動詞句」「間接目的語」,ma 「動詞」
Non rispose ノン・リスポ・ーゼ 3 単遠・否定(rispondere)v.i 答えなかった	「動詞句」
alla mia domanda, アッラ・ミーア・トマンダ adv. 僕の質問には	「間接目的語」
ma マ conj. しかし	
soggiunse: ソジューンセ 3 単遠(soggiungere)v.t 付け加えた	「動詞」

XXVI

「僕も、今日、僕のところへ戻るんだよ...」

"Anch'io, oggi, ritorno a casa..."

《「主語」「副詞」「動詞」「副詞句」》

"Anch'io, アンキオ・イオ pron 僕も

「主語」

oggi, オジ` adv. 今日

「副詞」

ritorno リトルノ 1 単現(ritornare)v.i 戻る

「動詞」

a casa..." ア・カーサ adv. 僕の家

「副詞句」

それから、憂鬱そうに：

Pòi, melanconicaménte:

「副詞句」

Pòi, ポーイ adv. それから

「副詞」

melanconicaménte: メランコニカメンテ adv. (様態) 憂鬱そうに、悲しそうに

「副詞」

→ malincònico マルインコニコ adj. 憂鬱な、落胆した → malinconicaménte adv.

「さらにずっと遠いし、さらにずっと困難なんだよ...」

"È molto più lontano... è molto più difficile..."

《「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」》

"È エ 3 単現(èssere)v.i ~である

「動詞」

molto più モルト・ピウ adv. さらにずっと

「副詞句」

lontano... ロンターノ adj. 遠い

「補語」

è エ 3 単現(èssere)v.i ~である

「動詞」

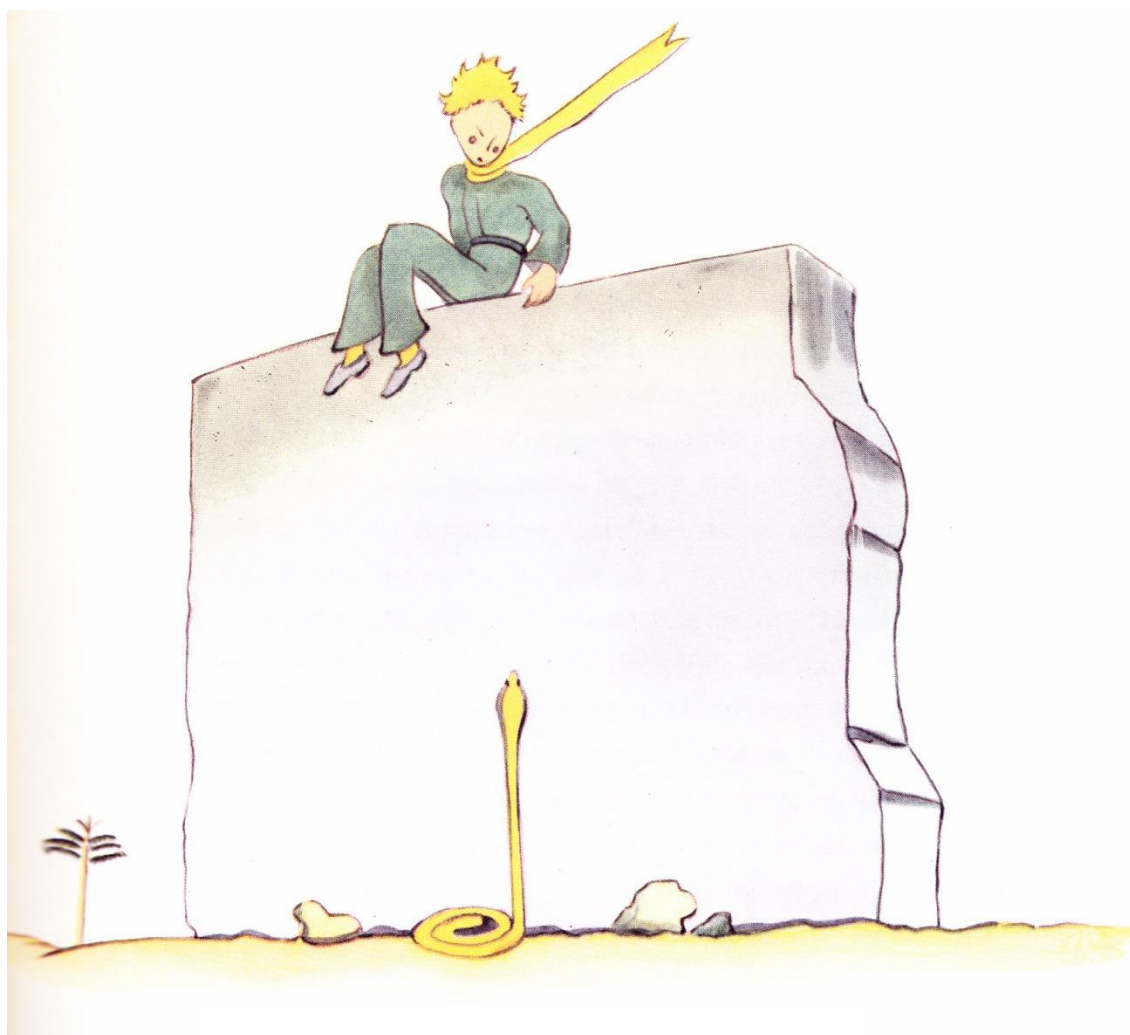
molto più モルト・ピウ adv. さらにずっと

「副詞句」

difficile..." ディッフイーチェレ adj. 困難な

「補語」

XXVI



何か途方もない事が起こっていると感じた。僕は幼子を抱くように、彼を両手で抱きしめた。しかし、僕には彼を引き留めるために何も出来ることがなく、彼が深淵の底へ真っ逆さまに滑り落ちていくように思われた。

Sentivo che stava succedendo qualche cosa di straordinario. Lo stringevo fra le braccia come un bimetto, eppure mi sembrava che scivolasse verticalmente in un abisso, senza che io potessi fare nulla per trattenerlo...

「動詞」「目的語」 | 「目的語」「動詞」「副詞句」, eppure 「間接目的語」「動詞」「主語」

Sentivo センチーヴォ 1 単半(sentire)v.t 感じた 「動詞」

che ケ conj. ～ということを 「目的語」

stava succedendo スターヴァ・スチェデント 3 単半・進行形(stare+ジエルンデイオ succedere)

v.i 起こっている 「動詞句」

qualche cosa クォルク・コーサ n.f 何かが 「主語」

di straordinario. ディ・ストラオルディナリオ adj. 異常な、途方もない 「形容詞句」

XXVI

Lo	ロ	pron	彼を	「目的語」
stringevo	ストリンヅェヴォ	1 単半(stringere)v.t	抱きしめた	「動詞」
fra le braccia	フラ・レ・ブラッチャ	adv.	両腕で	「副詞句」
cóme un bimbetto,	コーメ・ウン・ビンベット	adv.	幼児のように	「副詞句」
eppure	エッポーレ	conj.	しかし	
mi	ミ	pron	僕には	「間接目的語」
sembrava	センブラヴァ	3 単半(sembrare)v.i	～のように見えた	「動詞」
che	ケ	conj.	～ということ	「主語」
scivolasse	シヴォラッセ	接・3 単半(scivolare)v.i	滑り落ちる	「動詞」
verticalmente	ヴェルチカルメンテ	adv.	真っ逆さまに	「副詞」
in un abisso,	イン・ウン・アヴィッソ	adv.	深淵の中へ	「副詞句」
senza che	センツァ・ケ	adv.	～することなく	「副詞節」
io	イオ	pron	僕が	「主語」
potessi fare	ポッテッシアレ	接・1 単半・可能・推量(potére+不定詞)		
	v.t		出来そうな	「動詞句」
nulla	ヌッラ	pron	何も～ない	「目的語」
per trattenerlo...	ペル・トラッテネル・ロ	不定詞・目的		
	adv.		彼を引き留めるために	「副詞句」

彼の視線はまじめで、はるかかなたを見つめていた：

<u>Aveva lo sguardo sèrio, perduto lontano:</u>	「動詞」「目的語」
Aveva アヴェヴァ 3 単半(avére)v.t (特徴を) していた	「動詞」
lo sguardo ロ・スグワルト n.m 視線	「目的語」
sèrio, セリオ adj. まじめな	「形容詞」
perduto ペルトゥート adj. 消えた	「形容詞句」
lontano: ロンターノ adv. 遠く離れて	「副詞」

「君の羊、持っているよ。それに、羊用の箱も。そして、口輪も持ってる…」

" <u>Ho la tua pècora. E ho la cassétta per la pècora. E ho la museruòla...</u> "	《「動詞」「目的語」 E「動詞」「目的語」 E「動詞」「目的語」》			
"Ho	オ	1 単現(avére)v.t	持っている	「動詞」
la tua pècora.	ラ・トゥアー・ペーコラ	n.f	君の羊を	「目的語」
E	エ	conj.	そして	
ho	オ	1 単現(avére)v.t	持っている	「動詞」
la cassétta	ラ・カッセッタ	n.f	箱を	「目的語」
per la pècora.	ペル・ラ・ペーコラ	adv.	羊用の	「副詞句」

XXVI

E エ conj. そして

ho オ 1 単現(avére)v.t 持っている

「動詞」

la museruòla..." ラ・ムゼールオ n.f (動物の) 口輪

「目的語」

そう言って、憂鬱そうに微笑んだ。

E sorrise con malinconia.

E 「動詞」「副詞句」

E エ conj. そして

sorrise リゼ 3 単遠(sorrìdere)v.i 微笑んだ

「動詞」

con malinconia. コン・マリソニーア adv. (様態) 憂鬱そうに

「副詞句」

僕は長いこと待った。彼が少しずつ回復しているのが感じられた：

Attesi a lungo. Sentivo che a poco a poco si riscaldava:

「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「目的語」

Attesi アテジ 1 単遠(attendere)v.t (時に目的語無しに) 待った

「動詞」

a lungo. ア・ルンゴ adv. 長い間

「副詞句」

Sentivo センティヴォ 1 単半(sentire)v.t 感じた

「動詞」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

a poco a poco ア・ポコ・ア・ポコ adv. 次第に、少しずつ

「副詞句」

si riscaldava: シ・リスカルダーヴァ 3 単半・時制の一致(riscaldarsi)

v.pr 暖かくなる、回復している

「動詞句」

「坊や！怖かっただろう…」

"Ométto caro, hai avuto paura..."

《「呼びかけ」, 「動詞句」「目的語」》

"Ométto オメット n.m 少年

「呼びかけ」

caro, カロ adj. 親愛なる

「形容詞」

hai avuto ハイ・アヴート 2 単現・完了形(avére)v.t ～があった

「動詞句」

paura..." パウラ n.f 恐怖

「目的語」

もちろん、彼は恐ろしかった！

Aveva avuto sicuramente paura!

「動詞句」「副詞」「目的語」

Aveva avuto アヴェヴァ・アヴート 3 単半・完了形(avére)v.t ～があった

「動詞句」

sicuramente シクラメンテ adv. もちろん、確かに

「副詞」

paura! パウラ n.f 恐怖

「目的語」

XXVI

けれども、静かに笑った：

Ma rise con dolcezza:

Ma 「動詞」「副詞句」

Ma マ conj. しかし

rise リゼ 3 単遠(ridere)v.i 笑った

「動詞」

con dolcezza: コン・ドルチェツァ adv. 穏やかに、静かに

「副詞句」

「今夜は、もっとずっと恐ろしいだろうな...」

"Avrò bèn più paura quèsta sera..."

《「動詞」「目的語」「副詞句」》

"Avrò アヴロ 1 単未(avére)v.t ~があるだろう

「動詞」

bèn ベン adv. (bène 強調) とても

「副詞」

più paura ピウ・パウラ n.f もっと恐怖

「目的語」

quèsta sera... ケスタ・セラ n.f 今夜は

「副詞句」

もう取返しがつかないという気持ちから、また体が凍てつくのを感じた。

Mi sentii gelare di nuòvo per il sentimento dell'irreparabile.

「動詞句」「補語」

Mi sentii ミ・センチ 1 単遠(sentirsi)v.pr 感じた

「動詞句」

gelare ジェラーレ 不定詞・mi の動作 v.i 凍てつく

「補語」

di nuòvo ディ・ヌォヴォ adv. また、再び

「副詞句」

per ペル prep (原因) ~のために

「副詞句」

il sentimento イル・センチメント n.m 感情、気持ち

「目的語」

dell'irreparabile. デ・リレパラービレ

adj. どうしようもない、取返しのつかない

「形容詞句」

そして、王子様のあの笑い声をもう聞けないのだという考えには耐えられないと分かった。

E capii che non potevo sopportare l'idea di non sentire più quel riso.

E 「動詞」「目的語」

E エ conj. そして

capii カピイ 1 単遠(capire)v.t 理解した

「動詞」

che ケ conj. ~ということ

「目的語」

non potevo sopportare ノン・ポテヴァ・ソッポルターレ 1 単半・可能・否定・時制の一致

(potére+不定詞 sopportare)v.t 耐えられない

「動詞句」

l'idea リデア n.f 考えを

「目的語」

di non sentire più ディ・ノン・センチレ・ピウ 不定詞・否定・同格

adj. もう聞けないという

「形容詞句」

quel riso. ケル・リーソ n.m あの笑い声を

「目的語」

XXVI

あの笑い声は、僕にとっては、砂漠の中の泉のようなものだった。

Era per me come una fontana nel deserto. 「動詞」「間接目的語」「補語」

Era エラ 3 単半(essere)v.i. ～だった 「動詞」

per me ペル・メ adv. 僕にとっては 「間接目的語」

come コー・メ conj. ～のような 「補語」

una fontana ウナ・フォンターナ n.f. 源泉、泉 「目的語」

nel deserto. ネル・デゼールト adv. 砂漠の中の 「副詞句」

「坊や！僕は君の笑い声をもっと聞きたいよ...」

"Ométto, voglio ancora sentirti ridere..." 《「呼びかけ」「動詞句」「補語」》

"Ométto, オメット n.m. 坊や 「呼びかけ」

voglio ancora sentirti ヴォリオ・アンコーラ・センチル・ティ 1 単現・願望(volére+不定詞 sentir+ti+ ancora)

v.t. もっと聞きたい 「動詞句」

ridere..." リーデーレ 不定詞・ti の動作 v.i. 笑う 「補語」

だが、彼は僕に言った：

Ma mi disse: Ma 「間接目的語」「動詞」

Ma マ conj. しかし

mi ミ pron. 僕に 「間接目的語」

disse: デイッセ 3 単遠(dire)v.t. 言った 「動詞」

「今夜で、1 年になるんだ。僕の星は、去年僕が降りた場所のちょうど真上に来るだろう...」

"Sarà un anno questa notte. La mia stella sarà proprio sopra al luogo dove sono caduto l'anno scorso..." 《「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」》

"Sarà サラ 3 単末(essere)v.i. ～になる 「動詞」

un anno ウン・アンノ n.m. 1 年 「補語」

questa notte. ケスタ・ノッテ adv. 今夜で 「副詞句」

La mia stella ラ・ミア・ステッラ n.f. 僕の星は 「主語」

sarà サラ 3 単末・移動(essere)v.i. ～に来るだろう 「動詞」

proprio プロ・プローリオ adv. ちょうど 「副詞」

sopra ソー・プラ prep. (空間の位置) ～の上に 「副詞句」

al luogo アル・ルオーゴ adv. 場所の 「副詞句」

dove トー・ヴァエ conj. ～する 「形容詞節」

sono caduto ソー・ノ・カトゥート 1 単現・完了形(cadére)

v.i. 降りた 「動詞句」

l'anno scorso..." ランノ・スコールツ adv. 去年 「副詞句」

XXVI

「坊や、蛇や約束や星とかの話は、悪い夢ということではないのかい...」

"Ométto, non è véro che è un brutto sógno quéllo del serpente, dell'appuntamento e della stélla?..."

《「呼びかけ」, 「動詞句」 「補語」 「主語」》

"Ométto, オメット n.m 坊や

「呼びかけ」

non è ノ・ネ 3 単現・否定・疑問文(èssere)v.i ~ではないのか?

「動詞句」

véro ヴェロ adj. 本当の

「補語」

che ケ conj. ~ということとは

「主語」

è エ 3 単現(èssere)v.i ~である

「動詞」

un brutto sógno ウン・ブルット・ソニョ n.m 悪い夢

「補語」

quéllo stòria ケッラ・ストーリア n.f あの話は

「主語」

del serpente, デル・セルピエンテ adj. 蛇の

「形容詞句」

dell'appuntamento デラップンタメンテ adj. 約束の

「形容詞句」

e エ conj. そして

della stélla?... テッラ・ステッラ adj. 星の

「形容詞句」

しかし、彼は僕の問いかけには答えず、言った：

Ma non mi rispose. Disse:

Ma 「動詞句」 「間接目的語」 「動詞句」 | 「動詞」

Ma マ conj. しかし

non ...rispose. ノン...リスポセ 3 単遠・否定(rispondere)v.i 答えなかった

「動詞句」

mi ミ pron 僕に

「間接目的語」

Disse: デイッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

「大切な物は、見えないんだよ...」

"Quéllo che è importante, non lo si vede..."

《「主語」 「動詞句」 「目的語」》

"Quéllo ケッロ pron その物は

「主語」

che ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

è エ 3 単現(èssere)v.i ~である

「動詞」

importante, インポルタンテ adj. 大切な、重要な

「補語」

non ...si vede..." ノン...シ・ヴェデ 3 単現・否定(vedersi)v.pr 見えない

「動詞句」

lo ロ pron それ

「目的語」

「そうだね...」

"Certo..."

《「応答」》

"Certo..." チェルト adj. 当をえた、その通り

「応答」

XXVI

「あの花の場合と同じだね。君が、星にある花が好きになったら、夜に空を見上げるとうっとりするよ。星という星が、花盛りになるんだから」

"È come per il fiore. Se tu vuoi bene a un fiore che sta in una stella, è dolce, la notte, guardare il cielo. Tutte le stelle sono fiorite".

《「動詞」「補語」 | 「副詞節」, 「動詞」「補語」「主語」 | 「主語」「動詞」「補語」》
 "È エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 come コモ conj. ~のような 「補語」
 per ペル prep (関連) ~に関して 「副詞句」
 il fiore. イル・フィオーレ n.m あの花 「目的語」
 Se セ conj. もし~ならば 「副詞節」
 tu トゥ pron 君が 「主語」
 vuoi bene ヴォイ・ベーネ 2 単現(volere bene)v.i(a qalcu.) を好きになる 「動詞句」
 volere bene a qalcu. 「~を好きになる」
 a un fiore ア・ウン・フィオーレ adv. ある花を 「間接目的語」
 che ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 sta スタ 3 単現・存在(stare)v.i ある 「動詞」
 in una stella, イン・ウナ・ステッラ adv. 星に 「副詞句」
 è エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」
 dolce, ドルチェ adj. うっとりする、甘美な 「補語」
 la notte, ラ・ノッテ adv. 夜に 「副詞句」
 guardare グワルダール 不定詞 n. 見ることは 「主語」
 il cielo. イル・チェーロ n.m 空を 「目的語」
 Tutte le stelle トゥッテ・レ・ステッレ pl(stella).n.f 全ての星が 「主語」
 sono ソーノ 3 複現・変化(essere)v.i ~になる 「動詞」
 fiorite". フィオーテ adj(fiorito).f.pl 花盛りの 「補語」

「その通りだよ...」

"Certo..." 《「応答」》
 "Certo..." チェルト adj. 当をえた、その通り 「応答」

「あの水の場合と同じだね。君が僕にくれた飲み物は音楽みたいだった。滑車の音や、ロープの音が聞こえた。覚えているだろう？あの水は旨かった」

"È come per l'acqua. Quella che tu mi hai dato da bere era come una musica, c'era la carrucola e c'era la corda... ti ricordi... era buona".

《「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「補語」, 「動詞句」「主語」
 e 「動詞句」「主語」 ... 「動詞句」 ... 「動詞」「補語」》

XXVI

"È	エ	3 単現(essere)v.i	～である	「動詞」
cóme	コメ	conj.	～のような	「補語」
per	ペル	prep	(関連) ～に関して	「副詞句」
l'acqua.	ラックワ	n.f	水	「目的語」
"Quella	クエッラ	pron.f	その物は	「主語」
che	ケ	pron	(目的語) ～する	「形容詞節」
tu	トゥ	pron	君が	「主語」
mi	ミ	pron	僕に	「間接目的語」
hai dato	ハイ・ダート	2 単現・完了形(dare)v.t	くれた	「動詞句」
da bere	ダ・ベレ	不定詞・目的	飲むための	「形容詞句」
era	エラ	3 単半(essere)v.i	～だった	「動詞」
cóme	コメ	conj.	～のような	「補語」
una musica,	ウナ・ムジカ	n.f	音楽	「目的語」
c'era	チェ・ラ	3 単半・存在(esserci)v.i	～があった	「動詞句」
la carrùcola	ラ・カルコラ	n.f	滑車	「主語」
e	エ	conj.	そして	
c'era	チェ・ラ	3 単半・存在(esserci)v.i	～があった	「動詞句」
la còrda...	ラ・コルダ	n.f	綱、ロープ	「主語」
ti ricordi...	チ・リコルディ	1 単現(ricordarsi)v.pr	覚えているだろう	「動詞句」
era	エラ	3 単半(essere)v.i	～だった	「動詞」
「主語」は l'acqua				
buona".	ブォナ	adj(buòno).f	美味しい	「補語」

「その通りだよ...」

"Certo..."	《「応答」》
"Certo..."	チェルト adj. 当をえた、その通り

「夜には、星を見てごらん。僕のところは小さすぎて、どこに僕の星があるか教えられない」

"Guarderai le stéllle, la nòtte. È tròppo piccolo da me perché ti possa mostrare dóve si trova la mia stélla. 《「動詞」「目的語」「副詞句」

「動詞」「補語」, perché 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》

"Guarderai	グ・ワルデライ	2 単未・勧誘(guardare)v.t	見なさい、ご覧なさい	「動詞」
le stéllle,	レ・ステッレ	pl(stélla).n.f	星を	「目的語」
la nòtte.	ラ・ノッテ	adv.	夜には	「副詞句」
È	エ	3 単現(essere)v.i	～である	「動詞」
tròppo piccolo	トロッポ・ピッコロ	adj.	ありにも小さい	「補語」

XXVI

da me	ダ・メ	adv.	僕のところは	「副詞句」
perché + 接続法	ペルケ	conj.	(troppo... perché) あまり...過ぎて～出来ない	
ti	チ	pron	君に	「間接目的語」
possa mostrare	ポッサ・モストラ	接・1 単現・可能・否定文で(potére+不定詞 mostrare)		
v.t	教えられない			「動詞句」
dóve	ドーヴェ	adv.	どこに～するかということ	「直接目的語」
si trova	シ・トロヴァ	3 単現・存在(trovarsi)v.pr	ある	「動詞句」
la mia stélla.	ラ・ミーア・ステッラ	n.f	僕の星が	「主語」

「でも、その方がいいんだ。僕の星は星々の中の1つになるだろう。そうすると、君はすべての星を眺めるのが好きになるだろう。すべての星が君の友達になるだろう... それから、君にプレゼントをしたい...」

È meglio così. La mia stélla sarà per te una delle stélle. Allora, tutte le stélle, ti piacerà guardarle... Tutte, saranno tue amiche. E poi ti voglio fare un regalo..."

《「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「補語」

「副詞」「直接目的語」「間接目的語」「動詞」「主語」 | 「主語」「動詞」「補語」

E 「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》

È	エ	3 単現(essere)v.i	～である	「動詞」
mèglio	メルリオ	adj.	より良い	「補語」
così.	コシ	adv.	こんな風に	「副詞」
La mia stélla	ラ・ミーア・ステッラ	n.f	僕の星は	「主語」
sarà	サラ	3 単未・変化(essere)v.i	～になるだろう	「動詞」
per te	ペル・テ	adv.	君にとって	「副詞句」
una delle stélle.	ウナ・デッレ・ステッレ	n.f	星々の中の1つ	「補語」
Allóra,	アッローラ	adv.	そうすると	「副詞」
tutte le stélle,	トゥッテ・レ・ステッレ	pl(stélla)n.f	全ての星を	「直接目的語」
ti	チ	pron	君にとって	「間接目的語」
piacerà	ピアチェラ	3 単未(piacere)v.i	好きになるだろう	「動詞」
guardarle...	グアルタール・レ	不定詞 n. (le は stélle の代用)	星たちを眺めることは	「主語」
Tutte,	トゥッテ	pron.pl.f (stélle の代用)	全ての星は	「主語」
saranno	サランノ	3 複未・変化(essere)v.i	～になるだろう	「動詞」
tue amiche.	トゥーエ・アミーケ	pl(amico).n.f	君の友達	「補語」
E	エ	connj.	そして	
pòi	ポイ	adv.	それから	「副詞」
ti	チ	pron	君に	「間接目的語」
voglio fare	ヴォリオ・ファレ	1 単現・願望(volére+不定詞 fare)v.t	(行為を) したい	「動詞句」

XXVI

un regalo..." ウン・レガ^ロ n.m プレゼントを

「直接目的語」

彼はまた笑った。

Rise ancóra.

「動詞」「副詞」

Rise リセ 3 単遠(ridere)v.i 笑った

「動詞」

ancóra. アンコーラ adv. また

「副詞」

「あー、坊や、坊や、僕はその笑い声を聞くのが好きなんだよ！」

"Ah! Ométto, ométto mio, mi piace sentire quésto riso!"

《「間投」, 「間接目的語」「動詞」「主語」》

"Ah! Ométto, ométto mio, アー・オメット・オメット・ミオ int. あー、坊や、坊や

「間投」

mi ミ pron 僕には

「間接目的語」

piace ピアチェ 3 単現(piacere)v.i 気に入っている

「動詞」

sentire センチレ 不定詞 n. 聞くことが

「主語」

quésto riso!" クェスト・リーソ n.m その笑い声を

「目的語」

「そしてまさにこれが僕のプレゼントになるだろう... あの水と同じように...」

"E sarà pròprio quésto il mio regalo... sarà cóme per l'acqua..."

《E 「動詞」「主語」「補語」 | 「動詞」「補語」》

"E エ conj. そして

sarà サラ 3 単未・変化(essere)v.i ~になるだろう

「動詞」

pròprio プロプ^リオ adv. まさに

「副詞」

quésto クェスト pron これが

「主語」

il mio regalo... イル・ミオ・レガ^ロ n.m 僕のプレゼント

「補語」

sarà サラ 3 単未・変化(essere)v.i ~になるだろう

「動詞」

cóme per l'acqua..." コーメ・ペル・ラックわ adv. あの水の場合のように

「補語」

「どういう意味なの？」

"Che còsa vuoi dire?"

《「目的語」「動詞句」》

"Che còsa ケ・コーサ n.f 何を

「目的語」

vuoi dire?" ヴォイ・ディーレ 2 単現。願望(volére+不定詞)v.t 意味する、言いたい

「動詞句」

XXVI

「人々はそれぞれ異なる星を持っている。ある旅行者にとって、星は道案内だ」

"Gli uòmini hanno delle stéлле che non sono le stésse. Per gli uni, quélli che viaggiano, le stéлле sono delle guide.

《「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」》

"Gli uòmini リ・ウオーミ pl(uòmo).n.m 人々は 「主語」
 hanno アンノ 3 複現(avére)v.t 〜を持っている 「動詞」
 delle stéлле テッレ・ステッレ pl(stéлла).n.f 星を 「目的語」
 che ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 non sono ノン・ソーノ 3 複現・否定(èssere)v.i 〜でない 「動詞句」
 le stésse. レ・ステッセ pl(stéссо).pron 同じもの 「補語」
 Per gli uni, ペル・リ・ウニ adv. ある人たちにとって 「副詞句」
 quélli ケッリ pl(quéllo).pron その人たちは 「主語」
 che ケ pron.pl (主語) 〜する 「形容詞節」
 viaggiano, ヴィアジヤノ 3 複現(viaggiare)v.i 旅行する 「動詞」
 le stéлле レ・ステッレ pl(stéлла).n.f 星は 「主語」
 sono ソーノ 3 複現(èssere)v.i 〜である 「動詞」
 delle guide. テッレ・グアイデー pl(guidà).n.f ガイド、道案内 「補語」

「ほかの人たちにとっては、小さな光に過ぎない。他の学者たちにとっては、星は難問だ」

Per altri non sono che delle piccole luci. Per altri, che sono dei sapienti, sono dei problèmi.

《「副詞句」「動詞句」「補語」 | 「副詞句」, 「動詞」「補語」》

Per altri ペル・アルトリ adv. 他の人たちにとって 「副詞句」
 non sono che ノン・ソーノ・ケ 3 複現・否定(èssere)v.i 〜に過ぎない 「動詞句」
 delle piccole luci. テッレ・ピッコレ・ルーチ pl(luce)n.f 小さな光 「補語」
 Per altri ペル・アルトリ adv. 他の人たちにとって 「副詞句」
 che ケ pron.pl (主語) 〜する 「形容詞節」
 sono ソーノ 3 複現(èssere)v.i 〜である 「動詞」
 dei sapienti, デイ・サピエンティ pl(sapiènte).n 学者 「補語」
 sono ソーノ 3 複現(èssere)v.i 〜である 「動詞」
 dei problèmi. デイ・プロブレミ pl(problèma).n.m 課題、難問 「補語」

XXVI

「あの実業家にとっては、黄金だった。しかし、これらの星はどれも口をきかない。きみ！君は誰も持たないような星を持つことになるんだよ...」

Per il mio uòmo d'affari erano dell'òro. Ma tutte quèste stéle stanno zitte. Tu, tu avrai delle stéle cóme nessuno ha...

《「副詞句」, 「動詞」「補語」 | Ma 「主語」「動詞」「補語」
「呼びかけ」「主語」「動詞」「目的語」》

Per ヘル prep (利害) 〜にとっては 「副詞句」
il mio uòmo d'affari イル・ミーオ・ウオーモ・ダッファリ n.m あの事業家 「目的語」
erano エーノ 3 複半(essere)v.i 〜だった 「動詞」
dell'òro. デッローロ n.m 黄金 「補語」
Ma マ conj. だけど
tutte quèste stéle トウツテ・クェステ・ステレ pl(stélla).n.f これらの星はみんな 「主語」
stanno スタンノ 3 複現(essere)v.i 〜である 「動詞」
zitte. ツイツテ adj(zitto).f.pl 口をきかない 「補語」
Tu, トゥ pron 君 「呼びかけ」
tu トゥ pron 君は 「主語」
avrà アヴライ 2 単末(avère)v.t 持つことになる 「動詞」
delle stéle デッレ・ステレ pl(stélla).n.f 星を 「目的語」
cóme コーメ conj. (比較) 〜するような 「形容詞節」
nessuno ネスーノ pron 誰も〜ない 「主語」
ha..." ア 3 単現・否定文(avère)v.t 持たない 「動詞」

「どういう意味なの？」

"Che còsa vuoi dire?" 《「目的語」「動詞句」》
"Che còsa ケ・コーサ n.f 何を 「目的語」
vui dire?" ヴェイ・デーレ 2 単現。願望(volère+不定詞)v.t 意味する、言いたい 「動詞句」

「君が夜に空を見上げると、僕はそれらの星の一つに住んで、それらの星の一つで笑っているから、君にとってはまるで全ての星が笑っているみたいになるだろう」

"Quando tu guarderai il cièlo, la nòtte, visto che io abiterò in una di esse, visto che io riderò in una di esse, allóra sarà per te cóme se tutte le stéle ridessero."

《「副詞節」, 「副詞」「動詞」「間接目的語」「補語」》

"Quando クワント conj. 〜する時 「副詞節」
tu トゥ pron 君が 「主語」
guarderai グワルデアライ 2 単末(guardare)v.t 眺める 「動詞」
il cièlo, イル・チエロ n.m 空を 「目的語」

XXVI

la nòtte, ラ・ノッテ adv. 夜に	「副詞句」
visto che ヲィスト・ケ conj. (理由) ～なので	「副詞節」
io イ・オ pron 僕は	「主語」
abiterò アビテロ 1 単末(abitare)v.i. ～に住むだろう	「動詞」
in una di esse, イン・ウナ・デ・エッセ adv. それらの星の一つに	「副詞句」
visto che ヲィスト・ケ conj. (理由) ～なので	「副詞節」
io イ・オ pron 僕は	「主語」
riderò リテロ 1 単末(ridere)v.i. 笑うだろう	「動詞」
in una di esse, イン・ウナ・デ・エッセ adv. それらの星の一つで	「副詞句」
allóra アッローラ adv. そうすると、だから	「副詞」
sarà サラ 3 単末・変化(èssere)v.i. ～になるだろう	「動詞」
per te ペル・テ adv. 君にとって	「間接目的語」
cóme コーメ conj. ～のように	「補語」
se セ conj. もしかすると	
tutte le stéllle トゥッテ・レ・ステッレ pl(stélla)n.f 全ての星が	「主語」
ridessero. リテッセロ 3 複半(ridere)v.i. 笑っている	「動詞」

「君は、君だけが、笑うことのできる星を持つことになるんだ。」

<u>Tu avrai, tu sólo, delle stéllle che sanno ridere!"</u> 《「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」》	
Tu トゥ pron 君は	「主語」
avrai, アヴライ 2 単末(avére)v.t. 持つことになるだろう	「動詞」
tu sólo, トゥ・ソーロ adv. 君だけが	「副詞句」
delle stéllle デッレ・ステッレ pl(stélla)n.f 星を	「目的語」
che ケ pron.pl (主語) ～する	「形容詞節」
sanno ridere!" サンノ・リーデーレ 3 複現・可能(sapére+不定詞)	
v.i. 笑える	「動詞句」

そう言って、王子さまはまた笑った。

E rise ancóra.	E 「動詞」「副詞」
E エ conj. そして	
rise リゼ 3 単遠(ridere)v.i. 笑った	「動詞」
ancóra. アンコーラ adv. また	「副詞」

XXVI

「そして、君の悲しみが和らいだ時、(悲しみは必ず和らぐよ)、君は僕と知り合ったことを嬉しく思うだろう」

"E quando ti sarai consolato (ci si consola sempre), sarai contento di avermi conosciuto.

《E 「副詞節」, (「主語」「動詞句」「副詞」), 「動詞」「補語」》

"E エ conj. そして

quando クワンド conj. ～する時

「副詞節」

ti sarai consolato チ・サライ・コンソラト 2 単未・完了形(consolarsi)

v.pr 君の悲しみが和らいだ

「動詞句」

consolare コンソラーレ v.t (苦痛や悲しみを) 和らげる

(ci チ pron 人々は

「主語」

si consola シ・コンソーラ 3 単現(consolarsi)v.pr 悲しみが和らぐ

「動詞句」

sempre センプレ adv. 必ず、つねに

「副詞」

sarai サライ 2 単未・変化(essere)v.i ～になるだろう

「動詞」

contento コンテント adj. 嬉しい、満足した

「補語」

di +不定詞 ディ 不定詞・原因 adv. ～することで

「副詞句」

avermi conosciuto. アヴェル・ミ・コノシュト 不定詞・完了形(conoscere+mi)

v.t 僕と知り合った

「動詞句」

「君はいつまでも僕の友達だよ。君は僕と一緒に笑いたくなるよ」

Sarai sempre il mio amico. Avrai voglia di ridere con me.

《「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」》

Sarai サライ 2 単未・変化(essere)v.i ～になるだろう

「動詞」

sempre センプレ adv. これからもずっと、いつまでも

「副詞」

il mio amico. イル・ミーオ・アミーコ n.m 僕の友達

「補語」

Avrai アヴライ 2 単未(avere)v.t 持つだろう

「動詞」

vòglia ヴォリア n.f 欲求を

「目的語」

di ridere ディ・リーデーレ 不定詞・目的 adj. 笑う

「形容詞句」

con me. コン・メ adv. 僕と一緒に

「副詞句」

avere voglia di+不定詞 「～がしたい」

「時々、こんな風に気晴らしに窓を開けてね... すると君の友達は空を見上げて笑う君をみて驚くだろうな」

E aprirai a volte la finestra, così, per il piacere... E i tuoi amici saranno stupiti di vederti ridere guardando il cielo.

《E 「動詞」「副詞句」「目的語」「副詞句」 | E 「主語」「動詞」「補語」》

XXVI

E エ conj. そして

aprirai アプリライ 2 単未・依頼(aprire)v.t 開けてください

「動詞」

a vòlte ア・ヴォルテ adv. 時々

「副詞句」

la finestra, ラ・フィネストラ n.f 窓を

「目的語」

così, コシ adv. こんな風に

「副詞」

per ペル prep (目的) ~のために

「副詞句」

il piacere... イル・ピェアチェレ n.m 気晴らし、楽しみ

「目的語」

E エ conj. すると

i tuoi amici イ・トゥオイ・アミチ pl(amico).n.m 君の友達は

「主語」

saranno サランノ 3 複未・推量(essere)v.i ~になるだろう

「動詞」

stupiti ストゥーピチ adj(stupito).pl 驚いた

「補語」

di +不定詞 ディ 不定詞・条件 adv. ~すると

「副詞句」

vederti ヴェデール・ティ 不定詞(vedere+ti)v.t 君を見る

「動詞句」

ridere リーデレ 不定詞・ti の動作 v.i 笑う

「補語」

guardando グワルダント ジェルンディオオ(guardare)

adv. 見て、見ながら

「副詞句」

il cielo. イル・チェロ n.m 空を

「目的語」

「そうしたら、君は言うんだ：《そうなんだよ、僕は星を見るといつも笑ってしまうんだ》、
そうすると彼らは君が狂ってしまったと思うだろうな」

Allóra tu dirai: "Si, le stéllle mî fanno sèmpre ridere!" e tî crederanno pazzo.

《「副詞」「主語」「動詞」：

“「応答」「主語」「目的語」「動詞」「副詞」「補語」” e 「目的語」「動詞」「補語」》

Allóra アッローラ adv. そうすると

「副詞」

tu トゥ pron 君は

「主語」

dirai: ディライ 2 単未・勧誘(dire)v.t 言うんだ

「動詞」

"Si, シ adv. (肯定) そうなんだ

「応答」

le stéllle レ・ステッレ pl(stélla).n.f 星は

「主語」

mî ミ pron 僕を

「目的語」

fanno ファンノ 3 複現・使役(fare)v.t ~させる

「動詞」

sèmpre センプレ adv. いつも

「副詞」

ridere!" リーデレ 不定詞・mî の動作 v.i 笑う

「補語」

e エ conj. そして

tî チ pron 君を

「目的語」

crederanno クレデルアンノ 3 複未・推量(credere)v.t ~と思うだろう

「動詞」

XXVI

pazzo. パッツ adj. 気が狂った

「補語」

「僕は君にひどい悪戯をしたことになるだろうね...」

"T'avrò fatto un brutto scherzo..."

《「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》

"T" ティ pron 君に

「間接目的語」

avrò fatto アヴロ・ファット 1 単未・完了形・過去における未来完了・推量(fare)

v.t. ～したことになるだろう

「動詞句」

un brutto ウン・ブルット adj. ひどい

「形容詞句」

scherzo..." スケルツォ n.m. いたずら、悪さ

「直接目的語」

そう言って、王子さまはまた笑った。

E rise ancóra.

E 「動詞」「副詞」

E エ conj. そして

rise リゼ 3 単遠(ridere)v.i. 笑った

「動詞」

ancóra. アンコーラ adv. また

「副詞」

「すると、僕は星の代わりに、たくさんの笑うことのできる鈴をあげたみたいになるね...」

"Sarà come se t'avessi dato, invece delle stélie, mucchi di sonagli che sanno ridere..."

《「動詞」「補語」》

"Sarà サラ 3 単未・変化(essere)v.i. ～になるだろう

「動詞」

come se+接続法 コーメ・セ conj. まるで～のように

「補語」

t' ティ pron 君に

「間接目的語」

avessi dato, セ...アヴェッシ・ダート

「動詞句」

invece delle stélie, インヴェーチェ・デッレ・ステッレ adv.(invece di)星の代わりに

「副詞句」

mucchi di ムーチ・ディ adj. たくさんの

「形容詞句」

sonagli ソナリ pl(sonaglio).n.m. 鈴を

「直接目的語」

che ケ pron.pl (主語) ～する

「形容詞節」

sanno ridere..." サノ・リーデーレ 3 複現・可能(sapere+不定詞)

v.i. 笑うことが出来る

「動詞句」

そう言って、彼はまた笑った。それから、真顔に戻った。

E rise ancóra. Pòi ridivenne sèrio.

E 「動詞」「副詞」 | 「副詞」「動詞」「補語」

E エ conj. そして

rise リゼ 3 単遠(ridere)v.i. 笑った

「動詞」

ancóra. アンコーラ adv. また

「副詞」

XXVI

Pòi ポーイ adv. それから 「副詞」

ridivenne リディヴェンネ 3 単遠・状態変化(ridivenire = ridiventare)

v.i (元の状態に) 戻った 「動詞」

sèrio. セーリオ adj. まじめな、真剣な 「補語」

「今夜は... ねえ... 来ないでね...」

"Quèsta nòtte... sai, non venire". 《「副詞句」 ... 「呼びかけ」 ... 「動詞句」》

"Quèsta nòtte... クェスタ・ノッテ adv. 今夜は 「副詞句」

sai, サイ 2 単現(sapére)v.t ねえ、分かるよね! 「呼びかけ」

non venire". ノン・ヴァニェーレ 命・2 単現・否定(venire)v.i 来ないでね 「動詞句」

「君を放っておかないよ」

"Non ti lascerò". 《「動詞句」「目的語」「動詞句」》

"Non ...lascero". ノン...ラシェロ 1 単未・否定(lasciare)v.t 放っておかない 「動詞句」

ti ティ pron 君を 「目的語」

「僕は病気みたいになるよ... ちょっと死んだに対になるよ。こんな風に。見に来ないでね、それには及ばないよ...」

"Sembrerà che io mi senta male... sembrerà un po' che io muoia. È così. Non venire a vedere, non vale la pèna..."

《「動詞」「主語」 | 「動詞」「主語」 | 「動詞」「補語」 | 「動詞句」, 「動詞句」「主語」》

"Sembrerà センブレラ 3 単未(sembrare)v.i ~のようになるだろう 「動詞」

che ケ conj. ~ということ 「主語」

io イオ pron 僕は 「主語」

mi senta ミ・センタ 接・1 単現(sentirsi)v.pr ~の気分になる 「動詞句」

male... マーレ n.m 病気 「補語」

sembrerà センブレラ 3 単未(sembrare)v.i ~のようになるだろう 「動詞」

un po' ウン・ポ adv. 少し 「副詞」

che ケ conj. ~ということ 「主語」

io イオ pron 僕は 「主語」

muoia. ムォイ 接・1 単現(morire)v.i 死ぬ 「動詞」

È エ 3 単現(essere)v.i ~である 「動詞」

così. コシ adv. こんな風に 「補語」

Non venire a vedere, ノン・ヴァニェーレ・ア・ヴァエターレ 命・2 単現・否定(venire a+不定詞)

v.t 見に来ないでね 「動詞句」

non vale ノン・ヴァレ 3 単現・否定(valére)v.i 価値が無い 「動詞句」

XXVI

la péna..." ラ・ペナ n.f その骨折りは

「主語」

「君を放っておかないよ」

"Non ti lascerò".

《「動詞句」「目的語」「動詞句」》

"Non ...lascierò". ノン...ラシェロ 1 単未・否定(lasciare)v.t 放っておかない

「動詞句」

ti ティ pron 君を

「目的語」

それでも、彼は気がかりだった。

Ma era preoccupato.

Ma 「動詞」「補語」

Ma マ conj. しかし、それでも

era エラ 3 単半(essere)v.i 〜だった

「動詞」

preoccupato. プレオクパート adj. 気がかりな、心配している

「補語」

「君にこのことを話しておくよ... ヘビのことだけど。君が蛇に噛まれてはいけなから...
ヘビというのは、意地が悪いんだよ」

"Ti dico questo... Anche per il serpente. Non bisogna che ti morda... I serpenti sono cattivi.

《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「副詞句」

「動詞句」「主語」 | 「主語」「動詞」「補語」》

"Ti ティ pron 君に

「間接目的語」

dico ティコ 1 単現(dire)v.t 言う

「動詞」

questo... クェスト pron このことを

「直接目的語」

Anche アンケ conj. もまた

「副詞句」

per ペル prep (原因) 〜のせいで

「副詞句」

il serpente. イル・セルペンテ n.m ヘビ

「目的語」

Non bisogna ノン・ビゾーニャ 3 単現・必要・否定(bisognare)

v.i(che) 〜ということがあつてはならない

「動詞句」

che ケ conj. 〜ということは

「主語」

ti チ pron 君を

「目的語」

morda... モルダ 接・3 単現(mòrdere)v.t 噛む

「動詞」

I serpenti イ・セルペンテ pl(serpente).n.m ヘビというのは

「主語」

sono ソーノ 3 複現(essere)v.i 〜である

「動詞」

cattivi. カッティヴァイ adj(cattivo).pl 意地悪な

「補語」

「気晴らしに、君を噛むかもしれないんだ」

Ti puoi mordere per il piacere di..."

《「目的語」「動詞句」「副詞句」》

Ti ティ pron 君を

「目的語」

XXVI

può mordersi フォ・モルデレ 3 単現・可能性(potére+不定詞 mordersi)

v.t 噛むかもしれない

「動詞句」

per ヘル prep (原因) ～で

「副詞句」

il piacere di..." イル・ピァチェレ・ディ n.m 気晴らし、遊び、好み

「目的語」

「君を放っておかないよ」

"Non ti lascerò".

《「動詞句」「目的語」「動詞句」》

"Non ...lascierò". ノン...ラシェロ 1 単未・否定(lasciare)v.t 放っておかない

「動詞句」

ti ティ pron 君を

「目的語」

「しかし、何かが彼を安心させた」

"Ma qualcosa lo rassicurò:

《Ma 「主語」「目的語」「動詞」》

"Ma マ conj. しかし

qualcosa クワルコーサ pron 何かが

「主語」

lo ロ pron 彼を (王子様を)

「目的語」

rassicurò: ラッシクロ 3 単遠(rassicurare)v.t 安心させた

「動詞」

「それは本当だ。2 回目に咬みつく時、蛇にはもう毒が無いんだ」

"È vero che non hanno più veléno per il secóndo morso..."

《「動詞」「補語」「主語」》

"È エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

véro ヴェーロ adj. 本当の

「補語」

che ケ conj. ～ということは

「主語」

non hanno ノン・アンノ 3 複現・否定(avére)v.t ～がない

「動詞句」

più veléno ピウ・ヴェレーノ n.m(non... più) もう毒が～ない

「目的語」

per ヘル prep (関連) ～に関しては

「副詞句」

il secóndo morso..." イル・セコント・モールソ n.m 2 回目の咬みつき

「目的語」

その夜、僕は彼が出かけていくところを見なかった。

Quella notte non lo vidi mettersi in cammino.

「副詞句」, 「動詞句」「目的語」「補語」

Quella notte クェラ・ノッテ adv. その夜

「副詞句」

non ...vidi ノン...ヴィディ 1 単遠・知覚動詞・否定(vedére)

v.t(SVO+不定詞) O が～するのを見なかった

「動詞句」

lo ロ pron 彼が

「目的語」

mettersi メッテルシ 不定詞・lo の動作 v.pr (in ～の状態に) 入る

「補語」

in cammino. イン・カミーノ adv. 歩行に

「副詞句」

XXVI

彼は物音を立てずに、立ち去ったのだ。彼に追いついた時、彼は決然として足早に歩いていた。そして、ただ僕に言った：

Si era dileguato senza far rumore. Quando riuscii a raggiungerlo camminava deciso, con un passo rapido. Mi disse solamente:

「動詞句」「副詞句」 | 「副詞節」, 「動詞」「副詞句」 | 「間接目的語」「動詞」「副詞」
 Si era dileguato シ・エラ・ディレグ^ゝ わト 3 単半・完了形(dileguarsi)v.pr 立ち去った 「動詞句」
 senza +不定詞 センツァ prep (様態) ~しないで、~せずに 「副詞句」
 far ファール 不定詞(fare)v.t (音を) 立てる 「動詞」
 rumore. ルムーレ n.m 物音を 「目的語」
 Quando クワント^ゝ conj. ~した時 「副詞節」
 riuscii a raggiungerlo リウツシイ・ア・ラツジ^ゝ ユンジ^ゝ エル・ロ 1 単遠・成功(riuscire a+不定詞)
 v.t 彼に追いつけた 「動詞句」
 camminava カミナヴァ 3 単半(camminare)v.i 歩いていた 「動詞」
 deciso, デーチゾ^ゝ adv. 決然として、はらを決めて 「副詞句」
 con un passo rapido. コン・ウン・パッソ・ラーピト^ゝ adv. 早足で、足早に 「副詞句」
 Mi ミ pron 僕に 「間接目的語」
 disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った 「動詞」
 solamente: ソラメンテ adv. ただ 「副詞」

「ああ、君、ここに来たの…」

"Ah! Sèi qui..." 《「感嘆」「動詞」「副詞」》
 "Ah! アー int. ああ 「感嘆」
 Sèi セイ 2 単現・移動(essere)v.i ~に来た 「動詞」
 qui..." クイ adv. ここに 「副詞」

そう言って、彼は僕の手を取った。しかし、また苦しんだ。

E mi prese per mano. Ma ancora si tormentava:

E 「目的語」「動詞」「副詞句」 | Ma 「副詞」「動詞句」
 E エ conj. そして
 mi ミ pron 僕を 「目的語」
 prese プレ 3 単遠(prendere)v.t 取った 「動詞」
 per mano. ペル・マーノ adv. (体の部分) 手の部分を 「副詞句」
 Ma マ conj. しかし
 ancora アンコーラ adv. また 「副詞」
 si tormentava: シ・トルメンターヴァ 3 単半(tormentarsi)v.pr 苦しんだ 「動詞句」

XXVI

「君は間違えたね。悲しい思いをするよ。僕は死んだようになるけど、本当じゃないんだ」

"Hai avuto tòrto. Avrai dispiacere. Sembrerò mòrto e non sarà véro..."

《「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「目的語」 | 「動詞」「補語」 e 「動詞句」「補語」》

"Hai avuto アイ・アヴート 2 単現・完了形(avére)v.t (冠詞なしの目的語と) ～した 「動詞句」

tòrto. トールト n.m 間違いを 「目的語」

Avrai アヴライ 2 単未(avére)v.t (冠詞なしの目的語と) ～するだろう 「動詞」

dispiacere. ディスピァチェレ n.m 悲しい思いを 「目的語」

Sembrerò センブレロ 1 単未(sembrare)v.i ～のように見えるだろう 「動詞」

mòrto モールト adj. 死んだ 「補語」

e エ conj. そして

non sarà ノン・サラ 3 単未・否定(èssere)v.i ～でないだろう 「動詞句」

véro..." ヴェーロ adj. 本当の 「補語」

僕は黙っていた。

Io stavo zitto.

「主語」「動詞」「補語」

Io イオ pron 僕は

「主語」

stavo スターヴォ 1 単半(atare)v.i (状態を) 保っていた

「動詞」

zitto. ツィット adj. 黙っている

「補語」

XXVI



「分かるだろう？遠すぎるんだ。僕の体を一緒に運ぶことは出来ない。重すぎるんだ」

"Capisci? È tròppo lontano. Non posso portare appresso il mio còrpo. È tròppo pesante".

《「確認」 | 「動詞」「補語」 | 「動詞句」「副詞句」 | 「動詞」「補語」》

"Capisci? ㌹シ 2 単現・疑問文(capire)v.t 分かるだろう？

「確認」

È エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

tròppo lontano. トロッポ・ロンターノ adj. 遠すぎる

「補語」

Non posso portare ノン・ポッソ・ポルターレ 1 単現・可能・否定(potére+不定詞)

v.t 運べない

「動詞句」

appresso アプレッソ prep 近くに

「副詞句」

il mio còrpo. イル・ミオ・コールポ n.m 僕の体

「目的語」

È エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

tròppo pesante". トロッポ・ペサンテ adj. 重すぎる

「補語」

僕は黙っていた。

Io stavo zitto.

「主語」「動詞」「補語」

Io イオ pron 僕は

「主語」

stavo スターヴォ 1 単半(atare)v.i (状態を) 保っていた

「動詞」

XXVI

zitto. ツィット adj. 黙っている

「補語」

「けれどこの体は、見捨てられた古い皮みたいになるんだ。古い皮なんて、悲しくもないよ」

"Ma sarà come una vecchia scorza abbandonata. Non sono tristi le vecchie scorze..."

《Ma 「動詞」「補語」 | 「動詞句」「補語」「主語」》

"Ma マ conj. しかし

sarà サ 3 単未・変化(essere)v.i ~になるだろう

「動詞」

come コーメ conj. ~のように

「補語」

una vecchia scorza ウナ・ヴェッキア・スコルツァ n.f 古い皮

「目的語」

abbandonata. アッバントナータ adj(abbandonato).f 見捨てられた

「形容詞」

Non sono ノン・ソーノ 3 複現・否定(essere)v.i ~でない

「動詞句」

tristi トリステイ adj((triste).pl 悲しい

「補語」

le vecchie scorze... レ・ヴェッキエ・スコルツェ pl(scorza).n.f 古い皮は

「主語」

僕は黙っていた。

Io stavo zitto.

「主語」「動詞」「補語」

Io イーオ pron 僕は

「主語」

stavo スターヴォ 1 単半(atare)v.i (状態を) 保っていた

「動詞」

zitto. ツィット adj. 黙っている

「補語」

彼は少し意気消沈したが、また気を取り直そうとした。

Si scoraggiò un poco. Ma fece ancora uno sforzo:

「動詞句」「副詞句」 | Ma 「動詞」「副詞」「目的語」

Si scoraggiò シ・スコラジヨ 3 単遠(scoraggiarsi)v.pr 意気消沈した

「動詞句」

un poco. ウン・ポコ adv. 少し

「副詞句」

Ma マ conj. しかし

fece フェチェ 3 単遠(fare)v.t (動作を) した

「動詞」

ancora アンコーラ adv. また、再び

「副詞」

uno sforzo: ウーノ・スフォルツォ n.m 努力、骨折り

「目的語」

「ねえ、素晴らしいだろうな。僕も星を眺める。すべての星が錆びついた滑車のある井戸になるだろう。すべての星が僕に飲み水を注いでくれるだろう...」

"Sarà bello, sai. Anch'io guarderò le stelle. Tutte le stelle saranno dei pozzi con una carrucola arrugginita. Tutte le stelle mi verseranno da bere..."

《「動詞」「補語」, 「呼びかけ」 | 「主語」「動詞」「目的語」

「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

XXVI

"Sarà サラ 3 単未・推量(essere)v.i ~だろう	「動詞」
bello, ベッロ adj. すてきな、素晴らしい	「補語」
sai. サイ 2 単現・注意喚起(sapere)v.t (聞き手の注意を引く) ねえ	「呼びかけ」
Anch'io アンキオ pron 僕も	「主語」
guarderò グォルテロ 1 単未・意思(guardare)v.t を眺める	「動詞」
le stéllle. レ・ステッレ pl(stélla).n.f 星を	「目的語」
Tutte le stéllle トゥッテ・レ・ステッレ pl(stélla).n.f 全ての星が	「主語」
saranno サランノ 3 複未・変化(essere)v.i ~になるだろう	「動詞」
dei pózzi ティ・ポッツィ pl(pózzo).n.m 井戸	「補語」
con una carrùcola コン・ウナ・カルコラ adv. 滑車のある	「副詞句」
arrugginita. アルジニタ adj(arrugginito).f 錆びついた	「形容詞」
Tutte le stéllle トゥッテ・レ・ステッレ pl(stélla).n.f 全ての星が	「主語」
mi ミ pron 僕に	「間接目的語」
verseranno ベルサランノ 3 複未(versare)v.t 注ぐだろう	「動詞」
da bére..." ダ・ベール pron 飲み物を	「直接目的語」

僕は黙っていた。

<u>Io stavo zitto.</u>	「主語」「動詞」「補語」
Io イオ pron 僕は	「主語」
stavo スターヴォ 1 単半(atare)v.i (状態を) 保っていた	「動詞」
zitto. ツィット adj. 黙っている	「補語」

「すごく面白いだろうな！君は 5 億の鈴を持つことになり、僕は 5 億の泉を持つことになるんだ...」

"Sarà talménte divertènte! Tu avrai cìnquecento milioni di sonàgli, io avrò cìnquecento milioni di fontane..."

《「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」, 「主語」「動詞」「目的語」》

"Sarà サラ 3 単未・推量(essere)v.i ~だろうな	「動詞」
talménte divertènte! タルメンテ・ティヴェルテンテ adj. とても面白い	「補語」
Tu トゥ pron 君が	「主語」
avrà アヴライ 2 単未・予想(avere)v.t 持つことになる	「動詞」
cìnquecento milioni di チンクェチェント・ミリオニ・ティ adj. 5 億の	「形容詞句」
sonàgli, ソナリ pl(sonàglio).n.m 鈴を	「目的語」
io イオ pron 僕が	「主語」
avrò アヴロ 1 単未・予想(avere)v.t 持つことになる	「動詞」
cìnquecento milioni di チンクェチェント・ミリオニ・ティ adj. 5 億の	「形容詞句」

XXVI

fontane..." フォンターネ pl(fontana).n.f 泉を

「目的語」

そして、彼も黙り込んだ。というのは、泣いていたから。

E tacque anche lui perché piangeva.

E 「動詞」「主語」「副詞節」

E エ conj. そして

tacque タク 3 単遠(tacere)v.i 黙り込んだ、静かになった

「動詞」

anche lui アンケ・ルーイ pron 彼も

「主語」

perché ペルケ conj. (理由) なぜなら、というのは

「副詞節」

piangeva. ピアングェヴァ 3 単半(piangere)v.i 泣いていた

「動詞」

「ここだ。たった一人で行かせて欲しい」

"È là. Lasciami fare un passo da sólo".

《「動詞」「副詞」 | 「動詞句」「補語」》

"È エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

là. ラー adv. そこ、ここ

「副詞」

Lasciami ラシヤ・ミ 命・2 単現・依頼(lasciare+mi)v.t(+不定詞)僕に~させて欲しい「動詞句」

fare ファーレ 不定詞・mi の動作 v.t ~する

「補語」

un passo ウン・パッソ n.m 1 歩 (進む)

「目的語」

da sólo". ダ・ソーラ adv. (手段) 一人だけで

「副詞句」

彼はしゃがみ込んでしまった。なぜなら、怖かったから。

Si sedette perché aveva paura.

「動詞句」「副詞節」

Si sedette シ・セデッテ 3 単遠(sedersi)v.pr 腰を下ろした、しゃがみこんだ

「動詞句」

perché ペルケ conj. (理由) なぜなら、というのは

「副詞節」

aveva アヴェーヴァ 3 単半(avere)v.t ~があった

「動詞」

paura. パウラ n.f 恐怖、恐れ

「目的語」

それから、さらに言った：

E disse ancora:

E 「動詞」「副詞」

E エ conj. そして

disse ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

ancora: アンコーラ adv. さらに、また

「副詞」

XXVI

「ねえ... 僕の花... 僕はあの花に責任があるんだ。それに、あれはすごく弱くて純粋なんだ。世間から身を守るために、取るに足らない棘が4本あるだけなんだ...」

"Sai... il mio fióre... ne sono responsàbile! Ed è talménte débole e talménte ingènuo. Ha quattro spine da niènte per proteggersi dal mondo...".

《「呼びかけ」 | 「主語」 | 「間接目的語」「動詞」「補語」

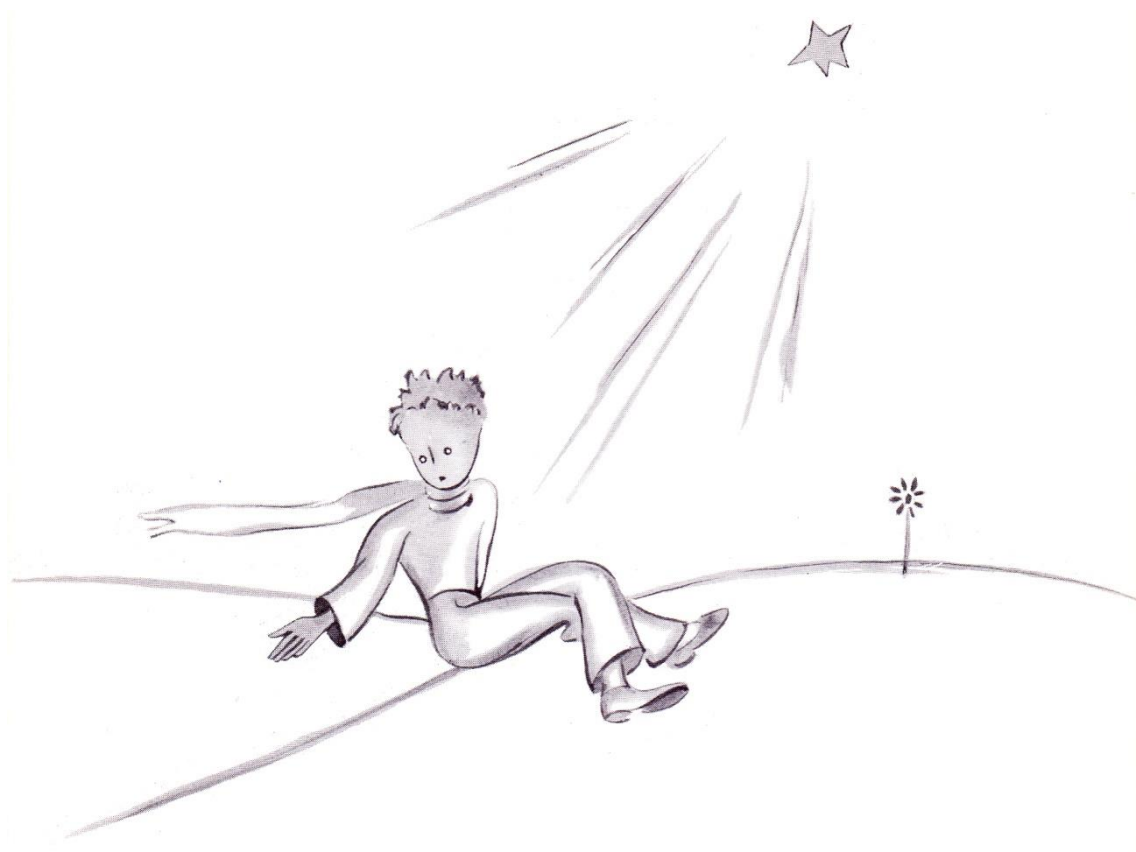
Ed 「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」》

"Sai... サイ 2 単現(sapére)v.t ねえ 「呼びかけ」
 il mio fióre... イル・ミオ・フィオーレ n.m 僕の花 「主語」
 ne ネ pron それに 「間接目的語」
 sono ソーノ 1 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 responsàbile! レスポンスービレ adj. 責任のある 「補語」
 Ed エト conj. そして
 è エ 3 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 talménte débole タルメンテ・デーボレ adj. すごく弱い 「補語」
 e エ conj. そして
 talménte ingènuo. タルメンテ・インジエヌオ adj. すごく純真な 「補語」
 Ha ア 3 単現(avére)v.t ~がある 「動詞」
 quattro spine クワトロ・スピネ pl(spina).n.f 4 本の棘 「目的語」
 da niènte ダ・ニエンテ adv. 取るに足らない 「副詞句」
 niènte ニエンテ pron つまらぬこと、取るに足らぬ物
 per proteggersi ペル・プロテッジエルシ 不定詞・目的 adv. 身を守るために 「副詞句」
 dal mondo...". ダル・モンド adv. 世間から 「副詞句」

僕も腰を降ろした。というのはもう立っていられなかったから。

Mi sedetti anch'io perché non potevo più stare in piedi. 「動詞句」「主語」「副詞節」
 Mi sedetti ミ・セデッティ 1 単遠(sedersi)v.pr 座った、腰を下ろした 「動詞句」
 anch'io アンキオ pron 僕も 「主語」
 perché ペルケ conj. ~なので 「副詞節」
 non potevo ノン・ポテヴォ 1 単半・可能・否定(potére+不定詞)
 v.i ~出来なかった 「動詞句」
 più ピウ adv. もはや~ない 「副詞」
 stare スターレ 不定詞 v.i ~の状態にいる 「動詞句」
 in piedi. イン・ピーエティ adv. 立って 「副詞句」

XXVI



そして彼は言った：「さあ... これだけだ...」

Disse: "Ècco... è quésto qui..."

「動詞」：《「呼びかけ」 ... 「動詞」「主語」》

Disse: ディッセ 3 単遠(dire)v.t 言った

「動詞」

"Ècco... エッコ adv. (注意喚起) ほら、さあ

「呼びかけ」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

quésto qui..." ケスト・クイ pron (強意) これは

「主語」

彼はまだ少しためらっていた。それから起き上がり、一歩前に進んだ。僕は、動くことができなかった。

Esitò ancóra un poco, pòi si rialzò. Fece un passo. Io non potevo muovermi.

「動詞」「副詞句」, 「副詞」「動詞句」 | 「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞句」

Esitò エシト 3 単遠(esitare)v.i ためらった

「動詞」

ancóra アンコーラ adv. まだ

「副詞」

un poco, ウン・ポコ adv. 少し

「副詞句」

pòi ポーイ adv. それから

「副詞」

si rialzò. シ・リアルツォ 3 単遠(rialzarsi)v.pr 起き上がった

「動詞句」

Fece フェーチェ 3 単遠(fare)v.t (行為を) した

「動詞」

XXVI

un passo. ウン・パッソ n.m 一步 「目的語」
 Io イオ pron 僕は 「主語」
 non potevo muovermi. ノン・ポテヴァ・ムオヴェルミ 1 単半・可能・否定(potére+不定詞 muoversi)
 v.pr 動くことが出来なかった 「動詞句」

彼のくるぶしの辺りには、黄色いきらめきしか見えなかった。

Non ci fu che un guizzo giallo vicino alla sua caviglia. 「動詞句」「主語」
 Non ci fu ノン・チ・フ 3 単遠・存在・否定(esserci)v.i 〜が無かった 「動詞句」
 che ケ conj.(non ... che) 〜しか 「主語」
 un guizzo giallo ウン・グイツォ・ジヤッロ n.m 黄色いきらめき 「目的語」
 vicino ヴィチーノ adv. 〜の近くに 「副詞句」
 alla sua caviglia. アラ・スア・カヴィーリア adv. 彼のくるぶしの 「副詞句」

一瞬、彼の動きが止まった。

Rimase immobile per un istante. 「動詞」「補語」
 Rimase リマセ 3 単遠(rimanére)v.i 〜のままでいた 「動詞」
 immobile インモービレ adj. 動かない 「補語」
 per ペル prep (期間) 〜の間 「副詞句」
 un istante. ウン・イスタンテ n.m 瞬間 「目的語」

彼は大声をあげなかった。1 本の木が倒れるようにゆったりと倒れた。

Non gridò. Cadde dolcemente come cade un àlbero. 「動詞句」 | 「動詞」「副詞句」
 Non gridò. ノン・グリト 3 単遠・否定(gridare)v.i 大声を出さなかった 「動詞句」
 Cadde カッテ 3 単遠(cadére)v.i 倒れた 「動詞」
 dolcemente ドルチェメンテ adv. 穏やかに、ゆったりと 「副詞」
 come コメ conj. 〜のように 「副詞節」
 cade カテ 3 単現(cadére)v.i 倒れる 「動詞」
 un àlbero. ウン・アルベロ n.m 1 本の木が 「主語」

彼は、砂の上に一切の物音を立てなかった。

Non fece neppure rumore sulla sabbia. 「動詞句」「目的語」「副詞句」
 Non fece ノン・フェーチェ 3 単遠・否定(fare)v.t (音を) たてなかった 「動詞句」
 neppure ネppure adv. 〜さえもない 「副詞」
 rumore ルモーレ n.m 物音 「目的語」
 sulla sabbia. スラ・サビィア adv. 砂の上に 「副詞句」

XXVII

XXVII

そして今では、もちろん、もう 6 年が過ぎ去った。

Ed óra, cèrto, sono già passati sèi anni.

「副詞句」「動詞句」「主語」

Ed óra, エト・オー adv. そして今では

「副詞句」

cèrto, チェルト adv. もちろん

「副詞」

sono già passati ソーノ・ジヤ・パッサーティ 3 複現・完了形(passare)

v.i (時が) もう過ぎ去った

「動詞句」

sèi anni. セイ・アンニ pl(anno).n.m 6 年が

「主語」

僕はいまだにこの話を語ったことは無かった。

Non ho ancóra mai raccontato quèsta stòria.

「動詞句」「目的語」

Non ho ancóra mai raccontato ノン・ノ・アソコー・マィ・ラコンタート 1 単現・完了形・否定・強調

(raccontare)v.t いまだに語ったことは無かった

「動詞句」

quèsta stòria. クェスタ・ストーリア n.f この話を

「目的語」

僕に再会した友人たちは、僕が生きているのを再確認できて大喜びしていた。

Gli amici che mi hanno rivisto erano mólto contènti di rivedermi vivo.

「主語」「動詞」「補語」

Gli amici リ・アミチ pl(amico).n.m 僕の友達は

「主語」

che ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

mi ミ pron 僕に

「目的語」

hanno rivisto アンノ・リヴィスト 3 複現・完了形(rivedére)v.t 再会した 「動詞句」

erano エーノ 3 複半(essere)v.i (状態) ～だった

「動詞」

mólto contènti モルト・コンテンティ adj(contènto).pl 大喜びの

「補語」

di +不定詞 ディ 不定詞・原因 adv. ～して

「副詞句」

rivedermi リヴェデル・ミ 不定詞 v.t 僕を見る、再確認する

「動詞句」

vivo. ヴィヴォ adj. 生きている

「補語」

僕は悲しい気持ちだったが、彼らに言った：「疲れているんだ...」

Èro triste, ma dicevo: "È la stanchézza..."

「動詞」「補語」,ma 「動詞」:《「動詞」「補語」》

Èro エロ 1 単半(essere)v.i ～だった

「動詞」

triste, トリステ adj. 悲しい、つらい、寂しい

「補語」

ma マ conj. しかし

dicevo: ディチェヴォ 1 単半(dire)v.t 言った

「動詞」

XXVII

"È **エ** 3 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 la stanchézza..." ラ・スタンケツァ n.m 疲れ 「補語」

今では、少しは和らいだ。つまり... 完全には和らいでいない。

Óra mi sono un pò consolato. Cioe'... non del tutto.

「副詞」「間接目的語」「動詞」「補語」 | 「副詞」「補語」

Óra オーラ adv. 今では 「副詞」
 mi ミ pron 僕にとって 「間接目的語」
 sono ソーノ 1 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」
 un pò consolato. ウン・ポ・コンソラート 過去分詞・受動(consolare)adj. 少し和らいだ 「補語」
 Cioe'... チョエ adv. つまり、すなわち 「副詞」
 non del tutto. ノン・デル・トゥット adj. 完全ではない 「補語」

けれども、彼が自分の惑星に戻ったということは分かっている。というのは、夜が明けると彼の体が見つからなかったから。

Ma so che è ritornato nel suo pianéta, perché al levar del giorno, non ho ritrovato il suo còrpo.

Ma 「動詞」「目的語」, 「副詞節」

Ma マ conj. しかし
 so ソ 1 単現(sapére)v.t 知っている 「動詞」
 che ケ conj. ~ということ 「目的語」
 è ritornato エ・リトルナート 3 単現・完了形(ritornare)v.i 戻った 「動詞句」
 nel suo pianéta, ネル・スー・オ・ピアエタ adv. 彼の惑星に 「間接目的語」
 perché ペルケ conj. (理由) なぜなら~だから 「副詞節」
 al levar アル・レヴァール adv. (太陽の) 出の時に 「副詞句」
 del giorno, デル・ジョルノ adj. 太陽の 「副詞句」
 → 日の出の時に、夜明けの時に
 non ho ritrovato ノ・ノ・リトロヴァート 1 単現・完了形・否定(ritrovare)
 v.t 見つからなかった 「動詞句」
 il suo còrpo. イル・スー・コルポ n.m 彼の体が 「目的語」

それほど重い体ではなかったのだ。だから、僕は夜に、星たちに耳を澄ますのが好きだ。

Non era un còrpo móltto pesante... E mi piace la nòtte ascoltare le stélle.

「動詞句」「補語」... | E 「間接目的語」「動詞」「主語」

Non era ノン・エラ 3 単半・否定(èssere)v.i ~でなかった 「動詞句」
 un còrpo ウン・コルポ n.m 体 「補語」
 móltto pesante... モルト・ペ・サンテ adj. とても重い 「形容詞句」

XXVII

E エ conj. そして

mi ミ pron 僕にとって

「間接目的語」

piace ピアチェ 3 単現(piacere)v.i 気に入っている、好きだ

「動詞」

la notte ラ・ノッテ n.f 夜に

「副詞句」

ascoltare アスコルターレ 不定詞 n. 聞くことは

「主語」

le stéllle. レ・ステッレ pl(stélla).n.f 星たちを

「目的語」

星たちは、5 億の鈴みたいだ。

Sono cóme cìnquecento milioni di sonàgli...

「動詞」「補語」

Sono ソーノ 3 複現(èssere)v.i ~である

「動詞」

cóme コーメ conj. ~のような

「補語」

cìnquecento milioni di チンクェチェント・ミリオニ・ディ adj. 5 億の

「形容詞句」

sonàgli... ソナーリ pl(sonàglio).n.m 鈴

「目的語」

しかし、ここで大変なことが生じた。

Ma ècco che accade una còsa straordinaria.

Ma 「副詞」「主語」

Ma マ conj. しかし

ècco エッコ adv. ここで、そう

「副詞」

che ケ conj. ~ということ

「主語」

accade アカデ 3 単現(accadére)v.i 生じる、起こる

「動詞」

una còsa ウナ・コーサ n.f あることが

「主語」

straordinaria. ストラオルデアリア

adj(straordinario).f とんでもない、異常な

「形容詞」

僕が王子様のために描いたあの口輪に、革バンドを付けるのを忘れていたのだ！

Alla museruòla disegnata per il piccolo principe, ho dimenticato di aggiungere la corréggia di cuòio!

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Alla museruòla アッラ・ムゼルオラ adv. あの口輪に

「間接目的語」

disegnata ディエニャータ 過去分詞(disegnare)・受動 adj.f 描かれた

「形容詞句」

per il piccolo principe, ペル・イル・ピッコロ・プリンチペ adv. 王子様のために

「副詞句」

ho dimenticato di aggiungere オ・ディメンチカート・ディ・アジジエ 1 単現・完了形

(dimenticare)v.t(di+不定詞)v.t 付けるするのを忘れた

「動詞句」

la corréggia ラ・コレジヤ n.f 革ひも、バンド

「直接目的語」

di cuòio! ディ・クオーイオ adj. (材料) 革でできた

「形容詞句」

XXVII

王子様は、あの羊に口輪をつけることが絶対に出来なかつただろう。そこで、僕は思う。

Non avrà mai potuto mettere la museruola alla pecora. Allora mi domando:

「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」 | 「副詞」「動詞句」

Non avrà mai potuto mettere ノン・アヴーラ・マイ・ポトート・メッテ 3 単未・完了形・可能・否定

(potére+不定詞)v.t 絶対につけることが出来なかつただろう 「動詞句」

la museruola ラ・ムゼールオラ n.f あの口輪を 「直接目的語」

alla pecora. アラ・ペーコラ adv. あの羊に 「間接目的語」

Allora アッローラ adv. それで 「副詞」

mi domando: ミ・ドマント 1 単現(domandarsi)v.pr 自問する、思う 「動詞句」

「王子様の惑星で、何が起こったのだろうか？ ことによると、あの羊が花を食べてしまったのではないか...」

"Che cosa sarà successo sul suo pianeta? Forse la pecora ha mangiato il fiore..."

《「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」》

"Che cosa ケ・コサ n.f 何が 「主語」

sarà successo サラ・スッチェッソ 3 単未・完了形(succedere)v.i 起こった 「動詞句」

sul suo pianeta? スル・スーオ・ピアネタ adv. 彼の惑星の上で 「副詞句」

Forse フォールセ adv. ことによると、たぶん 「副詞」

la pecora ラ・ペーコラ n.f あの羊が 「主語」

ha mangiato ア・マンジヤート 3 単現・完了形(mangiare)v.t 食べた 「動詞句」

il fiore..." イル・フィオーレ n.m あの花を 「目的語」

ある時は、こう思う：「絶対に違う！王子様は、毎晩自分の花にガラスの覆いをかぶせて、羊をよく見張っている...」そう思うと、僕は嬉しくなる

Tal altra mi dico: "Certamente no! Il piccolo principe mette il suo fiore tutte le notti sotto la sua campana di vetro, e sorveglia bene la sua pecora..." Allora sono felice.

「副詞句」「動詞句」:

《「感嘆」 | 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」,e「動詞」「副詞」「目的語」》,

「副詞」「動詞」「補語」

Tal altra タル・アルトラ adv. 他には、ある時は 「副詞句」

mi dico: ミ・ディコ 1 単現(dirsi)v.pr 思う 「動詞句」

"Certamente no! チェルタメンテ・ノ adv. 絶対に違う！ 「感嘆」

Il piccolo principe イル・ピッコロ・プリンチペ n.m 王子さまは 「主語」

mette メッテ 3 単現(mettere)v.t 入れている 「動詞」

il suo fiore イル・スーオ・フィオーレ n.m 彼の花を 「目的語」

tutte le notti トゥッテ・レ・ノッテ adv. 毎晩 「副詞句」

XXVII

sotto la sua campana di vetro, ソット・ラ・スーア・カンパ・ナ・デ・イ・ウ・エトロ

adv. ガラスの覆いの下に

「副詞句」

e e conj. そして

sorveglia ソルヴェリャ 3 単現(sorvegliare)v.t 見張っている

「動詞」

bene ベーネ adv. よく

「副詞」

la sua pecora..." ラ・スーア・ペーコラ n.f 彼の羊を

「目的語」

Allora アッローラ adv. そうすると

「副詞」

sono ソーノ 1 単現・変化(essere)v.i 〜になる

「動詞」

felice. フェリーチェ adj. うれしい、幸せな

「補語」

すると、全ての星が優しく笑う。

E tutte le stéle ridono dolceménte.

E 「主語」「動詞」「副詞」

E e conj. そして

tutte le stéle トウッテ・レ・ステッレ pl(stélla).n.f 全ての星が

「主語」

ridono リドノ 3 複現(ridere)v.i 笑う

「動詞」

dolceménte. ドルチェメンテ adv. 穏やかに、優しく

「副詞」

ある時は、また思う：「一度や二度は、うっかりするだろう。それで、終わりだ！」

Tal altra ancóra mi dico: "Una vòlta o l'altra si distrae e quèsto basta!

「副詞句」「動詞句」：《「副詞句」「動詞句」 e 「主語」「動詞」》

Tal altra タル・アルトラ adv. ある時は

「副詞句」

ancóra アンコーラ adv. さらに、また再び

「副詞」

mi dico: ミ・デ・イコ 1 単現(dirsi)v.pr 思う

「動詞句」

"Una vòlta o l'altra ウナ・ヴォルタ・オ・ラルトラ adv. 一度や二度は、遅かれ早かれ

「副詞句」

si distrae シ・デ・イストラエ 3 単現(distrarsi)v.pr 気が散る、うっかり忘れる

「動詞句」

e e conj. そして

quèsto クェスト pron これは

「主語」

basta! バスタ 3 単現(bastare)v.i 十分である

「動詞」

「王子様は、ある晩、ガラスの覆いをかけ忘れたかもしれない。それとも、羊が夜の間にそっと抜け出したかもしれない…」そう思うと、鈴がみんな涙に変わってしまう！」

Ha dimenticato una sèra la campana di vetro, oppure la pecora è uscita senza far rumóre durante la nòtte..." Allora i sonàgli si cambiano tutti in làcrime!

《「動詞句」「副詞句」「目的語」, oppure 「主語」「動詞句」「副詞句」》,

「副詞」「主語」「動詞句」「主語」「間接目的語」

Ha dimenticato ア・デ・イメンチャート 3 単現・完了形(dimenticare)v.t 忘れた

「動詞句」

XXVII

una sera ウナ・セーラ	adv. ある晩	「副詞句」
la campana di vetro, ラ・カンパ・ーナ・ディ・ウ・ェートロ	n.f ガラスの覆いを	「目的語」
oppure オップ・ーレ	conj. それとも	
la pecora ラ・ペ・ーコラ	n.f あの羊が	「主語」
è uscita エ・ウッシータ	3 単現・完了形.f(uscire)v.i 抜け出した	「動詞句」
senza far rumore センツァ・ラール・ルモーレ	adv. 音もなく、そっと	「副詞句」
durante la notte..." トゥランテ・ラ・ノッテ	adv. 夜の間に	「副詞句」
Allora アッローラ	adv. そうすると	「副詞」
i sonagli イ・ソニャーリ	pl(sonaglio).n.m 鈴は	「主語」
si cambiano シ・カンビァノ	3 複現(cambiare)v.pr(in に) 変わる	「動詞句」
tutti トウッティ	adj(tutto).pl すべてが	「主語」
in lacrime! イン・ラークリメ	adv.(lacrime) 涙に	「間接目的語」

全てが大きな神秘だ！

È <u>tutto un grande mistèro!</u>	「動詞」「主語」「補語」
È エ 3 単現(èssere)v.i ~である	「動詞」
tutto トウット pron すべてが	「主語」
un grande mistèro! ウン・グランテ・ミステーロ n.m 大きな神秘	「補語」

王子様を愛している君たちにとって、僕にとってと同じように、この宇宙の中ですべてが變ってしまう。もしどこか分からない場所で、僕たちの知らない羊がバラの花を食べてしまったかどうかによって...

Per voi che pure volete bene al piccolo principe, come per me, tutto cambia nell'universo se in qualche luogo, non si sa dove, una pecora che non conosciamo ha, sì o no, mangiato una rosa.

Per voi ペル・ウ・ォーイ	adv. 君たちにとって	「副詞句」
che ケ	pron (主語) ~する	「形容詞節」
pure プーレ	conj. それでも	
volete bene ウォーレテ・ベーネ	2 複現(volere)	
v.t(bene al ~を)	愛している	「動詞句」
al piccolo principe, アル・ピッコロ・プリンチペ	n.m 王子様を	「目的語」
come per me, コーメ・ペル・メ	adv. 僕にとってと同じように	「副詞句」
tutto トウット	pron 全てが	「主語」
cambia カンビァ	3 単現(cambiare)v.i 変わる	「動詞」
nell'universo ネル・ウ・ェルソ	adv. この宇宙で	「副詞句」
se セ	conj. もし~ならば	「副詞節」

XXVII

in qualche luògo, イン・クワルケ・ルオーゴ adv. どこかの場所で 「副詞句」

non si sa dóve, ノン・シ・サ・ドーヴェ adj. どこか分からない 「形容詞節」

una pècora ウナ・ペーコラ n.m ある羊が 「主語」

che ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

non conosciamo ノン・コノシャモ 1 複現・否定(conoscere)

v.t 知らない 「動詞句」

ha, si o no, mangiato ア・シ・オ・ノ・マンジヤート 3 単現・完了形(mangiare)

v.t 食べたかどうか 「動詞句」

si o no ～かどうか

una ròsa. ウナ・ローザ n.f バラの花を 「目的語」

君たち、空を眺めて、自問してくれないか？「あの羊は、花を食べてしまったのだろうか、それとも食べなかったのだろうか」と。

Guardate il cièlo e domandatevi: la pècora ha mangiato o non ha mangiato il fióre?

「動詞」「目的語」o「動詞句」:《「主語」「動詞句」「目的語」》

Guardate グワルダテ 命・2 複現(guardare)v.t 眺めなさい 「動詞」

il cièlo イル・チエロ n.m 空を 「目的語」

e エ conj. そして

domandatevi: トマンダテヴィ 命・2 複現(domandarsi)v.t 自問しなさい 「動詞句」

la pècora ラ・ペーコラ n.f あの羊は 「主語」

ha mangiato ア・マンジヤート 3 単現・完了形(mangiare)v.t 食べた 「動詞句」

o オ conj. または

non ha mangiato ノ・ア・マンジヤート 3 単現・完了形・否定(mangiare)v.t 食べなかった 「動詞句」

il fióre? イル・フィオーレ n.m あの花を 「目的語」

そうすれば、全てが変わることが分かるだろう...

E vedrete che tutto cambia... E 「動詞」「目的語」

E エ conj. そして、そうすれば

vedrete ヴェドレテ 2 複未・推量(vedére)v.t 分かるだろう 「動詞」

che ケ conj. ～ということが 「目的語」

tutto トット pron 全てが 「主語」

cambia... カンビァ 3 単現 v.i 変わる 「動詞」

XXVII

しかし、大人たちは、これがそれほど大切なことだとは、絶対に分からないだろうな！

Ma i grandi non capiranno mai che questo abbia tanta importanza.

Ma 「主語」「動詞句」「目的語」

Ma マ conj. しかし

i grandi イ・グランディ pl(grande).n.m 大人は

「主語」

non capiranno mai ノン・カピランノ・マイ 3 複未・否定・推量(capire)

v.t 絶対分からないだろう

「動詞句」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

questo クェスト pron これが

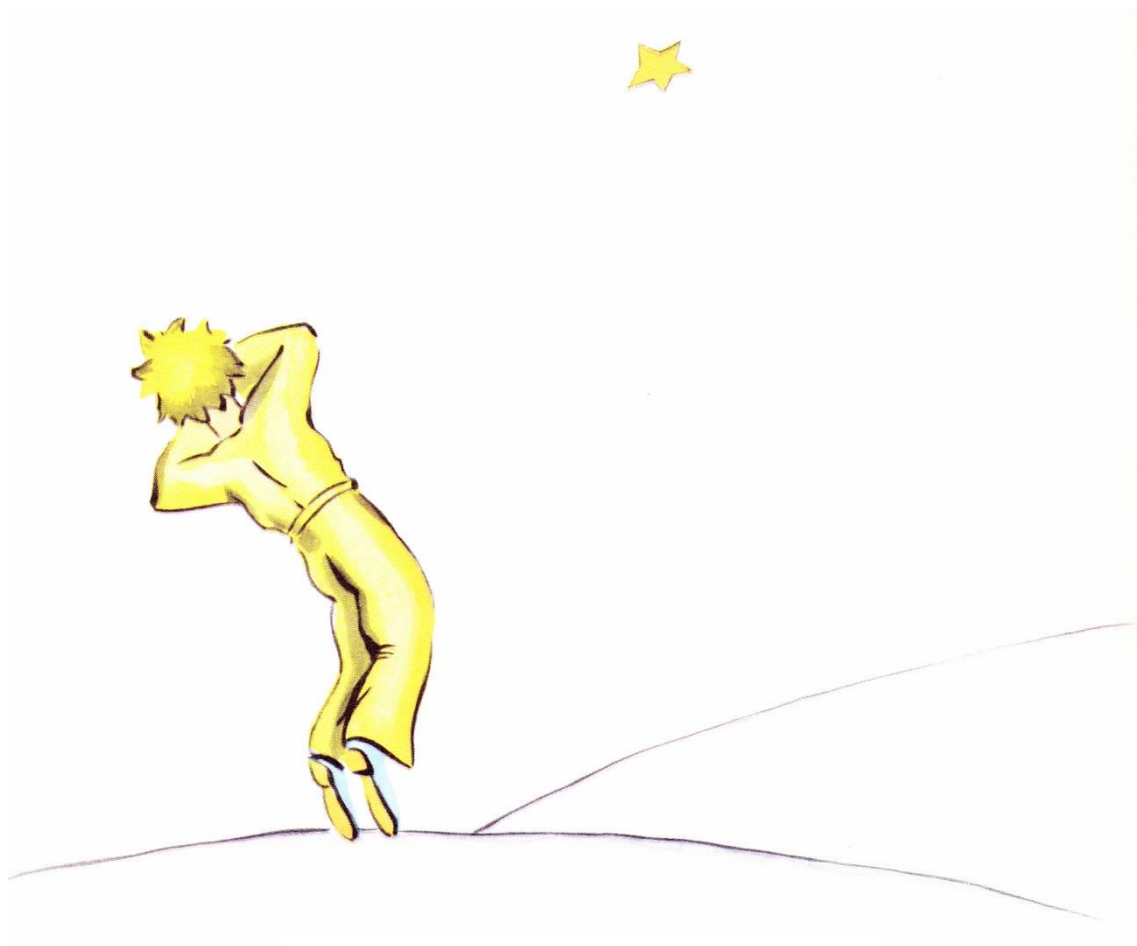
「主語」

abbia アッビァ 接・3 単現(avére)v.t ～がある

「動詞」

tanta importanza. タンタ・インポルタンツァ n.f そんな重要性

「目的語」



XXVII

これは、僕にとって、この世でいちばん美しい、そしていちばん悲しい景色です。

Questo è per me il piu bello e il piu triste paesaggio del mondo.

「主語」「動詞」「間接目的語」「補語」

Questo クェスト pron これは

「主語」

è エ 3 単現(essere)v.i ~である

「動詞」

per me ペル・メ adv. 僕にとって

「間接目的語」

il piu bello イル・ピウ・ベロ adj. (最上級) いちばん美しい

「形容詞句」

e エ conj. そして

il piu triste イル・ピウ・トリステ adj. (最上級) いちばん悲しい

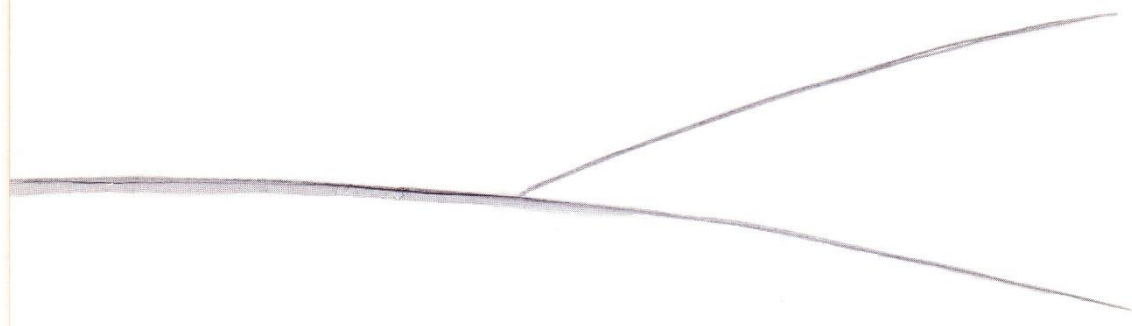
「形容詞句」

paesaggio パエザッジョ n.m 景色

「補語」

del mondo. テル・ムント adj. この世で

「形容詞句」



XXVII

前ページの絵と同じ景色です。しかし、君たちによく見て欲しいのもう一度描きました。

É lo stesso paesaggio dell'immagine precedente, ma l'ho disegnato un'altra volta perché voi lo vediate bene. 「動詞」「補語」,ma 「動詞句」「目的語」「副詞句」「副詞節」

É エ 3 単現(essere)v.i 〜である 「動詞」

lo stesso paesaggio ロ・ステツ・ハ°エサ°ツシヨ n.m 同じ景色 「補語」

dell'immagine precedente, デ°リンマージネ°プレテンテ

adj. (比較) 前ページの絵と 「形容詞句」

ma マ conj. しかし

l' ロ pron それを 「目的語」

ho disegnato オ・ディゼニャト 1 単現・完了形(disegnare)v.t 描いた 「動詞句」

un'altra volta ウ・ナルトラ°ヴォルタ adv. もう一度 「副詞句」

perché ヘルケ conj. (理由) 〜なので 「副詞節」

voi ヴォイ pron.pl 君たちが 「主語」

lo ロ pron (paesaggio の代用) それを 「目的語」

vediate ヴェディァテ 接・2 複現(vedere)v.t 見える 「動詞」

bene. ベーネ adv. よく 「副詞」

王子様が地上に現れ、それから消えたのは、ここです。

É qui che il piccolo principe è apparso sulla Terra e poi è sparito.

「動詞」「補語」「主語」

É エ 3 単現(essere)v.i 〜である 「動詞」

qui クイ adv. ここ 「補語」

che ケ conj. 〜ということは 「主語」

il piccolo principe イル°ピッコロ°プリンチ° n.m 王子さまが 「主語」

è apparso エ°アパ°ラツ 3 単現・完了形(apparire)v.i 現れた 「動詞句」

sulla Terra スラ°テラ adv. 地上に 「副詞句」

e エ conj. そして

poi ホイ adv. それから 「副詞」

è sparito. エ°スパ°リト 3 単現・完了形(sparire)v.i 消えた 「動詞句」

XXVII

もしいつかアフリカの砂漠を旅行することがあったら、確かにここだと分かるために、この景色をよく見てください。

Guardate attentamente questo paesaggio per essere sicuri di riconoscerlo se un giorno farete un viaggio in Africa, nel deserto. 「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」

Guardate グォルダテ 命・2 複現(guardare)v.t 見てください 「動詞」

attentamente アテンタメンテ adv. じつくりと、よく 「副詞」

questo paesaggio ケスト・パ・エザッジョ n.m この景色を 「目的語」

per +不定詞 ヘル adv. (目的) ～するために 「副詞句」

essere エッセレ 不定詞(essere)v.i ～である 「動詞」

sicuri シーリ adj(sicuro).pl 確かな 「補語」

di riconoscerlo ディ・リコノセルロ adj. (目的) それを認識するために 「副詞句」

se セ conj. もし～ならば 「副詞節」

un giorno ウン・ジョルノ adv. ある日、いつか 「副詞句」

farete ファレテ 2 複未・假定(fare)v.t (行為を) する 「動詞」

un viaggio ウン・ヴァイアッジョ n.m 旅行を 「目的語」

in Africa, イン・アフリカ adv. アフリカで 「副詞句」

nel deserto. ネル・デゼールト adv. 砂漠で 「副詞句」

そして、もし君たちがここを通ることがあったら、どうか急がないで、ちょっとこの星の下で立ち止まって下さい！

E se vi capita di passare di là, non vi affrettate, fermatevi un momento sotto le stelle!

E 「副詞節」, 「動詞句」, 「動詞句」「副詞句」

E エ conj. そして

se セ conj. もし～ならば 「副詞節」

vi ヴィ pron 君たちにとって 「間接目的語」

capita カピタ 非人称・3 単現(capitare)v.h(di+不定詞 ～する) ことがある 「動詞」

capitare カピターレ 非人称 v.h ～が起きる、生じる

di passare ディ・パッサレ 不定詞.n 通るかかることが 「主語」

di là, ディ・ラ adv. ここを 「副詞句」

non vi affrettate, ノン・ヴィ・アフレッタテ 命・2 複現・否定(affrettarsi)

v.pr 急がないでください 「動詞句」

fermatevi フェルマテ・ヴィ 命・2 複現(fermarsi)v.pr 立ち止まってください 「動詞句」

un momento ウン・モメント adv. 少しの間、ちょっと 「副詞句」

sotto le stelle! ソット・レ・ステルレ adv. この星の下で 「副詞句」

XXVII

そして、もしその時子供が君たちの所へやって来て、もし笑ったり、金髪だったり、質問に答えなかったら、君たちはそれが誰だか分かるよね？

E se allora un bambino vi viene incontro, se ride, se ha i capelli d'oro, se non risponde quando lo si interroga, voi indovinerete certo chi è.

E 「副詞節」, 「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「副詞」 「目的語」

E エ conj. そして

se セ conj. もし～ならば

「副詞節」

allora アッローラ adv. その時に

「副詞」

un bambino ウン・バンビーノ n.m 子供が

「主語」

vi ヴィ pron 君たちに

「間接目的語」

viene incontro, ヴィエネ・インコント 3 単現(venire incontro)v.i やって来る 「動詞句」

venire incontro a qlcu. 「(人) に向かって来る、やって来る」

se セ conj. もし～ならば

「副詞節」

ride, リデ 3 単現(ridere)v.i 笑う

「動詞」

se セ conj. もし～ならば

「副詞節」

ha ア 3 単現(avére)v.t (身体的特徴) ～をしている

「動詞」

i capelli d'oro, イ・カペッリ・ドーロ pl(capello).n.m 金髪

「目的語」

se セ conj. もし～ならば

「副詞節」

non risponde ノン・リスポンデ 3 単現・否定(rispondere)v.i 答えない

「動詞句」

quando クワンド conj. ～する時に

「副詞節」

lo ロ pron 彼に

「目的語」

si interroga, シ・インテロガ 3 単現(interrogarsi)v.pr 質問する

「動詞句」

voi ヴォーイ pron.pl 君たちは

「主語」

indovinerete イントゥーイネレ 2 複未・推量(indovinare)v.t 推測できるだろう

「動詞」

certo チェルト adv. きっと、間違いなく

「副詞」

chi キ pron (主語) ～するということを

「目的語」

è. エ 3 単現(essere)v.i ～である

「動詞」

fine ファーネ 「終わり」

その時は、親切にしてください！

Ebbène, siate gentili!

Ebbène, 「動詞」「補語」

Ebbène, エッベ^ニーネ conj. それでは、その時は

siate シアテ 命・2 複現・状態(èssere)v.i. ～して下さい

「動詞」

gentili! ジェンティ^リ adj(gentile).pl 親切的な

「補語」

僕をこんなに悲しいままにしないでください：僕にすぐ手紙を書いてください。彼が戻ってきたよと...

Non lasciatemi cosi triste: scrivetemi subito che è ritornato...

「動詞句」「補語」：「動詞句」「副詞」「目的語」

Non lasciatemi ノン・ラッシャー・テ・ミ 命・2 複現・否定(lasciare+mi)

v.t 僕を～のままにしないでください

「動詞句」

cosi triste: コシ・トリステ adj. こんなに悲しい

「補語」

scrivetemi スクリヴ^エ・テ・ミ 命・2 複現(scrivere+mi)v.t 僕に手紙を書いてください「動詞句」

subito スービト adv. すぐに

「副詞」

che ケ conj. ～ということを

「目的語」

è ritornato... エ・リトル^アト 3 単現・完了形(ritornare)v.i 戻って来た

「動詞句」

fine ファーネ 「終わり」